昭和61年度収集

収蔵品目録

福岡市博物館

4

正誤表

頁	位置	誤	正
真十写二	最上部説明文	2 正徳之比・・・	4 正徳之比・・・
66	一〇四 備考	住吉神社遷官祭で	住吉神社遷宮祭で
P89～94の間		主基斉田	主基齋田
106	標題	八、中江家資料	八、中江恒生資料
120	標題	一五、安田家資料	一五、安田達雄資料
127	標題	二七、井筒屋寄贈資料	二七、井筒屋資料
177	公名称	覚（花頂本宅にて左門死去の事外）	覚（花頂本宅にて左門死去の事）
179	一〇七 品質・形状	小長帳	小横帳
182	一四・一四五 員数	1冊	1通
186	二一〇 員数	1枚	1通
195	二四一 員数	1枚	1通
196	二四八 員数	1枚	1通
213	六〇一 名称	引当1札之事	引当一札の事
215	六二三 名称	口上（拝借米の健につき）	口上（拝借米の件につき）
218	六六〇 員数	1冊	1通
221	七〇六 員数	1冊	1巻
224	七四九・七五〇 名称	（写本）	（写）
228	八一〇 品質・形状	（追加）	巻子
240	一〇一七 員数	1巻	1通
240	一〇一九 員数	1枚	1通
256	二三九 作者	・・・疆城方・・・	・・・疆域方・・・
261	一三二 員数	1枚	1通

頁	位置	誤	正
261	一三五 作者	太政官より鍋島備中守	太政官より鍋島備中守宛
263	一三六 作者	・・・川原能吉他大名	・・・川原能吉他大名宛
267	一四二 作者	・・・より山口・熊谷	・・・より山口・熊谷宛
286	一七七 員数	1冊	1綴
288	一七六 作者	山崎掉一	山崎捷一
288	一七四 作者	朝日識	朝日識
291	一八八 品質・形状	横帳	長帳
291	一八四 名称	公廨一カ年・・・	公庁一カ年・・・
292	一八六 作者	山崎捜一	山崎捷一
297	一九六 「品質・形状」の（包紙有）を「備考」に移動		
297	一九四 備考	後次	後欠
315	三三二 作者	・・・鹿島熔造館	・・・鹿児島熔造館宛
315	三三九 名称	授業料領収証宛	授業料領収証
315	三三九 作者	熔造館会計より□□殿	熔造館会計より□□殿宛
315	三三九 品質・形状	（印刷）印収書・・・	（印刷）領収書・・・
318	三七七 時代	（明治）己11月12日	（明治）巳11月12日
430	六七〇 名称	書簡（毛利男方へ御使の件）	書簡（毛利男爵方へ御使の件）
473	三六 名称	講習證書	講習證書（英語科）

福岡市博物館

昭和六十一年度収集

収蔵品目録 4

福岡市教育委員会

口　絵　絹本着色弘法大師像（本文四五九頁）

椅子に坐した通例の姿の弘法大師像を中央に、上下に高野山の堂宇、塔などの風景を描く。

弘法大師の肖像と楼閣、山水の表現が組み合わされた珍しい構成である。鎌倉時代の制作である。

はじめに

福岡市では昭和五十八年度以来、郷土の歴史とそこにくらした人々の生活を学べる人文系博物館の建設を進めて参りました。昭和六十三年度には博物館も竣工し、平成二年の開館予定で事業が進んでいるところです。この間市民の方々から御寄贈いただいた多くの資料をはじめ、寄託資料、購入資料と合わせて博物館資料の収集を続けており、現在では約一五四〇八件、四五四三七点を数えるに至りました。

そのうち、本年度は昭和六十一年度に収集した資料の目録を刊行することにいたしました。今回は御寄贈いただいた資料に寄託、購入資料を合せ六五五五件、九六五五点の資料を収録することができました。

また、博物館では目録の刊行とあわせて、収集資料を多くの方々に御覧いただけるよう、市立歴史資料館を借用して収蔵品展「ふくおかの歴史とくらし」を開催して参りましたが、今年度は昭和六十三年一〇月一日から三〇日まで、昭和六十一年度収集資料の一部を展示し、好評をいただきました。

ここに資料を提供いただいた方々、資料収集に御教示、御協力をいただいた方々に深く感謝申し上げるとともに、今後とも一層の御支援をお願い申し上げます。

また、本目録が広く活用されますならば幸いに思います。

平成元年三月

福岡市博物館　館長　進藤一馬

目次

〈口絵〉……絹本着色弘法大師像
はじめに
資料写真　一～二四
〈資料解題〉
寄贈資料……1
寄託資料……12
購入資料……14
〈寄贈資料〉
一　具足師田中家資料……17
二　進藤ハツノ資料……58
三　森恍二郎資料……73
四　木村節夫資料……84
五　主基斎田関係資料……89
六　松尾信子資料……95
七　飯尾寿一資料……101
八　中江恒生資料（追加分）……106
九　池辺ミチエ資料……110
一〇　清水豊資料……113
一一　篠田文司資料……116
一二　井上清助資料……118

一三　渡辺文吉資料……118
一四　橋本友美資料……119
一五　安田達雄資料……120
一六　大曲米二資料……121
一七　岩下富士雄資料……122
一八　川上喜一郎資料……123
一九　玉川桂資料……123
二〇　森寿一資料……124
二一　真砂嘉一資料……124
二二　進藤一馬資料……125
二三　梶原昭代資料……126
二四　中牟田勝喜資料……126
二五　江口・磯野資料……126
二六　星出和範資料……127
二七　井筒屋資料……127
二八　平川清忠資料……128
二九　嶺旭蝶資料……128
三〇　古谷松江資料……128

〈寄託資料〉

一　勝福寺資料……129
二　精華女子高校資料……151
三　衣笠資料……158
四　青柳文書……166

〈購入資料〉

Ⅰ 家別資料

一 鹿島鍋島家資料……171

二 鍋島氏関係資料……453

三 福岡藩関係資料……457

四 都築家資料……458

Ⅱ その他の購入資料

一 絵画……459

二 書跡……466

三 工芸品……467

四 古文書……470

五 文書……471

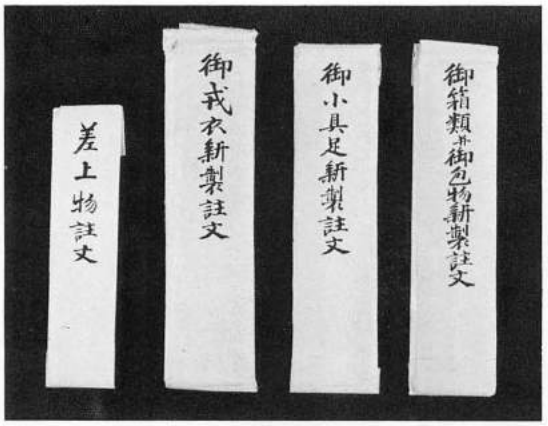
六 歴史資料……478

七 書籍……478

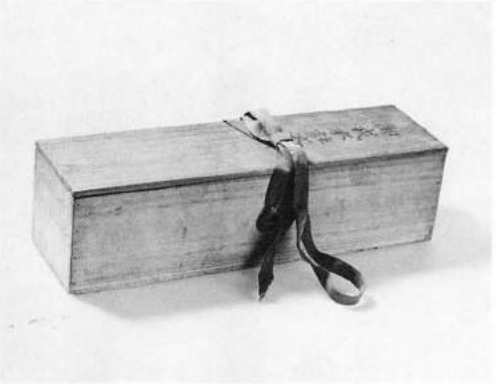
八 地図・絵図等……486

九 絵葉書・ポスター・その他……505

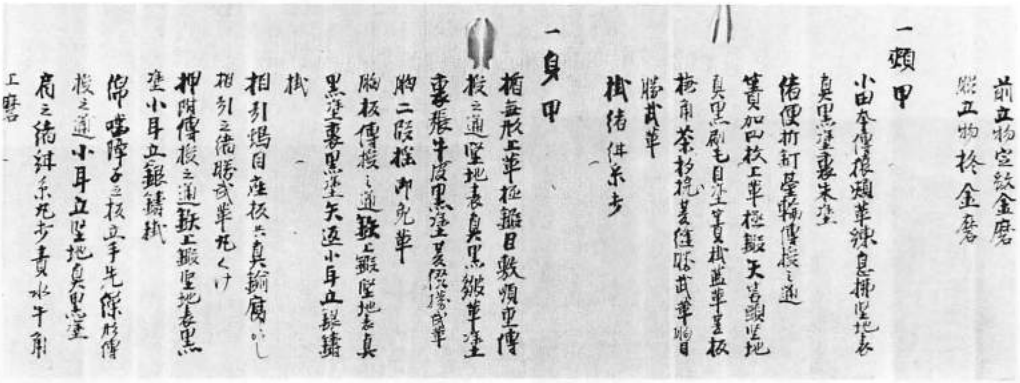
一〇 古銭……516



21～24　各註文書



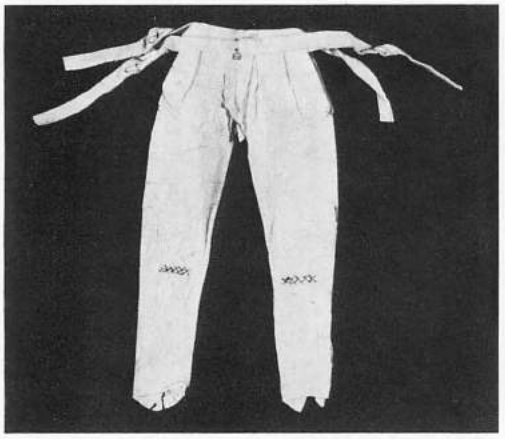
158　御戎衣註文箱



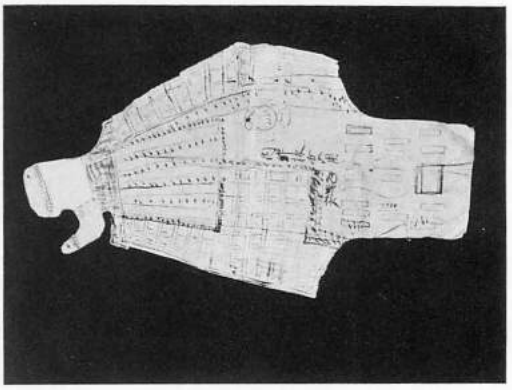
15　六甲新製註文

383　甲冑温知録

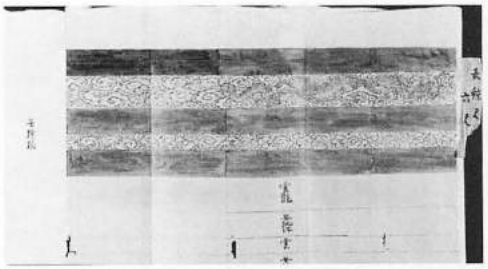
18　（仮）鎧材料一式



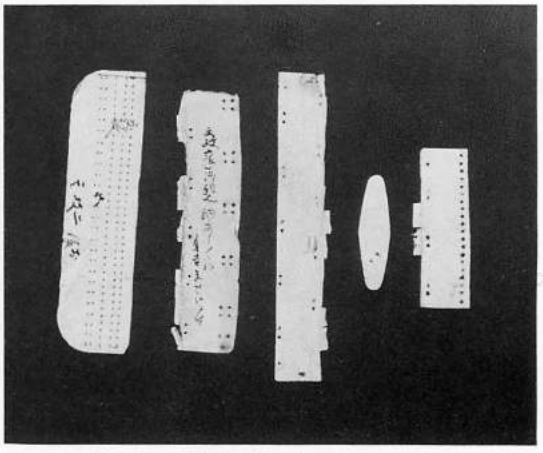
156　型紙



156　手甲型紙

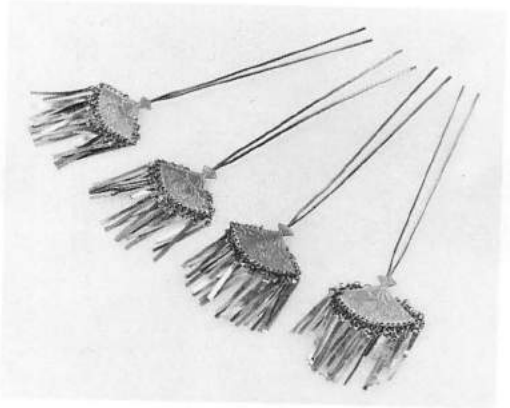


145　紺地精好織之雛形

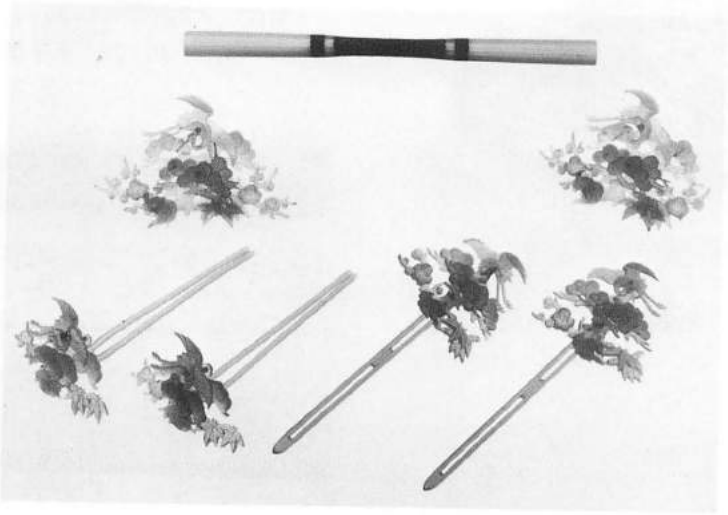


18　（仮）鎧材料一式のなかの型紙

58　火鉢

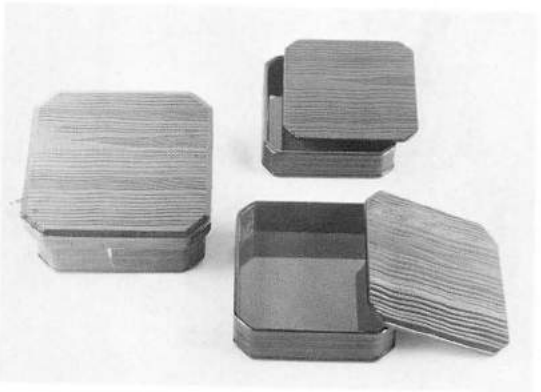


171・172　末広かんざし



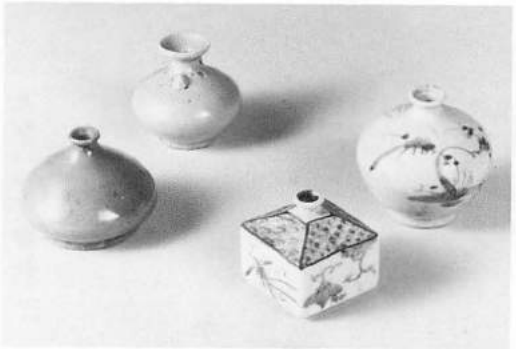
162・163・178　花笄・花かんざし・笄

104　法被



102　弁当箱

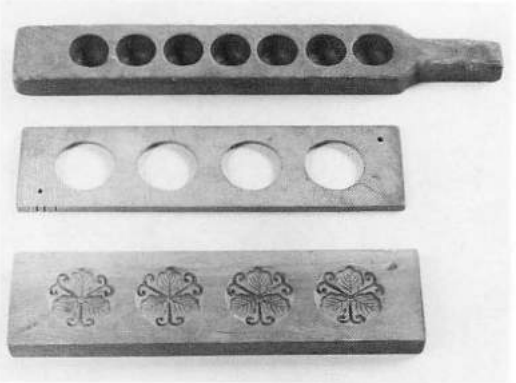
四、木村節夫資料



油壷各種

三、森恍二郎資料

40・72　菓子型

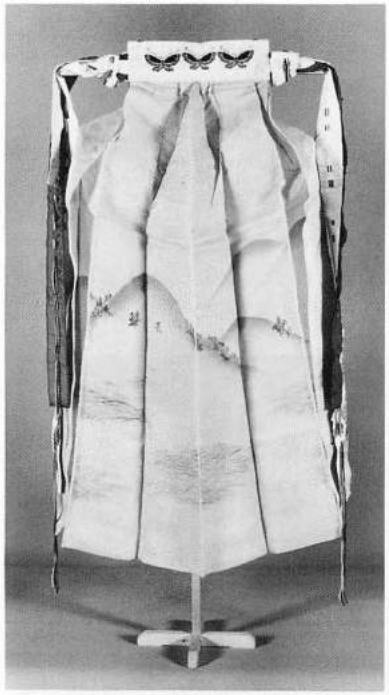


23・137　菓子型

七、飯尾寿一資料

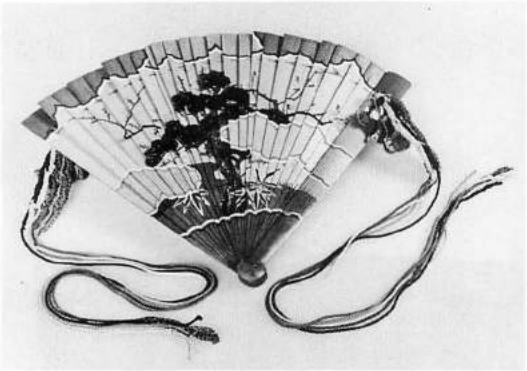
26　冠

33　飾り守護　　27　烏帽子　　30　守り刀



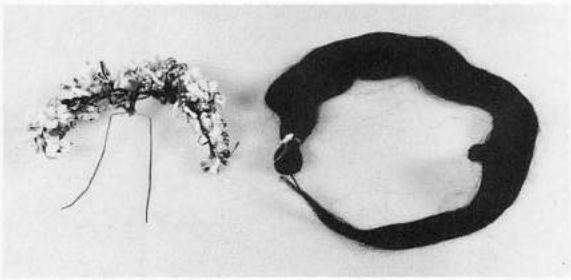
裳

千早



扇

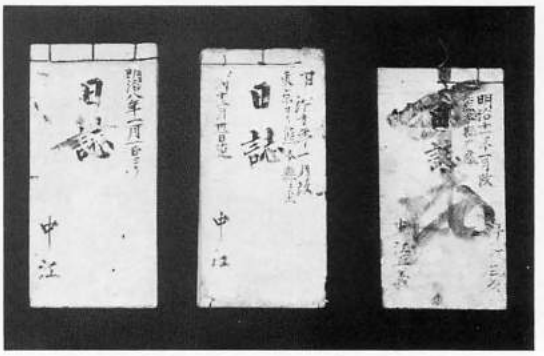
緋袴



簪・髢

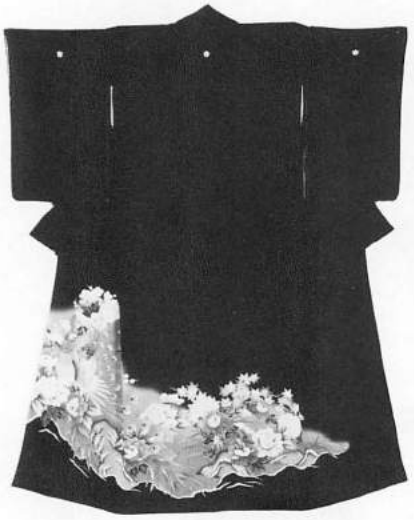
八、中江恒生資料（追加分）

2　日誌



3～5　日誌

九、池辺ミチエ資料

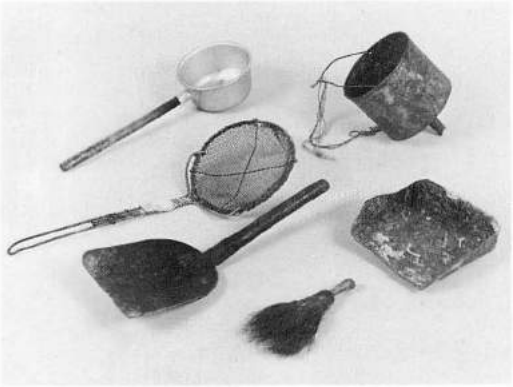


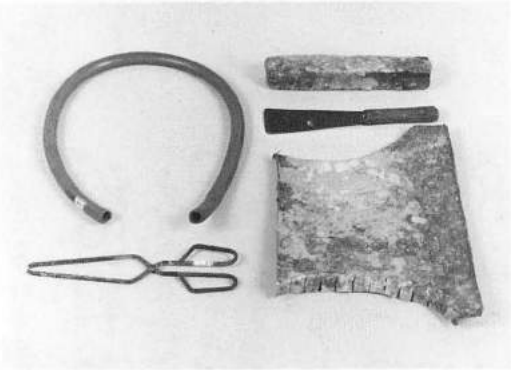
10　色留袖

4　長襦袢

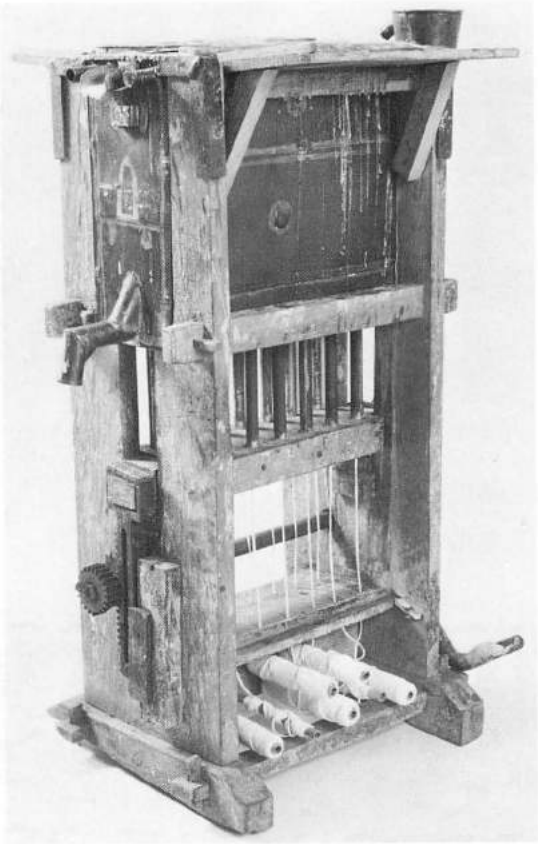
3　長着

一一、篠田文司資料



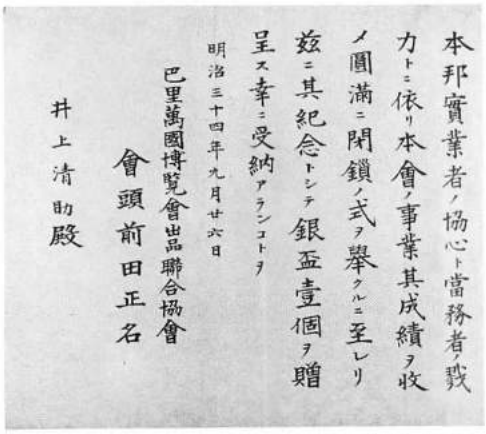


4～14　製蠟道具一式



1　製蠟機　本体

一二、井上清助資料



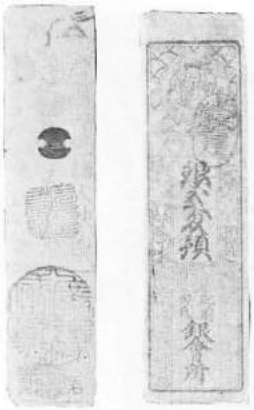
本邦實業者ノ協心ト當務者ノ戮
力トニ依リ本會ノ事業其成績ヲ收
ノ圓滿ニ閉鎖ノ式ヲ擧クルニ至レリ
茲ニ其紀念トシテ銀盃壹個ヲ贈
呈ス幸ニ受納アランコトヲ
明治三十四年九月廿六日
巴里萬國博覽會出品聯合協會
會頭前田正名
井上清助殿

1　博多人形 井上清助奮闘五十年史

一三、渡辺文吉資料

3　領収書（消防組手当給）

一四、橋本友美資料

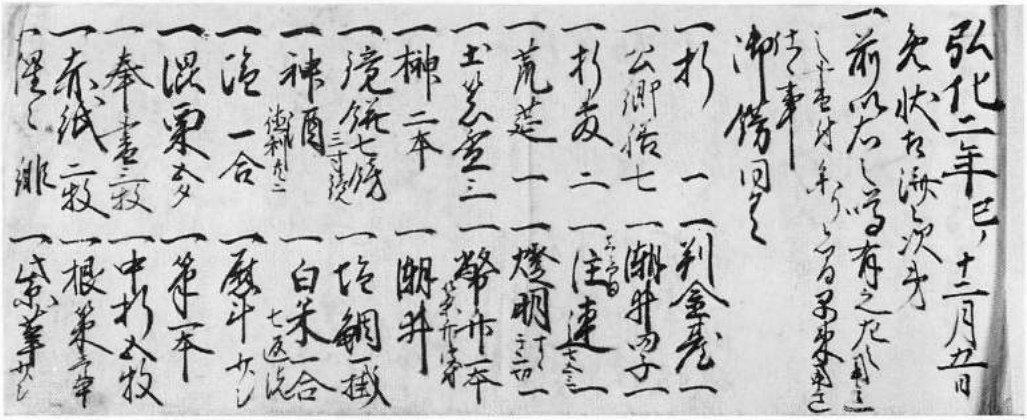


1　2

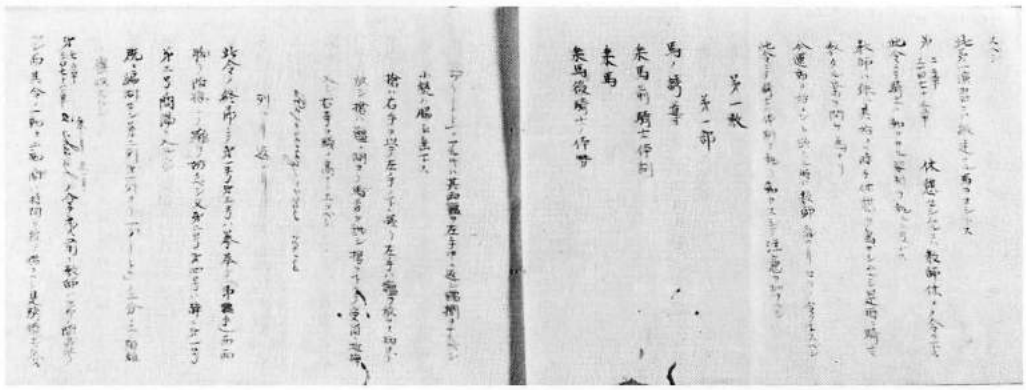
1　藩札「五匁」

2　藩札「銀弐匁預」

一五、安田達雄資料



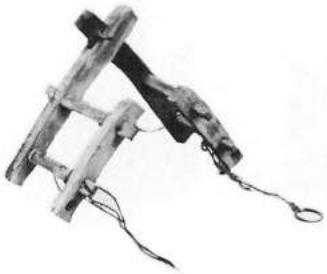
3　免状相伝并披之事記



4　（仮）馬術教本

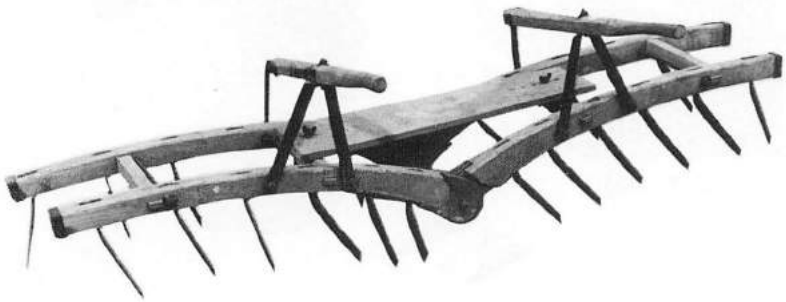
一〇、清水豊資料

20　万石トオシ



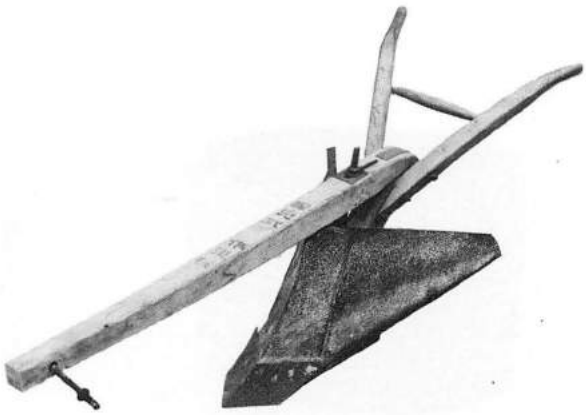
23　小鞍（テイキ）

一六、大曲米二資料



2　改良畜力砕土器（飛行機マガ）

二〇、森寿一資料

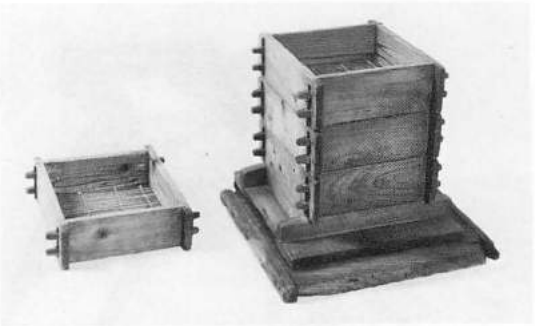


3　深見式作溝機

一八、川上喜一郎資料

3・4 高取焼雲助

一七、岩下富士雄資料



3 蒸 籠（四段重ね）

二一、真砂嘉一資料

登録商標（部分）

1 博 多 七 輪

二三、梶原昭代資料

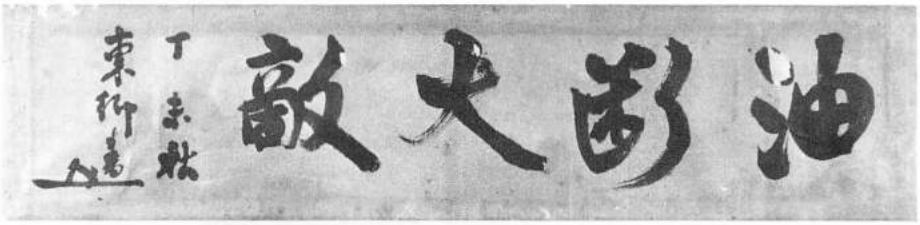
1 手 桶

二三、進藤一馬資料

1　竹月図

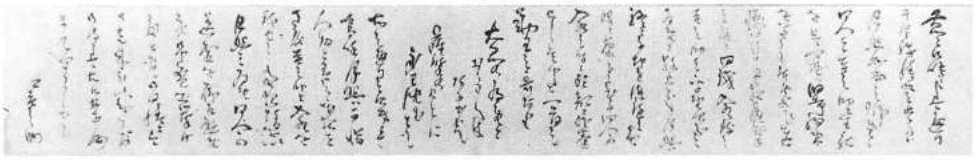
2　志賀島鹿鳥居図

二四、中牟田勝喜資料



1　書「油断大敵」

二五、江口・磯野資料

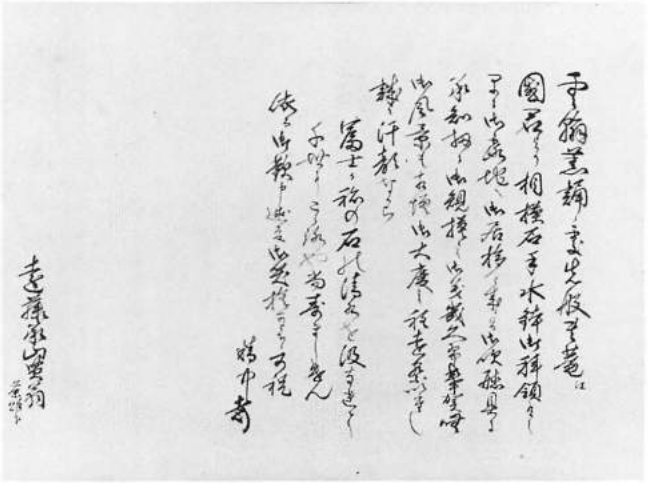


1　書状

二六、星出和範資料

1　伝単「感激の握手」

二七、井筒屋資料

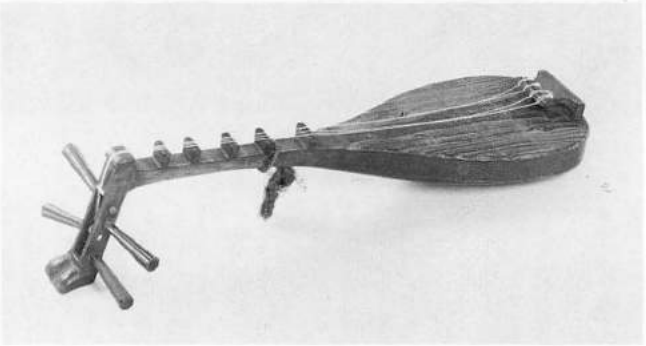


1　書状（相模石手水鉢拝領につき）

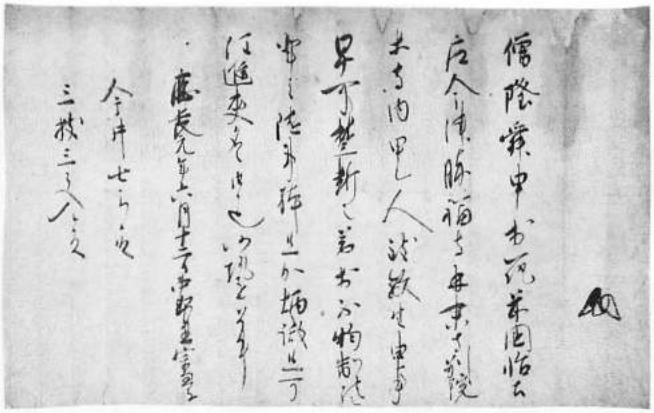
二八、平川清忠資料

1　書「凡眼不識重價真寶」

二九、嶺旭蝶資料

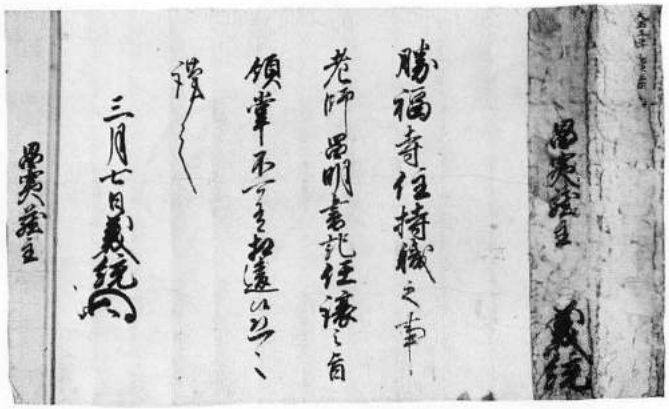


1　四絃琵琶



文書3　中務丞宗兼禁制

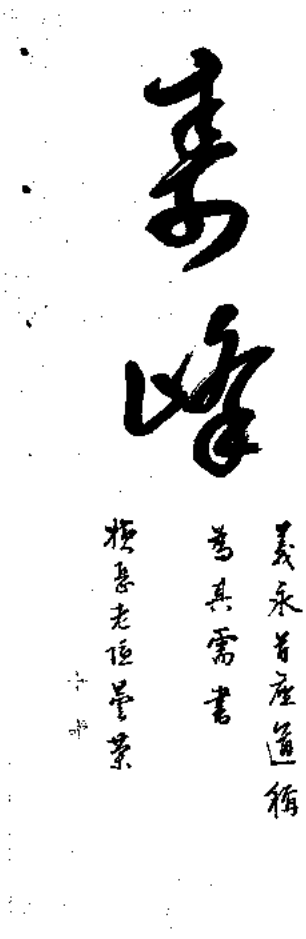
文書16　足利直冬安堵状



文書17　大友義統安堵状

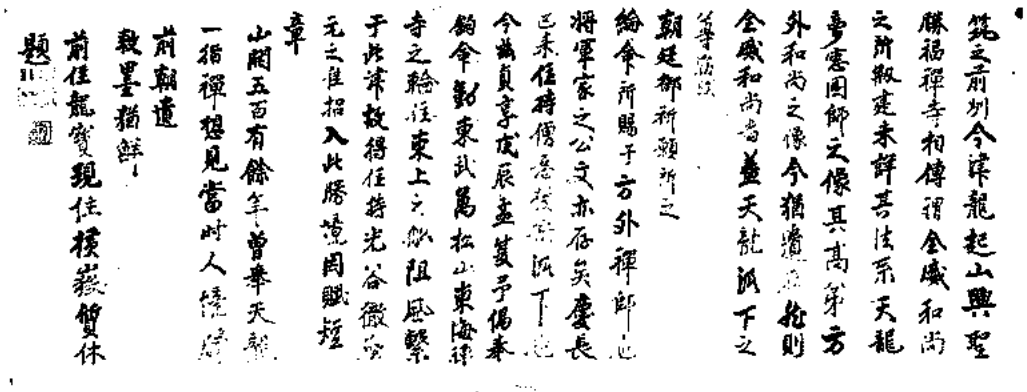
絵画10　涅槃図

絵画６　達磨図



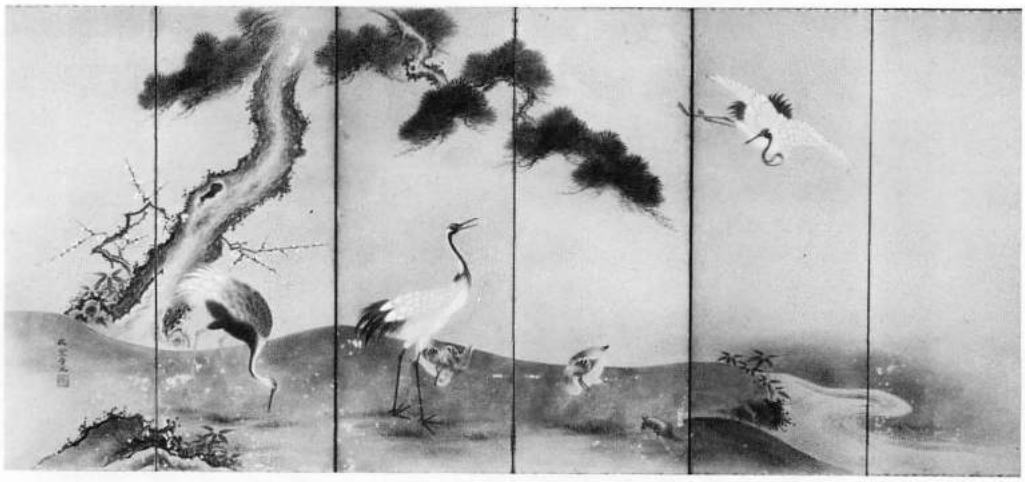
書跡6　書「寿峰」

絵画14　布袋図



書跡3　龍起山勝福寺縁起

1　物語図屏風（鉢の木）

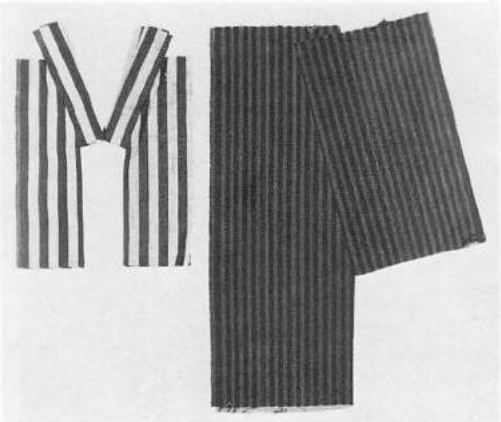


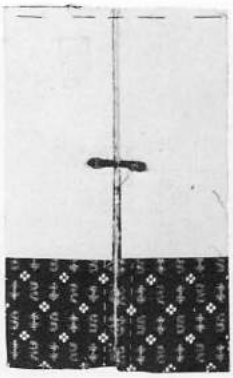
3　松鶴図

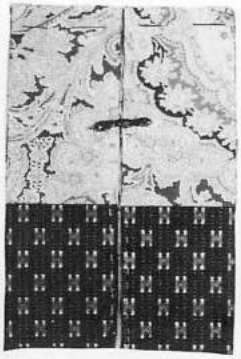
1　物語図屏風（小督）

4　中国医術人物図

二、精華女子高校資料







縫方見本各種

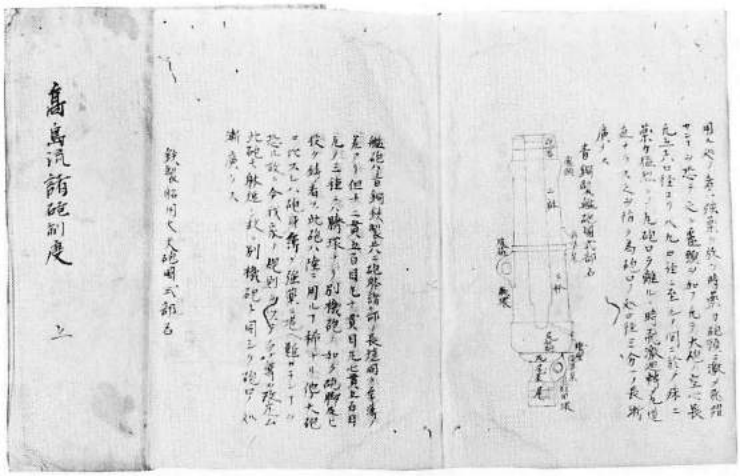
四、青柳文書

2　早良郡得永領田所職補任状

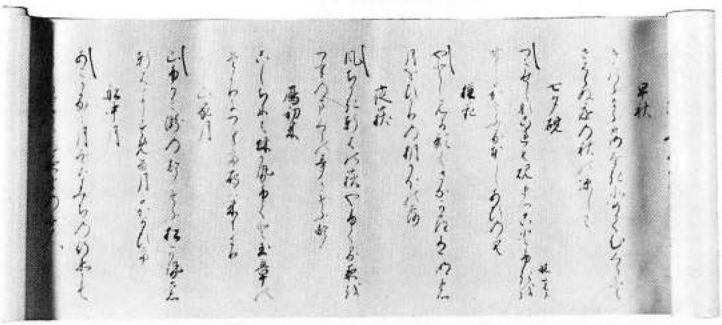
10　飯盛宮社領坪付

〈購入資料〉

一、鹿島鍋島家資料

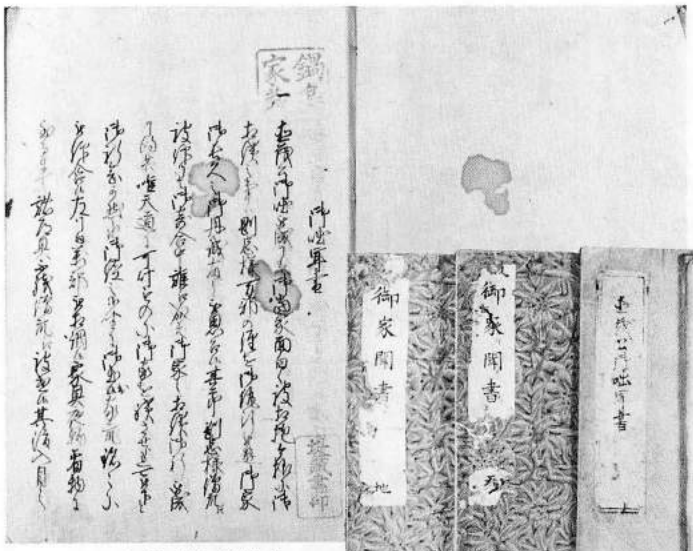


752　高島流諸砲制度 上・下



939　直條詠草

二、鍋島氏関係資料



23　直茂公御咄聞書

21　御家聞書天地　23　直茂公御咄聞書　5　直茂公譜
7　直茂公譜

三、福岡藩関係資料

2　正徳之比御扶持方割方并御舟之覚書

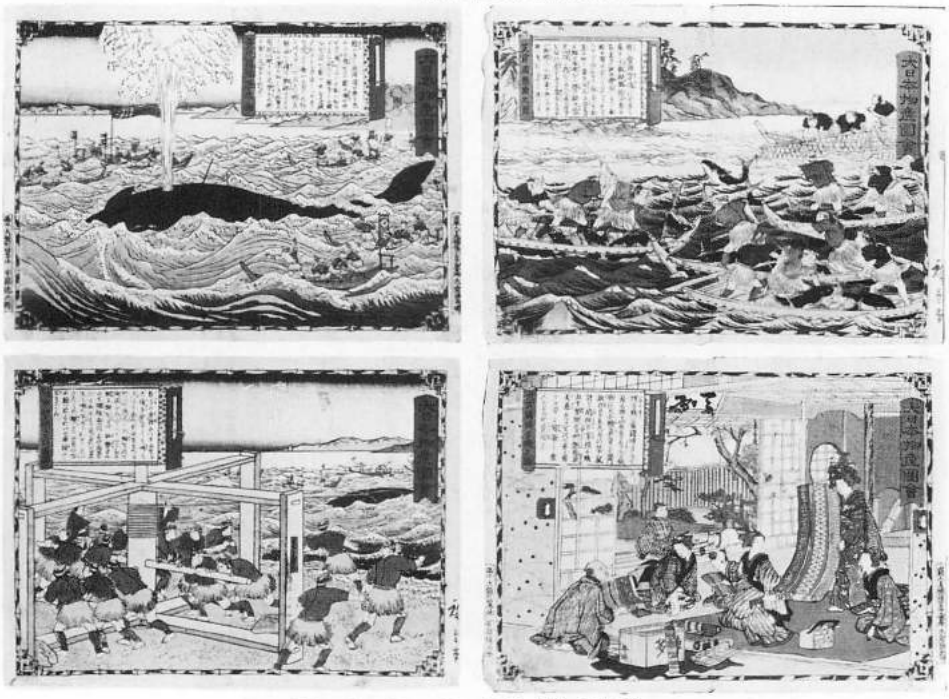
3　福岡大坂海路行程

四、都築家資料

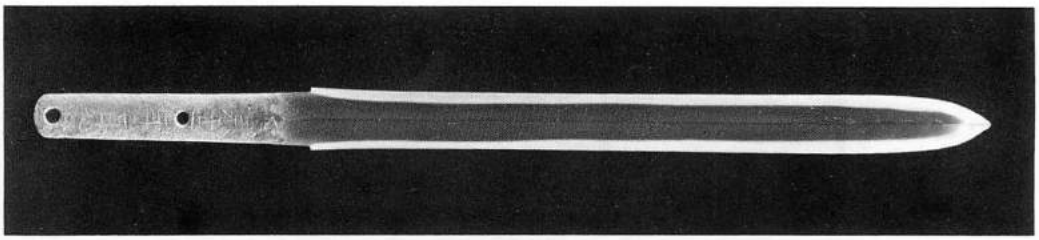
1　黒田長政知行宛行状

その他の購入資料

一、絵画

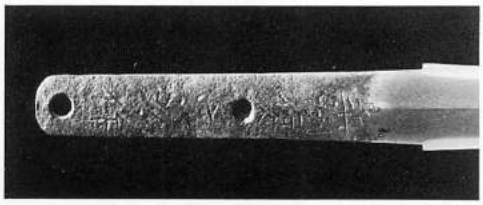


37・40・44・45　大日本物産図絵



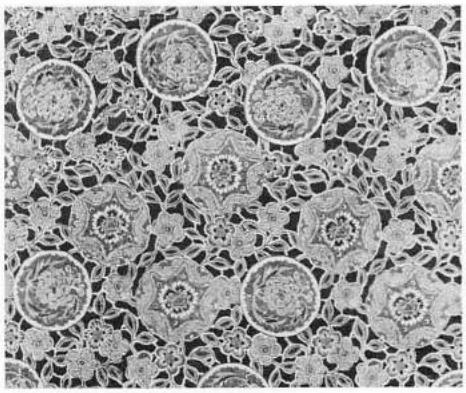
1　剣　銘「築州住人宗源作　應永十二年二月九日」

同　茎裏

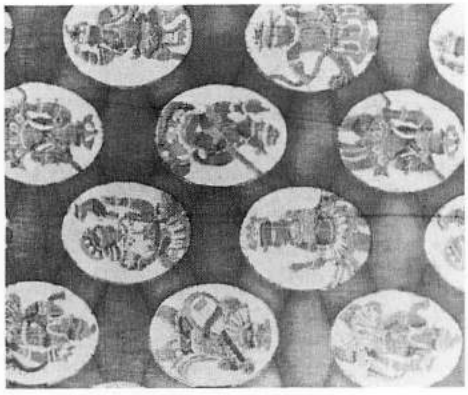


同　茎表

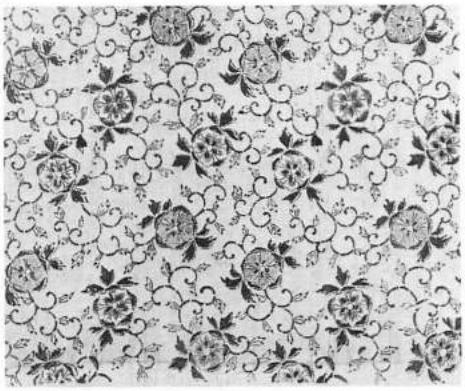
12　唐子模様長崎更紗



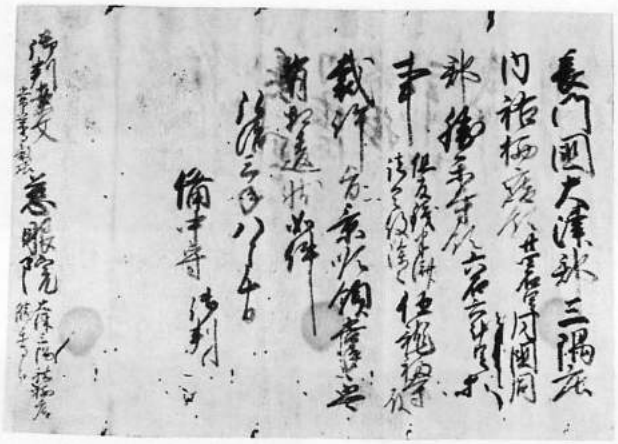
22　花丸模様堺更紗



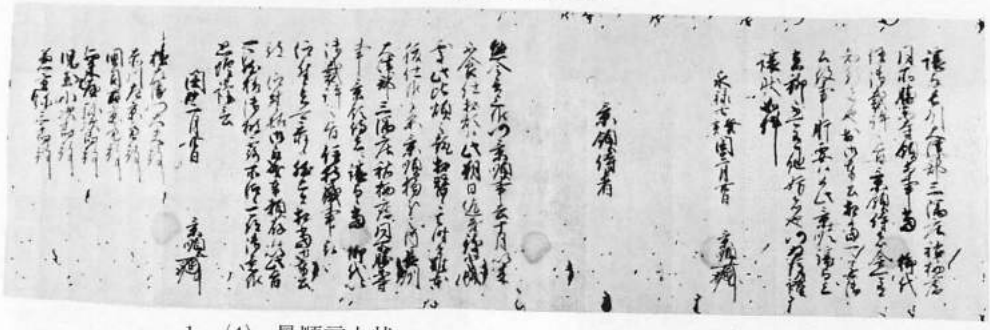
11　人物丸模様長崎更紗



14　花模様京更紗



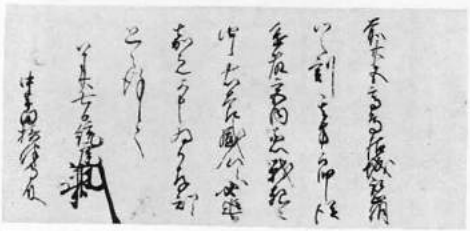
1－(1)　備中守某安堵状



1－(4)　景順言上状

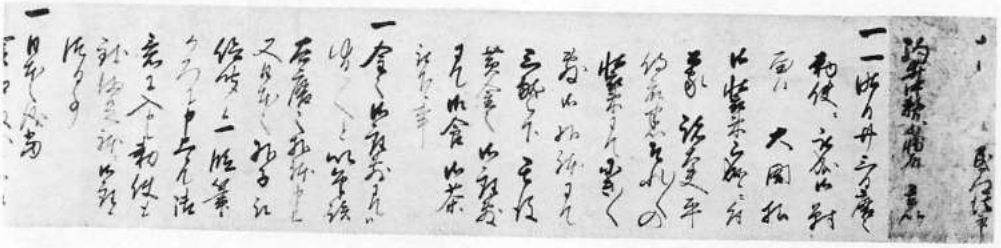
1－(2)　景順譲状

2－(2)　大友義統感状



2－(1)　立花統虎感状

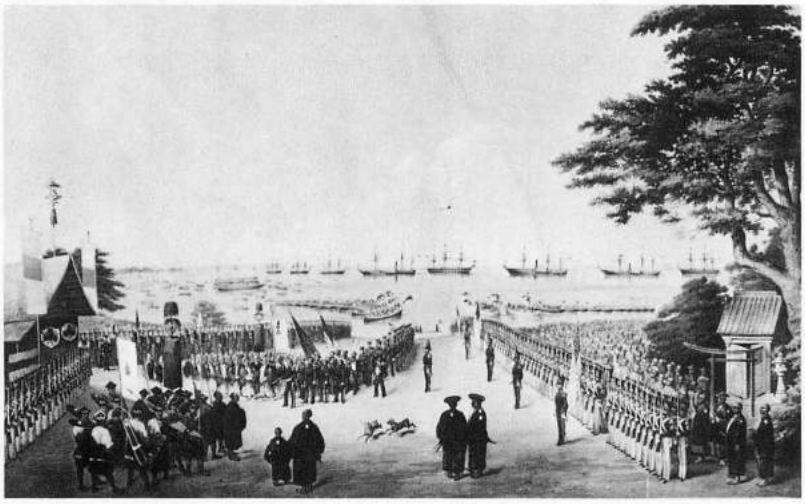
2－(3)　大友義統感状



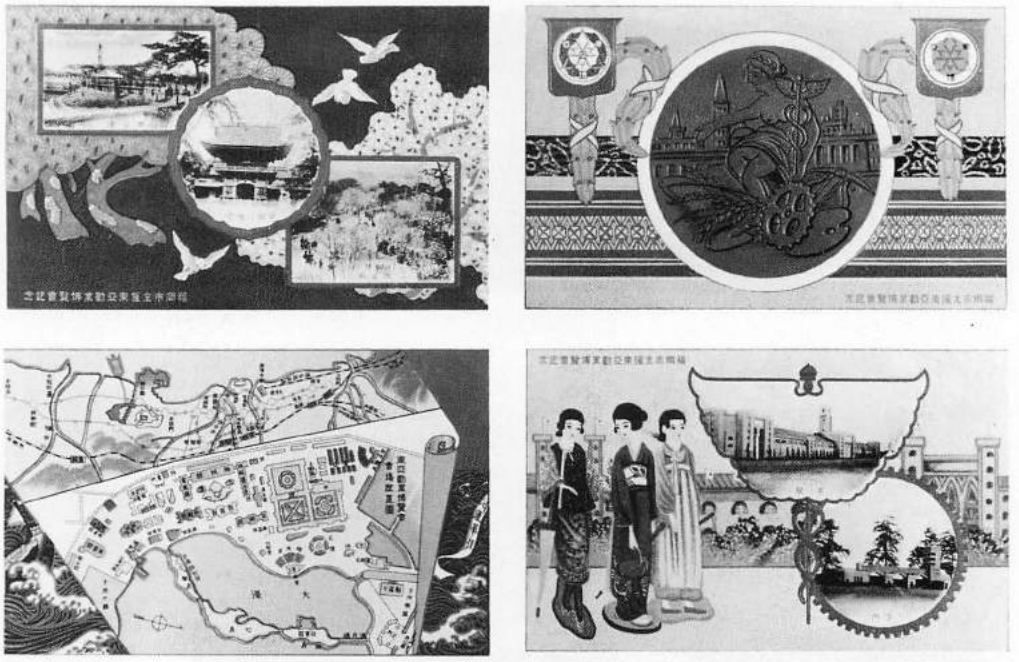
4　前田玄以書状

2 切支丹高札

2 Vue en Panorama du Portet du Baie de Nagasaki
(長崎港の風景)



114 Landing of Commodore Perry, officers & men The Squaron
(上陸直前の図)



35　絵葉書（東亜博記念）

14　ポスター（たのむぞ石炭）

18　ポスター（梅ケ谷ー長門屋‥）

〈凡　例〉

一、本目録では、昭和六十一年度の収蔵品を寄贈、寄託、購入の順にならべ、さらに家別資料として点数の多い順に配列した。

一、購入資料のなかでは、家あるいはまとまりのある資料を点数の多い順にならべ、そのほかの資料については絵画、書跡、工芸品、古文書、文書、歴史資料、書籍、地図・絵図等、絵葉書・ポスター・その他、古銭の順に配列した。

一、漢字は基本的に常用漢字を使用した。

一、記載の文字が不明の場合は□とし、原本通りのときは（例）系（ママ）とした。さらに検討を要するものは（例）㊙と記した。

一、法量の単位はセンチメートルである。

一、各項の（例）86P1234と記した番号は備品番号である。Pは寄贈、Dは寄託の略である。購入資料については省略した。

一、古文書については、原則として、時代、名称、品質・形状、作者（発信者、筆者等）、備考の項を設けたが、紙幅などの関係から、各文書について適宜省略した項目もある。点数については、原則として一件一点とした。

一、古文書類の名称は、（仮）の記号を付して、便宜的に与えたものもある。

一、古文書は、明治以前を古文書、明治以後を文書とした。

一、民俗資料については、次の凡例を設けた。

1　民俗資料は沼津市歴史民俗資料館の分類を参考にし、生活、生産、交通交易、社会生活、信仰・年中行事、芸能・娯楽、人の一生、民俗知識、その他の順に配列した。

2　カタカナ表記を用いた名称は、外来語・地方名等である。なお、通称・形態などの記載を特に必要とするものに関しては（　）で記した。

3　備考には、用途等を記した。

一、各資料のうち絵画、書跡、工芸品は、基本的に名称、員数、品質・形状、法量、銘文等、時代、作者、備考の項を設けた。

一、書籍の時代の項に記したのは、基本的に発行年月日である。写しや編集、序文などの区別はそのつど記した。

一、各資料は、おおむね書式は統一したが、それぞれの資料により若干の異同があり、形態・法量・記録状態については省略したものもある。

〈資料解題〉

〈寄贈〉

一　具足師田中家資料

（寄贈者）田中雄助
（現住所）福岡市中央区

田中家は、慶長九年（一六〇四）以来福岡藩の御抱具足師を代々勤めた家であり、藩主より八石四人扶持を賜っている。

この資料は、武士の表道具である武具甲冑類から床几や、手水所の粧物という生活用品にまで多岐にわたる新調及び修理に関する資料からなっており、具足師田中家の活躍および福岡藩における具足師の生活の一面を具体的に示す資料として貴重である。

二　進藤ハツノ資料

（寄贈者）進藤ハツノ
（現住所）福岡市中央区

先代進藤正平氏（明治一五年生）が東中洲で営んでいた料亭「雪の家」において用いた道具類をはじめとして、その後、春吉に移り住んでから料亭で使用した道具及び家庭生活の用具類である。明治末から昭和期までの町家の生活の一面が伺えるものが多いなかで、特に昭和一〇年頃のハツノ氏使用の花嫁かんざし、角隠しなど婚礼用髪飾り一式は完全に揃っており、貴重な民俗資料である。

三　森恍二郎資料

（寄贈者）森恍二郎
（現住所）福岡市東区

現在「五十二万石如水庵」を名乗る菓子商の菓子型資料。福岡市内での菓子商としては最も古い創業として知られ、江戸期から福岡一円の寺社用の菓子を作る。明治期には約一六〇の寺社に納めたと言われるが、その他、学校の校章を施した型もある。菓子型は基本的には図柄を施した台と菓子の厚みをつけるための木枠、名称ゲス（下司カ）各一から成る。落雁・生菓子共に使用されるが、落雁のように薄手で型を損ないやすいものはゲスを二つに分け、両側から挟むようにしたものもある。

現在当主は一五代目。本資料にはよく墨書で「森治三郎」と記されるのがみえるが、この人名は一三代目の当主である。従って、この墨書のある菓子型は大正から昭和時代初期までに作製されたものであることがわかる。江戸から昭和時代までという長い時間の流れのなかで使用された菓子型を一四〇余点も揃えた意義は大きい。

四　木村節夫資料

（寄贈者）木村敏子
（現住所）福岡市早良区

木村節夫氏（明治三八年～昭和五九年）による油壷のコレクションである。油壷は整髪用油を入れる容器で、日本髪を結う女性の身近な化粧道具の一つであった。口の締まった小ぶりの壷であり、愛玩の対象ともなって、様々なデザインのものが作られるようになった。当コレクションには古伊万里の染付、赤絵を主に備前、竜門司、三島手などの資料も含まれ、美術工芸品としても興味深い。

五　主基斎田関係資料

（寄贈者・現住所）

鶴田サツエ　福岡市早良区
吉浦ツイ　福岡市西区
坂口シズエ　福岡市早良区
船越チカ　福岡市城南区
牛尾タカ　福岡市西区
鶴田善仁　福岡市早良区
篠塚キクエ　福岡市南区
高田耕作　福岡市早良区
柴田カテ　福岡市西区
鶴田ハツノ　福岡市早良区

天皇即位礼の大嘗祭で祭場を二ヶ所設け、東を悠紀、西を主基と呼ぶ。一九二八（昭和三年）の即位礼では主基斎田を早良郡脇山（福岡市早良区）に定めた。本資料はその祭典で使用された衣裳や写真等の記録であり、この祭典のあり方を具体的に示してくれる資料である。

六　松尾信子資料

（寄贈者）松尾信子
（現住所）福岡市南区

日本の伝統的歌謡である謡曲、長唄、民謡や、昭和初期に流行した歌謡曲、童謡などのレコード資料からなり、昭和初期の世相の一面をうかがい知ることができる。

七　飯尾寿一資料

（寄贈者）飯尾寿一
（現住所）福岡市博多区

飯尾楽古堂は下市小路（現博多区下呉服町）「三苦観古堂」の系譜を引く表具師である。本資料は飯尾家で代々使用されたものばかりである。なかでも、櫛田神社還宮祭に使用した一連の用具や消防関係等の社会生活用具は博多町人の生活を知る上で貴重なものである。

八　中江恒生資料（追加分）

（寄贈者）中江恒生
（現住所）東京都目黒区

中江家は黒田孝高に召抱えられ、福岡藩二代藩主黒田忠之から一七石四人扶持を給わり代々「御付御納戸」という近習役を勤めた。本資料は幕末～明治期の当主中江正義の残した明治期の日記類が中心である。正義氏は一一代藩主黒田長溥の近習として活躍し、明治の一時期に熊本県に在職ののち黒田家の家扶を勤めた人物であり、昭和五九年度に当館に寄贈された中江家資料とあわせて貴重といえる。

九　池辺ミチエ資料

（寄贈者）池辺ミチエ
（現住所）大野城市

池辺ミチエ氏（大正一一年生）は佐賀県鹿島市の染め物屋に生まれた。娘時代より布地が好きで家業に従事するかたわら、佐賀県立鹿島高等女学校で和裁の技術を修得した。二〇年前、大野城市に移り呉服屋を開業して現在に至っている。四〇年来の和服とのつき合いの中で、着物を縫える人が少なくなったのを残念に思い、本来の縫い方、技法の上に立った着崩れしない縫製の方法を研究された。本資料は昭和初期の着物を知る上で貴重なものといえる。

一〇　清水豊資料

（寄贈者）清水　豊
（現住所）福岡市南区

井尻地区はかつて農業中心の地域であった。戦後、都市化の波によって宅地化が進行し、耕地は減少の一途をたどっている。清水氏は当地で、専業から兼業へと推移しながらも農業を続けている。本資料は氏が機械化農法導入以前に使用していた農具類である。

一一　篠田文司資料

（寄贈者）篠田文司
（現住所）福岡市南区

明治以降パラフィンの輸入によって、それまでの和蠟燭にかわり洋蠟燭が登場してきた。福岡市の製蠟業者は大浜と大名にあったが、篠田氏はこの大浜の鳩錨印洋蠟燭の製造元である。本資料は篠田洋蠟燭工業所で廃業まで使用されていたものである。動力化される以前の手動によるもので、使用痕もあり、生産の過程を知ることができる。

一二　井上清助資料

（寄贈者）井上清方
（現住所）筑紫郡那珂川町

この資料は、明治初年から大正のはじめまでの博多人形師井上清助の奮闘史であるが、同時に博多人形の苦闘の歴史でもある。アイデアマン井上清助の活躍の一面がわかる貴重な資料である。

一三　渡辺文吉資料

（寄贈者）渡辺文吉
（現住所）福岡市南区

この資料のなかで、大博劇場で公演された「陪審制度裁判劇」の広告やカルピスの広告は、当時の世相を反映したものとして興味深い。

一四　橋本友美資料

（寄贈者）橋本友美
（現住所）福岡市南区

この資料は、藩札、地図ならびに裂地等と多岐にわたっている。とくに藩札と裂地は貴重である。

一五　安田達雄資料

（寄贈者）安田達雄
（現住所）福岡市西区

安田家は代々福岡藩の馬方を勤め、幕末には一〇石五人扶持を給わり新屋敷（現在の福岡市中央区六本松）に住んでいた。本資料は幕末～近代のもので、馬術免状相伝に関するものの他に西洋馬術の教本写などが含まれており、福岡藩の馬方の実態を示す資料として貴重である。

一六　大曲米二資料

（寄贈者）大曲米二
（現住所）宗像郡福間町

当地域は国鉄東福間駅開設にもとない、宅地化が進行したかつての農村である。大曲氏の耕作地も団地建設用地となり、農業を廃業するに至った。本資料は畜力・人力による農具である。そのうち犂は博多で製造されたものである。

一七　岩下富士雄資料

（寄贈者）岩下富士雄
（現住所）福岡市中央区

福岡の生活用具類。杵と蒸籠は今も農家などではよく用いられるが、農村が都市化していく過程でその大半は失われたと言ってよい。歳も押し迫り一家総出で餅をつく光景に出合うことも殆どなくなった。本資料は杵が三点。蒸籠は一点あり四段式。両資料ともほぼ当初の形態を保つ。その他、室内用具類もある。なかでも長火鉢は五徳・銅壺などの金属製付属品も揃っており、生活資料としての価値は高い。

一八　川上喜一郎資料

（寄贈者）川上喜一郎
（現住所）福岡市南区

高取焼生活用具類。高取焼は文禄・慶長の役後渡来した陶工八山（高取八蔵）を陶祖とする焼き物で、福岡県内では広く愛用され続けたもの。享保元年（一七一六）、現在の早良区に窯が開かれ、藩の御用窯として発展した。後世になると、直方・小石原など各所にも窯が設けられ、同種の陶器が大量に生産出荷され、次第に人々の暮らしのなかに普及した。

一九　玉川桂資料

（寄贈者）玉川桂
（現住所）福岡市西区

玄海島で使用された配置売薬の袋。薬局・薬店がまだ開かれていなかった頃、富山などを中心に配置薬を専門に扱った行商人がいた。現在も薬事法の定めるなかで配置薬は続けられているが、戦前は朝鮮半島から満州までも廻ったといわれる。本資料は胃薬・妊婦用の薬であるが、岡山県総社市と福岡県鳥栖市の製薬会社の製品である。

二〇　森寿一資料

（寄贈者）森　寿一
（現住所）宗像郡福間町

手光地区は現在でも豊富な耕作地を有する農村である。当地で農業を営む森氏は大規模経営に属する専業農家である。農法の変化とともに、農具は動力化され、畜力農具は使用しなくなっている。本資料はいずれも畜力農具である。

二一　真砂嘉一資料

（寄贈者）真砂嘉一
（現住所）福岡市中央区

旧博多部瓦町などを中心に製作された、「博」銘の刻印のある博多七輪、煉炭用七輪、瓦質の炬燵用行火である。福博の町で戦前まで一般に用いられた道具であるが、現在では見ることができない。

二二　進藤一馬資料

（寄贈者）進藤一馬
（現住所）福岡市南区

博多聖福寺の仙厓（一七五〇～一八三七）の落款、印章を有する画幅。淡い墨とたっしゃな筆使いに仙厓の絵の特徴があらわれる。

進藤一馬氏は、第一七代の福岡市長である。

二三　梶原昭代資料

（寄贈者）梶原昭代
（現住所）福岡市早良区

桶は長い間貯蔵・運搬・洗濯など日常生活の中で幅広く使用された道具であった。しかし、現在ではこれを作る職人が少なくなり、加えて箍（タガ）を修理する者もいなくなったので、桶を使用する姿を見掛けることも稀になった。本資料は漬物などに使用されたものである。

二四　中牟田勝喜資料

（寄贈者）中牟田勝喜
（現住所）春日市

東郷平八郎は、鹿児島市出身で明治の海軍軍人である（一八四七～一九三四）。この資料は、東郷の気質の一端を示す好資料である。

二五　江口・磯野資料

（寄贈者）江口遥子
（現住所）北九州市門司区
（寄贈者）磯野正助
（現住所）福岡市南区

この資料は、西郷吉之助の書状である。幕末から明治期の激動のなかで、政治的に多大の影響を与えた西郷の一面を示してくれる資料である。

二六　星出和範資料

（寄贈者）星出和範

（現住所）春日市

伝単とは、宣伝ビラのこと。この資料は、戦後久留米市で公聴車が散蒔いたものである。

二七　井筒屋資料

（寄贈者）井筒屋
（現住所）博多区

遠藤承山賢なる人物が藩主より相模石手水鉢を拝領した際に、精中という人物が和歌をそえて祝いを述べた書状。福岡藩士のものとされるが、江戸時代の武士の生活、文化が窺える貴重な資料である。

二八　平川清忠資料

（寄贈者）平川清忠
（現住所）福岡市西区

「凡眼不識重價真寶」と記した安重根（一八一九～一九一〇）の手になる書である。安重根は明治四二年（一九〇九）ハルピン駅頭で前韓国統監伊藤博文を狙撃し、翌年死刑に処せられた人物である。本資料は彼が獄中にあり処刑される前に書かれた。

二九　嶺　旭蝶資料

（寄贈者）嶺　旭蝶
（現住所）福岡市中央区

盲僧琵琶の古い形のものとして筑前琵琶の創始者、橘旭翁が使用したとの伝えがある。携行に便利なように胴は幅細く、音色を考えてか肉厚となっている。本資料は現在も演奏できる状態にあり、また数少ない盲僧琵琶の参考例として貴重である。

三〇　古谷松江資料

（寄贈者）古谷松江
（現住所）名古屋市南区

花崗岩の庚申塔である。城南区別府一丁目一三－三の敷地内に建てられていたもので、表には陰刻で天明五年の年記が刻まれている。市内にある庚申塔の中で都心部に近いものとして貴重である。

＜寄　託＞

一　勝福寺資料

（寄託者）勝福寺
（現住所）福岡市西区

勝福寺は西区今津に位置し、大覚禅師（蘭渓道隆）を開山に仰ぐ禅宗寺院である。

当館に寄託された資料は、寺に伝えられた中世文書二巻、近世・近代文書のほかに、大応派の寺院となった近世の寺のようすを物語る書画資料が中心である。博多区千代崇福寺の住持の書蹟や福岡藩御用絵師尾形氏の絵など福岡の近世文化を知るうえで重要な資料である。

二　精華女子高校資料

（寄託者）精華女子高等学校長　吉田豊
（現住所）福岡市博多区

裁縫女学校として伝統ある精華女子高等学校に残された裁縫教材縫見本であり、昭和初期の女子教育に用いられたものである。今では専門家の仕事となりつつある和裁が、昭和初期まで一般子女の日常的な仕事として教育されていたことがうかがえる。なお素材の大半は箱崎木綿が用いられている。

三　衣笠資料

（寄託者）衣笠守道
（現住所）粕屋郡篠栗町

衣笠家は江戸時代福岡藩の御用絵師の一つで、守昌（もりまさ）以下代々御用を勤め、寄託者の守道氏はその後裔にあたられる。

資料は初代守昌の中国医術人物図（巻子装）をはじめ、六代守由の物語図屏風、八代守正の松鶴図屏風のほか、近代の地図の写しなど一〇九件がある。同じく御用絵師であった尾形家に比べて、衣笠家の資料はわずかしか現存が確認されておらず、近世筑前の文化を知る上で貴重である。

四　青柳文書

（寄託者）青柳興曽基
（現住所）福岡市西区

青柳家は中世には福岡市西区飯盛の飯盛神社の大宮司であったが、織豊時代の兵農分離の過程で武士身分を捨て、更に正徳年間（一七一一～一七一六）には神職もやめて帰農している。『筑前国続風土記拾遺』の著者青柳種信は同家庶流の生まれである。

本館へ寄託された同家文書は、中世文書二五通を含んでいるが、内容としては飯盛神社の社領あるいは神事に関するものがほとんどであり、他に近世・近代文書も含んでいる。

＜購入資料＞

一　鹿島鍋島家資料

鹿島鍋島家は寛政重修諸家譜によれば肥前佐賀藩二代藩主鍋島勝茂の九男直朝が寛永一九年に肥前鹿島に二万石余を分封され、以来幕末まで鹿島藩主として続いた家である。江戸時代の資料は一二四七点で領内の支配、村政、土地関係、租税、金融など多方面にわたっているが、初代～五代藩主の時期の幕藩関係が窺える書状も含む。二代直条以下、各藩主は和歌、漢詩を好み自作の文芸作品も多い。幕末期の藩主直彬は宗家にかわって上京し活躍している。

明治時代以後の資料は、書簡が半分を占めている。とくに、沖縄初代県令、元老院議官、貴族院議員などを歴任した直彬宛が約九五〇通ある。また、直彬が大隈重信に宛てた書簡の控えが約二〇〇通含まれている。

二　鍋島氏関係資料

本資料は肥前佐賀鍋島氏関係諸記録の近世中後期の写本類が中心である。内容は家譜・系図（竜造

寺氏、鍋島氏、鍋島直茂個人）、聞書（鍋島直茂関係）、軍記（肥前戦国期、近世鍋島氏関係）、倫理（葉隠など武家思想書）、雑（その他の諸記録類）などに分けられ、特に鍋島直茂に関する記録類がまとまっている。直茂は戦国期は肥前竜造寺氏の家臣であったが、豊臣秀吉に認められて佐賀の実権を把り、関ガ原の戦では徳川家康に通じて佐賀藩の基礎を作った人物である。従って本資料は佐賀藩の成立と初期藩政が窺える貴重な資料といえる。

三　福岡藩関係資料

本資料は近世中後期の福岡藩に関する資料で、内容は黒田氏関係（系図、外戚伝など）、福岡藩参勤交代関係（道中案内、覚書、行程図）、福岡藩軍事関係（藩士武術書類、切支丹関係出兵記録）、日記類などに大別できる。とくに参勤交代については福岡藩の海上交通に関する資料が含まれている。また明暦三年の大村藩領での切支丹信徒が発見された際の福岡藩の出兵記録や福岡藩の砲術書などもみられ、藩政関係の貴重な資料といえる。

四　都築家資料

都築家は黒田氏に播州時代から仕えた家で、「慶長年中士中寺社知行書付」では都築十兵衛は「古御譜代」として三〇〇石を給っている。のち黒田長政三男高政が支藩東蓮寺（直方）藩をたてると支藩家臣として二〇〇石を給わっているが、東蓮寺藩の本藩合併により再び本藩家臣として二三〇石を給わっている。本資料は都築家に対する各藩主の知行宛行状が中心であるが、黒田如水等の書状も含む貴重な物である。

〈寄贈資料〉

《寄贈資料》

一　具足師田中家資料

〈資料内訳〉

一　江戸時代資料

1　家関係……三七件　四九点
2　借用証文……七件　七点
3　和歌……三件　三点
4　絵画……五件　二九点
5　版本・刊本……一〇件　一七点
6　雑……一三件　二六点

二　明治時代以降資料

1　家関係……二件　三点
2　田中助太郎関係……二〇件　七〇点
3　和歌・絵画……二件　三点
4　版本・刊本……五件　五点
5　雑……一三件　一三点

〈総計〉四八件　六四点

I　江戸時代資料

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
	1　家関係							
	(1)家譜・系図							
一	田中家系図	江戸時代	不詳	巻子装	1巻	19×17	表紙のみ	1698
	(2)家職(具足師)							

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二	武田流革具足註文	延享5年7月	(自)塩屋多治郎 (宛)岩井幸平	継紙	1通	28×156	(裏書)多治郎	86P2
三	革具足註文	天明5年9月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	34×286	(裏書)天明香西様	86P3
四	革具足註文	天明5年9月吉日	(自)藤井甚太郎 (宛)田中源工	継紙	1通	34×321	(裏書)天明藤井甚太郎	86P4
五	革具足註文	天明6年3月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	31×327	(裏書)天明	86P5
六	革具足註文	天明7年4月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	巻子装	1巻	31×450		86P6
七	(仮)註文書	江戸時代		巻子装	1巻	27×622		86P7
①	再拝註文	(江戸時代)4月吉日	不詳	切紙	1通	26×39	断簡	
②	註文	天保14年	(自)香西唱生 (宛)田中源工	継紙	1通	26×53		
③	籠手註文	文政4年	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	26×40		
④	敷革註文	文化6年	(自)国吉善八 (宛)田中幸蔵	継紙	1通	26×40		
⑤	籠手註文	文化7年	(自)国吉善八 (宛)田中幸蔵	切紙	1通	26×39		
⑥	註文(苧才配)	文化7年7月	(自)国吉善八 (宛)田中幸蔵 鎗師左工助	切紙	1通	26×39		
⑦	註文(粧籠手、粧袴、脚継)	文化8年	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	26×81		
⑧	註文(馬幟金幣)	文化10年閏9月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	継紙	1通	26×71		

⑨	修覆註文	文化9年11月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	継紙	1通	26×94		
⑩	註文(芋才配)	文化10年閏8月	(自)国吉善八 (宛)田中源工 鎗師左工助	継紙	1通	26×40		
⑪	旗竿註文	享和元年	(自)香西庄左衛門 (宛)田中幸蔵	切紙	1通	26×21		
⑫	首甲立物註文	寛政11年12月	(自)香西庄左衛門	切紙	1通	26×24		
八	覚(領収証)	文化元年12月17日	(自)大賀七左衛門 (宛)藤井伝太夫 中山藤四郎	切紙	1通	26×30	86P8	
九	六甲修覆註文	文化3年11月	(自)国吉善八 (宛)田中幸蔵	書綴	1綴	28×20	7枚綴	86P9
一〇	六甲修覆註文	文化7年正月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中幸蔵	書綴	1綴	27×20	3枚綴	86P10
一一	六甲新製註文	文化8年7月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	継紙	1通	31×265	(裏書)矢野安太夫様分	86P11
一二	註文	文化9年9月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	31×163	(裏書)国吉十次郎様分	86P12
一三	註文	文化9年11月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	39×133	(裏書)文化9年香西庄左衛門様分	86P13
一四	六甲修覆註文	文化10年10月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	書綴	1綴	27×20	4枚綴	86P14
一五	六甲新製註文	文化13年10月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	継紙	1通	27×31	(裏書)文化13年国吉善八様	86P15
一六	(仮)鎧図案及び型紙一式	文化・文政期	田中	紙本墨書	1式	(最大)71×36		86P16
一七	(仮)註文覚	江戸時代末		巻子装	1巻	24×710		86P17
①	御仕立代帳	嘉永元年9月	(自)田中源工 (宛)奥御物書御役所	継紙	1通	23×111		

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
②	覚(冑修復の件)	(江戸時代)12月2日	(自)遠山金左衛門 (宛)岩井	切紙	1通	23×36	
③	金物註文	(江戸時代)午6月	(自)藤 (宛)金物屋五兵衛	継紙	1通	23×89	
④	三ツ具之覚	(江戸時代)申4月	不詳	継紙	1通	23×56	久野様分
⑤	武田流三田町旗註文	(江戸時代)己酉年5月23日	(自)香西庄左衛門 (宛)吉田六郎太夫	切紙	1通	23×33	
⑥	奉願口上之覚	(江戸時代)4月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	切紙	1通	23×35	
⑦	借用證拠之事	(江戸時代)9月17日	(自)田中源工 具足師源之丞 (宛)木村善作	切紙	1通	23×27	
⑧	御品々御新製積り之覚	(江戸時代)9月10日	(自)田中源工 (宛)御武具方御役所	切紙	1通	23×37	
⑨	註文	文政2年卯3月	(自)国吉善八 (宛)田中源工	切紙	1通	23×36	
⑩	註文	文政2年卯5月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	23×35	
⑪	覚(代金明細)	文政7年6月	(自)井筒屋新兵衛 (宛)田中源工	継紙	1通	23×77	
⑫	立物寸尺	文政3年7月	(自)野田勘之丞 (宛)田中源工	切紙	1通	23×32	
⑬	修復註文	天保10年己亥3月	(自)志水大助他3名 (宛)田中源工 田中源助	切紙	1通	23×34	
⑭	奉願上口上之覚	天保5年10月	(自)具足師兵五他4名 (宛)御武具方御役所	継紙	1通	23×37	

一八	(仮)鎧材料一式	文政3年辰正月	田中源工	革・絹・金属	1式	(最大)15×20	革・紐・鎖維・絹・金具蝶番・糸	86P218
一九	覚帳(御武具方御用)	文政3年辰5月吉祥日	田中源工	長帳	1冊	32×12		86P219
二〇	甲冑製作一通り伝授証文之事	文政4年巳2月	(自)中尾幾太夫(宛)田中源工・源助	一紙	1通	33×34		86P220
二一	御戎衣新製註文	文政6年11月1日	(自)外山平一他3名(宛)田中源工他5名	継紙	1通	39×408	包紙あり(52×39)	86P221
二二	御小具足新製註文	文政6年11月1日	(自)外山平一他3名(宛)田中源工他4名	継紙	1通	39×306	包紙あり(52×38)	86P222
二三	御箱類并御包物新製註文	文政6年癸未11月1日	(自)外山平一他3名(宛)(田中源工)	継紙	1通	39×257	包紙あり(52×39)	86P223
二四	差出物註文	文政6年11月	(自)許山喜右衛門他3名(宛)田中源工他7名	継紙	1通	31×225	包紙あり(45×31)	86P224
二五	若殿様御用註文御軍鼓	文政7年申2月	香西庄左衛門他4名	書冊	1冊	27×19		86P225
二六	覚(御用分、正介)	文政7年6月	(自)井筒屋新兵衛(宛)田中源工	継紙	1通	24×125	糸やより書付、正介分	86P226
二七	御簇具足御修覆積り	文政8年酉10月御用分	田中源工	長帳	1冊	37×12		86P227
二八	覚(註文書)	文政10年	(自)杉山新五郎(宛)田中源工・源助	継紙	1通	31×151	(裏書)杉山様	86P228
二九	御六具修覆入用諸品覚	文政12年丑正月	(自)田中源工(宛)香西庄左衛門	小横帳	1冊	16×12		86P229
三〇	覚	文政・天保期	田中、他	長綴	1綴	12×36		86P230
三一	(仮)山田新三郎様註文	天保3年辰10月改之	田中源工カ	小横帳	1冊	15×12		86P231

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三	覚(註文書)	天保3年11月	(自)山田新三郎 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	34×131	(裏書)山田様	86P32
三	細工覚	天保4年3月	田中源工カ	小横帳	1冊	17×12		86P33
三	井手左膳様用	天保5年午2月	田中源工	小横帳	1冊	16×12		86P34
三	(仮)久世半三郎様註文	天保5年2月	田中源工カ	小横帳	1冊	18×12	田住惣右衛門・高城太次郎様分	86P35
三	磯部様御用	天保5年6月	田中源工カ	小横帳	1冊	18×11		86P36
三	斎藤様御用	天保5年午6月	田中源工	小横帳	1冊	15×12		86P37
三	平野権九郎様御用御番具足新製積り書之覚	天保5年6月2日	田中源工	小横帳	1冊	15×12		86P38
三	御神器御鎧御修覆積り書之覚	天保5年6月8日	(自)田中源工他 (宛)御武具方御役所	書冊	1冊	23×15	如水公・長政公・他	86P39
四	(仮)原田孫次郎様分申冑註文	天保5年6月16日	田中源工カ	長綴	1綴	12×35		86P40
四	大塚権兵衛様用	天保5年午10月	田中源工カ	小横帳	1冊	15×11		86P41
四	六甲新製註文	天保5年11月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・田中源助・岩井源之丞・春田勝平	継紙	1通	35×345	(裏書)矢野様	86P42
四	御用天保八御番具ひかへ	天保8年	田中源工	長帳	1冊	37×12		86P43
四	覚(修覆商品代金書上)	天保9年戌3月	(自)井筒屋新兵衛 (宛)田中源助	長綴	1綴	12×33		86P44
四	修覆註文	天保9年10月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	27×243		86P45

四六	修覆註文	天保10年2月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	27×153	(裏書)浦上様	86P46
四七	修覆註文	天保10年3月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	39×104	(裏書)天保10年隅田幸之丞	86P47
四八	甲冑修覆註文	天保10年3月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	27×360		86P48
四九	修覆註文	天保10年4月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	巻子装	1巻	19×238		86P49
五〇	御新製并御修覆註文	天保10年亥7月	(自)許山喜右衛門 大鶴幸太夫 (宛)田中源工他5名	継紙	1通	31×178		86P50
五一	六甲新製註文	天保11年5月	(自)香西唱生 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	35×343	(裏書)郡様	86P51
五二	萬細工覚帳	天保13年正月	田中	長綴	1綴	32×11	(裏表紙)三十番神田中氏	86P52
五三	修覆註文	天保14年正月	(自)香西唱生 (宛)田中源工	継紙	1通	27×171		86P53
五四	六甲新製註文	天保14年4月	(自)香西唱生 (宛)田中源工 春田勝平	継紙	1通	36×329	(裏書)浦上様	86P54
五五	御具足修覆積り書之覚	天保14年卯8月 吉日	田中源工カ	切紙	1通	12×33		86P55
五六	覚(武具の註文)	天保15年正月	(自)桐山九郎次一寛 (宛)田中源工	継紙	1通	39×192	(裏書)桐山様	86P56
五七	註文	天保15年6月	(自)興膳五六郎 (宛)田中源工	継紙	1通	33×158	(裏書)天保15年興膳様	86P57

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
六八	覚(軍扇料金弐百疋の受取)	天保15年辰4月	(自)三宅伊勢 (宛)小林信太郎	一紙	1通	23×25	破損あり	86P58
六九	修覆註文	弘化2年3月	(自)香西唱生 (宛)田中源工	継紙	1通	27×135		86P59
六〇	乍恐奉願上口上之覚	弘化4年未11月	(自)田中源工他4名 (宛)御用御役所	長綴	1綴	12×35	家職の件	86P60
六一	細工覚帳(小川様御用)	弘化5年申3月24日	田中源工	長帳	1冊	32×12		86P61
六二	新製註文	嘉永2年4月	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工 鍛冶三之丞	継紙	1通	36×110	(裏書)松尾斎左衛門	86P62
六三	御被御小手雛形積り書之覚	嘉永2年酉10月	(自)田中源工 (宛)奥御物書所御役所	切紙	1通	12×37		86P63
六四	新製註文	嘉永3年正月	(自)中田市郎平 野村武左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	39×308	(裏書)吉田六郎太夫様	86P64
六五	新製註文	嘉永5年2月6日	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源工 春田政平	継紙	1通	31×89	(裏書)東合様	86P65
六六	覚(修覆註文書)	嘉永5年閏2月	(自)伊丹東里 (宛)田中源工	継紙	1通	36×136	(裏書)伊丹様	86P66
六七	覚(註文書)	嘉永6年	(自)根本忠作存誠 (宛)田中源工	継紙	1通	32×179		86P67
六八	覚(修覆代銀)	(江戸時代)正月10日	(自)白銀師助七 (宛)田中源工	切紙	1通	24×19		86P68
六九	覚(修理用革ノ件)	(江戸時代)申正月17日	(自)大坂馬具屋安兵衛 (宛)田中源工	継紙	1通	17×60		86P69

七〇	覚(具足金物請求書)	(江戸時代)正月	(自)象眼屋与三右衛門 (宛)(田中源工)	切紙	1通	23×13		86P70
七一	覚(六具荒地胴錆留之件)	(江戸時代)2月8日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×21		86P71
七二	覚(註文)久世様御内渡辺嘉平	(江戸時代)2月15日	(自)田住惣右衛門 高城太次平 (宛)田中源工	継紙	1通	15×79		86P72
七三	覚(修理代銀書上)	(江戸時代)2月18日	田中源工カ	切紙	1通	16×36		86P73
七四	久野四兵衛様御用	(江戸時代)巳3月18日	田中源工 岩井勘之丞	長帳	1冊	31×12		86P74
七五	覚(御櫓御用勤書上)	(江戸時代)巳12月	田中源工	継紙	1通	16×125	後欠	86P75
七六	覚(修覆代銀)	(江戸時代)2月	(自)大工嘉平 (宛)田中源助	紙	1通	16×23		86P76
七七	覚(修覆商品書上)	(江戸時代)3月2日	(自)鞘師久右衛門 (宛)中山半蔵	切紙	1通	15×16		86P77
七八	覚(領収書)	(江戸時代)4月3日	(自)京寺町□平 (宛)法性寺	切紙	1通	16×14		86P78
七九	覚(御註文)	(江戸時代)丑3月4日	(自)名江屋六右衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	15×26		86P79
八〇	覚(修覆商品領収書)	(江戸時代)戌3月17日	(自)京都芳野屋三郎 兵衛 (宛)田中源工	切紙	1通	15×26		86P80
八一	覚(商品代金書上)	(江戸時代)3月17日	(自)金屋弥助 (宛)田中源助	切紙	1通	16×48	金屋は京都御蒔絵箸	86P81
八二	覚(久賀屋安兵衛出金の件)	(江戸時代)戌3月21日	古銭屋弥三兵衛	切紙	1通	15×15	(裏書)久賀様分	86P82

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
八三	覚(領収書)	(江戸時代)3月21日	(自)大坂中村屋伊右衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	16×16	中村屋は大坂御革羽織所	86P83
八四	覚(修覆代金書上)	(江戸時代)3月26日	(自)金屋弥助 (宛)田中源助	継紙	1通	16×34	金屋は京都御蒔絵箒	86P84
八五	覚(修覆代銀請求書)	(江戸時代)3月27日	(自)田中源工 (宛)豊嶋又兵衛	継紙	1通	13×39		86P85
八六	金物註文	(江戸時代)子3月	(自)田中源工 (宛)錺屋五兵衛	切紙	1通	12×34		86P86
八七	覚(修覆註文)	(江戸時代)寅3月	(自)塗師利平 (宛)田中源工	切紙	1通	23×21		86P87
八八	覚(修覆代金請求書)	(江戸時代)戌4月5日	(自)金錺師鱗形屋又兵衛 (宛)錺屋五兵衛	継紙	1通	16×26	鱗形屋は京都金銀粉細工地所	86P88
八九	覚(領収書)	(江戸時代)4月9日	(自)中村屋伊右衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	15×16	中村屋は大坂御革羽織所・御武具馬具革類所	86P89
九〇	覚(商品代金)	(江戸時代)戌4月11日	(自)三宅伊勢 (宛)田中源助	切紙	1通	16×14		86P90
九一	受取申事	(江戸時代)月19日	(自)多波屋利作 (宛)中山半蔵	切紙	1通	15×13		86P91
①	覚(御具足一式并箱新規仕調)	(江戸時代)戌6月	田中源工	継紙	1通	15×102		
九二	註文(御具足一式)	(江戸時代)4月19日	(自)鈴木七蔵 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	15×67		86P92
九三	御値段	(江戸時代)戌4月	(自)吉野屋善助 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	16×42		86P93
九四	覚(太鼓代金受取)	(江戸時代)申5月12日	(自)橋村理右衛門 (宛)かざり屋五兵衛	継紙	1通	16×34	橋村は京都太鼓師	86P94

九五	覚(具足註文)	(江戸時代)卯5月	田中源工	継紙	1通	15×75		86P96
九六	覚(商品代銀書上)	(江戸時代)午6月4日	(自)高田六右衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	14×28		86P96
九七	覚(修覆代金書上)	(江戸時代)巳6月	(自)鍛弥次兵衛 (宛)田中源工	切紙	1通	23×23		86P97
九八	覚(旗竿新製及び修覆)	(江戸時代)7月11日	(自)御武具方 (宛)田中源助	切紙	1通	15×14		86P98
九九	覚(御旗竿新製)	(江戸時代)7月11日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×13		86P99
一〇〇	御番具足御修覆積り之覚	(江戸時代)7月16日	(自)具足師源之丞 (宛)御武具方御役所	長綴	1綴	12×33		86P100
一〇一	金物直段書覚	(江戸時代)午7月	(自)鍛師五兵衛 (宛)田中源工カ	継紙	1通	26×107		86P101
一〇二	覚(甲冑註文)	(江戸時代)酉7月	(自)大名町明石 (宛)田中源工カ	継紙	1通	16×39		86P102
一〇三	覚(御番具足修覆之件)	(江戸時代)辰8月3日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×23		86P103
一〇四	覚(御番具足修覆之件)	(江戸時代)8月3日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×21		86P104
一〇五	覚(代銀書上)	(江戸時代)卯8月11日	(自)紅屋宗七 (宛)入地村源平	切紙	1通	16×29		86P105
一〇六	(仮)註文書	(江戸時代)8月23日	(自)てっや弥右衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	16×43		86P106
一〇七	覚(御旗竿竹)	(江戸時代)8月26日	田中源工カ	切紙	1通	15×20	図あり	86P107
一〇八	覚(買物代、仕立代の請求書)	(江戸時代)8月	(自)田中源工 (宛)中川李右衛門	継紙	1通	24×98	包紙に「大平御飾台御修覆註文」とあり	86P108

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一〇九	覚(甲頭巾修理料)	(江戸時代)8月	(自)田中源工 (宛)堀川茂兵衛	切紙	1通	16×17		86P109
一一〇	覚(具足仕立料領収書)	(江戸時代)9月27日	(自)田中源工 (宛)立花様御用	継紙	1通	16×63		86P110
一一一	御革笠新製仕調之覚	(江戸時代)酉9月	田中源工	切紙	1通	16×34		86P111
一一二	御糸御註文之覚	(江戸時代)丑10月1日	(自)田中源工 (宛)奥御買物所	継紙	1通	15×47		86P112
一一三	覚(商品代金書上)	(江戸時代)10月28日	(自)中村屋伊右衛門 (宛)岩井勘兵衛	切紙	1通	16×18	大坂中村屋は御革羽織所	86P113
一一四	覚(商品代銀書上)	(江戸時代)11月6日	(自)竹若藤平 (宛)田中源工	切紙	1通	15×18		86P114
一一五	覚(請求書)	(江戸時代)11月7日	(自)紅屋宗七 (宛)田中源工	切紙	1通	16×17		86P115
一一六	豊島左助様覚(修理代領収書)	(江戸時代)11月25日	(自)田中源工 (宛)宇嶋与六	一紙	1通	27×32	井出様御用書もあり	86P116
一一七	覚(商品代銀書上)	(江戸時代)11月27日	(自)江橋林如水 (宛)田中源工	切紙	1通	17×36		86P117
一一八	御用御手紙御用細工御書	江戸時代	田中	包紙	1通	14×31		86P118
①	覚(註文見積)	(江戸時代)10月1日	田中源工カ	切紙	1通	15×32		
②	覚(註文金額見積)	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	15×29		
③	惣平註文	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	12×32		
④	細工割合之覚	(江戸時代)霜月12日	田中源工カ	切紙	1通	23×33	源工・直七の名あり	
⑤	積書	(江戸時代)12月	(自)鍛冶弥次兵衛 (宛)筑御取次	切紙	1通	15×37		

⑥	覚(註文見積下書)	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	15×34				
⑦	覚(註文見積下書)	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	16×31				
⑧	御註文之通	(江戸時代)丑7月	(自)田中源工(宛)香西	継紙	1通	15×52				
⑨	断簡(軍扇、陣羽織筆代銀書上)	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	12×33				
⑩	(仮)細工割合之覚	江戸時代	不詳	切紙	1通	12×33				
一二九	覚(修覆代銀領収書)	(江戸時代)12月2日	(自)吉田喜三郎(宛)田中源工	切紙	1通	15×27				86P119
一三〇	六甲修覆註文	江戸時代	田中源工カ	書綴	1綴	24×17	6枚綴			86P120
一三一	御修覆御註文(案)	江戸時代	田中源工カ	書綴	1綴	23×15	4枚綴			86P121
一三二	御註文之廉	江戸時代	田中源工カ	書綴	1綴	23×15	4枚綴			86P122
一三三	(仮)香西様伊丹様他分甲冑註文	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	12×32				86P123
一三四	甲冑修覆註文	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	11×32				86P124
一三五	(仮)箱、笠註文	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	16×16				86P125
一三六	修復註文	江戸時代	田中源工カ	継紙	1通	16×107				86P126
一三七	(仮)平皿、盃、三方、木具註文	江戸時代	梶原七太夫	切紙	1通	15×15				86P127
一三八	(仮)拾壱番、拾三番他甲冑註文	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	12×32	朱書あり			86P128
一三九	(仮)御旗竿仕立註文	江戸時代	不詳	継紙	1通	16×103				86P129
一三〇	(仮)壱番、四番、十三番等甲冑註文控	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	12×35				86P130
一三一	陣太鼓註文	江戸時代	田中源工カ	継紙	1通	27×74	後欠			86P131
一三二	註文	江戸時代	不詳	継紙	1通	27×23	後欠			86P132

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一三三	註文	江戸時代	(自)竹田丞右衛門 荒木竹右衛門 (宛)田中源工 春田勝平	継紙	1通	31×42	前欠	86P133
一三四	稽古具足註文覚	江戸時代	(自)三田稽古所 (宛)田中源工	巻子装	1巻	25×196		86P134
一三五	大福帳(修覆代金書上)	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	12×35		86P135
一三六	覚(修覆代金)	江戸時代	田中源工カ	長綴	1綴	11×33		86P136
一三七	覚(田中源工、源助受持番号書上)	江戸時代	田中源工カ	切紙	1通	15×20		86P137
一三八	甲冑修覆覚	江戸時代	田中源工カ	継紙	1通	15×152	す田様分	86P138
一三九	覚(辻又四郎御頼分)	江戸時代	田中源工カ	継紙	1通	15×55		86P139
一四〇	家紋一式	江戸時代	田中源工	紙本墨書	3枚	39×42(最大)		86P140
一四一	竹森正助方預り御旗竿積り	江戸時代	田中源工	切紙	1通	15×21		86P141
一四二	短冊寸法	江戸時代	大野幸左衛門	切紙	1通	15×9		86P142
一四三	職人覚帳	江戸時代	田中源工カ	小横帳	1冊	15×11		86P143
一四四	(ホ)精好織之雛形(緋地織文金)	江戸時代	田中源工カ	紙本著色	1枚	55×73	亀甲文・獅子文様図案	86P144
一四五	(ヘ)紺地精好織之雛形	江戸時代	田中源工	紙本著色	2枚	37×62	龍文様図案	86P145
一四六	精好織之雛形(金地織文緋)	江戸時代	田中源工	紙本著色	1枚	310×70	織物図案	86P146
一四七	(ロ)錦織之雛形(紺金段織)	江戸時代	田中源工	紙本著色	1枚	121×70	龍と星座の文様図案	86P147

一四八	（イ）錦織之雛形（赤地織文金）	江戸時代	田中源工	紙本著色	1枚	309×69	獅子と龍の文様図案	86P148
一四九	半月雛形修覆下地図類	弘化2年	田中源工カ	紙本墨書	3枚	（最大）39×26		86P149
一五〇	乳縄（背縄、臍縄等）	江戸時代	田中源工カ	紙紐	7本	（最大）119×2	包紙あり	86P150
一五一	乳縄（脛甲縄、背縄、乳縄、膝縄、臂甲縄、臍縄、首甲縄）	文政2年5月	田中源工カ	紙紐	7本	（最大）123×2	包紙に「乳縄文政二年五月矢野五次郎様」とあり	86P151
一五二	御乳縄（御背縄、御臍縄、御乳縄、御脛甲縄、御鉢巻縄、御臂甲縄、御膝甲縄）	江戸時代	田中源工カ	紙紐	7本	52×30	包紙に「矢野安太夫様分」とあり	86P152
一五三	乳縄（乳縄、背縄、臍縄、臂甲縄、肘縄、脛甲縄、首甲縄、御頭縄、籠手縄）	江戸時代	田中源工	紙紐	24本	（最大）123×2	包紙あり	86P153
一五四	乳縄（背縄、臍縄）	江戸時代	田中源工	紙紐	3本	（最大）106×2	包紙あり	86P154
一五五	乳縄（背縄、臍縄、鉢縄、臂縄脛縄、膝縄、乳縄）	江戸時代	田中源工	紙紐	7本	（最大）117×2	包紙あり	86P155
一五六	（仮）甲冑見本図および型紙類	江戸時代	田中源工	紙	一括	（最大）28×80		86P156
一五七	紋本（木村氏）	江戸時代	田中源工	紙	1枚	5×4	包紙あり、絹を和紙に貼付	86P157
一五八	御戎衣註文箱	文政6年	田中源工	桐製	1箱	47×13×13	№三～二四在中	86P158

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
	（3）書状類							
一六九	書状	享和～文政期	田中幸蔵・源工	巻子装	1巻	19×837		86P159
一六〇	口上之覚	文化8年7月	鍛冶屋次吉	巻子装	1巻	25×145		86P160
一六一	口上之覚	文化11年戌3月	（自）田中源工 （宛）衣非三郎右衛門	切紙	1通	12×37		86P161
一六二	乍恐奉願上口上之覚	文政12亥12月	大工源蔵、伜左平	長綴	1綴	12×35		86P162
一六三	奉願口上之覚	文政13年10月	（自）田中源工 （宛）衣非三郎右衛門	継紙	1通	24×58	家職の甲冑の金物糸の件	86P163
一六四	御本丸御神器御鎧綴糸代銀前借請取申事	天保5年午7月	（自）具足師岩井勘五郎 （宛）木村喜右衛門	切紙	1通	23×32		86P164
一六五	書状（御用のため御館詰所へ罷出の件）	天保7年10月18日	（自）衣非三郎右衛門 （宛）田中源工	切紙	1通	15×44		86P165
一六六	乍恐奉願上口上之覚	天保10年11月	（自）具足師勘之丞、貞吉、源之丞 （宛）御奉公様	継紙	1通	24×111	家職について	86P166
一六七	乍恐奉願上口上之覚	天保10年11月	（自）田中源工、具足師勘五郎他3名 （宛）御武具方御役所	継紙	1通	24×70	家職について	86P167
一六八	書状（御財用方御本締の件）	安政6年	（自）浅嶋喜左衛門他2名 （宛）田中源工	継紙	1通	15×196		86P168
一六九	書状（田中源工病死の件）	（安政6年）4月4日	（自）中島伝治他3名 （宛）田中源助	継紙	1通	14×55		86P169

一七〇	書状(田中源工病死の件)	(安政6年)4月4日	(自)片山利右衛門 浦田民右衛門 (宛)田中源助	継紙	1通	16×44		86P170
一七一	書状(田中源工病死の件)	(安政6年)4月4日	(自)岡部八左衛門他1名 (宛)田中源助	継紙	1通	14×49		86P171
一七二	書状(田中源工初七日の件)	(安政6年)4月7日	(自)今村文蔵 (宛)田中源助	切紙	1通	15×37		86P172
一七三	口上(昨日の御不幸の件)	(安政6年)4月19日	(自)香西庄左衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	16×20		86P173
一七四	書状(親源工死去のため家職跡抱の件)	(安政6年)5月	具足師田中源助	継紙	1通	15×38		86P174
一七五	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)正月22日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×26		86P175
一七六	書状(金具御塗手本指出の件)	(江戸時代)正月26日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		86P176
一七七	書状(御用のため出殿の件)	(江戸時代)正月17日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×31		86P177
一七八	書状(私信)	(江戸時代)正月28日	(自)山内仁太夫 (宛)田中源工	継紙	1通	15×45		86P178
一七九	書状(御用のため役所へ罷出の件)	(江戸時代)正月20日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	14×38		86P179
一八〇	書状(私信)	(江戸時代)正月26日	(自)明石九左衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	15×28		86P180
一八一	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)正月10日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×30		86P181
一八二	書状(奥御鎧取入の件)	(江戸時代)正月3日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×20		86P182

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一八三	書状(床几の緒の件)	(江戸時代)正月24日	(自)御召料方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×28		86P183
一八四	書状(床几に関して申談の件)	(江戸時代)正月14日	(自)御召料方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×22		86P184
一八五	書状(江戸表にて御詮儀の件)	(江戸時代)正月2日	(自)佐藤勘太夫 (宛)田中源工	継紙	1通	15×40		86P185
一八六	包紙「御用」	江戸時代		切紙	1通	16×26		86P186
①	書状(播磨方繕構の件)	(江戸時代)正月28日	(自)加藤甚五太夫他3名 (宛)田中源工	継紙	1通	16×69		
一八七	書状(御用のため役所へ罷出の件)	(江戸時代)2月1日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×34		86P187
一八八	書状(御用のため御館罷出の件)	(江戸時代)2月1日	(自)勝野辰助他2名 (宛)田中源工	切紙	1通	15×34		86P188
一八九	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)2月6日	(自)御武具方 (宛)田中源介	切紙	1通	16×28		86P189
一九〇	書状(馬廻組に指加への件)	(江戸時代)2月10日	(自)梶原七十郎 (宛)田中源工	切紙	1通	14×67		86P190
一九一	書状(奥頭取衆より御用聞引合の件)	(江戸時代)2月11日	(自)奥御物書所 (宛)田中源工 具足師勘之丞	継紙	1通	15×52		86P191
一九二	書状(御旗式の件)	(江戸時代)2月12日	(自)吉井忠郎 (宛)田中源工	継紙	1通	15×31		86P192
一九三	書状(請持御用の件)	(江戸時代)2月17日	(自)丹安左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	15×38		86P193

一九四	書状(悴源助御用手伝に召連)	(江戸時代)2月17日	(自)明石善左衛門	(宛)田中源工	切紙	1通	15×35
一九五	書状(私信)	(江戸時代)2月23日	(自)中田喜左衛門	(宛)田中源工	継紙	1通	15×57
一九六	書状(旗竿仕立の件)	(江戸時代)2月26日	(自)御武具方	(宛)田中源工	切紙	1通	16×29
一九七	書状(御書付写)	(江戸時代)西2日	福岡鍛冶町御用聞町人格 久賀屋安右衛門		切紙	1通	15×49
一九八	書状(御用のため御館詰所への罷出の件)	(江戸時代)3月1日	(自)明石九左衛門	(宛)田中源工	継紙	1通	15×44
一九九	書状(幹亮宮神具御用の御鎧積書の件)	(江戸時代)3月1日	(自)御買物所	(宛)田中源工	切紙	1通	15×31
二〇〇	書状(竹森正助預り御道具修理の件)	(江戸時代)3月3日	(自)御買物所	(宛)田中源工	切紙	1通	15×36
二〇一	書状(長右衛門御用のため出殿)	(江戸時代)3月5日	(自)吉田源兵衛他2名	(宛)田中源工	継紙	1通	14×55
二〇二	書状(先日より御咄合の件)	(江戸時代)3月6日	(自)安永延助	(宛)田中源工	継紙	1通	15×61
二〇三	書状(神代与三兵衛所持の熊皮取上の件)	(江戸時代)3月13日	(自)佐藤勘太夫	(宛)田中源工	切紙	1通	16×22
二〇四	書状(御用のため御館詰所へ出浮の件)	(江戸時代)3月20日	(自)池内弥次右衛門	(宛)田中源工	継紙	1通	16×36
二〇五	書状(私信)	(江戸時代)4月3日	(自)小森仁兵衛他2名	(宛)田中源助	継紙	1通	16×53
二〇六	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)4月3日	(自)御武具方	(宛)田中源工	切紙	1通	15×32

86P194	
86P195	
86P196	
86P197	
86P198	
86P199	
86P200	
86P201	
86P202	
86P203	
86P204	
86P205	
86P206	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二〇七	書状(御同姓死去の件)	(江戸時代)4月4日	(自)中田喜左衛門他2名 (宛)田中源助	継紙	1通	15×67		86P207
二〇八	書状(田中源工病死の件)	安政6年4月4日	(自)吉田源兵衛他2名 (宛)田中源助	継紙	1通	15×55		86P208
二〇九	書状(田中源工病死の件)	安政6年4月4日	(自)中尾列右衛門角野円兵衛 (宛)田中源助	巻紙	1通	15×52		86P209
二一〇	書状(修覆商品註文に対する返答)	(江戸時代)4月4日	(自)京都柳屋八右衛門 (宛)田中源助	継紙	1通	16×31	前欠	86P210
二一一	書状(田中源工病死のため御内払の件)	安政6年4月8日	(自)中島伝治、沢村兵助他2名 (宛)田中源助	継紙	1通	14×51		86P211
二一二	書状(依頼品仕立の件)	(江戸時代)4月11日	(自)白水直兵衛 (宛)田中源工	切紙	1通	14×47		86P212
二一三	書状(奥御鎧道具の件)	(江戸時代)4月12日	(自)御武具方 (宛)田中源工・源介	切紙	1通	15×38		86P213
二一四	書状(代銀受取の出方の件)	(江戸時代)閏4月12日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×44		86P214
二一五	書状(御用のため御手水所へ罷出の件)	(江戸時代)4月13日	(自)御武具方 (宛)田中源工 具足師貞吉	切紙	1通	15×35		86P215
二一六	書状(相達儀のため御館詰所へ罷出の件)	(江戸時代)閏4月19日	(自)山内仁太夫 (宛)田中源工	継紙	1通	15×35		86P216
二一七	書状(依頼した具足引取の件)	(江戸時代)4月22日	(自)明石三右衛門 (宛)田中源助	切紙	1通	15×50		86P217
二一八	書状(修覆商品註文の返答)	(江戸時代)4月26日	(自)大坂中村屋伊衛門 (宛)田中源助	継紙	1通	14×123		86P218

二九	奉願口上之覚(新製具足の件)	(江戸時代)4月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	一紙	1通	24×36	86P219
二〇	書状(御用のため御館詰所へ出浮)	(江戸時代)5月1日	(自)郡徳左衛門 (宛)泉又平	巻紙	1通	16×53	86P220
二一	書状(御吸物御酒頂戴の件)	(江戸時代)5月8日	(自)不詳 (宛)田中源工・源助	切紙	1通	14×20	86P221
二二	書状(田中源工の死後の件)	(江戸時代)5月4日	(自)中島伝治他3名 (宛)田中源助	継紙	1通	14×57	86P222
二三	書状(御跡式の件)	(江戸時代)5月4日	(自)千賀喜三次 (宛)田中源工	継紙	1通	15×94	86P223
二四	書状(私信)	(江戸時代)5月8日	(自)瀧田久左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	14×47	86P224
二五	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)5月10日	(自)奥御物書所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×27	86P225
二六	書状(御用のため役所出方の件)	(江戸時代)5月12日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30	86P226
二七	書状(長崎御番御用の番具修理の件)	(江戸時代)閏5月15日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29	86P227
二八	書状(乳縄式の件)	(江戸時代)5月15日	(自)上野弥右衛門 的野濯兵衛 (宛)田中源工	切紙	1通	16×41	86P228
二九	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)閏5月22日	(自)奥物書所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×33	86P229
三〇	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)5月24日	(自)青木金左衛門他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×104	86P230
三一	書状(御粧具の取懸の件)	(江戸時代)閏5月25日	(自)具足師源九・貞吉 (宛)奥御手水所	切紙	1通	15×33	86P231

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二三二	書状(御用のため詰所出方の件)	(江戸時代)5月27日	(自)原藤右衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	15×52		86P232
二三三	書状(御用のため御館罷出の件)	(江戸時代)閏5月28日	(自)丹安左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	15×52		86P233
二三四	書状(御用のため出殿の件)	(江戸時代)6月4日	(自)安松丈助 蒲池仙蔵 (宛)田中源工	切紙	1通	14×45		86P234
二三五	書状(婚姻のため祝儀の件)	(江戸時代)閏6月4日	(自)青木金左衛門他3名 (宛)田中源工	継紙	1通	14×58		86P235
二三六	書状(御用稽古具足の見積書の件)	(江戸時代)6月6日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×26		86P236
二三七	書状(御鎧箱革覆積り書差出の件)	(江戸時代)6月6日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×33		86P237
二三八	書状(御用のため御館罷出の件)	(江戸時代)6月6日	(自)加来猪兵衛他1名 (宛)田中源工	継紙	1通	14×43		86P238
二三九	書状(御用のため御館へ罷出の件)	(江戸時代)6月10日	(自)丹安左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	15×43		86P239
二四〇	書状(御鎧櫃革覆仕調の件)	(江戸時代)6月10日	(自)御買物所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×36		86P240
二四一	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)6月11日	(自)御手水所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×26		86P241
二四二	書状(見積書提出の件)	(江戸時代)6月14日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	14×25		86P242
二四三	書状(軍事改正のため大造りの取調の件)	(江戸時代)6月14日	(自)白水嘎兵衛他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×103		86P243
二四四	書状(長崎御用引切請持の件)	(江戸時代)6月14日	(自)山田佐次郎他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	14×129		86P244
二四五	書状(御召鎧拝見の件)	(江戸時代)6月25日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×32		86P245

二四六	書状(塗笠繕ぬりの件)	(江戸時代)6月23日	(自)御召料方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×27		86P246
二四七	書状(差出雛前の横折の件)	(江戸時代)6月24日	(自)丹安左衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	15×33		86P247
二四八	書状(御召具足風間御取出の件)	(江戸時代)6月28日	(自)御武具方 (宛)田中幸蔵	継紙	1通	15×46		86P248
二四九	書状(武具手入の件)	(江戸時代)7月1日	(自)御武具方 (宛)田中源助	継紙	1通	16×37		86P249
二五〇	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)7月2日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×32		86P250
二五一	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)7月3日	(自)御手水所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×23		86P251
二五二	書状(幹亮宮の見分の件)	(江戸時代)7月4日	(自)御到来所 (宛)田中源工	切紙	1通	16×17		86P252
二五三	書状(具足値の打合せの件)	(江戸時代)7月4日	(自)中島伝作 野間国八 (宛)田中源工	切紙	1通	14×27		86P253
二五四	書状(具足師兵五家業相続人の件)	(江戸時代)7月7日	(自)御武具方 (宛)田中源工他2名	継紙	1通	15×67		86P254
二五五	書状(御用のため呼出状)	(江戸時代)7月7日	(自)奥書付所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29		86P255
二五六	書状(御用鎧修覆の件)	(江戸時代)7月9日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×34		86P256
二五七	書状(本丸神器修理の件)	(江戸時代)7月11日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×37		86P257
二五八	書状(旗竿仕立の件)	(江戸時代)7月11日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×23		86P258
二五九	書状(口上)	(江戸時代)7月13日	(自)梶原七太夫 (宛)田中源助	切紙	1通	15×21		86P259

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二六〇	書状(御用の件)	(江戸時代)7月13日	(自)奥御物書所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		862260
二六一	書状(退身願書指出の件)	(江戸時代)7月18日	(自)中村伊右衛門他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	14×85		862261
二六二	書状(御鎧見積書御用のため出方の件)	(江戸時代)7月22日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	23×15		862262
二六三	書状(御粧御胸当紐付の件)	(江戸時代)7月24日	(自)御買物所 (宛)田中源工 具足師源助	継紙	1通	15×26		862263
二六四	書状(御役旗竿6本製造の件)	(江戸時代)7月24日	(自)御武具方 (宛)具足師中	切紙	1通	15×24		862264
二六五	書状(私信)	(江戸時代)7月27日	(自)井手勘七 (宛)田中源工	継紙	1通	15×52		862265
二六六	書状(御用のため奥へ罷出の件)	(江戸時代)7月28日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		862266
二六七	書状(龍等院の修理物見分の件)	(江戸時代)7月30日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×28		862267
二六八	書状(金甲積書差出の件)	(江戸時代)7月30日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		862268
二六九	書状(御神具修覆品の拝見)	(江戸時代)7月30日	(自)御買物所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×50		862269
二七〇	書状(御神具見分の件)	(江戸時代)8月1日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×40		862270
二七一	書状(申談御用のため出方の件)	(江戸時代)8月1日	(自)御買物所 (宛)田中源工	継紙	1通	16×22		862271
二七二	書状(奥御武器御風間取出の件)	(江戸時代)8月3日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		862272

二五三	書状(番具2領代銀の件)	(江戸時代)8月4日	(自)高原久右衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	14×44		86P273
二五四	書状(註文の笠の件)	(江戸時代)8月4日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×27		86P274
二五五	書状(御召具足風間御取出の件)	(江戸時代)8月4日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×27		86P275
二五六	書状(鉄砲大頭任命の件)	(江戸時代)8月8日	(自)寺嶋与平 野間六右衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	14×47		86P276
二五七	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)8月12日	(自)奥御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×27		86P277
二五八	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)8月14日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29		86P278
二五九	書状(長崎に異国船渡来の件)	(江戸時代)8月18日	(自)梶原七十郎 (宛)田中源工	切紙	1通	15×48		86P279
二六〇	書状(血忌御免の件)	(江戸時代)閏8月19日	(自)外山平一他2名 (宛)田中源助	継紙	1通	16×44		86P280
二六一	書状(武器に関して出方の件)	(江戸時代)8月21日	(自)奥頭取当番 (宛)田中源工 具足師中	継紙	1通	15×39		86P281
二六二	書状(奥武具御風間の件)	(江戸時代)8月22日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×37		86P282
二六三	書状(具足用牛革の件)	(江戸時代)8月26日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29		86P283
二六四	書状(御本丸神器修覆済の見分)	(江戸時代)8月26日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×24		86P284
二六五	書状(本丸御宮祭礼のため出方の件)	(江戸時代)8月28日	(自)御家頼 (宛)田中源工	切紙	1通	15×28		86P285

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二六六	書状(御用のため相談の件)	(江戸時代)8月29日	(自)奥御物書(所) (宛)田中源工	切紙	1通	16×32		86P286
二六七	口上之覚(借銀返済の仕法の件)	(江戸時代)子8月	(自)田中源工 (宛)今井小四郎	継紙	1通	12×36		86P287
二六八	奉願口上覚(豊島又四郎病死に付妻(田中源工娘)引取の件)	(江戸時代)8月	(自)田中源工 (宛)丹安左衛門	継紙	1通	24×34		86P288
二六九	書状(御風聞に関する相談の件)	(江戸時代)9月1日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	継紙	1通	16×30		86P289
二七〇	書状(聖照権現祭礼の出方の件)	(江戸時代)9月1日	(自)御家頼 (宛)田中源工	切紙	1通	16×25		86P290
二七一	書状(江戸表へ持越の品の件)	(江戸時代)9月2日	(自)牛島安兵衛久野七蔵 (宛)田中源工	継紙	1通	14×48		86P291
二七二	書状(御本丸御宮祭礼のため出方の件)	(江戸時代)9月3日	(自)御家頼 (宛)田中源工	切紙	1通	15×28		86P292
二七三	書状(御具足取入の件)	(江戸時代)9月7日	(自)奥頭取当番 (宛)田中源工	継紙	1通	15×24		86P293
二七四	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)9月9日	(自)奥御買物方 (宛)田中源助	切紙	1通	15×26		86P294
二七五	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)9月10日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		86P295
二七六	書状(具足師御用のため出方の件)	(江戸時代)9月12日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×38		86P296
二七七	書状(御入来の趣正太夫方へ申聞)	(江戸時代)9月12日	(自)牧甚左衛門他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×65		86P297
二七八	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)閏9月12日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×34		86P298

二九九	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)9月13日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×22		86P299
三〇〇	書状(武具御風間見分の件)	(江戸時代)9月14日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	切紙	1通	16×22		86P300
三〇一	書状(竿の件)	(江戸時代)9月17日	(自)小鹿仁之助他1名 (宛)田中源工	切紙	1通	27×14		86P301
三〇二	書状(御神祭用帽子仕立の件)	(江戸時代)9月18日	(自)御買物所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×40		86P302
三〇三	書状(牛皮用心分五枚の件)	(江戸時代)9月19日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	16×37		86P303
三〇四	書状(滑革裁方の件)	(江戸時代)9月24日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×16		86P304
三〇五	書状(塗笠指出の件)	(江戸時代)9月25日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×25		86P305
三〇六	書状(春田屋勝平家名相続の件)	(江戸時代)9月26日	(自)御買物所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×25		86P306
三〇七	書状(御道具取入の件)	(江戸時代)9月28日	(自)長野安七他2名 (宛)田中幸蔵	継紙	1通	15×32		86P307
三〇八	書状(具足修理の見積書の件)	(江戸時代)9月28日	(自)内海内右衛門 大塩佐吉郎 (宛)田中源工	継紙	1通	15×50		86P308
三〇九	書状(御修覆之件)	(江戸時代)閏9月	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×20		86P309
三一〇	書状(武器見分のため出方の件)	(江戸時代)10月2日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	切紙	1通	16×22		86P310
三一一	書状(御見分のため出方の件)	(江戸時代)10月4日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×34		86P311
三一二	書状(五左衛門殿御見分の件)	(江戸時代)10月6日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×28		86P312

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三三	書状(御用のため御館詰所へ罷出の件)	(江戸時代)10月7日	(自)毛利太次右衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	15×45		86F313
三四	書状(風損の御番具足修復の件)	(江戸時代)10月8日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×30		86F314
三五	書状(御用のため出殿の件)	(江戸時代)10月17日	(自)大野宅左衛門他3名 (宛)田中源工	継紙	1通	14×95		86F315
三六	書状(旦那方隠居家督拝領の件)	(江戸時代)10月19日	(自)三原喜右衛門他2名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×75		86F316
三七	書状(奥武器御取入の件)	(江戸時代)10月22日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×34		86F317
三八	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)10月22日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×30		86F318
三九	書状(朱御渡の件)	(江戸時代)10月22日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	継紙	1通	16×36		86F319
三〇	書状(若殿様御鎧拝見の件)	(江戸時代)10月26日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×45		86F320
三一	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)10月28日	(自)御武具方 (宛)田中源工 具足師源之永	切紙	1通	15×30		86F321
三二	書状(同職中奥へ出方の件)	(江戸時代)10月28日	(自)御買物所 (宛)田中源工	継紙	1通	15×30		86F322
三三	書状(陣太鼓片皮塗の件)	(江戸時代)10月30日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×21		86F323
三四	書状(御用のため出方の件)	(江戸時代)11月5日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×27		86F324
三五	書状(具足受領の催促)	(江戸時代)11月11日	(自)岩永仁左衛門 (宛)田中源工	切紙	1通	16×30		86F325

三二六	書状(呼出の件)	(江戸時代)11月14日	(自)関島次太夫 (宛)田中源助	切紙	1通	15×30	86P326
三二七	書状(御着一折送付の件)	(江戸時代)11月18日	(自)中嶋伝次他3名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×51	86P327
三二八	書状(当季手入のための具足の件)	(江戸時代)11月18日	(自)御武具方 (宛)田中源工	切紙	1通	16×31	86P328
三二九	書状(御用のため役所へ罷出の件)	(江戸時代)11月24日	(自)中島伝次他3名 (宛)田中源工	継紙	1通	15×38	86P329
三三〇	書状(稽古用武具の手入れの件)	(江戸時代)11月26日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	紙	1通	16×36	86P330
三三一	書状(御用のため御本丸へ罷出の件)	(江戸時代)12月1日	(自)明石久左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	15×51	86P331
三三二	書状(御道具納めの件)	(江戸時代)12月6日	(自)御武具方 (宛)田中源工・源助	継紙	1通	15×24	86P332
三三三	書状(新製鎧着試の件)	(江戸時代)12月8日	(自)中嶋伝次他3名 (宛)田中源工	切紙	1通	15×40	86P333
三三四	書状(御用のため罷出の件)	(江戸時代)寅12月9日	(自)御武具方 (宛)田中源助	切紙	1通	15×24	86P334
三三五	書状(御用のため御館詰所へ出浮の件)	(江戸時代)12月13日	(自)丹安左衛門 (宛)田中源工	継紙	1通	15×42	86P335
三三六	書状(御召具足風間の件)	(江戸時代)12月15日	(自)御武具櫓役所 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29	86P336
三三七	書状(甲冑御試合の件)	(江戸時代)12月15日	(自)奥御買物方 (宛)田中源工	切紙	1通	15×29	86P337
三三八	書状(当季御番具足修覆の件)	(江戸時代)12月24日	(自)御武具方 (宛)田中源工	継紙	1通	15×39	86P338
三三九	書状(証拠相済の件)	(江戸時代)12月25日	(自)御武具方 (宛)田中源工 具足師源之丞	紙	1通	15×25	86P339

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三四〇	書状(具足修覆の件)	(江戸時代)12月26日	(自)御武具方(宛)田中源工・源助	継紙	1通	15×29		86P340
三四一	口上之覚(御新製御用の件)	(江戸時代)未12月	(自)田中源工(宛)御武具方御役所	長綴	1綴	12×36		86P341
三四二	書状(雑)	江戸時代	田中源工・源助	巻子装	1巻	19×686		86P342
三四三	書状(江戸より帰着のため祝儀)	江戸時代	(自)樋口彦兵衛他1名(宛)田中源工	切紙	1通	14×38	後欠	86P343
三四四	御陣羽織御立襟一門字諸品手間請取申上候事	江戸時代	不詳	継紙	1通	24×16	後欠	86P344
三四五	書状(長崎にロシア船渡来)	江戸時代	(自)小金丸六平太(宛)田中源工	紙	1通	15×49	後欠	86P345
三四六	書状(案)如水公二百五十年御忌の件)	江戸時代	田中源工	折紙	1通	12×31		86P346
三四七	書状(四宮用向の品物製作の件)	江戸時代	(自)松尾幸衛門(宛)田中源工	継紙	1通	15×76		86P347
三四八	書状(指物修理の件)	江戸時代	(自)不詳(宛)田中源工	切紙	1通	16×16		86P348
三四九	奉願口上覚(私跡抱の悴の件)	江戸時代	(自)伊藤惣平(宛)関半十郎	切紙	1通	15×21		86P349
三五〇	書状(御粧御用の品送りの件)	江戸時代	(自)御武具方(宛)田中源工・源介	継紙	1通	15×54		86P350
三五一	書状(御召道具取入の件)	江戸時代	(自)御武具方(宛)田中源工	継紙	1通	15×30		86P351
三五二	書状(御用のため罷出の件)	江戸時代	(自)奥御買物方(宛)田中源助	切紙	1通	15×18		86P352

(4) 雑

三三	口上之覚	文政10年亥12月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	長綴	1綴	12×36	(佐藤儀平より銭借用の件)
三四	宗旨就御改請証拠之事	天保7年申3月	(自)今泉新内他1名 (宛)田中源工	切紙	1通	24×27	
三五	宗旨就御改請証拠之事(写)	弘化2年2月	(自)前田権右衛門 (宛)吉田六郎太夫	紙	1通	15×31	
三六	到来帳	安政2年卯12月20日	田中	長帳	1冊	33×12	出産女子出生届
三七	下馬立札之事(秘伝書)	江戸時代	田中源工カ	巻子装	1巻	17×276	
三八	草鹿之巻(写)	(原)応永24年8月15日 (写)(江戸時代)	田中源工カ	巻子装	1巻	18×168	
三九	口上之覚	(江戸時代) 戌3月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	長綴	1綴	12×36	(佐藤儀平方に銭借用の件)
三〇	口上之覚	(江戸時代) 亥12月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	切紙	1通	12×36	(佐藤儀平方に銭借用の件)
三一	口上之覚	(江戸時代)12月	(自)田中源工 (宛)衣非三郎右衛門	切紙	1通	12×36	(佐藤儀平方に銭借用の件)
三二	御普請方位之事	(江戸時代) 甲寅12月	(自)増田佐吉 (宛)田中源七	継紙	1通	16×52	
三三	兵法全書(写)	江戸時代	田中源工	継紙	1通	24×37	
三四	案文(奉願口上之覚その他)	江戸時代	(自)田中源助 (宛)各位	長綴	1綴	(最大)15×68	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三六五	案詞帳	江戸時代	田中源工カ	長帳	1冊	12×32		86P365
三六六	(仮)住所録	江戸時代	田中源工カ	小横帳	1冊	12×18		86P366
三六七	断簡一括	江戸時代	田中源工・源助	紙袋	一括	(袋)30×16	袋に「文政六発未七月」とあり	86P367
	2、借用証文							
三六八	証文之事(写)	文政11年戌3月	(自)大工源蔵(宛)田中源工	一紙	1通	24×23	6銭1貫865匁借用証	86P368
三六九	(仮)借用証	文政11年戌3月	不詳	切紙	1通	15×20		86P369
三七〇	証拠之事(借用)	文政11年戌3月	(自)田中源工(宛)灰屋平左衛門	切紙	1通	24×35		86P370
三七一	借用証文之事(写)	文政11年戌	(自)田中源工(宛)綿屋平次郎	継紙	1通	24×68		86P371
三七二	借用証文之事(写)	文政11年戌3月	(自)大工源蔵(宛)田中源工	継紙	1通	24×35		86P372
三七三	証文之事(借用)	文政11年戌3月	(自)大工源蔵(宛)田中源工	一紙	1通	24×35		86P373
三七四	証文之事(借用)	文政11年戌3月	(自)大工源蔵(宛)田中源工	切紙	1通	24×29		86P374
	3、和歌							
三七五	書「百薬之長」「千年丹頂」	江戸時代	平野国臣カ	掛幅装	1幅	22×11	扇形、方形紙貼付	86P375

三六六	和歌「あめっちの始めは……」	江戸時代	(自)竹田斎機楽 (宛)定次公	巻子装	1巻	17×171	86P376
三六七	和歌「世の中のひとかすらしく……」	江戸時代	國蔵	石版掛幅装	1幅	23×41	86P377
	4、絵画						
三六八	田中定増(源工)肖像	寛政3年8月	田中定増	紙本著色掛幅装	1幅	82×31	86P378
三六九	田中厳(源工)肖像	天保13年	(賛)田中源工定益 (画)尾形探香	紙本著色掛幅装	1幅	90×29	86P379
三七〇	つぐみ図	江戸時代カ	岸良(雅之助)	紙本墨画	1幅	17×49	86P380
三七一	大井川歩渡之図	江戸時代カ	豊国	木版色摺メクリ	1枚	31×73	86P381
三七二	六十余州名所図絵	江戸時代	広重筆	木版色摺	25枚	(最大)29×22	86P382
	5、版本・刊本						
三七三	甲冑温知録(巻之上)	享保16年(写)	(著)佐久間光風 (写)貞国	書冊	1冊	28×20	86P383

「寛政三年辛亥八月六拾五歳調之定増(花押)」

「天保三壬寅年四月二日嗣子田中源工定益謹記之」「尾形探香守敬筆」「香探」(朱文方印)

扇面画を掛幅に貼付、「雅之助岸良」「良岸」(朱文方印)

「筑前筥崎」「筑後築瀬」等

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三八四	中古甲冑製作辨(下)	寛政13年正月発兌	須原屋茂兵衛版	書冊	1冊	26×18	江都書舗	86P384
三八五	鐵甲神皇図叢叙	享和3年3月	下谷散人菅俊	書冊	1冊	26×20	名甲図鑑	86P385
三八六	稜威武徳録(写)	文化元年8月	肥前州蓮池藤之淳校	書冊	1冊	27×20	朋宝家伝来、飯尾宗友	86P386
三八七	早引紋帳大全	弘化5年正月再版	不詳	袖珍本	1冊	7×15	須原屋茂兵衛	86P387
三八八	素真画譜(初編)	安政5年カ	揺月素真画	書冊	1冊	23×16	江戸書林採花堂・文会堂梓、序は「唯山人」	86P388
三八九	(仮)甲冑素描集	江戸時代カ	不詳	書綴	5綴	24×16		86P389
三九〇	文鳳(鹿)画	江戸時代	文鳳駿聲	書冊	1冊	23×16	尾陽書肆　永楽屋東四郎	86P390
三九一	地口行燈(前)	江戸時代	松川半山画	書冊	1冊	23×15	須原屋発行	86P391
三九二	芥子園画伝(2巻、3巻)	江戸時代	不詳	書冊	4冊	26×16	各2冊	86P392
	6、雑							
三九三	加藤清正公之掟	江戸時代	(自)加藤主年頭 (宛)侍中	紙本墨書額装	1面	(本紙)35×45	7條の武士の心得控	86P393
三九四	書簡(複写本)	(江戸時代)閏10月1日	(自)平野次郎国臣 (宛)月形到他英傑中	巻子装	1巻	17×116	国内情勢急務のため挙動の件	86P394
三九五	御直達(写)	万延元年8月	平野国臣カ	巻子装	1巻	18×290	外題「萬延元年八月御直達写平野国臣書」	86P395

三九六	絹布端切	江戸時代カ	田中使用	絹布、皮	21点	(最大)19×19		86P396
三九七	桜田花の草紙(写)	安政7年3月	田中源工カ	書冊	1冊	20×12		86P397
三九八	糊べら	江戸時代	田中使用	銅製	1点	17×1		86P398
三九九	るつぼ	江戸時代	田中使用	陶製	1点	(口径)7(高)5		86P399
四〇〇	ピンセット	江戸時代	田中使用	竹製	1点	15×1	金箔を取扱う用具	86P400
四〇一	竹光の材料	江戸時代	田中源工カ	木製	3本	(最大)28×2×2		86P401
四〇二	粘べら一式	江戸時代カ	田中使用	木、金具赤銅、鉄	2組	(最大)21	箱入べら、砥石つき、(箱)29×5	86P402
四〇三	印形「京都八幡御免勝武革」	江戸時代	田中使用	木製	1点	22×6		86P403
四〇四	加児才蔵之再拝	江戸時代	不詳	(柄部)木製黒漆塗(穂部)紙製	1具	(柄部)(長)33(径)1	杉箱蓋裏墨書銘文「加児才蔵の再拝安田作兵衛の方に譲り有之具足並再拝従安田家為修覆来ル故ニ再拝新製ニして其古キ分ハ留め置く也為後年記之　田中源工」	86P404
四〇五	平野国臣自作笛	江戸時代後期	平野国臣	竹製カ	1点	(口径)39×1(箱)45×9	桐箱入	86P405

「平野国臣先生文久三年夏最後の上洛をなす時令妹槌子(黒田藩御用具足工田中源工妻)に遺すに此の横笛を以てす、安政五年霜月薩摩藩にて僧月照西郷南洲翁と相擁して入水せし月明の夜吹奏せられしもの即是也、餘韻今尚に新に肅然として襟を正さしむ
皇紀二千六百年元旦
水月文英誌□」

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
	1、家関係							
四〇六	田中家系図	明治時代	田中	巻子装	1巻	(本紙)19×420	本国大和岩井家紋	86P405
四〇七	黒田家御用具足師田中家ノ系図	昭和時代	田中助太郎	方眼紙鉛筆書	1枚	83×32	戒名控あり	86P407
四〇八	感謝状	昭和18年6月24日	(自)生野義挙顕彰会長佐藤英太郎(宛)田中義男	紙	1通	27×39	寄贈感謝状	86P408
	2、田中助太郎関係							
四〇九	人物模写練習帳	明治14～23年	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	28×39	衣冠束帯の人物・武者・聖徳太子・紫式部・天平時代の人物・中国の武将・犬追物之図など45枚	86P409
四一〇	山中人物図及ビ蘭図	明治22年11月	田中助太郎カ	紙本著色	3枚	(最大)27×38	4紙1組であるが1紙欠	86P410
四一一	(仮)模写集	明治23年8月	田中助太郎カ	紙本墨画綴	1綴	24×34	川柳画	86P411

四一二	(仮)草花写生(及び模写)帳	明治時代カ	田中助太郎カ	紙本墨画 綴	1綴	27×41	芥子・蓮華草・木土若・秋桜・青麦・藤・蘭・牡丹・薔薇・花菱草・紫蘭・朝顔・秋草・木蓮・水仙など72枚	86P412
四一三	(仮)山水模写帳	明治時代カ	田中助太郎	紙本墨画 淡彩 綴	1綴	27×41	48枚	86P413
四一四	人物画模写帳	明治時代	田中助太郎	紙本墨画 綴	1綴	25×33	七福神・王羲之図・達磨・俊馬・騎牛人物・釈迦図・官人乗馬図・五祖・寿老人・十六羅漢など64枚	86P414
四一五	(仮)鳥獣写生帳	明治時代	田中助太郎	紙本墨画 淡彩 綴	1綴	27×37	鴬・阿呆鳥・鸚哥・鶏・鶴亀・梟・鷲・鷹・孔雀・雲雀・蟹・猿・鴎・雁・鯉など84枚	86P415
四一六	模写帳	明治時代	田中助太郎	紙本墨画 綴	1綴	27×19	人物画	86P416
四一七	田中ツチ肖像	明治時代カ	田中助太郎	紙本墨画 淡彩 メクリ	1枚	38×34	ツチは助太郎の母で、平野国臣の末妹	86P417
四一八	書画貼交小屏風	明治時代	田中助太郎	屏風装	六曲一隻	(1扇)42×20	竹に雀・馬・梅に鴬・柳に牛など画が10点。書が33点。書画が1点。	86P418
四一九	古今名人画譜(新増六法留痕画譜)	明治時代	洪縄伯	書冊	1冊	13×15	(総発行所)国宝甫記書局	86P419
四二〇	(仮)武士像習作	明治時代	田中助太郎	紙本墨画 淡彩 メクリ	1枚	38×27	別紙素描添付。左上部に顔のデッサン(12×8)13枚	86P420
四二一	(仮)役者絵類	明治時代	田中助太郎	トレーシングペーパー、鉛筆書	6枚	21×22 23×30	坂東又太郎、十三代目当時羽左衛門、三代目坂東三八、九代目羽左衛門、十二代目羽左衛門、鎌足公	86P421

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
			大和国多武峯	紙本木版			(集古十種見本)	
四三	漢画指南(乾)	明治—大正	田中助太郎	紙本墨画墨書綴	1綴	25×33	点苔法・大景小景之法・山腰遷雲之法・平地之樹法・巖上之樹法・礬頭石之法・洲渚礫石之図・四君子賓主法・山水中人物之法・山水設色法・蘭、竹、蘭花図法・梅画之法・補景寄石之法・樹木描写法・蘆描写法など69枚	86P422
四三	(仮)山水図模写練習帳	明治—大正	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	27×39	40枚	86P423
四四	人物画模写練習帳	明治—大正	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	26×39	大井川歩渡図・西洋婦人胸像・ミケランジェロ画裸体図模写・仲秋名月婦人像など92枚	86P424
四五	相撲スケッチ及風俗画模写帳	明治—大正	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	26×34	相撲百態・幕末維新の京都百景など48枚	86P425
四六	(仮)動物写生(模写)練習帳	明治—大正	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	27×39	馬・兎・虎・猿(顔、親子)・獅子・小犬・鼠・鶴・花・猪などのほか写真切抜あり、35枚	86P426
四七	素描	大正時代カ	田中助太郎	紙本墨画綴	1綴	(最大)27×36	山水・人物(天使、裸婦)・静物・鶴など44枚この内26枚は1綴	86P427
四八	(仮)水墨画模写練習帳	昭和時代	田中助太郎	紙本墨画淡彩綴	1綴	25×34	表紙は黄緑色の千代紙、52枚	86P428

		3、和歌・絵画					
四二九	平野國臣肖像	明治37年	田中助太郎	紙本著色 掛幅装	1幅	116×36	「(本文略)田中雪窓謹書」「雪田号」(白文方印)(巻留墨書)「平野国臣先生之像明治卅七年清書田中雪窓蔵並書」	86P429
四三〇	東京銀座通電気燈建設之図	明治時代	(画)野沢定吉 (出版)野川常吉	紙本木版 多色摺 メクリ	1枚	25×51	中央上部枠内に「電気燈ハ米国人ノ新発明ニシテ他ノ火ヲ点スルニ非スシテ一ノエレキ器械ヲ以テ火光ヲ発シ其光明数十町ノ遠キニ達シ恰モ白昼ノ如シ、実ニ明ヲ除クノ外之ト光ヲ同スルモノハナシ」左下隅に「御届明治一六年三月浅草新谷町三番地画工野沢定吉、浅草材木町一九番地　野川常吉」	86P430
四三一	平野國臣和歌	明治時代	平野国臣ヵ	掛幅装	1幅	95×22	「くたけても玉とちる身のいさきよしか〇〇と〇にあらむより」	86P431
		4、刊本(版本)						
四三二	琢華堂画譜(椿山粉本)	明治13年3月	高畠藍泉著	木版、書冊	1冊	16×10		86P432

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
四三	華山翁蘭竹画譜(坤)	明治13年5月19日御届	貫輪吉五郎編	木版、書冊	1冊	28×16	中沢九美(景山)著の編集物	86P433
四四	華山翁蘭竹画譜(乾)	明治13年4月	貫輪吉五郎編	木版、書冊	1冊	28×16		86P434
四五	故実叢書尚古鎧色一覧(上)	明治34年2月20日発行	本間源百里著	印刷、書冊	1冊	24×18	(校正)川寄千虎(編輯)今泉定介	86P435
四六	古今名人画譜(和集)	民国3年(一九一四)	不詳	印刷、書冊	1冊	12×15	古今名人画稿初集	86P436
	5、雑							
四七	興風後集(全)	明治2年	不詳	書冊	1冊	18×12	近世名士遺草	86P437
四八	平野国臣歌集(全)	明治2年	浪華書林柏原屋武助	印刷、書冊	1冊	17×12	16丁	86P438
四九	皇国小史附図(全)	明治30年2月1日訂正2版発行	勝浦鞆雄編著	印刷、書冊	1冊	23×15	文部省検定済尋常中学校歴史科教科用書	86P439
四〇	筑前廻(御手本)	明治	伊藤カ	印刷、書冊	1冊	26×19	(奥書)入塾願書(明治43年3月10日)	86P440
四一	和歌	昭和13年	碧水	短冊	1葉	36×6		86P441
四二	アルバム(写真及び新聞記事貼付)	昭和39年以降	田中	アルバム	1冊	25×18	(写真)田中助太郎・黒田別邸・朴詠考・五言絶句掛幅・助太郎作ブロンズ像・陸軍中将西川虎次郎・助太郎の母つち(旧姓平野)とその兄弟・(都甲宣和、平野国臣(銅像)、平山能忍・平野能得、中村こう・平野六平太・平野千代)田中源工・加藤	86P442

四四三	竹図(扇面)	江戸時代	楼雪逸人	紙本墨書	1枚	(一辺)44×14	司書像製作写真など。(切抜)国臣獄中の紙捻歌、国臣遺品、国臣最期西郷吉之助、国臣の「囹圄集」発見の報(昭和18年)「楼雪」(白文印)、「証精画章」(白文長方印)
四四四	書(扇面)	文政13年	風番斎素川	紙本墨書	1枚	(一辺)48×18	「竪間雨」(朱文方印)
四四五	母子折鶴の図	江戸時代	不詳	紙本著色掛幅装	1幅	(本紙)78×54	
四四六	芸妓図	江戸時代	不詳	紙本著色掛幅装	1幅	(本紙)81×29	「園乔」印あり
四四七	七言絶句「浮雲開合晩風軽…」	明治時代	朴泳老	紙本墨書掛幅装	1幅	(本紙)135×48	
四四八	観瀑之図	明治時代	田中雪窓	紙本著色屏風装	二曲一隻		

二　進藤ハツノ資料

〈資料内訳〉

一　生活の用具……一〇件　一二〇点
二　交通・交易の用具……九件　一三点
三　社会生活の用具……八件　一一点
四　信仰・年中行事の用具……四件　四点
五　芸能・娯楽用具……九件　一二四点
六　人の一生の用具……一八件　三〇点
七　民俗知識関連の用具……三件　四点
八　その他……二件　三点
〈総計〉一八三件　二九八点

一　生活の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(1) 衣類・履物						
一	下駄	二足	(一)縦 二一・四 横 八・七 高 四・一 (二)縦 二一・七 横 八・七 高 六・〇	木製漆塗畳表付 木製桐材	不詳	昭和一〇年 (一)鼻緒はビロード製 嫁入りのお茶についてきたもの	86P449~50(20,21)
二	扇子	一点	幅 二・七 長 二七・二	紙製	不詳	「事無」の墨書有り	86P図1(56)
三	袋帯	一点	幅 三一・四 長 三六八・〇	絹製	不詳	明治時代	86P図2(57)

四	鏝	二点	(一)全長 三五・三 幅 三・九 (二)全長 三二・〇 幅 三・六	鉄製 (柄) 木製杉材	不詳	明治一〇年	86P453(108) 86P454(109)
五	裁縫台	二点	幅 八六・四 奥行 四二・三 高 二二・八	木製杉材 ビロード布張り	広和製	昭和三四年 和洋兼用裁縫台	86P455～6(155)
六	ミシン	一点	幅 一三一・〇 奥行 四二・八 高 九六・九	鉄・木製	三菱製	昭和三〇年代 足カバー・椅子付	86P457(156)
	(2) 食生活用具						
七	高足膳	一点	縦 三九・八 横 三九・八 高 二五・八	木製 黒漆塗	不詳	明治以前から伝承	86P458(3)
八	飯櫃	一点	径 二一・五 高 一〇・四	竹製 曲物	日田	蓋・底は木製	86P459(6)
九	鉄瓶	一点	径 一〇・五 高 一二・〇	鋳鉄製	不詳	昭和一二～一三年	86P460(8)
一〇	やかん	一点	長径 二九・二 短径 一三・五 高 一五・三	アルマイト製	不詳	昭和一〇年	86P461(9)
一一	寿司桶	一点	径 四九・五 高 一三・五	木製杉材 結桶	不詳	昭和時代初期	86P462(10)
一二	重箱（リキジョウ）	一点	径 一六・五 高 一四・二	木製 漆塗 三段重	不詳	大正時代 「第二十五回 全国料理席賃業同盟大会記念 福岡同業組合」 博多織の袋付	86P463(23)
一三	酒徳利	一点	径 一三・二 高 二九・三	陶製	津屋崎 豊村本店製	明治二〇年代 「豊盛 豊村本店七十号」	86P464(30)
一四	呉須牡丹花文徳利	一点	径 二一・八 高 三六・三	磁器製	津屋崎 豊村本店製	明治二〇年代	86P465(31)
一五	篩（トーシ）	二点	(一)径 二〇・六 深 八・八 (二)径 二九・四 深 九・四	木製 曲物	不詳		86P466(34) 86P467(35)
一六	篩（トーシ）	二点	(一)径 三四・七 深 九・四 (二)径 二一・〇 深 七・九	竹製 曲物	日田製カ	(一)に「進藤」の墨書	86P468(36) 86P469(37)
一七	箕	一点	幅 六七・五 長 六八・〇 深 一五・二	竹製 笊目編巻縁仕上	佐賀		86P470(39)

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
一八	片口	二点	(一)径一八・八 高九・〇 (二)径一四・二 高六・八	陶製	不詳	昭和時代初期 料亭で使用	86P.471(46) 86P.472(169)
一九	甕	一点	径二六・五 高三一・〇	陶製	不詳	漬物用	86P.473(88)
二〇	釜	一点	径二四・〇 深一八・八	アルミニウム製	不詳	昭和一〇年 蓋付(一部破損) 黒豆を炊くのに使用	86P.474(88)
二一	喫煙パイプ	一点	径三・二 長八・〇	木製	別府市	木枝の根付け付き「海地獄」の刻銘有り	86P.475(70)
二二	赤絵鉢	一点	径二五・二 高一五・五	磁器製	伊万里	蓋付 料亭で使用	86P.476(71)
二三	杼	一点	幅四・二 長二五・〇 厚三・五	木製樫材	不詳	焼印「天一匹」有り 機織で横糸を通す用具	86P.477(98)
二四	銘々皿	一点	縦一七・一 横九・六 高二・二	磁器製	江ノ島	「江ノ島」の墨書有り	86P.478(157)
二五	茶碗メゴ	一点	径二三・〇 高七・五	コシダ製	不詳	昭和二〇年	86P.479(161)
二六	金網籠	一点	径二一・六 高七・五	鉄製	不詳	昭和三〇年	86P.480(162)
二七	飯盒	二点	(一)幅一七・四 奥行一〇・五 (二)幅一九・七 奥行一〇・五 高一四・四 高一四・六	アルミニウム製	不詳		86P.481(163) 86P.482(164)
二八	石臼	二点	(一)径一七・三 高一三・三 (二)径一三・五 高一三・五	石製	不詳	(一)は大豆用 上段部欠	86P.483(165) 86P.484(166)
二九	宝尽文盃台	一点	縦一八・九 横一八・九 高一九・六	木製 朱漆蒔絵	不詳	昭和時代	86P.485(168)
三〇	絵付小鉢	一点	縦九・七 横九・七 高七・四	磁器製	九谷	昭和時代	86P.486(170)
三一	赤絵深鉢	二点	(一)径一四・四 高六・六 (二)径一五・七 高七・三	磁器製	伊万里ヵ	昭和時代	86P.487(171) 86P.488(172)
三二	呉須春蘭文銚子	三点	径八・三 高一五・六	磁器製	不詳	昭和時代	86P.489～491(173)
三三	手付き籠	二点	(一)径二〇・五 高二三・六 (二)径二三・八 高二六・七	竹製 笊目編巻縁仕上	不詳	大正時代末期 (二)竹製の足二本付	86P.492(4) 86P.493(5)

二四	笊	二点	(一)径 四八・八 (二)径 二四・二 深 一八・九 一〇・二	竹製 笊目編巻縁仕上	不詳	昭和一〇年
二五	水切り笊	一点	径 三三・〇 深 五・三	竹製 笊目・四目編巻縁	不詳	昭和一〇年
二六	徳利袴	二点	径 八・八 高 三・五	木製 漆塗	不詳	
二七	流釉甕	二点	(一)径 三一・〇 高 二七・三 (二)径 三七・七 高 四七・〇	陶製	小石原	
	(3) 住居用具					(一)水甕として使用
二八	文箱	一点	縦 三三・八 横 九・〇 高 七・〇	木製 漆塗 蒔絵	不詳	明治時代から伝承
二九	椅子	三点	縦 四八・四 横 四八・四 高 八〇・五	木製 漆塗 布シート付	不詳	大正時代 折りたたみ式
三〇	十能	四点	径 一三・七 高 七・二	鉄製 柄は木製	不詳	昭和三五年 木炭着火用
三一	流釉火鉢	一点	径 三三・〇 高 三三・〇	陶製	不詳	大正時代 火箸・五徳付
三二	袢纏	一点	着丈 八七・〇 裄 五九・八	木綿製 濃藍染 刺し子織	不詳	袢に「新築記念 東中洲進藤」の文字有り
三三	蚊帳	二点	(一)丈 一六八・〇 (二)丈 一八四・〇	木綿製 藍染	不詳	大正時代末期
三四	盥	一点	径 五六・七 高 二六・〇	木製杉材 結桶	不詳	昭和一〇年
三五	盥	一点	径 三三・五 高 一五・〇	アルマイト製	不詳	戦後
三六	炭籠	一点	全長 三三・三	竹・金属製 笊目編巻縁仕上	不詳	昭和三〇年
三七	滑車（ナンバ）	一点	全長 六六・〇（車）径 二〇・五 厚 六・一	木製樫材	不詳	昭和時代
三八	鴨居掛け	四点	幅 三・三 長 一三・〇 厚 四・〇	木製	自作	昭和一〇年
三九	鴨居飾り金具	一点	幅 九・八 長 二〇・七	真鍮製	不詳	昭和一〇年
三〇	飾り台	一点	縦 三三・三 横 三三・三 高 二〇・二	木・竹製	不詳	昭和三三年
三一	団扇立て	一点	幅 二六・〇 奥行 九・五 高 一四・一	竹製	不詳	昭和三三年

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
五二	衝立	一点	幅九七・三 奥行二八・〇 高一〇五・三	木・竹製	不詳	大正時代	86P524(153)
五三	釣瓶	一点	径一六・三 高二五・九	鉄製 バケツ	不詳	昭和二八年	86P525(73)
五四	電燈の笠	一点	径三〇・〇 高四七・〇	竹・ガラス製	不詳	昭和一〇年	86P526(81)
五五	電燈の笠	一点	径二四・三 高三四・八	銅・ガラス製	不詳	昭和一〇年	86P527(82)
五六	電燈の笠	二点	(一)径一五・七 高一七・三 (二)縦九・一 横九・二	ガラス製	不詳	昭和一〇年	86P528(84) 86P529
五七	電気魔法行火	一点	縦一八・七 横二五・五 高一三・九	金属製	東京芝浦電気株式会社	昭和時代 ACT－五〇三型	86P530(78)
五八	火鉢	一点	径二七・五 高二六・〇	木製 漆塗 螺鈿	不詳	昭和時代 五徳付	86P531(1)
五九	松竹梅文火鉢	二点	(一)径二五・七 高二五・九 (二)径二四・三 高二〇・一	陶製	不詳	昭和二七年	86P532(74) 86P533(75)
六〇	七輪	一点	径二二・五 高一五・八	陶製	不詳	昭和初期 料亭で使用	86P534(150)
	(4) その他						
六一	手鈎	一点	全長一三・〇 (柄)径三・九 (刀)長六・四 長八・五	鉄製 (柄)木製杉材	不詳	料亭で使用	86P535(89)
六二	金槌	二点	(一)全長三三・四 (槌)径四・七 長一二・〇 (二)全長三三・四 (槌)径三・二 長一〇・八	鉄製 (柄)木製杉材	不詳	昭和時代	86P536(95) 86P537(96)
六三	木槌	二点	(一)全長二五・〇 (槌)縦五・一 横三・〇 長一〇・八 (二)全長三〇・二 (槌)径三・四	木製杉材 木製樫材	(一)は自作	昭和時代	86P538(97) 86P539(98)
六四	鋸	四点	(一)全長六〇・六 歯幅九・三 (二)全長五八・三 歯幅九・七 (三)全長五六・一 歯幅九・八 (四)全長六〇・〇 歯幅一〇・〇	鉄製 (柄)木製杉材	(一)三木播磨関弥梶光(二)(四)博多倉宗宗	昭和時代 両刃鋸	86P540(99) 86P541(101) 86P542(102) 86P543(103)

六五	鋸	三点	(一)全長 五六・七 歯幅 六・五 (二)全長 五三・〇 歯幅 四・四 (三)全長 三二・四 歯幅 一・五	鉄製(柄)木製杉材	不詳	昭和時代 片刃鋸 (一)「は」刻印有り (二)折りたたみ式
六六	鉈	一点	全長 二八・二 刃幅 二・五	鉄製(柄)木製杉材	不詳	昭和時代 桐の鞘付
六七	金切鋏	二点	(一)全長 二一・六 幅 五・九 (二)全長 三七・八 幅 八・〇	鉄製	不詳	昭和時代 (一)「重吉」の刻印あり
六八	ペンチ	三点	(一)全長 八・〇 幅 三・六 (二)全長 二三・〇 幅 四・三 (三)全長 一八・二 幅 三・七	鉄製	不詳	昭和時代
六九	ニッパー	一点	全長 一六・〇 幅 四・五	鉄製	不詳	昭和時代
七〇	スパナ	四点	(一)長 一六・四 幅 三・六 (二)長 一六・六 幅 三・八 (三)長 一五・二 幅 三・八 (四)長 一六・九 幅 五・六	鉄製	不詳	昭和時代
七一	ドリル	一点	径 一・八 長 一九・五	鉄製	不詳	昭和時代
七二	ドライバー	一点	径 九・七 長 二四・七	鉄製(柄)木製	不詳	昭和時代
七三	へら	一点	幅 三・五 長 一六・七	鉄製(柄)木製	不詳	昭和時代
七四	工具	一点	幅 二八・〇 奥行 六・八 高 二・五	鉄製	不詳	昭和時代
七五	工具	一点	縦 三六・七 横 四・九 高 二・五	鉄製	不詳	昭和時代
七六	携帯用鋸	一点	全長 三一・二 (柄)径 一・九 長 一七・三	鉄製(柄)木製杉材	不詳	昭和時代 折りたたみ式
七七	墨壺	一点	幅 七・二 長 一六・六 高 六・二	木製	不詳	昭和時代
七八	錐	一点	径 二・九 長 三五・六	鉄製(柄)木製杉材	不詳	昭和時代
七九	鎌	二点	(一)全長 四七・三 刃幅 四・一 (二)全長 四三・二 刃幅 二・四	鉄製(柄)木製杉材	不詳	昭和時代

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
八〇	鎌	一点	全長八三・四 (刃)幅二・〇 長一〇・七	鉄製 (柄)木製杉材	不詳	昭和時代 枝打ち用	

二 交通・交易の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(5) 運搬具						
八一	手提げ袋	一点	幅二七・〇 長一五・〇	藤製	不詳	明治時代 酒袋 象牙の飾り付	86P562(63)
八二	波形文手提げ袋	一点	幅三三・三 深四〇・八	絹製 博多織	不詳	大正時代初期 内部に竹製の籠有り	86P570(46)
	(6) 計算・計量用具						
八三	桝(穀用一合)	一点	縦八・〇 横八・〇 高五・五	木製	岐阜県製	縁鉄有り	86P571(24)
八四	桝(穀用五合)	二点	(一)縦一三・八 横一三・八 高七・三 (二)縦一四・六 横一四・六 高六・八	木製檜材 木製杉材	岐阜県製 自作	(一)縁鉄有り	86P572(25) 86P573(27)
八五	桝(液用二リットル)	一点	縦一七・二 横一七・二 高九・八	木製檜材	不詳	昭和時代	86P574(26)
八六	桝	一点	縦一七・六 横一七・六 高八・五	木製檜材	不詳	昭和一五年	86P575(28)
八七	斗かき棒	一点	径三・〇 長一九・八	木製樫材	岐阜県製	昭和時代	86P576(29)
八八	算盤	三点	(一)縦一一・〇 横三三・二 厚三・三 (二)縦一〇・七 横二六・九 厚二・八 (三)縦一〇・九 横二六・九 厚三・一	木製	不詳	大正時代 (一)(二)は五つ玉 (三)「北辰星大黒天福迎祭」の墨書有り	86P577(11) 86P578(37) 86P579(38)
八九	皿秤	一点	(棹)径一・三 長三〇・六 (鎖)長三四・〇 (皿)縦・横一三・七	木製樫材 銅製	不詳	昭和時代 定錘付	86P580(94)

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(7) 共有道具						
九〇	鐘	一点	径一五・三　高二六・二	金属製	不詳	戦時中空襲警報などの報知に使用　柄付	86P581(14)
	(8) その他						
九一	消防士用外套	一点	着丈一二六・三　裾幅八一・六	羊毛製　ベロア	福岡市消防局	昭和二〇年代　ダブル六つボタン　テラード衿　フード　ベルト付	86P582(83)
九二	消防士用外套	一点	着丈一〇二・〇　裾幅七四・三	羊毛製　ベロア	福岡市消防局	昭和二〇年代　ダブル八つボタン　袖に黒ラインン入り　フードベルト付	86P583(80)
九三	消防士制服上下	四点	着丈七四・〇　裾幅五七・〇	羊毛製　紺サージ	福岡市消防局	昭和二〇年代　ダブル六つボタン　袖に黒ラインン入り　銀の紋章肩章付　ズボン有り	86P584～7(84～87)
九四	消防士制服	一点	着丈七二・五　裾幅五三・五	羊毛製　紺サージ	福岡市消防局	昭和二〇年代　六つボタン　袖に黒ラインン入り　銀の紋章肩章付	86P588(89)
九五	消防士制服	一点	着丈七四・五　裾幅五五・〇	羊毛製　紺サージ	福岡市消防局	昭和二〇年代　ダブル六つボタン　テラード衿　普段着に流用	86P589(88)
九六	消防士用防水コート	一点	着丈一二五・五　裾幅七二・五	木綿製　防水加工	福岡市消防局	昭和時代　ダブル六つボタン　テラード衿　フード付	86P590(91)
九七	消防士制帽	一点	径二五・六　深一三・五	羊毛製	福岡市消防局	昭和二〇年代	86P591(93)

四　信仰・年中行事の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(9) 仏事用具						
九六	鈴	一点	全長 一九・二（鈴）径 四・六	金属製	不詳	昭和時代 御詠歌用具 袋付	86P560(86)
九七	鐘	一点	径 七・三 厚 二・五	金属製	不詳	昭和時代 御詠歌用具 袋付	86P561(86-2)
一〇〇	鐘叩き撥	一点	全長 一九・〇（槌）径 〇・八 長 三・三	象牙製	不詳	昭和時代 御詠歌用具 袋付	86P562(86-3)
一〇一	撥の飾り組紐	一点	幅 五・〇 長 一一・五	布製	不詳	昭和時代 御詠歌用具	86P563(86-4)

五　芸能・娯楽用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(10) 芸能用具・衣装						
一〇二	弁当箱	一点	縦 一五・〇 横 一五・〇 高 五・七	木製 漆塗 三段入れ子	大博多劇場	大正時代 蓋裏に「開場記念大博劇場」と記銘有り	86P564(7)
一〇三	袴纏	一点	着丈 八一・五 裄 六三・三	絹製 博多織 濃藍染（裏地）更紗	不詳	袴に「東中洲 中洲券番」の文字有り	86P565(83)
一〇四	法被	一点	着丈 八五・〇 裄 六一・五	木綿製 濃藍染	不詳	昭和一〇年 住吉神社遷宮祭で使用「祭禮」「獅子」の文字有り	86P566(51)
	(11) その他						
一〇五	竹籠	一点	縦 二四・五 横 二四・〇 高 二七・九	竹製 笊目編	不詳	昭和四〇年 釣具	86P567(132-1)

一〇六	竹籠	一点	縦 三・五 横 三・〇 高 三・五	竹製 笊目編 四重	不詳	昭和四〇年 釣具	86P568(134-3)
一〇七	釣具入れ	三点	(一)縦 一九・二 横 一〇・四 高 七・〇 (二)縦 一三・二 横 五・一 高 四・五 (三)縦 一三・二 横 一六・二 高 五・八	(一)(二)竹・木製 (三)プラスチック製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P569(134-2) 86P570(135-5) 86P571(135-7)
一〇八	小道具入れ	一点	径 七・〇 高 一・九	木製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P572(135-16)
一〇九	ビク	二点	(一)径 一五・四 高 五六・〇 (二)径 一五・〇 高 三・四	竹・網製 笊目編	不詳	昭和四〇年 釣具	86P573(132-3) 86P574(135-17)
一一〇	笊	一点	径 一三・五 高 六・一	竹製 笊目編	不詳	昭和四〇年 釣具	86P575(136-4)
一一一	餌箱	二点	(一)縦 一三・九 横 八・一 高 五・一 (二)縦 一四・〇 横 一六・二 高 一・八	木製 漆塗り プラスチック製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P576(134-4) 86P577(135-6)
一一二	針箱	一点	径 一〇・二 高 四・二	プラスチック製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P578(134-5)
一一三	重り入れ	一点	縦 九・二 横 一三・〇 高 四・三	ポリエチレン製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P579(134-6)
一一四	糸巻	七点	長 九・六～二一・二	木・竹製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P580～6 (132-7,134-18～23)
一一五	糸巻	二点	(一)長 六・五 (二)長 一〇・〇	紙製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P587(134-24) 86P588(134-28)
一一六	天蚕糸	三点	(一)径 八・四 (二)径 八・〇	ナイロン製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P589～91(134-25～27)
一一七	リール	八点	径 四・八～九・三 長 六・三～一八・〇	金属製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P592～4 (132-9,134-8～29,169)
一一八	浮き	七点	径 一・〇～一三・三 長 六・五～三三・〇	セルロイド製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P600～4 (134-10～4,29～30)
一一九	釣竿	七組	長 六六・〇～二七七・〇	竹・木製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P607～14(136-1～137, 138-1～6,138～142)
一二〇	銛	一点	全長 一三三・九 (刃)幅 五・九 長 一〇・七	鉄製 (柄)竹製	自作	昭和四〇年 釣具	86P615(145)
一二一	烏賊釣針	五点	径 二・四 長 四・五	鉄製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P615～9(134-32～6)
一二二	油入れ	一点	径 五・四 高 二・五		不詳	昭和四〇年 釣具	86P620(134-37)
一二三	手袋	一組	幅 九・二 長 一〇・二	皮製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P621(134-39)
一二四	日除け傘	一点	径 三三・〇 長 五・五	テトロン製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P622(134-15)
一二五	パンチ	一点	径 二・五 長 一二・〇	鉄製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P623(135-1)

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
二六	ドライバー	一点	長 一〇・六	鉄製	不詳	昭和四〇年 釣具	86P624(156-2)
二七	潮時表	一点	縦 一三・九 横 九・四	冊子	不詳	昭和四〇年 釣具	86P625(156-13)
二八	ゴム銃	二点	(一)幅 二一・七 長 三一・一 (二)幅 四・七 長 三三・七	雑木製 水牛角製	自作	昭和時代	86P626(151) 86P627(152)
二九	スケート靴磨き台	一点	縦 八〇・八 横 二六・六 高 三三・五	鉄・木製杉材	自作	昭和時代	86P628(154)
三〇	花鋏	一点	幅 五・〇 長 二一・八 厚 一・三	鉄製	不詳	昭和時代	86P629(98)
三一	戸棚	一点	幅 一四〇・〇 奥行 一四・九 高 六六・〇	木製欅材	不詳	昭和四〇年	86P630(135)
三二	ラジオ	一点	幅 一六・五 奥行 一三・〇 高 一一・七	プラスチック製	不詳	昭和一三年	86P631(66)
三三	絵の具皿	一点	径 一四・二 深 一・一	磁器製	不詳	昭和時代	86P632(79)
三四	蛇腹式カメラ	一点	径 一三・〇 厚 一六・一 高 一八・八	金属製	Voigtander Anastigmat	昭和一三年 ケース付	86P633(175)
三五	フラッシュ	二点	径 一四・五	アルミニウム製	CANON	昭和時代 バルブ ケース・球三箱付	86P634~5 (176-1~4)
三六	レリーズ	四点	長 六・六~四一・〇	金属製	不詳	昭和時代 セルフタイマー付	86P636~9 (176-5)
三七	レンズフード	一点	縦 四・七 横 四・七 高 六・〇	金属製	不詳	昭和時代 皮製ケース付	86P640(177)
三八	籠	一点	縦 三三・五 横 四四・五 高 一九・〇	藤製 網代編	不詳	昭和時代 写真現像用具収納	86P641(178-1)
三九	現像液タンク	一点	径 一〇・〇 高 一九・〇	ポリエチレン製	不詳	昭和時代 写真現像用具	86P642(178-2)
四〇	フイルムタンク	一点	径 一三・〇 高 一四・〇	ポリエチレン製	KING	昭和時代 写真現像用具 「KING ROLL FILM TANK」	86P643(178-3)

一四一	漏斗	一点	径一二・四　長九・六	プラスチック製	不詳	昭和時代　現像液用
一四二	計量カップ	一点	径一〇・三　高九・六	アクリル製	不詳	昭和時代　現像液計量用
一四三	計量スプーン	一点	長九・〇	プラスチック製	不詳	昭和時代　現像液計量用
一四四	ローラー	一点	幅六・九　長一六・七　高三・〇	金属・ゴム製	MRANG	昭和時代　写真現像用具「RUBBEL ROLLER」
一四五	ピンセット	三点	長一二・三	竹製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一四六	スポイド	一点	径三・五　長二〇・二	ガラス・ゴム製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一四七	ブラシ	一点	幅一・六　長二五・九	木製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一四八	スポンジ	一点	幅七・六　長一一・五　厚一・六	合成樹脂製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一四九	バット	九点	縦一七・九～二七・八　横一二・〇～二二・五	鉄製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一五〇	氷酢酸容器	一点	縦五・一　横二・八　高一一・六	合成樹脂製	不詳	昭和時代　写真現像用具
一五一	定着材缶詰	一点	径六・〇　高九・二	鉄製	FUJI FIX	昭和時代　写真現像用具
一五二	電球	一点	径五・五　高九・五	ガラス製	ナショナル	昭和時代　暗室用
一五三	電燈笠	一点	径二・五　高一五・六	アルミニウム製	不詳	昭和三三年　暗室用
一五四	引延ばし機（MFG LUCKY ENLARGER）	一点	幅二六・五　長四二・〇　高一〇二・〇	鉄製	FUJIMOTO PHOTO	昭和時代　写真焼付用具
一五五	引延ばし機用拡大レンズ	一点	径一一・二　高五・二	ガラス・鉄製	FUJIMOTO PHOTO	昭和時代　写真焼付用具

86P64(178-4)
86P65(178-5)
86P66(178-14)
86P67(178-6)
86P68~70 (178-7)
86P61(178-8)
86P62(178-9)
86P63(178-13)
86P64~65(178)
86P64(178-10)
86P65(178-12)
86P66(178-11)
86P67(174)
86P68(180-1)
86P69(180-3)

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
一六六	焼付用スケール	一点	縦二四・五　横二九・四	鉄・木製	FUJIMOTO PHOTO	昭和時代 写真焼付用具	86P670(182)
一六七	写真乾燥機	一点	幅二九・五　長四九・〇　高七・〇	鉄・布製	不詳	昭和時代 写真焼付用具	86P671(184)
一六八	乾板	三点	縦三一・二　横二六・九	鉄製	小西六写真工業株式会社	昭和時代 写真焼付用具 チェリーヘロタイプ板	86P672～4(185)
一六九	引延ばし機用ネガフィルムユニット	三点	長一三・七～一七・五	鉄・ガラス製	FUJIMOTO PHOTO	昭和時代 写真焼付用具	86P675～7(186-2)
一七〇	レンズ	一点	径五・五　長四・五	ガラス製	FUJIMOTO PHOTO	昭和時代 F七五ミリ	86P678(183)

六　人の一生の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(12) 婚姻・婚礼関係用具						
一六一	櫛	一点	幅五・〇　長八・九	べつ甲製	不詳	昭和一〇年 花嫁衣裳用	86P679(41)
一六二	鶴松竹梅文花笄	二点	幅一・二　長二・七　厚〇・五	べつ甲製	不詳	昭和一〇年 花嫁衣裳用	86P680(41) 86P681
一六三	鶴松竹梅文花かんざし	四点	全長一五・七	べつ甲製	不詳	昭和一〇年 花嫁衣裳用	86P682～5(41)
一六四	角隠し	一点	幅八・〇　長一〇五・七	絹製	不詳	昭和一〇年 花嫁衣裳用	86P686(45)
一六五	角隠し張り棒	四点	厚〇・五　長二四・四	木製　漆塗	東京丸万	昭和一〇年 花嫁衣裳用	86P687～90(45)

一六六	松竹梅文かんざし	二点	長七・二（飾り）径一・二	銀製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P691(43-3-1) 86P692(43-3-2)
一六七	松竹梅文かんざし	一点	長六・五（飾り）径一・一	銀製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P693(43-3-3)
一六八	松竹梅文かんざし	一点	長六・三	銀製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P694(43-3-4)
一六九	松竹梅文かんざし	二点	長六・三	銀製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P695～6(43-3-5)
一七〇	松竹梅文かんざし	一点	長六・一	銀製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P697(43-3-6)
一七一	桐文末広かんざし（スエヒロピラ）	三点	長一八・二	銀製	不詳	明治時代花嫁衣裳用	86P698～700(43-4)
一七二	桔梗雲文末広かんざし（スエヒロピラ）	一点	長一八・二	銀製	不詳	明治時代花嫁衣裳用	86P701(43-4)
一七三	手絡	二点	（赤）幅八・〇 長三三・〇（桃）幅三・〇 長三七・五	絹製 鹿の子絞	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳丸髷用	86P702～4(44)
一七四	扇子	一点	幅一・三 長一九・六	金銀紙製 蒔絵	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用	86P704(45)
一七五	函迫	一式	幅七・二 長二一・三	布製錦織	不詳	昭和一〇年色振袖用 かんざしびら 木箱付	86P705(47)
一七六	函迫	一点	幅七・二 長一三・八	布製錦織	不詳	昭和一〇年白無垢用 木箱付	86P706(46)
一七七	櫛	一点	長九・六	べっ甲製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳丸髷用	86P707(42)
一七八	笄	一点	幅一・三 長一六・四 厚〇・七	べっ甲製	不詳	昭和一〇年花嫁衣裳用丸髷用	86P708(42)

七　民俗知識関連の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
	(13) 教育関連用具						
一六九	硯	二点	(一)縦 二三・一 横 六・三 高 一・二 (二)縦 七・八 横 四・八 高 一・一	石製	不詳	昭和時代 (一)木蓋付	86P708(165) 86P710(166)
一八〇	四君子文硯台	一点	縦 四二・六 横 三三・四 高 一八・三	木製　朱漆蒔絵	不詳	箱入り	86P711(167)
	(14) 医療用具						
一八一	ハッスル低周波治療機	一点	縦 三三・三 横 三三・二 高 二〇・三	金属製	理研医療機株式会社	昭和三一年 発行元寺崎指圧電療研究所	86P712(131)

八　その他

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	
一八二	真空管	二点	(一)径 三・二 長 八・〇 (二)径 二・〇 長 七・五	ガラス・金属製	松下電器産業株式会社 東京芝浦電器株式会社	昭和時代 Hi－Fiペア	86P713(12) 86P714(13)
一八三	たんぽ	一点	径 四・六 長 二・九	絹・竹皮製	不詳	昭和時代	86P715(143)

三　森恍次郎資料

〈資料内訳〉

生産の用具……一四四件　一四四点

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
	(1) 台・ゲス各一の菓子型				
一	菓子型（三亀甲に（五三桐紋））	縦三三・二　横九・三　高四・五	木製桜材台・ゲス揃	櫛田神社の紋ヵ	86P718(10-1・2)
二	菓子型（八咫鏡図）	縦二八・六　横八・六　高三・九	木製桜材台・ゲス揃	墨書「真髪中」「昭和参拾五年四月九日」真髪神社の紋	86P717(82-1・2)
三	菓子型（八咫鏡図）	縦二三・〇　横一〇・二　高四・一	木製桜材台・ゲス揃	墨書「真髪特大」真髪神社の紋	86P718(33-1・2)
四	菓子型（八咫鏡図）	縦二六・〇　横七・七　高三・二	木製桜材台・ゲス揃	墨書「八咫鏡ニ光」真髪神社の紋ヵ	86P718(60-1・2)
五	菓子型（狐火図）	縦二六・〇　横七・五　高三・一	木製桜材台・ゲス揃	マジック書「イナリ㊙宝珠乃玉」	86P724(61-1・2)
六	菓子型（下り藤紋）	縦二四・五　横七・八　高五・二	木製樫材台・ゲス揃	墨書「春日神社」	86P721(30-1・2)
七	菓子型（陰刻「算額菅崎宮」）	縦一五・三　横九・八　高三・七	木製桐材台・ゲス揃		86P723(71-1・2)
八	菓子型（陰刻「東林寺」）	縦二六・〇　横七・三　高二・九	木製樫材ヵ台のみ		86P724(112)

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
九	菓子型（違い鷹の羽紋）	縦二五・六　横七・〇　高四・八	木製桜材台・ゲス揃	墨書「浄福寺」	86P724(24-1・2)
一〇	菓子型（下り藤に四ツ菱）	縦二四・一　横一〇・五　高四・一	木製桜材台・ゲス揃	墨書「松源寺定紋」	86P725(103-1・2)
一一	菓子型（下り藤に四ツ菱）	縦一九・五　横一一・〇　高四・五	木製桜材台・ゲス揃	墨書「松源寺」「森治三郎」	86P726(36-1・2)
一二	菓子型（下り藤に四ツ菱）	縦一九・五　横一〇・八　高四・五	木製桜材台・ゲス揃	墨書「松源寺」「下り藤」	86P727(3-1・2)
一三	菓子型（下り藤に四ツ菱）	縦一八・二　横一〇・五　高四・三	木製桧材台・ゲス揃	墨書「佐々木　下藤」松源寺カ	86P728(35-1・2)
一四	菓子型（左三ツ巴藤紋）	縦二二・六　横九・二　高三・八	木製桜材台・ゲス揃	墨書「東長寺」「巴藤寺定入」	86P729(149-1・2)
一五	菓子型（五三桐紋）	縦二一・八　横九・〇　高四・三	木製桜材台・ゲス揃	墨書「五三桐」「東長寺用」	86P730(32-1・2)
一六	菓子型（四ツ菱紋）	縦一八・三　横一〇・五　高四・九	木製桜材台・ゲス揃	墨書「大光寺」「四つ目1号」	86P731(71-1・2)
一七	菓子型（龍胆車紋）	縦一七・七　横一二・九　高四・二	木製桐材台・ゲス揃	墨書「明光寺」	86P732(86-1・2)
一八	菓子型（龍胆車紋）	縦一五・五　横一〇・二　高四・四	木製桜材台・ゲス揃	墨書「明光寺」	86P733(2-1・2)
一九	菓子型（違い大根紋）	縦一七・〇　横七・一　高二・〇	木製桜材台・ゲス揃	墨書「泰雲寺」	86P734(40-1・2)
二〇	菓子型（笹龍胆紋・陰刻「禅老　開山　大御遠忌　望福」）	縦二〇・五　横一一・二　高三・〇	木製桜材　台のみ	聖福寺	86P735(148)
二一	菓子型（亀甲に剣片喰紋）	縦三三・五　横八・一　高三・〇	木製桜材台・ゲス揃	墨書「大黒」十日恵比須神社用	86P736(63-1・2)
二二	菓子型（亀甲に剣片喰紋）	縦二一・七　横九・三　高四・〇	木製桜材台・ゲス揃	墨書「大黒」十日恵比須神社用	86P737(31-1・2)

二三	菓子型（蔓柏紋）	縦 三・八　横 八・一　高 三・一	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「恵比須」十日 恵比須神社用	86P738(41-1・2)
二四	菓子型（蔓柏紋）	縦 三・七　横 九・三　高 三・八	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「恵比須」十日 恵比須神社用	86P739(94-1・2)
二五	菓子型（一に三ツ星紋・梵字「十一面観音」）	縦 三・〇　横 九・五　高 四・〇	木製桜材 台・ゲス揃		86P740(92-1・2)
二六	菓子型（五三桐紋）	縦 三〇・五　横 六・八　高 三・〇	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「森治三郎」	86P741(94-1・2)
二七	菓子型（五三桐紋）	縦 一七・八　横 一〇・五　高 四・八	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「森治三郎」	86P742(1-1・2)
二八	菓子型（五三桐紋）（葉図）	縦 三八・六　横 七・一　高 二・五	木製桜材 台・ゲス揃		86P743(57-1・2)
二九	菓子型（五七桐紋）	縦 一四・二　横 九・七　高 三・五	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「五七之桐」	86P744(90-1・2)
三〇	菓子型（浮線陵菊ニ剣片喰紋カ）	縦 二八・六　横 九・〇　高 三・八	木製桜材 台・ゲス揃		86P745(95-1・2)
三一	菓子型（花菱紋）	縦 二八・二　横 二一・九　高 四・四	木製桜材 台・ゲス揃		86P746(101-1・2)
三二	菓子型（松皮菱紋）	縦 二六・二　横 九・八　高 三・八	木製桜材 台・ゲス揃		86P747(26-1・2)
三三	菓子型（松皮菱紋）	縦 二四・三　横 九・八　高 三・七	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「中松皮ビシ」「佐々木信道」	86P748(7-1・2)
三四	菓子型（下り藤紋）	縦 二六・二　横 八・〇　高 三・一	木製桜材 台・ゲス揃		86P749(98-1・2)
三五	菓子型（下り藤紋）	縦 二三・八　横 一〇・四　高 二・一	木製桜材 台のみ	墨書「小　下りフジ」	86P750(117)
三六	菓子型（下り藤紋）	縦 一八・三　横 一二・三　高 三・二	木製桜材 台のみ		86P751(130)

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
三七	菓子型（下り藤紋）	縦一六・五　横一〇・二　高四・九	木製桜材　台・ゲス揃		86P763(37-1・2)
三八	菓子型（下り藤紋）	縦二二・一　横九・〇　高二・七	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「下藤」	86P763(38-1・2)
三九	菓子型（桜紋）	縦二六・〇　横九・九　高三・三	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「小サクラ」	86P764(39-1・2)
四〇	菓子型（沢瀉紋）	縦二五・〇　横一〇・五　高三・九	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「大をもだか」	86P765(40-1・2)
四一	菓子型（角立組井筒紋・鶴図）	縦二四・六　横九・六　高三・一	木製桜材　台・ゲス揃	焼印「さゝき」	86P766(41-1・2)
四二	菓子型（柑子割）	縦二四・四　横九・七　高三・七	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「割糀中」	86P767(102-1・2)
四三	菓子型（剣と花紋）	縦二四・三　横九・九　高三・五	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「四ツ合ケン花」	86P768(15-1・2)
四四	菓子型（花菱紋）	縦二三・八　横一〇・三　高三・四	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「大花ビシ」	86P769(95-1・2)
四五	菓子型（三つ巴紋）	縦二三・三　横九・五　高三・七	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「治」	86P770(49-1・2)
四六	菓子型（三つ巴紋）	縦二一・三　横一四・八　高五・三	木製桜材　台・ゲス揃		86P771(46-1・2)
四七	菓子型（三つ巴紋）	縦一九・八　横七・五　高二・五	木製桜材　台のみ	墨書「巴型」	86P772(125)
四八	菓子型（梅鉢紋）	縦二二・四　横八・九　高三・八	木製桜材　台・ゲス揃		86P773(5-1・2)
四九	菓子型（梅鉢紋）	縦一八・一　横一〇・三　高四・六	木製桧材　台・ゲス揃		86P774(94-1・2)
五〇	菓子型（琴柱紋）	縦二二・三　横九・〇　高三・五	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「小とじ」	86P775(17-1・2)

五一	菓子型（丸に桔梗紋）	縦一八・五 横一〇・七 高五・二	木製杉材台・ゲス揃		86P766(35-1・2)
五二	菓子型（千重菊紋ヵ）	縦一八・一 横九・八 高五・三	木製桜材台・ゲス揃	墨書「菊童丸」	86P767(47-1・2)
五三	菓子型（葉陰杏花菊紋）	縦一八・〇 横一一・七 高三・九	木製桜材台・ゲス揃		86P768(32-1・2)
五四	菓子型（校章）	縦二六・五 横七・六 高三・五	木製桜材台・ゲス揃		86P769(31-1・2)
五五	菓子型（校章）	縦二六・一 横一〇・三 高四・四	木製桜材台・ゲス揃	墨書「赤坂小学校」	86P770(21-1・2)
五六	菓子型（校章）	縦二五・七 横一〇・五 高四・四	木製桜材台・ゲス揃	墨書「東光中学校校章」	86P771(22-1・2)
五七	菓子型（校章）	縦二五・六 横一〇・五 高四・二	木製桜材台・ゲス揃	墨書「御供所学校校章」	86P772(13-1・2)
五八	菓子型（校章）	縦二五・三 横一〇・三 高四・三	木製桜材台・ゲス揃	墨書「東福岡高校」	86P773(11-1・2)
五九	菓子型（校章）	縦二三・〇 横九・〇 高四・五	木製桜材台・ゲス揃	墨書「香椎中」	86P774(26-1・2)
六〇	菓子型（校章）	縦二三・五 横九・六 高四・三	木製桜材台・ゲス揃	墨書「櫻に商」	86P775(24-1・2)
六一	菓子型（校章）	縦二三・五 横八・八 高四・〇	木製桜材台・ゲス揃		86P776(14-1・2)
六二	菓子型（校章）	縦二三・五 横八・八 高三・八	木製桜材台・ゲス揃		86P777(25-1・2)
六三	菓子型（校章）	縦一五・五 横一一・四 高四・四	木製桜材台・ゲス揃		86P778(32-1・2)
六四	菓子型（校章）	縦一五・五 横一一・二 高三・一	木製桜材台・ゲス揃		86P779(33-1・2)

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
六五	菓子型（校章）	縦一五・四　横一一・二　高二・七	木製桜材台・ゲス揃		86P780(129)
六六	菓子型（校章）	縦一五・〇　横一〇・八　高四・八	木製桜材台・ゲス揃		86P781(4-1・2)
六七	菓子型（校章）	縦一四・六　横一〇・三　高三・九	木製桜材台・ゲス揃		86P782(21-1・2)
六八	菓子型（校章）	縦一〇・八　横八・二　高四・〇	木製桜材台・ゲス揃		86P783(62-1・2)
六九	菓子型（陰刻「西鉄街」）	縦一六・五　横六・六　高三・〇	木製桜材台・ゲス揃		86P784(49-1・2)
七〇	菓子型（楓の葉図）	縦一六・〇　横一五・三　高四・七	木製桜材台・ゲス揃		86P785(16-1・2)
七一	菓子型（葉図）	縦一五・〇　横七・〇　高四・〇	木製桜材台・ゲス揃		86P786(30-1・2)
七二	菓子型（陰刻「祝」）	縦一三・〇　横一三・八　高三・〇	木製桐材カ台・ゲス揃	裏面陰刻「白」	86P787(54-1・2)
七三	菓子型（栗型）	縦一三・〇　横七・二　高三・八	木製桜材台・ゲス揃		86P788(51-1・2)
七四	菓子型（葉図）	縦一三・〇　横五・〇　高二・七	木製桜材台・ゲス揃		86P789(56-1・2)
七五	菓子型（扇に松竹梅）	縦一三〇・四　横七・六　高二・五	木製桜材台のみ	焼印「八正」	86P790(114)
七六	菓子型（楓図）	縦一五・五　横八・六　高二・四	木製桜材台のみ		86P791(123)
七七	菓子型（鶴図）	縦一五・〇　横一二・三　高四・八	木製桜材台・ゲス揃		86P792(75-1・2)
七八	菓子型（藤図カ）	縦二九・〇　横八・五　高二・七	木製桜材台のみ		86P793(116)
七九	菓子型（餅の型）	縦二八・八　横七・二　高二・三	木製桜材台のみ	墨書「餅」	86P794(133)

八〇	菓子型（菊図）	縦二八・六　横二二・四　高三・四	木製桜材　台のみ		86P795(113)
八一	菓子型（菊図）	縦一七・三　横一〇・五　高五・〇	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「小判菊」 赤マジック書「菊」	86P796(74-1・2)
八二	菓子型（菊図）	縦一三・〇　横九・七　高二・一	木製桜材　台のみ		86P797(22-1)
八三	菓子型	縦一二・〇　横九・七　高一・五	木製桐材 ゲスのみ	八二のゲス（代用品）	86P798(22-2)
八四	菓子型（菊図・松図）	縦二四・五　横一〇・〇　高二・一	木製桜材　台のみ		86P799(128)
八五	菓子型（鶴図・富士図）	縦二八・五　横一二・一　高一・六	木製桜材　台のみ		86P800(122)
八六	菓子型（陰刻「御前湯」）	縦二八・二　横七・七　高二・七	木製桜材 台・ゲス揃		86P801(10-1・2)
八七	菓子型（陰刻「水壽館」）	縦二七・〇　横七・二　高二・六	木製桜材　台のみ		86P802(127)
八八	菓子型（三つ巴・重ね地紙紋）	縦二六・六　横一四・五　高一・一	木製桐材　台のみ	表裏両面に紋	86P803(132)
八九	菓子型（松・笹・龍胆図）	縦二六・五　横一一・六　高三・三	木製桜材　台のみ		86P804(119)
九〇	菓子型（柑子割）	縦二五・八　横一〇・七　高三・六	木製桜材 台・ゲス揃	はりつけ菓子・寺院 の法会用	86P805(8-1・2)
九一	菓子型（柑子割）	縦二四・〇　横一〇・四　高三・一	木製桜材 台・ゲス揃	墨書「中甲子割」 はりつけ菓子・寺院 の法会用	86P806(9-1・2)
九二	菓子型（柑子割）	縦二三・五　横八・五　高二・八	木製桜材 台・ゲス揃	はりつけ菓子・寺院 の法会用	86P807(15-1・2)
九三	菓子型（扇に日の丸図）	縦二五・七　横八・七　高一・八	木製桜材　台のみ		86P808(120)
九四	菓子型（日の丸図）	縦二三・五　横九・七　高二・七	木製桐材 台・ゲス揃	墨書「中の日の丸」	86P809(104-1・2)

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
九五	菓子型（水にさくら図）	縦三・七　横九・〇　高三・四	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「水にさくら」	86P810(12-1・2)
九六	菓子型（三ツ違山形図）	縦二〇・〇　横一三・七　高五・三	木製桐材　台・ゲス揃		86P811(96-1・2)
九七	菓子型（牡丹図）	縦一九・九　横一〇・〇　高三・九	木製桜材　台・ゲス揃		86P812(15-1・2)
九八	菓子型（陰刻「忠魂」）	縦一九・五　横一〇・五　高二・八	木製桜材　台のみ	戦時中ヵ　裏面陰刻「婦人會」	86P813(124)
九九	菓子型（陰刻「明月」）	縦一八・三　横一三・一　高五・〇	木製桜材　台・ゲス揃		86P814(67-1・2)
一〇〇	菓子型（陰刻「明月」）	縦一七・八　横一三・一　高五・二	木製桜材　台・ゲス揃		86P815(95-1・2)
一〇一	菓子型（陰刻「密教青年會」）	縦一八・三　横八・七　高三・七	木製桐材　台のみ		86P816(115)
一〇二	菓子型（饅頭の型ヵ）	縦一八・〇　横一三・六　高五・九	木製桜材　台・ゲス揃		86P817(66-1・2)
一〇三	菓子型（すみれ図）	縦一七・八　横一二・五　高三・七	木製桜材　台・ゲス揃		86P818(65-1・2)
一〇四	菓子型（梅図）	縦一七・八　横一〇・三　高四・一	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「梅」、杉材で補強	86P819(23-1・2)
一〇五	菓子型（梅図）	縦一五・六　横一一・二　高三・五	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「梅」	86P820(13-1・2)
一〇六	菓子型（竹図）	縦一七・七　横九・八　高三・七	木製桐材ヵ　台・ゲス揃	墨書「竹」	86P821(76-1・2)
一〇七	菓子型（無図）	縦一六・五　横九・九　高六・三	木製桜材　台・ゲス揃	リンゴの型	86P822(45-1・2)

一〇八	菓子型（無図）	縦一六・二 横一〇・三 高六・八	木製桜材 台・ゲス揃	柿の型	86P823(44-1・2)
一〇九	菓子型（陰刻「奉納　全珠連」）	縦一五・二 横九・七 高三・六	木製桜材 台・ゲス揃		86P824(38-1・2)
一一〇	菓子型（家図）	縦一五・一 横一一・〇 高三・三	木製桐材カ 台・ゲス揃		86P825(70-1・2)
一一一	菓子型	縦三四・六 横七・二 高〇・九	木製桜材 ゲスのみ		86P826(139)
一一二	菓子型	縦三四・〇 横一六・一 高三・一	木製杉材 ゲスのみ		86P827(146)
一一三	菓子型	縦三三・〇 横六・八 高〇・八	木製桜材 ゲスのみ		86P828(138)
一一四	菓子型	縦三一・二 横七・五 高一・〇	木製桜材 ゲスのみ		86P829(136)
一一五	菓子型	縦三〇・七 横九・四 高一・一	木製桜材 ゲスのみ		86P830(140)
一一六	菓子型	縦二九・三 横六・一 高一・〇	木製桜材 ゲスのみ		86P831(137)
一一七	菓子型	縦二九・一 横六・六 高〇・五	木製桜材 ゲスのみ		86P832(141)
一一八	菓子型	縦二六・二 横一〇・四 高〇・五	木製桜材 ゲスのみ		86P833(142)
一一九	菓子型	縦一九・二 横六・八 高一・八	木製桜材 ゲスのみ		86P834(180)
一二〇	菓子型	縦一四・四 横九・五 高二・六	木製桜材 ゲスのみ		86P835(145)

番号	名称	法量	品質・形状	備考	
	(2) 台1・ゲス2の菓子型				
一二	菓子型（無図）	縦四〇・八　横六・七　高二・七	木製桜材　台のみ	ペン書「長徳寺」	86P836(134)
一三	菓子型（浮線蒔絵紋）（裏面・亀甲の三ツ剣紋）	縦二六・〇　横一四・四　高四・九	木製桜材　台・ゲス揃	江戸期ヵ	86P837(91-1・2・3)
一二三	菓子型（地紙紋）	縦二二・一　横一〇・六　高四・〇	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「地紙」「末広」	86P838(4-1・2・3)
一二四	菓子型（陰刻・丸に「大」の字）	縦二二・二　横七・七　高二・八	木製桜材　台・ゲス揃	墨書「大正八年五月　森栄松堂用」	86P839(92-1・2・3)
一二五	菓子型（陰刻・丸に「館」「福」の字）	縦二二・七　横七・二　高一・九	木製桜材　台のみ		86P840(131)
一二六	菓子型（無図）	縦二二・五　横六・五　高二・五	木製桜材　台・ゲス揃	焼印「ささき」	86P841(97-1・2・3)
一二七	菓子型（無図）	縦二六・八　横八・〇　高二・二	木製桐材　台のみ		86P842(135)
一二八	菓子型	縦二二・七　横五・九　高二・五	木製桜材　ゲス一欠		86P843(106-1・2)
一二九	菓子型	縦二五・八　横五・八　高二・六	木製桜材　ゲス一欠		86P844(107-1・2)
一三〇	菓子型	縦二二・〇　横一一・五　高二・八	木製桜材　ゲスのみ		86P845(108-1・2)
一三一	菓子型	縦二六・〇　横八・七　高二・七	木製桜材　ゲスのみ		86P846(145)
一三二	菓子型	縦七・五　横五・八　高〇・五	木製桜材　ゲスのみ		86P847(144)

一三三	**(3)台の両面に図柄・両面型**				
一三四	菓子型（左三ツ巴藤紋）	縦一七・〇 横二一・〇 高二・七	木製桜材 台のみ	片面・陰刻「御」	86P968(A37)
一三五	菓子型（両面共、水に楓、二面欠）	縦一九・八 横二二・〇 高三・〇	木製桜材 台のみ		86P969(118)
	(4)合わせ型				
一三六	菓子型（井筒に地紙紋）（裏面・蓮図）	縦二〇・二 横一三・三 高一・七	木製桜材		86P950(121-1・2)
一三八	菓子型（栗の型）	縦一八・〇 横八・〇 高六・五	木製桜材		86P951(29-1・2)
	(5)押し型のみ				
一三七	菓子型（半円球の型）	縦四二・一 横六・〇 高二・五	木製樫材カ	焼印「正」「松」	86P933(49)
一三八	菓子型（八咫鏡紋）	縦三〇・五 横七・五 高二・三	木製桜材	焼印「真髪神社」	86P932(20)
一三九	菓子型（卍の連続模様）	縦三〇・〇 横一三・七 高二・七	木製桜材	裏面陰刻「祝」	86P934(88)
一四〇	菓子型（左三ツ巴藤紋）（裏面・角立組井筒紋）	縦二五・七 横一四・五 高一・六	木製桜材	東長寺用カ	86P935(111)
一四一	菓子型（左三ツ巴藤紋）	縦一三・五 横三・〇 高三・〇	木製桜材	東長寺用カ	86P936(109)
一四二	菓子型（椎茸図）	縦二〇・四 横一二・七 高三・二	木製桜材		86P937(98)
一四三	菓子型（陰刻「MERRY XMAS」）（サンタクロース図）	縦一八・五 横一四・八 高三・五	木製桜材	昭和時代 チョコレート用	86P938(73)
	(6)部品				
一四四	菓子型	縦一六・八 横一・八 高一・二	木製杉材	ゲスの一部	86P939(147)

四　木村節夫油壺コレクション

〈資料内訳〉

工芸品……九一件　九一点

番号	名称	品質	員数	法量	備考	
				高さ×最大径(幅)×口径cm		
一	草花流水文染付六角油壺	磁器	一点	三・八×六・八×一・八		86P860
二	草花文染付油壺	磁器	一点	三・九×七・〇×一・五		86P861
三	草花文染付八角ねじり型油壺	磁器	一点	三・八×六・七×二・一		86P862
四	陶器油壺	陶器	一点	三・一×八・二×二・〇	備前焼	86P863
五	三島手油壺	陶器	一点	五・〇×七・八×一・九		86P864
六	青磁油壺	磁器	一点	四・四×七・二×二・九		86P865
七	木の葉文染付油壺	磁器	一点	四・〇×五・九×二・二		86P866
八	陶器掛釉油壺	陶器	一点	四・四×六・二×二・〇		86P867
九	菊花文色絵油壺	磁器	一点	五・四×九・二×二・五		86P868
一〇	草花文色絵型物油壺	磁器	一点	四・九×九・一×二・五		86P869
一一	文字文染付油壺	磁器	一点	三・六×六・八×一・九		86P870
一二	草花文色絵型物油壺	磁器	一点	五・二×九・四×二・三		86P871
一三	飛鶴文色絵油壺	磁器	一点	五・〇×九・二×三・〇		86P872
一四	草花文色絵型物油壺	磁器	一点	五・〇×九・三×二・二		86P873

一五	立葵花文色絵油壺	磁器	一点	五・四×九・二×一・九	86P874
一六	色絵油壺	磁器	一点	五・七×九・三×二・一	86P875
一七	色絵油壺	磁器	一点	五・八×八・二×二・〇	86P876
一八	色絵油壺	磁器	一点	五・六×八・二×二・一	86P877
一九	色絵油壺	磁器	一点	五・四×九・〇×一・八	86P878
二〇	山水柘榴文色絵油壺	磁器	一点	四・八×八・四×二・〇	86P879
二一	色絵油壺	磁器	一点	五・〇×九・九×二・二	86P880
二三	色絵油壺	磁器	一点	五・三×九・六×二・一	86P881
二三	蛸唐草文染付油壺	磁器	一点	五・三×八・三×二・〇	86P882
二四	梅花文染付油壺	磁器	一点	四・六×七・五×一・六	86P883
二五	山水文染付油壺	磁器	一点	五・二×八・四×一・八	86P884
二六	松鶴文染付油壺	磁器	一点	五・七×八・三×二・二	86P885
二七	陶器緑茶縞文油壺	陶器	一点	四・六×八・五×一・九	86P886
二八	菊花印花文染付油壺	磁器	一点	五・一×八・九×二・三	86P887
二九	草花蝶文染付油壺	磁器	一点	四・一×八・八×一・六	86P888
三〇	梅花文色絵十角面取型物油壺	磁器	一点	四・七×七・七×二・三	86P889
三一	白磁油壺	磁器	一点	五・五×八・八×一・九	86P890
三二	鶴文赤絵油壺	磁器	一点	五・六×八・七×一・九	86P891
三三	秋草和歌文染付油壺	磁器	一点	五・八×九・四×二・三	86P892
三四	色絵九角面取型物油壺	磁器	一点	五・六×七・九×二・三	86P893
三五	楓文染付十角面取型物油壺	磁器	一点	四・五×七・八×二・三	86P894
三六	亀甲花文色絵五花弁型油壺	磁器	一点	四・七×七・七×二・二	86P895

番号	名称	品質	員数	法量	備考	
三七	扇面花鳥文色絵油壺	磁器	一点	五・四×九・七×二・二		86P896
三八	菊花文染付油壺	磁器	一点	五・二×八・九×二・〇		86P897
三九	梅花文色絵油壺	磁器	一点	五・三×八・六×一・九		86P898
四〇	色絵四方形型物油壺	磁器	一点	四・二×(七・三)×二・二		86P899
四一	染付四方形面取型物油壺	磁器	一点	三・八×(七・一)×一・九		86P900
四二	色絵四方形面取型物油壺	磁器	一点	三・九×(七・〇)×一・九		86P901
四三	色絵四方形型物油壺	磁器	一点	三・九×(七・〇)×二・一		86P902
四四	草花文色絵四方形型物油壺	磁器	一点	三・二×(六・三)×一・七		86P903
四五	草花文色絵四方形型物油壺	磁器	一点	三・八×(六・六)×二・三		86P904
四六	牡丹花文染付油壺	磁器	一点	七・二×一四・三×一・五		86P905
四七	菊花文染付油壺	磁器	一点	七・〇×一四・二×二・一		86P906
四八	菊花文染付注口付油壺	磁器	一点	八・一×一四・五×一・八		86P907
四九	桜花文染付油壺	磁器	一点	九・八×一三・一×二・三		86P908
五〇	草花文染付油壺	磁器	一点	一〇・四×一一・一×三・二		86P909
五一	笹文染付油壺	磁器	一点	八・六×八・九×二・四		86P910
五二	草花文染付油壺	磁器	一点	九・四×九・三×二・五		86P911
五三	草花文染付油壺	磁器	一点	一一・三×一〇・八×(?)	口縁欠	86P912
五四	草花文染付油壺	磁器	一点	一〇・四×一一・一×(?)	口縁欠	86P913
五五	草花文染付油壺	磁器	一点	九・四×一〇・〇×二・五		86P914
五六	文字入り染付徳利形油壺	磁器	一点	九・六×八・七×二・三		86P915
五七	陶磁油壺	陶器	一点	七・三×一三・三×三・七		86P916

天八	陶器油壺	陶器	一点	六・〇×八・四×二・二	
天九	焼締め陶器油壺	陶器	一点	六・九×九・一×(?)	口縁欠
六〇	海鼠釉陶器油壺	陶器	一点	六・七×七・八×三・三	注口加工あり
六一	陶器油壺	陶器	一点	九・四×六・八×三・三	竜門司焼
六二	桜花文染付油壺	磁器	一点	七・七×九・一×三・〇	
六三	若松文染付油壺	磁器	一点	六・七×八・三×三・一	
六四	若松文染付油壺	磁器	一点	七・六×八・七×二・八	
六五	若松文染付油壺	磁器	一点	七・七×八・七×二・八	
六六	文字染付油壺	磁器	一点	六・四×一〇・四×二・七	
六七	草花文染付油壺	磁器	一点	七・五×九・六×二・三	
六八	草花文染付油壺	磁器	一点	八・四×九・六×二・七	
六九	草花文染付油壺	磁器	一点	七・九×八・五×一・九	
七〇	草花文染付油壺	磁器	一点	八・二×八・一×二・二	
七一	草花文染付油壺	磁器	一点	七・五×七・八×一・九	
七二	梅花文染付油壺	磁器	一点	七・一×六・八×二・一	
七三	桜花山水文油壺	磁器	一点	六・四×八・三×二・三	
七四	色絵油壺	磁器	一点	六・六×一〇・五×二・三	九谷焼
七五	牡丹花文色絵油壺	磁器	一点	八・四×九・五×二・五	
七六	樹花文色絵油壺	磁器	一点	六・九×一一・〇×二・五	
七七	蛸唐草染付印判手油壺	磁器	一点	五・七×九・七×二・四	
七八	波に千鳥文色絵四方形油壺	磁器	一点	七・二×(六・八)×二・八	
七九	鳳凰草花文色絵四方形油壺	磁器	一点	六・七×(六・四)×二・〇	

86P917	86P918	86P919	86P920
86P921	86P922	86P923	86P924
86P925	86P926	86P927	86P928
86P929	86P930	86P931	86P932
86P933	86P934	86P935	86P936
86P937	86P938		

番号	名称	品質	員数	法量	備考	
八〇	花蝶文色絵四方形油壺	磁器	一点	六・六×(六・五)×二・一		86P939
八一	蔓草文青磁四方形油壺	磁器	一点	六・二×(五・九)×一・七		86P940
八二	青磁耳付油壺	磁器	一点	八・〇×八・三×三・八		86P941
八三	イッチン緑釉油壺	陶器	一点	七・一×一〇・〇×二・九		86P942
八四	陶器油壺	陶器	一点	七・二×九・九×二・八		86P943
八五	陶器油壺	陶器	一点	四・八×八・七×二・二		86P944
八六	陶器油壺	陶器	一点	六・九×八・二×二・〇		86P945
八七	陶器油壺	陶器	一点	七・六×八・〇×二・〇		86P946
八八	陶器油壺	陶器	一点	八・九×九・二×二・四		86P947
八九	陶器油壺	陶器	一点	七・四×九・四×二・五		86P948
九〇	陶器油壺	陶器	一点	七・四×九・六×二・一		86P949
九一	陶器油壺	陶器	一点	六・八×九・五×(?)	口縁欠	86P950

五　主基斉田資料

〈資料内訳〉

1　鶴田サッヱ資料
八乙女衣裳……一件　八点

2　吉浦ツイ資料
八乙女衣裳……一件　八点
楽譜……一件　一点
その他……一件　一点

3　坂口シズヱ資料
八乙女衣裳……一件　六点
道具……一件　一点
次第書……一件　一点
絵葉書……一件　一九点
写真……一件　二点
新聞……一件　六点
その他……一件　一点

4　船越チカ資料
八乙女舞衣裳……一件　三点
道具類……一件　一点
楽譜……一件　五点
新聞……一件　三点
その他……一件　三点

5　牛尾タカ資料
八乙女舞衣裳……一件　六点
道具類……一件　一点

6　鶴田善仁資料
八乙女舞衣裳……一件　六点

7　柴田カネ資料
早乙女衣裳……一件　二点
道具類……一件　一点

8　鶴田ハツノ資料
早乙女衣裳……一件　一点

9　篠塚キクヱ資料
早乙女衣裳……一件　一点

10　高田耕作資料
写真帖……一件　二点
写真額……一件　一点

〈総計〉　三五件　九九点

(一) 鶴田サツエ資料（主基斉田八乙女舞衣裳）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	槍扇	一点	昭和二年	縦 三三・五 横 六・五	木製槍材		86P961
二	白衣	一点	昭和二年	着丈 一二八・〇 裄 六一・五	木綿製		86P952
三	千早	一点	昭和二年	着丈 一四四・五 裄 六九・〇	絹・モスリン製		86P953
四	緋袴	一点	昭和二年	着丈 九〇・七 腰幅 三三・〇	絹製		86P954
五	裳	一点	昭和二年	丈 一四八・〇 腰幅 三九・〇	絹製		86P955
六	袴	一点	昭和二年	縦 七・二 横 五九・五	絹製		86P956
七	袴	一点	昭和二年	縦 一五・一 横 五四・五	絹製		86P957
八	かもじ	一点	昭和二年	長 九五・〇	人毛		86P958

(二) 吉浦ツイ資料（主基斉田八乙女舞衣裳ほか）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	槍扇	一点	昭和二年	縦 三三・五 横 四・五	木製槍材		86P959
二	髪飾り	一点	昭和二年	縦 二三・〇 横 二四・〇	布・紙・金属製		86P960
三	白衣	一点	昭和二年	着丈 一〇九・〇 裄 六〇・三	木綿製		86P961
四	緋袴	一点	昭和二年	着丈 九一・五 腰幅 五四・〇	絹製		86P962
五	下襦袢	一点	昭和二年	着丈 六一・〇 裄 六一・〇	木綿製		86P963
六	千早	一点	昭和二年	着丈 一三七・五 裄 六六・五	絹・モスリン製		86P964
七	裳	一点	昭和二年	着丈 一六〇・〇 腰幅 三七・〇	絹製		86P965

八	衿	一点	昭和三年	縦 三三・五 横 六・五	絹製		86P966
九	楽譜	四点	昭和三年	(二点) 縦 二九・三 横 二七・五 (二点) 縦 三三・一 横 二四・一	紙製		86P967~8 86P969~70
一〇	箸	一点	昭和三年	縦 三三・八 横 一・五	竹製	「主基斉田朱来竹製記念箸 福岡県」	86P971

(三) 坂口シズエ資料（主基斉田八乙女舞衣裳ほか）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	槍扇	一点	昭和三年	縦 三三・五 横 三・二	木製槍材		86P972
二	白衣	一点	昭和三年	着丈 六八・〇 裄 六五・二	木綿製		86P973
三	千早	一点	昭和三年	着丈 一三五・〇 裄 七〇・〇	絹製		86P974
四	緋袴	一点	昭和三年	着丈 九一・五 腰幅 三五・〇	絹製		86P975
五	裳	一点	昭和三年	丈 一四六・〇 腰幅 二八・五	絹製		86P976
六	衿	一点	昭和三年	縦 三二・〇 横 五・五	絹製		86P977
七	箱	一点	昭和三年	縦 六六・三 横 五〇・六 高 一六・七	木製檜材		86P978
八	主基斉田御田植次第	一点	昭和三年	縦 二二・七 横 二・五	紙製		86P979
九	絵葉書（主基斉田記念絵端書）	三点	昭和三年	縦 一四・一 横 九・二	紙製		86P980~2
一〇	絵葉書（主基斉田用地脇山村風景絵端書）	七点	昭和三年	縦 一七・〇 横 一〇・〇	紙製		86P983~9
一一	八乙女写真	二点	昭和三年	縦 一五・八 横 一一・二 縦 一三・五 横 九・〇	紙製 紙製		86P990 86P991
一二	新聞切抜	六点	昭和三年		紙製		86P992~7
一三	箸	一点	昭和三年	長 二二・七	竹製		86P998

(四) 船越チカ資料（主基斉田八乙女舞衣裳一式ほか）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	檜扇	一点	昭和三年	縦 三三・五 横 三・二	檜製		86P999
二	千早	一点	昭和三年	着丈 一五六・〇 裄 七〇・〇	絹製		86P1000
三	裳	一点	昭和三年	丈 一五六・三 腰幅 三九・〇	絹製		86P1001
四	衣裳箱	一点	昭和三年	縦 七五・五 横 四九・〇 高 一三・〇	木製檜材		86P1002
五	楽譜	一点	昭和三年		紙製		86P1003
六	新聞切抜	三点	昭和三年		紙製		86P1004～6
七	会報（福岡県神職会）	二点	昭和三年八月十日		紙製	一三号、八月号	86P1007～8
八	箸	一点	昭和三年	縦 一・五 横 〇・七	竹製	「主基斉田朱来竹製記念箸 福岡県」	86P1009

(五) 牛尾タカ資料（主基斉田八乙女舞衣裳一式ほか）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	檜扇	一点	昭和三年	縦 三三・五 横 三・三	檜製		86P1010
二	千早	一点	昭和三年	着丈 一五五・五 裄 六九・〇	絹製		86P1011
三	緋袴	一点	昭和三年	着丈 九一・〇 腰幅 三四・〇	絹製		86P1012
四	裳	一点	昭和三年	丈 一五六・〇 腰幅 四〇・〇	絹製		86P1013
五	袴	三点	昭和三年	縦 一三・〇 横 七・五 縦 一一・〇 横 七・五 縦 八四・〇 横 四・七	絹製		86P1014 86P1015 86P1016
六	かもじ	一点	昭和三年	長 八〇・〇	人毛		86P1017
七	箱	一点	昭和三年		木製檜材		86P1018

(六) 鶴田善仁資料（主基斉田八乙女舞衣裳一式）

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	檜扇	一点	昭和三年	縦 三二・五 横 三・四	木製檜材		86P1019
二	千早	一点	昭和三年	着丈 一三五・五 裄 六九・五	絹製		86P1020
三	緋袴	一点	昭和三年	着丈 九二・〇 腰幅 三二・〇	絹製		86P1021
四	裳	一点	昭和三年	丈 一六〇・〇 腰幅 四二・〇	絹製		86P1022
五	袴	一点	昭和三年	縦 四二・〇 横 六・五	絹製		86P1023
六	かもじ	一点	昭和三年	長 八〇・〇	人毛		86P1024

(七) 柴田カネ資料

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	早乙女衣裳	一点	昭和三年	着丈 一三五・〇 裄 二六・〇	木綿製		86P1025
二	羽織	一点	昭和三年	着丈 九二・〇 裄 一四〇・二	絹製カ 抱茗荷絞		86P1026
三	緋袴	一点	昭和三年	着丈 八六・〇 腰幅 三五・〇	木綿製		86P1027
四	手甲	四点	昭和三年	長 三五・〇 幅 一四・二 (紐・二本共)長 六二・〇 幅 一・五	木綿製・緑色		86P1028～31
五	脚伴	四点	昭和三年	縦 三〇・二 横 三六・〇 (紐)長 六九・六・一六・〇 幅 一・八	木綿製・緑色		86P1032～4
六	衣裳箱	一点	昭和三年	縦 四五・〇 横 三五・〇 高 二三・五	木製檜材		86P1035

(八) 鶴田ハツノ資料

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	手甲	三点	昭和三年	縦 三三・一 横 一三・〇 (紐)長(一)五七・〇 ・(一)六〇・〇 幅(一)(一)共 一・〇	木綿製・緑色		86P1036~8
二	脚伴	三点	昭和三年	縦 二七・〇 横 三八・〇 (紐)長(一)六五・〇 (一)一六・〇 幅(一)(一)共 一・二	木綿製・緑色		86P1039~41

(九) 篠塚キクエ資料

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	主基斉田早乙女用帯	一点	昭和三年	全長 三八五・〇 幅 九・八	絹製	博多織	86P1042

(十) 高田耕作資料

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	
一	主基斉田写真帖	一点	昭和三年一二月	縦 二三・八 横 三一・八 厚 二・四	写真帖	福岡県発行	86P1043
二	主基斉田写真帖	一点	昭和三年一二月	縦 一八・五 横 二八・六 厚 一・八	写真帖	脇山村発行	86P1044
三	写真額	一点	昭和三年	縦 四一・〇 横 五六・二 厚 一・六	木製	早乙女衣裳の布地	86P1045

昭和六十一年度収集〈寄贈資料〉　追加

五　主基斎田関係資料

(二)　吉浦ツイ資料（主基斎田八乙女舞衣裳ほか）……二件三点

番号	資料名	員数	時代	法量	品質・形状	備考	備品番号
一	脚伴	二点	昭和三年	縦三三・〇　横三六・〇	木綿製　藍染紐付		86P1438～39
二	衣裳箱	一点	昭和三年	縦七六・〇　横五五・〇　高一六・〇	木製桧材	墨書「主基八乙女衣裳」「脇山村舟引　小幡ツイ」昭和参年六月五日」	86P1440

六　松尾信子資料

〈資料内訳〉

レコード盤……二六件　三点

時　計……一点

一、レコード盤

番号	曲名	時代	作者	員数	法量	発行	備考	
一	富士太鼓 (一)～(四)	昭和時代	観世佐近	五枚	二七・四×二七・四×二・九	ニットー	ケース入り	86P1046～50
二	長唄汐汲	昭和時代		三枚	二六・五×三〇・三×二	コロムビア	ケース入り、松永和風唄	86P1051～3
三	(二〇枚セット)	昭和時代		二〇枚	二六・二×二六・五×五・〇			
①	葵上	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1054
②	勧進帳	昭和時代	清水八郎	一枚		太陽		86P1055
③	松風	昭和時代	観世喜之・武雄	一枚		ポリドール		86P1056
④	高砂	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1057
⑤	天鼓	昭和時代	梅若六郎	一枚		コロムビア		86P1058
⑥	猩々	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1059
⑦	羽衣	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1060

番号	曲名	時代	作者	員数	法量	発行	備考	
⑧	A鶴亀　B高砂	昭和時代	観世鐵之丞	一枚		コロムビア		86P1061
⑨	A隅田川　B小袖曽我	昭和時代	大槻十三	一枚		ビクター		86P1062
⑩	鉢木	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1063
⑪	弱法師	昭和時代	観世喜之	一枚		ポリドール		86P1064
⑫	小督	昭和時代	清水八郎	一枚				86P1065
⑬	吾妻八景㈠～㈥	昭和時代	吉住小三郎	三枚		ニットー		86P1066～8
⑭	竹生島	昭和時代	観世元滋	一枚		ニットー		86P1069
⑮	北州㈠～㈥	昭和時代	渡元延寿太夫	三枚		ニットー		86P1070～2
⑯	船弁慶	昭和時代	観世佐近	一枚		ニットー		86P1073
四	（二〇枚セット）	昭和時代		二〇枚	二六・二×二六・五×五・〇			
①	A兵隊さん	昭和時代	詞　松村又一　曲　貝塚正治郎	一枚		コロムビア	唄　田中たかこ	86P1074
	Bむくむく柳猫柳	昭和時代	詞　松村又一　曲　貝塚正治郎				唄　田中たかこ	
②	A豊年の歌	昭和時代	詞　林柳波　曲　深澤一郎	一枚		ビクター	唄　宮下禮子	86P1075
	B山の子供	昭和時代	詞　林柳波　曲　深澤一郎				唄　宮下禮子	
③	A学生行進曲	昭和時代	曲　海軍軍楽隊	一枚		ビクター	演奏　東京海軍軍楽隊	86P1076
	B兵士の歌	昭和時代	曲　サルティウィ				演奏　東京海軍軍楽隊	
④	A羽衣	昭和時代	詞　久保田寶二　曲　佐々木英	一枚		コロムビア	唄　岡島喜代子	86P1077

	B雀のお宿	昭和時代	詞 泉克一 曲 小林光守				
⑤	A明治大学校歌	昭和時代	詞 児玉花外 曲 山田耕作	一枚		コロムビア	唄 明治大学応援団	86P1078
	B明治大学応援歌	昭和時代	詞 畑耕作 曲 高階哲夫			コロムビア	唄 明治大学応援団	
⑥	A進軍の歌	昭和時代	詞 本多信寿 曲・編曲 陸軍戸山学校軍楽隊	一枚		コロムビア	曲 陸軍戸山学校軍楽隊	86P1079
	B露営の歌	昭和時代	詞 藪内一郎 曲 古關裕而 編曲 奥山貞吉			コロムビア	唄 霧島昇・佐々木章	86P1080
⑦	A愉快な水夫	昭和時代	曲 リムカム	一枚		コロムビア	曲 宮田ハーモニカバンド	86P1081
	Bホフマンの舟歌	昭和時代	訳詞 堀内敬三 曲 オッフェンバッハ			コロムビア	曲 宮田ハーモニカバンド 唄 永井美奈子	
⑧	A早稲田大学校歌	昭和時代	詞 相馬御風 曲 東鉄笛	一枚		コロムビア	唄 早稲田大学応援部	86P1082
	B早稲田大学応援歌	昭和時代	詞 住治男 曲 古關裕而 編曲 奥山貞吉			コロムビア	唄 早稲田大学応援部	
⑨	A名古屋発動機製作所々歌	昭和時代	詞 久保田賓二 曲 北村光雄 編曲 奥山貞吉	一枚		コロムビア	唄 伊藤久男・二葉あき子	86P1083
	B名古屋発動機製作所行進曲	昭和時代	曲 北村輝 編曲 奥山貞吉			コロムビア	演奏 コロムビア吹奏楽団	
⑩	A童謡盆踊	昭和時代	詞 野口雨情 曲 藤井清水	一枚		ビクター	唄 平井英子	86P1084
	B七夕さま・烏のくろんぼ	昭和時代	詞 野口雨情 曲 藤井清水				唄 平井英子	
⑪	A長崎高等商業学校々歌	昭和時代	詞 牛島秀雄 曲 島村吉門 編曲 仁木他喜雄	一枚		ビクター	唄 長崎高等商業学校同窓会	

番号	曲名	時代	作者	員数	法量	発行	備考	
	B長崎高等商業学校々歌	昭和時代	曲 島村正門 編曲 仁木他喜雄				演奏 日本コロムビア交響楽団	
⑫	A長崎造船所々歌	昭和時代	曲・編曲 山田耕作	一枚		コロムビア	演奏 コロムビア管絃楽団	86P1085
	B長崎造船所々歌独唱	昭和時代	詞 北原白秋 曲・編曲 山田耕作				唄 中野忠治	
⑬	Aたんたら太鼓	昭和時代	詞 葛原しげる 曲 弘田龍太郎	一枚		ポリドール	唄 太田美保子	86P1086
	B村祭り	昭和時代	詞 葛原しげる 曲 弘田龍太郎				唄 城多保子・飯野婦美子	
⑭	お正月（児童劇）	昭和時代	脚色 長谷山峻彦	一枚		ポリドール	長谷山雛菊児童音楽会	86P1087
⑮	A肉弾三勇士	昭和時代	詞 長田幹彦 曲 中山晋平	一枚		ビクター	唄 オリオンコール合唱	86P1088
	B空中艦隊の歌	昭和時代	詞 長田幹彦 曲 中山晋平				唄 四家文子	
⑯	ADORNROSCHNS BRAUTFAHRT	昭和時代		一枚		ビクター	破損	86P1089
	BSCHMIEDE IN WAL	昭和時代					破損	
⑰	A千鳥なく	昭和時代	曲 関屋敏子	一枚		ビクター	唄 関屋敏子	86P1090
	B薔薇は散りゆく	昭和時代	詞 川路柳虹 曲 関屋敏子				唄 関屋敏子	
⑱	A夜の調べ	昭和時代	曲グーノー 編曲 カルロサンバニ	一枚		ビクター	唄 関屋敏子	86P1091
	B野いばら	昭和時代	編曲 カルロサンバニ				唄 関屋敏子	

⑲	子どものための律動	昭和時代		一枚		ビクター	演奏 ビクターオーケストラ	86P1092
⑳	Melodies for Children	昭和時代		一枚		ビクター		86P1093
五	早舞（初段～四段目）	昭和時代		一枚	直径三五・三	コロムビア	能楽はやし	86P1094
六	A獅子　B羯鼓	昭和時代		一枚	直径三五・三	コロムビア	能楽はやし	86P1095
七	蝶々	昭和時代	曲　杵屋佐吉	一枚	直径三五・三	ニットー		86P1096
八	雪の隅田川	昭和時代	詞　英十三　曲　杵屋正邦	一枚	直径三四・八	コロムビア	三島儷子・下谷菊太郎	86P1097
九	A花見道成寺　B源氏物語	昭和時代	詞　高橋掬太郎　曲　大村能章	一枚	直径三五・〇	キング	三門順子	86P1098
一〇	Aさくら道成寺　B春色明治姿	昭和時代	詞　高橋掬太郎　曲　大村能章	一枚	直径三五・〇	キング	三門順子	86P1099
一一	A春雨　B梅にも春	昭和時代		一枚	直径三五・三	東京レコード	藤本二三吉	86P1100
一二	A春に迷う　B柳の雨	昭和時代		一枚	直径三四・八	ビクター	A市丸　B小唄勝太郎	86P1101
一三	A博多夜船	昭和時代	詞　高橋掬太郎　曲　大村能章	一枚	直径三四・八	コロムビア	市丸	86P1102
	B新祇園小唄	昭和時代	詞　南風原朝成　曲　佐々木紅華				藤本二三吉	
一四	A小判鮫の歌	昭和時代	詞　高橋掬太郎　曲　大村能章	一枚	直径三四・八	キング	小畑実	86P1103
	Bお亡かんざし	昭和時代	詞　高橋掬太郎　曲　光永翰史				三門順子	
一五	A勘太郎月夜歌　B湯島の白梅	昭和時代	詞　佐伯孝夫　曲　清水保雄	一枚	直径三四・八	ビクター	小畑実	86P1104
一六	Aマドロスの歌　Bアンコ可愛や	昭和時代	詞　松村又一　曲　上原げんと	一枚	直径三五・〇	キング	小畑実	86P1105

番号	曲名	時代	作者	員数	法量	発行	備考	
一七	Aお駒恋姿	昭和時代	詞 藤田まさと 曲 大村能章	一枚	直径三二・〇	ポリドール	東海林太郎	86P1106
	B吉さま人形	昭和時代	詞 土方喬 曲 阿部武雄				東海林太郎	
一八	A黒田節 Bオテモヤン	昭和時代	編曲 服部逸郎	一枚	直径三二・〇	コロムビア	赤坂小梅	86P1107
一九	茶目子の一日	昭和時代		一枚	直径三二・〇	ニッポノホン	七聲歌劇団	86P1108
二〇	Aマリア・マリトヘ B帰れソレント	昭和時代		一枚	直径三二・〇	コロムビア	オーケストラ・ナポリタン	86P1109
二一	A金婚式 Bユーモレスク	昭和時代		一枚	直径三二・〇	コロムビア	サクスホーン MARCEL MULE	86P1110
二二	A夕やけ小やけ	昭和時代	詞 中村雨虹 曲 草川信 編 仁木他喜雄	一枚	直径三二・〇	コロムビア	大川澄子	86P1111
	Bよいよい横丁	昭和時代	詞 島田芳文 曲 佐々木すぐる				大川澄子	
二三	A絵日がさ B花かげ	昭和時代	詞 大村主計 曲 豊田義一 編曲 海沼実	一枚	直径三二・〇	コロムビア	A安田祥子 B伴久美子	86P1112
二四	A蝶々のバレエ	昭和時代	詞 結城ふじを 曲 冨田勲	一枚	直径三二・〇	コロムビア	安田祥子・内田喜美子	86P1113
	B元気に	昭和時代	詞 加藤省吾 曲 山口俣治				土屋道典・根岸芳子	
二五	Aお獅子	昭和時代	詞 海野厚 曲 外山國彦	一枚	直径三二・三	コロムビア	小笠原英夫	86P1114
	B後の鬼ケ島	昭和時代	詞 鹿鳥鳴秋 曲 小出浩平				小笠原英夫	
二六	A私のお誕生日 Bお誕生日の歌	昭和時代	詞 丘十四夫 曲 冨田勲	一枚	直径三〇・一	コロムビア	松島トモ子	86P1115
二七	Aひよりがさ Bおひなあそび	昭和時代		一枚	直径三〇・一	ビクター	田端典子（絵入り）	86P1116

六	A叱られて	昭和時代	詞 清水かつら 曲 弘田龍太郎	一枚	直径三五・一	ビクター	川田孝子(破損)	86P1117
	Bちんちん千鳥	昭和時代	詞 北原白秋 曲 成田為三				川田孝子(破損)	

二、時　計

番号	曲名	時代	材質	員数	法量	備考	
一	振り子時計	昭和時代	木	一台	四二・五×三〇・五×二二・七		86P1118

七　飯尾寿一資料

〈資料内訳〉

1　生活の用具……一四件　二〇点
2　生産の用具……七件　一三点
3　交通・交易の用具……二件　二点
4　社会生活の用具……一件　一点
5　信仰・年中行事の用具……八件　八点
6　人の一生の用具……一件　一点
7　その他……三件　七点
計　二六件　五一点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
	(1) 食生活用具					
一	染付杯洗	一点	径一五・八 高一二・〇	磁器		86P1119
二	色絵杯洗	一点	径一三・六 高一〇・一	磁器		86P1120
三	吸物椀	七点	径一一・七 高七・八 (外箱)縦二七・四 横一四・一 高二四・六	木製朱漆塗(竹製)木製杉材	外箱付正月用の什器客一破損	86P1121~7
四	重箱	一点	径一六・一 横一四・八 高二〇・八	木製朱漆塗四箱蓋付、(竹製)木製杉材	外箱付箱崎放生会のお昼籠りに使用	86P1128
五	会席膳	一点	縦三六・三 横三六・七 高四・〇 (外箱)縦四〇・四 横四〇・五 高四・五	木製黒漆塗、十膳一組(竹製)木製杉材	外箱破損	86P1129
六	煙管	一点	径一・五 長一四・五	竹製		86P1130
七	煙管	一点	径一・七 長二六・〇	竹製		86P1131
八	刻み煙草入れ	一点	縦八・〇 横一一・〇 厚二・四 (根付け)径一・六 (煙管入れ)全長二四・二 縦二・三 横一・五 (煙管)全長一六・一 縦一・八	木製螺鈿竹製		86P1132
九	刻み煙草入れ(キザミイレ)	一点	径九・五 高六・二 (根付け)径四・二 高一・六	蜜柑皮製、漆塗仕上げ		86P1133
一〇	煙草入れ(キザミイレ)	一点	縦九・〇 横一〇・五 厚二・五 (根付け)径三・五 高三・〇	皮製		86P1134
一一	煙草入れ	一点	縦一三・〇 横九・〇 厚二・三 (根付け)径三・五 高一・五 (玉)径一・七	木製朱漆塗角製	紙煙草用	86P1135
	(2) 住居用具					
一二	物入れ	一点	縦三二・五 横三二・三 高二七・五	木製杉材、拭漆		86P1136

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
一三	小筥	一点	縦三一・七 横八・九 高四・〇	木製樣材		86P1137
一四	龕燈	一点	径一八・七 長三六・〇	鉄製		86P1138

二、生産の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
	(1) 諸職用具					
一五	表装道具箱	一点	縦二九・九 横二六・〇 高二四・五	木製、紅殻黒塗装	表装屋の道具入れ	86P1139
一六	鋏	六点	(一)全長 二五・五 幅六・五 厚一・四 (二)全長 二三・〇 幅七・二 厚一・四 (三)全長 二三・一 幅五・五 厚〇・九 (四)全長 一六・四 幅四・三 厚〇・八 (五)全長 一五・五 幅五・一 厚一・〇		(二)～(五)屏風張用	86P1140～5
一七	鋸	一点	(鋸歯)幅一四・〇 長五〇・五 (柄)径四・〇 長二〇・〇	鉄製 柄木製		86P1146
一八	鋸	一点	(鋸歯)幅八・五 長五二・五 (柄)径四・〇 長一四・五	鉄製 柄木製		86P1147
一九	小筥	一点	縦一七・五 横六・〇 高二・一	表面皮製 漆塗装仕上げ	書類入れ	86P1148
二〇	小物入れ	一点	縦一三・〇 横二五・五 厚四・〇	皮製 漆塗装	証文書類入れ	86P1149
二一	小物入れ	一点	縦一〇・〇 横一八・〇 厚一・七	藤製	証文書類入れ	86P1150

三、交通・交易の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
三	(1) 旅行用具					
	札入れ	一点	縦 二二・〇 横 一九・〇 厚 三・〇	毛皮（アザラシ）製	厳冬期に使用	86P1151
三	(2) 計算・計量用具					
	携帯用棹秤	一点	(棹)径 〇・四 長 二一・四 (皿)径 六・六 高 〇・六	象牙製 真鍮製	明治時代 分銅・箱付	86P1152

四、社会生活の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
二四	(1) 防災用具					
	漆塗笠	一点	径 二四・八 高 二〇・〇	鹿皮製漆塗装	防災用具 黒田家より拝領との口伝あり	86P1153

五、信仰・年中行事の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
三五	(1) 神事用具					
	御札入れ	一点	縦 一六・四 横 六・二 高 二・五	木製桐材	古いお札を入れ、神棚に納めるもの	86P1154

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
	(2) 信仰関係服装					
二六	冠（テンガイ）	一点	縦 三一・八 横 一八・〇 高 三三・五 紐長 六七・五	金属製	稚児用 櫛田神社遷宮祭に使用	86P1155
二七	烏帽子	一点	縦 一三・七 横 八・〇 高 一三・四 紐長 五九・五	布製漆塗	稚児用 櫛田神社遷宮祭に使用	86P1156
二八	笛迫	一点	縦 六・三 横 八・八 高 二・七	絹製		86P1157
二九	扇子	一点	縦 七・六 横 一・八 厚 一・五	竹紙製	櫛田神社式年宮祭に使用	
三〇	守り刀	一点	全長 五七・五 (鍔) 縦 六・七 横 五・九 (掛紐)長 四〇・五	木製漆塗	稚児用 櫛田神社遷宮祭に使用	86P1158
三一	(3) 年中行事用具					
三二	太鼓	一点	径 四五・四 幅 四二・〇	木、皮製	櫛田神社遷宮祭に使用	86P1159
三三	太鼓担い棒	一点	径 二・九 長 六六・五	木製	祇園山笠に町内で使用	86P1160
						86P1161

六、人の一生の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
	(1) 成長の祝いの用具・呪具					
三三	飾り守護	一点	縦 七・二 横 一〇・八 厚 四・六	絹織物	初宮詣り 七五三用	86P1162

七、その他

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
三四	短刀	一点	全長 三七・八 幅 三・二 厚さ 一・九	(鞘)木製	用途不詳	86P1163
三五	貨幣	五点	(四点)径 二・二・(一点)径 二・八	銅製		86P1164～8
三六	貨幣	一点	径 二・三	銅製		86P1169

八、中江家資料（追加分）

〈資料内訳〉

古文書等……四五件　四七点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	日誌	明治5年8月ヨリ	中江	和紙・袖珍本	一冊	8×16		86P1170
二	日誌	明治7年11月1日ヨリ	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×16		86P1171
三	日誌	明治8年1月1日ヨリ	中江	罫紙・小冊子	一冊	7×16		86P1172
四	日誌	明治10年1月改	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×15	表紙裏「東京ヨリ熊本ニ至」とあり	86P1173

五	日誌	明治11年1月改	中江正義	和紙・袖珍本	一冊	7×14	表紙書「熊本県在職」とあり	86P1174
六	日誌	明治12年1月改	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×14	表紙書「熊本県在職」とあり	86P1175
七	日誌	明治14年	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×14		86P1176
八	日誌	明治15年1月1日ヨリ起	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×14		86P1177
九	日誌	明治17年1月	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×14		86P1178
一〇	日誌	明治18年1月起	中江	和紙・袖珍本	一冊	7×16		86P1179
一一	懐中日記（明治一〇年分）	明治19年9月20日出版届	印刷 印刷局 筆者 中江正義	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	12×9		86P1180
一二	日誌	明治21年	中江	洋紙・小冊子	一冊	10×14		86P1181
一三	日誌	明治23年	中江	洋紙・小冊子	一冊	8×13		86P1182
一四	日誌	明治24年	中江	洋紙・小冊子	一冊	8×13	表紙書「ABESE I」とあり	86P1183
一五	日誌	明治25年	中江	罫紙・小冊子	一冊	15×11		86P1184
一六	日誌	明治26年	中江	罫紙・小冊子	一冊	15×11		86P1185
一七	懐中日記（明治一七年分）	明治26年12月1日発行	編纂兼印刷者 前野茂久次 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1186
一八	懐中日記（明治一八年分）	明治27年11月14日発行	編輯兼発行者 鈴木常松（積善館） 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1187
一九	懐中日記（明治一九年分）	明治28年11月22日発行	編輯兼発行者 鈴木常松（積善館） 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	12×8		86P1188
二〇	懐中日記（明治二〇年分）	明治29年11月4日発行	編輯兼印刷者 鈴木常松	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1189

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
二	懐中日記（明治31年分）	明治30年12月5日再版	発行者 中村芳松 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	表紙書「附録日用便覧」とあり	86P1190
三	懐中日記（明治32年分）	明治31年11月1日発行	編輯兼発行者 中村芳松 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	表紙書「附録日用便覧」とあり	86P1191
三	懐中日記（明治33年分）	明治32年10月7日発行	編輯兼発行者 飯尾千尋 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1192
四	懐中日記（明治34年分）	明治33年11月12日発行	編輯者 田島清三郎 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1193
五	懐中日記（明治35年分）	明治34年11月1日発行	編輯兼発行者 石田忠兵衛 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1194
六	懐中日記（明治36年分）	明治35年9月15日発行	編輯兼発行者 仙崎佐久竜 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	12×9		86P1195
七	懐中日記（明治37年分）	明治36年10月10日発行	著作兼発行者 荒西要三郎 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1196
八	懐中日記（明治38年分）	明治37年10月20日発行	著作兼発行者 佃要三郎 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1197
九	懐中日記（明治39年分）	明治38年10月15日発行	著作兼発行者 佃要三郎 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1198
一〇	懐中日記（明治40年分）	明治39年10月5日発行	編輯兼発行者 佃要三郎（積善館） 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1199
一一	懐中日記（明治41年分）	明治40年10月5日発行	編輯兼発行者 富本長州 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1200
一二	懐中日記（明治42年分）	明治41年9月5日発行	編輯兼発行者 富本長州 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9		86P1201
一三	懐中日記（明治43年分）	明治42年9月5日発行	著輯兼発行者 柴田茂樹 筆者 中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	12×9		86P1202

三三	懐中日記（明治44年分）	明治43年10月1日発行	編纂者　鐘美堂編輯部　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	12×9	86P1203
三三	懐中日記（明治45年分）	明治44年9月5日発行	編輯者　積善館編輯所　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1204
三四	懐中日記（大正2年分）	大正元年9月10日発行	編纂者　鐘美堂編輯部　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1205
三五	懐中日記（大正3年分）	大正2年9月5日発行	編輯兼発行者　積善館編輯所　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1206
三六	懐中日記（大正4年分）	大正3年9月5日発行	編輯兼発行者　積善館編輯所　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1207
三七	懐中日記（大正5年分）	大正4年9月5日発行	編輯兼発行者　積善館編輯所　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1208
三八	懐中日記（大正6年分）	大正5年9月5日発行	編輯兼発行者　積善館編輯所　筆者　中江	洋紙（一部印刷）・小冊子	一冊	13×9	86P1209
三九	貸并預金控帳	明治24年～明治30年	中江	洋紙・小冊子	一冊	9×13	86P1210
四〇	十文字鎌免許状	明治37年11月19日	宝蔵院中江正義　他9名ヨリ　浦田重道宛	巻子装	一巻	19（タテ）	86P1211
四一	軍隊手牒	明治40年	中江星生	野紙（一部印刷）・手帳	一冊	12×8	86P1212
四二	黒田家略系	明治	印刷所　不詳　筆者　中江	印刷・一紙	一枚	45×59（最大）	86P1213
四三	黒田侯爵ヨリ御献品書付控	明治	中江	一紙	三通	20×73（最大）	86P1214～6

「高取焼陶器由緒、菊御作太刀由緒」など。包紙あり。

九　池辺ミチエ資料

〈資料内訳〉

生活の用具……二五件　四二点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作者	備考	
	(1) 衣類・履物						
一	羽織	一点	着丈 六〇・五　裄 六八・〇	絹織物　大島紬	池辺ミチエ	昭和五〇年代　男物	86P1217
二	夏羽織（黒紋付）	一点	着丈 八三・五　裄 六九・〇	絹織物　紹	池辺ミチエ	昭和五〇年代　男物	86P1218
三	長着	一点	着丈 一四四・〇　裄 六九・〇	絹織物　大島紬	池辺ミチエ	昭和五〇年代　羽織一とセットで使用	86P1219
四	長襦袢	一点	着丈 一三七・七　裄 六六・〇	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代　男物	86P1220
五	袴	一点	着丈 八六・五　裄幅 六三・〇	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代　男物	86P1221
六	羽織	三点	(一)着丈 七八・〇　裄 六四・五	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代　女物	86P1222
			(二)着丈 七六・四　裄 六七・〇	毛織物		昭和五七年代　女物	86P1223
			(三)着丈 七三・〇　裄 三〇・〇	化繊		昭和五〇年代　女物	86P1224
七	夏羽織（紋付）	一点	着丈 七六・七　裄 六〇・五	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代　女物	86P1225
八	長着	二点	(一)着丈 一三三・五　裄 六四・五	絹織物　紗	池辺ミチエ	昭和五〇年代　女物	86P1226
			(二)着丈 一三七・〇　裄 六三・〇	毛織物		昭和五七年代　女物	86P1227
九	黒留袖	一点	着丈 一三三・五　裄 六一・五	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代	86P1228
一〇	色留袖	二点	(一)着丈 一三四・〇　裄 六二・三	織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代	86P1229

一二	訪問着	三点	(一)着丈 一五二・〇 裄 六三・四	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代	86P1230
			(二)着丈 一五三・三 裄 六二・五				86P1231
			(三)着丈 一五三・〇 裄 六三・〇				86P1232
			(四)着丈 一五四・五 裄 六三・〇				86P1233
一三	長襦袢	四点	(一)着丈 一二〇・〇 裄 六二・二	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代 女物	86P1234
			(二)着丈 一二四・五 裄 六四・三	絹織物			86P1235
			(三)着丈 一二〇・〇 裄 六二・五	絹織物			86P1236
			(四)着丈 一二四・五 裄 六四・三	化繊			86P1237
一四	長コート	一点	着丈 一二〇・〇 裄 三〇・〇	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代 女物	86P1238
一五	雨コート	二点	(一)着丈 一二三・〇 裄 六四・五	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代 女物	86P1239
			(二)着丈 一二二・〇 裄 六四・五				86P1240
一六	道行コート	一点	着丈 八六・〇 裄 六一・〇	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代	86P1241
一七	ショール	一点	幅 二七・〇 長 一二七・〇	絹織物	池辺ミチエ	昭和五〇年代 女物	86P1242
一八	帯	二点	(一)幅 三一・二 長 三五・〇	化繊	不詳	昭和五〇年代	86P1243
			(二)幅 三〇・三 長 三四・〇	化繊 紗	不詳	昭和五〇年代 夏物	86P1244
一九	名古屋帯	三点	(一)幅 三〇・三 長 三六八・〇	絹織物	不詳	昭和五〇年代	86P1245
			(二)幅 三〇・七 長 三七三・〇	絹織物 紗	不詳	昭和五〇年代 夏物	86P1246
			(三)幅 三〇・〇 長 三五三・〇	化繊	不詳	昭和五〇年代	86P1247
二〇	袋帯	二点	(一)幅 三〇・七 長 三五・二	絹織物 西陣織	不詳	昭和五〇年代	86P1248
			(二)幅 三〇・六 長 四二七・五			昭和五〇年代 風呂敷を転用して製作	86P1249
二一	簡易帯	三点	(一)(前帯) 幅 一五・〇 長 一六二・〇	化繊	池辺ミチエ		86P1250
			(太鼓) 幅 三〇・〇 長 六九・〇				

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作者	備考	
			(一)(前帯)幅一五・〇 長一六〇・〇 (太鼓)幅二〇・五 長七〇・五 (二)(前帯)幅一五・〇 長一五九・〇 (太鼓)幅三一・〇 長一四九・七				86P1251
二	帯揚げ	二点	(一)幅二九・〇 長一六六・五 (二)幅三一・〇 長一四四・五	絹織物 絹織物 夏用	不詳 不詳	昭和五〇年代 昭和五〇年代	86P1252 86P1253 86P1254
三	帯締め	一点	幅一・〇 長一五六・〇	絹製 組紐	不詳	昭和五〇年代	86P1255
三	丹前	一点	着丈 二八・五 裄六一・七	毛織物 変形筒袖	池辺ミチエ	昭和五五年	86P1256
二四	袖無袢纏	一点	着丈六四・〇 肩幅二四・五	毛織物	池辺ミチエ	昭和五五年	86P1257
二五	草履	二点	幅七・二 長二三・〇	木・絹製	不詳	昭和五〇年代 女物	86P1258～9

一〇　清水豊資料

〈資料内訳〉

一、生活の用具……五件　六点
二、生産の用具……二〇件　二〇点
三、交通・交易の用具……八件　九点
四、社会生活の用具……一件　一点

〈総計〉　二四件　二六点

一、生活の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
	(1) 衣生活用具							
一	チョッキ台	一点	縦六六・〇　横四九・〇	木製杉材	清水貞吉	昭和三一年一月　真綿ひろげに使用台部欠	1	86P1260
	(2) 食生活用具							
二	洲浜台	一点	径五四・〇　高二・七	木製　漆塗	不詳	近代	2	86P1261
三	輪金	二点	径五三・五　厚四・〇	鉄製	ヤマト尺三	昭和時代　クド用	3	86P1262～3
	(3) 住居用具							
四	盥	一点	径四〇・〇　高二〇・〇	木製桧材　結桶	不詳	昭和時代　箍は針金製	7	86P1264
五	手桶	一点	径三・〇　高四・〇	木製杉材　結桶	不詳	昭和時代　把手付	8	86P1265

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
	(4) 農耕用具							
六	ダイガラ台	一点	縦一〇五・〇 横六〇・〇 高一四八・五	木製杉材	不詳	近代	4	86P1266
七	ダイガラ杵	一点	縦一〇五・〇 横六〇・〇 高一四八・五	木製樫材（柄）杉材	不詳	近代	4	86P1267
八	ダイガラ臼	一点	口径二九・五 胴径七二・五 高三三・五	木製松材 刳物	不詳	近代	4	86P1268
九	馬鍬	一点	縦三五・〇 横九二・〇 高七七・〇	木製杉材（剣）鉄製	吉田関太郎	近代 剣一〇本	9	86P1269
一〇	馬鍬	一点	縦三五・〇 横八一・〇 高七一・〇	木製杉・桧材（剣）鉄製	不詳	近代 剣八本	10	86P1270
一一	押し雁爪	一点	縦三七・〇 横一四・〇（柄）一三四・〇	鉄製（柄）木製杉材	不詳	昭和時代 二連式柄角二〇度	11	86P1271
一二	臼	一点	口径三五・〇 胴径五四・五 高四八・五	木製松材 刳物	不詳	近代 米搗用	12	86P1272
一三	杵	一点	径一四・〇 高四一・五（柄）径二・五 長五四・〇	木製樫材	不詳	近代 米搗用	13	86P1273
一四	千歯扱き	一点	縦四八・〇 横六一・〇 高三〇・〇	木製杉材（歯）鉄製	博多普賢堂町 武田清郎	大正六年 麦扱用 平歯一五枚	14	86P1274
一五	サトー式稲麦扱機	一点	縦七〇・〇 横一〇八・〇 高六四・〇	木製 鉄製	島根県八束郡揖屋佐藤商会農具工場	近代 足踏式回転歯 脱穀機二人扱	15	86P1275
一六	籾アセリ	一点	縦二一・〇 横四一・〇 高二一・五（柄）径二・五 高一三四・〇	木製杉材（柄）松材カ	自作	昭和時代 歯五本	16	86P1276

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
一七	籾アセリ	一点	縦二一・五 横四一・〇 高二一・〇 (柄)径三・五 高一三〇・〇	木製杉材 (柄)松材カ	自作	昭和時代 歯五本	17	86P1277
一八	トオシ	一点	縦八六・五 横八六・五 高一五・〇	竹製 四つ目・笊目編巻縁仕上	不詳	昭和時代 芥子菜のスボふるい	18	86P1278
一九	トオシ	一点	縦七〇・〇 横六七・〇 高二一・〇	竹製 四つ目・笊目編巻縁仕上	不詳	昭和時代 芥子菜のスボふるい	19	86P1279
二〇	万石トオシ	一点	幅一三一・〇 奥行四九・〇 高一二五・〇	木製杉材	肥前小城郡晴田村ヤマサ	明治二四年九月購入	20	86P1280
二一	手箕	一点	幅七六・〇 奥行八四・五 深一四・〇	竹製 網代編 カズラ巻縁仕上	不詳	近代	21	86P1281
二二	唐箕	一点	幅一五四・〇 奥行五八・〇 高一二四・〇	木製杉材	奥武製	明治四一年九月購入	22	86P1282
二三	小鞍(テイキ)	一点	幅四七・〇 長二七・五 高三・〇	木製樫材	不詳	近代 千木型単橋鞍 胸引耕起に使用	29	86P1283
	(5) 畜産用具							
二四	駄桶	一点	径五七・〇 深三二・〇	木製杉材 結桶	不詳	近代 箍は竹製	23	86P1284
二五	駄桶	一点	径五一・五 高二五・〇	木製杉材 結桶	不詳	昭和時代 箍は竹製	6	86P1285
	(6) 運搬具							
二六	ソガリオオコ	一点	径三・〇 長一七〇・〇	木製樫材	不詳	近代	24	86P1286
二七	ソガリオオコ	一点	径四・〇 長二〇〇・八	木製樫材	不詳	近代	25	86P1287
二八	ロクシャク	一点	径五・五 長一五一・〇	木製樫材	不詳	近代	26	86P1288

三、交通・交易の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
二九	ロクシャク	一点	径三・五　長一四〇・〇	木製杉材	不詳	近代	27	86P1289
三〇	担いメゴ	二点	縦三五・〇　横四九・五　深三〇・五	竹製　網代・笊目編巻縁仕上	不詳	近代　雑飼メゴ　蓋(テボ)付	28	86P1290～1
三一	馬車テイキ	一点	幅一九・〇　長六・〇　高五〇・〇	鉄製	不詳	近代	30	86P1292
三二	馬の轡	一点	長三八・五	鉄製	不詳	近代	31	86P1293
三三	滑車	一点	縦一〇・〇　横一三・〇　高一五・〇	木製樫材	不詳	近代　二連式	5	86P1294

四、社会生活の用具

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
	(7) 防災用具							
三四	鳶口	一点	(刃)幅三・五　長一三・〇 (柄)径三・五　長一八一・〇	鉄・木製樫材	不詳	防火用　戦時中のもの	32	86P1296

一一　篠田文司資料

〈資料内訳〉

生産の用具……一件　六点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	収蔵No.	
一	製蝋機（ロウソク製造機）本体	一点	縦 三九・〇 横 六三・〇 高 九四・〇	木製金具・ビニールホース製		I－1	86P1296
二	羽釜	一点	径 三九・五 高 二三・二 口径 三〇・〇	鉄製		I－2	86P1297
三	羽釜	一点	径 四〇・〇 高 二三・五 口径 三〇・五	鉄製		I－3	86P1298
四	アルミニウム板	一点	縦 二六・五 横 三九・六	アルミニウム製	二・三の羽釜をつなぐ板	I－4	86P1299
五	網杓子	一点	全長 三一・〇 網径 一〇・九 深 二・五 （柄）幅 二・三	鉄製		I－10	86P1309
六	十能	一点	全長 四三・三 幅 一六・〇 （柄）径 二・〇	鉄製		I－6	86P1301
七	ハサミ	一点	全長 二六・八 幅 八・五 厚 〇・五	鉄製		I－13	86P1302
八	桶杓	一点	全長 四三・〇 杓径 二二・〇 柄径 二・五 深 二・五	アルミニウム製		I－9	86P1303
九	ビニールホース	一点	全長 九四・五 径 一・八	ビニール製		I－14	86P1304
一〇	漏斗	一点	径 一五・五 高 二七・五	鉄製 紐付		I－5	86P1305
一一	受け具	一点	縦 一九・五 横 一七・五 高 六・〇	木・アルマイト製		I－8	86P1306
一二	棒	一点	縦 四・〇 横 四・〇 長 二六・〇	木製		I－7	86P1307
一三	箆	一点	全長 二六・六 幅 三・八 （柄）幅 二・五 厚 二・〇	（ヘラ）鉄製・（柄）木製		I－11	86P1308
一四	箒	一点	全長 三一・〇 幅 一〇・〇 （柄）径 一・五	シュロ・竹製		I－12	86P1309
一五	蝋燭	八点	径 二・六 長 二四・五	パラフィン製・芯木綿製		I－15	86P1310～7
		三六点	径 二・〇 長 二八・三			I－15	86P1318～53
一六	蝋燭箱（四本入）	二点	縦 二三・五 横 一〇・八 高 二・九	紙製・商標色刷		I－15	86P1354～5
	（六本入）	六点	縦 二八・三 横 二一・九 高 三・五	紙製・商標色刷		I－15	86P1356～61
一七	チラシ	二点	縦 二六・五 横 一八・六	紙製・商標色刷		I－15	86P1362～3

一二　井上清助資料

〈資料内訳〉

書籍……一件　一〇点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	博多人形井上清助奮闘五十年史	明治・大正	井上清助	書冊	一〇冊	26×19		86P1364～73

一三　渡辺文吉資料

〈資料内訳〉

近代資料……一件　一〇点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	煙草元売捌人御指定ノ義ニ付請願	明治37年	不詳	罫紙・墨書	一通	26×37	（案）	86P1374

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	藩札「五匁」	享保15年改	豊前小倉藩	木版	一枚	15×3		86P1384
二	藩札「銀弐匁預」	江戸時代	肥前田代銀会所	木版	一枚	15×4		86P1385

一四　橋本友美資料

〈資料内訳〉

雑……八件　一〇点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	領収書（消防組手当給）	明治38年	不詳	罫紙・墨書	一通	22×29	（案）	86P1375
二	領収書（消防組手当給）	明治39年	東消防組小頭　秋村峯次郎他五名	罫紙・墨書	一通	24×31	（案）	86P1376
三	福岡県穀物検査所報「第六号」	大正15年12月	（発行所）福岡県穀物検査所	紙・印刷	一枚	32×20		86P1377
四	広告（陪審制度裁判劇）	近代	大博劇場	紙・色刷	二枚	50×20	大破	86P1378～9
五	広告（カルピスと云ふ名の所由）	近代	カルピス製造株式会社	紙・二色刷	一枚	19×40	大破	86P1380
六	雑	近代	不詳	紙	三件（最大）	21×29	大破	86P1381～3

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
三	福岡市街地図	昭和10年7月25日発行	著作兼発行者　大朝舎	色刷	一枚	55×78	大朝舎創立拾周年	86P1386
四	ペン「KOH-I-NOOR」	20世紀	Germany 製	（ペン先）金属製（柄）木製	一本	19（最大長）		86P1387
五	小物入	近代	不詳	絹張	一袋	20×4		86P1388
六	しぼり裂地	近代	不詳	絹	二枚	11×4（最大）		86P1389～90
七	しぼり裂地	近代	不詳	絹	一枚	10×8		86P1391
八	不織布	近代	不詳	紙	二枚	8×7		86P1392～3

一五　安田家資料

〈資料内訳〉

古文書等……三件　三点

雑……二件　二点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	馬術免状相伝一件	天保7年申11月	津田信任	長帳	一冊	12×36		86P1394

二	(仮)免状相伝披露会之覚	天保9年	安田氏	長綴	一綴	11×30			86P1395
三	免状相伝并披之事記	弘化2年	安田弥太夫・又三郎	長帳	一冊	12×32			86P1396
四	(仮)馬術教本	幕末	安田氏	小横綴	一綴	12×17			86P1397
五	辞令(任司馬又叙家)	幕末	藩政庁より安田善一郎宛	継紙	一通	18×94			86P1398
六	前髪	近代	安田善一郎安一	自髪	一本		包紙あり。加冠岩永勝行・理髪益田茂徳		86P1399
七	布袋	近代	福島捨子より 安田亀三郎宛	布	一枚	32×27			86P1400

一六　大曲米二資料

〈資料内訳〉

生産の用具……六件　七点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
一	長式改良馬鍬	一点	幅三四・四 長一〇九・五 高七三・〇	木製杉材 剣鉄製	福岡県多々良長製作所	近代 剣一〇本	1	86P1401
二	改良畜力砕土器(飛行機マガ)	一点	幅七四・〇 長一八八・五 高三〇・〇	木製杉材 剣鉄製	福岡県磯野七平製作所	近代 剣前九本 後一二本	2	86P1402

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
三	深見式二段犂	一点	幅六四・〇 長一七六・〇 高九九・二	木製桧材 犂先鉄製	福岡市外春日原深見製作所	近代 F・K・(I型)	3	86P1403
四	深見式国本三号(畑犂)	一点	幅八〇・〇 長一二三・〇 高四〇・〇	木製杉材 犂先鉄製	福岡市上土居町深見製鋼所	近代	4	86P1404
五	文明式中耕除草機	二点	幅四四・〇 長一四八・〇	爪鉄製 柄木製杉材	鹿児島市郡本市文明農機株式会社	昭和時代 柄角調整可 爪二連式	5	86P1405~6
六	藁切り器	一点	縦七五・五 横一九・五 高七九・〇 (刃)幅一〇・〇 長六九・五	台木製杉材 刃鉄製	不詳	昭和時代 台は自作	6	86P1407

一七 岩下富士雄資料

〈資料内訳〉

生活の用具……三件 六点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	備考	
一	長火鉢	一点	縦五九・〇 横九一・〇 高三四・八	木製欅材	昭和時代 二とセット	86P1408
二	五徳・銅壺	一点	縦二一・五 横三七・〇 高一六・五	銅製	昭和時代 一とセット	86P1409
三	蒸篭(四段重ね)	一点	縦四〇・五 横四三・〇 高五五・〇	木製杉材	昭和時代 簀は竹製	86P1410
四	杵	一点	杵径七・五 柄長四三・〇	木製樫材	昭和時代	86P1411
五	杵	一点	杵径八・二 柄長三二・八	木製樫材	昭和時代	86P1412
六	杵	一点	杵径八・四 柄長三二・三	木製樫材	昭和時代	86P1413

一八　川上喜一郎資料

〈資料内訳〉

民陶……四件　四点

番号	名称	員数	法量	材質	備考	
一	高取焼大甕	一点	口径 四九・五　胴径 四四・五　高 六三・〇	陶製	近代	86P1414
二	高取焼大甕	一点	口径 五〇・〇　胴径 四九・〇　高 六四・〇	陶製	近代　梅花文貼付	86P1415
三	高取焼雲助	一点	口径 四・七　胴径 一五・〇　高 二二・五	陶製	近代	86P1416
四	高取焼雲助	一点	口径 五・二　胴径 二・〇　高 二五・四	陶製	近代	86P1417

一九　玉川桂資料

〈資料内訳〉

民俗知識関連の用具……四件　四点

番号	名称	員数	法量	製作者	使用地	備考	
一	健康整腸丸「赤玉はら薬」	一点	縦 八・七　横 六・一	岡山県製薬株式会社	福岡市西区玄界島	昭和時代	86P1418
二	むしくだし「複方セメン圓」	一点	縦 六・三　横 九・四	岡山県製薬株式会社	福岡市西区玄界島	昭和時代	86P1419

番号	名称	員数	法量	製作者	使用地	備考
三	腹痛トンプク	一点	縦一四・七 横一〇・二	岡山県製薬株式会社	福岡市西区玄界島	昭和時代
四	安榮湯	一点	縦一〇・五 横七・二	大化製薬株式会社	福岡市西区玄界島	昭和時代

二〇　森　寿一資料

〈資料内訳〉

生産の用具……三件　三点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	製作地・製作者	備考	No.	
一	大石式富士印カルチベーター	一点	幅四四・〇 長一五五・〇 高七五・〇	木製樫材 犂先鉄製	大石工業株式会社	昭和時代 畜力両面犂	1	86P1422
二	水田ハロー（回転馬鍬）	一点	幅一〇八・〇 長一一〇・〇 高六四・〇	鉄製	不詳	昭和時代 畜力 ローター六個	2	86P1423
三	深見式作溝機	一点	幅五五・〇 長一六五・〇 高七四・〇	木製松・杉材 犂先鉄製	深見製鋼所	近代 畜力両面犂	3	86P1424

二一　真砂嘉一資料

〈資料内訳〉

生活の用具……三件　三点

番号	名称	時代	材質	員数	法量	備考	
一	博多七輪	昭和時代	陶製	一点	径三七・三 高四一・八	「博」銘入り	86P1425
二	煉炭用七輪	昭和時代	陶製	一点	径三一・〇 高一七・〇		86P1426
三	行火	昭和時代	陶製	一点	縦一七・一 横三三・〇 高一七・八		86P1427

二二　進藤一馬資料

〈資料内訳〉

絵　画……二件　二点

一　竹月図　一幅

品質・形状　紙本墨画　掛幅装

法　量　竪　一二九・二　横　二九・二

銘文等　「竹影拂階塵不動　月穿潭底水無痕　厓井」

「仙厓」（朱文ダルマ印）

時　代　江戸時代

作　者　仙厓　86P1428

二　志賀島鹿島居図　一幅

品質・形状　紙本墨画　掛幅装

法　量　竪　一二五・四　横　三六・九

銘文等　「鹿の島住居る海士の秋の夜ハ　聲□涙住やまさなん　厓井」

「仙厓」（朱文ダルマ印）

時　代　江戸時代

作　者　仙厓　86P1429

二三　梶原昭代資料

〈資料内訳〉

生活の用具……一件　一点

番号	名称	時代	材質	員数	法量	備考	
一	手桶	昭和時代	木製杉材	一点	長径 四〇・八　短径 三〇・八　高 二四・八		86P1430

二四　中牟田勝喜資料

〈資料内訳〉

書跡……一件　一点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	書「油断大敵」	明治丁未(四〇年)秋	東郷平八郎	紙本墨書額装	一面	(本紙)六・四×二六・九		86P1431

二五　江口・磯野資料

〈資料内訳〉

書状……一件　一点

二六　星出和範資料

〈資料内訳〉

戦時資料……一件　一点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	書状	明治時代	西郷吉之助より（不詳）宛	紙本墨書額装	一面	（本紙）一七・〇×一〇八・九		86P1432

二七　井筒屋寄贈資料

〈資料内訳〉

古文書……一件　一点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	伝単「感激の握手」	昭和二〇年代	不詳	紙印刷	一枚	一〇・一×一五・六		86P1433

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考	
一	書状（相模石手水鉢拝領につき）	江戸時代	（差出）精中（宛）遠藤承山賢	巻子装	一通	三五・五×四七・二		86P1434

二八　平川清忠資料

〈資料内訳〉

書　跡……一件　一点

書「凡眼不識重價真寶」　一幅

品質・形状　紙本墨書　掛幅装

法　量　竪　一三二・二

横　三三・九

銘文等　（落款・印章）

「庚戌二月於旅順獄中大韓國人　安重根書」（手印）

時　代　近代・庚戌二月（一九一〇）

作　者　安重根　86P1435

二九　嶺旭蝶資料

〈資料内訳〉

工芸品……一件　一点

四絃琵琶　一棹

品質・形状　木製　胴部表は桐材、ほかは樫材

法　量　（総長）七七・二

時　代　近代初期

作　者　不詳

備　考　橋旭翁が使用したものと伝える　86P1436

三〇　古谷松江資料

〈資料内訳〉

石造物……一件　一点

庚申塔　一基

品質・形状　花崗岩　文字は陰刻

法　量　高　一一二・〇

幅　五六・〇

厚　二五・〇

銘文等　（陰刻銘文）

「天明五巳年

庚申天

十一月吉日」

時　代　天明五年（一七八五）

備　考　塔は城南区別府一丁目一三番三号に建てられていたもの　86P1437

〈寄託資料〉

一　勝福寺資料

絵　画　　三件　三点

一　性真円智禅師頂相　　一幅

品　質　紙本着色
形　状　掛幅装
法　量　竪　一〇〇・〇
　　横　四〇・七
銘文他　賛・落款・印章

「釈中諦字観中日牽氏阿州人也
自幼英敏抜萃不楽塵境観永庚寅
年甫九歳偕人入洛拝正覚国師執
童役翼年祝髪進戒此秋国師僊
化因係附商舶入元時有黄巾乱道
路不通巻袱東帰依春屋菴公子
天龍朝鍛夕錬遂徹玄旨爾後
遷洛之等持応永七年大丞相義満
源公□董相国檀圖日煽老来俺槌
払□□事源公捌乾徳庵以為休憩地又
細川氏迷永泰境延之一日示疾集衆
説偈一喝便逝実応永十三年四月三日也
寿六十五称五十三勅諡性真円智
禅師　詳出于本朝高僧伝
弘化丙午之夏　正伝弇主梧隠鳳薫沐拝録」
「義鳳之印」（白文方印）「梧隠」（朱文方印）
巻留墨書
「万徳開山頂相　勝福主芳嶺拝寄」
時代　弘化三年（一八四六）賛
作者　賛　梧隠義鳳　　86D1

二　安養開山和尚頂相　　一幅

品　質　紙本着色
形　状　掛幅装
法　量　竪　一〇〇・〇
　　横　四〇・六
銘文他　賛・落款・印章

「釈若訥字宏弁未詳其氏肥前州人学台衡教嫌名言
粉糅回心帰禅開円通寺以道自許寛元丙午蘭渓隆和尚
西来在太宰府開法訥特往謁是日早晨謂徒曰今日有
喜賓至当洒掃以詩午時訥至一見機契即受衣盂就弟子
列請渓住円通自居偏室至於渓開山建長訥随侍刻意
竟了大事渓命住筑之芦屋寺弘安戊寅渓示疾建長訥
至室中親侍湯薬臨終授与払子拄杖訥返円通闡
揚玄化蠡衲景従為永仁元年臘月二十七日沐浴
浄衣拠室端坐書辞偈曰
仮成幻質七十七年一踏蹈砕万里青天
置筆而化弟子等荼毘蔵遺骨於本寺牓曰伝心
塔為右載于本朝高僧伝
弘化三年歳次丙午林鐘下浣
見正伝梧隠義鳳盥手拝誌」
「義鳳之印」（白文方印）「梧隠」（朱文方印）
巻留墨書
「安養開山肖像　万悳安養両檀越喜捨」

時代　弘化三年（一八四六）賛
作者　賛　悟隠義鳳　86D2

三　芳嶺和尚像　一幅
品質　紙本着色
形状　掛幅装
法量　竪　一〇九・五
　　横　四四・四
銘文他　賛
「釈宗根字芳嶺本州岡県陳原人也九歳之時就于
興徳大椽師祝髪染衣㝡好節倹常守清素腹中
無墨衣裡繋珠今年四十有八一朝思惟世縁无幾
鬼符易逼因命画工写寿像以貽後世云初住清芳
次住三楽今在勝福清芳輪奐不及下手両処勤修
興福一以既成一以将成右記師兄梧隠禅師所述
更繋賛語　曰
少年受請応檀方処〻住持改廃房
未後転身那一句無根銕樹吐芬芳
天保十五甲辰春三月下浣　前扶桑㝡初禅窟湛元」
時代　天保一五年（一八四四）賛
作者　賛　湛元等夷　86D3

四　芳嶺宗根像　一幅
品質　紙本着色
形状　掛幅装（破損）
法量　竪　一〇四・〇
　　横　四二・三
銘文他　賛・印章
「維時明治九年丙子孟春一周忌前令㊀檀林寺主天嶺
運公命画工修此像請讃於予因撰其梗概云尓　」
横岳野衲一道義貫
「弌道道㊀」（朱文方印）「義貫之印」（白文方印）
時代　明治九年（一八七六）賛
作者　賛　一道義貫　86D4

五　大興禅師（葦航道然）像　一幅
品質　紙本着色
形状　掛幅装
法量　竪　八八・四
　　横　四三・四
銘文他　落款・印章
「見横岳薩徳隠拝書」
「徳隠」（朱文方印）「杜㊀宗薩」（白文方印）
時代　寛延四年（一七五一）賛
作者　賛　徳隠宗薩　86D5

六　達磨図　一幅
品質　絹本墨画淡彩
形状　掛幅装
法量　竪　五一・〇
　　横　七五・六
銘文他　落款・印章
「牧心斎筆」「牧心斎主」（白文円方印）
巻留墨書

「達磨」
時代　江戸時代
作者　画　狩野永真安信　86D6

七　達磨大師像　一幅
品質　絹本着色
形状　掛幅装
法量　竪　一二七・四
横　五三・二
銘文他　落款・印章
「真澄」「粉□斎」（白文方印）「真澄」（朱文方印）
巻留墨書
「真澄筆達磨大師画像　寄進昭和三十二年　横尾辛（又平菩薩）勝福玄恭代」
裏背墨書
「為翠光院翁宗臨居士横尾又平菩提
昭和三十三年三月十九日施主又平妻　玄恭代」
時代　現代
作者　画　真澄　86D7

八　出山釈迦図　一幅
品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　九七・九
横　三一・八
銘文他　印章
「自哲之章」（白文方印）「愚谿道人」（朱文方印）
巻留墨書
「釈迦　愚渓」
本紙裏書墨書
「寒山文殊　宗折九拝」
時代　江戸時代
作者　画　愚渓自哲　86D8

九　釈迦像　一幅
品質　紙本墨画淡彩
形状　掛幅装
法量　竪　一〇四・〇（現状）
横　四四・八（現状）
銘文他　印章
「直貫」（朱文長方印）
時代　近代か
作者　画　直貫
備考　表装大破　86D9

一〇　涅槃図　一幅
品質　絹本着色
形状　掛幅装
法量　竪　一六八・六
横　一五七・六
銘文他　画中遺牌形金泥書
「逆修功徳主法山昌盛信男寿位」
「逆修功徳主茂林妙昌信女寿位」
裏背墨書
「龍起山興聖勝福禅寺什物仏涅槃尊像一軸

檀越白水孫右衛門法名松林宗雪為阿父
春江良清信士阿母直伝妙性信女証大
菩薩被背敕脩飾以寄進常住
元禄七甲戌涅槃日　当住光谷　」

時代　室町時代
作者　不詳　86D10

一一　観音像　一幅
品質　紙本墨画
形状　掛幅装
法量　竪　一一九・六
横　四三・五
銘文他　印章
「原印」（白文方印）「在中」（朱文方印）
巻留墨書
「観音　致遠」
時代　江戸時代
作者　画　原在中　86D11

一二　吉祥図　一幅
品質　絹本着色
形状　掛幅装
法量　竪　四一・二
横　四一・一
銘文他　落款・印章
「愛遠」「愛遠之印」（白文方印）
時代　江戸時代
作者　画　尾形洞霄　86D12

一三　十六羅漢図　一六幅
品質　紙本墨画淡彩
形状　掛幅装
法量　（十六幅共）
竪　八九・六
横　二七・二
銘文他　巻留墨書あり
杉箱蓋表墨書
「十六羅漢
龍起山勝福什具」
同　蓋裏墨書
「龍起山勝福禅寺所有十六羅漢（徳川時代の画）
光格天皇文化四年雨月六月中旬現在住義笛代
宮内氏第一回目表具（絵ハ徳川家斉之代ニ描イタモノ）
昭和四十八年七月筑前前原住津上幾次郎氏
第二回目表具（現住明道代）左七本目中央顔部分明
道補修画檀徒木下龍雄氏先祖供養之為寄進
一金九万円也
昭和四十八年七月二十六日（一九七三）
明道謹書　」

時代　江戸時代
作者　不詳　86D13

一四　布袋図　一幅
品質　紙本墨画
形状　掛幅装

法量　竪　八六・七
　　横　二九・四
銘文他　落款・印章
　　「洞霄筆」「愛遠之印」（白文方印）
時代　江戸時代
作者　画　尾形洞霄　86D14

一五　山水画　一幅
品質　絹本墨画淡彩
形状　掛幅装
法量　竪　三六・二
　　横　三六・〇
銘文他　落款・印章
　　「楊伯頌写」「楊伯頌」（朱文方印）「楊伯頌印」（白文方印）
時代　近世
作者　画　楊伯頌　86D15

一六　富士雲龍図　一幅
品質　紙本墨画
形状　掛幅装
法量　竪　三七・五
　　横　五四・四
銘文他　落款・印章
　　「南嶺」「□」（白文方印）
時代　江戸時代
作者　画　南嶺　86D16

一七　柳に鴨図　一幅
品質　紙本墨画
形状　掛幅装
法量　竪　一四〇・五
　　横　六二・四
銘文他　落款・印章
　　「辛丑清和月撫元人筆　竹園錦江」
　　「錦江之印」（白文方印）「竹園」（朱文方印）
　　画印
　　「義皇上人」（朱文方印）
時代　天保一二年（一八四一）
作者　画　福田錦江　86D17

一八　蓮にカワセミ図　一幅
品質　紙本（繊維をのせた料紙）墨画淡彩
形状　掛幅装
法量　竪　六七・六
　　横　二四・六
銘文他　賛
　　「写来匝翰墨詩□到□涯」
　　落款・印章
　　「辛未夏日題　旭東筆」「旭東」（朱文方印）

引首印あり
時代　近代
作者　画・賛　旭東　86D18

一九　秋草図
品質　紙本墨画
形状　掛幅装　一幅
法量　竪　一〇九・七
横　三一・四
銘文他　賛・落款・印章
「一枝濃艶対秋光露滴風揺倚
砌働暁景乍霜河北処颯家新
染紫霞嚢　辛巳梧秋　乾堂」
「曾栄
信仰」（白文方印）「乾
堂」（朱文方印）
画印
「松風吹
解帯
山月照　（朱文方印）
弾琴」
巻留墨書
「崎陽之乾堂画　小田氏所有」
時代　近代
作者　画・賛　小曽根乾堂　86D19

二〇　蓮図
品質　絹本着色　一幅
形状　掛幅装
法量　竪　一二〇・二
横　四一・七
銘文他　印章
「宮艶
文章」（白文方印）「圃
淳」（朱文円印）
時代　近代
作者　不詳　86D20

二一　凧上図
品質　紙本墨画　一幅
形状　掛幅装
法量　竪　一一三・七
横　三九・四
銘文他　賛・落款・印章
「青麦や□玉の　「厓井」「仙
跡の誰の声」　厓」（朱文方印）
巻留墨書
「仙厓巾風」
時代　江戸時代
作者　画・賛　仙厓義梵　86D21

二二　弟橘媛図
品質　紙本印刷多色刷　一枚
形状　メクリ
法量　竪　二二・〇
横　三〇・〇（最大）
銘文他　落款・印章（印刷）
「霊華吉川写絵之」
「霊」（朱文方印）
時代　近代
作者　吉川霊華　86D22

書跡

一六件　一六点

一　書「琴渓」　一枚

品質　紙本墨書
形状　メクリ
法量　竪　八九・七
　　横　二八・七
銘文他　落款・印章
「慶長十四己酉　稔三月上浣
　前大徳玉室叟宗珀書之」「玉室」（朱文印）「宗珀」（朱文印）
時代　慶長十四年（一六〇九）
作者　玉室宗珀　86D23

二　書「玉峯」　一枚

品質　紙本墨書
形状　メクリ
法量　竪　七九・二
　　横　三〇・四
銘文他　落款・印章
「寛永才三癸卯臘月廿九日
　前竜宝見住横岳帛納江雲叟書此君亭」
　□（朱文印）　□（朱文印）
時代　寛文三年（一六六三）
作者　江雲宗龍　86D24

三　竜起山勝福寺縁起　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　二八・九
　　横　七五・七
銘文他
「筑之前州今津竜起山興聖
　勝福禅寺相伝云々　」
落款・印章
「前住龍宝現住横岳質休
　題　」「質休之印」（白文方印）
「釈士
　宗文」（朱文方印）
巻留墨書
「志摩郡今津村龍起山興聖勝福禅寺公用」
時代　江戸時代
作者　質休宗文　86D25

四　禮龍起山興聖勝福禅寺開山大覚塔　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　二九・一
　　横　五四・七
銘文他　落款・印章
「時元禄壬申春二月　「□
　横峯老松古外拝草」　□」（朱文方印）「一徹
　祀行」（白文方印）
巻留墨書
「龍起山興聖勝福禅寺什物　元禄六癸　改褙光谷宗徹」
時代　元禄五年（一六九二）
作者　古外宗少　86D26

五　書「順翁」　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　二六・八
　　横　四四・四
銘文他　落款・印章
　　「為□則首座作　崇福寰海叟」
　　「寰海」（白文方印）「宗□之印」
時代　江戸時代
作者　寰海　86D27

六　曇栄和尚墨蹟「寿峰」　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　七五・九
　　横　二八・八
銘文他　落款・印章
　　「義永首座道称
　　為其需書
　　横岳老陋曇栄」
　　「玄庵道者」（白文方印）
　　「沙門宗曄」（白文方印）
時代　江戸時代
作者　曇栄宗曄　86D28

七　仏国興盛禅師墨蹟「蛟竜得雲雨」　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　二〇・〇
　　横　一七・三
銘文他　引首印
　　「特賜仏国興盛禅師」（白文長方印）
　　巻留墨書
　　「備前圓山佛国廣盛禅師墨跡
　　勝福寺月□□□」
時代　江戸時代か
作者　儀山善来　86D29

八　「杳然天界高」一行書　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　一二八・〇
　　横　一八・〇
銘文他　落款
　　「甲寅夏日書」
　　引首印あり
時代　江戸時代か
作者　不明　86D30

九　蘭谿書「満空書白雲」　一幅

品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　九三・五
　　横　一七・七
銘文他　印章

「蘭谿」（朱文方印）
時代　江戸時代か
作者　蘭谿　86D31

一〇　瑞巌和尚墨蹟「無」
品質　紙本墨書　一幅
形状　掛幅装
法量　竪　二五・九
横　四二・〇
銘文他　落款・印章
「紫野　瑞巌叟」「龍宝山人」（白文方印）「瑞巌」（朱文方印）
引首印　「臨済正宗」（白文長方印）
巻留墨書
「瑞巌老師之無　五十八世現住玄恭代」
時代　近代
作者　瑞巌宰磧　86D32

一一　山岡鉄舟書　二行書　一幅
品質　紙本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　一三七・〇
横　五六・七
銘文他　「坐上客常満尊中
湛不空　」
落款・印章
「鉄舟書」「藤原高歩」（白文方印）「号鉄舟」（朱文方印）
引首印
「壺中天地
改有日名」（白文長方印）
巻留墨書
「鉄舟書」
時代　江戸時代
作者　山岡鉄舟　86D33

一二　春水書翰　一幅
品質　紙本墨書
形状　巻子装
法量　天地　二七・〇
銘文他　外題貼紙墨書
「春水書翰」
時代　江戸時代
作者　春水　86D34

一三　親和書「無事是貴人」　一幅
品質　絹本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　八五・〇
横　二六・二
銘文他　落款・印章
「八十歳　親和書」「龍湖」（白文方印）「密師之印」（朱文方印）
引首印あり
時代　江戸時代
作者　三井親和　86D35

一四　雲庵書　漢詩　一幅

品質　絹本墨書
形状　掛幅装
法量　竪　二〇・六
　　横　一八・二
銘文他　「遠上寒山石径斜白
　　雲深処有人家停
　　車坐愛楓林晩霜
　　葉紅於二月花　」
落款・印章
「雲庵」「圓印」「□□」（白文方印）「心淵」（朱文方印）
引首印「□芸苑」（白文長方印）
巻留墨書
「唐筆」
時代　近代か
作者　雲庵　86D36

一五　和歌書「い囚はやも云々」　一幅

品質　紙本墨書（色紙）
形状　掛幅装
法量　竪　二〇・〇
　　横　一七・三（色紙）
銘文他　本文略
時代　不詳
作者　久留米侍従　囮之筆　86D37

一六　紺紙金字経「妙法連華経第七」　一巻

品質　紺紙金字
形状　巻子装
法量
銘文他　（見返し墨書）
「寛文十二壬子載郡氏六之助捨財
　　修補　」
時代　室町時代　86D38

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
		（第一巻）				
一	建長三年八月一三日	左馬允信定奉書	左馬允信定			86D39
二	徳治元年九月一八日	中務丞宗兼勝福寺田地屋敷勘料免除状	中務丞宗兼			86D40
三	応長元年六月一二日	中務丞宗兼禁制	中務丞宗兼（奉者）	今井七郎、三枝三郎入道	大仏宗宣袖判あり	86D41
四	建武二年七月七日	僧幸増譲状	僧幸増			86D42
五	建武三年卯月一三日	某寺領安堵状				86D43
六	建武三年六月二〇日	義継（姓不詳）寺領寄進状	義継			86D44
七	暦応二年九月一六日	平某禁制	平			86D45
八	一二月二五日	少弐頼貞巻数請取	頼貞	勝福寺長老		86D46
九	延文三年四月二〇日	足利尊氏御教書	尊氏	当寺長老		86D47
一〇	延文三年四月二〇日	足利尊氏安堵状	尊氏	勝福寺長老		86D48
一一	延文四年三月二日	足利義詮安堵状	義詮	勝福寺長老		86D49
一二	延文四年三月二日	足利義詮安堵状	義詮	勝福寺長老		86D50
一三	延文五年六月一七日	藤原氏輔寺領安堵状	藤原氏輔	勝福寺長老		86D51
一四	延文五年二月一一日	後光厳天皇綸旨	右少弁平行知（奉者）	勝福寺住持方外禅師		86D52

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
一五	貞和六年一一月日	勝福寺住持僧進瓊申状	勝福寺住持僧進瓊		裏書あり	86D53
一六	貞和六年一一月二五日	足利直冬安堵状	足利直冬		一五号の裏文書	86D54
一七	(天正三年)三月七日	大友義統安堵状	義統	昌夷蔵主	(包紙)「天正三年乙亥三月□日」	86D55
一八	(天正三年)三月一八日	臼杵統景添状	統景	昌夷蔵主	(包紙)「天正三年乙亥三月一八日臼杵少輔太郎統景」	86D56
一九	天正七年七月一八日	神代刑部太輔長良寄進状	神代刑部太輔長良	万福寺		86D57
二〇	正月一三日	臼杵鑑統預ヶ状	鑑統	勝福寺		86D58
二一	天文一八年正月拾一日	本願桃林庵昌芸、鯉川助衛門尉助次連署寄進状	本願桃林庵昌芸、鯉川助衛門尉助次	勝福寺住持「昌明書記」(追筆)		86D59
二二	天文一八年二月一五日	中村又左衛門尉統実寄進状	中村又左衛門尉統実	勝福寺		86D60

(第二巻)

近世文書(慶応以前)

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
二三	文禄元年玄冬中旬日	惣門棟銘写	大工寺迫又左衛門藤原貞家他二名		包紙	86D61
二四	寛文五年五月一二日	切支丹宗門御制禁ノ事	勝福寺玉峯	崇福寺・聖福寺・承天寺		86D62
二五	寛文五年七月一一日	寺院規式	大和守・美濃守・豊後守・雅楽頭			86D63

二六	延宝七年三月二日	崇福寺一派之寺院住持病気又者他行之砌担那結縁之後見代定之事	崇福寺		書状一通	86D65
二七	延宝七年三月日	崇福寺一派之寺院住持病気或佗行之砌担那結縁後見定之事	崇福寺	今津村　勝福寺、妙喜庵、桃林軒		86D66
二八	延宝八年一〇月二九日	崇福寺一派中之法度				86D67
二九	貞享三年九月	達	平田清左衛門、加藤五郎右衛門	諸宗寺院触頭中		86D68
三〇	貞享三年一〇月一九日	志摩郡桑原村東泉寺分田畠畝高書上ヶ申事		徹そ座老、三そ座老、連そ座老	桑原作人、仁兵衛以下十一人の署名あり、同年同月の奥書あり	86D69
三一	貞享四年五月二日	覚	崇福寺	末寺中	（幕府よりの触状回達）	86D70
三二	元禄四年五月善日	（誓願寺什物修復之略記）			一紙	86D71
三三	元禄五年正月一五日	（田畠大豆預り目録）	桑原村武左衛門	今津村勝福寺	一紙	86D72
三四	元禄第五年二月下澣	龍起山興聖勝福禅寺縁起			横峯古外考証、一幅	86D73
三五	元禄第五年二月	開山檀越因由			横峯古外考証、一幅付・開山遠忌等控	86D74
三六	（元禄五年）	（開山檀越因由下書）	横峯古外識			
三七	元禄七年正月吉旦	龍起山勝福寺什物帳			元禄七甲戌年正月吉旦の「勝福寺並諸末寺什物田畠帳」と合冊、書冊一	86D75
三八	元禄七年正月吉旦	勝福寺並諸末寺什物田畠帳			龍起山勝福寺什物帳と合冊、書冊一	86D76
三九	元禄七年二月二七日	口上	光谷		東泉寺末寺化の件	86D77
四〇	元禄一〇年七月	今度御倹約□□法度之覚	船橋十郎左衛門・庄野彦右衛門（寺社奉行）	崇福奉行禅納所　三ヶ寺	一通	86D78

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
四一	享保二〇年正月	勝福寺什物の覚書	藪角兵衛	今津村勝福寺	書綴一	86D79
四二	寛延三年二月	奉願松木之事	志摩郡今津村勝福寺活源		「崇福寺奉候、納所記」一通	86D80
四三	安永六年一〇月二四日	開山五百年忌記録	現住宗芸		横帳一	86D81
四四	寛政九年一一月	午尾辰之丞久照他二名跋文	午尾辰之丞久照、上野小八勝梢日杵七右衛門鑑識			86D82
四五	寛政（九年）冬	文書（第一帳～第六帳）解説			於谿村精舎	86D83
四六	寛政一〇年二月	永代売渡山証文之事	売主甚六他二人	勝福寺、同担値中	書状一通	86D84
四七	寛政一〇年三月	口上之覚	勝福寺	庄屋市郎		86D85
四八	寛政一〇年一〇月	清教寺より指出申書物之事	清教寺	勝福寺		86D86
四九	寛政一二年九月晦日	中興夢窓国師四百五十年忌記録	住山大椽義笛	世話人、岡ノ市作、伊平、作次、長八、浦ノ定蔵他六名	書綴一	86D87
五〇	寛政一二年一〇月六日	開山大興禅師五百遠忌諸記	勝福寺掛持大椽義笛・妙泉庵世話人木下助七	一冊		86D88
五一	寛政一二年	永代売渡畠証文之事	売主十三	勝福寺		86D89
五二	寛政一三年三月七日	（覚）			夕村庄屋三右衛門よりの書状の控、一紙	86D90
五三	寛政一三年三月	口上之覚	清教寺旦方中	勝福寺御旦方衆中		86D91
五四	享和改元春三月	西光寺屋敷記録	勝福現住大椽義笛		書綴一	86D92
五五	文化二年応鐘二四日	開山御忌香賀控帳	勝福知事等		横帳一	86D93
五六	文化二年三月日	万徳寺御普請諸雑用帳			横帳一	86D94
五七	文化二年四月初三日	開山円智禅師四百遠年忌記	東泉寺掛持紹欽	万徳寺世話人幸吉、文助	書綴一	86D95

六六	文化一三年八月	質入証文之事	孫右衛助、真蔵	勝福寺	（端裏）「永代々代替」	86D96
六七	文政二年一二月	畠売証文	不明	勝福寺		86D97
六八	文政四年二月	覚	勝福寺当住、同世話役組頭同世話人			86D98
六九	文政一〇年七月念四日	諸員寄進目録	守塔順翁		書綴一	86D99
七〇	天保八年一二月	□拝借申上ル居屋敷書物之事	嘉平他五名	勝福寺		86D100
七一	天保八年一二月	畑売証文	売主恒平、請人和助	勝福寺		86D101
七二	天保八年一二月	門前屋敷貸渡記録	住持比丘芳嶺宗根		書綴一	86D102
七三	天保九年一二月念八日	桃林軒開山文叟大和尚四百五十回忌記録	現勝福兼桃林芳嶺		書綴一	86D103
七四	天保九年六月	「衆評之上相達申覚」	崇福寺執事	勝福寺並檀那中		86D104
七五	天保九年八月一二日	無量山万徳寺梵鐘供養記録	勝福寺知事		書綴一	86D105
七六	天保一二年三月二七日	茸竹山安養寺開山宏弁若訥大和尚四百五十年記録	勝福芳嶺		書綴一	86D106
七七	（嘉永）三月二九日	綴子錦代銭尋書			一紙	86D107
七八	嘉永元年九月	交割簿			書冊一、三一丁	86D108
七九	安政四年正月	当院再興寄附銀請取状	京紫野雲林院納所	筑前志摩郡勝福寺旦那中	一紙	86D109
七〇	慶応三年一二月	借用証文	借主安五郎、請人伝三	妙泉庵御住僧		86D110
七一	一二月一七日	書状	筑後有馬御家中　矢野称平		七通、一巻	86D111
七二	一一月日	覚			生類捨の件	86D112
七三	（年月日未詳）	覚			林材払代金、一紙	86D113
七四	（年月日未詳）	（覚）			寺社縁起の練習ヵ	86D114
七五	（年月日未詳）	（覚書）			寺社縁起ヵ、一冊	86D115

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
六	明治三年正月	明治二己冬御上納指閣ニ付借用仕証文事	金子借用主安五郎、受人伝三	妙泉庵妙淇		86D116
七	明治三年六月二四日	借用仕引当証文之事	借主長七、受人左七	妙泉庵妙淇		86D117
八	明治三年一〇月	〔借用証文〕	借主安五郎他三名	妙泉庵妙淇	一通	86D118
九	明治三年一二月	証文（断簡）		勝福寺		86D119
一〇	明治六年一月六日	証	志摩郡今津村同寺	福岡県御出張堀川小属		86D120
一一	明治六年一月一五日	証	浜崎浦組頭秀月丈□他二名	勝福寺		86D121
一二	明治六年一月	借用証文	借主真助、受人藤六組頭和吉	□□□（妙淇カ）		86D122
一三	明治一〇年九月	記		勝福寺	大徳寺派規約、書綴一	86D123
一四	明治一一年～一七年	小作請証			書綴一	86D124
一五	明治一八年度	勝福寺担徒全戸男女区別簿			横帳一	86D125
一六	明治三拾年旧一二月改	什物明細取調簿	蔵司係	寿福寺	書冊一	86D126
一七	明治三三年旧五月二六日	記	水崎万造	小田桜雲	一紙	86D127
一八	明治三四年旧二月二四日	明約証	石田家惣代外三名		勝福寺霊屋新築の件、一紙、封筒あり	86D128
一九	明治四四年六月二二日	班位の証	大本山大徳寺		「授与本洲一等地班位之証了」	86D129
二〇	大正二年七月中旬	勝福寺蔵書	龍起山		目録一覧、書冊一	86D130
二一	二月二三日	書状	太岳、宗珠	勝福寺侍司下		86D131

四九	□二月	証文之事	受人武左衛門、借主次八	明仙庵	
四九	丑五月	覚	崇福寺役者	勝福寺	撞鐘一口ノ事
四九	七月	口上	大庄屋典市		
四九	九月二七日	拝借証文	青柳彦次郎	勝福寺	
四九	一〇月二四日	書状	青柳彦次郎	勝福寺	
四九	一〇月二五日	〔縁起ヵ〕（前欠）			一紙
一〇〇	一〇月	志摩郡今津村勝福寺旦方中御願申上ル口上覚	今津村勝福寺旦那中	桜井村大庄屋与市	
一〇一	一〇月	〔某請取状〕			一通（今津村□百姓粮物扶助として勝福寺米一俵を出米す）
一〇三	一〇月	目録	青柳彦次郎		
一〇三	一二月	受取状	安五郎	上様	
一〇四	一二月	借用証文	受人武左衛門、借主次八	妙仙庵	
一〇五		封紙			「証文一通金十一匁安五郎」ト書セリ
一〇六		封紙			「借用注文在中源蔵」ト書セリ
一〇七		大覚禅寺師安座法語			一紙
一〇八		三省録	筑州福岡藩山中幸栄編		四冊（前後欠一冊、三、四、五）（黒田藩士等の列伝）
一〇九		黒田家歴代法号			一紙
一一〇		志摩郡今津村勝福寺御訴訟申上ル口上之事			二通（同文）（郡役御免の願）
一一一		因縁戒名簿			書綴一

86D132	
86D133	
86D134	
86D135	
86D136	
86D137	
86D138	
86D139	
86D140	
86D141	
86D142	
86D143	
86D144	
86D145	
86D146～9	
86D150	
86D151～2	
86D153	

番号	日付	文書名	発給者	宛名	備考	
二二		「什物並末寺塔頭書上」	芳嶺		書綴一、六枚	86D154
二三		早良郡姪浜邑海嶌山興徳禅寺八景			書綴一	86D155
二四		筑前国志摩郡今津臨済宗勝福寺調査書控			書冊一（創立、古文書等で、古文書の読み本）	86D156
二五		禅宗済下崇福寺末寺帳			書綴一	86D157
二六		宝山編年略記　完			横嶺山崇福禅寺蔵、書冊一	86D158
二七		勝福寺田島覚				86D159
二八		証文	売主十三	□□□寺		86D160
二九		借用証文				86D161
三〇		控	当代勝□□	浜崎寿福寺		86D162
三一		清教寺屋敷指図				86D163
三二		覚（後欠）				86D164
三三		受取状	原田伊勢吉	水崎万造、柴田義乗		86D165
三四		絵			福寿の図、彩色	86D166
三五		水引戸帳、化縁帳			書冊一、明治	86D167
三六		偈頌写			横帳一、明治	86D168
三七		戒徒名簿			横帳一、明治	86D169
三八		天照皇大神宮御神楽御祈祷奉奏加名簿	伊勢神都敬神神楽教会本部世話掛		刷物一冊	86D170

一二九	〔袋〕		開山五百五十年忌記	86D171
一三〇	略伝		錢等入袋	
一三一	什物并末寺塔頭書上		蘭渓道隆以下略伝、一紙	86D172
一三二	(請求書ヵ)		龍起山興聖勝福禅寺一紙	86D173
一三三	(断簡)		一紙、後欠	86D174
一三四	封紙		「惣門棟銘写入」と書せり	86D175
				86D176

内典

一 大般若経　六百巻六百冊　寛文八年　刊本　86D176～776

二 大般若波羅蜜多経　一巻一冊（第五百七十八存）（折本）　貞享二年　刊本　86D777

三 金剛般若経　一巻一冊（折本）　貝葉書院刊　86D778

四 仏祖三経（四十二章経、遺教経、潙山警策）　三巻一冊　刊本　86D779

五 大宋真宗皇帝注遺教経　一巻一冊　寛文三年　額田正三郎刊　86D780

六 梵網経菩薩戒品　一巻一冊（折本）　延享二年　刊本　86D781

七 妙法蓮華経秘略要妙　十巻十冊（巻一、巻二、巻四欠）　刊本　86D782～91

八 法華経釈謙順記　一巻一冊　妙瑞記　元文四年　河内屋宇兵衛刊　86D792

九 本願薬師経鈔　二巻二冊　善珠記　延宝三年　村上勘兵衛刊　86D793～94

一〇 首楞厳義疏注経　九巻九冊（巻八欠）　子璿注　寛永九年　豊雪斎道伴刊　86D795～803

一一 起信論疏筆削記　六巻六冊（巻一～巻六存）　子璿録　刊本　86D804～9

一二 六祖法宝壇経　一巻一冊　寛永十一年　中野市右衛門刊　86D810

一三 増冠傍註伝心法要　一巻一冊　東恵仁編　明治十九年　大谷仁兵衛刊　86D811

一四 鎮州臨済慧照禅師語録　一巻一冊　慧然集　刊本　86D812

一五 頓悟入道要門論　二巻一冊　慧海撰　貝葉書院刊　86D813

一六 潙山警策　一巻一冊　寛文三年　額田正三郎刊　86D814

一七 仏果円悟禅師碧巌録　二巻一冊（巻五、巻六存）　慶安三年　堤六左衛門刊　86D815

一八 同　八巻四冊（巻二～巻十存）　延宝五年　山本長兵衛刊　86D816～9

一九 同　六巻三冊（巻三～巻六、巻九、巻十存）　86D820～2

二〇 同　四巻二冊（巻五、巻六、巻九、巻十存）　86D823～4

二一 同　二巻一冊（巻三、巻四存）　刊本　86D825

二二 仏果円悟禅師碧巌録抄　五巻五冊（巻二、巻三、巻五、巻七、巻十存）刊本　86D826～30

二三 大慧語録　六巻一冊　刊本　86D831

二四 虚堂和尚語録　三巻三冊　妙源編　刊本　86D832～4

二五 禅関策進　一巻一冊　雲棲株宏輯　明暦二年　田原仁左衛門刊　86D835　86D836

二六 同　小川源兵衛刊

二七 五家正宗賛　四巻二冊　刊本　86D837～8

二八 禅門宝訓　二巻二冊　藤井佐兵衛刊　86D839～40

二九 増冠傍註仏祖三経指南　三巻一冊　町元呑空編　明治三十年　出雲寺文次郎刊　86D841

三〇 出家大綱　一巻一冊　栄西纂　寛政元年　刊本　86D842

三一 大覚録　四巻四冊　天和二年　刊本　86D843～6

三二 円通大応国師語録　二巻二冊　廷俊撰　貝葉書院刊　86D847～8

三三 一休狂歌雀　一巻一冊　天保九年　堺屋仁兵衛刊　86D849

三四 紫野龍宝山大徳禅師語録　一巻一冊　禅興編　刊本　86D850

三五 宗門十勝論国字解標註　二巻二冊　虎関著、安住宗俊編　明治二十三年　貝葉書院刊　86D851～2

三六 宗門葛藤集　四巻四冊　文政十三年　加賀屋善蔵刊　86D853～6

三七 小叢林略清規　三巻三冊　道忠撰　貞享元年　小川多左衛門刊　86D857～9

三八 寒山詩闡提記聞　二巻二冊（巻一欠）　白隠撰　延享三年　紀伊国屋藤兵衛刊　86D860～1

三九 評唱龍宝開山国師語録拙語　一巻一冊　白隠　寛延二年　刊本　86D862

四〇 宗門無尽燈論　二巻二冊上下　東嶺編　明治十五年　矢野平兵衛刊　86D863～4

四一 同　86D865～6

四二 禅林雑句　一巻一冊　小川源兵衛刊　86D867

四三 一華五葉　一巻一冊　玄番撰　明和二年　小川源兵衛刊　86D868

四四 禅海一瀾　二巻二冊　今北洪川著　明治七年　出雲寺文治郎刊　86D869～70

四五 応燈二祖の仮名法語　一巻一冊　水谷宗能編　明治十九年　河合卯之助刊　86D871

四六 同　86D872

四七 同　86D873

四八 説教自由弁　一巻一冊　安藤瓊巌著　明治二十五年　河合卯之助刊　86D874

四九 西谷名目啓蒙　四巻四冊　刊本　86D875～8

五〇 頭書訂正西谷名目　二巻二冊　明治十九年　刊本　86D879～80

五一 同　一巻一冊（巻下存）　86D881

五二 原人論講苑　二巻一冊　湖東宏遠述　写本　86D882

五三 三界義　一巻一冊　明治二十二年　永田長左衛門刊　86D883

五四 闢邪編　一巻一冊　光謙撰　元禄十一年　長谷川市良兵衛刊　86D884

五五 往生要集　六巻六冊　源信撰　寛永十七年　安田十兵衛刊　86D885～90

五六 釈氏要覧　二巻二冊　釈道誠　寛永十年　刊本　86D891～2

五七 釈氏稽古略　二巻一冊（巻一、巻二存）　宝州覚岸編　刊本　86D893

五八 釈鑑稽古略続集　三巻一冊　幻輪編　刊本　86D894

五九 釈氏要覧　一巻一冊（巻中存）釈道誠集　刊本　86D896

六〇 仏法金湯編　一巻一冊（巻下存）屠隆著　慶安五年　中野市右衛門刊　86D897～8

六一 釈門事物紀原　二巻二冊（初編のみ）　大内青巒編　明治十六年　藤田祐真刊　86D897～8

六二 冠導三国仏法伝通縁起　三巻一冊　凝然述　明治二十一年　西村九郎右衛門刊　86D899

六三 興禅大燈国師年譜　一巻一冊　奥田正造編　昭和八年　森江書店刊　86D900

六四 同　86D901

六五 西国三十三所観音霊場記　七巻七冊　厚誉春鶯編　天保四年　小川多左衛門刊　86D902～8

六六 涅槃像考文抄　一巻一冊　刊本　86D909

六七 元亨釈書　二十四巻十二冊（巻一～巻六、巻九～巻十四、巻十七～巻二十六、巻二九、巻三十存）　虎関師練撰　寛永元年刊　86D910～21

外典

六八 易経　二巻二冊　文徳堂刊　86D922～3

六九 周易　二巻二冊　刊本　86D924～5

七〇 書経　二巻二冊　刊本　86D926～7

七一 同　一巻一冊（巻上存）　刊本　86D928

七二 尚書　五巻二冊（巻九～巻十三存）　寛延四年　丸屋市兵衛刊　86D929～30

七三 書経集伝　四巻四冊　蔡沈注　商務印書館刊　（一冊欠）　86D931～4　86D935～6

七四 書経　二巻二冊　文徳堂刊

七五 詩経　二巻二冊　文徳堂刊　86D937～8

七六 詩集伝　八巻四冊　朱熹集伝　商務印書館刊　86D939～42

七七 礼記　四巻四冊　安政二年　須原屋茂兵衛刊　86D943～6

七八 春秋　一巻一冊　文徳堂刊　86D947

九九 同　一巻一冊　後藤点　刊本　86D948
八〇 春秋左氏伝校本　三十巻十五冊　森鼎校　文化八年　前川六左衛門刊　86D949～63
八一 同　四巻二冊（巻三～巻六存）（前後欠）　86D964～5
八二 孝経集註　一巻一冊　近藤元粹著　明治十六年　中川勘助刊　86D966
八三 四書集註（孟子）　七巻二冊　朱熹集註　明治十九年　伊藤勘兵衛刊　86D967～8
八四 同　一巻一冊（巻三存）　86D969
八五 四書集註（学庸）　一巻一冊　朱熹集註　明治十九年　伊藤勘兵衛刊　86D970
八六 論語集註　四巻四冊　朱熹集註　刊本　86D971～4
八七 同　一巻一冊（巻三存）　一二四欠　86D975
八八 中庸章句　一巻一冊　朱熹章註　刊本　86D976
八九 近思録集解　十四巻四冊　朱熹、呂祖謙編、葉采集解　文化九年加賀屋善蔵刊　86D977～80
九〇 小学　四巻二冊　後藤点　弐書房刊　86D981～2
九一 老子道徳真経　二巻一冊　王弼注　丁卯　商務印書館刊　86D983
九二 寒山子詩集　一巻一冊　刊本　86D984
九三 唐詩選　七巻一冊　李攀龍編天保六年　小林新兵衛刊　86D985
九四 文章軌範評林　七巻三冊　謝枋得批撰、東亀年補正　明治十四年岡田茂兵衛刊　86D986～8
九五 続文章軌範　七巻三冊　鄒守益批撰、東亀年補訂　明治十四年岡田茂兵衛刊　86D989～91
九六 浦東崔張珠玉詩集　一巻一冊（下巻存）　正徳三年　村上清三郎刊
九七 石城遺宝　一巻一冊　紹宙性宗編　元禄十三年　刊本　86D992
九八 同　86D993
九九 漢和記事論説文例　二巻二冊　藤井翠圃編　明治十五年　浜本伊三郎刊　86D994
一〇〇 金鱗化粧桜　三巻三冊（巻二、巻五、巻六存）　中川昌房著　刊本　86D995～6
一〇一 棲碧山人百絶　一巻一冊　五柳道者校　小野藤吉刊本　86D997～9
一〇二 正続文章軌範読本　二巻二冊　謝枋得、鄒守益批撰　明治十一年春精堂蔵版　86D1000
一〇三 貞観政要　五巻五冊（巻五～巻九存）　刊本　86D1001～2
一〇四 十八史略字引　一巻一冊　河野与一郎著　明治十一年　藤田富三郎刊　86D1003～7
一〇五 十八史略　七巻七冊　陳殿音釈　天保十年　岡田屋嘉七郎刊　86D1008
一〇六 明治文語粋金　四巻四冊　楢崎隆存編　明治十一年　岡島真七刊　86D1009～15
一〇七 蒙求　一巻一冊（巻中存）　刊本　上下欠　86D1016～9
一〇八 半陶藁　一巻一冊（巻一存）　彦龍周興撰　延徳三年　刊本　86D1020
一〇九 村童必誦　一巻一冊　神崎先生編　明治六年　鳩居堂刊　86D1021
一一〇 摘欺説続　一巻一冊　享保十四年　前川権兵衛刊　86D1022
一一一 神仏決疑弁　二巻一冊　写本　86D1023
一一二 野中兼山　一巻一冊　塚越芳太郎著　明治三十四年　民友社刊　86D1024
86D1025

二　精華女子高校資料

〈資料内訳〉

裁縫教材縫見本……一三七件　一六〇点

番号	名称	員数	法量	品質・形状	時代	
一	袴雛型（女物）	一点	縦四九・六　横一六・八	絹製	昭和時代初期	86D1026
二	袴雛型	一点	縦四五・六　横一〇・五	木綿製	昭和時代初期	86D1027
三	袴雛型	一点	縦四五・七　横一八・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1028
四	袴雛型	一点	縦四七・三　横一五・五	木綿製	昭和時代初期	86D1029
五	袴雛型	一点	縦四六・三　横一八・五	木綿製	昭和時代初期	86D1030
六	袴雛型	一点	縦四六・二　横一九・一	木綿製	昭和時代初期	86D1031
七	袴部分縫い（腰当部）	一点	縦三三・六　横四七・二	木綿製	昭和時代初期	86D1032
八	袴部分縫い	一点	縦三一・一　横四〇・八	木綿製	昭和時代初期	86D1033
九	袴部分縫い（腰当）	一点	縦九・三　横一五・三	木綿製	昭和時代初期	86D1034
一〇	袴部分縫い（腰当）	一点	縦九・一　横一五・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1035
一一	袴部分縫い（腰当）	一点	縦九・一　横一四・九	木綿製	昭和時代初期	86D1036
一二	袴部分縫い（腰当）	一点	縦九・二　横一五・五	木綿製	昭和時代初期	86D1037
一三	袴部分縫い雛型	一点	縦一四・六　横一〇・五	木綿製	昭和時代初期	86D1038
一四	袴部分縫い雛型	一点	縦一三・六　横一〇・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1039
一五	袴部分縫い雛型	一点	縦一三・二　横一二・七	木綿製	昭和時代初期	86D1040

番号	名称	員数	法量	品質・形状	時代	
一六	袴部分縫い雛型	一点	縦二二・五　横二〇・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1041
一七	衿部分縫い	一点	縦三六・〇　横一四・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1042
一八	衿部分縫い	一点	縦三五・五　横一三・七	木綿製	昭和時代初期	86D1043
一九	袴部分縫い	一点	縦三五・五　横一三・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1044
二〇	衿部分縫い	一点	縦三五・五　横一三・五	木綿製	昭和時代初期	86D1045
二一	衿部分縫い	一点	縦三四・五　横一三・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1046
二二	袴部分縫い（左右一対）	一点	縦三九・五　横一三・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1047
二三	衿部分縫い（左右一対）	一点	縦三八・〇　横一一・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1048
二四	衿部分縫い	一点	縦三八・五　横一〇・五	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1049
二五	衿部分縫い	一点	縦三五・五　横一一・三	木綿製	昭和時代初期	86D1050
二六	衿部分縫い	一点	縦三三・〇　横九・五	木綿製	昭和時代初期	86D1051
二七	衿部分縫い	一点	縦四〇・七　横九・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1052
二八	衿部分縫い	一点	縦三〇・五　横八・五	木綿製	昭和時代初期	86D1053
二九	衿部分縫い	一点	縦三一・〇　横八・五	木綿製	昭和時代初期	86D1054
三〇	衿部分縫い（羽織）	一点	縦一九・〇　横三・三	木綿製	昭和時代初期	86D1055
三一	衿部分縫い	一点	縦一九・五　横八・三	木綿製	昭和時代初期	86D1056
三二	衿部分縫い見本	一点	縦三一・〇　横八・八	木綿製	昭和時代初期	86D1057
三三	衿部分縫い	一点	縦三三・二　横一四・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1058
三四	衿部分縫い	一点	縦三六・〇　横一三・五	木綿製	昭和時代初期	86D1059
三五	衿部分縫い	一点	縦三五・〇　横一四・五	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1060
三六	衿部分縫い（広衿）	一点	縦四八・〇　横一九・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1061

毛	衿袴部分縫い（衿当て付）	一点	縦二四・五 横一三・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1062
六	衿部分縫い（衿当て付）	一点	縦三五・五 横一四・五	木綿製	昭和時代初期	86D1063
元	衿部分縫い	一点	縦二四・〇 横一三・五	木綿製 絣	昭和時代初期	86D1064
四〇	衿部分縫い	一点	縦二四・〇 横一二・〇	木綿製 絣と縞文様	昭和時代初期	86D1065
四一	衿部分縫い（衿衿付け標本）	一点	縦四五・五 横三・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1066
四二	衿部分縫い（衿）	一点	縦四五・〇 横三・二	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1067
四三	衿部分縫い（衿）	一点	縦四五・〇 横三・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1068
四四	衿部分縫い（広衿）	一点	縦四九・〇 横一七・二	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1069
四五	衿部分縫い（広衿）	一点	縦三四・〇 横一九・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1070
四六	衿部分縫い	一点	縦四五・〇 横一〇・〇	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1071
四七	衿部分縫い	一点	縦四六・〇 横一一・〇	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1072
四八	衿部分縫い（衿）	一点	縦四四・五 横三・〇	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1073
四九	衿部分縫い	一点	縦四四・〇 横三・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1074
五〇	衿部分縫い（広衿、衿）	一点	縦四四・五 横三・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1075
五一	衿部分縫い（衿）	一点	縦四四・五 横三・五	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1076
五二	衿部分縫い	一点	縦四四・七 横三・七	木綿製 箱崎縞	昭和時代初期	86D1077
五三	衿部分縫い	一点	縦三三・五 横二一・〇	木綿製 紅・白	昭和時代初期	86D1078
五四	衿部分縫い	一点	縦三三・〇 横一〇・七	木綿製 紅・白	昭和時代初期	86D1079
五五	衿部分縫い	一点	縦四四・〇 横二一・〇	木綿製 紅・白	昭和時代初期	86D1080
五六	衿部分縫い	一点	縦三三・四 横二一・〇	木綿製 紅・白	昭和時代初期	86D1081
五七	衿部分縫い	一点	縦三三・〇 横一〇・五	木綿製 紅・白	昭和時代初期	86D1082

番号	名称	員数	法量	品質・形状	時代	
六八	衿部分縫い	一点	縦三一・八　横一〇・四	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1083
六九	衿部分縫い	一点	縦三二・七　横一〇・六	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1084
六〇	衿部分縫い	一点	縦三二・三　横一〇・九	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1085
六一	衿部分縫い	一点	縦三二・八　横一一・〇	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1086
六二	衿部分縫い	一点	縦三四・〇　横一〇・九	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1087
六三	衿部分縫い	一点	縦三二・二　横一九・三	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1088
六四	衿部分縫い（衿つけ）	一点	縦三一・八　横一〇・四	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1089
六五	衿部分縫い	一点	縦三三・五　横一〇・四	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1090
六六	衿部分縫い	一点	縦三三・七　横一〇・六	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1091
六七	衿部分縫い	一点	縦三四・〇　横一〇・三	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1092
六八	衿部分縫い	一点	縦三三・四　横一〇・五	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1093
六九	衿部分縫い（衿つけ）	一点	縦三三・〇　横一〇・七	木綿製　紅・白	昭和時代初期	86D1094
七〇	衿部分縫い（かけえり）	一点	縦四一・七　横一〇・二	木綿製　桃	昭和時代初期	86D1095
七一	衿附標本	一点	縦三七・二　横三一・〇	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1096
七二	衿附標本	一点	縦三九・八　横三一・〇	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1097
七三	衿先標本　其ノ一	一点	縦三七・二　横二一・七	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1098
七四	衿先標本　其ノ二	二点	縦三〇・四　横二一・三	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1099～1100
七五	袖標本（袷）	一点	縦三七・六　横一七・五	木綿製　絣八掛赤	昭和時代初期	86D1101
七六	袖標本（袷）	一点	縦三七・七　横一五・四	木綿製　縞	昭和時代初期	86D1102
七七	袖標本（袷）	一点	縦三七・四　横一三・九	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1103
七八	袖標本（袷）	一点	縦三三・八　横一五・三	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1104

七九	袖標本（袷）	二点	縦三一・二　横一六・一	木綿製　赤	昭和時代初期
八〇	袖標本（袖口留　袷　袖口下縫い方）	一点	縦三三・四　横一七・五	木綿製　絣	昭和時代初期
八一	袖標本（袷）	一点	縦三〇・六　横一八・一	木綿製　縞	昭和時代初期
八二	羽織袖付標本（袷）	一点	縦三三・五　横二九・〇	木綿製　縞　裏柄物	昭和時代初期
八三	袖付標本（袷）	一点	縦二八・六　横一三・三	木綿製　縞	昭和時代初期
八四	袖部分縫い（袷）	一点	縦二〇・七　横一七・五	木綿製　縞	昭和時代初期
八五	袖部分縫い（ひとえ）	一点	縦一七・七　横一六・七	木綿製　縞	昭和時代初期
八六	袖部分縫い（ひとえ）	一点	縦一三・八　横一三・八	木綿製　縞	昭和時代初期
八七	袖標本（ひとえ）表	一点	縦二六・七　横一六・五	木綿製　縞	昭和時代初期
八八	袖部分縫い　裏	一点	縦二五・〇　横一六・四	木綿製　縞	昭和時代初期
八九	袖部分縫い　裏	一点	縦二五・九　横一七・八	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期
九〇	袖部分縫い	一点	縦二八・五　横二〇・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期
九一	袖標本	一点	縦二四・五　横一八・三	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期
九二	袖標本	一点	縦二四・八　横一八・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期
九三	袖標本	一点	縦二三・四　横一五・七	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期
九四	袖部分縫い標本（ひとえ）	一点	縦二三・四　横一六・九	木綿製　格子縞	昭和時代初期
九五	袖口部分縫い	一点	縦二九・六　横二五・三	木綿製　白布にオレンジ	昭和時代初期
九六	袖部分縫い（表・裏つづき）	一点	縦二〇・五　横一六・六	木綿製	
九七	袖部分縫い（裏）	一点	縦一八・〇　横一五・九	木綿製　さらし	昭和時代初期
九八	袖部分縫い	一点	縦二四・二　横二七・四	木綿製　さらし	昭和時代初期

86D1105～106	
86D1107	
86D1108	
86D1109	
86D1110	
86D1111	
86D1112	
86D1113	
86D1114	
86D1115	
86D1116	
86D1117	
86D1118	
86D1119	
86D1120	
86D1121	
86D1122	
86D1123	
86D1124	
86D1125	

番号	名称	員数	法量	品質・形状	時代	
九九	袷部分縫い	一点	縦五三・〇　横三四・五	木綿製　裏・木綿赤	昭和時代初期	86D1126
一〇〇	女袷長襦袢標本（片身）	一点	身丈一一七・〇　袖丈五六・五　（衿先）縦一二七・〇　（裄）横六三・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1127
一〇一	ひとえ着物標本（元禄袖）	一点	身丈九六・五　袖丈三三・〇　縦一〇一・五　横五三・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1128
一〇二	ひとえ着物標本（片身）振り袖	一点	身丈五六・五　袖丈三一・五　袖幅一四・五　縦五九・五　横三〇・三	絹製	昭和時代初期	86D1129
一〇三	道行コート標本（袷片身）	一点	袖丈二〇・四　袖幅一五・〇　縦四四・七　横三三・〇	絹製	昭和時代初期	86D1130
一〇四	縫い方見本（重ね縫い）	一点	縦一八・五　横一三・七	木綿製	昭和時代初期	86D1131
一〇五	縫い方見本（重ね縫い）	一点	縦一八・〇　横一四・〇	木綿製　縞	昭和時代初期	86D1132
一〇六	縫い方見本（重ね縫い）	一点	縦一六・五　横一六・二	木綿製　縞	昭和時代初期	86D1133
一〇七	縫い方見本（重ね縫い）	一点	縦一七・五　横一六・五	木綿製　縞	昭和時代初期	86D1134
一〇八	縫い方見本（重ね縫い）	一点	縦一五・〇　横一八・七	木綿製　縞	昭和時代初期	86D1135
一〇九	芯張り見本	一点	縦三一・七　横一三・〇	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1136
一一〇	縫い方見本「割接ぎ」	六点	（台紙）縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1137～42
一一一	縫い方見本「返し接ぎ」	七点	（台紙）縦一九・一　横二九・四	木綿製	昭和時代初期	86D1143～49
一一二	縫い方見本「重ね接ぎ」	五点	縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1150～54
一一三	縫い方見本「刺し接ぎ」	一点	縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1155
一一四	縫い方見本「穴接ぎ単衣」	一点	縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1156
一一五	縫い方見本「色紙接ぎ」	二点	縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞・格子	昭和時代初期	86D1157～58
一一六	縫い方見本「突き合わせ接ぎ」	六点	縦一九・一　横二九・四	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1159～64
一一七	縫い方見本「(1)片返し接」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製　縞	昭和時代初期	86D1165

一二八	縫い方見本「片返し一種」	一点	縦一九・〇　横九・七	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1166
一二九	縫い方見本「(2)重ね接ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製　縞	昭和時代初期	86D1167
一三〇	縫い方見本「(3)割接ノ一接」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製	昭和時代初期	86D1168
一三一	縫い方見本「(5)割接ぎの一接」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製	昭和時代初期	86D1169
一三二	縫い方見本「掛接ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	羊毛製　セル	昭和時代初期	86D1170
一三三	縫い方見本「(7)突き合せ接ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	羊毛製　ラシャ	昭和時代初期	86D1171
一三四	縫い方見本「色紙繼ぎ・太綿に用ゆ」	一点	縦一九・〇　横九・七	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1172
一三五	縫い方見本「(10)色紙繼ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製	昭和時代初期	86D1173
一三六	縫い方見本「(1)穴繼ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	木綿製　箱崎縞	昭和時代初期	86D1174
一三七	縫い方見本「(12)鉤裂ぎ」	一点	縦一九・〇　横九・七	絹製	昭和時代初期	86D1175
一三八	帯雛型	一点	（おたいこ）縦一二〇・〇　横二〇・〇	絹（紗織）（裏）木綿製	昭和時代初期	86D1176
一三九	部分縫い	一点	縦三一・〇　横二〇・五	木綿製	昭和時代初期	86D1177
一四〇	部分縫い	一点	縦二七・〇　横二〇・四	木綿製	昭和時代初期	86D1178
一四一	部分縫い	一点	縦三〇・〇　横四〇・〇	木綿製	昭和時代初期	86D1179
一四二	部分縫い	一点	縦三〇・六　横三二・八	木綿製	昭和時代初期	86D1180
一四三	部分縫い	一点	縦三〇・五　横三二・八	木綿製	昭和時代初期	86D1181
一四四	部分縫い	一点	縦三一・〇　横二七・〇	木綿製　絣	昭和時代初期	86D1182
一四五	部分縫い	一点	縦三〇・〇　横二六・〇	絹製	昭和時代初期	86D1183
一四六	部分縫い	一点	縦二九・七　横二六・五	絹製	昭和時代初期	86D1184
一四七	部分縫い	一点	縦三〇・〇　横二五・五	絹製	昭和時代初期	86D1185

三　衣笠資料

〈資料内訳〉

屏風・巻子……四件　五点
地図・絵図類……一〇九件　一二三点
計　一二三件　一二八点

〈屏風・巻子〉

一　物語図屏風　六曲一双

品質・形状　紙本着色　屏風装
(一)鉢の木図（右隻）
法　量　（第一扇）竪　一三〇・五　横　四三・八
（第二扇）横　五一・七
銘文等　（落款・印章）
「福草源守由筆」「守由」（朱文瓢印）
(二)小督図（左隻）
法　量　（第一扇）竪　一三〇・七　横　四三・八
（第二扇）竪　五一・四
銘文等　（落款・印章）
「福草源守由筆」「福草圖書」（朱文方印）
時　代　江戸時代
作　者　衣笠守由　86D1186, 7

二　群鳥図　六曲一隻

品質・形状　紙本金地着色　屏風装
法　量　（第一扇）竪　七一・八　横　三五・六
（第二扇）横　三九・五
時　代　江戸時代
作　者　伝衣笠筆　86D1188

三　松鶴図　六曲一隻

品質・形状　紙本着色　屏風装
法　量　（第一扇）竪　一一七・五　横　三九・一
（第二扇）横　四五・六
銘文等　（落款・印章）
「衣笠守正」「衣笠探谷」（白文方印）
時　代　江戸時代
作　者　衣笠守正　86D1189

四　中国医術人物図　一巻

品質・形状　紙本着色　巻子装
法　量　竪　三七・五　横　五一八・六
銘文等　（落款・印章）
「衣笠守昌筆」「守昌」（白文方印）
時　代　江戸時代
作　者　衣笠守昌　86D1190

〈地図・絵図類〉

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
一	ポスター「明治時代の山笠」	一枚	印刷　メクリ	七六・二×五三・〇	近代	祝部至善画 福岡　島井精華堂印刷	Ⅱ5	86D1191
二	「非売品　大阪冬の陣東西両軍配布之図」	一舗	印刷　手彩色　メクリ	一〇二・八×一一三・八	近代	不詳	Ⅱ6	86D1192
三	玄界一覧記	三枚一綴	墨書　書綴	二四・六×一六・二	江戸時代ヵ	不詳	Ⅱ7	86D1193
四	大日本分国輿地全図　第五幅	一舗	色刷印刷　メクリ	一七二・五×一一七・八	明治一〇年四月五日(版権免許)	著述人宮脇通赫 出版人山中市兵衛	Ⅱ8	86D1194
五	福岡市産業便覧(福岡市交通案内)	一帖	色刷印刷　部分に手彩色あり	三八・五×五二・二	昭和五年五月	福岡市役所産業課	Ⅱ9	86D1195
六	残ノ島地質概略図	一枚	トレース紙　インク書	二八・二×二〇・四	近代	不詳	Ⅱ10	86D1196
七	観光志賀島　各所案内	一枚	トレース紙　墨、朱書	一八・三×三七・一	近代	不詳	Ⅱ11	86D1197
八	糸島観光資料	一帖	印刷　手彩色	二五・四×五四・一	近代	不詳	Ⅱ12	86D1198
九	絵画写真	五枚	白黒写真		近代	不詳	Ⅱ13	86D1199～1203
一〇	鎌倉総図江嶋金沢遠景	一舗	木版墨摺　メクリ	三九・七×五九・六	江戸時代	戸川氏蔵版	Ⅱ14	86D1204
一一	東宰府宮神輿産子町ミ巡行之図	一枚	木版色摺　メクリ	三七・二×五三・四	江戸時代	秋篠所蔵	Ⅱ15	86D1205
一二	六瓢息災必勝図	一枚	着色　メクリ	四四・七×五八・四	江戸時代	曽我乃家五郎	Ⅱ16	86D1206
一三	慶応四年丁辰三月二十一日御親征大阪御幸道筋	一枚	木版墨摺　メクリ	三八・四×五一・五	江戸末～近代	不詳	Ⅱ17	86D1207
一四	文久三亥年四月十一日石清水八幡宮御行幸図	一枚	木版色摺　メクリ	三四・一×四六・九	江戸時代	不詳	Ⅱ18	86D1208
一五	文久御行幸御行口之略図	一枚	木版色摺　メクリ	三五・七×四六・九	江戸時代	不詳	Ⅱ19	86D1209

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
一六	慶応三年十月神仏降臨街の賑	一枚	木版墨摺　メクリ	三七・六×五一・三	江戸末～近代	画工黒河玉水	II 20	86D1210
一七	信州更級郡姨捨山十三景	一枚	木版色摺　メクリ	三一・一×四一・二	江戸時代	不詳	II 21	86D1211
一八	江州粟津義仲寺之図	一枚	木版色摺　メクリ	三五・九×四七・九	江戸時代	蟻洞写	II 22	86D1212
一九	備後州尾之道大宝山千光寺図	一枚	木版色摺　メクリ	三三・〇×四七・二	江戸時代	蕭山画	II 23	86D1213
二〇	相模国足柄下郡箱根村箱根神社宝器	一枚	木版色摺　メクリ	三三・七×四一・八	江戸時代	箱根神社祠宮　古川荘野	II 24	86D1214
二一	福岡県護国神社写真	一枚	カラー写真	二一・五×三〇・四	昭和時代	福岡県護国神社再建奉賛会	II 25	86D1215
二二	黒田長政書状写	一通	墨書		(江戸時代)六月卅日	(長政より　村田出羽宛)	II 26	86D1216
二三	寿通パンフレット	一帖	印刷　二ツ折	一四・八×三五・四	昭和前半	不詳	II 27	86D1217
二四	福岡市地図	一舗	印刷　手彩色	三〇・五×四四・〇	昭和二一年四月十日発行	編集者　江藤義□ 発行者　同潤社	II 28	86D1218
二五	東都芝万松山泉岳禅寺略図	一枚	木版色摺　メクリ	三二・六×四七・八	江戸時代	泉岳寺蔵板	II 29	86D1219
二六	元治元年秋　皇都内裏并ニ洛中洛外御警衛大坂川岸口々御図	一枚	木版色摺　メクリ	三六・六×四八・三	江戸時代	不詳	II 30	86D1220
二七	文久四年春改御本陣附	一枚	木版色摺　メクリ	三五・〇×四七・三	江戸時代	不詳	II 31	86D1221
二八	日本之地ヨリ異国里数大概	一枚	木版色摺　メクリ	三三・三×三七・七	江戸時代	真文堂知利蔵版	II 32	86D1222
二九	博多古図	一枚	着色　メクリ	四八・九×八一・三	近代	不詳	II 33	86D1223
三〇	西公園平面図(縮尺三〇〇〇分ノ一)	一舗	青焼紙　手彩色	三五・七×四五・五	(検問印)昭和一七年九月十九日	彩色衣笠氏	II 34	86D1224
三一	藩治時代の各藩色別	一舗	印刷	五九・〇×五七・六	昭和二七年七月	彩色衣笠氏	II 35	86D1225

三	福岡城下色分全図	一枚	トレース紙に着色	四七・七×七一・二	昭和二六年一月二〇日写	衣笠守恭写	II 36	86D1226
三	福岡城郭市街之旧図	一舗	印刷　手彩色	三三・四×四〇・七	近代	彩色衣笠氏	II 37	86D1227
三四	糸島郡全図	一枚	トレース紙に着色	三八・二×二七・七	昭和二七年七月二七日写	彩色衣笠氏	II 38	86D1228
三五	博多全図	一枚	印刷　手彩色	二六・八×二一・〇	近代	彩色衣笠氏	II 39	86D1229
三六	福岡城本市丸之図	一枚	印刷　手彩色	二三・二×二三・六	近代	彩色衣笠氏	II 40	86D1230
三七	福岡城之図	一枚	印刷　手彩色	二三・九×二〇・四	近代	彩色衣笠氏	II 41	86D1231
三八	福岡内城之図	一枚	印刷　手彩色	二六・一×二二・一	近代	彩色衣笠氏	II 42	86D1232
三九	筑前國名嶋御城之図	一枚	印刷　手彩色	二四・八×二四・七	近代	彩色衣笠氏	II 43	86D1233
四〇	博多・福岡図	一枚	青焼紙　手彩色	六〇・八×四一・二	昭和時代	製作者　復興部土地課	II 44	86D1234
四一	冷泉校区付近図	一枚	着色　手彩色	六六・五×一〇六・八	昭和時代	彩色衣笠氏	II 45	86D1235
四二	警固小学校付近図（仮題）	一枚	着色	二〇・四×四八・六	昭和三〇年八月二一日	衣笠氏	II 46	86D1236
四三	福岡市大名土地明細部	一枚	トレース紙に墨書部分彩色	四二・一×四四・二	昭和時代	衣笠氏	II 47	86D1237
四四	警固神社平面図	一枚	トレース紙に着色	二七・一×二四・〇	昭和二九年一一月一七日写	衣笠氏	II 48	86D1238
四五	呉服町衣笠所有地図	一枚	着色	四九・七×二七・五	昭和一一年六月一一日	量者　成吉□郎事務所	II 49	86D1239
四六	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	二九・〇×二七・七	昭和二七年調整	福岡県	II 50	86D1240
四七	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	二八・七×二六・四	昭和二八年四月調整	福岡県議会史編集室	II 51	86D1241
四八	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	二八・五×二六・四	昭和三二年四月調整	福岡県議会史編集室	II 52	86D1242

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
四九	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	五六・五×五六・〇	昭和二九年四月調整	福岡県議会史編集室	II 53	86D1243
五〇	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	五六・八×五六・六	昭和三二年三月調整	福岡県議会史編集室	II 54	86D1244
五一	福岡県管内図	一枚	印刷　着色	五六・八×五六・二	昭和三二年六月調整	福岡県議会史編集室	II 55	86D1245
五二	福岡県管内市町村色別地図	一枚	印刷　着色	五九・五×五五・四	昭和三四年三月発行	不詳	II 56	86D1246
五三	昭和三八年八月六日朝日新聞「市内版」	一枚	印刷　手彩色あり	五五・〇×四一・一	昭和三八年八月六日発行	朝日新聞発行	II 57	86D1247
五四	小倉市全図	一枚	印刷　手彩色	五九・二×四四・三	昭和時代	彩色衣笠氏	II 58	86D1243
五五	佐賀県小城郡多久地質図	一枚	写真紙焼に彩色	六八・七×二四・三	昭和時代	彩色衣笠氏	II 59	86D1249
五六	北船町付近区画図	一枚	墨書（線は鉛筆、朱筆も入る）	二七・九×三九・四	明治三一年五月五日	衣笠氏	II 60	86D1250
五七	東京霞ケ関付近図	一枚	印刷　手彩色	二四・一×二六・三	近代	彩色衣笠氏	II 61	86D1251
五八	箱崎公園記	一枚	原稿用紙に墨書	二五・二×三五・八	近代	衣笠氏	II 62	86D1252
五九	妙雲山碑	一枚	表彰状の裏面に墨書	三五・八×三八・二	昭和時代	衣笠氏	II 63	86D1254
六〇	警固公園平面図　六〇〇分の一	一枚	青焼紙	五八・二×四七・四	近代	衣笠氏	II 64	86D1254
六一	地理調査所　地図一覧図	一枚	印刷	四六・三×五八・〇	昭和二三年九月	千葉市黒砂町二四一地理調査所	II 65	86D1255
六二	二五〇〇〇分の一　福丸　地形図	一枚	印刷	四六・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 66	86D1256
六三	二五〇〇〇分の一　福岡　地形図	一枚	印刷	四六・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 67	86D1257
六四	二五〇〇〇分の一　福岡西部　地形図	一枚	印刷	四六・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 68	86D1258

六五	二五〇〇〇分の一 福岡西南部	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 69	86D1259
六六	二五〇〇〇分の一 下関	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二三年六月三〇発行	地理調査所	II 70	86D1260
六七	二五〇〇〇分の一 折尾	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二六年一一月三〇日発行	地理調査所	II 71	86D1261
六八	五〇〇〇〇分の一 仙崎	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一〇月三〇日発行	内務省地理調査所	II 72	86D1262
六九	五〇〇〇〇分の一 萩	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一一月三〇日発行	内務省地理調査所	II 73	86D1263
七〇	五〇〇〇〇分の一 小串	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一〇月三〇日発行	地理調査所	II 74	86D1264
七一	五〇〇〇〇分の一 西市	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一〇月三〇日発行	地理調査所	II 75	86D1265
七二	五〇〇〇〇分の一 山口	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一〇月三〇日発行	地理調査所	II 76	86D1266
七三	五〇〇〇〇分の一 長門峡	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	明治三二年測図 昭和二年修正測図	内務省	II 77	86D1267
七四	五〇〇〇〇分の一 防府	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一一月三〇日発行	内務省地理調査所	II 78	86D1268
七五	五〇〇〇〇分の一 徳山	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二一年一一月三〇日発行	内務省地理調査所	II 79	86D1269
七六	二五〇〇〇分の一 大連島	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	II 80	86D1270
七七	二五〇〇〇分の一 岩屋	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	II 81	86D1271
七八	二五〇〇〇分の一 小倉市	地形図	一枚	印刷	四五・三×五八・〇	昭和二三年六月三〇日発行	地理調査所	II 82	86D1272

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
七九	二五〇〇〇分の一 八幡市 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	II 83	86D1273
八〇	二五〇〇〇分の一 折尾 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年七月三〇日発行	地理調査所	II 84	86D1274
八一	二五〇〇〇分の一 苅田 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	II 85	86D1275
八二	二五〇〇〇分の一 徳力 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	II 86	86D1276
八三	二五〇〇〇分の一 木屋瀬 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年五月三〇日発行	地理調査所	II 87	86D1277
八四	二五〇〇〇分の一 黒木 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二二年一一月三〇日発行	地理調査所	II 88	86D1278
八五	二五〇〇〇分の一 久留米西部 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年九月三〇日発行	地理調査所	II 89	86D1279
八六	二五〇〇〇分の一 筑後福島 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年三月三〇日発行	地理調査所	II 90	86D1280
八七	二五〇〇〇分の一 羽犬塚 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二二年一一月三〇日発行	地理調査所	II 91	86D1281
八八	二五〇〇〇分の一 中原 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 92	86D1282
八九	二五〇〇〇分の一 草野 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二二年一一月三〇日発行	地理調査所	II 93	86D1283
八〇	二五〇〇〇分の一 柳河 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	II 94	86D1284
九一	二五〇〇〇分の一 七ツ家 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	II 95	86D1285
九二	二五〇〇〇分の一 篠栗 地形図	一枚	印刷	四・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 96	86D1286

九三	二五〇〇〇分の一 田主丸	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 97	86D1287
九四	二五〇〇〇分の一 鳥栖	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 98	86D1288
九五	二五〇〇〇分の一 中原	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 99	86D1289
九六	二五〇〇〇分の一 草野	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一一月三〇日発行	地理調査所	Ⅱ 100	86D1290
九七	二五〇〇〇分の一 甘木	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年一月三〇日発行	地理調査所	Ⅱ 101	86D1291
九八	二五〇〇〇分の一 二日市	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 102	86D1292
九九	二五〇〇〇分の一 久留米	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	Ⅱ 103	86D1293
一〇〇	二五〇〇〇分の一 久留米西部	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年九月三〇日発行	地理調査所	Ⅱ 104	86D1294
一〇一	二五〇〇〇分の一 佐賀北部	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二三年四月三〇日発行	地理調査所	Ⅱ 105	86D1295
一〇二	二五〇〇〇分の一 岐志	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 106	86D1296
一〇三	二五〇〇〇分の一 芥屋	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 107	86D1297
一〇四	二五〇〇〇分の一 前原	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 108	86D1298
一〇五	二五〇〇〇分の一 宮ノ浦	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 109	86D1299
一〇六	二五〇〇〇分の一 玄海島	地形図	一枚	印刷	四〇・三×五八・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	Ⅱ 110	86D1300

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
一〇七	二五〇〇〇分の一　地形図　志賀島	一枚	印刷	四六・三×五六・〇	昭和二二年一二月二八日発行	地理調査所	II 111	86D1301
一〇八	二五〇〇〇分の一　地形図　南畑村	一枚	印刷	四六・三×五六・〇	昭和二三年二月二八日発行	地理調査所	II 112	86D1302
一〇九	地理調査所　地図一覧図	一枚	印刷	四六・三×五六・〇	昭和二二年九月	千葉市黒砂町二四一　地理調査所	II 113	86D1303

四　青柳文書

〈資料内訳〉

中世……二五件　二五点
近世……六件　六点
近代……六件　六点
計　三七件　三七点

(一)　中　世（二巻）

一巻

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
一		平久里郷田所職補任状案		壬生直盛	後欠	86D1304
二	承元三年三月九日	早良郡得永領田所職補任状		壬生良永		86D1305
三	嘉禄二年五月三日	僧栄昌田地売券				86D1306
四	文永八年四月廿七日	本司・政所・惣検校・宮師連署坪付			前欠	86D1307

五	永仁二年九月八日	沙弥某飯盛社大宮司職宛行状		仲原助時		86D1308
六	建武三年四月十一日	地頭代官沙弥覚忍寄進状			『筑前国続風土記付録』に収む、後欠、一色直氏の発給文書ヵ	86D1309
七	文和二年四月二日	某地頭職寄進状			『筑前国続風記付録』に収む	86D1310
八	応永卅二年十月	祥傳田数注文			前欠	86D1311
九		青柳系図				86D1312
一〇	永禄四年一月十八日	飯盛宮社領坪付				86D1313
一一	寛政十一年	青柳種麿跋				86D1314

二巻

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
一		某坪付			断簡、四号の前欠部分ヵ	86D1315

未成巻

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
一	仁治二年三月十日	代官西中某下文				86D1316
二	文永八年四月廿七日	正月元三之次第書写				86D1317
三		神宮寺分屋敷注文写			後欠	86D1318
四	永禄十三年二月十三日	青柳景盛屋敷預ケ銭請取状		八木内蔵丞		86D1319
五		青柳景盛書状案		民部入道		86D1320

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
六		飯盛宮古筆指上目録			後欠	86D1321
七		田淵掃部助次譲状案		乙栗女	後欠	86D1322
八		某坪付写			断簡	86D1323
九		断簡			前号の裏文書	86D1324
一〇		某坪付写			前々号と同一文書ヵ	86D1325
一一		断簡			前号の裏文書	86D1326
一二		某坪付写			断簡	86D1327
一三		某坪付写			前号の裏文書	86D1328

(一)近世

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
一	寛延弐年七月	早良郡飯盛村古野山書上帳写	飯盛村庄屋藤七・組頭清六外三名	安川仁右衛門	寛延四年未六月安川仁右衛門より飯盛村□同村山口組頭中並古野持百姓中宛の□写を同綴	86D1329
二	天保七年申八月	(口上)	田村百姓弥七	木村市助	前欠、村方引揚ケ田畠の処置をめぐっての願書	86D1330
三		(達)	川越又右衛門・東□作		御年貢米大豆皆済の事、口銀六百文納方	86D1331
四	元禄十三年ヵ	覚	神主青柳種盛		天文四年より元禄十三年まで飯盛宮神主歴代人名	86D1332

五		飯盛宮諸仏配置図		裏打、裏面に「大宮司藤原朝臣正満」「宮司法仙寺別当坊権律師光栄」とあるのを裏打紙に転写	86D1333
六	貞観元年己卯十一月十二日	飯盛権現本地神宮寺本尊由来記	行平・業平	寛政十一年の種信の裏書あり	86D1334

(三) 近代

番号	年月日	名称	発給人	宛所	備考	
一	明治十一年十月	賣渡証	溝部信直・林惣吉	樋口専右衛門		86D1335
二	明治十一年十月	地所買売ニ付地券御渡願	溝部信直	樋口専右衛門	前号と同綴	86D1336
三	明治十二年一月	地所買売ニ付地券御渡願	樋口専右衛門・井上與八	福岡縣令渡辺清		86D1337
四	明治十二年十二月廿三日	地券	福岡縣	筑前国早良郡飯盛村井上與八		86D1338
五		字図				86D1339
六	十二月十四日	(口上)	谷村民事方	社事掛御役所	神社神職家御取調につき旧記伝来の事	86D1340

〈購入資料〉

《購入資料》

一　鹿島鍋島家資料

〈資料内訳〉

古文書

I　江戸時代資料

A　支配・村政……三一点
B　土地関係……三点
C　租税……五一点
D　金融……三三点
E　軍事関係……一六一点
F　学芸……一九七点
G　寺社関係……一五点
H　書状……一四七点
I　家……三五点
J　日記……一四点
K　地図・絵図……一一点
L　雑……一一点

II　明治時代以降資料

A　支配・村政……一三四点
B　地所関係……七一点
C　租税……三点
D　金融……四一五点
E　軍事関係……七点
F　学芸……四二点
G　寺社関係……二九点
H　教育関係……三三四点
I　産業……三点
J　書簡……一六四五点
K　家……八点
L　家職……一一三点
M　日記……二四点
N　写真……一四点
O　雑……二〇点

〈総計〉　四三七点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
	A 支配村政						
	1 法令・触達						
一	以連判申上条々	享保17年11月6日	不詳	継紙	1通	前欠	1
二	掟	享保20年6月2日	備前(花押)より	巻子装	1巻		2
三	御触抜書目録	享保期カ	(犬塚宗、黒印)より	書冊	1冊		3
四	手頭(大山留江申渡手頭覚)	延享2年5月	鍋島左大夫・鍋島市之允より大山留宛	書冊	1冊		4
五	郡方御條目写	宝暦11年9月朔日	御印より藤津東郡代宛	書冊	1冊		5
六	直熙公御手頭御書附扣(藩政全般)	宝暦13年5月26日	不詳	書冊	1冊		6
七	諸宗條目并下知状	寛政12年7月28日	不詳	書冊	1冊		7
八	御蔵方達帳	文化3年正月〜	請役所より	書冊	1冊		8
九	御掟掛板写(代官引合、御蔵帳銀穀方)	文政12年	勘定所より	書冊	1冊		9
一〇	直晴公御手頭(代替時の藩主よりの諸達)	天保10年7月	請役所より	書冊	1冊		10
一一	手頭写(境目筋に関する諸規定)	天保15年正月	御境目方より能古郷大庄屋中川善右衛門宛	書冊	1冊		11
一二	御手頭地(目付勘定所役等への手頭)	嘉永6年6月	請役所より	書冊	1冊		12

一三	勅書・写	文久4年3月	不詳	書冊	1冊	13
一四	達帳	慶応3年8月～	弘文館より(小柳久太郎外)宛	書冊	1冊	14
一五	寺社方郷方町方御山方地方達帳	慶応3年	請役所より寺社方・郷方・町方・御山方・地方宛	書冊	1冊	15
一六	公儀御触達覚(唐物抜荷の件)	(江戸)2月	不詳	継紙	1通	16
一七	郷内御取締條々	(江戸)	代官より	書冊	1冊	17
一八	伺達案詞	(江戸)	月番三藩より	書綴	1綴	18
一九	口達(町方関係)	(江戸)	不詳	書冊	1冊	19
二〇	御同席触写	(江戸)	不詳	書冊	1冊	20

2　諸願・口上・届・覚

二一	覚(連判を以て申上る条々写)	慶安5年8月22日	不詳より勝茂・光茂宛	継紙	1通	1
二二	遣方之内よしめ銀覚(蔵入銀返済目録)	明暦2年5月11日	山田善左ヱ門・相良三郎兵衛より中野李助・有田勘解由宛	一紙	1通	2
二三	覚(蔵入米配分の明細書)	明暦2年5月11日	山田善左ヱ門・相良三郎兵衛より中野李助・有田勘解由宛	継紙	1通	3
二四	覚(当主として失念なく守るべき条々)	延宝4年5月20日	和泉守(印)より備前守宛	継紙	1通	4
二五	遺物覚	貞享5年5月朔日	紹龍(花押)より備前守宛	竪紙	1通	5
二六	覚(切米加増・新規扶持取の者)	元禄3年8月21日	和泉(花押・印)より左門外4名宛	継紙	1通	6

他に明暦2年5月16日信守より和泉守宛書状あり

他に明暦2年5月16日信守より和泉宛書状あり、包紙あり

(端裏書)「重而了簡を以書直シ可申事」

包紙あり

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七	覚(懸硯中の金子譲の件)	元禄7年3月10日	直朝(花押・印)より原平兵衛外2名宛	継紙	1通		7
二八	遺物覚	元禄7年3月10日	直朝(花押)より原平兵衛外2名宛	竪紙	1通	(包紙ウハ書)「鍋島備前守殿へ佑筆」	8
二九	覚(高源院様隠居領地に付くる木庭山方のこと)	元禄8年4月3日	丹波守(花押)より鍋島和泉守宛	継紙	1通	包紙、箱あり	9
三〇	覚・写	元禄8年4月3日	丹波守御判より鍋島和泉守宛	継紙	1通		10
三一	記置覚・写(藤津郡普明禅寺への寄付)	元禄9年3月13日	鍋島和泉守藤直朝(花押影)より宛	一紙	1通		11
三二	覚(和泉守直朝判物、蔵米寄付分寺領地安堵)	元禄10年正月21日	和泉守直朝(花押)より大仙開山梁山和尚宛	竪紙	1通	包紙あり	12
三三	覚(隠居付の者共への遺物の件)	元禄10年10月3日	直朝(花押)より原平兵衛外2名宛	書綴	1綴		13
三四	覚(隠居領米の内より70石を加増)	元禄14年正月21日	和泉守(花押・印)より格峯宛	竪紙	1通	包紙あり	14
三五	備前守江遺候道具其外相渡候物覚	元禄14年11月21日	直朝(花押・印)より原平兵衛・犬塚弥五左衛門宛	継紙	1通	紙継目裏に朱印 包紙あり	15
三六	我等不慮相果又者病死之節之申付様今次第不同書記置候覚	元禄15年3月21日	直朝(花押・印)より原平兵衛外2名宛	継紙	1通	紙継目裏に朱印	16
三七	覚(諸道具・雑物・懸物改の件)	元禄15年3月21日	直朝(花押・印)より原平兵衛外2宛名	継紙	1通	紙継目裏に朱印	17
三八	覚(格峯・松菊への銀子遣方の件)	元禄15年5月21日	直朝(花押・印)より原平兵衛外2名宛	継紙	1通	包紙あり	18
三九	覚(惣鹿島仕置の事等三ケ条)	元禄15年9月21日	和泉守直朝(花押・印)より備前守宛	竪紙	1通	包紙あり	19

四〇	口上・写（備前守遺跡相続の件）	宝永2年閏4月25日	鍋嶋紹龍判より信州宛	一紙	1通	「閏四月三日久布白三左ヱ門宛岡村外記」奥書あり	20
四一	覚（心ニ懸ケ守るべき条々）	宝永2年8月9日	紹龍（花押・印）より並木六郎右ヱ門宛	継紙	1通		21-1
四二	覚（格峯より指返の80石米のこと）	（江戸）	不詳	一紙	1通		21-2
四三	覚（九大夫相続の料米の件）	宝永6年8月10日	紹龍（朱印・青印）より板部九大夫宛	継紙	1通	継目裏に印	22
四四	覚（諸礼・弓礼伝記写取の許可）	享保元年10月26日	伊藤甚左ヱ門幸氐（花押）より勝屋伊右ヱ門宛	竪紙	1通	包紙あり	23
四五	書付写（刑部少輔跡式相続の件）	享保12年12月25日（包紙）	（不明）より鍋島織部宛	折紙	1通	宝暦11年12月11日の写、包紙あり	24-1
四六	仰出書付写（刑部少輔跡式相続の件）	（江戸）12月	（不明）より鍋島家来中宛	継紙	1通	宝暦11年12月11日の写、包紙あり	24-2
四七	立願文	延享3月10月2日	従五位下備前守藤原直郷より	切紙	1通	（端裏書）「寅十月裏稲荷社江奉納願文一通」	25
四八	願文（病平愈の祈願）	宝暦丙子9月吉日	備前守藤原朝臣直郷より	切紙	1通		26
四九	覚（口上覚・御達之覚）	（天保14年ヵ）	不詳	書綴	1綴	乍恐書付を以奉願上候事（天保14年9月5日）外	27
五〇	手覚（三ケ所御山の件）	嘉永2年11月	不詳	書冊	1冊		28
五一	覚（知行返上の件）	嘉永3年8月	福地六郎右ヱ門（印）外6名より中溝平九郎外宛	継紙	1通		29
五二	存寄書	万延元年9月	熊次郎より家老中宛	書綴	1綴		30
五三	覚（はんす芋と麦の事）	（江戸）1月31日	地頭氏川上龍雲（印）より	一紙	1通		31

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三	覚・土代(鍋嶋式部跡式の件)	(江戸)閏2月13日	鍋嶋和泉守より	竪紙	1通		32
三四	板橋近所志村ニ而追鳥狩御行列覚	(江戸)3月	不詳	書綴	1綴		33
三五	覚(今度の御病気の件)	(江戸)辰4月26日	鍋島和泉守より丹州宛	竪紙	1通		34
三六	口上・控ヵ(御目見許可の願)	(江戸)寅4月	相良三郎兵衛・原大衛より御年寄宛	一紙	1通		35
三七	覚(花頂山屋敷、桜峰相続の件)	(江戸)酉5月17日	直朝より大塚弥五左衛門・山田主税宛	竪紙	1通		36
三八	覚・土代ヵ(花頂山屋敷、桜峰相続の件)	(江戸)酉5月17日	直朝より大塚弥五左衛門・山田主税宛	竪紙	1通	58と同内容	37
三九	先様覚悟之次第口上之覚(今度の積入具の件)	(江戸)5月17日	刑部大輔茂継(花押)より中野数馬宛	継紙	1通		38-1
三〇	達	(江戸)5月26日	信濃守(黒印)より刑部大輔宛	一紙	1通	60の条々の承認	38-2
三一	口上(備前守名跡の事等)	(江戸)5月25日	鍋島甲斐守より	継紙	1通		39
三二	口上覚(乗輪院姫君縁組の件)	(江戸)5月25日	紹龍より山城・宮内宛	一紙	1通	3紙	40
三三	口上覚・写(屋鋪弘払一件)	(江戸)戌5月	鹿嶋屋吉右衛門より	書冊	1冊		41
三四	口上書(知行地差上げ)	(江戸)6月11日	石丸与次兵衛より久布白兵右ヱ門宛	継紙	1通		42
三五	口上書(知行地差上げ)	(江戸)6月11日	相良五郎兵衛より久布白平右ヱ門宛	継紙	1通	包紙あり	43
三六	口上書(知行地差上げ)	(江戸)6月11日	河原本兵衛より久布白平右ヱ門宛	継紙	1通	包紙あり	44
三七	口上(知行地差上げ)	(江戸)6月11日	木庭蔵人より田中平左ヱ門宛	竪紙	1通		45
三八	口上書(知行地差上げ)	(江戸)6月12日	並木兵右ヱ門より久布白平右ヱ門宛	継紙	1通	包紙あり	46

七〇	口上(知行地差上げ)	(江戸)6月12日	嬉野彦右衛門より久布白平右衛門宛	継紙	1通	47
七一	口上之書付(知行地差上げ)	(江戸)6月17日	高松十郎右衛門より田中平左ヱ門宛	継紙	1通	48 包紙あり
七二	塚原六郎兵衛与中連判を以申上次第	(江戸)後6月16日	立石新兵衛(花押)外26名より塚原六郎兵衛宛	継紙	1通	49 包紙あり
七三	納富権兵衛与中申上次第	(江戸)閏6月18日	犬塚六郎左衛門外38名より納富権兵衛宛	継紙	1通	50
七四	原将監与中連判	(江戸)壬6月18日	原武兵衛(花押)外18名より原将監宛	継紙	1通	51 包紙あり
七五	久布白平右衛門与中より申上候次第	(江戸)壬6月19日	嬉野彦右ヱ門(花押)外22名より久布白平右衛門宛	継紙	1通	52 包紙あり
七六	田中平左衛門与中申上次第	(江戸)壬6月19日	志賀頼母(花押)外29名より田中平左衛門宛	継紙	1通	53 包紙あり
七七	相良孫右衛門与中連判を以申上候趣	(江戸)閏6月20日	鶴権左衛門(印)外39名より相良孫右衛門宛	継紙	1通	54 包紙あり
七八	口上(福源寺へ竹木山畑を与える)	(江戸)7月20日	不詳	折紙	1通	55
七九	覚(驕奢の件)	(江戸)7月	不詳	継紙	1通	56
八〇	記	(江戸)丑7月6日	斎藤貞三郎より半田百作宛	一紙	1通	57
八一	覚(掛物預置事)	(江戸)未8月朔日	備前より原柳園・犬塚源右ヱ門宛	竪紙	1通	58
八二	記	(江戸)8月1日	芦利七より上宛	一紙	1通	59
八三	覚(飯料被仰付の交名)	(江戸)8月5日	鍋紹龍(印)より鍋嶋山城外2名宛	継紙	1通	60 包紙あり
八四	覚(花頂本宅にて左門死去の事外)	(江戸)子8月7日	和泉守(花押)より備前守宛	竪紙	1通	61 包紙あり

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
六三	覚(花頂山支配に付)	(江戸)子8月7日	和泉守より備前守宛	継紙	1通		62
六四	今日山城江以使者申遣候口上之覚	(江戸)8月25日	不詳	継紙	1通		63
六五	覚(拝領品調査)	(江戸)8月29日	星野信左ヱ門より御厨転宛	継紙	1通		64
六六	覚(公儀威光強キ事)	(江戸)9月28日	鍋島和泉守より大和宛	一紙	1通	包紙の宛先は「丹州殿」、包紙あり	65
六七	口上覚(岩松家中座席の事)	(江戸)9月	(不明)より鍋島十左ヱ門宛	継紙	1通		66
六八	覚(当家相続に際し不足銀のこと)	(江戸)酉10月朔日	紹龍(朱印・青印)より板部舎人(花押・印)外5名宛	継紙	1通		67
六九	口上覚(請役所本之助より達の趣)	(江戸)10月15日	山崎甚左衛門より舎人宛	継紙	1通		68
七〇	口上(蓮池御役人方へ応答の事)	(江戸)辰10月17日	両岩村三右ヱ門より御調御役人中宛	書綴	1綴		69
七一	申上候口上之覚(長崎表異船渡来の備)	(江戸)10月	不詳	継紙	1通		70
七二	兼而心得召置候覚(禅州逆意示秘計)	(江戸)辰閏10月7日	直郷(花押)より	折紙	1通		71
七三	覚(某伝授の兵法書物巻物の事)	(江戸)丑11月5日	紹龍(印)より岩松宛	折紙	1通	包紙あり	72
七四	覚(原合戦并備立変記之仕様ニ付)	(江戸)11月11日	石丸勘左衛門より	継紙	1通		73
七五	覚(年末年始の事柄)	(江戸)12年3月~正月14日	不詳	継紙	1通		74
七六	口上(手届かざる地の上地願)	(江戸)庚午12月	(馬場大助)より(加島藩)宛	巻紙	1通		75

九九	覚(隠居・養子の事)	(江戸)	不詳	一紙	1通	
一〇〇	覚(年末年始関係の儀式・役職の仰付等)	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前欠
一〇一	覚・写ヵ(祐徳印瑞願庵祠堂銭の事)	(江戸)	和泉守直朝より格峯宛	継紙	1通	上部欠損
一〇二	覚(泉官様より之御使御口上承候事)	(江戸)	不詳	竪紙	1通	
一〇三	覚・写(御家の為各々迄申達候趣)	未ノ年月日	加賀守・和泉守より多久長門外3名宛	継紙	1通	
一〇四	覚・写(信濃守・丹州へ諫言の事)	(江戸)	加賀守・和泉守より多久長門外3名宛	継紙	1通	
一〇五	覚・断簡(丹州公御部屋住之時)	(江戸)	不詳	継紙	1通	前後欠
一〇六	覚(参勤発駕、改名等の覚)	(江戸)	不詳	綴	1綴	
一〇七	覚(馬の調教等に付)	(江戸)	不詳	小長帳	1冊	前後欠
一〇八	覚(本丸炎上の時見えざる年寄上藺の書上)	(江戸)	不詳	一紙	1通	「原氏写」とあり
一〇九	覚(鍋島忠茂・直朝事蹟)	(江戸)	不詳	長綴	1綴	
一一〇	覚(諸番所における改の件)	(江戸)	不詳	継紙	1通	
一一一	覚(直春公事蹟)	(江戸)	不詳	綴	1綴	
一一二	直茂公御一代御弓箭覚	(江戸)	不詳	折紙	1通	
一一三	覚(牢人・隠居・家相続等の処置ニ付)	(江戸)	不詳	切紙	1通	
一一四	覚(普請事)	(江戸)	不詳	切紙	1通	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二五	覚(式部来月朔日より表向親類と唱う事)	(江戸)	不詳	切紙	1通		92
二六	国政に付要人江申遣候覚書案	(江戸)	不詳	切紙	1通		93
二七	覚(朝鮮通信使通行ニ付心得方達)	(江戸)	不詳	継紙	1通		94
二八	申聞候趣覚(2月迄下り料外7条)	(江戸)	不詳	竪紙	1通		95
二九	功労之覚(納富・相良・田中の先祖功労)	(江戸)	不詳	折紙	1通		96
三〇	御手頭写・書附写	(江戸)	納富右膳・井上文左衛門(印)より宛	袋	1枚		97
三一	覚(鹿島引越の件)	(江戸)	不詳	一紙	1通		98
三二	覚(家中法度)	(江戸)	不詳	一紙	1通	後欠	99
三三	口上(崇勝院上りの手紙の件)	(江戸)	格峯より	一紙	1通		100
三四	覚(毎年焼香すべき人名)	(江戸)	不詳	一紙	1通		101
三五	覚(軍法・馬芸・神道など御師の人名)	(江戸)	不詳	一紙	1通		102
三六	覚(図書外2名の諸事ニ付)	(江戸)	不詳	一紙	1通		103
	3 訴訟						
三七	西手田村底升樋一件抜書(口上覚)	延享5年4月14日～寛延2年4月	不詳	長帳	1冊		1

二八	大井丸村井手村境一件扣	文政2年閏4月	不詳	書冊	1冊		2
二九	大井丸村井手村境一件扣	文政2年閏4月(8日)	田沢次郎大夫より重松勘兵衛・高嶋次郎右衛門宛	書冊	1冊		3-1
三〇	大井丸村御境一件蓮池江御取合扣	文政3年	田沢次郎大夫より森川良左衛門宛	書冊	1冊		3-2
三一	大井丸村長林蓮池取合一件扣	文政5年8月15日	不詳	書冊	1冊		3-3
三二	三郡村天神墓水井樋一件蓮池役之立会応答手続扣	天保13年5月晦日	最所吉兵ヱ・松永所右ヱ門より江嶋左矢治・嶋田千兵衛宛	書冊	1冊		4
三三	三郡村水井樋一件手続	天保13年5月晦日より	郡方より	書冊	1冊		5
三四	三ケ所向一件帳	嘉永3年7月	請役所より	書冊	1冊		6
三五	調究方取計向	嘉永6年4月	原大衛より究方宛	書冊	1冊		7
三六	野口村壌土山御境帳	安政6年9月	最所吉兵衛より	書冊	1冊		8
三七	土井丸村長林土井一件帳	慶応3年12月	太田良輔外2名より最所吉兵衛外2名宛	書冊	1冊		9
三八	三部村井樋取合一件	(慶応4年5月より)	不詳	書冊	1冊		10
三九	文政一三年瓶井樋一件日記抜書	明治2年5月	不詳	書冊	1冊		11
四〇	鮒越一件古書冊附写(口上の覚)	(江戸)未10月	原田九郎右衛門より	書冊	1冊		12
四一	鮒越取合覚書写(領地の論所)	(江戸)	不詳	長帳	1冊		13
四二	石丸朔左衛門取斗旧記写(領地論所)	(江戸)	(原)石丸作左衛門より	書冊	1冊		14
四三	肥諫騒動記(諫早領藤津百姓訴訟)	(江戸)	不詳	書冊	1冊		15

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一四四	覚(毛利大膳父子伏罪に付)	(江戸)	(不明)より平松肥前守宛	一紙	1冊	包紙あり	16-1
一四五	覚(毛利大膳父子裁許に付)	(江戸)	(板倉伊賀守より松平肥前前守宛)	一紙	1冊	包紙あり	16-2
	4 雑						
一四六	当角割村目安帳写	承応元年8月9日	山田善左衛門外3名より	書冊	1冊		1
一四七	鳥子御帳写 請役	(原)慶安5年8月22日	(原)鍋嶋内蔵助・玄藩允	書冊	1冊		2
一四八	鹿嶋郷潮井樋永井樋差縣樋改帳	延宝5年3月	宮崎千右ヱ門より	書冊	1冊		3
一四九	鹿嶋郷潮井樋永井樋差縣樋改帳	延宝5年3月	宮崎千右ヱ門より	書冊	1冊		4
一五〇	藤津郡土井丸村角割帳	延宝7年改	野中作右衛門外5名より	書冊	1冊	寛延3年3月写す	5
一五一	并々之敬白起請文之事	元禄4年8月21日	丹後守光より鍋島和泉守宛	継紙	1通		6
一五二	覚(岩松様・久松様名乗の書付)	宝永2年5月吉日	不詳	折紙	1通		7
一五三	朝鮮人来聘之節書付	正徳元年	不詳	綴	1綴		8
一五四	諸普請方定帳(鹿嶋町分船事外)	宝暦12年	不詳	書冊	1冊		9
一五五	備州様御隠居一件	宝暦13年	不詳	書冊	1冊		10
一五六	御出仕御断集	明和7年5月15日	犬塚惟禎(写)	書冊	1冊		11
一五七	己歳(ママ)御持下帳	寛政9年4月	御手廻方より	書冊	4冊	一五六、一五七、一五九、一六〇の順で合冊	12-1

一五八	御手廻御書物御掛物御細物帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	手廻の書物等目録
一五九	亥御持下御細物御書物御掛物帳	(江戸)4月	御手廻方より	書冊	1冊	
一六〇	清書分覚	(江戸)	不詳	綴	1綴	「子一清書済」として書付
一六一	書物等目録	(江戸)	不詳	一紙	1通	一毛〜一六〇の綴紐に結ぶ
一六二	覚(未ノ改之節御前へ差上置候宝舟之御懸物)	(江戸)	不詳	一紙	1通	一毛〜一六〇の綴紐に結ぶ
一六三	桜田江被差上候御乗物書付扣	文化4年12月15日	不詳	綴	1綴	
一六四	御殿跡并古御曲輪年記指改書上帳	文化8年9月	木下平助外3名より梅崎都市郎宛	長帳	1冊	
一六五	申暮年割替并積米代米替帳	(文化10年ヵ)癸酉2月	不詳	長帳	1冊	
一六六	文政元年寅御印帳(定米・切米書付)	文政元年	田中源右衛門(黒印)より	書冊	1冊	末尾に「右見届候也(印)」
一六七	殿様御養子一件日記書抜	文政2年2月	不詳	書冊	1冊	17
一六八	御養子方一件(届書・口上・達類写)	天保9年5月	不詳	書冊	1冊	18
一六九	御歳方定式并江戸大坂長崎佐嘉御渡方其外諸手扣	弘化3年正月	田沢より	書冊	1冊	19
一七〇	御一条御内用扣	弘化5年2月9日より	嬉野良四郎より	書冊	1冊	20
一七一	久保山村古枝村中尾村角割目安写	(嘉永3年)戌4月	地方より	書綴	1綴	21
一七二	御細物帳	嘉永5年8月改	長野寿郎兵衛・中講義左衛門より	書冊	1冊	22

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一七三	銀穀方手数帳	嘉永6年4月	原大衛より銀穀方宛	書冊	1冊		23
一七四	御蔵方外納戸帳	嘉永6年4月	原大衛より外納戸宛	書冊	1冊		24
一七五	井樋方手数振	嘉永6年4月	原大衛より井樋方・山取方宛	書冊	1冊		25
一七六	修理方山取方抱夫方手数振	嘉永6年4月	原大衛より修理方・山取方・抱夫方宛	書冊	1冊		26
一七七	郷普請方手数振	嘉永6年4月	原大衛(黒印)より郷普請方宛	書冊	1冊		27
一七八	御譲御道具帳	安政3年10月	不詳	書冊	1冊		28
一七九	直彬公御手頭	万延元年9月	不詳	書冊	1冊		29-1
一八〇	御手頭	(江戸)	不詳	書冊	1冊		29-2
一八一	御衣装方より霜村三郎右ヱ門仕立講江加入相成候懸金扣	文久2年12月	不詳	書冊	1冊		30
一八二	御仕組講帳	慶応元年6月	御側方より	書冊	1冊		31
一八三	御仕与方講取合帳	慶応2年12月より	不詳	書冊	1冊		32
一八四	御手廻御武器料御引承扣	慶応3年8月	御側方より	書冊	1冊		33
一八五	両岩山取合往返扣(旧記抜書)	(江戸)辰10月	並木多仲より	書冊	1冊		34
一八六	演舌手覚(鹿島所領の由来、支配等)	(江戸)庚午12月	鹿島より	継紙	1通	一八六～一九三同箱(一四四)入	35
一八七	沽券状写(屋鋪沽券状の写)	(江戸)	不詳	綴	1綴		36
一八八	於京地被仰出候御書取写	(江戸)10月	(不明)より鍋島備中守宛	継紙	1通	一八八、一八九 包紙あり 同包紙内	37-1
一八九	副状	(江戸)10月	不詳	継紙	1通	一八八の副状	37-2

一九〇	賞(諸大名上京の上決定の事)	(江戸)	(鹿島より朝延宛)	継紙	1通	包紙あり	38-1
一九一	賞(建白の趣尤に被思召事)	(江戸)	(朝延より鹿島宛)	継紙	1通	包紙あり 一九〇～一九三同包紙内	38-2
一九二	副状(御書取の趣奏聞の事)	(江戸)10月	不詳	継紙	1冊		38-3
一九三	胸懐微記(事務手控)	(明治初期)	知事より	小横帳	1冊		39
一九四	箱	(江戸)	不詳	箱	1箱		40
一九五	両岩村訳書写	(江戸)	不詳	書冊	1冊		41
一九六	未光村田方潮井籠外	(江戸)	不詳	書冊	1冊		42
一九七	中尾古枝鮒越御鏡御贈答手続懸案	(江戸)	松永新右衛門より	書冊	1冊		43
一九八	鳥子御帳諸扣	(江戸)	不詳	書冊	1冊		44
一九九	角割帳(残欠)	(江戸)	不詳	書冊	8丁	前後欠	45
二〇〇	久保山村外角割目安	(江戸)	不詳	書綴	1綴	久保山・古枝・中尾・八本・木村	46
二〇一	角割帳(残欠)	(江戸)	不詳	書冊	2丁	前後欠	47
二〇二	御袖留御前髪執一件	(江戸)	不詳	綴	1綴		48
二〇三	御叙爵ニ付取斗頭書	(江戸)	不詳	綴	1綴		49
二〇四	御乗物御届一件	(江戸)	不詳	書冊	1冊	袋あり	50
二〇五	御目付方手数振	(江戸)	原平兵衛より御目付方宛	書冊	1冊		51
二〇六	銀穀方手数振	(江戸)	原平兵衛より銀穀方宛	書冊	1冊		52
二〇七	弁柄御蔵手数振	(江戸)	原平兵衛より弁柄御蔵番宛	書冊	1冊		53

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二〇八	調究方取計向	(江戸)	原平兵衛より究方宛				54
二〇九	覚(在所への書状の書載に付外)	(江戸)	(不明)より木庭文右ヱ門宇津宮弾右ヱ門宛	切紙	1通	(包紙上書)「與直藤書付一通木庭宇津宮江之書付」	55
二一〇	御書附	(江戸)	不詳	包紙	1枚		56
二一一	組人面書上	(江戸)	不詳	折紙	1通		57
	B 土地関係						
二一二	中牟田村田畑本帳	延宝6年2月2日	野中作右衛門より	書冊	1冊		1
二一三	備前守殿私領地方書出帳	貞享2年8月	迎覚右ヱ門外5名より山本五郎左ヱ門外2名宛	書冊	1冊	袋あり	2
二一四	備前守殿私領地書出帳扣	寛政6年閏11月	多々良李之助外7名より	書冊	1冊		3
二一五	備前守殿私領地方書出帳扣	寛政6年閏11月	多々良李之助外7名より	書冊	1冊	(袋上書)「地方石高帳入」	4
二一六	高津原村御縄張内并諸除所田畑屋敷茶畔書抜帳	文化2年	不詳	長帳	1冊		5-1
二一七	御用地	(文化2年カ)	不詳	長帳	1冊		5-2
二一八	丹波守殿私領地方書出帳	天保3年6月	山口橘右衛門より	書冊	1冊		6

二二九	中尾村田畑平掛名寄書抜帳	(弘化4年)11月	庄屋伊兵衛(印)より松永作右ヱ門宛	長帳	1冊	7
二三〇	西新御山方成月銀請払目安	嘉永2月12月	川浪太郎兵衛より山崎七郎左ヱ門宛	書冊	1冊	8
二三一	久保山村古枝村中尾村承応元年角割目安并当目安差引帳	嘉永2年	不詳	書冊	1冊	9 覚(長帳)を合綴
二三二	承応元年より当戌迄鮒越村田数差引目安地	嘉永3年12月	不詳	書冊	1冊	10
二三三	承応元年より嘉永三戌迄鮒越村畝数差引目安地	嘉永7年5月	不詳	書冊	1冊	11
二三四	承応元年以来畔畠差引目安扣	嘉永7年6月	不詳	書冊	1冊	12 三河内・高津原・久保山村等
二三五	三河内村之内櫨畠地見分扣帳	(安政4年4月改正)	槍者方より	長帳	1冊	13
二三六	安政五年両郷櫨木改正帳	安政5年	櫨方野房守左ヱ門(印)外6名より	長帳	1冊	14
二三七	両岩村木伐一件ニ付運池役々問合扣帳	安政6年12月	請役所より	書冊	1冊	15
二三八	名寄覚	安政6年12月	庄屋与平次より山口能左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	折紙	1通	16
二三九	大木庭割御畔方改正畝数書上	文久元年9月	不詳	書冊	1冊	17-1
二三〇	中河内割御畔方改正畝数書上	文久元年9月	不詳	書冊	1冊	17-2
二三一	塩田問合手続扣	慶応2年5月	不詳	書冊	1冊	18 日記抜書ヵ
二三二	塩田問合扣	慶応4年5月より	良輔、弥之助より逸見兵助宛	書冊	1冊	19
二三三	両岩村松木一件	(江戸)	両岩村庄屋卯七・八左ヱ門伴官平より	書綴	1綴	20

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
	C 租税						
二三四	藤津郡花木庭物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		1
二三五	延宝五年丁巳藤津郡正願地村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		2
二三六	延宝五年丁巳藤津郡花木場開田物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		3
二三七	藤津郡鮎越村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		4
二三八	藤津郡久保山村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		5
二三九	藤津郡本野畠村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊	表紙欠	6
二四〇	藤津郡若殿分村見物成角帳	延宝5年	野中作右ヱ門外より	書冊	1冊		7
二四一	藤津郡鮎越村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		8
二四二	藤津郡中村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		9
二四三	藤津郡横田村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		10
二四四	藤津郡本野畠村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門より	書冊	1冊	前後欠	11

二四五	某村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外より	書冊	1冊	前後欠	12	
二四六	某村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門(印)外5名より	書冊	1冊	前後欠	13	
二四七	某村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		14	
二四八	藤津郡八本木村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		15	
二四九	某村物成帳	延宝5年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		16	
二五〇	某村物成帳	延宝5年2月2日	不詳	書冊	1冊	前後欠	17	
二五一	延宝六年藤津郡犬玉袋村物成帳	延宝6年2月2日	野中作右ヱ門・野口二左ヱ門より	書冊	1冊		18	
二五二	土井丸村長源籠物成帳	延宝7年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		19-1	
二五三	物成帳	延宝7年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊	前欠	19-2	
二五四	藤津郡土井丸村物成帳	享和2年	山口外兵衛外4名より	書冊	1冊	延宝7年分の書替	19-3	
二五五	藤津郡新籠村物成帳	享和2年	山口外兵衛外4名より	書冊	1冊	延宝7年分の書替	19-4	
二五六	藤津郡嘉嶋町屋敷物成帳	延宝7年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		20	
二五七	藤津郡嘉嶋町屋敷物成帳	延宝7年2月2日	野中作右ヱ門外5名より	書冊	1冊		21	
二五八	湯峰村野畠新野畠角割御物成帳	宝永7年4月	田中安兵衛外6名より	書冊	1冊		22	
二五九	延宝六年藤津郡中牟田村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		23	
二六〇	延宝五年藤津郡大殿分村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		24	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六一	延宝五年藤津郡八本木村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		25
二六二	延宝五年藤津郡新野畠村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		26
二六三	延宝五年藤津郡某村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		27
二六四	藤津郡納富分村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		28
二六五	延宝五年藤津郡湯峯村物成帳	享和2年5月	不詳	書冊	1冊		29
二六六	延宝五年藤津郡正願地村物成帳	享和2年5月	不詳	書冊	1冊		30
二六七	延宝五年藤津郡開浦物成帳	享和2年5月	不詳	書冊	1冊		31
二六八	延宝五年藤津郡水無并山浦物成帳	享和2年5月	不詳	書冊	1冊		32
二六九	延宝五年尾崎村物成帳	享和2年5月	不詳	書冊	1冊	前欠	33
二七〇	延宝五年藤津郡鮒越村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		34
二七一	延宝六年藤津郡犬玉袋村物成帳	享和2年5月	梅崎都市郎外5名より	書冊	1冊		35
二七二	延宝五年藤津郡五町分村物成帳	享和2年	不詳	書冊	1冊		36
二七三	延宝五年藤津郡久保山村物成帳	享和2年	不詳	書冊	1冊		37
二七四	延宝五年某村物成帳	享和2年	不詳	書冊	1冊	前欠	38
二七五	元禄元年地方目安より当目安物成差引帳	嘉永3年11月	御境目方より	綴	1綴		39
二七六	子諸村御配分御物成目安	(元治2年)3月	北御門清左衛門(印)外3名より	書冊	1冊		40
二七七	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊		41
二七八	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	42

二六九	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	43
二七〇	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	44
二七一	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	45
二七二	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	46
二七三	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	47
二七四	物成帳	(江戸)	不詳	書冊	1冊	前後欠	48
	D 金融						
	1 借用関係						
二七五	借用金証文之事	文政4年12月	副嶋孫兵衛より入江小兵衛宛	一紙	1通		1-1
二七六	儀定証文之事	文政11年4月朔日	吉村十次郎外2名より鑑蓮社御院代中宛	一紙	1通		1-2
二七七	借用申金子之事	文政5年12月	嶋内権一郎・高松二郎兵衛より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	二七七～二七八まで一綴り	2-1
二七八	借用申金子之事	文政6年4月	嶋内権一郎外2名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-2

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二八九	借用申金子之事	文政6年4月	嶋内権一郎外2名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-3
二九〇	覚(金七両借用の事)	文政6年10月25日	嶋内権一郎・高松二郎兵衛より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-4
二九一	覚(金五両借用の事)	(文政6年)11月25日	嶋内権一郎・高松二郎兵衛より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-5
二九二	覚(金十五両借用の事)	(文政6年)11月25日	嶋内権一郎・高松二郎兵衛より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-6
二九三	覚(借用証文)	文政7年5月	嶋内権一郎・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-7
二九四	借用申金子之事	文政7年5月	嶋内権一郎外2名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-8
二九五	借用申金子之事	文政7年5月	嶋内権一郎外2名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-9
二九六	当借金証文之事	文政7年5月	嶋内権一郎・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-10
二九七	借用申金子之事	文政7年5月	嶋内権一郎外2名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-11
二九八	借用申金子之事	文政7年11月14日	嶋内権一郎・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-12
二九九	借用申金子之事	文政7年11月	嶋内権一郎・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-13
三〇〇	覚(金二十両借用の事)	文政7年12月10日	渡辺源太夫より近江屋お八屋(ママ)宛	一紙	1通		2-14
三〇一	覚(金二十両借用の事)	文政7年12月23日	渡辺源太よりお八重宛	一紙	1通		2-15
三〇二	借用申金子之事	文政8年正月	嶋内権一郎より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-16

三〇三	時借申金子之事	(文政8年)酉3月2日	嶋内権一郎外3名より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	2-17
三〇四	借用申金子之事	文政8年3月	渡辺源太夫より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	2-18
三〇五	預申金子之事	文政8年4月27日	吉村十次郎外より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	2-19
三〇六	借用申金子之事	文政8年5月	吉村十次郎外より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	2-20
三〇七	借用申金子之事	文政8年8月	吉村十次郎外より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-21
三〇八	借用申金子之事	文政8年9月	吉村十次郎外より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-22~30
三〇九	借用申金子之事	文政8年9月	吉村十次郎外より近江屋おやえ宛	一紙	1通	2-31
三一〇	借用申金子之事	文政8年11月7日	吉村十次郎・愛野八左ヱ門より近江屋おやえ宛	一紙	1通	2-32
三一一	借用申金子之事	文政8年12月20日	渡辺源太夫より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-33
三一二	借用申金子之事	文政8年	吉村十次郎外より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	2-34
三一三	借用申金子之事	文政9年5月	愛野八左衛門外より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-35
三一四	借用申金子之事	文政9年6月29日	愛野八左衛門外より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-36
三一五	借用申金子之事	文政9年6月	愛野八左衛門外より近江屋お八重宛	一紙	1通	2-37
三一六	借用申金子之事	文政9年8月2日	愛野八左衛門外より近江屋おやえ宛	一紙	1通	2-38

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三一七	覚	(江戸)戌3月14日	吉村十郎外より近江屋お八重宛	一紙	1通		2-39
三一八	覚	(江戸)子7月	中西藤蔵・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-40
三一九	覚	(江戸)子7月	中西藤蔵・愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通		2-41
三二〇	覚	(江戸)申8月29日	愛野八左ヱ門より近江屋吉兵衛宛	継紙	1通		2-42
三二一	覚	(江戸)子8月	中西藤蔵より近江吉兵衛宛	一紙	1通		2-43
三二二	覚	(江戸)子12月25日	一ノ瀬新吾より近江屋吉兵衛宛	一紙	1通	立合　並木市之助	2-44
三二三	覚(借用証文)	文政7月正月	嶋内権一郎・高松二郎兵衛より屋根屋久兵衛宛	一紙	1通	三一八と合綴	3-1
三二四	借用申金子之事	文政7年7月	嶋内権一郎外3名より伊勢屋太助宛	一紙	1通	立合家老原平兵衛 三二四～三二七合綴	3-2
三二五	借用申金子之事	文政7年10月	嶋内権一郎外3名より伊勢屋太助宛	一紙	1通		3-3
三二六	借用申金子之事	文政8年正月	嶋内権一郎外3名より伊勢屋太助宛	一紙	1通	立合　家老原平兵衛	3-4
三二七	借用申金子之事	文政8年2月	嶋内権一郎外3名より伊勢屋太助宛	一紙	1通	立合　家老原平兵衛	3-5
三二八	覚(借用証文)	文政8年8月	吉村十次郎・愛野八左ヱ門より屋根屋久兵衛宛	一紙	1通	三二一と合綴	3-6
三二九	米預置証文之事	文政8年9月20日	吉村十次郎外2名より加茂川源之宛	一紙	1通	三一九～三二一合綴	3-7
三三〇	覚(玄米代金請取)	文政8年11月	吉村十次郎・愛野八左ヱ門より加茂川源之宛	一紙	1通		3-8
三三一	米書入金子借用証文之事	文政8年12月	吉村十次郎・愛野八左ヱ門より加茂川源之宛	継紙	1通		3-9

三三	米書入金子借用証文之事	文政9年2月20日	吉村十次郎・愛野八左ヱ門より加茂川源之宛	一紙	1通	三三～三五 合綴
三三	借用申金子之事	文政10年正月	愛野八左ヱ門外2名より岡田屋善兵衛宛	一紙	1通	3-11
三四	借用申金子之事	文政10年4月	愛野八左ヱ門外2名より岡田屋善兵衛宛	一紙	1通	3-12
三三	借用申金子之事	文政10年7月	愛野八左ヱ門外2名より岡田屋善兵衛宛	一紙	1通	3-13
三六	覚(借金請取の事)	天保2年12月	平野屋孫兵衛より鹿島御役所宛	継紙	1通	3-14
三七	覚(利足請取の事)	天保3年4月	鎌屋三郎兵衛より鹿嶋御蔵御役所宛	一紙	1通	3-15
三八	覚(借金請取の事)	天保3年4月	平野屋孫兵衛より鹿島御役所宛	一紙	1通	3-16
三九	巳年中御月割御勘定帳	天保4年12月	平野屋孫兵衛より鹿島御役所宛	書冊	1冊	3-17
四〇	午年中江戸御月割御勘定帳	天保5年12月	平野屋孫兵衛より鹿島御役所宛	書冊	1冊	3-18
四一	大坂御代官所利足金銀請取入御備銀返済證文其外諸取書入	天保4年10月より	渋谷與左ヱ門より	包紙	1枚	三三～四一の一括包紙
四二	借用申金子之事	文政9年12月	愛野八左ヱ門外2名より白子屋銀七宛	一紙	1通	一部切断
四三	証券之事	文政11年3月	愛野八左ヱ門外より花岳院御檀家御留守居中宛	一紙	1通	5
四四	証券之事	文政11年8月	愛野八左ヱ門外より花岳院御檀家御留守居中宛	一紙	1通	立合　家老原大衛付紙あり 6
四五	借用申金子之事	文政11年8月	愛野八左ヱ門外3名より天徳寺御輪番中・御役者中宛	継紙	1通	7

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三四九	借用申金子之事	文政11年9月22日	沢西専左ヱ門・愛野八左ヱ門より佐野之一殿・御入於登与殿宛	一紙	1通		8
三四七	借用申金子之事	文政11年9月	中西藤蔵外4名より万屋長三郎宛	一紙	1通	立合　相模屋伊八 請人辻田外平	9
三四八	諸宛来方請取入	文政11年9月より	渋谷與左ヱ門より	包紙	1枚	三四九～三五一括包紙	10-1
三四九	覚(請取)	(江戸)寅正月28日	平野屋万介より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-2
三五〇	覚	(江戸)丑3月前	河内屋伊兵衛より御役所宛	切紙	1通		10-3
三五一	覚	(江戸)丑3月まへ	甚七より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-4
三五三	覚	(江戸)5月	のだ伊兵衛より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-5
三五三	覚	(江戸)7月まへ	阿波亀より加島御役所宛	切紙	1通		10-6
三五四	覚	(江戸)7月6日	いづみ屋藤七よりかしま宛	継紙	1通		10-7
三五五	覚	(江戸)7月14日	野田庄兵衛より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-8
三五六	覚	(江戸)7月19日	備前屋嘉兵衛より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-9
三五七	覚	(江戸)7月	池田伊助より御屋敷宛	切紙	1通		10-10
三五八	覚	(江戸)8月7日	池伊より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-11
三五九	覚	(江戸)9月まへ	くら与より加島御役所宛	切紙	1通		10-12
三六〇	覚	(江戸)9月4日	不明より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-13
三六一	覚	(江戸)10月5日	野田庄兵衛より御屋敷宛	切紙	1通		10-14

三六二	覚	(江戸)10月24日	野田庄兵衛より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-15
三六三	覚	(江戸)10月27日	天満屋左兵衛より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-16
三六四	覚	(江戸)1月10日	堺屋平兵衛より鹿島役所宛	切紙	1通		10-17
三六五	覚	(江戸)11月19日	野川伊蔵よりかしま御屋敷宛	切紙	1通		10-18
三六六	覚	(江戸)子極月まへ	甚七より鹿島御台所宛	切紙	1通		10-19
三六七	覚	(江戸)子極月まへ	うわ宇より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-20
三六八	覚	(江戸)12月21日	阿波亀より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-21
三六九	覚	(江戸)12月29日	野田庄兵衛より鹿島屋敷宛	切紙	1通		10-22
三七〇	覚	(江戸)子中払前	うわ宇より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-23
三七一	覚	(江戸)中払前	くら与より加島御役所宛	切紙	1通		10-24
三七二	覚	(江戸)	備前屋文兵衛より鹿島御屋敷宛	切紙	1通		10-25
三七三	覚	(江戸)	各位より鹿島御役所宛	切紙	1通		10-26
三七四	覚	(江戸)5月前	河内屋伊兵衛より鹿島御屋敷宛	継紙	1通		10-27
三七五	借用申金子之事(公務要用の為)	文政11年11月	中西藤蔵外3名より伊勢屋彦八・相模屋伊八宛	一紙	1通		11
三七六	借用申金子之事	文政11年12月19日	中西藤蔵外3名より相模屋伊八宛	一紙	1通		12
三七七	借用申金子之事	文政11年12月	愛野八左ヱ門外より花岳院御檀家御留守居中宛	一紙	1通	立合　家老原大衛	13

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三七八	借用申金子之事	文政11年12月	吉村十次郎より丹羽為右ヱ門宛	一紙	1通	立合　家老原大衛	14
三七九	借用申金子之事(勝手方入用の件)	文政12年正月	中西藤蔵外3名より相模屋伊八宛	一紙	1通	立合　家老原大衛	15
三八〇	預申金子之事	文政12年3月	北御門弘助外4名より上野屋七兵ヱ宛	一紙	1通		16
三八一	借用申金子之事(公務要用の件)	文政12年3月	中西藤蔵外4名より相模屋伊八宛	一紙	1通	請人　辻田外平	17
三八二	覚	(文政12年ヵ)丑4月	花岳院より	継紙	1通		18
三八三	覚(元利請取の事)	(文政12年ヵ)丑4月8日	近江屋庄二郎より高松次郎兵衛宛	継紙	1通		19
三八四	借用申金子之事	文政12年4月	中西藤蔵外5名より伊勢屋彦八・相良屋伊八宛	一紙	1通		20
三八五	借用申金子之事	文政12年4月	中西藤蔵外4名より万屋長三郎宛	継紙	1通		21
三八六	借用申金子之事	文政12年4月	中西藤蔵外4名より加藤忠三郎・相模屋伊八宛	一紙	1通		22
三八七	借用申金子之事(勝手方要用の件)	文政12年4月	北御門弘助・高松二郎兵衛より相模屋伊八宛	一紙	1通		23
三八八	借用申金子之事	文政12年4月	中西藤蔵外より辻田外平宛	一紙	1通		24-1
三八九	覚(借金利足請取之事)	(文政12月)丑7月	辻田外平より北御門弘助宛	一紙	1通		24-2
三九〇	預申金子之事	文政12年5月	北御門弘助外よりおよふ宛	一紙	1通		25
三九一	預り申金子之事	文政12年5月	北御門弘助外3名より美濃屋久兵衛宛	一紙	1通		26

三九二	預り申金子之事	文政12年5月	北御門弘助外4名よりかのふ宛	一紙	1通	家老　原大衛	27
三九三	覚（借金利足請取之事）	（文政12年ヵ）丑7月19日	蒲生助作より北御門弘助宛	一紙	1通		28
三九四	借用申金子之事	文政12年7月	北御門弘助外3名より相模屋伊八宛	一紙	1通		29
三九五	借用申金子之事	文政12年7月	中西藤蔵外4名より伊勢屋彦八宛	一紙	1通	請人辻田外平、口入相良屋伊八	30
三九六	借用申金子之事（公務要用の件）	文政12年7月	中西藤蔵外4名より相模屋伊八宛	一紙	1通	請人辻田外平	31
三九七	借用申金子之事	文政12年7月	中西藤蔵外4名より加藤忠三郎宛	一紙	1通	請人辻田外平、口入相良屋伊八	32
三九八	覚（購掛金請取の事）	（文政12年ヵ）丑8月18日	花岳院より	一紙	1通		33
三九九	証券之事	文政12年8月	高松二郎兵衛外より花岳院宛	一紙	1通		34-1
四〇〇	覚	文政13年6月	花岳院より高松二郎兵衛宛	一紙	1通		34-2
四〇一	借用申金子之事	文政12年9月	並木市之助より万屋庄兵衛宛	一紙	1通		35
四〇二	借用申金子之事	文政12年9月	並木市之助より万屋庄兵衛宛	一紙	1通		36
四〇三	借用申金子之事	文政12年9月	並木市之助外より万屋庄兵衛宛	一紙	1通		37
四〇四	借用申金子之事	文政12年9月	並木市之助外より万屋庄兵衛宛	一紙	1通		38
四〇五	借用申金子之事	文政12年9月	並木市之助外より万屋庄兵衛宛	一紙	1通		39

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四〇六	借用申金子之事	文政12年12月	北御門弘助より白子や新七宛	一紙	1通		40
四〇七	借用申金子之事	文政12年12月	北御門弘介より辻田外平宛	一紙	1通		41
四〇八	借用申金子之事	文政12年12月	中西藤蔵より辻田外平宛	一紙	1通		42
四〇九	借用申金子之事	文政12年12月	中西藤蔵外より伊勢屋蔵八宛	一紙	1通	口入人相模屋伊八	43
四一〇	借用申金子之事	文政12年12月	並木市之助外より実蔵坊法外宛	一紙	1通		44
四一一	借用申金子之事	文政12年12月	北御門弘助外より相良屋伊八宛	一紙	1通		45
四一二	借用申金子之事	文政12年12月	北御門弘助外より白子屋新七宛	一紙	1通	立合　原大衛	46-1
四一三	覚(借金請取の事)	(文政13年)寅5月26日	白子や新七より高松次郎兵衛宛	一紙	1通		46-2
四一四	借用申金子之事	文政12年12月	北御門弘助・並木市之助より木具屋勘茂宛	一紙	1通		47
四一五	拝借申金子之事	文政12年12月	北御門弘助外より芝御貸付方御役所宛	継紙	1通	立合　原大衛　裏書　鍋島学四郎	48
四一六	古証文并請取入	文政12年	高松二郎兵衛より	袋	1枚		49
四一七	預申金子之事	文政13年3月	北御門弘助外よりおはつ宛	一紙	1通	立合　原大衛	50
四一八	拝借申金子之事	文政13年3月	北御門弘助外より芝御貸付方御役所宛	継紙	1通	立合　原大衛　裏書　鍋島学四郎	51
四一九	預申金子之事	文政13年3月	北御門弘助外よりおそで宛	一紙	1通		52-1

四二〇	覚	(文政13年)寅6月朔日	佐野之一より上宛	一紙	1通		52-2
四二一	借用申金子之事	文政13年閏3月	並木市之助外より近江屋太三郎宛	一紙	1通		53
四二二	借用申金子之事	文政13年閏3月	北御門弘助外より近江屋お八重宛	一紙	1通		54
四二三	暫借申金子之事	文政13年4月	北御門弘助外より近江屋宗兵衛宛	一紙	1通		55-1
四二四	覚	(文政ヵ)5月16日	近江屋惣兵衛より高松二郎兵衛宛	一紙	1通		55-2
四二五	一丸之事	文政13年4月	中西藤蔵外より三河屋平兵衛宛	一紙	1通		56-1
四二六	覚	(文政13年)寅7月朔日	三河屋平兵衛より北御門弘助宛	一紙	1通		56-2
四二七	借用申金子之事	文政13年4月	北御門弘助外より松本小仲太外宛	一紙	1通		57
四二八	証文之事	文政13年5月	北御門弘助より吉兵衛宛	一紙	1通		58
四二九	包紙	文政13年4月より天保2年6月	不詳	包紙	1枚	破損	59
四三〇	預り申金子之事	文政13年5月	北御門弘助外よりおはる宛	一紙	1通		60
四三一	借用申金子之事	(文政13年)寅6月	中西藤蔵外より辻田外平宛	一紙	1通		61
四三二	拝借申金子之事	文政13年6月	北御門弘助外より芝御貸付方御役所宛	継紙	1通		62
四三三	拝借申金子之事	文政13年6月	北御門弘助外より芝御貸付方御役所宛	継紙	1通		63
四三四	借用申金子之事	文政13年6月	北御門弘助より相模屋伊八宛	一紙	1通		64

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四三五	惣□講拾八会目集会開催通達	(文政13年)寅6月	世話方より(鍋島学四郎)宛	継紙	1通	四三五～四三八は一綴	65-1
四三六	借用金返済明細	(文政13年)寅6月	(不明)より(鍋島学四郎)宛	一紙	1通	四三六、四三八は貼継	65-2
四三七	惣□講拾八会目入札籠型	(文政13年)寅7月	(不明)より(鍋島学四郎)宛	一紙	1通		65-3
四三八	覚(借用金請取)	(文政13年)寅7月	惣□講世話方より鍋島学四郎御役人衆中宛	一紙	1通		65-4
四三九	借用申金子之事	文政13年6月	中西藤蔵外より万屋長三郎宛	一紙	1通	立合　相模屋伊八	66-1
四四〇	覚(借金請取)	(文政13年)寅9月11日	相模屋伊八より御役人衆中宛	一紙	1通		66-2
四四一	借用申金子之事	文政13年6月	中西藤蔵外より伊勢屋喜八宛	一紙	1通	口入人　相模屋伊八	67-1
四四二	覚(借金請取)	(文政13年)寅9月11日	相模屋伊八より御役人衆中宛	一紙	1通		67-2
四四三	借用申金子之事	文政13年6月	中西藤蔵外より加藤忠三郎宛	一紙	1通	口入人　相模屋伊八	68-1
四四四	覚	(文政13年)寅9月11日	相模屋伊八より請役人喜八宛	一紙	1通		68-2
四四五	借用申金子之事	(文政13年)寅6月	中西藤蔵外より辻田外平宛	一紙	1通		69-1
四四六	覚	(文政13年)寅9月	辻田外平より北御門弘助宛	一紙	1通		69-2
四四七	覚	文政13年7月8日	川崎仁藤次外2名より北御門弘助宛	継紙	1通	付紙あり	70
四四八	借用申金子之事	文政13年7月	北御門弘助外3名より松本佐仲太宛	一紙	1通		71
四四九	預り申金子之事	文政13年7月	北御門弘助外3名より辻田外平宛	一紙	1通		72

四五〇	預申金子之事	文政13年7月	北御門弘助外より美濃屋久兵衛宛	一紙	1通		73
四五一	借用申金子之事	(文政13年ヵ)寅7月	北御門弘介外より近江屋お八重宛	一紙	1通		74-1
四五二	覚(借金請取)	(文政13年ヵ)寅9月12日	近江屋から高松宛	一紙	1通		74-2
四五三	拝借仕御金之事	文政13年8月	沢西専左ヱ門外より紀州御貸付方御役所宛	継紙	1通		75
四五四	当借申金子之事	文政13年9月28日	原喜左ヱ門より松本小忠太宛	一紙	1通		76
四五五	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵より相模屋伊八宛	一紙	1通	請人辻田外平　立合原大衛	77
四五六	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵より伊勢屋彦八宛	一紙	1通	口入人　相模屋伊八	78
四五七	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵外より辻田外平宛	一紙	1通		79
四五八	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵外より加藤忠三郎宛	一紙	1通	口入人　相模屋伊八	80
四五九	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵より相模屋伊八宛	一紙	1通		81
四六〇	借用申金子之事	文政13年9月	中西藤蔵外より万屋長三郎宛	継紙	1通	立合　相模屋伊八	82
四六一	札之事	文政13年9月	北御門弘助より藤八重宛	一紙	1通		83
四六二	覚	(文政13年)寅9月	辻田外平より北御門弘助宛	一紙	1通	四九の借金利足の事	84
四六三	預り申金子之事	文政13年9月	北御門弘助外4名よりおはつ宛	一紙	1通	立合　原大衛	85
四六四	覚	文政13年10月5日	(藤)八重より高松二郎兵衛宛	一紙	1通		86

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四六五	借用申金子之事	(文政13年)寅10月13日	北御門弘介外より近江屋お八重宛	一紙	1通		87-1
四六六	覚	(文政13年)寅11月9日	近江屋より高松宛	一紙	1通		87-1
四六七	預申金子之事	文政13年10月	北御門弘介より大和屋治兵衛宛	一紙	1通		88
四六八	覚(借用金請取の事)	(文政13年)寅10月	辻田外平より北御門弘助宛	一紙	1通		89
四六九	借用申金子之事	(文政13年ヵ)寅10月	中西藤蔵・北御門弘助より茅原次兵衛宛	継紙	1通		90-1
四七〇	覚	(文政13年カ)寅11月16日	芦原次郎兵衛より中西藤蔵宛	一紙	1通		90-2
四七一	覚(借金請取の事)	(文政13年)寅11月14日	近江屋太三郎より高松二郎兵衛宛	一紙	1通		91
四七二	覚(借金請取の事)	(文政13年)寅11月	惣□講世話方より御役人衆中宛	継紙	1通		92
四七三	預申金子之事	(天保元年)寅11月	北御門弘介より道明和七宛	一紙	1通		93
四七四	預申金子之事	文政13年12月2日	北御門弘助外よりお八重宛	一紙	1通		94
四七五	借用申金子之事	(文政13年)寅12月4日	高松二郎兵衛より近江屋多三郎宛	一紙	1通		95
四七六	借用申金子之事	(文政13年)寅12月11日	高松二郎兵衛・渡辺源太夫より近江屋多三郎宛	一紙	1通		96
四七七	借用申金子之事	文政13年12月16日	高松二郎兵衛・渡辺源太夫より近江屋多三郎宛	一紙	1通		97
四七八	覚	天保元年12月29日	川崎仁藤次外3名より北御門弘助宛	一紙	1通		98

四七九	覚	天保元年12月29日	川崎仁藤次外3名より北御門弘助宛	一紙	1通		99
四八〇	覚	天保元年12月	北御門弘助より道明和七宛	一紙	1通		100-1
四八一	覚(借金請取の事)	(天保2年)卯2月4日	道明和七より高松宛	一紙	1通		100-2
四八二	借用申金子之事	天保元年12月	北御門弘助より相模屋伊八宛	一紙	1通		101-1
四八三	覚	(江戸)卯正月28日	相模屋伊八より御役人衆中宛	一紙	1通		101-2
四八四	預り申金子之事	天保12年9月	鶴田平兵衛外より鈴木忠治・本門寺御取扱御役人中宛	一紙	1通		102
四八五	預り申金子之事	天保12年11月20日	鶴田平兵衛外よりおとよ宛	一紙	1通		103
四八六	借用申金子之事	天保13年12月	渡辺平右ヱ門外6名より中嶋清七宛	継紙	1通	後欠	104
四八七	拝借申金子之事(公務要用の件)	天保14年9月	渡辺平右ヱ門外4名より御貸附方御役所宛	一紙	1通		105
四八八	借用申金子之事(勝手方要用の件)	天保15年正月	渡辺平左ヱ門外4名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	106
四八九	借用申金子之事	天保15年正月5日	渡辺長左ヱ門外4名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	107
四九〇	借用申金子之事(勝手方要用の件)	天保15年7月	渡辺兵左衛門外4名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	108
四九一	借用申金子之事	天保15年7月	渡辺長左ヱ門外4名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通		109
四九二	借用申金子之事	天保15年8月	渡辺長左ヱ門外より	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	110

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四九三	預り申金子之事	天保15年10月24日	渡辺兵左ヱ門外4名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	111
四九四	預り申金子之事	天保15年10月	渡辺兵左ヱ門外4名より近江屋宇八宛	一紙	1通		112
四九五	預り申金子之事	天保15年	渡辺兵左ヱ門外4名より万屋庄兵衛外宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	113
四九六	預申金子之事	弘化元年12月	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通		114
四九七	借用申金子之事	弘化2年4月10日	渡辺兵左ヱ門・鶴田平兵衛外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		115
四九八	一札之事	弘化2年7月14日	渡辺長兵衛・山崎甚兵衛より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通		116
四九九	借用一札之事	弘化2年7月17日	鶴田平兵衛・山崎甚兵衛より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通		117
五〇〇	拝借仕金子之事	弘化2年7月	渡辺長左ヱ門外より紀州御貸付方宛	一紙	1通		118
五〇一	預申金子之事	弘化2年8月9日	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	119
五〇二	預申金子之事	弘化2年8月	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	120
五〇三	預り申金子之事	弘化2年8月	渡辺兵左ヱ門外4名より穀屋正兵衛宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	121
五〇四	預り申金子之事	弘化2年8月	渡辺長左ヱ門外より上野屋喜兵衛宛	一紙	1通		122
五〇五	預申金子之事	弘化2年9月8日	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	123
五〇六	預申金子之事	弘化2年9月11日	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	124

五〇七	預申金子之事	弘化2年9月19日	渡辺兵左ヱ門外より重次郎宛	一紙	1通	立合	犬塚禅右ヱ門	125
五〇八	拝借申金子之事（公務要用の件）	弘化2年9月	渡辺兵左ヱ門外4名より御貸付方御役所宛	一紙	1通			126
五〇九	拝借申金子之事（公務要用の件）	弘化2年9月	渡辺兵左ヱ門外4名より御貸付方御役所宛	一紙	1通			127
五一〇	差上申引請証文之事	弘化2年9月	庄兵ヱ・長三郎より御貸付方御役所宛	一紙	1通			128
五一一	差上申引請証文之事	弘化2年9月	庄兵ヱ・長三郎より御貸付方御役所宛	一紙	1通			129
五一二	入置申一札之事	弘化2年10月15日	渡辺長兵衛外より冨士見屋紋吉宛	一紙	1通			130
五一三	借用申金子之事	弘化2年11月晦日	渡辺兵左衛門外3名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通			131
五一四	借用申金子之事	弘化2年11月	渡辺長左ヱ門外より有井一馬外宛	継紙	1通	立合	犬塚禅右ヱ門	132
五一五	借用申金子之事	弘化2年12月6日	渡辺兵左ヱ門外3名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通			133
五一六	拝借申金子之事（公務要用の件）	弘化2年12月14日	渡辺兵左ヱ門外4名より御貸付方御役所宛	一紙	1通			134
五一七	借用申金子之事（勝手方要用の件）	弘化2年12月25日	鶴田平兵ヱ外2名より相模や喜左ヱ門宛	一紙	1通			135
五一八	借用申金子之事	弘化2年12月25日	万屋庄兵衛外6名よりおかね宛	継紙	1通	立合	犬塚禅右ヱ門	136-1
五一九	借用申金子之事	弘化3年2月20日	万屋庄兵衛外5名よりおかね宛	継紙	1通			136-2
五二〇	借用申金子之事	弘化3年3月5日	万屋庄兵衛外5名よりおかね宛	継紙	1通	立合	犬塚禅右ヱ門	136-3
五二一	借用申金子之事	弘化2年12月27日	渡辺長左ヱ門より有井一馬外宛	一紙	1通	立合	犬塚禅右ヱ門	137

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一三三	借用申金子之事	弘化2年12月28日	渡辺長左ヱ門外5名よりおいし宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	138
一三三	借用申金子之事	弘化3年正月晦日	渡辺長左ヱ門外より有井一馬外宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	139
一三四	拝借仕金子之事	弘化3年正月	渡辺長兵衛より紀州御貸付方宛	一紙	1通		140
一三五	借用申金子之事	弘化3年2月18日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		141
一三六	借用申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年2月21日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		142
一三七	借用申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年2月29日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	143
一三八	一札之事	弘化3年3月2日	渡辺兵左ヱ門外5名より服部修蔵・福沢正助宛	一紙	1通		144
一三九	借用申金子之事	弘化3年3月11日	渡辺平左ヱ門外3名より近江屋宇八宛	一紙	1通		145
一三〇	差上申引請証文之事	弘化3年3月14日	庄兵ヱ・長三郎より御貸付方御役所宛	一紙	1通		146
一三一	拝借申金子之事(公務要用の件)	弘化3年3月14日	渡辺兵左ヱ門外4名より御貸付方御役所宛	一紙	1通		147
一三二	借用申金子之事	弘化3年3月15日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		148
一三三	借用申金子之事	弘化3年3月25日	渡辺兵左ヱ門外3名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		149
一三四	借用申金子之事	弘化3年3月29日	渡辺兵左ヱ門外2名より近江屋庄次郎宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	150
一三五	借用申金子之事	弘化3年3月晦日	渡辺長左ヱ門外より堤大蔵宛	継紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	151

三三六	借用申金子之事	弘化3年3月晦日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通	
三三七	借用申金子証文之事	弘化3年3月	渡辺兵左ヱ門外5名より	一紙	1通	後欠
三三八	借用申金子之事	弘化3年4月4日	鶴田・原より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通	154
三三九	借用申金子之事	弘化3年4月6日	渡辺長左ヱ門外より堤五歳外宛	継紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門 155
三四〇	替借申金子之事	弘化3年4月19日	渡辺長左ヱ門外より堤五歳外宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門 156
三四一	借用申金子之事	弘化3年4月26日	渡辺長左ヱ門外より堤五歳外宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門 157
三四二	借用申金子之事	弘化3年5月朔日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通	158
三四三	借用申金子之事	弘化3年5月4日	鶴田平兵衛外1名より玉置平兵衛宛	一紙	1通	159
三四四	借用申金子之事	弘化3年5月13日	三河屋清右ヱ門外4名より太助宛	一紙	1通	160
三四五	借用申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年5月19日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋久左ヱ門宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門 161
三四六	差添申一札之事	弘化3年5月晦日	渡辺兵左ヱ門外より大膳市御上方宛	一紙	1通	162
三四七	借用申金子之事	弘化3年5月	渡辺兵左ヱ門外3名より太助宛	一紙	1通	163
三四八	覚(借用証文)	弘化3年5月	渡辺兵左ヱ門外3名より丸屋八郎兵衛宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門 164
三四九	借用申金子之事	弘化3年閏5月21日	三河屋清右ヱ門外4名より太助宛	一紙	1通	165
三五〇	借用申金子之事	弘化3年閏5月	三河屋清右ヱ門外4名より太助宛	一紙	1通	166

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
五五一	一札之事	弘化3年閏5月	渡辺兵左ヱ門外5名より服部修蔵・福沢正助宛	一紙	1通		167
五五二	借用申金子之事	弘化3年閏5月14日	渡辺長左ヱ門外より堤五蔵外宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	168
五五三	借用申金子之事	弘化3年6月2日	渡辺長左ヱ門外より相模屋久左ヱ門宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	169
五五四	借用申金子之事	弘化3年6月11日	渡辺長左ヱ門外2名より犬塚駒吉宛	一紙	1通		170
五五五	時借申金子之事	弘化3年6月11日	渡辺長左ヱ門外2名より神坂屋兵衛宛	一紙	1通		171
五五六	借用申金子之事	弘化3年6月12日	渡辺長左ヱ門外2名より犬塚駒吉宛	一紙	1通		172
五五七	借用申金子之事	弘化3年6月20日	鶴田平兵衛・原八右ヱ門より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		173
五五八	借用申金子之事	弘化3年6月26日	渡辺兵左ヱ門外2名より犬塚駒吉宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	174
五五九	借用申金子之事	弘化3年6月晦日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋久左ヱ門宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	175
五六〇	借用申金子之事	弘化3年7月2日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋喜左ヱ門宛	一紙	1通		176
五六一	借用申金子之事	弘化3年7月3日	渡辺兵左ヱ門外2名より犬塚駒吉宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	177
五六二	借用申金子之事	弘化3年7月11日	渡辺兵左ヱ門外2名より犬塚駒吉宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	178
五六三	借用申金子之事（勝手方要用の件）	弘化3年7月12日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋久左ヱ門宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	179
五六四	時借申金子之事	弘化3年7月晦日	渡辺兵左ヱ門外3名より成瀬栄助宛	一紙	1通	立合　犬塚禅右ヱ門	180

五六五	借用申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年8月6日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋久左ヱ門宛	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	181	
五六六	借用申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年8月8日	渡辺兵左ヱ門外2名より相模屋久左ヱ門宛	継紙	1通		182	
五六七	時借申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年8月28日	渡辺平左ヱ門外2名より成瀬栄助宛	一紙	1通	立合 犬塚禅右ヱ門	183	
五六八	時借申金子之事(勝手方要用の件)	弘化3年9月11日	嶋内鉄馬・西岡隼之助より神坂屋治兵衛宛	一紙	1通		184	
五六九	差入申一札之事	弘化3年11月	渡辺兵左ヱ門外より中里郡八宛	一紙	1通		185	
五七〇	覚(廻米毎年3石8斗ずつ拝領のこと)	嘉永5年9月	石丸朔右ヱ門・梅崎弥惣右ヱ門より田沢彦太宛	一紙	1通		186	
五七一	御家中拝借金入払帳	安永2年12月	不詳	書冊	1冊		187	
五七二	拝借申上候証文之事	安政5年12月	八百屋大三郎外1名より山口熊左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	一紙	1通		188	
五七三	覚(借用証文)	安政6年2月	八津半兵衛より大田尾半左ヱ門宛	一紙	1通		189	
五七四	証文覚	安政6年3月	甚助、又吉より山口能左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	継紙	1通		190	
五七五	証文覚	安政6年11月	与平次・多三郎より山口能左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	一紙	1通		191	
五七六	覚(正金借用の件)	元治元年5月	酒屋儀平外2名より山口能左ヱ門・嶋内鉄馬宛	継紙	1通		192	
五七七	覚(金その他借用の件)	元治元年11月	角嘉右ヱ門外1名より嶋内鉄馬宛	継紙	1通		193	
五七八	覚(米拝借の件)	元治元年12月	高島市郎兵衛(印)より立川源之允・吉田正右ヱ門宛	継紙	1通		194	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
五七九	証文覚(米拝借の件)	元治元年12月	永野政太郎(印)より立川源之允・吉田正右ヱ門宛	継紙	1通		195
五八〇	覚(米拝借の件)	元治元年12月	見性寺(印)より立川源之允・吉田正右ヱ門宛	継紙	1通		196
五八一	覚(米拝借の件)	元治元年12月	岩永甚右ヱ門(印)より立川源之允・吉田正右ヱ門宛	継紙	1通	並木平左ヱ門(印)の置書あり	197
五八二	手形覚(米拝借の件)	万延元年8月	利十外1名より太田尾吉右ヱ門宛	一紙	1通	包紙あり	198
五八三	御内別段御貸付米証文扣帳	文久2年10月より	御内役所より	書冊	1冊		199
五八四	証文覚(借米のこと)	文久3年11月	光武庄助より吉田庄左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	一紙	1通	包紙あり	200
五八五	引当手形覚	文久4年4月	酒屋儀平より	一紙	1通		201
五八六	御仕組講証文入	慶応元年6月	御側方より	袋	1枚		202
五八七	覚(借米の事)	慶応元年12月	桑原半右ヱ門より立川源之允・吉田正右ヱ門宛	一紙	1通		203
五八八	手形覚(借米)	慶応2年12月	木下汀(印)より立川源之允・井原五兵衛宛	一紙	1通		204
五八九	手形覚(借米)	慶応2年12月	八百屋大三郎(印)より立川源之允・井原五兵衛宛	一紙	1通	奥書あり	205
五九〇	御引当一札のこと(借米)	慶応2年12月	測上作兵衛(印)炭屋平蔵(印)より立川源之允井原五兵衛宛	一紙	1通	咥留七の奥書あり	206
五九一	覚	慶応2年12月	測上作兵衛(印)炭屋平蔵(印)より立川源之允井原五兵衛宛	一紙	1通		207

五九二	証文覚(借米)	慶応2年12月	着屋吉左ヱ門外より井原又兵衛宛	継紙	1通	立合　別当多七	208
五九三	覚(借米)	慶応3年正月	太田尾勝右ヱ門より立川源之允・井原五郎兵衛宛	一紙	1通		209
五九四	覚(借米)	慶応3年10月	伊藤形右ヱ門(印)より立川源之允宛	継紙	1通	井原五兵衛(印)の奥書あり	210
五九五	拝借証文之事(借米)	慶応3年11月	松村環より立川源之丞井原五兵ヱ宛	一紙	1通		211
五九六	手形覚(正金拝借)	慶応3年12月	中嶋十左ヱ門(印)より嶋内鉄馬・田中平吉宛	一紙	1通		212
五九七	拝借証文之事	慶応3年12月	正田伴之允(印)より立川源之允・井原五兵衛宛	一紙	1通	愛野甚右ヱ門の奥書あり	213
五九八	手形覚	慶応3年12月	馬場弥市(印)より立川源之允・井原五兵衛宛	継紙	1通	納富十平の奥書、鍋島の刻印あり	214
五九九	手形覚(金二五両仕組金請取)	慶応3年12月	野房逸見より田津彦平坂部伝助宛	一紙	1通		215
六〇〇	覚	慶応3年12月	田中瑳一郎(印)より田津彦平・坂部伝助宛	継紙	1通	八本村庄屋五右ヱ門(印)の奥書あり	216
六〇一	引当1札之事	慶応3年12月	江川弥一右ヱ門より立川源の丞・井原五兵衛宛	継紙	1通		217
六〇二	拝借手形覚	慶応3年12月	仁右ヱ門外より納富権兵衛外3名宛	継紙	1通		218
六〇三	沽券覚	慶応3年12月	酒屋仁右ヱ門より不明宛	一紙	1通	立合　別当久太郎	219
六〇四	手形覚(借米)	慶応3年12月	松国与助・江川弥四郎より立川源之丞・井原五兵衛宛	継紙	1通	立合　別当久太郎	220
六〇五	手形覚(借金)	慶応3年12月	酒見豊助・北御門八兵衛より板部信助宛	一紙	1通		221

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
六〇七	手形覚(借金)	慶応3年12月	酒見豊助・北御門八兵衛より板部信助宛	一紙	1通		222
六〇八	手形覚(借金)	慶応3年12月	家永外兵衛より田沢彦太外2名宛	一紙	1通		223
六〇九	証文根振帳	慶応3年	御内役所より	書冊	1冊		224
六一〇	覚(借金)	慶応4年閏4月	酒屋儀平(印)より桝岡御役人中宛	継紙	1通		225
六一一	証文	慶応4年閏8月	福地健左ヱ門より田沢彦太・勝屋九門宛	継紙	1通		226
六一二	手形覚(借銀)	慶応4年9月	八百屋大次郎・弥助より勝屋九右ヱ門宛	継紙	1通		227
六一三	証札覚(借金)	慶応4年10月	平助外2名より愛野儀一・井原為助宛	一紙	1通		228
六一三	覚	(江戸)卯正月20日	北御門弘助外より竹田半三右ヱ門宛	継紙	1通		229
六一四	拝借覚(金)	(江戸)申正月	八津謙泰(印)より山口能左ヱ門・太田尾吉右ヱ門宛	一紙	1通		230
六一五	覚(借金請取)	(江戸)卯2月2日	講元より普木市之助宛	一紙	1通		231
六一六	証文覚(借金)	(江戸)午2月	山崎新六(印)より愛野趙一宛	一紙	1通		232
六一七	時借申金子之事(公務要用の件)	(江戸)辰3月11日	渡辺兵左ヱ門外3名より神坂屋治兵衛宛	一紙	1通		233
六一八	時借申金子之事	(江戸)午3月11日	渡辺兵左ヱ門外2名より神坂屋治兵衛宛	一紙	1通		234
六一九	借用申金子之事	(江戸)寅4月5日	北御門弘助外より松本古仲太宛	一紙	1通		235

六二〇	覚(借金)	(江戸)子5月	緒方三右ヱ門より山口能左ヱ門・嶋内鉄馬宛	一紙	1通	236
六二一	手形覚(借銀)	(江戸)巳6月	小池新一より井原陶助宛	一紙	1通	237
六二二	証札覚	(江戸)巳7月	山口力之助より(不明)	一紙	1通	238
六二三	手形覚(借金)	(江戸)未7月25日	出納掛(印)より(不明)	一紙	1通	239
六二四	覚(借金受取)	(江戸)8月30日	鑑蓮社敬音より高松二郎兵衛宛	継紙	1通	240
六二五	覚(借米請取)	(江戸)寅8月	桑原半右ヱ門より吉田正右ヱ門宛	一紙	1通	241
六二六	借用申金子之事	(江戸)寅11月14日	高松二郎兵衛より近江屋多三郎宛	一紙	1通	242
六二七	預申金子之事	(江戸)寅11月	北御門弘介外より棟梁鉄五郎宛	一紙	1通	243-1
六二八	覚	(江戸)寅11月18日	鉄五郎より御役人中宛	一紙	1通	243-2
六二九	覚	(江戸)卯11月	山口能左ヱ門(印)より立川源右ヱ門宛	一紙	1通	244 井手平次兵衛(印)の奥書あり
六三〇	覚(借金)	(江戸)卯11月	迎順硯(印)より嶋内鉄馬宛	一紙	1通	245
六三一	覚(金子受取)	(江戸)午12月7日	平野屋松兵衛より御蔵方御役人中宛	一紙	1通	246
六三二	手形覚(借米)	(江戸)寅12月19日	田中新兵衛より立川源之丞・井原五兵衛宛	一紙	1通	247
六三三	口上(拝借米の健につき)	(江戸)12月28日	並木平左衛門より吉田正右ヱ門宛	一紙	1通	248
六三四	覚	(江戸)寅12月	江越吉兵衛(印)より嶋内鉄馬宛	一紙	1通	249 井手東次兵衛(印)の奥書あり
六三五	証札覚(借米)	(江戸)巳12月	緒方与四郎より愛野趙一宛	一紙	1通	250

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
六三六	覚(借米)	(江戸)亥12月	高嶋市郎兵衛より山口能左衛門・嶋内鉄馬宛	一紙	1通	立合門 北御門清左衛	251
六三七	覚(借米)	(江戸)丑12月	田中新済より立川源之丞・吉田正右ヱ門宛	継紙	1通		252
六三八	借用証文包紙	(江戸)	八津謙斎より(不明)	包紙	1枚		253
六三九	証文入	(江戸)	酒屋儀平より(不明)	包紙	1枚		254
六四〇	手形	(江戸)	与平次より(不明)	包紙	1枚		255
六四一	手形	(江戸)	伊藤形右ヱ門より(不明)	包紙	1枚		256
六四二	手形入	(江戸)	中嶋十左衛門より(不明)	包紙	1枚		257
六四三	手形入	(江戸)	酒屋伝二郎より(不明)	包紙	1枚		258
六四四	手形入	(江戸)	筆吉より(不明)	包紙	1枚		259
六四五	証文入	(江戸)	肴屋吉左ヱ門より(不明)	包紙	1枚		260
六四六	手形包紙	(江戸)	松原重助より(不明)	包紙	1枚		261
	2 米金払関係						
六四七	御能方米入払目安	安政5年	田中啓兵衛より(不明)	書冊	1冊		1
六四八	御能方米入払目安	安政6年	田中啓兵衛より(不明)	書冊	1冊		2
六四九	申暮御能方米引留目安	万延元年12月	田中啓兵衛より(不明)	書冊	1冊		3
六五〇	弘文館御仕組金銀入払帳	文久元年11月	弘文館御貸付方より(不明)	書冊	1冊		4
六五一	講御加入金銀出入帳	慶応2年8月	柏岡役所より(不明)	書冊	1冊		5

六三	御台所方金銀入払帳	慶応3年8月より	不詳	書冊	1冊	6
六四	御台所方御融通銀米入払帳	慶応4年8月より	不詳	書冊	1冊	7
六五	御台所方金銀入払帳	慶応4年8月より	不詳	書冊	1冊	8
六六	上中米其外入払目安地	(江戸)	内庫掛より(不明)	書冊	1冊	9
	3 雑					
六七	銀子請取写	明暦2年5月16日	山田善左ヱ門判・相良三郎兵衛判より石井右衛門佐外2名宛	一紙	1通	1
	E 軍事関係					
六八	靭節之次第	慶安元年5月念4日	吉田六左ヱ門元直より	巻子	1巻	1
六九	日置流弓書	慶安元年5月24日	吉田六左ヱ門元直より	折本	1冊	2
七〇	大伝受九箇之目録	慶安2年卯15日	湫間兵右ヱ門清許(花押・印)より鍋嶋刑部大輔宛	巻紙	1通	3

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
六六〇	印可状(兵法)	慶安2年5月朔日	渋間兵右ヱ門清許(花押・印)より鍋嶋刑部大輔宛	巻紙	1冊	表紙欠	4
六六一	根本発起	明暦2年正月16日	渋江小平次公茂入道斉(花押)より石丸勘左ヱ門宛	小横帳	1冊	元亀3年項のものの写、相伝の奥書あり	5
六六二	手箱	(江戸)	不詳	手箱	1箇	「タイ捨巻物、盛田氏」六六三～六七三が入る	6
六六三	火薬玉記録	明暦4年3月吉日	冨岡助之進貞房より	巻紙	1巻		7
六六四	神道正授　巻空	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	巻子	1巻		8
六六五	四相　巻水(「軍書秘密之法」)	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	巻子	1巻		9
六六六	軍用秘術聞書	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	巻子	1巻		10
六六七	タイ捨流戴合重段	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原良恵外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		11
六六八	タイ捨流短刀勝截	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原良恵外1名より森田正次郎宛	巻子	1巻		12
六六九	本空剣(「タイ捨流本空剣」)	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		13
六七〇	保寿剣(「タイ捨流」)	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		14
六七一	タイ捨流左截	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		15
六七二	タイ捨流鐵石之構	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		16
六七三	タイ捨流真無之剣一子相伝	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻		17

六七四	タイ捨流鑓合太鼠穴之構	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			18
六七五	タイ捨流所作之目録	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			19
六七六	タイ捨流剣巻	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			20
六七七	タイ捨流刀々截断	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			21
六七八	タイ捨流之表進之太刀	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			22
六七九	タイ捨流両強勝弱	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			23
六八〇	タイ捨流平開重戴	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			24
六八一	タイ捨流風勢剣	享保4年11月吉日	丸目蔵人大夫藤原長景外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			25
六八二	武畧之大事(新影流)	享保4年11月吉日	上泉伊勢守藤原信綱外2名より森田正次郎宛	巻子	1巻			26
六八三	新影九箇之巻	享保4年11月吉日	丸目蔵人藤原長恵外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻	(内題)「タイ捨流灌頂道場壮厳之儀式事」		27
六八四	柳風刀一子相伝	享保4年11月吉日	丸目蔵人藤原長恵外4名より森田正次郎宛	巻子	1巻			28
六八五	新影流庄厳之巻	享保4年11月吉日	上泉伊勢守藤原信綱外5名より森田正次郎宛	巻子	1巻			29
六八六	無敵流長刀姉川流槍術之奥伝別目録	(弘化2年ヵ)	星野源兵衛・調久致(花押・印)より賢主大夫人篤誠院宛	巻紙	1通	六六・六八 一括包紙箱入り		30-1
六八七	婦女書上	弘化2年11月15日	常陸女借千代外10名より	折紙	1通			30-2
六八八	団取之秘歌	(江戸)	不詳	継紙	1通			30-3

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
六九九	無敵流長刀姉川流槍術之奥伝別目録	(江戸)	星野源兵衛・賢主大夫人調能数(花押・印)より 篤誠(印)	巻紙	1通	系図を付す	31
七〇〇	五謀伝受巻	(江戸)	不詳	巻子	1巻		32
七〇一	犬追物検見之記 第一	(江戸)	不詳	巻子	1巻		33
七〇二	犬追物検見故実覚悟之條々	(江戸)	不詳	巻紙	1通		34
七〇三	犬追物法量之次第 付馬所	(江戸)	不詳	巻紙	1通		35
七〇四	鹿島藩士旗印図	(江戸)	不詳	巻紙	1通	裏打あり	36
七〇五	八陳秘伝之抄	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	折本	1冊		37
七〇六	八陳之大意	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	折本	1冊		38
七〇七	万帝八陣一円元儀	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	折本	1冊		39
七〇八	城取秘伝抄巻一～五	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	折本	5冊	序、巻一～五・不明一冊(途中欠落)	40
七〇九	備五伝之法	万治2年卯月22日	堀江甚三郎重治(花押・印)より鍋島和泉守宛	巻子	1巻	建武3年5月楠正成正平4年正月楠正行著の写	41
七一〇	五間火攻之巻	(寛文2年カ)寅9月	星野十郎左ヱ門重賢より(削除)	巻子	1巻		42
七一一	兵法の事	寛文6年2月吉日	石丸勘左ヱ門兼明(花押・印)より愛野嘉兵衛宛	巻子	1巻	万治元年9月吉日の石丸あて渋江道斉の著を写す、見返欠	43
七一二	当流十文字目録	寛文6年2月吉日	石丸勘左ヱ門兼明(花押・印)より愛野勘右ヱ門嘉兵衛宛	巻子	1巻	安永・文政期に相伝の奥書あり継目裏判	44

七〇三	十文字一流の写	寛文6年2月吉日	石丸勘左ェ門兼明(花押・印)より愛野甚兵衛宛	巻子	1巻	見返欠	45
七〇四	新影流兵法目録一子相伝(写)	寛文9年8月	柳生帯刀より(不明)	書冊	1冊	「柳生家直伝有故於江府写之」	46
七〇五	新陰流兵法三巻書(写)	寛文9年8月	柳生飛騨守菅原宗冬(花押)より柳生備前守宛	書冊	1冊		47
七〇六	兵伝書	寛文13年6月吉日	星野十郎左ェ門重賢(印)より田中左兵衛宛	巻子	1冊		48
七〇七	鎧名所之巻	寛文13年6月吉日	星野十郎左ェ門重賢(印)より田中左兵衛宛	巻紙	1通		49
七〇八	軍陣鞭之巻	延宝元年9月吉日	星野十郎左ェ門重賢(印)より田中左兵衛宛	巻子	1巻		50
七〇九	鴛鴦貫裡神	延宝元年	岩村意休斎重久外3名より(不明)	巻子	1巻	(奥書)「右ノ一巻物小笠原長時公信列御没落ノ以後予ニ御伝授切紙他」	51
七一〇	御娶入道具組	延宝2年夾鐘下澣	上原八左ェ門定重・水嶋卜也元成(花押・印)より(不明)	巻子	1巻		52
七一一	訓閲集鎧著之次第	延宝3年孟春上澣	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	53
七一二	胸之守巻	延宝3年	岩村意休重久外3名より伊藤郷右ェ門宛	巻子	1巻	奥書あり	54
七一三	訓閲集軍詞上	延宝4年孟春中旬	水嶋卜也より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	55
七一四	旧道射義之次第	延宝7年3月7日	海野仁左ェ門景光(花押・印)より直條公宛	巻子	1巻	継目裏判あり	56
七一五	弓伝書	延宝7年5月吉日	海野仁左ェ門景光(花押・印)より直條公宛	巻子	1巻		57
七一六	真犬追物之記目録	延宝7年7月26日	伊勢兵庫助貞衛より鍋島備前守宛	巻子	1巻		58
七一七	色々名ノ記(弓道)	貞享3年4月21日	平朝臣伊勢兵庫頭貞衛判より(不明)	巻子	1巻		59

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
七二八	太刀之目録	元禄2年7月21日	藤原信綱外4名より山崎神兵衛宛	巻子	1巻	宝永・宝暦・寛政の奥書あり	60
七二九	習之目録	元禄2年7月21日	鍋島和泉守藤原直樹(花押・印)より山崎神兵衛宛	巻子	1巻	宝永・宝暦・寛政の奥書あり	61
七三〇	訓閲集蘆奥(鎧裏付巻	元禄7年季春上浣	叙栄外より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	62
七三一	訓閲集虎之巻	元禄10年4月10日	小笠原大膳大夫長時外3名より(不明)	巻子	1巻		63
七三二	習之目録	宝永2年4月21日	鍋島和泉守藤原直朝(花押・印)より相良吉右ヱ門宛	巻子	1巻		64
七三三	新陰流兵法目録(「太刀之目録」)	宝永2年4月21日	鍋島和泉守藤原直朝(花押・印)より相良宛	巻子	1巻		65
七三四	関之習	宝永2年8月21日	従五位下鍋島和泉守藤原直朝入道より山崎甚左ヱ門宛	書冊	1冊		66
七三五	西江関圧関之習之事	宝永2年8月21日	鍋島和泉守藤原直朝入道紹龍(花押・印)より山崎甚左ヱ門宛	巻子	1巻		67
七三六	新影流外物	宝永3年7月吉日	鍋島和泉守紹龍より山崎甚左ヱ門宛	巻子	1巻		68
七三七	進履橋(「新陰流兵法之書」)	宝永6年11月5日	直朝紹龍より鍋島岩松宛	書冊	1冊	寛永9年の写	69
七三八	当流軍令免許状	正徳5年孟春下浣	小池甚之丞貞成外4名より直堅宛	巻子	1巻	寛永9年の写	70
七三九	古流鉾(「直鉾十文字貫一伝目録并略抄」)	享保六年正月16日	石丸作左ヱ門秀安入道東雛軒(花押・印)より愛之甚右ヱ門宛	折本	1冊	不「聞書抄」、宝暦・天明・文政の奥書あり	71
七四〇	四井流	享保14年正月21日	冨岡弥市左ヱ門常利(花押)より愛野甚右ヱ門宛	折本	1冊	明暦4年の冨岡あてのもの写	72

七二	四井流	享保14年正月21日	冨岡弥市左ヱ門常利(花押)より愛野甚右ヱ門宛	折本	1冊	宝暦の奥書あり	73
七三	当流相伝意著(新陰流)	享保20年11月27日外	従五位下藤原朝臣直郷より(不明)	一紙	1通		74
七四	新影流外物	享保20年12月25日	山崎甚左ヱ門より	書冊	1冊		75
七五	柳生家伝一軸之副書	元文6年伸春23日	前備前守藤原直郷(花押・印)より(不明)	継紙	1通	包紙あり	76
七六	訓閲集軍詞下	(延享4年孟春中旬)	水嶋卜也より(不明)	巻子	1巻		77
七七	神妙剣之大意	延享4年菊月	原氏忠基より(不明)	折紙	1通	包紙あり	78
七八	一名六根鈔(鎌宝蔵院流鉾聞書)	宝暦元年正月21日	愛野甚右ヱ門忠長(花押)より長幸宛	小横帳	1冊	天明・文政の奥書あり	79
七九	秘事目録口伝	宝暦8年2月21日	愛野甚右ヱ門より愛野長右ヱ門宛	巻子	1巻	組打ち	80
七十	無実地	寛政3年5月5日	不詳	書冊	1冊	正徳5年3月吉日元敦より国之允あてのものの写	81
七十一	太刀伝書	寛政4年6月25日	鍋嶋大蔵元辰より(不明)	書冊	1冊		82
七十二	砲術備要	文化戊辰春以降	長崎和蘭訳司本木正栄(訳)	書冊	1冊	(原本)ゲルリット・ハンゲルトルレン著「新撰大砲打放要術明鑑」(一七二一年刊)	83
七十三	御大小并御衣裳御馬具扣	文政13年8月	不詳	書冊	1冊		84
七十四	火技全書図	安政2年正月念9日	榊令輔綽(記)	書冊	1冊	木版嘉永7年晩秋榊令輔綽序原本一八三年刊オランダ セツセレル著	85

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
七四四	弾路之説　完	安政2年正月	不詳	書冊	1冊	田上由準訳稿　伊東玄朴閲原本ハンター フルスタフーテン著 各人砲術書	86
七四五	喇叭府(写)	慶応4年8月	井原より(不明)	小横帳	1冊		87
七四六	十文字大事	辰10月吉日	藤井久兵衛通虎(花押)より愛野一角	一紙	1通		88
七四七	吉田流羽書	寅2月14日	藤伯棟(印)より(不明)	折本	1冊	奥書あり　自筆	89
七四八	西洋火薬全書(写)	寅2月14日	藤伯棟(印)より(不明)	書冊	1冊	訳述	90
七四九	遠西火攻精撰一(写本)	(江戸)	不詳	書冊	1冊		91
七五〇	砲術捷径秘録(写本)	(江戸)	不詳	書冊	13冊	首、一、二、四～八、十～十三、十五	92-1
七五一	借用証	昭和20年6月15日	陸軍中将米満誠之助(印)より鍋島家宛	罫紙	1通	ペン書　七四八、七四九、七五〇の借用証　七五〇にはさみ込む	92-2
七五二	高島流諸砲制度上下	(江戸)	高島茂敦編・高島茂武補	書冊	2冊		93
七五三	兵器	(江戸)	不詳	小横帳	1冊	図絵のみ	94
七五四	兵法目録	(江戸)	不詳	一紙	1通		95
七五五	神妙剣口授	(江戸)	(包紙)山崎甚左ヱ門より(不明)	一紙	1通	包紙あり	96
七五六	進履橋真ノ五ヶ之身之事(組打ちの心得)	(江戸)	不詳	一紙	1通	包紙あり	97
七五七	新躬之内差料物(大和守吉道等名刀)	(江戸)	不詳	折紙	1通		98

七六八	砲術備要三十六問題　解術	(江戸)	不詳	巻子	1冊	
七六九	訓閲集鳥気之巻	(江戸)	小笠原大膳大夫長時外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七〇	訓閲集敷皮之巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七一	訓閲集麾之巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七二	訓閲集肴組之巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七三	訓閲集蘊奥鞭巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七四	訓閲集單扇巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七五	訓閲集武羅蘊奥巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七六	訓閲集鎧之巻	(江戸)	上原八左ヱ門定宣・水嶋卜也より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七七	訓閲集水冠之巻	(江戸)	岩村意休重久外2名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七八	訓閲集蘊奥実検中巻	(江戸)	小笠原河内知成付3名(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七七九	訓閲集兵雲巻	(江戸)	水嶋卜也元成より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七八〇	訓閲集武羅之巻	(江戸)	上原八左ヱ門定宣・水嶋卜也より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七八一	訓閲集蘊奥旗巻	(江戸)	岩村意休重久より(不明)	巻子	1巻	奥書あり
七八二	訓閲集兵鼓之巻	(江戸)	岩村意休外3名より(不明)	巻子	1巻	

99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
七三	訓閲集六具之巻	(江戸)	岩村意休外3名より(不明)	巻子	1巻		114
七四	訓閲集出軍巻　上	(江戸)	上原八左ヱ門定宣外1名より(不明)	巻子	1巻		115
七五	訓閲集虎之巻	(江戸)	上原八左ヱ門定宣外3名より(不明)	巻子	1巻	小笠原長時・貞慶より伝授彩色図手書	116
七六	訓閲集籠綆之巻	(江戸)	水嶋卜也外1名より(不明)	巻子	1巻		117
七七	訓閲集蘊奥杜吉凶巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	118
七八	訓閲集蘊奥実検上巻	(江戸)	小笠原河内知成外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	119
七九	訓閲集蘊奥実検下巻	(江戸)	小笠原河内知成外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	120
八〇	訓閲集実験巻	(江戸)	不詳	巻子	1巻	小笠原長時・貞慶作	121
八一	訓閲集蘊奥幕之巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	122
八二	訓閲集鎧直垂巻	(江戸)	不詳	巻子	1巻		123
八三	訓閲集内幕之巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻		124
八四	訓閲集友閉之巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	125
八五	訓閲集蘊奥杜巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	126
八六	訓閲集策之巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	127
八七	訓閲集城取之巻	(江戸)	小笠原伊予之守氏高外2名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	128

七八	訓閲集杜之巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	129
七九	訓閲集常之巻	(江戸)	上原八左ェ門定宣・水嶋卜也より(不明)	巻子	1巻	奥書あり 小笠原氏頼・氏隆作	130
八〇	訓閲集蘊奥団巻上	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	131
八一	訓閲集蘊奥団巻下	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)	巻子	1巻		132
八二	訓閲集蘊奥鎧下巻	(江戸)	岩村意休重久外4名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	133
八三	訓閲集出單巻下	(江戸)	上原八左ェ門定宣・水嶋卜也三成より(不明)	巻子	1巻	奥書あり 小笠原氏頼・氏隆作	134
八四	銃意之巻上・下(兵家抜萃之書)	(江戸)	長尾為景外5名より(不明)	折本	2冊		135
八五	古楽譜	(江戸)	不詳	折本	1冊		136
八六	艜奔之巻(水軍書)	(江戸)	長尾為景外5名より(不明)	折本	1冊		137
八七	神拯書秘密割	(江戸)	不詳	折本	1冊		138
八八	城郭図鉄砲玉ノ位貫寸兀ヲ割付目安	(江戸)	不詳	折本	1冊		139
八九	小勇目録	(江戸)	不詳	折本	1冊		140
九〇	長筒櫓積之書	(江戸)	不詳	折本	1冊		141
九一	陣中書礼之巻外	(江戸)	長尾為景外4名より(不明)	折本	1冊	首実験之巻・実験陰之巻・実験陽之巻	142
九二	残集柳営秘鑑巻之八(写)	(江戸)	不詳	書冊	1冊	とじひも無、断簡	143
九三	練練之巻(写本)	(江戸)	不詳	書冊	1冊		144

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
八〇四	鉄砲覚書	(江戸)	不詳	折本	1冊		145
八〇五	刀形ノ写	(江戸)	不詳	巻紙	1通	刀図(実寸)	146
八〇六	長刀図	(江戸)	不詳	巻子	1巻	長刀三振の覚(付紙)	148
八〇七	犬追物射手故実覚悟之条々	(江戸)	不詳	巻子	1巻	斐紙	149
八〇八	遠笠懸	(江戸)	不詳	巻子	1巻	彩色図	150
八〇九	犬追物検見條々	(江戸)	不詳	巻子	1巻	斐紙	151
八一〇	胸守巻	(江戸)	岩村意休重久外3名より(不明)		1巻		152
八一一	皿井流棒火矢之図・鉄砲火薬の事	年号月日	冨岡弥一兵衛より愛野甚右ヱ門宛	巻紙	1通		153
八一二	神当流外之巻(馬術書)	(江戸)	神尾織部外2名より(不明)	巻紙	1通		154
八一三	神当流音捨之巻(馬術書)	(江戸)	神尾織部外3名より(不明)	巻子	1巻		155
八一四	馬術書	(江戸)	不詳	巻子	1巻	八一三、八一三と同種のものか	156
八一五	敷皮之巻	(江戸)	岩村意休重久外5名より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	157
八一六	義経單歌之巻	(江戸)	不詳	巻子	1巻		158
八一七	新影流外物巻	(江戸)	不詳	巻子	1巻		

		F 学芸				
		1 和歌・漢詩				
八八	仮文吾妻之春(和文、希覯に属するもの)	天和元年11月	人見竹洞より	巻子	1巻	1
八九	楓園詩稿	天和壬戌孟夏、	整宇主人より(不明)	巻子	1巻	2
八〇	招魂	天和癸亥重五	不肖孤慈泣(書)	巻紙	1通	3
八一	詩文「中秋対雨」	天和癸亥年	鳳岡外22名	巻子	1巻	4
八二	詩文「貞享甲子中秋鳳岡雅集」	貞享甲子・中秋	整宇外6名	巻子	1巻	5
八三	蒙山説(別号「蒙山」の由来)	貞享2年5月	人見竹洞(直賜)	巻子	1巻	6
八四	詩文「得雨字」	貞享乙丑中秋	林鶏峰外12名	巻子	1巻	7
八五	宝善院寂湛孺人墓誌	貞享5年8月上澣	直條藤孟幹　竹洞評	継紙	1通	8-1
八六	宝善院寂湛孺人墓誌	貞享5年8月上澣	直條藤孟幹　鳳岡評	継紙	1通	8-2
八七	百人一首(写)	寛文元年極月	直澄よりおちよ宛	書冊	1冊	9
八八	新古今和歌集之抜(写)	寛文4年	藤氏藝(筆)	書冊	1冊	10
八九	江戸御城初連歌	寛文9年正月11日	玄祥外12名	巻子	1巻	11
八〇	古今和歌集(写)	延宝元年正月	正親町藤公通(筆)	書冊	1冊	12
八一	青山幽居和歌・漢詩集	延宝2年7月	鶴丹外	巻子	1巻	13
八二	七言古詩　一篇	延宝乙卯3月25日	林整宇	巻子	1巻	14

(包紙)「しゅせう院様御筆」、桐箱あり

藤原直朝へ献上

桐箱入

(外題)「漢文」

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
八三	瀟湘八景図詩并叙	延宝乙卯4月仲	佐々木氏玄龍	巻子	1巻	見返欠	5
八四	乙卯詩集	延宝3年4月	林鵞峰外2名	巻子	1巻	漢詩真蹟	16
八五	詩稿「別後音耗隔…」	延宝3年9月下降	林整宇外	巻子	1巻	見返欠	17
八六	詩巻	延宝丙辰　夏日	林整宇外	巻子	1巻	見返欠 詩箋　懐紙二枚紙	18
八七	丙辰詩巻	延宝4年	鵞峰外4名	巻子	1巻		19
八八	泰窩記（「楓園詩稿」）	延宝5年	整宇主人林直民甫	巻子	1巻		20
八九	丁巳詩巻	延宝5年	直條外	巻子	1巻		21
八〇	詩文「餞送歌」二首	延宝丁巳・乙未年	林整宇より楓国藤君宛	巻子	1巻		22
八一	揚弓賦	延宝7年3月7日	海野仁左ヱ門より直條公宛	巻子	1巻		23
八二	詩文「去歳仲冬家君弘文院学士…」	延宝庚申3月6日	整宇林子	巻子	1巻	鵞峰致仕、序、并ニ排律一篇	24
八三	長孝門下歌集	延宝9年6月27日	長寛外	巻子	1巻	前欠	25
八四	詩稿	延宝9年	整宇外	巻子	1巻		26
八五	蒙山和歌集	元禄3年9月	直條（跋　自撰）	書冊	1冊	評点入り、浄書本	27
八六	漢詩「仏生日喜鍋島太守…」	元禄3年	仏国高泉山児	一紙	1通	七言絶句	28
八七	青山雅集賦十鬻	元禄4年馬日	入柳鶯外5名	一紙	6通		29
八八	御講拝聴記	元禄6年2月22日	楓園之天泰窩藤孟幹（記）	一紙	1通	評点入り	30
八九	竹洞一周忌悼文	元禄10年正月上元前日	不詳	一紙	1通	評点入り	31

八五〇	駒田宗真源氏注釈書跋	元禄戊寅臘月中潮	蒙山樵夫泰窩(識)	一紙	1通	竹洞評あり
八五一	奉花山院前内府定誠藤公六十弁序	元禄巳卯初春26	(直條)	竪紙	1通	
八五二	直朝公八十歳御賀歌	元禄14年正月21日	直條公外10名	継紙	1通	
八五三	蒙山和歌集拾遺(直條自撰和歌集)	元禄時代	直條	書冊	1冊	
八五四	漢詩「仲冬蝸島備州守…」	(元禄時代)	仏国高泉山児	一紙	1通	七言絶句
八五五	梅菴集　全	元文4年(正月～10月)	直郷(花押)より(不明)	長帳	1冊	奥書あり
八五六	古瓦硯記	寛延4年3月	河口静斉	巻子	1巻	
八五七	楓園記	天明3年秋	鹿島藩七代直熙(作)関其寧(筆)	巻子	1巻	
八五八	詩文「和風杖国老…」	庚申元旦	野節外13名	巻子	1巻	
八五九	楓園詩稿	戊午元旦	明福州何倩甫寓崎陽得日楼是艸(印)	巻子	1巻	
八六〇	詩文「楓園小集各賦柳緑末句」	丁巳孟春上元之後二日	林整宇外3名	巻子	1巻	
八六一	和林君復梅花入詠	癸亥孟春下澣	東皐百抽	巻子	1巻	
八六二	詩文「春初有懐泰窩主人…」	壬戌陬月	整宇、鶴山	巻子	1巻	一紙中詩箋六紙
八六三	芝園叟詩文	癸丑2月中浣	芝園叟、荷渓狛庸	巻子	1巻	
八六四	漢詩「癸亥仲春遊楓園次韻…」	癸亥仲春	江東百抽子艸より蒙山君案下宛	巻子	1巻	東皐逸夫拝稿
八六五	詩文「楓園小集」	乙未3月8日	林整宇外2名	巻子	1巻	
八六六	書牘「疇昔被示落花一律…」	丁巳3月21日	鷲峰叟より泰窩宛	巻紙	1通	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
八六七	鶴山詩文	癸亥3月26日	竹洞、整宇	巻子	1巻	八紙中詩箋二紙	49
八六八	詩文「楓園詩稿」	癸亥季春	鳳岡主人整宇林子	巻子	1巻		50
八六九	古風長篇題蒙山君之今日堂	癸酉暮春雨中	東皐逸夫岡泰	一紙	1通		51
八七〇	詩文「答花下待客問」	乙卯之歳暮春之季	忍岡塾主	巻子	1巻		52
八七一	漢詩懐詩「奉応和歌之躅謝蒙山人之東梅花」	癸亥春日	鶴山子拝稿	一紙	1通	厚紙	53
八七二	詩文「藤君孟幹留別韻」	丁巳端午前1日和	林学士、僕散懶叟	巻子	1巻	絵入詩箋一葉あり	54
八七三	詩文「今日被過予之…」	癸亥5月上浣	松柏堂主人藤潛(勿より楓園主人宛	巻子	1巻		55
八七四	寿性院悼文	癸亥6月念3日	石麟麟(喝)	巻子	1巻		56
八七五	詩稿「秋日喜」	戊午8月7日	林整宇外6名	巻子	1巻	見返欠	57
八七六	弄月二十品	戊午8月16日	林整宇外	巻子	1巻		58
八七七	詩文「松園詩稿」十一首	戊午8月25日	整宇	巻子	1巻		59
八七八	楓園詩稿「秋月十吟并序」	戊午仲秋	鷲峰老叟より青山雅士宛	巻子	1巻		60
八七九	漢詩	癸亥9月13日	鳳岡外3名	巻子	1巻	前欠	61
八八〇	癸亥九月十三夜詩巻	癸亥9月13日	鶏峰林春宗外28名	巻子	1巻		62
八八一	丁巳九月十三夜五十詠	丁巳9月20日	林学士外12名	巻子	1巻		63
八八二	詩文「国士読林和靖集」	丙寅立秋日	崔山人野節稿	巻子	1巻		64
八八三	詩文「遠別吟寄」	癸亥陽月10日	鳳岡逸民林直民	巻子	1巻		65
八八四	送理境道人還山詩序	甲戌陽月	蒙山敬人	継紙	1通		66
八八五	訪存誠疾文	季冬中澣	不詳	一紙	1通	竹洞の評あり	67

八八六	儉養園記	庚辰臘月下澣	国主孟幹	一紙	1通		68
八八七	詩文「晋軒小集」	旗蒙單閼復月8日	整宇外15名	巻子	1巻		69
八八八	清韻	丁巳□月	林整宇外6名	巻子	1巻	見返欠	70
八八九	試箋	(江戸)	右恩公墨竹吟臣馬三男学	一紙	1通		71
八九〇	五言律詞「奉謝厳君賜桜峰花」	(江戸)	勝直熙	メクリ	1紙		72
八九一	直條詩草稿	(江戸)	(直條)	紙	3枚		73
八九二	兼而心得之條	(江戸)	(直郷)	折紙	1通		74
八九三	歌集	(江戸)	不詳	書冊	1冊	直條外9名の歌、表紙欠	75
八九四	賀歌	(江戸)	藤原朝臣直郷	竪紙	1通	包紙あり	76
八九五	詩箋	(江戸)	林学士	一紙	1通		77
八九六	秋日祭祖神和歌二首	(江戸)	藤原朝臣直郷	一紙	1通		78
八九七	休々亭記	(江戸)	直條(作)竹洞(添削)	一紙	1通		79
八九八	和歌八首	(江戸)	不詳	一紙	1通	後欠	80
八九九	和歌「華甲の賀」一首	(江戸)	慈貞院	一紙	1通		81
九〇〇	和歌「つくしたる…」一首	(江戸)	不詳	一紙	1通		82
九〇一	和歌「夏祓」二首	(江戸)	不詳	一紙	1通		83
九〇二	中将姫山居語	(江戸)	不詳	折紙	1通		84
九〇三	七言絶句	(江戸)	藤直熙	一紙	1通		85
九〇四	小懐紙定家十躰	(江戸)	鹿島藩犬塚酒見外	切紙	15通	包紙あり	86

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
九〇五	和歌小懐紙	(江戸)	鹿島藩士原忠利外8名	切紙	34通	包紙あり	87
九〇六	漢詩	(江戸)	青山雲高(直條ヵ)	一紙	1通	前欠	88
九〇七	連歌(発句)	(江戸)	宗春	短冊	1葉		89
九〇八	書牘集(「巻頭謹答」)	(江戸)	野節より備州刺史楓園藤公宛	巻子	1巻		90
九〇九	和歌短冊	(江戸)	直大外	短冊	128葉		91
九一〇	漢詩短冊	(江戸)	友梅外	短冊	22葉		92
九一一	秋日祭祖神和歌三首	(江戸)	直郷(散位)	一紙	1通		93
九一二	和歌「白露も…」一首	(江戸)	直郷ヵ	一紙	1通		94
九一三	松蔭社奉納祈雨詠三首和歌	(江戸)	直郷	一紙	1通		95
九一四	漢詩「過相州鳴立沢…」	(江戸)	直條	一紙	1通	朱点評入	96
九一五	遊道灌山記	(江戸)	林整宇	巻子	1巻		97
九一六	秋日祭祖神和歌二首	(江戸)	直郷(散位)	一紙	1通		98
九一七	琵琶湖詩歌	(江戸)	不詳	継紙	1通	(包紙外題)「景詠」	99
九一八	和歌「松雪軒といふことを…」五首	(江戸)	直條	継紙	1通	前欠	100
九一九	頼朝論	(江戸)	不詳	一紙	1通	朱訂正点入	101
九二〇	応命賦紅葉	(江戸)	勝直熙稿	一紙	1通		102
九二一	七言絶句「聞道湖中…」	(江戸)	不詳	一紙	1通		103
九二二	十二月和歌寄合書	(江戸)	尭孝外	短冊	10葉		104
九二三	鳳岡等詩箋集	(江戸)	林整宇外	巻子	1巻		105

九三四	詩文「賜氷節退公之後…」	(江戸)	林整宇外4名	巻子	1巻	詩六篇　和歌一首	106
九三五	詩文「暮春遊芝園…」	(江戸)	桜峯林叟外3名	巻子	1巻		107
九三六	詩文「諸家詩箋集」	(江戸)	楓園外	巻子	1巻		108
九三七	詩草稿	(江戸)	鶴山外13名	継紙	1通	前欠	109
九三八	詩文「鳥石岡辺…」	(江戸)	六斎	巻子	1巻		110
九三九	観花吟	(江戸)	林□外27名	巻子	1巻		111
九三〇	花律詩韻	(江戸)	林学士3名	巻子	1巻		112
九三一	詩文「禁中月…」	(江戸)	林祭酒外	巻子	1巻	漢詩、和歌	113
九三二	鳳岡詩小集	(江戸)	林整宇著	巻子	1巻		114
九三三	詩文「春晩遊青山見花…」	(江戸)	林整宇外2名	巻子	1巻	懐紙三枚	115
九三四	詩文「答楓園主人」	(江戸)	鷲峰	巻子	1巻		116
九三五	詩文「季夏秋六日遊葛東…」	(江戸)	伯棟外3名	巻子	1巻		117
九三六	題詠和歌二九題	(江戸)	直條カ	巻子	1巻	評入	118
九三七	花月十題和歌	(江戸)	竹軒詠	巻子	1巻	見返欠	119
九三八	詠花月十題和歌	(江戸)	直條	巻子	1巻	見返欠	120
九三九	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	浄書本	121
九四〇	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	草稿本	122
九四一	当流古今秘奥	(江戸)	直郷	巻子	1巻	見返欠	123
九四二	直條詠草(題詠63首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	評入	124
九四三	詠五十首和歌	(江戸)	直條	巻子	1巻	評入	125

番号	名称	時代	作者	器・形状	員数	備考	内番号
六四四	直條詠草(題詠59首)	(江戸)	直隆	巻子	1巻		126
六四五	直條詠草(題詠18首)	(江戸)	直條	巻子	1巻		127
六四六	題詠六十首和歌	(江戸)	直隆	巻子	1巻	題簽欠	128
六四七	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻		129
六四八	題詠五十三首和歌	(江戸)	直隆	巻子	1巻		130
六四九	直條詠草(「太神宮奉納詠三十首」)	(江戸)	直條	巻子	1巻		131
六五〇	直條詠草(題詠46首)	(江戸)	直條	巻子	1巻		132
六五一	直條詠草(題詠42首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	奥書あり	133
六五三	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	評点入	134
六五三	直條詠草(題詠70首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	評点入	135
六五四	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	奥書あり(濱)	136
六五五	直條詠草(題詠35首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	奥書あり(資茂)	137
六五六	直條詠草(題詠45首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	草稿	138
六五七	直條詠草(題詠58首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	草稿	139
六五八	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	奥書あり	140
六五九	七夕詠七首和歌外	(江戸)	直條	巻子	1巻		141
六六〇	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻	奥書あり(資茂)	142
六六一	直條詠草(題詠52首)	(江戸)	直條	巻子	1巻		143
六六二	直條詠草(題詠67首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	草稿	144
六六三	直條詠草(題詠70首)	(江戸)	直條	巻子	1巻	草稿	145

六六四	楓園詠草(連歌発句集48句)	(江戸)	臥陰	巻子	1巻	奥書あり(法橋星純)	146
六六五	直條詠草外竹軒俳諧	(江戸)	臥陰	巻子	1巻	奥書あり(兼豊印)	147
六六六	楓園詠草(連歌発句集97句)	(江戸)	楓園	巻子	1巻	奥書あり(芳藤)	148
六六七	連歌	(江戸)	宗因(百韻)	巻子	1巻		149
六六八	愚詠「いかにせん…」	(江戸)	藤原通敬	短冊	1葉	包紙あり	150
六六九	和歌	(江戸)	年軽	短冊	1葉	包紙あり	151
六七〇	五十首和歌	(江戸)	直條(作)日野弘資(評)	巻子	1巻		152
六七一	四十首和歌	(江戸)	直條ヵ	巻子	1巻	評点入	153
六七二	鷲峰・整宇詩巻	(江戸)	林家第二代鷲峰、三代鳳岡	メクリ	1枚	前後欠	154
六七三	詩文(江戸の聖堂に会しての漢詩真蹟)	(江戸)	林鷲峰・鳳岡以下門下	巻子	1巻		155
六七四	和歌	(江戸)	玉鳳(詠)、長好(評)	巻子	1巻		156
六七五	和歌詠草	(江戸)	長賢歳暮・試筆詠外	巻子	1巻	桐箱入	157
六七六	源氏大鏡	(江戸)	関白信尚公姫大光院殿(筆)	書冊	3冊	奥書あり、杉箱入	158
六七七	宝善院様御筆小色紙	(江戸)	直條前室千代　自詠	小色紙	8枚	包紙あり	159
六七八	勅筆小色紙	(江戸)	不詳	小色紙	2枚	包紙あり	160
六七九	古薬園訪瑞雲菴記	戊寅孟夏	臥陰	巻紙	1通		161
六八〇	小堀蓬雪老人追悼詩	甲戌8月4日	直條(友人蒙山樵夫)	一紙	1通		162

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
九八一	直條詠草	(江戸)	直條	巻子	1巻		163
	2　免許状(秘伝)						
九八二	萎花集(香道)	寛文9年9月15日	鍋島備前守直隆(花押)より(不明)	書冊小蝶装	1冊	奥書あり	1
九八三	蹴鞠免状	寛文13年6月19日	(花押)より(不明)	堅紙	1通	包紙あり	2
九八四	古今三鳥大事	延宝2年2月中旬	長好より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	3
九八五	源氏物語三ヶ之極秘	延宝3年4月	伊東栄治より(不明)	巻子	1巻	奥書あり	4
九八六	勅薫衣香方	元禄2年7月19日	三宅新左ヱ門(印)より鍋嶋備前守宛	書冊	1冊	奥書あり	5
九八七	百人一首秘々伝　乾坤	宝永元年	風観斎長雅より(不明)	巻子	2巻	(直條へ)	6
九八八	詠歌大概安心秘訳　乾坤	宝永元年	風観斎長雅より(不明)	巻子	2巻	(直條へ)	7
九八九	執筆之法(写)	(江戸)	不詳	巻子	1巻	漢文　白字板木　朱絵図入	8
九九〇	碁指導書	(江戸)	不詳	書冊	1冊		9
九九一	古今伝授切紙	(江戸)	不詳	巻子	1巻	奥書あり	10
九九二	古今集三ヶ之大事	(江戸)	伊東栄治より不明	巻子	1巻		11
九九三	百人一首相伝秘々(写)	(江戸)	不詳	巻子	1巻		12
九九四	連歌仕様に秘伝ある事(写)	(江戸)	不詳	巻子	1巻		13
九九五	伊勢物語伝授之切紙	(江戸)	不詳	巻子	1巻	奥書あり	14

3 雑

九九六	内題(二十八宿之巻)	寛文13年8月3日	星野十郎左ヱ門重賢より(不明)	巻紙	1通	1
九九七	西遊旅譚　巻之伍(版本)	寛政4年	薗江平誌□(司馬)江漢著	書冊	1冊	版本春波楼 2
九九八	目覚草	嘉永7年春	宗(花押)(序)より(不明)	書冊	1冊	3
九九九	木庵書(薬の讃)	(江戸)巳　未冬	黄檗木庵より長尾全庵	紙	1枚	4
一〇〇〇	茶案	(江戸)	蒙山樵人泰高記	書冊	1冊	朱書あり 5
一〇〇一	万聞書	(江戸)	不詳	小横帳	1冊	漢詩文抜書、斐紙 6
一〇〇二	画伝要略全	(江戸)	勝良識より不明	書冊	1冊	7
一〇〇三	喫茶活法奥義集　上	(江戸)	不詳	書冊	1冊	8
一〇〇四	道行文字	(江戸)	不詳	継紙	1通	9
一〇〇五	唐詩帰巻二十～巻二十四(木版)	(江戸)	景陵　鐘惺伍敬父譚元春友夏父選定	書冊	1冊	10
一〇〇六	鉄鐘手前之事	(江戸)	不詳	書冊	1冊	11
一〇〇七	七事之内茶歌舞妓廻り炭数茶	(江戸)	一指庵	書冊	1冊	12
一〇〇八	薫物後小松院御聞書	(江戸)	不詳	書冊	1冊	行成表紙、後欠 13
一〇〇九	扶桑百将伝全	(江戸)	不詳	書冊	1冊	14
一〇一〇	請雨考(版本の写)	(江戸)	古雄常庵より不明	書冊	1冊	15
一〇一一	観世流謡題揃	(江戸)	不詳	袖珍本	1冊	16

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一〇一三	七事之内廻り花花月旦座一、二、三(写)	(江戸)	一指庵(花押)より(不明)	書冊	1冊		17
一〇一三	藤頼地蔵堂記	(江戸)	藤原直條	巻紙	1通	朱評点入	18
一〇一四	新勅撰和歌集巻第二十(写)	(江戸)	不詳	巻子	1巻	定家流の写本	19
	G 寺社関係						
一〇一五	垂迹縁起系図	寛文7年11月24日	山邊淡路入道神景	メクリ	1枚		1
一〇一六	神道心銘	延宝5年4月23日	不詳	切紙	1通		2
一〇一七	若宮大明神垂迹縁起	延宝7年11月吉日	山邊淡路入道神景	巻紙	1巻		3
一〇一八	普明禅寺記	貞享5年7月26日	直條孟幹	巻紙	1通		4
一〇一九	〔天山社勧請記〕	宝暦11年秋なか月もちの日	藤原寿賀子(直郷妻)	一紙	1枚		5
一〇二〇	寺社方記録(明和3年改)	明和3年11月	譜役所	書冊	1冊		6
一〇二一	祈願状(座席相論の件)	天明7年9月吉祥日	不詳	竪紙	1通		7
一〇二三	祐徳十代泰源新添簿	文化7年12月朔日	良道禅隠より智源和尚宛	書冊	1冊		8
一〇二三	新添監寺活山代改	文政5年3日	円福山常住	書冊	1冊		9
一〇二四	祐徳十二代良道新添簿	天保6年6月2日	三代良道より瑞雲和尚宛	書冊	1冊		10
一〇二五	水府公御触書并自葬式祭文廃寺一件	天保15年正月	不詳	綴	1綴		11

一〇二七	大士山役住僧私了簡之事	(江戸)	不詳(印あり)	継紙	1通		12
一〇二八	天山宮墓縁起(小城郡)	(江戸)	雲海山岩蔵寺六四世法印乗久蒿	巻子	1巻		13
一〇二九	彦山来暦略記(写)	(江戸中期)	不詳	書冊	1冊		14
一〇三〇	藤津郡大士観音堂略記	(江戸)	不詳	紙	1通	破損　虫喰	15
	H　書状						
一〇三一	箱(諸届等)	(江戸)	不詳	箱	1箱		1-(1)
一〇三二	書付(家作許可の写)	(文化元年)11月	松平肥前守より(公義)宛	一紙	1通	包紙あり	1-(2)
一〇三三	届書写(高地に家作したき旨)	(文化元年)12月7日	鍋嶋繼吉より(公儀)宛	一紙	1通	包紙あり	1-(3)
一〇三三	洪水凌方申合頭書(鹿島屋敷移転)	(江戸)	不詳	横綴	1綴		1-(4)
一〇三四	洪水際仕組地取(洪水際各所対策)	(江戸)	不詳	横綴	1綴		1-(5)
一〇三五	書状(御館御引直之儀)	(江戸)12月5日	志賀頼母俊親(花押)より田中内匠宛	継紙	1通	二紙、包紙あり	1-(6)
一〇三六	書状(御陣屋引移りの件)	(文化元年)12月8日	志賀頼母俊親(花押)より田中内匠宛	継紙	1通	八紙、包紙あり	1-(7)
一〇三七	江戸懸合案詞(出府使の件)	文久元年酉5月より	御側役所(作)	書冊	1冊		2-(1)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一〇三八	覚(反物等注文)	(江戸)8月22日	えびすや忠五郎より北御門様宛	一紙	1通		2-(2)
一〇三九	書状(越年の祝詞)	(江戸)正月2日	佐々木萬次郎(花押)より鍋和泉守宛	折紙	1通		3
一〇四〇	書状(神勧請の事)	(江戸)正月13日	摂津守より備前守宛	継紙	1通		4
一〇四一	書状(改年の慶賀他)	(江戸)正月19日	和泉守直朝(印)より備前守宛	折紙	1通		5
一〇四二	書状(様躰の伺い)	(江戸)正月19日	直澄より泉州宛	一紙	1通		6
一〇四三	書状(来会の希望)	(江戸)正月21日	奈尾より図書宛	継紙	1通		7
一〇四四	書状(近況報告)	(江戸)正月24日	鍋和泉守より鍋帯刀宛	折紙	1通		8
一〇四五	書状(登城御目見の報に対する返事)	(江戸)正月25日	紹龍直朝(印)より岩松宛	折紙	1通		9
一〇四六	書状(長崎より土産の事他)	(江戸)正月26日	信濃守綱茂(花押)より備前守宛	綴	1通		10
一〇四七	書状(年始のふるまい方問合せ)	(江戸)正月26日	佐賀内よりいつみの守宛	折紙	1紙		11
一〇四八	書状(御惣髪の件)	(江戸)正月26日	田中内匠より	継紙	1通		12
一〇四九	書状(酒天童子の絵他差越候事)	(江戸)正月28日	紹龍直朝(印)より岩松(直堅)宛	折紙	1通		13
一〇五〇	書状(年頭の祝詞)	(江戸)2月4日	(花押)より岩松宛	折紙	1通		14
一〇五一	書状(新陀様崩御)	(江戸)2月初4日	格峰より林孫四郎宛	一紙	1通		15
一〇五二	書状(年始祝儀に対する御礼)	(江戸)2月5日	中務(直英花押)より和泉守様宛	折紙	1通		16
一〇五三	書状	(江戸)2月9日	橋能登守(花押)より鍋備前守宛	折紙	1通		17

一〇三四	書状（若君の事、お長様事）	（江戸）2月10日	備前守直條（花押）より泉州宛	綴	1綴	18
一〇三五	和泉守書状十代（家中座席の儀）	（江戸）2月12日	和泉守より泉州宛	一紙	1通	19
一〇三六	書状（長崎へ越す件）	（江戸）仲春15日	格峯より泉州宛	一紙	1通	20
一〇三七	書状（鍋島庄兵衛書状披見）	（江戸）2月16日	信濃守（花押）より和泉守	折紙	1通 包紙あり	21
一〇三八	書状（出頭延引）	（江戸）仲春28日	格峯より老居士宛	一紙	1通	22
一〇三九	書状（家督の祝儀）	（江戸）3月2日	飛弾守より和泉守宛	一紙	1通	23
一〇四〇	書状（嬉野名跡の件）	（江戸）3月9日	和泉守（花押・朱印）より備前守宛	竪紙	1通 包紙あり	24
一〇四一	書状（和泉守参勤の件）	（江戸）3月11日	断橋より中務□伯方宛	折紙	1通	25
一〇四二	書状（何事も自分へ聞くよう）	（江戸）3月11日	備前守より志賀宮左ヱ門宛	一紙	1通	26
一〇四三	書状（久松死去の件）	（江戸）3月12日	左京（茂村・花押）より原弥太右ヱ門宛	折紙	1通	27
一〇四四	書状（御着駕挨拶）	（江戸）3月16日	格峯より泉州宛	一紙	1通	28
一〇四五	書状（紙面の趣承知の事）	（江戸）3月21日	丹波守光茂（花押）より和泉守宛	折紙	1通	29
一〇四六	書状（誓詞延引）	（江戸）3月22日	紹龍（直朝）より岩松宛	継紙	1通	30-(1)
一〇四七	断簡（返事披見の事）	（江戸）	不詳	継紙	1通	30-(2)
一〇四八	断簡（居宅の儀）	（江戸）3月22日	紹龍（直朝印）より岩松殿宛	折紙	1通	31
一〇四九	断簡（伊右衛門罷登候事）	（江戸）3月25日	大勝直英（花押）より岩松宛	折紙	1通	32
一〇五〇	断簡（貴殿講釈断の件）	（江戸）3月26日	信濃守より鍋嶋備前守宛	一紙	1通	33
一〇五一	断簡（嬉野卯右ヱ門後見の事）	（江戸）3月27日	紹龍直朝（印）より岩松宛	継紙	1通	34

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一〇七三	断簡（尊書并御覚書拝見）	（江戸）4月9日	宮内政利（花押）より紹龍宛	折紙	1通		35
一〇七三	断簡（婚礼延引）	（江戸）卯月9日	和泉守直朝より備前守宛	継紙	1通		36
一〇七四	断簡（疱瘡逸候の事）	（江戸）4月28日	紹龍より岩松宛	継紙	1通		37
一〇七五	断簡（代替には暫詞差上）	（江戸）4月28日	紹龍（直朝印）より岩松殿宛	折紙	1通		38
一〇七六	断簡（備前守死去に付跡式の件）	（江戸）閏卯月28日	紹龍（直朝印）より岩松殿宛	綴	1通	折紙二通	39
一〇七七	断簡（佐賀行延引の事）	（江戸）5月20日	備前守（花押）より尊谷（将監）宛	堅紙	1通		40
一〇七八	断簡（盃・銚子・鍋などの礼）	（江戸）5月21日	紹龍直朝（印）より岩松殿宛	折紙	1通		41
一〇七九	断簡（お礼の事）	（江戸）5月21日	寿院より紹龍宛	折紙	1通		42
一〇八〇	断簡（伽羅割について）	（江戸）5月21日	紹龍（直朝印）より岩松殿宛	折紙	1通		43
一〇八一	断簡（お光の祝言の件）	（江戸）5月21日	丹後守より鍋嶋和泉守宛	一紙	1通		44
一〇八二	書状（奥方、蓮池から帰られ少々病気の由）	（江戸）5月23日	右京直詮（花押）より立石新兵ヱ宛	折紙	1通		45
一〇八三	書状（疱瘡付薬到着の件）	（江戸）6月8日	紹龍直朝（印）より岩松宛	折紙	1通		46
一〇八四	書状（今後別心なきことを求める）	（江戸）6月11日	備前守より志賀宮左ヱ門宛	一紙	1通		47
一〇八五	書状（お光殿着府後、青山屋敷借宅の件）	（江戸）6月17日	和泉守直朝（印）より備前守宛	継紙	1通		48
一〇八六	書状（病気見舞等に対する御礼）	（江戸）6月21日	れん清院より「誰にても御ひろう」	折紙	1通		49

一〇八七	書状(彦山座主の参合、孫男の出仕)	(江戸)6月23日	(不明)より鍋島備前守宛	折紙	1通		50
一〇八八	書状(嶋源之儀取沙汰不宜事)	(江戸)6月26日	丹波守光茂より鍋島和泉守宛	継紙	1通		51
一〇八九	岡村采女与中連判の書出	(江戸)閏6月19日	矢沢覚左衛門他14名より岡村采女宛	継紙	1通	三紙、包紙あり	52
一〇九〇	書状(五節句勤願について)	(江戸)7月朔日	紹龍(直朝印)より岩松殿宛	折紙	1通		53
一〇九一	書状(榊原式部御いとまの件)	(江戸)7月3日	いつミ守より佐賀御内方宛	綴	1通		54
一〇九二	書状(瓜賞味に付御礼)	(江戸)7月4日	格峰より林孫四郎宛	一紙	1通		55
一〇九三	書状(病気快気の旨)	(江戸)7月7日	和泉守直朝より備前守宛	折紙	1通		56
一〇九四	書状(暑中見廻りの謝詞)	(江戸)7月8日	雲叟(直興花押)より原平兵ヱ他3名宛	折紙	1通		57
一〇九五	書状(御生見玉の御祝の事)	(江戸)7月8日	佐賀やしき内より和泉守宛	折紙	1通		58
一〇九六	書状(天満屋敷に関連する収納米代銀の件)	(江戸)7月8日	峯与市右ヱ門より麦野八左ヱ門宛	継紙	1通		59
一〇九七	書状(古今集の値段の件)	(江戸)7月13日	成瀬峯雲より井田道祐宛	一紙	1通	三枚	60
一〇九八	書状(西岡作右衛門無調法により科)	(江戸)7月19日	岩松直堅(花押)より紹龍宛	綴	1通	折紙	61
一〇九九	書状	(江戸)7月19日	格峯より泉州宛	一紙	1通		62
一一〇〇	書状(明日は必ず出頭の旨)	(江戸)7月20日	不詳	切紙	1通		63
一一〇一	書状(久布三左衛門差越しの件)	(江戸)7月21日	紹龍直朝(印)より岩松宛	折紙	1通		64
一一〇二	書状(改名の事)	(江戸)7月22日	中務直英(花押)より岩松宛	折紙	1通		65

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号	
一一〇三	書状(仙洞女院御所遷幸の件)	(江戸)7月22日	岩松(直堅花押)より紹龍宛	折紙	1通		66	
一一〇四	書状(五節句勤願の儀)	(江戸)7月22日	岩松(直堅花押)より紹龍宛	綴	1通	折紙、二枚	67	
一一〇五	書状(巡見上使の件)	(江戸)7月25日	中務より和泉守宛	折紙	1通		68	
一一〇六	書状(雪舟絵の儀)	(江戸)7月26日	和泉守直朝(花押)より宗甫宛	折紙	1通		69	
一一〇七	書状(西丸登城御目見)	(江戸)8月2日	岩松直堅(花押)より紹龍宛	折紙	1通		70	
一一〇八	書状(瓶拝領の御礼)	(江戸)仲秋初3日	格峯より孫四郎宛	一紙	1通	切封	71	
一一〇九	書状(仙洞より拝領薫物の礼)	(江戸)8月15日	紹龍直朝(印)より岩松宛	折紙	1通		72	
一一一〇	書状(昔明寺の件)	(江戸)8月17日	和泉守より格峯宛	切紙	1通		73	
一一一一	書状(高島平五左衛門の口上)	(江戸)8月21日	いつみの守より備前守宛	折紙	1通		74	
一一一二	書状(鹿嶋への御礼)	(江戸)8月26日	断橋より岩松宛	折紙	1通		75	
一一一三	書状(御家の御由緒)	(江戸)8月27日	板部轆轢より柾要人様宛	折紙	1通		76	
一一一四	書状(書物進上の件)	(江戸)9月2日	柳生内膳宗冬(花押)より鍋島和泉守宛	折紙	1通	包紙あり	77	
一一一五	書状(将監知行相続)	(江戸)9月13日	和泉守(花押)より備前守宛	竪紙	1通		78	
一一一六	書状(前髪執の儀)	(江戸)9月13日	和泉守より大木八右ヱ門他1名宛	折紙	1通		79	
一一一七	書状(十三夜の事)	(江戸)きく月15日	備前よりおく方宛	折紙	1通		80	
一一一八	書状(御目見終了の件)	(江戸)9月19日	紹龍直朝(花押)より岩松宛	折紙	1通		81	

二二九	書状(明晩御入来)	(江戸)9月24日	信濃守より鍋島備前守宛	一紙	1通		82
二三〇	書状(御代替前年の居所)	(江戸)9月28日	丹波守光茂(花押)より鍋島和泉守宛	継紙	1通		83
二三一	書状(近況報告)	(江戸)10月2日	信濃守綱茂(花押)より鍋島備前守宛	綴	1通	折紙	84
二三二	書状(溜池屋敷の事他)	(江戸)小春4日	信濃守(花押)より備前守宛	綴(折紙)	1通	折紙	85
二三三	書状(丹州の料理招待の件)	(江戸)10月8日	信濃守より(不明)	一紙	1通		86
二三四	書状	(江戸)小春14日	格峯より泉州宛	一紙	1通		87
二三五	書状(八朔登城の件)	(江戸)10月15日	了関直之(黒印)より岩松宛	折紙	1通		88
二三六	書状(丹州今月朔日に御暇)	(江戸)小春18日	信濃守より鍋島備前守宛	折紙	1通		89
二三七	書状	(江戸)10月20日	蒙孝より肯木意益宛	紙	1通		90
二三八	書状(久松病気の件)	(江戸)10月21日	紹龍直朝(印)より岩松宛	折紙	1通		91
二三九	書状(蓮清院死去の件)	(江戸)10月25日	紹龍直朝(印)より中野丁伯宛	折紙	1通		92
二三〇	書状(近日参上の旨)	(江戸)小春晦日	不詳	切紙	1通		93
二三一	書状(日野殿より入手の伊勢物語詞書の件)	(江戸)霜月2日	備前守直條(花押)より泉州宛	一紙	1通		94
二三二	書状(伊達殿の儀承知の事)	(江戸)11月8日	摂津守より備州宛	継紙	1通		95
二三三	書状(神代領の境論)	(江戸)霜月9日	備前守より泉州宛	折紙	1通	五枚	96
二三四	書状(火事場乗出のため馬調達の件)	(江戸)11月11日	紹龍より久布白三左ェ門他1名宛	継紙	1通		97
二三五	書状	(江戸)11月14日	河野松庵より鍋備前守宛	継紙	1通		98
二三六	書状(私信)	(江戸)11月14日	格峯より泉州宛	一紙	1通		99

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三七	書状(仕置などの儀)	(江戸)12月13日	紹龍より岩松宛	折紙	1通		100
二三八	書状(書状落手の報)	(江戸)12月21日	紹龍直朝(印)より岩松宛	折紙	1通		101
二三九	書状(御祝詞)	(江戸)12月21日	和泉守直朝(印)より備前守宛	折紙	1通		102
二四〇	書状	(江戸)極月28日	田中縫殿より原大衛宛	継紙	1通	二枚、包紙あり	103
二四一	書状(手餅小重拝領の礼)	(江戸)12月28日	空越(カ)和尚より花形老居士様閣下宛	折紙	1通		104
二四二	書状(昨日の馳走に対する御礼)	(江戸)7月	縁羅より孫四郎宛	切紙	1通		105
二四三	書状(先日の書付についての家老への相談を求む)	(江戸)7月	相良三郎兵ヱより木庭又右ヱ門外2名宛	継紙	1通		106
二四四	書状(家中男女参会の乱をつつしむ)	(江戸)7月	不詳	一紙	1通		107
二四五	書状(一橋中納言政務引退)	(江戸)10月	水野和泉守より	切紙	2通	包紙あり	108
二四六	書状(原柳商の家老職)	(江戸)10月	備前守より犬塚図書外1名宛	折紙	1通		109
二四七	書状	(江戸)11月	格峯より泉州宛	一紙	1通		110
二四八	書状(出国の段につき挨拶)	(江戸)4日	飛騨守より泉州宛	一紙	1通		111
二四九	書状(明五日当山大泉へ理下さるべき由)	(江戸)4日	格峯より孫四郎宛	一紙	1通		112
二五〇	書状(手紙の返事の件)	(江戸)7日	格峯より林孫四郎宛	一紙	1通		113
二五一	書状(手翰拝見の件)	(江戸)21日	格峯より(行篤)宛	折紙	1通	切封あり	114
二五二	書状(さじの儀の件)	(江戸)23日	直澄より泉州宛	竪紙	1通		115

二六五	書状(箱作成の件)	(江戸)27日	東楽庵より林孫四郎宛	継紙	1通		116
二六六	書状(式部養子の件)	(江戸)29日	備前守より泉州宛	一紙	1通		117
二六七	書状(政務方へ見合すべし)	(江戸)	不詳	一紙	1通		118
二六八	書状(下国道中の様子)	(江戸)	(不明)より鍋島信濃守宛	折紙	1通		119
二六九	書状(亀之介の件)	(江戸)	昭夏より備前守宛	紙	1通		120
二七〇	書状(志賀と左近の縁組)	(江戸)	不詳	一紙	1通		121
二七一	書状(手紙に対するお礼)	(江戸)(9月19日に承4返事)	佐賀門よりいつみの守様宛	折紙	1通		122
二七二	書状(当地御越の際は立ち寄るように)	(江戸)	(佐賀屋敷にて)門より和泉守様宛	折紙	1通		123
二七三	書状(送付の重の御礼)	(江戸)	断橋より紹龍宛	折紙	1通		124
二七四	書状(石柱額彫方)	(江戸)	格峯より林孫四郎宛	一紙	1通		125
二七五	書状(明後日は福原寺へ登る)	(江戸)	格峯より孫四郎宛	一紙	1通		126
二七六	書状(其元の銀子延割)	(江戸)	格峯より孫四郎宛	一紙	1通		127
二七七	書状(三日夜、大坂へ着船)	(江戸)	不詳	綴	1綴	折紙二枚	128
二七八	書状(久松の件)	(江戸)	不詳	一紙	1通		129
二七九	書状(代替に付誓詞願)	(江戸)	不詳	一紙	1通		130
二八〇	書状(あいさつ状)	(江戸)	ひんらていよりな越よし様宛	一紙	1通	三枚	131
二八一	書状(若君誕生の件)	(江戸)	不詳	折紙	1通	三枚	132
二八二	書状(普請掃除遅れ)	(江戸)	東楽より林孫四郎宛	継紙	1通		133
二八三	書状扣	(慶応2頃ヵ)	不詳	書冊	1冊		134
二八四	書状(来る21日の御祝の件)	(江戸)	内より和泉守宛	折紙	1通		135

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七三	書状(背振山上宮嶽国堺の件)	江戸	不詳	継紙	1通		136
二七四	書状(寒気見舞)	江戸	内より和泉守	折紙	1通	袋あり	137
二七五	書状(先達て御出の件)	江戸	姉(唯證院)より備州(備中守)宛	継紙	1通		135
二七六	仰せ達し写	慶応4年正月7日	(御名御印)より鍋島河内他2名宛	継紙	1通	前・中欠	139
	Ⅰ 家						
	1 家譜・系図						
二七七	忠茂公御一代記(写)	寛保元年5月日	内史より内匠様宛	継紙	1通	包紙に「明治四年一月一九日謹写」(彬の印)	1
二七八	少貳系図	江戸	不詳	継紙	1枚	包紙あり	2
二七九	系図草稿(鍋島系図)	江戸	不詳	継紙	1枚		3
二八〇	少貳系図(秀郷～直條)	江戸	不詳	巻子装	1巻		4
二八一	鹿嶋家正系譜	江戸	不詳	メクリ			5
二八二	少貳系図(秀郷～直條)	江戸	不詳	メクリ			6
二八三	(略譜)(忠茂～直郷 誕生・家督・死亡一覧)	江戸	不詳	一紙	1通		7-(1)
二八四	略譜(七代和泉守の略譜)	江戸	不詳	継紙	1通		7-(2)

二八五	覚(系図の覚)	江戸	不詳	綴	1綴		8
二八六	系図草稿(鍋島系図)	江戸	不詳	竪紙	1通		9
二八七	少貳系図(秀郷～直郷)	江戸	不詳	巻子装	1巻		10
二八八	鹿嶋正系譜(経秀～直熙)	江戸	不詳	書冊	1冊		11
	2　辞令・褒状						
二八九	桐箱	江戸	不詳	桐箱	1箱	箱表墨書「口宣　一通　宣旨　一通　位記　一巻　直條公」	1-(1)
二九〇	宣旨(従五位下)	寛文12年12月28日	大外記師定より藤原直隆・鍋島備前守宛	一紙	1通	二九〇、二九一同一箱内包紙あり	1-(2)
二九一	口宣案	寛永17年12月29日	蔵人頭宣順より藤原重継・鍋島刑部大輔宛	一紙	2通	「口宣両通　鍋島刑部大輔」包紙あり	1-(3)
二九二	桐箱	江戸	不詳	桐箱	1箱	箱表墨書「口宣案　二枚　宣旨　一枚　位記　一券　鍋島和泉守直堅」	2-(1)
二九三	位記(従五位下)	宝永6年12月15日	大外記師英右中弁より藤原直堅・鍋島和泉守宛	巻子装	1巻	二九三～二九五同一箱内包紙あり	2-(2)
二九四	宣旨(従五位下)	宝永6年12月15日	大外記師英右中弁より藤原直堅・鍋島和泉守宛	一紙	1通	包紙あり	2-(3)
二九五	〔口宣・宣旨・位記に関する注記〕	宝永7年	不詳	一紙	3通		2-(4)
二九六	桐箱	江戸	不詳	桐箱	1箱	箱表墨書「口宣、泰国院殿鍋島和泉守」とあり	3-(1)
二九七	位記(従五位下)	宝暦13年12月18日	大外記師賀右中弁豫より藤原直熙宛。	巻子装	1巻	二九六～三〇〇包紙あり	3-(2)

番号	名称	時代	作者	員数・形状	員数	備考	内番号
二六八	宣旨(従五位下)	宝暦13年12月18日	大外記師資より藤原直熙・鍋島和泉守宛	一紙	1通		3-(3)
二六九	口宣案(従五位下)	宝暦13年12月18日	蔵人頭光房より藤原直熙・鍋島和泉守宛	一紙	2通	包紙あり	3-(4)
二七〇	〔宣旨に関する記〕	宝暦14年	不詳	折紙	1通		3-(5)
二七一	位記	安永7年12月16日	右中弁篤長より鍋島和泉守宛	巻子装	1巻		4
二七二	杉箱	江戸	不詳	杉箱	1箱	箱表墨書「口宣案二枚 位記一巻 鍋島丹波守直尋」	5-(1)
二七三	宣旨(従五位下)	文化6年12月16日	大外記師資より藤原朝臣直尋宛	一紙	1通	二七三～二七七同一箱内	5-(2)
二七四	位記	文化6年12月16日	大外記師右中弁建房より藤原直尋鍋島丹波守宛	巻子装	1巻		5-(3)
二七五	口宣案(従五位下)	文化6年12月16日	蔵人頭藤原隆純より藤原直尋宛	一紙	1通	包紙あり	5-(4)
二七六	口宣案	文化6年12月16日	蔵人頭藤原隆純より藤原直尋宛	一紙	1通		5-(5)
二七七	鍋島丹波守藤原直尋従五位下諸大夫成御宮物之事	文化7年2月	千種大納言家・足立内記他3名	継紙	1通		5-(6)
	3 雑						
二七八	泰盛院殿一代年記之覚	明暦3年10月21日	直朝	巻子装	1巻	補修あり。「明暦三丁酉年十月三日直朝記之」	1
二七九	定恵院様悌□院様淳晃院様御道具帳	安政2年8月改	中溝義右衛門	書冊	1冊		2

一三〇	婚礼行列巻	江戸	水嶋卜也之成	巻子装	1巻		3
一三一	婚禮行列巻	江戸	水嶋卜也	巻子装	2巻	紺色無紋表紙	4
	J 日記						
一三三	桂翁様御大切其外一件日記写	天保10年2月	不詳	書冊	1冊	二月二一日分日記写	1
一三三	(仮)日記	喜永7年2月14日～2月25日	不詳	書子	1冊	断簡	2
一三四	嘉永七寅年二月御三家御一条日記	嘉永7年2月	請役所	表紙のみ	1枚	おそらく一三三の表紙であろう	3
一三五	佐嘉主張方日記	嘉永7年4月	八澤左ヱ門、永野寿兵ヱ	書冊	1冊		4
一三六	日記	文久2年正月	町方嬉野永四郎外3名	書冊	1冊		5
一三七	日記	元治2年正月	不詳	書冊	1冊		6
一三八	(仮)日記	(江戸)正月8日～12月28日	不詳	書冊	1冊	水損　前欠	7
一三九	(仮)日記(三部村天神裏水井樋)	(江戸)2月9日～4月26日	不詳	書綴	1綴		8
一三〇	(仮)日記	(江戸)3月6日頃～26日	不詳	紙	10枚	前後欠	9
一三一	(仮)日記	(江戸)5月29日～7月25日	不詳	書冊	1冊	前欠	10
一三三	日記	(江戸)4月16日分	不詳	書冊	1冊		11

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一三三	卯一一月四日より佐嘉御越日記	江戸	不詳	書冊	1冊		12
一三四	(仮)藩日記	江戸	不詳	書冊	1冊		13
一三五	(仮)日記	江戸	不詳	紙	8枚	前後欠	14
	K 地図絵図						
一三六	鹿島郷地図	文政13年6月	不詳	紙本着色	1舗		1
一三七	城築作法之図	江戸	不詳	紙本着色	1巻		2
一三八	城築作法之図	江戸	不詳	紙本着色	1巻		3
一三九	神武紀上方諸々御出陣之図	江戸	不詳	紙本着色	1舗		4-(1)
一三〇	神武天皇東征図	江戸	磯波	紙本着色	1舗		4-(2)
一三一	鹿島城図	江戸	不詳	墨書本紙	1舗		5
一三二	主図合結記七・八(各地城郭図)	江戸	不詳	紙本着色	1舗	後欠	6
一三三	江戸御城之図	江戸	不詳	紙本着色	1舗	破損箇所あり	7
一三四	江戸藩邸図	江戸	不詳	紙本着色	1舗		8
一三五	城郭図	江戸	不詳	紙本着色	1舗		9
一三六	鎮嶺閣図	江戸	不詳	墨書、紙	1舗		10

	L 雑					
二三七	元禄御政要聞書趣御秘箱宝物問覚　全	宝暦3年11月	平尾誠右ヱ門信順	書冊	1冊	表書「深秘不許他見」とあり　1
二三八	花木庭籠	享保2年5月	梅崎都市郎	書冊	1冊	延宝5年巳2月2日分虫喰のため書替　2
二三九	御細物帳	慶応2年6月	不詳	書冊	1冊	3
二四〇	酒見太平太館斉藤寛九郎御用	(江戸)3月12日	不詳	継紙	1通	4
二四一	包紙	江戸	河野松庵より鍋島備前守宛	紙	1枚	5
二四二	昔難子教語録	江戸	不詳	切紙	1通	包紙あり　6
二四三	包紙	江戸	不詳	紙	1枚	上書「密用類聚」　7
二四四	包紙	江戸	不詳	紙	1枚	上書「密用類聚」　8
二四五	宮司論記録	江戸	不詳	書冊	1冊	9
二四六	包紙	江戸	木下汀	紙	1枚	〃手形　10
二四七	巻子	江戸	不詳	巻子装	6紙	未使用白紙　絹表紙　11

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
	A　支配・村政						
	1　布達（諸伺書を含む）						
二四八	西京御触写	明治元年	不詳	書冊	1冊		1
二四九	西京御布京写	明治初年	政府	書冊	1冊		2
二五〇	御触写（御本家からの廻状）	（明治元年）辰7月21日より9月12日迄	不詳	書冊	1冊		3
二五一	蓮池口達写	明治2年5月	中村樞之助他	書冊	1冊		4
二五二	藩知事被仰付候ニ付各藩より窺書御附紙写	明治2年7月	不詳	書冊	1冊		5
二五三	藩知事被仰付ニ付各藩ヨリ伺書面并御附紙写	明治2年7月	不詳	書冊	1冊		6-(1)
二五四	禄制授産之方法	明治4年11月	鹿嶋縣	書冊	1冊		6-(2)
二五五	（仮）御布達（政府からの布達）	明治2年8月より	（原）郵政局（写）不詳	書冊	1冊		7
二五六	会計局達写（政府より会計局へ出された達）	明治2年8月より12月迄	不詳	書冊	1冊		8
二五七	大垣藩諸届書写	（原）明治2年10月（写）明治時代	（原）大垣藩（写）不詳	書冊	1冊		9
二五八	西京御布告写	明治2年12月より同年10月迄	（写）不詳	書冊	1冊		10
二五九	達廟	明治3年正月より	神事方、郡事方、径界方、疆城方、山林方、堤防方	書冊	1冊		11

三六〇	会計局達	明治3年正月～12月	(写)鹿島藩	書冊	1冊		12
三六一	御三家別藩被命候付而郵政局より之伺	明治3年2月	鹿島藩	書綴	1綴	包紙表「明治四年未六月御示談書附」	13-(1)
三六二	御三家別藩被命候付而郵政局より之伺	明治3年2月	鹿島藩	書綴	1綴	三六一、三六二同じ包紙にはいる	13-(2)
三六三	達帳	(明治3年8月より)	加納方	書冊	1冊		14
三六四	覚(藩籍奉還に伴う達の写)	明治3年9月	朝廷より鹿嶋藩宛	綴	1綴		15
三六五	熊本藩伺	(明治3年)11月	熊本より辨官御中	綴	1綴	鹿島藩の罫紙使用	16
三六六	五藩伺並届書写(大泉藩、苗木藩、和歌山藩、志筑藩、高知藩から中央政府に提出された伺、届の写し)	(明治3年)	鹿島藩	書冊	1冊		17
三六七	布達	明治4年正月より12月に至る	鹿島藩廃、神事、郡事、境界、疆域、山林、堤防掛	書冊	1冊		18
三六八	布達	明治4年正月より12月に至る	鹿嶋藩廃、出納掛、精算掛、営繕掛	書冊	1冊		19
三六九	布達	明治4年正月より	鹿島藩	書冊	1冊		20
三七〇	薩長土肥江之勅書	明治4年7月14日	鹿嶋藩	書綴	1綴		21
三七一	御布達写	(原)明治4年12月より (写)明治	(原)各位 (写)鍋島	書冊	1冊		22
三七二	牛久県ヨリ藩ヲ廃シ県ヲ被置候伺	(明治4年)	(写)不詳	書綴	1綴		23
三七三	(鑑札免許状之覚)	明治5年正月	元鹿児島県より伊万里県庁宛	書綴	1綴		24
三七四	諸官省江差出候書付類目録	明治5年2月	元鹿児島県	書冊	1冊		25
三七五	明治八年御布達	明治8年	不詳	書冊	1冊		26

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六六	東京縣合案詞	明治9年1月～12月	不詳	書冊	1冊		27
二六七	明治十五年長崎縣達	明治	不詳	書冊	1冊		28
二六八	明治十六年分長崎縣・佐賀縣達（学事表簿取調心得等）	明治	不詳	書冊	1冊		29
二六九	諸廻達写	（明治）辰1月～2月	不詳	書冊	1冊		30
二七〇	（仮）建白（各新の徳政について）	（明治）庚午7月26日	（原）横山正太郎（写）不詳	書綴	1綴		31
二七一	諸伺書扣	10月27日（明治ヵ）	多度津藩公用赤尾権少参事、弁官御傳達所	書冊	1冊		32
二七二	大率書半切類目録	（明治）10月	亀岡藩	書冊	1冊		33
二七三	官等制	明治	不詳	書綴	1綴		34
二七四	（仮）大政官相達（本縣合併書類焼失に付く処置）	明治	第7大区3小区区戸長	一紙	1通		35
二七五	藩知事二月各藩より伺書写	明治	不詳	書冊	1冊		36
二七六	三河合併論山口事件、提灯塗笠伺并御付紙、藩印伺并御付札	明治	不詳	書冊	1冊		37
二七七	御触写	明治	（原）行政官（写）不詳	書冊	1冊		38
二七八	御触写（肥前侍従内原口重蔵外より小笠原佐渡充の廻状など）	明治	不詳	書冊	1冊		39
二七九	諸伺届基外新聞（峯岡藩伺書（士族藩用の遠国従来追中人足についての伺書）以下各藩の伺書）	明治	不詳	書冊	1冊		40

2　藩制・議員

二九〇	明治二年己巳年八月藩治職制	明治2年8月	不詳	書冊	1冊	10丁
二九一	諸組分帳(原礪輔組他)	明治2年9月改	政府	書冊	1冊	
二九二	集議院規則	明治2年9月新定	不詳	書冊	1冊	
二九三	宇和嶋藩制	明治2年11月14日写	(写)不詳	書冊	1冊	
二九四	職員取調録(京都留守官江出ル写)	明治3年正月	鹿嶋藩	綴	1綴	
二九五	於東京二太政官其外江差出相成候書面写	明治3年4月	政府	綴	1綴	
二九六	役員名簿(地)	(明治3年ヵ)	不詳	書冊	1冊	「明治三庚午十一月三日東京表へ差越被成候地」
二九七	(仮)官員分課等取調録	(明治4年)8月	鹿嶋縣印	書綴(鹿嶋縣用罫紙)	1綴	(表紙)「一官員分課一、官禄奉金一、士族卒従前禄高一、昨今年裁減禄一管轄中別段出張所取調録」
二九八	明治四辛未年鹿嶋第三大區戸籍人員帳	明治4年12月	戸長嶋内珎馬(印)副吉富権作	書冊	1冊	9丁
二九九	諸廉調書(村高等の書付)	(明治5年)5月	元鹿嶋縣	書冊	1冊	表紙に「壬申五月二日伊里本庁江差出候地」とあり
三〇〇	(仮)覚(歳入出明細書等の目録)	(明治5年ヵ)	不詳	一紙	1通	
三〇一	集議院御問題并議案写	(明治)7月14日～9月17日	不詳	書冊	1冊	
三〇二	(仮)尼崎藩届出(権小参事九人を公用・民政軍務等に努めさせた)	(明治)9月17日	尼ヶ崎藩知事より弁官御中	一紙	1通	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三〇三	(仮)飯野藩定禄仮調、他	己9月	不詳	書冊	1冊		14
二三〇四	膳所藩制聞合書	(明治)己9月	高知藩公用人丁村経太郎より毛利恭助辨官御役所宛	紙	1通		15
二三〇五	佐倉藩制	明治己巳10月	佐倉藩知事	書冊	1冊		16
二三〇六	膳所藩改革届書写　禄制表副(社寺領其外従前禄扶持米等遣置候人員并高取調)	(明治)10月	膳所藩知事本多康穣より辨官御中	書冊	1冊		17
二三〇七	平戸藩改届書写	(明治)庚午11月	(原)平戸藩より辨官宛	書冊	1冊		18
二三〇八	己巳年国名石高、官普請所、郡宿村町、陣屋、物産家数人口、官員兵隊、取調録	明治	不詳	書冊	1冊		19
二三〇九	静岡藩制	明治	不詳	書冊	1冊		20
二三一〇	藩治職制	明治	不詳	書冊	1冊		21
二三一一	秘書(太政官職制)	(明治)	不詳	書冊	1冊		22
二三一二	衣服改正御下同第二	明治	不詳	罫紙	4枚		23
二三一三	集議院御問題并建議写	(明治)	(原)鹿島議員永野恪一(写)不詳	書冊	1冊		24
	3　調査記録類						
二三一四	御館下宗門并人御改目安	明治3年7月	神事方(印)より	書冊	1冊		1
二三一五	寄留人届書	明治4年6月	鹿島藩	書冊	1冊		2
二三一六	穢多非人屋敷地租見込調録	明治4年11月	元鹿嶋縣	綴	1綴		3

一三一七	穢多非人屋敷地御高入并貢租件伺書	明治4年11月	元鹿嶋縣	綴	1綴	4
一三一八	明治四年穢多非人屋敷地租見込調録	明治4年11月	元鹿嶋縣	書冊	1冊	5 (朱書)「伊万里縣迄差廻候処差出ニ不及段申成返却相成候」
一三一九	穢多非人屋敷地御高入并貢租付伺書(扣)	明治4年11月	元鹿島縣より大蔵省宛			6
一三二〇	長寿人名調書	明治4年12月	鹿島出張所	書冊	1冊	7
一三二一	長寿人名調書	明治4年12月	鹿島出張所	書冊	1冊	8 「伊万里本庁江差出候扣」とあり
一三二二	(仮)穢多非人屋敷地租伺　扣	(明治5)5月	元鹿島縣より	一紙	1枚	9
一三二三	(仮)書簡目録一覧	昭和4年4月23日調	不詳	ノート	1冊	10
	4　雑(覚、草稿、会則、諸願など)					
一三二四	覚(立宗実為の子に字を与える)	明治1年6月	不詳	一紙	1通	1
一三二五	御朱印写(鹿島藩知事任命書)	明治2年6月	太政官より鍋島備中守	竪紙	1通	2 (包紙有)
一三二六	吉井狭山藩知事辞表并御書付写其外新聞数條	明治3年正月	不詳	書冊	1冊	3
一三二七	席順禄(士族の席順)	明治3年4月	政府	書冊	1冊	4
一三二八	明治三年庚午年元町方諸構加入面扣	明治3年潤10月	郡事方	書冊	1冊	5
一三二九	(仮)伊万里県方へ差廻の物件目録	明治5年正月	元鹿島縣より伊万里県庁宛	書綴	1綴	6
一三三〇	(仮)伊万里県方へ差廻の物件目録(蒸気船関係)	明治5年正月	元鹿島縣より伊万里県庁宛	書綴	1綴	7 一三九と同一資料

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号	
一三三一	諸官省ヨリ御渡之書冊目録(蒸気船関係)	明治5年2月	元鹿島縣	綴	1綴		8	
一三三二	交代并打卸御渡方帳(蒸気船関係)	明治6年8月	不詳	書冊	1冊		9	
一三三三	本願口上覚	明治6年12月	木藤種栄より内庫方御役所宛	書綴	1綴		10	
一三三四	入札心得書	明治8年6月	会銭所	書綴	1綴		11	
一三三五	寄附金ニ付願	明治9年	結社総代永野他2名より佐賀県令北島秀朝宛	書冊	1冊		12	
一三三六	講方取立地	明治12年5月	不詳	長帳	1冊		13	
一三三七	(仮)演説草(生徒兎狩他勅語五ヶ条につき)	明治15年1月4日	不詳	継紙	1通		14-(1)	
一三三八	(仮)勅諭写演説草稿(在郷軍人分會聯合総会のため)	10月16日	不詳	一紙	1通		14-(2)	
一三三九	(仮)演説草稿	明治	不詳	継紙	1通	後欠	14-(3)	
一三四〇	(仮)演説草稿(米国での万国赤十字社大会について)	明治	不詳	継紙	1通		14-(4)	
一三四一	(仮)演説草稿(神官神當祭にあたって)	明治	不詳	継紙	1通		14-(5)	
一三四二	(仮)演説草稿(大戦参加について)	明治	不詳	継紙	1通		14-(6)	
一三四三	(仮)演説草稿	明治	不詳	継紙	1通		14-(7)	
一三四四	(仮)演説草稿	明治	不詳	野紙	5枚		14-(8)	
一三四五	(仮)演説草稿	明治	不詳	継紙	1通		14-(9)	
一三四六	(仮)演説草稿(昨年崩御の先帝の教育に尽されたこと)	明治	不詳	継紙	1通		14-(10)	

一三四七	(仮)演説草稿	明治	不詳	継紙二紙	1通		14-01
一三四八	(仮)演説草稿(位を賜ったことにつき)	明治42年5月10日	不詳	継紙三紙	1通		14-02
一三四九	(仮)演説草稿(君子の覚悟について)	明治	不詳	罫紙	5枚		14-03
一三五〇	(仮)演説草稿(軍紀について)	明治	不詳	紙	1通		14-04
一三五一	(仮)演説草稿(合衆国商業会議所一行来日について)	明治	不詳	巻紙	1通		14-05
一三五二	(仮)演説草稿	明治	不詳	一紙	1通		14-06
一三五三	(仮)演説草稿	明治	不詳	一紙	1通		14-07
一三五四	明治一七年四月一六日　度量衡賣溜入拂	(明治17年4月16日)	不詳	書冊	1冊	表紙に「十六之目安整頓後改」別紙アリ	15
一三五五	願(貧民救恤の寄附願)	明治18年4月	藤津郡長、田中馨治	罫紙綴	1綴		16
一三五六	請書(窮民救助として寄付の請書)	明治18年5月18日	佐賀県令鍋田景弼より川原能吉他大名	罫紙綴	1綴		17
一三五七	濱地方寄附人名	明治20年1月	不詳	書冊	1冊		18
一三五八	御願(千城社への援助依頼)	明治20年7月	千城社幹事石丸忠英(印)より松尾桀爾宛	書綴	1綴		19
一三五九	御願(千城社経費援助の願)	明治20年7月	千城社幹事石丸忠英(印)より松尾桀爾宛	綴(罫紙)	1綴		20
一三六〇	一村独立請願	明治22年	古枝村請願惣代最所新作他6名より内務大臣松方正義宛	書綴	1綴		21
一三六一	請書(公有林と私有地の境界の件)	明治26年6月18日	調査員宮林主事高橋善治	罫紙(晩成社版)	1枚		22
一三六二	支配所港取調録	(明治)庚午10月	鹿島藩	書冊	1冊		23
一三六三	(仮)覚	明治	不詳				24

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一三六四	(仮)協議事項之覚(帳簿出納簿の件他)	明治	不詳	継紙二枚	1通		25
一三六五	(仮)覚(王政復古の件)	明治	直彬より	継紙四紙	1通		26
一三六六	(仮)覚(多久聖廟二百年祭恭賦)	明治	従二位鍋島直彬より	継紙二枚	1通		27
一三六七	御仕置伺書雛形	明治	不詳	書綴	1綴		28
一三六八	辰年当時手覚	明治	不詳	袖珍本	1冊		29
一三六九	能古見支部會則	明治	不詳	騰写版印刷	1枚		30
一三七〇	鹿島婦人會規則	明治	不詳	継紙	1通	草稿写	31
一三七一	(仮)覚(鹿島縣分村高他調査事項付立)	明治	不詳	綴	1綴	伊万里縣罫紙	32
一三七二	(仮)覚(元鹿島縣弘文館一覧表)	明治	不詳	一紙	1通		33
一三七三	王政復古大既	明治	不詳	書冊	1冊	うらに「九冊之内」とあり	34
一三七四	庚午年国名石高、郡宿村町数人口、官員兵隊、官普請所、家陣屋、物産取調録	明治	不詳	綴	1綴		35
一三七五	江藤鶴籠江狼籍事件(控)	明治	野田祭四郎より東京府御役所	書冊	1冊		36
一三七六	大政官日誌　第二十一	明治	不詳	書冊	1冊		37
一三七七	(仮)政體	明治	後藤従四位	書綴	1綴		38
一三七八	職員令	明治	不詳	書冊	1冊	版本	39
一三七九	政體	明治	不詳	書冊	1冊	版本	40
一三八〇	(仮)付立(前欠)	明治	不詳	長帳	1冊		41
一三八一	(仮)人名書上(高津原、片渕為太郎他)	明治	不詳	罫紙(能本鎮台)	1枚		42

B　地所関係

二八二	鹿島中村論所一件帳	明治2年4月より	不詳	書冊	1冊		1
二八三	私領立山畝数調子帳	明治2年4月	鹿島	書綴	1綴		2
二八四	鹿島中村論地一件手続	明治3年4月より	不詳	書綴	1綴		3
二八五	廣平村畑屋敷茶畔名寄帳	明治3年6月	不詳	長帳	1冊		4
二八六	両洲村々新田御築立年号帳	明治3年閏10月	経界方	書冊	1冊		5
二八七	論地一件(文政年間本藩預りとなっていた碇地の件)	(明治3年)11月	田中大衛外4名より	書綴	1綴		6
二八八	濱舌手覚(鹿島領内潟地の件)	明治3年12月	鹿島より	継紙	1通		7
二八九	書簡(潟地新田物成の件)	明治3年12月	鹿島より	継紙	1通	(包紙有)	8
二九〇	潮井樋水井等製作並普請筋ニ付而之伺帳	明治4年11月	元鹿島県より	書冊	1冊		9
二九一	潮井樋水井等製作並普請筋ニ付テ之伺帳	明治4年12月	元鹿島県より	書冊(鹿島縣用罫紙)	1冊		10
二九二	(仮)琉球国并属島検地の事	(明治6年)5月	小林権大属・山崎中属より	書冊	1冊		11
二九三	四拾大区三小区重木村之内　大王袋名地券別冊帳	明治7年1月	登野趙一	書冊	1冊		12
二九四	四拾大区三小区納富文村之内行成名地券別冊帳	明治7年2月	山口登	書冊	1冊		13

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一三五七	家屋敷永末売渡証	明治9年4月24日	売主諸岡権十(印)外1名より半田友作宛	綴(野紙一)図画一)	1綴	いずれにも戸長副戸長の奥書あり	14
一三五八	(仮)土地台帳	明治9年	鍋島直彬	書綴	1綴		15
一三五九	芦野潟現反別取調野帳	明治9年8月	長崎県藤津郡重木村	書冊	1冊	一三五九～一四〇四包紙入包紙表書「明治九年八月」	16-(1)
一三六〇	現反別取調野帳	明治9年カ	長崎県藤津郡重木村	書冊	1冊	石木津干場芦野潟反別調地図并帳簿入」とあり	16-(2)
一三六一	(仮)宮地拝借取調	明治10月	宮地拝借主山口登	書綴	1綴		16-(3)
一三六二	所有地調度ニ付願	明治13年9月	地主山口登	野紙	1枚		16-(4)
一三六三	(仮)所有地調書上	明治	不詳	紙	1通		16-(5)
一三六四	書簡(東京縣合地の件)	明治	不詳	継紙	1通		16-(6)
一三六五	書簡(入払地調帳取立一件)	明治	不詳	紙	1通		16-(7)
一三六六	(仮)所有地取調	明治	不詳	継紙	2通		16-(8)
一三六七	(仮)達(宮地拝借に付受書提出の件)	(明治)10年4月10日	藤津郡役所土木係(印)より緒方保高宛	野紙(藤津郡役所用)	1枚		17
一三六八	御仕様書(住居新築三棟)	明治10年10月9日	沢田平四郎より瀬川晋吉宛	書冊	1冊		18
一三六九	土地台帳	明治10年ヨリ	山口登(壱名持)	書冊	1冊		19
一三七〇	宮地拝借個所取調帳	明治11年2月	藤津郡重木村より長崎県令内海忠勝宛	書冊	1冊		20
一三七一	田地書入証	明治12年1月16日	藤津郡高津原村借主吉田伊之吉外1名より谷口中秋宛	綴(野紙半折ニ)	1綴	「高津原村戸長森崎三郎(印)」の奥書有り	21
一三七二	田地書入証	明治12年2月	借主松永忠尾より山口登宛	書綴	1綴	立合森崎三郎兵衛	22

一四二一	堤塘拝借ニ付願	明治12年4月	熊谷弥三他4名より長崎県令内海忠勝宛	書綴	1綴	23
一四二二	家宅地書入証	明治13年1月18日	借主中村作兵衛より山口登宛	書綴	1綴	24-(1) 包紙表「十三年四月十五日中川家屋証」
一四二三	家宅地書入証	明治13年1月18日	借主小山次兵衛より山口登宛	書綴	1綴	24-(2)
一四二四	田畑宅地家其外売渡証	明治9年12月	売主橋口儀兵より山口登・熊谷弥三宛	書綴	1綴	24-(3)
一四二五	建家売渡証	明治13年4月11日	売主川崎新三郎	書綴	1綴	24-(4)
一四二六	宅地売渡証	明治13年4月11日	川崎新三郎	罫紙	1枚	24-(5)
一四二七	売渡証	明治11年9月	吉田仁三より能谷弥三宛	罫紙	1枚	24-(6)
一四二八	拝借証	明治13年6月10日	藤津郡佐藤澄信より西岡高宛	罫紙	1枚	24-(7)
一四二九	書簡(証書差出一件)	(明治)7月8日	不詳	紙	1通	24-(8)
一四三〇	(仮)金銭書上	明治	不詳	紙	1通	24-(9)
一四三一	地所売渡証	明治13年3月12日	谷口作右衛門他7名より山口・熊谷	書綴	1綴	25
一四三二	宮地拝借願	明治13年12月	願主熊谷弥三外3名より長崎県令内海忠勝宛	罫紙(半折)	1枚	26-(1) 一四三・一四三合綴、藤津郡長の奥書(同年同月14日)有
一四三三	宮地拝借願(証券下付の件)	明治13年12月23日	長崎県令内海忠勝より	罫紙(長崎県用半切)	1枚	26-(2)
一四三四	田畑売渡証	明治14年3月22日	吉田慶助より能谷弥三宛	書綴	1綴	27
一四三五	売渡証	明治14年6月12日	永松外平より能谷弥三宛	書綴	1綴	28
一四三六	地所売渡証	明治16年2月2日	田中多助より山口・能谷宛	書綴	1綴	29
一四三七	地所永代売渡証	明治16年3月	谷口作右衛門より山口登・熊谷弥三宛	書綴(罫紙二枚)	1綴	30

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一四二八	(仮)堤塘使用願関係書類	明治16	不詳	書綴	4綴(一括)	藤津郡内の堤唐使用に関する願書類絵図等を含む	31
一四二九	(仮)記(熊谷弥三空地拝借の件)	(明治)17年1月17日	中村外三村戸長役場より	綴	1綴		32
一四三〇	地所売渡証	明治17年9月16日	松尾秀より山口登宛	書綴	1綴		33
一四三一	建物売渡証	明治17年10月17日	辻常蔵より樋口忠八宛	書綴	1綴		34
一四三二	約条証	明治19年5月31日	遠武秀行より鍋島殿家令松尾栄爾宛	一紙	1通	袋アリ	35-(1)
一四三三	証(受取)	明治19年6月17日	大津尹偉より松尾栄爾宛	一紙	1通	受取証　袋アリ	35-(2)
一四三四	綱坂御邸内御殿其他御建築御入費書上帳	明治19年10月	市村正太郎より鍋島様御役所宛	綴	1綴	袋アリ	35-(3)
一四三五	証(受取)	明治19年6月9日	市村正太郎より松尾宛	一紙	1通	受取証	35-(4)
一四三六	記(受取等)	明治19年7月17日	市村正太郎	一紙	1通		35-(5)
一四三七	地券証返納張	明治21年	不詳	長帳	1冊		36
一四三八	明治廿四年鹿島郷地所ニ関スル金銭箱	明治24年	中川石丸	書冊	1冊	罫紙をつづったもの	37
一四三九	地所売渡証	明治27年6月28日	貝原・藤永より山口登宛	書綴	1綴		38
一四四〇	山林引戻申請書	明治31年	鍋島直彬外1名より農商務大臣大石正巳宛	綴	1綴	袋有	39-(1)
一四四一	御書付入候箱之上書付写	明治	不詳	切紙	1通		39-(2)
一四四二	(仮)各府県地所調べ	(明治)辛未8月	大蔵省	書綴	1綴	別紙雛形あり	40
一四四三	何國何郡之内郷村高帳	明治	各藩より民部省	書冊	1冊	郷村高調査の例	41

一四四	三九区三小区常廣村地券一筆限願上帳(新万分)	明治	山口登	書冊	1冊	42
一四五	(仮)田畠持主・地価書付	明治	不詳	書綴	1綴	43
一四六	(仮)記(地所建物の売渡手続等、前欠)	明治	不詳	罫紙	1枚	44 地所建物の売渡手続等
一四七	(仮)山林書上	明治	不詳	紙	3枚	45
一四八	(仮)田畠書上	明治	不詳	書綴	1綴	46
一四九	(仮)田畠書上	明治	鹿島銀行	書綴	1綴	47
一五〇	(仮)田畠書上	明治	銀行面	書綴	1綴	48
一五一	(仮)田畠書上	明治	山崎名面	書綴	1綴	49
一五二	(仮)田畠書上	明治	山崎・熊谷分	書綴	1綴	50

C 租税

一五三	辰諸村御物成惣目安	明治2年3月	北御門清左衛門他4名	書冊	1冊	1
一五四	租税録	明治2年5月	鹿島	綴	1綴	2
一五五	租税録	明治2年5月	鹿島	綴	1綴	3
一五六	租税録	明治2年6月	鹿島	綴	1綴	4
一五七	物成帳副書	明治2年8月	鹿嶋	書冊	1冊	5
一五八	物成帳副書	明治2年8月	鹿島藩	書冊	1冊	6 (表紙)「伊万里本庁江渡辺…持出候地」とあり

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一四五九	諸産物雑税取調録	明治2年11月	鹿島藩	書冊	1冊		7
一四六〇	雑税銀入払目案	明治3年11月	鍋嶋孝五郎、吉田左五郎	書冊	1冊		8
一四六一	庚午物成目安	明治3年11月	鹿島経界掛	書冊	1冊		9
一四六二	田畑租税之方法	明治4年9月	鹿島県	書冊	1冊		10
一四六三	明治四年商売船積石数并税金調録	明治4年10月	元鹿嶋縣大参事原忠順・権大参事渡辺敏	書冊	1冊		11
一四六四	清酒并醤油造免許料上納帳	明治4年11月	元鹿嶋縣	書冊	1冊		12
一四六五	(仮)鹿島藩知事鍋島直彬の租税に関する書類	明治4年	鍋島直彬	紙	3通	袋表書「御側方入用書付」	13
一四六六	諸方御廻米并船子飯米銀乞出帳	明治5年正月より	内庫掛	長帳	1冊		14
一四六七	正租内訳	明治5年5月	元鹿島県	書冊	1冊		15
一四六八	夫米永銭并雑税之内御当省江相納候ニ付減石高届	明治5年12月	元鹿島県より大蔵省宛	書綴	1綴		16
一四六九	(仮)覚(租税法律会計の件)	明治8年4月13日	北方門	継紙	1通		17
一四七〇	御貸長屋請負并地租区入費等掛出目安	明治11年8月27日	御仕組方	書冊	1冊		18
一四七一	明治廿一年八月改租金通帳	明治21年8月18日～22年	中村外三村戸長役場	小横帳	1冊	領収証を合綴	19
一四七二	明治廿一年地税賦課金調簿	明治	不詳	長帳	1冊		20-(1)
一四七三	(仮)覚	明治	不詳	切紙	5枚	(一四七三の中にはさんであった)	20-(2)
一四七四	加地子米代理銀納ニ係ル上申書	明治23年3月	多良出張所	書冊	1冊		21
一四七五	加地子米代理金納ニ係ル上申書	明治23年4月	多良出張所	書冊	1冊		22

一四七七	明治廿二年度秋加地子各名別ヶ納入明細表	明治23年4月算定	多良出張事務所	書冊	1冊	表紙に「廿二年度甲イ第弐号付属上申書」と朱書あり、「トヨシマ」印あり	23-(1)
一四七七	米銀納統計表	明治23年4月21日	多良出張所豊島廉之助渡辺、石丸	書冊	1冊	表紙に「甲イ第壱号付属表」と朱書	23-(2)
一四七八	明治廿七年度地租其他取調簿	明治27年	不詳	長帳	1冊		24
一四七九	庚午歳諸藩正租税高抜民部省調帳署	明治	(原)民部省(写)不明	書綴	1綴		25
一四八〇	申秋収納より酉夏収納迄耕作方凡目安	明治	不詳	書冊	1冊		26
一四八一	樽并里成目定	明治	不詳	書冊	1冊		27
一四八二	(仮)覚(租税方法・貢米蔵納方法等)	明治	不詳	綴	1綴		28
一四八三	(仮)元高、現米、改正高一覧表	明治	鹿島藩	書綴	1綴		29
一四八四	櫨茶御仕組□用并税金	明治	不詳	書綴	1綴		30
	D 金融						
一四八五	覚(正金三百両拝借の件)	明治元年11月12日	酒屋儀平・京屋外八より柳岡御役人中宛	継紙	1通		1
一四八六	**1 借用関係**						
	覚(借金引当のこと)	(明治)辰11月	早田嘉藤沢より	折紙	1通	一四八六・一四八七と一綴	2-(2)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一四八七	拝借證文覚(金貳拾五両借金のこと)	明治元年11月	早田嘉藤次・同兵蔵より	一紙	1通		2-(2)
一四八八	覚(金二六両借付拝借)	明治元年12月25日	永石傳次郎より柳岡御役所宛	一紙	1通		3
一四八九	手形覚(正金貳拾五両借金のこと)	明治元年12月29日	小野民右ヱ門より御仕組方御役所宛	一紙	1通		4
一四九〇	手形覚(金五拾両拝借の件)	明治12年	松尾弥四郎より渡辺簡爾・板部伝助宛	一紙	1通		5
一四九一	證文(米九石拝借の件)	明治12年	希白繁雄より立川源之丞・井原五兵衛宛	一紙	1通		6
一四九二	覚(金三拾両拝借の件)	明治元年12月	田中半太夫より御側役所宛	一紙	1通		7
一四九三	手形覚(米壱石五斗拝借の件)	明治元年12月	松原重助より立川源之充・井原五兵衛宛	継紙二紙	1通		8
一四九四	手形覚(米七石五斗拝借の件)	明治元年12月	新籠村筆吉外2名より並木平左衛門宛	一紙	1通		9
一四九五	拝借証文之事(米拝借の件)	明治元年12月	伊藤形右衛門外1名より立川源之充他1名宛	一紙	1通		10
一四九六	手形覚(金五拾両借金のこと)	明治元年12月	中嶋久太郎より愛野義郎・愛野義市・井原為助宛	一紙	1通		11
一四九七	覚(金四拾両借金のこと)	明治元年12月	田中生一より渡辺簡尓宛	継紙	1通		12
一四九八	手形覚(米貳俵借米のこと)	明治元年12月	永末伸助より立川源之充外1名宛	継紙	1通		13
一四九九	覚(米四石五斗借米のこと)	明治元年12月	原又兵衛より立川源之充外1名宛	継紙	1通		14
一五〇〇	覚(正金百両拝借の儀)	明治元年12月	酒屋儀平より柳岡御役人中宛	継紙	1通		15

一五〇一	手形覚(正金貳拾両借金の儀)	明治元年12月	緒方兵之充より渡辺簡爾・板部信助宛	一紙	1通	
一五〇二	覚(金百五拾両の件)	明治元年12月	鹿島町問屋与兵衛より愛野趙助他2名宛	継紙	1通	立合酒見豊助・水頭兵左衛門
一五〇三	拝借證文之事	明治元年12月	中村卯八より井原為助、愛野儀市宛	継紙	1通	立合大川内村庄屋右衛門・村役儀助
一五〇四	拝借備金引当帳	明治元年12月	中村卯八より	長帳	1冊	
一五〇五	(拝借金引当帳)	明治元年12月	中村卯八より井原為助、愛野儀市宛	長帳	1冊	
一五〇六	證文覚(給田貳段借用の件)	12月(明治元年ヵ)	中島拾左ェ門より井原五兵衛宛	一紙	1通	
一五〇七	手形覚(米三石借米のこと)	明治2年1月12日	江口文左ェ門より立川源之充・井原五兵衛宛	継紙	1通	
一五〇八	手形覚(金五拾両拝借の件)	明治2年7月	多良作之充より板部信助宛	一紙	1通	
一五〇九	覚(金貳拾両拝借の件)	明治2年8月12日	吉田寿平より立川源之充、井原五兵衛宛	一紙	1通	
一五一〇	覚(銀一貫貳拾匁借金のこと)	明治2年8月	犬塚祐之進より嶋内鉄馬宛	一紙	1通	
一五一一	手形覚(正金六両拝借の事)	明治2年12月	副島左右平より愛野趙一宛	一紙	1通	
一五一二	手形(金四両拝借の件)	明治2年12月	小川喜代志より立川済宛	一紙	1通	
一五一三	手形覚(米拾石借用の事)	明治3年12月	北御門清兵衛より愛野趙一宛	一紙	1通	
一五一四	手形覚	明治3年3月	江川孫七より愛野趙一宛	継紙	1通	立合　組役田中啓太
一五一五	覚(米三石拝借の件)	明治3年11月	中村借人水上儀平より愛野趙一宛	継紙	1通	庄屋惣三郎村役儀左ェ門、清水協一の奥書有り

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一五一六	證(米拾石拝借)	明治3年11月	並木六郎)より御家令・御家族御上御中宛	一紙	1通		31
一五一七	手形覚	明治3年12月	井手四郎より立川済・愛野趙一宛	一紙	1通		32
一五一八	手形覚(金拾両拝借の件)	明治3年12月	青山庸之助・水頭亜太・嶋内鉄馬江	一紙	1通		33
一五一九	柳岡御手許銀拝借証入	明治4年8月	不詳	袋	1枚		34
一五二〇	貸案入記月割	明治4年12月4日	不詳	書冊	1冊	1番より3番	35
一五二一	乙巳十月ヨリ辛未九月迄支払残米金并貸渡米金調録	明治4年12月	元鹿島県	書冊	1冊		36
一五二三	面々拝借帳	明治6年10月	不詳	書冊	1冊		37
一五二三	證拠	明治8年2月	宗智寺住職弥生如一より御内庫方御中宛	一紙	1通		38
一五二四	在京中面々拝借置帳	明治13年2月	「東京」	長帳	1冊		39
一五二五	記(市村正太郎に借り出した金銭)	(明治21年ヵ)	不詳	書綴	1綴		40
一五二六	借用証書綴	明治26年	各位より鎔造館宛	書綴	1綴		41
一五二七	約束手形	明治37年5月23日、6月13日、8月22日4月27日	山崎捷一・松枝太一	手形	4通		42-(1)
一五二八	振替領収書	明治36年11月20日、37年3月4日、4月27日	不詳	用紙	7通		42-(2)
一五二九	記	明治37年8月22日	株式会社鹿島銀行・松枝太一	用紙(株式会社鹿島銀行)	1通		42-(3)
一五三〇	覚(正金壱両預りの件)	(明治)5月29日	吉左衛門	一紙	1通		43

一五三一	覚(借金返済のこと)	(明治)9月5日	花木屋村与平次子市右エ門より柳岡御役所宛	一紙	1通		44
一五三二	覚(銀貳貫三百八十九匁の返済の日延の件の件)	(明治)9月25日	織田弥兵衛より田中平吉江宛	一紙	1通		45
一五三三	覚(返済期限日延の件)	(明治)9月29日	桶口三郎右衛門より田中平吉宛	一紙	1通		46
一五三四	覚(銀一貫毛三匁、台所より米三石取替々借代銀)	(明治)9月29日	迎順頌・田中平吉	一紙	1通		47
一五三五	覚(銀六貫八百匁、日延の件)	(明治)9月29日	酒屋儀平より田中平吉宛	一紙	1通		48
一五三六	手形覚	(明治)9月29日	祐徳院より大塚瞭一・愛野趙一宛	継紙	1通	古牧村庄屋庄蔵(印)の奥書有り	49
一五三七	證礼(米五俵拝借の件)	(明治)3月	山崎捷一より愛野趙一宛	一紙	1通		50
一五三八	手形覚(正金貳拾両借金のこと)	(明治)4月	大塚瞭一代判松尾嘉兵衛・井原陶介・井手与三郎	一紙	1通		51
一五三九	借用手形覚(田三段六畝借用のこと)	(明治)6月	松枝忠郎次より井原陶助宛	一紙	1通		52
一五四〇	拝借米手形覚(米三石拝借の件)	(明治)10月	八津鎌兵衛より吉田正右衛門・太田尾吉右衛門充宛	継紙	1通	井原五兵衛(印)の奥書あり	53
一五四一	手形覚(金貳拾五両拝借の件)	(明治)11月	板部弥助より渡辺簡爾宛	一紙	1通		54
一五四二	證文覚(米壱石拝借の件)	(明治)12月	山崎新六より愛野趙一宛	一紙	1通		55
一五四三	覚(借米の件)	(明治)12月	新籠村筆吉庄屋次助・村役伊左衛門より並木平左衛門・伊東形右衛門宛	折紙	1通		56

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一五四四	證文(金拾五両拝借の件)	(明治)12月	相良兵部左衛門より渡辺簡爾・板部伝助宛	一紙	1通		57
一五四五	覚(米六石拝借の件)	(明治)12月	吉田忠右衛門吉田正右衛門より立川源之允宛	一紙	1通		58
一五四六	手形覚(米貳石四斗借米のこと)	(明治)12月	高木藤吾より立川済・山口登宛	継紙	1通		59
一五四七	借用証(見本)	(明治)21年	不詳	罫紙	1枚	金三千六百八拾円の借用証	60
一五四八	金円借用扣(麦野分)	明治10年以後	不詳	長帳	1冊		61
一五四九	(仮)金銭貸借簿	明治	不詳	書冊	1冊		62
一五五〇	(仮)借金扣	明治	不詳	書冊	1冊		63
一五五一	證文	明治	織田弥兵衛	包紙	1枚		64
一五五二	手形入	明治	江越吉兵衛	包紙	1枚		65
一五五三	(仮)證文包紙	明治	田中半太夫より	包紙	1枚		66
一五五四	柳岡證文入	明治	不詳	袋	1枚		67
	2　米金払関係						
一五五五	御衣装方金銀入払帳	明治元年8月ヨリ	不詳	書冊	1冊		1
一五五六	御手廻御武器料御引分米帳	明治元年11月	不詳	書冊	1冊		2
一五五七	御分地方納銀帳	明治元年12月	不詳	書冊	1冊		3
一五五八	御馬方金銀入払帳	明治2年正月改	不詳	書冊	1冊		4

一五六九	御衣装方御融通金入払帳	明治2年正月改	不詳	書冊	1冊	5
一五七〇	御縣硯方利銀入払帳	明治2年正月改	不詳	書冊	1冊	6
一五七一	御縣硯方利銀入払帳	明治2年正月改	不詳	書冊	1冊	7
一五七二	金銀入払帳	明治2年4月	不詳	書冊	1冊	8
一五七三	卯銀穀方并諸目安精算写	明治2年7月12日	田中康兵衛、副島左方太、桑原八三、木藤持三郎、田中啓兵衛	書冊	1冊	9
一五七四	御残銀納帳	明治2年9月	嶋内鉄馬	書冊	1冊	10
一五七五	金銀出入帳	明治2年9月ヨリ	御側役所	書冊	1冊	11
一五七六	御内柏岡柳岡残銀入佛帳	明治2年9月	御側役所	書冊	1冊	12
一五七七	御台所方御貸附納帳	明治2年9月	不詳	書冊	1冊	13
一五七八	御台所方講金出入帳	明治2年9月	嶋内鉄馬	書冊	1冊	14
一五七九	御残銀納帳	明治2年9月	嶋内鉄馬	書冊	1冊	15
一五八〇	御貸附金帳	明治2年9月	嶋内鉄馬	書冊	1冊	16
一五八一	御台所方御貸附出入帳	明治2年9月	嶋内鉄馬	書冊	1冊	17
一五八二	弁柄米出入帳　内庫掛	明治2年11月ヨリ	内庫掛	長帳	1冊	18
一五八三	明治二年己巳年肥前国鹿嶋歳出明細書	明治2年	不詳	書冊	1冊	19
一五八四	金銀支配帳	明治3年7月改	御側役所	書冊	1冊	20
一五八五	金銀受拂帳	明治3年8月ヨリ	不詳	書冊	1冊	21
一五八六	井多郷有米目安	明治3年10月	不詳	書冊	1冊	22
一五八七	御融通銀米調子帳	明治3年11月	御側役所	書冊	1冊	23

表紙に「壬申五月廿一日日本縣差出相成居候本書より照準違義無之ニ付扣ニ成ル」出納中属披見済（朱書）

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一五六八	諸返上銀入方帳	明治4年8月より	内庫掛	書冊	1冊		24
一五六九	内庫金銀入払帳	明治4年8月より	内庫掛	書冊	1冊		25
一五七〇	午歳入歳出金米詳細調	明治4年9月	不詳	書冊	1冊		26
一五七一	明治四年辛未歳入歳出金米詳細調	明治4年9月	内庫掛	書冊	1冊		27
一五七二	辛未十月ヨリ壬申九月マデ官費の内辛未十、十一両月中出納表	明治4年	不詳	書冊	1冊	仮 一五六四の地	28
一五七三	諸乞出帳	明治4年12月ヨリ	内庫方	小横帳	1冊		29
一五七四	辛未十月ヨリ壬申九月マデ官費之内辛未十、十一両月中出納表	明治4年12月	元鹿嶋縣大参事原忠順・同権大参事渡辺敏より	書冊	1冊		30
一五七五	明治三庚午年肥前国鹿嶋歳入歳出明細書(扣)	明治4年12月	元鹿島縣より	書冊	1冊	(表紙に朱書)「壬申正月山岡中属に差出候扣」	31
一五七六	明治三年庚午年肥前国鹿島歳入歳出明細書	明治4年12月	元鹿島縣	書冊	1冊	(朱書)山岡出納中属調済	32
一五七七	内庫方有金米入払調子	明治4年12月	内庫方	書冊	1冊		33
一五七八	(御日用帳)表欠	明治4年〜	不詳	書冊	1冊		34
一五七九	別段引分銀入拂帳	明治5年正月	不詳	長帳	1冊		35
一五八〇	明治五年御日用帳	明治5年1月より5月迄	御側役所	書綴	1綴	5冊合綴	36
一五九一	内庫方引送銀仕分帳出納	明治5年2月	不詳	長帳	1冊		37
一五九二	辛未歳入歳出明細書(地)	明治5年2月	元鹿嶋縣大参事原忠順外3名より	書冊	1冊		38
一五九三	辛未歳入歳出明細書(地)	明治5年2月	元鹿嶋縣大参事原忠順・同権大参事渡辺敏より	書冊	1冊		39

一五九四	己巳十月ヨリ壬申正月迄支拂残米金引渡帳	明治5年2月	元鹿嶋縣大参事原忠順外3名より	書冊	1冊	40
一五九五	従辛未七月十五日至九月晦日出納明細勘定帳	明治5年5月	元鹿島縣出納掛大属田中孝敬外3名	書冊	1冊	41
一五九六	御日用帳	明治5年6月ヨリ12月至ル	御城出納方	書冊	1冊	42
一五九七	御伴内方金銀入払帳	明治5年8月	不詳	書冊	1冊	43
一五九八	渡不足米面々書上	明治5年11月	嶋内権一・内庫御役所	長帳	1冊	44-(1)
一五九九	未秋内庫方御歳入拂目安	明治5年11月	嶋内権一・内庫御役所	書冊	1冊	44-(2)
一六〇〇	壬申暮銀未取立帳	明治5年11月	「中川」	長帳	1冊	45
一六〇一	諸返納入方帳	明治5年11月	不詳	書冊	1冊	46
一六〇二	金入払目安	明治5年11月	内庫縣山口登	書冊	1冊	47
一六〇三	納銀仮請取帳	明治5年11月(ヨリ)	不詳	長帳	1冊	48
一六〇四	精算目安写	明治5年	川浪平一他副島左兵衛	書冊	1冊	49
一六〇五	米入拂目安	明治5年～6年	不詳	書綴	1綴	50
一六〇六	明治六年第二月中金入拂目安	明治6年3月	内庫掛、山口登より	書冊	1冊	51
一六〇七	明治六年第一月中金入拂目安	明治6年2月	内庫掛、山口登より	書冊	1冊	52
一六〇八	明治六年第三月中金入拂目安	明治6年4月	内庫掛、山口登より	書冊	1冊	53
一六〇九	明治六年第四月中金入拂目安	明治6年5月	内庫掛、山口登より	書冊	1冊	54
一六一〇	明治六年第五月中金入拂目安	明治6年6月	内庫掛、山口登より	書冊	1冊	55

御家中積金之節壬申十一月二八日　田中弥三郎銀～

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一六一一	内庫方金目安取立地	明治6年7月ヨリ	不詳	長帳	1冊		56
一六一二	内庫方金入払目安地	明治6年7月ヨリ	不詳	長帳	1冊		57
一六一三	毎歳収入	明治6年10月	不詳	書冊	1冊		58
一六一四	御日用帳	明治6年10月〜同12月	不詳	書冊	1冊		59
一六一五	米金取立帳	明治6年12月	不詳	長帳	1冊		60
一六一六	金入拂帳	明治6年12月より	不詳	書冊	1冊	修繕、油、寺院等の項目あり	61
一六一七	酉諸返納金入方帳	明治6年12月より	内庫方	書冊	1冊		62
一六一八	大賃案金入拂帳	明治6年12月より	内庫方	書冊	1冊		63
一六一九	御側方金米并借根据	明治6年(9年12月改)	内庫方	長帳	1冊		64
一六二〇	金入払帳	明治8年1月改	不詳	書冊	1冊		65
一六二一	御日用帳	明治8年1月ヨリ6月至ル	不詳	書冊	1冊		66
一六二二	御日用帳	明治8年7月ヨリ同12月至ル	不詳	書冊	1冊		67
一六二三	諸返納并諸返金次第御猶豫願之人々	明治8年10月ヨリ	不詳	書冊	1冊		68
一六二四	米金取(立帳)	明治8年12月	不詳	長帳	1冊		69
一六二五	諸返納金入方帳	明治8年12月	不詳	書冊	1冊		70
一六二六	米入拂	明治8年12月より	不詳	書冊	1冊		71

一六二七	諸(出納簿)	明治8年	山口登、熊谷弥三	小横帳	1冊	表紙大破
一六二八	八年亥米目安	明治9年1月調	不詳	書冊	1冊	73
一六二九	月々金入拂帳	明治9年1月～	不詳	書冊	1冊	74
一六三〇	御日用帳	明治9年1月ヨリ同6月至ル	不詳	書冊	1冊	75
一六三一	御日用帳	明治9年7月ヨリ同12月至ル	不詳	書冊	1冊	76
一六三二	諸返納金其外入方帳	明治9年12月改	中川	書冊	1冊	77
一六三三	米入拂	(明治ヵ)9年12月ヨリ10年	中川	書冊	1冊	78
一六三四	月々金入拂帳	明治10年1月改	不詳	書冊	1冊	79
一六三五	御仕与方金出入目安	明治10年11月	不詳	綴	1綴	80
一六三六	米金取立帳	明治10年12月	不詳	長帳	1冊	81
一六三七	積金出入	明治10年12月ヨリ	不詳	書冊	1冊	82
一六三八	米入拂	明治10年12月ヨリ	不詳	書冊	1冊	83
一六三九	諸返納金入方帳	(明治ヵ)10年12月	不詳	書冊	1冊	84
一六四〇	月々金入払帳	明治11年1月改	不詳	書冊	1冊	85
一六四一	御日用帳	明治11年7月～12月	出納方	書冊	1冊	86
一六四二	諸返納金方帳	(明治ヵ)11年12月	中川	書冊	1冊	87
一六四三	諸返納金其外入拂目安扣	明治11年中	不詳	書冊	1冊	88
一六四四	内庫方御日用金入拂目安扣	明治11年中	不詳	書冊	1冊	89
一六四五	御囲金調	明治11年	不詳	長帳	1冊	90
一六四六	月々金入払帳	明治12年1月	不詳	書冊	1冊	91

12月分まであり

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一六四七	御用帳	明治12年1月～6月	出納方より	書冊	1冊	金銭出納帳	92
一六四八	米入拂	明治12年1月より	不詳	書冊	1冊		93
一六四九	御益金入払帳	明治12年1月より	松尾	書冊	1冊		94
一六五〇	明治十二年一月ヨリ金入拂	(明治12年1月より)	不詳	書冊	1冊		95
一六五一	明治十二年中御仕與等利子収入目安	明治12年2月	(東京)	書冊	1冊		96
一六五二	第三号十三年一月改別段預金入拂帳	(明治)13年1月	松尾	書冊	1冊		97
一六五三	月々金入拂帳	明治13年1月より	不詳	書冊	1冊	給料・飯米等の費目別に記載	98
一六五四	明治十三年御日用帳	明治13年1月～12月	出納方	書冊	1冊		99
一六五五	金入払帳	明治13年1月より	不詳	書冊	1冊		100
一六五六	米金仮入払	明治13年1月より	不詳	書冊	1冊		101
一六五七	十三年改利子金入拂	明治	不詳	書冊	1冊		102
一六五八	月々金入拂帳	明治14年1月	不詳	書冊	1冊		103
一六五九	金銭出納帳	明治14年1月8日より	耶覇西村8番地官里喜記方寓	長帳	1冊		104
一六六〇	明治十四年御日用帳	明治14年1月～12月	出納方	書冊	1冊		105
一六六一	米金仮入帳	明治14年1月より	不詳	書冊	1冊		106
一六六二	売渡証	明治14年6月12日	永松外平より能谷弥三宛	書綴	1綴		107
一六六三	金円仮出張并ニ仮請取扣	(明治14年10月改)	朝日胤慎	長帳	1冊		108-(1)
一六六四	記(明治十三年六月の元金三〇〇円に対する十五年四月までの利金書付)	(明治15年頃カ)	不詳	一紙	1通		108-(2)

一六六五	米入払目安	明治14年中	不詳	書冊	1冊	
一六六六	米入拂地	(明治)14年	不詳	書冊	1冊	
一六六七	御日用帳	明治15年1月～12月	出納方	書冊	1冊	
一六六八	明治十五年第一月金出方仕譯	明治15年1月～12月	不詳	書冊	1冊	
一六六九	十五年四月中御日用帳	(明治)15年4月	朝日識	長帳	1冊	御使并ニ御供人
一六七〇	十五年十月中御日用帳	(明治)15年	不詳	長帳	1冊	
一六七一	金出方使譯	明治16年1月	不詳	書冊	1冊	
一六七二	御日用帳	明治16年1月～12月	出納方	書冊	1冊	
一六七三	明治十六年第二月中御日用帳	明治16年2月	朝日識	長帳	1冊	二月の日用(郵便その他)
一六七四	米出入	明治16年11月	不詳	書冊	1冊	
一六七五	金入拂目安代	明治16年中	不詳	書冊	1冊	
一六七六	別段金	明治16年～17年	不詳	長帳	1冊	
一六七七	明治十七年一月ヨリ金出方仕譯	(明治)17年1月より	不詳	書冊	1冊	
一六七八	質金入拂日計	(明治)17年4月16日より	不詳	書冊	1冊	表紙ニ「但シ十六年目安質金有高ヨリ起ル」とあり
一六七九	(仮)御日用計算帳	明治17年	御用方	書綴	1綴	
一六八〇	明治十七年中米入拂	(明治)17年	不詳	書冊	1冊	
一六八一	明治十七年中金入拂目安	(明治)17年	不詳	書冊	1冊	
一六八二	明治十七年中金入拂目安地 ひかへ	(明治)17年	不詳	書冊	1冊	
一六八三	明治十七年中金入拂目安地	(明治)17年	不詳	書冊	1冊	
一六八四	明治十七年中金入拂目安	(明治)17年	不詳	書冊	1冊	
一六八五	金錢出納付立	明治	不詳	書綴	1綴	一六八四の中に有り

番号	名称	時代	作者	員数・形状	員数	備考	内番号
一六六	親展(店目安・内庫方目安に関する伝達)	(明治)9月1日	能谷・山口より松尾・朝日宛	一紙	1通	一六四の中に有	128-(3)
一六七	金出方仕訳	明治18年1月より	不詳	書冊	1冊		129
一六八	御日用目安立	明治18年5月	不詳	書冊	1冊		130
一六九	明治十八年中金入拂目安	明治18年	不詳	書冊	1冊	総計金三四三円余	131
一六〇	明治十八年中金入拂目安	明治18年	不詳	書冊	1冊	総計金三四三円余	132
一六一	(仮)御日用計算帳	明治18年	御用方	書綴	1綴		133
一六二	金出方仕譯	(明治)19年1月より	不詳	書冊(罫紙)	1冊		134
一六三	御日用帳	明治19年9月中	不詳	長帳	1冊		135
一六四	米入拂	(明治)19年11月より	不詳	書冊	1冊		136
一六五	記(領収証)	明治19年	各位より鍋島会計係宛	書綴	1綴		137
一六六	明治十九年中金入拂目安	(明治19年)	不詳	書冊	1冊		138
一六七	金出方仕譯	明治20年1月より	不詳	書冊	1冊		139
一六八	明治二十年一月より出納日計簿	明治20年1月より	不詳	書冊	1冊	別紙有 普明寺宛請書	140
一六九	御日用帳	明治20年1月より	出納方	書冊	1冊		141
一七〇	御下県御費目計算簿	明治20年1月～3月	永野静雄	書冊	1冊		142
一七一	現金請拂元帳	(明治)20年7月	会計方	書冊	1冊		143
一七二	仮出帳	明治20年8月改	不詳	書冊	1冊	(表紙)「第3号」	144
一七三	米入払	明治20年12月より	不詳	書冊	1冊		145
一七四	出納日計簿	明治21年1月より	不詳	書冊	1冊		146
一七五	金出方仕訳	明治21年1月より	不詳	書冊(罫紙)	1冊		147

一七〇七	出納日計扣簿	明治21年3月改	不詳	書冊	1冊	
一七〇八	収支予算帳(扣)	明治21年11月～明治22年12月	鍋島より	書冊	1冊	149
一七〇八	収支予算帳	明治21年11月～明治22年12月	不詳	罫紙	6枚	150
一七〇九	米入拂	明治21年12月より	不詳	書冊	1冊	151
一七一〇	金入払目安地	明治21年中	不詳	書冊	1冊	152
一七一一	(仮)負債金返済記録	(明治)21年～25年	不詳	罫紙(半折)	2枚	153
一七一三	(仮)金銭書上	明治22年1月	不詳	紙	1枚	154
一七一三	多良金出納日計簿	明治22年7月より	不詳	書冊	1冊	155
一七一四	出納日計簿	明治22年	不詳	書冊	1冊	156
一七一五	支払金決算報告	明治22年度	多良出張所	書冊	1冊	157
一七一六	勘定帳扣	明治23年1月～6月	不詳	罫紙	3枚	158
一七一七	明治二二年度秋加地子一人別収入明細帳	明治23年4月10日算定	多良出張事務所	書冊	1冊	159
一七一八	多良出張所 二二年度秋季加地子米収入済否決算報告書	明治23年4月20日	豊島鹿之助より渡辺・石丸宛	書冊	1冊	160
一七一九	豫算費差引簿	明治24年4月～25年3月	「中川」	書冊	1冊	161
一七二〇	金銀仮出入帳	明治25年10月改	不詳	書冊(罫紙)	1冊	162
一七二一	仮出入帳	明治25年10月改	不詳	書冊(罫紙)	1冊	163
一七二三	御日用支出簿	明治26年4月～27年3月	馬場	長帳	1冊	164

	21年6月～25年6月まで
	勘定表及び支令高(封筒有)
	22年度秋季加地子現収入高 収支決算上申 多良出張所

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一七三	出納簿	明治26年11月以降	東京御邸	書冊	1冊		165
一七四	収支日計簿	明治27年5月以降	東京	書冊	1冊		166
一七五	収支簿	明治27年8月以降	東京御邸副嶋	書冊	1冊	(表紙)二七年九月三十日追加ニテ写ス 犬塚」	167
一七六	御日用支出簿	明治27年9月～28年8月	中川	長帳	1冊		168
一七七	明治二七年自九月至二八年八月支出金銀	明治28年9月	不詳	書綴	1冊	山口、原嘉の印あり	169
一七八	収支簿	明治28年9月	不詳	書冊	1冊		170
一七九	明治二八年度御上京費計算簿	明治29年5月26日	不詳	書冊	1冊		171
一八〇	(明治三四年度)諸計算書	明治34年9月	鹿島内庫所	書冊	1冊		172
一八一	古金銀入記	明治14年8月16日	鍋島直紹	紙	1通	通過交換の覚	173
一八二	(仮)古金銀書上	明治	不詳	紙	1通		174
一八三	金入払目安	明治5年11月中	「地」	書冊	1冊	一七三～一七九　合綴	175-(1)
一八四	金入払目安	明治6年1月中	「地」	書冊	1冊		175-(2)
一八五	金入払目安	明治6年2月中	「地」	書冊	1冊		175-(3)
一八六	金入払目安	明治6年3月中	「地」	書冊	1冊		175-(4)
一八七	金入払目安	明治6年4月中	「地」	書冊	1冊		175-(5)
一八八	金入払目安	明治6年5月中	「地」	書冊	1冊		175-(6)
一八九	金入払目安	明治6年6月中	「地」	書冊	1冊		175-(7)
一九〇	金出納目安	明治17年中	東京御邸	書冊	1冊	一七〇～一八八　合綴	176-(1)
一九一	金出納目安帳	明治16年中	東京御邸	書冊	1冊		

一七四二	金出納目安帳	明治15年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(3)
一七四三	金出納目安帳	明治14年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(4)
一七四四	出方入方目安帳	明治13年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(5)
一七四五	金入払過不足帳	明治12年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(6)
一七四六	入払目安	明治11年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(7)
一七四七	入払目安	明治11年中	東京御邸	書冊	1冊	176-(8)
一七四八	歳入歳出目安	明治6年10月～同10年8月	東京御邸	書冊	1冊	176-(9)
一七四九	明治十七年一月ヨリ出納日計簿	明治17年1月～12月	不詳	書冊	1冊	177-(1) 一七四九～一七五三までひとくくり
一七五〇	東京行旅費目安并残金入	明治16年9月23日	老武正蔵	綴	1綴	177-(2) 書上 領収証綴 封筒有
一七五一	明治十六年二月より出納日計簿	明治16年2月～12月	不詳	書冊	1冊	177-(3)
一七五二	明治十四、五年中日計簿	明治15年1月～12月	不詳	書冊	1冊	177-(4)
一七五三	明治十八年一月ヨリ出納日計簿	明治18年1月～12月	不詳	書冊	1冊	177-(5)
一七五四	明治十七年御日用目安立	明治17年2月	不詳	書冊	1冊	178-(1) 一七五四～一七五八 一綴
一七五五	明治十四年御日用目安立	明治13年11月	不詳	書冊	1冊	178-(2)
一七五六	明治十一年御日用一ケ月見積	明治11年2月	不詳	書冊	1冊	178-(3)
一七五七	明治九年御日用目安立	明治9年9月	不詳	書冊	1冊	178-(4)
一七五八	明治六年御賄方其方心得帳	明治6年10月	不詳	書冊	1冊	178-(5)
一七五九	別段金入拂	明治15年6月	不詳	長帳	1冊	179-(1) 一七五九～一七六二 合綴 十四年十一月・十五年一月、六月分
一七六〇	別段金入拂	(明治)15年12月	不詳	長帳	1冊	179-(2) 十五年十二月分
一七六一	松蔭社別段金入拂	(明治)16年12月	不詳	長帳	1冊	179-(3) 付箋(一紙)アリ
一七六二	別段仕組金入拂	明治17年12月	不詳	長帳	1冊	179-(4)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一七六三	(仮)出入勘定	(明治20年後半期以降)	不詳	書冊(罫紙)	1冊	一七六三～一七六五　合綴	180-(1)
一七六四	(仮)出入勘定	(明治20年前半季)	不詳	書冊(罫紙)	1冊	第三季	180-(2)
一七六五	(仮)出入勘定	明治21年9月14日調	不詳	書冊(罫紙)	1冊	明治二一年六月一日以降　第四季	180-(3)
一七六六	(仮)金入拂帳	明治	不詳	書冊	1冊	表紙欠	181-(1)
一七六七	書簡(公証取消方の事)	明治28年4月5日	山崎掉一	封書	1通		182-(2)
一七六八	十六年金入払目安地調	(明治)16年	不詳	書綴	1綴		182
一七六九	仮出	(明治)2月21日より	不詳	書冊	1冊	熊谷弥三他	183
一七七〇	米入拂帳	(明治)申4月	不詳	書冊	1冊		184
一七七一	御融通取合	(明治ヵ)巳8月	井原陶助より點合所宛	書冊	1冊		185
一七七二	酒場銀米入払目安地	(明治)申9月	宮ノ下酒場	書冊	1冊		186
一七七三	上中米其外入払目安	明治申11月	内庫係	書冊	1冊		187
一七七四	仮出納帳	(明治15年～16年頃)	朝日　識	長帳	1冊	「第2号」とあり	188-(1)
一七七五	記	(明治4月2日)	綾部屋栄吉より	一紙	1通	一七七四の綴ヒモに結ぶ金六五銭の受取	188-(2)
一七七六	(仮)入方(銀子書き上げ)	明治十申末頃	不詳	長帳	1冊		189
一七七七	一時仮令金扣簿	(明治20年代～)	原口嘉一	書冊	1冊		190
一七七八	(仮)金高書付	(明治20年代)	不詳	罫紙半折	1枚		191
一七七九	(仮)品物代金等書付	明治	不詳	罫紙半折	2枚	一七七九～一七八一　合綴	192-(1)
一七八〇	(仮)借用金等書付	明治	不詳	綴(罫紙)	1綴		192-(2)
一七八一	(仮)質金等書付	明治	不詳	綴(罫紙)	1綴		193-(3)

一七二	(仮)金銭借出帳	明治	不詳	書冊	1冊	193
一七三	(仮)金銭出納書付	明治	不詳	書冊	1冊	194 仮入　賃方利　仮出の項有
一七四	(仮)明治二一年収入・支出精算書	明治	不詳	綴	1綴	195 支出の内訳は御許賞・賄賞整賞等
一七五	金入拂	明治	熊谷(ヒ)衛門	書冊	1冊	196
一七六	(仮)金銭出納覚	明治	不詳	長帳	1冊	197
一七七	庚午歳入出明細帳	明治	鹿嶋縣	書冊	1冊	198
一七八	未十月より申十月迄金銀入払目安	明治	内庫掛	書冊	1冊	199
一七九	明治三年度諸計算書	明治	鹿島内庫所	書冊	1冊	201
一七〇	明治二十年中金入拂目安	明治	不詳	書冊	1冊	202
一七一	(仮)金高書付	明治	不詳	(折)紙	1枚	203
一七二	大臨時(金銭出納書付)	明治	不詳	一紙	1通	204
一七三	従未七月十四日至九月晦日出納明細勘定帳	明治	元鹿島縣	綴	1綴	205
一七四	(仮)金出納目安	明治	不詳	書綴	1綴	206
一七五	(仮)金銭出入帳	明治カ	不詳	長帳	1冊	207
一七六	(仮)米取高代金帳	明治カ	不詳	長帳	1冊	208
一七七	内庫方引当(米書上)	明治カ	不詳	長帳	1冊	209
一七八	(仮)金子書上帳	明治カ	不詳	長帳	1冊	210
一七九	(仮)出納簿	明治	不詳	長綴	1綴	211
一八〇	従未七月十五日至九月晦日出納明細勘定帳	明治	不詳	綴	1綴	212

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一八〇一	明治二六年四月一日改旧仮出入帳	明治	不詳	書冊	1冊	朱書「二号 三年4月改メ仮収支帳写済之」	213
一八〇二	御日用帳	明治7年1月～8月	不詳	冊子	1冊		214
一八〇三	金入拂凡目安	明治7年3月	内庫方・御渡世方より	長帳	1冊		215
一八〇四	御日用帳	明治7年9月～12月	不詳	書冊	1冊		216
一八〇五	米金取立帳	明治7年12月	不詳	長帳	1冊		217
一八〇六	戌諸返納金入方帳	明治7年12月	不詳	書冊	1冊		218
一八〇七	米入拂	明治7年12月	不詳	書冊	1冊		219
一八〇八	戌米入拂帳	明治7年	不詳	書冊	1冊		220
	3　金禄公債						
一八〇九	士族并卒等級給禄分與録	明治2年10月	鹿島藩	綴	1綴		1
一八一〇	御扶持米御渡方帳写	明治4年5月	東京出納掛	綴	1綴		2
一八一一	御家禄金銀點合帳	明治4年8月より	麦野趙一	書冊	1冊		3
一八一二	禄制授産之方法　鹿嶋縣	明治4年11月	鹿島県	書冊	1冊		4
一八一三	禄制授産之方法	明治4年11月	鹿嶋縣	書冊	1冊		5
一八一四	御家禄代金請取帳	(明治)6年より	御側方(作)	書冊	1冊		6
一八一五	御家禄代金請払帳	(明治)6年～18年	会計方	書冊	1冊		7
一八一六	金貨引換打金并秩禄公債証利子収入目安	明治10年11月	不詳	書冊	1冊		8
一八一七	明治十年中御買入相来ル秩禄公債証人名其外案　壹号　扣	明治10年	不詳	書冊	1冊	明治十一年十月改秩禄公債証書番号控　弐号　扣帳(綴り)	9

一八一八	金禄公債證書買入帳　貳	明治12年1月	迎順碩他七名	横帳	1冊		10
一八一九	明治十二年四月改金禄・秩禄公債証書番号扣	明治12年より	不詳	書冊	1冊	別紙有「抵当拝借願」書綴二丁	11
一八二〇	(仮)家禄米銭高覚(家禄高・禄税高差引及び代銭)	明治	不詳	綴(半折二枚)	1綴		12
	4　雑						
一八二一	清算目安写	明治2年3月28日	会計方頭取田中主兵ヱ外4名	書冊	1冊		1
一八二二	金銀点合帳	明治2年8月二六日	不詳	書冊	1冊	「月・改」	2
一八二三	公庁一ケ年之費用巨細取調録	明治2年10月	鹿島藩	書冊	1冊		3
一八二四	公廨一ケ年之費用巨細取調録	明治2年10月	鹿島藩	綴	1綴		4
一八二五	東京其外御註文扣	明治2年10月より	御側役所	書冊	1冊		5
一八二六	東京其外御注文帳	明治3年8月	御側役所	書冊	1冊		6
一八二七	丑十二月ヨリ講帳	明治3年12月	貨殖方(破損)	書冊	1冊		7
一八二八	御貸附帳　貨殖方	明治3年12月	貨殖方	書冊	1冊		8
一八二九	午里御山方成目銀入払目安	明治4年2月	川浪史生より副島少属宛	書冊	1冊		9
一八三〇	他方御用支度料并旅費定則	(明治)4年4月	大蔵省	綴	1綴		10
一八三一	他方御用支度料并旅費定則	(明治)4年4月	大蔵省	書冊	1冊		11
一八三二	御一新後目安残銀米調	明治4年7月	不詳	書冊	1冊		12
一八三三	元別段方御貸附金銀取合帳	明治4年8月8日	内庫掛	書冊	1冊		13
一八三四	御貸附年割根据	明治4年11月	内庫方	長帳	1冊		14

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一八三五	弛筈手筈　内庫方	明治4年12月	不詳	長帳	1冊		15
一八三六	己巳庚午歳入歳取調帳(扣)	(明治)5年5月	元鹿嶋縣大属出納掛田中孝敬外2名より	書冊	1冊		16
一八三七	御内御手許米御貸附根据	明治5年11月	不詳	長帳	1冊		17
一八三八	元鹿嶋藩堤防橋梁銀米五ケ年分差出帳	明治6年9月		長帳	1冊		18
一八三九	仮書帳	明治6年閏10月	山崎捷一	書冊	1冊		19
一八四〇	酒場目安地	明治7年1月	内庫掛	書冊	1冊		20
一八四一	家書入證	明治9年12月	借主石橋自備外1名より中学校会計懸宇野善蔵宛	書綴	1綴	図面有　副戸長二名の奥書有	21
一八四二	御仕組方目安	明治9年中	東京御邸　山崎捷一	書冊	1冊		22
一八四三	貸附金根据	明治9年	不詳	書冊	1冊		23
一八四四	明治十年中仕組方利子収入目安	明治10年	不詳	書冊	1冊		24
一八四五	十年目安地調	明治10年	不詳	長帳	1冊		25
一八四六	柳岡様・御前様　御下懸用御土産物代金拂出目安	明治11年10月	山崎捷一	書綴	1綴		26
一八四七	御邸并貸長屋風員費掛出目安	明治11年12月	不詳	書冊	1冊		27
一八四八	諸返金御切捨願	明治12年2月	森伊太郎より山口・熊谷宛	書綴	1綴		28
一八四九	上様上京之末沖縄御下県ニ付御仕度其外目安	明治12年11月	東京御邸	書冊	1冊		29
一八五〇	柳岡様御下県ニ付御土産其外目安	明治12年11月	東京御邸	書冊	1冊		30
一八五一	沖縄より注文代取立帳	(明治)13年頃	不詳	長帳	1冊		31

一八三三	記	明治14年	不詳	書綴	1綴	32
一八三三	御三方様鹿島御出ニ付御往復御旅費目安	明治15年6月	松尾栄爾	書冊	1冊	33
一八三四	殿様鹿島御出ニ付御往復御旅費並ニ御土産費目安	明治16年7月25日～9月13日	朝日胤慎より	書冊	1冊	34
一八三五	殿様鹿島御下縣御往復御旅費目安	明治17年12月28日	朝日胤慎	書冊	1冊	35
一八三六	材木方覚(杉材木代金他)	明治18年7月10日	受負人池田伊左ェ門	罫紙	21枚	36
一八三七	寄附金帳	明治19年11月より同20年7月まで	不詳	書冊	1冊	37
一八三八	三田御邸御買入及御建築諸費計算帳	明治11年1月	松尾栄爾	書冊	1冊	38
一八三九	御馬車御買入其他一式費計算帳	明治20年3月	松尾栄爾	書冊	1冊	39
一八四〇	明治十九年ヨリ二十年ニ越ス損失書抜	(明治)20年ヵ	呉津木	長帳	1冊	40
一八四一	明治十八年ヨリ二十年迄売買高書抜	(明治)20年ヵ	不詳	長帳	1冊	41
一八四二	旅費定則	明治12年11月	内庫方	書冊	1冊	42
一八四三	備忘録(戸田預り証書分の事借用金の事等)	(明治)21年	不詳	書冊	1冊	43
一八四四	御膳所拝ニ台所模様替明細積り書	(明治)22年7月20日	大工伊藤倉吉より鍋島宛	竪紙	1通	44
一八四五	御三方様下県ニ付諸雑費収支簿	明治22年9月4日発足	東京御邸会計司	書冊	1冊	45
一八四六	収納金明細上申書	明治22年2月中分	多良出帳所	一紙	1通	46
一八四七	支払金ニ係ル上申書	明治13年3月中	多良出帳所	書冊	1冊	47
一八四八	二六年以前御上京費予算案并ニ参考書	(明治)25年～26年	不詳	書綴	1綴	48

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一八六九	元金弐千八百円ニ対スル利子金配分小割	明治15年5月30日	中川存熊谷	綴	1綴	一八六九～一八七七合綴	49-(1)
一八七〇	元金弐千四百円ニ対スル利子金配分小割	明治15年11月	中川	綴	1綴		49-(2)
一八七一	元金弐千四百円ニ対スル利子金配分小割	明治16年5月	中川	綴	1綴		49-(3)
一八七二	元金弐千四百円ニ対スル利子金配分小割	明治16年12月	中川	綴	1綴		49-(4)
一八七三	元三千弐百円ニ対スル利子金配当小割	明治17年5月	不詳	綴	1綴		49-(5)
一八七四	株金三千六百円ニ対スル利子配分小割	明治17年12月	不詳	綴	1綴		49-(6)
一八七五	株金三千弐百円ニ対スル利子配分小割	明治18年8月	不詳	綴	1綴		49-(7)
一八七六	株金三千弐百円ニ対スル利子小割	明治18年12月	不詳	綴	1綴		49-(8)
一八七七	株金三千弐百円ニ対スル利子小割	明治19年6月	不詳	綴	1綴		49-(9)
一八七八	株金三千弐百円ニ対スル利子小割	明治19年12月	不詳	綴	1綴		49-(10)
一八七九	株金三千弐百円ノ利子小割	明治20年7月	不詳	綴	1綴		49-(11)
一八八〇	十二期株金三千弐百円ニ対スル利子小割	明治21年2月	不詳	綴	1綴		49-(12)
一八八一	十三期分銀行株券利子小割	明治21年8月	不詳	綴	1綴		49-(13)
一八八二	十四期銀行株券利子小割	明治22年1月	不詳	綴	1綴		49-(14)
一八八三	十五期銀行株券利子小割	明治22年7月	不詳	綴	1綴		49-(15)
一八八四	第拾六回銀行株券利子小割	明治22年12月	不詳	綴	1綴		49-(16)
一八八五	第拾八回銀行利子配当小割	明治13年12月	中川	綴	1綴		49-(17)

一八六六	第拾九回銀行利子配当小割	明治24年6月	中川	綴	1綴	
一八六七	第弐拾回銀行利子配当小割	明治24年12月28日	不詳	綴	1綴	一八六九～一八七七合綴
一八六八	記	明治	不詳	綴	1綴	金子受取の事
一八六九	記	明治	不詳	綴	1綴	鳥入居　石灯炉代金の事
一八七〇	承応元年、延宝7年、當日安、角帳寄	(明治)戌3月	地方	書冊	1冊	
一八七一	御下県方入費	(明治)8月より	不詳	長帳	1冊	
一八七二	(仮)合綴(領収証三枚)	(明治)14年～15年	麻布区今井町一九番地 塩川芳五郎	綴	1綴	
一八七三	御下県御年賀費用概算	明治	不詳	書綴	1綴	
一八七四	(仮)御仕組方金貸付人員	明治	不詳	書冊	1冊	但、表紙には記入なし
一八七五	第一リードル拂下	明治	不詳	罫紙	1枚	
一八七六	(仮)元利書付	明治	不詳	横半折	1紙	
一八七七	講帳写	明治初期	不詳	書冊	1冊	
一八七八	鎌永取替扣	明治ヵ	不詳	長帳	1冊	預り金書上げ
一八七九	御任所御滞留中日用費豫算几積り	明治	不詳	綴	1綴	

49-(8)						
49-(9)						
50-(1)						
50-(2)						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						

E　軍事関係

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一九〇〇	己巳陸軍資米金概算調	明治3年10月	元鹿嶋藩より	書綴	1綴		1
一九〇一	陸軍資米金概算調	明治4年10月	元鹿嶋藩より	書冊	1冊		2
一九〇二	軍隊宿舎臨時費収支簿	明治28年1月以降	東京御邸会計	書冊	1冊		3
一九〇三	海軍兵学寮願書案	明治辛未年正月	兵部省	(紙)木版	5枚		4
一九〇四	陸軍徽章軍服軍帽等之部	明治ヵ	不詳	書冊	1冊		5
一九〇五	軍令陸第三号虎 小銃、軽機関銃、拳銃射撃教範	大正又は昭和	不詳	書冊	1冊	針金とじ 印刷	6
一九〇六	兵学寮青年生徒給與表并願書雛形陸軍之部	明治	陸軍省	書綴	1綴		7
	F 学芸						
	1 和歌・漢詩						
一九〇七	鍋島直彬母絶筆	明治30年10月7日	鍋島直彬母	短冊	6葉	包紙有	1
一九〇八	漢詩6行	明治2年	沙門雷斧(書)	メクリ	1枚		2
一九〇九	和歌「千歳…」	明治2年	鍋島直彬	掛幅装	1幅	コロタイプ版	3
一九一〇	和歌「千歳…」	明治2年	鍋島直彬	掛幅装	1幅	コロタイプ版	4
一九一一	和歌「けふはまた吉田と半田と…」	明治2年	不詳	一紙	1通		5

一九一二	生花ひとり学ひ	明治2年	不詳	書綴	1綴	6
一九一三	鍋島沖縄県令母君古稀賀歌一首	明治2年	福島県士族　鋤柄如水	一紙	1通	7
一九一四	謡曲題読込長歌	明治2年	不詳	一紙	2通	8
一九一五	佐賀表流行うた	明治	不詳	一紙	1通	9
一九一六	祝章	明治	徐風	一紙(包紙有)	1通	祝圓福山発句「お目出たや…」 10
一九一七	漢詩(七言絶句)	明治	原順	切紙	1通	11
一九一八	漢詩「天・孟歌奉皇祠堂思公閣下」	昭和	旧臣勝免	一紙	1通	12
	2　雑					
一九一九	表銭定記	明治4年12月改	不詳	綴	1綴	物品毎の俵銭付立 1
一九二〇	米政提要	明治6年7月	鍋島直彬外2名編算	書冊	全5冊	華族鍋島氏出版　東京和泉屋吉兵衛他　鍋島直彬の序あり 2
一九二一	斯文學会講義筆記　第六三号	明治18年12月20日	編修第2局編輯	書冊	1冊	斯文学会蔵版(印) 3
一九二二	富國　第一号	明治23年9月1日	博文館	雑誌	1冊	4
一九二三	集会結社参考書第壹　附拂□集会及結社法沿革　政黨ト政社ノ區別	明治24年1月29日	(発行編輯)牧録二郎	書冊(印刷)	1冊	(印刷)東京堀田道貫 5
一九二四	改正書籍目録	明治25年1月2日	大阪　梅原脳曦堂	印刷書冊	1冊	後次 6
一九二五	聖徳餘聞　全	明治39年6月	伯爵東久世通禧監修・三省堂編輯書編纂	印刷書冊	1冊	刊行案内 7
一九二六	検養園記	(明治)庚辰臘月	園主孟幹	折紙	1通	8

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一九二七	書簡（恭性足下南服…）	明治	木尚弟崑山より大日本英邦台臥宛	一紙	1通		9
一九二八	（仮）夢物語	明治	不詳	書綴	1綴		10
一九二九	（仮）歌集（写）	明治	不詳	書冊	1冊		11
一九三〇	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(1)
一九三一	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(2)
一九三二	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(3)
一九三三	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(4)
一九三四	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(5)
一九三五	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(6)
一九三六	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(7)
一九三七	（仮）書道手本	明治	不詳	折紙	1通		12-(8)
一九三八	（仮）大日本五畿七道	明治	不詳	一紙	1通	五畿・七道国名略称	12-(9)
一九三九	（仮）覚	明治	不詳	一紙	1通	「寛永九年ヨリ元禄五年ニ至テ六年」	12-(10)
一九四〇	（仮）付立	明治	不詳	折紙	1通	「有虞二妃・契母簡狄・啓母塗山」等	12-(11)
一九四一	反故	明治	不詳	紙	7枚		12-(12)
一九四二	（仮）歌稿	明治	不詳	継紙	2通	「新吉原稲本屋小稲」	13-(1)
一九四三	（仮）歌稿	明治	不詳	一紙	1通	「六日大祓の日にわか初孫の初乃宮まうてしけれは」	13-(2)
一九四四	（仮）歌稿	明治	不詳	折紙	1通	「柳岡氏の賀　賀子」	13-(3)
一九四五	登筑波歌一首并短歌	明治	不詳	折紙	1通	「右者万葉和歌集ニ高橋連虫麿の歌付等に書」	13-(4)

一九四六	(仮)御詠	明治	朗子	一紙	1通	端裏に「柳岡様六歳仲秋の御詠」	13-(5)
一九四七	(仮)御詠	明治	朗子	竪紙	1通		13-(6)
一九四八	書「敬」	近代	林宗春	紙本墨書メクリ	1枚		14

G 寺社関係

一九四九	達帳	(明治)4年4月より	神事掛	書冊	1冊	神祇宮・太政宮等からの達	1
一九五〇	(仮)神社氏子取調規則	(明治)4年7月	太政宮より	書綴	1綴		2
一九五一	枢要事件記	明治11年1月	社中	書冊	1冊	松蔭社関係	3
一九五二	松蔭社御拝殿材木并右ニ正月外横帳	明治11年4月	不詳	長帳	1冊		4
一九五三	松蔭社附属品物並祭典付テ諸整物及斗向之件	明治11年9月	中川	書冊	1冊		5
一九五四	松蔭社御祭典ニ付テノ帳簿	(明治)11年9月	不詳	書冊	1冊		6
一九五五	寺院相続方法	(明治)12年～16年	中川より	書冊	1冊		7
一九五六	普明寺修繕資本金	明治15年改	中川	書冊	1冊		8
一九五七	普明寺本堂葺替諸入費	(明治)16年9月～10月	中川(作)	長帳	1冊		9
一九五八	心経	明治19年2月	不詳	折紙(印刷)	1通		10
一九五九	祐徳社費	明治21年3月分～5月分	不詳	一紙	1通		11

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一六六〇	普明寺金銭簿	明治22年1月より	不詳	書冊	1冊		12
一六六一	松蔭社祭典資本金寄附帳	明治12年11月	不詳	書冊	1冊	一六六一と一六六二共にとじてある	13-(1)
一六六二	祭奠資金入拂	明治14年11月	不詳	書冊	1冊		13-(2)
一六六三	明治十八年御祭算費用金入拂	明治18年	不詳	長帳	1冊		14-(1)
一六六四	明治十七年祭算費入拂	明治17年	不詳	長帳	1冊		14-(2)
一六六五	明治十六年祭算費用金拂	明治16年	不詳	長帳	1冊		14-(3)
一六六六	明治十六年祭算費用金拂小割	明治16年	不詳	長帳	1冊		14-(4)
一六六七	松薩神社御祭算心得	明治ヵ	不詳	長帳	1冊		14-(5)
一六六八	松蔭社祭算心得	明治ヵ	不詳	長帳	1冊		14-(6)
一六六九	宮司論記録　巻冬	11月11日	川上山役寺より鹿嶋寺社方御役所宛	書冊	1冊		15-(1)
一六七〇	宮司論記録　巻春	明治	不詳	書冊	1冊		15-(2)
一六七一	願正寺御向合専立寺調子合	(明治)12月29日	寺社方	書冊	1冊	善徳寺・幸徳寺担中より安心方調子合願其末宝圓寺・光厳寺取調子手續	16
一六七二	本末寺号其外明細帳雛形	明治	何府、何藩、何県	書冊	1冊		17
一六七三	神社取調録	明治	不詳	書綴(鹿島藩罫紙)	1綴		18
一六七四	(仮)記(松蔭社祭典に付)	明治	不詳	一紙	1通		19
一六七五	(仮)松蔭神社信徒願書	明治	不詳	罫紙綴	1綴		20
一六七六	肥前國藤津郡八本木村松岡神社由緒	(明治)	不詳	罫紙綴	1綴		21
一六七七	松蔭神社例祭諸事心得	明治ヵ	不詳	書冊	1冊		22

H　教育

1　鹿島中学校

一九六八	蔵書録	明治10年1月	鹿嶋変則中学	書冊	1冊	一九六八、一九七九合綴	1-(1)
一九七九	続蔵書録	明治11年7月	鹿嶋中学	書冊	1冊	一九七八、一九七九合綴	1-(2)
一九八〇	明治九年丙子八月ヨリ同十二月マデ変則中学校費用金出納表	明治10年丁丑3月	会計係　宇野善蔵	書冊	1冊		2
一九八一	校内諸雑費金入払費	明治10年12月	不詳	長帳	1冊		3
一九八二	中学校子年貸附返納金出納簿	明治10年	会計係　宇野善蔵	書冊	1冊		4
一九八三	変則中学校	明治11年1月	会計係　宇野善蔵	書冊	1冊		5
一九八四	中学校丑年貸附返納金出納簿	明治11年	会計係　宇野善蔵	書冊	1冊		6
一九八五	試験費勘定帳	明治12年1月～6月	鹿島中学校	書冊	1冊		7
一九八六	定額金出納表	明治12年1月～12月	鹿島中学校	書冊	1冊		8
一九八七	縣廳へ差出書類	明治12年2月ヨリ13年12月迄	鹿島中学校より不明	書冊	1冊	罫紙(長崎県鹿島中学校)を合綴	9
一九八八	中学校返納金取纏帳	明治12年卯2月	不詳	長帳	1冊		10
一九八九	鹿島中学校費用金出納帳	明治12年3月	宇野善蔵	書冊	1冊		11
一九九〇	定額金勘定帳	明治12年4月～6月	鹿島中学校	書冊	1冊		12
一九九一	試験費勘定帳	明治12年7月～12月	鹿島中学校	書冊	1冊		13
一九九二	日計簿	明治12年第7月ヨリ	鹿島中学校司計係	書冊	1冊		14

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
一九九三	試験費金出納簿	明治12年7月より	鹿島中学校司計係	書冊	1冊		15
一九九四	定額金使冊予算帳	明治12年7月～13年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		16
一九九五	試験費収入及使用予算表	明治12年7月～13年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		17
一九九六	定額金勘定帳	明治12年10月～9月	鹿島中学校	書冊	1冊		18
一九九七	卒業證書附與控	明治12年7月	鹿島中学校	書冊	1冊		19-(1)
一九九八	前後期卒業人名并證書附與控	明治13年7月	鹿島中学校	書冊	1冊		19-(2)
一九九九	前後期卒業人名并證書附與簿	明治14年12月	鹿島中学校	書冊	1冊		19-(3)
二〇〇〇	日録	明治12年8月以降	鹿島中学校	書冊	1冊	後欠	20
二〇〇一	各所到着書類	明治12年9月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		21
二〇〇二	各所差立書類	明治12年9月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		22
二〇〇三	証	明治12年10月1日	鹿島中学校監事岸川研一より長崎県令代理高橋新吉宛	罫紙	1枚		23
二〇〇四	定額金勘定帳	明治12年10月～12月	鹿島中学校	書冊	1冊		24
二〇〇五	中学校寅年貸附返納金	明治12年	会計係　宇野善蔵	書冊	1冊		25
二〇〇六	長崎県達	明治12年分	長崎県令より鹿島中学校宛	書冊	1冊		26
二〇〇七	通達(定額金勘定帳)	明治12年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴		27
二〇〇八	長崎県学務課通報	明治12年分	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書冊	1冊		28
二〇〇九	蔵書録	明治12年調製	鹿島中学校	書冊	1冊		29

二〇一〇	明治十三年自一月至三月定額金勘定帳	明治13年1月より3月まで	鹿嶋中学校	書冊	1冊	30-(1)
二〇一一	明治十三年自四月至六月定額金勘定帳	明治13年4月より6月まで	鹿嶋中学校	書冊	1冊	30-(2)
二〇一二	明治十三年自七月至九月定額金勘定帳	明治13年7月より9月まで	鹿嶋中学校	書冊	1冊	二〇一〇～二〇一三　一綴 30-(3)
二〇一三	明治十三年自十月至十二月定額金勘定帳	明治13年10月より12月まで	鹿嶋中学校	書冊	1冊	二〇一〇～二〇一三　一綴 30-(4)
二〇一四	日録	明治13年1月以降	鹿嶋中学校	書冊	1冊	31
二〇一五	授業料書籍借料勘定帳	明治13年1月～6月	鹿島中学校	書冊	1冊	32
二〇一六	縣廳へ進達書類	明治13年5月以降14年12月迄	鹿島中学校	書冊	1冊	野紙(長崎県鹿島中学校)を合綴 33
二〇一七	物理器械代金請払帳	明治13年6月	鹿島中学校司計課	書冊	1冊	34
二〇一八	書籍代御交付勘定帳	明治13年6月	鹿島中学校	書冊	1冊	35
二〇一九	授業料書籍借料不用品払下代勘定帳	明治13年7月～12月	鹿島中学校	書冊	1冊	36
二〇二〇	諸払帳	明治13年7月	鹿島中学校司計科	書冊	1冊	37
二〇二一	長崎県学務課通報	明治13年分	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書冊	1冊	38
二〇二二	鹿島中学校関係綴	明治13年	鹿島中学校	書綴	1綴	39
二〇二三	通達(定額金勘定帳)	明治13年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴	40
二〇二四	通達(定額金勘定帳)	明治13年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴	41
二〇二五	通達(定額金勘定帳)	明治13年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴	42
二〇二六	蔵書録	明治14年1月調整	鹿島中学校	書冊	1冊	43

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二〇二七	(仮)諸品買入費明細表他	明治14年1月より3月まで	鹿島中学校	紙	1通		44
二〇二八	請拂簿	明治14年巳7月より	鹿島中学校司計係				45
二〇二九	追算簿	明治14年7月より	鹿島中学校司計科	書冊	1冊		46
二〇三〇	日計簿	明治14年7月より	鹿島中学校司計科	書冊	1冊		47
二〇三一	書籍損料取立帳	明治14年8月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		48
二〇三二	物理器械品並購求代価附	明治14年9月	鹿島中学校	書冊	1冊		49
二〇三三	証	明治14年10月	鹿島中学校監事平尾家廉より長崎県令内海忠勝宛	罫紙	1枚		50
二〇三四	通達(定額金勘定帳)	明治14年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴		51
二〇三五	通達(定額金勘定帳)	明治14年	長崎県学務課より鹿島中学校宛	書綴	1綴		52
二〇三六	鹿島中学校職員勤務年別及年齢表	明治15年1月29日	不詳	罫紙	1枚		53
二〇三七	定額金勘定帳	明治15年1月～3月	鹿島中学校	書冊	1冊		54
二〇三八	縣廳へ差出書類	明治15年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		55
二〇三九	別途修繕費勘定帳	明治15年2月	鹿島中学校	書冊	1冊		56
二〇四〇	理学器械及化学験薬類購求伺	明治15年7月12日	鹿島中学校校長山口竹一郎より長崎県令内海忠海宛	書綴	1綴		57
二〇四一	假出簿	明治15年7月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		58
二〇四二	十五年度経費日計簿	明治15年7月より16年6月まで	鹿島中学校	書冊	1冊		59

二〇四三	十五年度経費追算簿	明治15年7月より16年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		60
二〇四四	十五年度経費請拂簿	明治15年7月より16年6月まで	鹿島中学校	書冊	1冊		61
二〇四五	十五年度経費追算簿	明治15年7月より16年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		62
二〇四六	証(学校収入金内訳表)	明治15年7月	鹿島中学校校長山口竹一郎より長崎県令内海忠勝宛	書綴	1綴		63
二〇四七	請取証貫	明治15年7月以降	不詳より鹿島中学校宛	書冊	1冊		64
二〇四八	学費出納其他他調帳	明治15年1月～12月	鹿島中学校	長帳	1冊		65
二〇四九	日録	明治15年第9月以降	鹿島中学校	書冊	1冊	鹿島中学校罫紙	66
二〇五〇	物理器械購求代価明細表	明治15年	鹿島中学校監事平尾家廉より長崎県令内海忠勝宛	書綴	3綴		67
二〇五一	卒業證書附與人名録	明治15年分	鹿島中学校	書冊	1冊		68
二〇五二	縣廳へ差出書貫	明治16年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊	罫紙	69
二〇五三	日録	明治16年1月	鹿島中学校	書冊	1冊	罫紙	70
二〇五四	各所到着書貫	明治16年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		71
二〇五五	各所差立費	明治16年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		72
二〇五六	(明治)十六年度經費追算簿	明治自16年7月　至16年6月	鹿島中学校	書冊	1冊	罫紙(鹿島中学校)	73
二〇五七	請取証貫	明治16年7月以降	鹿島中学校	書綴	1綴		74
二〇五八	十六年度経費日計簿	明治16年7月～17年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		75
二〇五九	授業料取立根据簿	明治16年7月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		76
二〇六〇	明治一六年分卒業證書授與人名録	明治16年	鹿島中学校	書冊	1冊	証書との割印あり	77

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二〇六一	長崎県佐賀県学務課通報	明治16年	長崎県佐賀県学務課より鹿島中学校宛	罫紙綴	1綴		78
二〇六二	長崎県立中学校諸規則	明治16年	鹿島中学校	書綴	1綴		79
二〇六三	日録	明治17年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		80
二〇六四	請取証書貫	明治17年1月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		81
二〇六五	蔵書録	明治17年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		82
二〇六六	明治十七年六月卒業証書授与人名	明治17年6月	鹿島中学校	書冊	1冊		83
二〇六七	蔵書録	明治17年7月以降	公立鹿島中学校	書冊	1冊		84
二〇六八	寄附金預簿	明治17年旧7月以降	鹿島中学校会計係	罫紙綴	1綴		85
二〇六九	経費日計簿	明治17年7月～18年6月	鹿嶋中学校	書冊	1冊		86
二〇七〇	生徒補助費金渡方簿	明治17年9月以降	鹿嶋中学校	罫紙(鹿島中学校)綴	1綴	請取人名印、金額に立石印あり	87
二〇七一	追算簿	明治17年9月以降	鹿嶋中学校	綴	1綴	開校式費用、参庁旅費他	88
二〇七二	修繕費仕拂簿	明治17年9月	鹿島中学校会計係	罫紙綴	1綴		89
二〇七三	諸品拂下簿	明治17年以降	鹿島中学校	書冊	1冊		90
二〇七四	明治十七年自四月至六月定額金勘定帳	明治17年	鹿島中学校	書綴	1綴	鹿島中学校罫紙	91
二〇七五	請取証	明治17年度分	鹿島中学校	書冊	1冊	二綴	92
二〇七六	書籍録其他買入目録	明治17年以降	公立鹿嶋中学校	書冊	1冊		93
二〇七七	佐賀県師範学校中学校教則	明治17年改正	鹿島中学校	書冊	1冊		94
二〇七八	定額金勘定帳	明治17年度	鹿島中学校	書冊	1冊		95

二〇九	願	明治18年1月	山口竹一郎以下二人より藤津郡長田中磐治宛	罫紙	1枚	鹿島中学校へ学資として寄附の件	96
二〇八〇	願	明治18年1月	平尾家廉(印)より藤津郡長田中磐治宛	罫紙	1枚	鹿島中学校へ寄附したき願	97
二〇八一	明治十八年自一月至六月定額金勘定帳	明治18年1月～6月	鹿島中学校	書冊	1冊		98
二〇八二	新聞代取立帳	明治18年第2月以降	不詳	書冊	1冊	罫紙(鹿島中学校)山口竹一郎他立石の印あり	99
二〇八三	届	明治18年3月14日	藤津郡特置学務委員諸石彬文、鹿島中学校長山口竹一郎より藤津郡長田中磐治宛	罫紙	1枚	定期卒業試験執行の旨届	100
二〇八四	照会(送付書籍の内届いていないものあり)	明治18年5月26日	長崎縣師範学校(印)より鹿島中学校宛	罫紙	1枚	長崎縣師範学校の罫紙、移第七号割印あり	101
二〇八五	照会(書籍受取に付借用証・残りの書籍)	明治18年6月9日	長崎縣師範学校(印)より公立鹿島中学校宛	罫紙	1枚	送付願、移第六号割印あり	102
二〇八六	仕用帳合計金	明治18年旧6月9日	請負人池田伊右ェ門より鹿島中学校宛	罫紙	1枚	金二六円三銭受取書(印紙あり)	103
二〇八七	請取証賈	明治18年7月以降(19年3月迄)	鹿島中学校	書綴	1綴	鹿島中学校経費	104
二〇八八	定額金勘定帳	明治18年7月～19年3月	鹿島中学校	書冊	1冊		105
二〇八九	経費請拂簿	明治18年7月～19年3月	鹿島中学校	書冊	1冊		106
二〇九〇	経費日計簿	明治18年7月～19年3月	鹿島中学校	書冊	1冊	鹿島中学校罫紙	107
二〇九一	生徒補助金請取簿	明治18年7月以降	鹿島中学校会計係	書冊	1冊	鹿島中学校罫紙 請取人名印・立石印あり	108
二〇九二	書籍損料取立簿	明治18年10月以降	鹿島中学校会計係	書冊	1冊		109

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二〇九三	明治十八年藤津郡公立諸学校表(案)	明治18年	鹿島中学校	半紙	1枚	表(数字記入はなし)	110
二〇九四	佐賀師範学校・佐賀中学校諸規則	明治18年改正	鹿島中学校	半紙	1枚	印刷 明治18年6月29日佐賀県第六号を綴	111
二〇九五	生徒人名簿	明治18年	鹿島中学校	書冊	1冊		112
二〇九六	明治十九年二月十三日修業証書授与名簿	明治19年2月13日	鹿島中学校	書冊	1冊		113
二〇九七	記	明治19年4月19日	藤津郡役所会計より鹿島中学校会計係宛	罫紙	1枚	藤津郡役所、長崎小陽舎出版	114
二〇九八	請取証覚	明治19年4月～同20年3月	不詳	綴	1綴	鹿島中学校よりの請取証の綴り	115
二〇九九	生徒補助費渡簿	明治19年第4月以降	鹿島中学校会計係	書冊	1冊	鹿島中学校罫紙 補助費金請取人名 立石の印 受取人印あり	116
二一〇〇	佐賀県庁令	明治19年7月以降	鹿島中学校	書冊	1冊		117
二一〇一	明治十九年度定額金勘定帳	明治19年頃	鹿島中学校	書冊	1冊		118
二一〇二	日録	明治20年1月	鹿島中学校	書冊	1冊		119
二一〇三	鹿島中学校財産帳	明治20年4月調査	鹿島中学校長 山口竹一郎	書冊	1冊		120
二一〇四	(仮)断簡	明治20年	鹿島中学校	罫紙	9枚	冊子からはずれたもの	121
二一〇五	書簡(封筒のみ)	(明治)7月31日	鶴屋利七より鹿島中学校宛	封書	1通		122
二一〇六	(仮)蔵書目録	明治	不詳	書冊	1冊	故事文選	123
二一〇七	鹿島中学校諸規則	明治	不詳	書冊	1冊		124
二一〇八	校則、学則	明治	不詳	書綴	1綴		125

二〇九	校則変例	明治	鹿島中学	書綴	1綴	
二一〇	(仮)中学校則	明治	不詳	書綴	1綴	
二一一	長崎県鹿島中学校教則	明治	鹿島中学校	書冊	1冊	
二一二	長崎県鹿島中学校則	明治	鹿島中学校	書冊	1冊	
二一三	明治十四年分長崎縣学務課通報	明治	不詳	書冊	1冊	
二一四	明治十二年第四学年報告	明治	鹿島中学校	書冊	1冊	
二一五	鹿島中学校寄宿舎住居替并互葺替積書	明治	森元仙十	書綴 絵図面	1綴	包紙あり
二一六	(仮)教科書受取簿	明治	鹿島中学校	書綴	1綴	
二一七	鹿島中学校諸規則	明治	不詳	書冊	1冊	表紙に「廃シ」
二一八	(仮)教員人数・俸給・生徒数書上	明治	不詳	罫紙	1枚	鹿島中学校罫紙
二一九	生徒在学年別	明治	不詳	罫紙	1枚	鹿島中学校罫紙
二二〇	記(諸経費書上)	明治	不詳	罫紙	1枚	鹿島中学校罫紙
二二一	公立鹿島中学校職員勤務年別及年齢表	明治	不詳	罫紙	1枚	鹿島中学校罫紙
二二二	藤津郡町村立学校職員勤務年別及年齢表	明治	不詳	一紙	1通	鉛筆・墨書 公立鹿島中学校分
二二三	(仮)蔵書控	明治	鹿島中学校	書綴	1綴	
	2 鹿島英語学校					
二二四	履歴	明治12年4月	熊本中川静紀	一紙	1通	包紙と添書あり
二二五	在学証書綴	自明治20年5月至同22年12月	鹿島英語学校	書冊	1冊	罫紙綴

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三二六	法律科聴講生名簿	明治20年6月18日	鹿島英語学校	書綴	1綴	鹿島英語学校罫紙	3
三二七	退学生徒名簿	明治20年7月以降 明治24年	鹿島英語学校	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙	4
三二八	入校金請取簿	明治20年第9月	英語学校	書綴	1綴		5
三二九	寄附金収入簿	明治20年	鹿島英語学校	書冊	1冊		6
三三〇	金銭出納帳	明治20年	鹿島英語学校事務所	書冊	1冊		7
三三一	退校願書綴	明治21年1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊		8
三三二	蔵書録	明治21年5月	鹿島英語学校	書冊	1冊		9
三三三	修業証書授与人名簿	明治21年7月起	鹿島英語学校	書冊	1冊		10
三三四	記(納品書)	明治21年9月5日	河内書籍店より鹿島英語学校宛	罫紙	1枚		11
三三五	寄宿願	明治21年9月17日	吉福今朝太郎より鹿島英語学校宛	一紙	1通		12
三三六	入校金受取簿	明治21年9月以降	吉福今朝太郎より鹿島英語学校宛	書綴	1綴	鹿島英語学校罫紙	13
三三七	授業料収入簿	明治21年第9月	吉福今朝太郎より鹿島英語学校宛	書冊	1冊		14
三三八	記(入校金)	明治21年10月1日	鹿島英語学校より前山為次郎宛	罫紙	1枚		15
三三九	寄宿願	明治21年10月15日	川崎治兵衛(印)より鹿島英語学校宛	一紙	1通		16
三四〇	入学願書綴	明治21年	鹿島英語学校	書綴	1綴		17
三四一	経費日計簿	明治21年	鹿島英語学校	書冊	1冊		18
三四二	経費請払簿	明治21年	鹿島英語学校	書冊	1冊		19

三四三	褒賞授与人名	明治21年	鹿島英語学校	書冊	1冊	20
三四四	入校金受取簿	明治21年	鹿島英学校	書綴	1綴	21
三四五	授業料収入簿	明治21年	鹿島英学校	書冊	1冊	22
三四六	経費請払簿	明治22年1月以降	鹿島英学校	書冊	1冊	23
三四七	書籍損料請取簿	明治22年1月以降	鹿島英学校	書冊	1冊	24
三四八	受取書貫	明治22年1月以降	鹿島英学校	書綴	1綴	25
三四九	鹿島英語学校日誌	明治22年4月以降	鹿島英語学校記録係	書綴	1綴	26
三五〇	修業賞併賞品授与割印簿	明治22年6月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	27
三五一	和漢洋書籍目録	明治22年8月調査仮扣	鹿島英語学校	書冊	1冊	28
三五二	報造綴	明治22年12月起	鹿島英語学校	書冊	1冊	29
三五三	入学願書綴	明治22年	鹿島英語学校	書綴	1綴	30
三五四	請取証貫	明治23年第1月以降	不詳	綴	1綴	31
三五五	各所照会通知并問答案綴	明治23年1月起	鹿島英語学校	書冊	1冊	32
三五六	勘定一覧表	明治23年1月～12月	会計(鹿島英語学校)	書冊	1冊	33
三五七	明治二三年自一月至十二月勘定一覧表	明治23年12月	不詳	書綴 袋	1綴 1袋	34
三五八	鹿島英語学校帳簿入袋	明治23年度分	会計係	袋	1袋	35-(1)
三五九	経費諸払簿	明治23年第1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	35-(2)
三六〇	書籍損料取立簿	明治23年第1月以降	鹿島英語学校書籍係	書冊	1冊	35-(3)
三六一	仮出張	明治23年第1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	35-(4)

25	領収紙(ハガキ、野紙、送券等)を合綴
26	鹿島英語学校野紙
30	領収証合綴(鹿島英語学校アテ)
33	「明治23年度勘定表校長　存」と包紙にあり
34	「右収支勘定正当ト認ム」の奥書及び「梅崎」の印あり
35-(1)	(袋上書)「鹿島英語学校23年度帳簿入会計係」
35-(2)	鹿島英語学校野紙
35-(3)	鹿島英語学校野紙
35-(4)	鹿島英語学校野紙

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三六三	経費日記簿	明治23年第1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙	35-(5)
三六三	俸給金請取簿	明治23年第2月以降	鹿島英語学校会計	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙	35-(6)
三六四	酬労金渡簿	明治23年7月改	不詳	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙 墨付は1枚のみ	35-(7)
三六五	授業料収入簿	明治23年第1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙	35-(8)
三六六	入校金請取簿	明治23年第1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊	鹿島英語学校罫紙	35-(9)
三六七	通帳	明治23年	鹿島銀行より鹿島英語学校宛	小横帳	1冊		36
三六八	在学証書綴	明治23年～24年	不詳	書綴	1綴	鹿島英語学校在学	37
三六九	二三年度請取簿貫	明治23年	鹿島英語学校	書綴	1綴	領収書の綴	38
三七〇	経費日計簿	明治24年1月～12月	鹿島英語学校	書冊	1冊		39
三七一	経費請払簿	明治24年1月～12月	鹿島英語学校	書冊	1冊		40
三七二	入校金請書取簿	明治24年1月	鹿島英語学校	書冊	1冊		41
三七三	授業料領収証	明治24年1月ヨリ	鹿島英語学校	書綴	1綴		42
三七四	修繕費請取貫	明治24年1月以降	不詳	書綴	1綴		43
三七五	雑費請取証貫	明治24年1月以降	不詳	書綴	1綴		44
三七六	需要費許書貫	明治24年1月以降	鎔造館より	書綴	1綴	明治24年～25年以降の証文類　他綴	45
三七七	書器費請取貫	明治24年1月以降	鹿島英語学校	書冊	1冊		46
三七八	和漢洋書籍目録(旧目録)	明治24年2月	鹿島英語学校	書冊	1冊		47
三七九	明治二四年三月一二日覚	明治24年2月12日	渡辺羊三郎より	書冊	1冊	貸出簿	48-(1)
三八〇	明治二四年五月一日教科書用書及参考書	明治24年5月1日	鎔造館より	書冊	1冊	教科用書及参考書書付	48-(2)

二八一	日録	明治24年4月以降	鎔造館	書冊	1冊	49
二八二	入学願届名簿	明治24年4月以降	鎔造館	書冊	1冊	50
二八三	在学証書綴并ニ入金証	明治24年4月	鎔造館	書冊	1冊	51
二八四	本科、選科、授業料并ニ会費収入簿	明治24年5月改	鎔造館会計	書冊	1冊	52
二八五	記(二四年四月～六月迄三ヶ月分の授業料払入みの件)	明治24年7月27日	能古見村山口信一郎より鎔造館宛	書綴	1綴	53
二八六	明治二四年勘定表	明治24年12月	不詳	書綴	1綴	54
二八七	入学願書綴	明治24年	不詳	書綴	1綴	55
二八八	明治二五年度収支予算表	明治24年	不詳	書綴	1綴	56
二八九	書籍損料取立帳	明治25年1月以降	鎔造館	書冊	1冊	57
二九〇	日俸請取簿	明治25年1月以降	鎔造館	書冊	1冊	58
二九一	授業料収入簿	明治25年自1月至12月	鎔造館	書冊	1冊	59
二九二	参考書借用帳	明治25年4月以降	鎔造館	書冊	1冊	60
二九三	書籍貸渡扣帳	明治25年4月以降	鹿島英語学校書籍係	書冊	1冊	61
二九四	和漢洋書籍目録	明治25年4月調査	鎔造館	書冊	1冊	62
二九五	来館願	明治25年6月6日	鎔造館(印)より渡辺筒以下二〇人宛	罫紙	1枚	63
二九六	毎月々給金請取簿	明治25年7月28日同26年4月以降	鎔造館	書冊	1冊	64
二九七	請取証貫	明治25年7月以降26年4月迄	中川商店他より鹿島鎔造館宛	書綴	1綴	65
二九八	伺貫	明治25年7月ヨリ	館長より会計係宛	書冊	1冊	66
二九九	経費請払簿	明治25年7月以降	鎔造館	書冊	1冊	67

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三〇〇	経費支出現金見出簿	明治25年7月以降	鎔造館	書冊	1冊		68
三〇一	授業料収入簿	明治25年7月改	鎔造館	書冊	1冊		69
三〇二	月給寄附人名簿	明治25年分	鎔造館	書冊	1冊		70
三〇三	経費日計簿	明治25年	鎔造館	書冊	1冊		71
三〇四	経費請掛簿	明治25年	鎔造館	書冊	1冊		72
三〇五	学業履歴書	明治25年～26年	不詳	書綴（罫紙）	1綴	前次鎔造館あての履歴書綴	73
三〇六	二五年度仮入金額豫算	明治25年	不詳	綴	1綴		74
三〇七	日誌	明治26年4月以降	幹事（鎔造館）	書冊	1冊		75
三〇八	授業料舎費入校金書籍損料納金及経費請取簿	明治26年4月～27年3月	鎔造館	書冊	1冊		76
三〇九	経費支払残金見出簿	明治26年4月～27年3月	鎔造館会計係	書冊	1冊		77
三一〇	経費請払簿	明治26年4月～27年3月	鎔造館	書冊	1冊		78
三一一	経費日計簿	明治26年4月～27年3月	鎔造館	書冊	1冊		79
三一二	授業料収入簿	明治26年4月以降	鎔造館	書冊	1冊		80
三一三	諸請取證貫	明治26年4月以降27年迄	中川商店他鹿島鎔造館	書綴	1綴	墨書・印刷・ペン	81
三一四	銃配当簿	明治26年5月	鎔造館	書冊	1冊		82
三一五	銃配当簿	明治26年9月改	鎔造館	書冊	1冊		83
三一六	入舎願綴	明治26年より29年まで	鎔造館	書冊	1冊		84
三一七	退館願綴	明治26年～28年	鎔造館	書綴	1綴		85

三三八	月謝・舎費元簿	明治27年1月	鎔造館	書冊	1冊	
三三九	経費日計簿	明治27年4月～28年3月	鎔造館	書冊	1冊	87
三三〇	経費請払簿	明治27年4月～28年3月	鎔造館	書冊	1冊	88
三三一	領収証貫	明治27年4月以降明治28年	吉田助他より鹿島鎔造館	書綴	1綴	89
三三二	授業料其他上納経費金請取簿	明治27年4月～28年3月	鎔造館	書冊	1冊	90
三三三	授業料・舎費元簿	明治27年9月～28年8月	鎔造館	書冊	1冊	91
三三四	授業料舎費・入学金書籍損料領収日計簿	明治27年9月～28年8月	鎔造館	書冊	1冊	92
三三五	経費請払簿	明治27年9月～28年7月	鎔造館	書冊	1冊	93
三三六	経費日計簿	明治27年9月～28年7月	鎔造館	書冊	1冊	94
三三七	入学願書	明治27年～28年	不詳	書冊	1冊	95
三三八	請取證	12月6日	佐賀久布白店手代中原為三(印)鹿島英語学校	一紙	1通	96
三三九	授業料領収証宛	明治20年代	鎔造館会計より□□殿	(印刷)印収証(未使用)包紙	32枚	97
三三〇	(仮)私立学校寄附金書上	明治	山浦村分	一紙	1枚	98
三三一	(仮)英語学校寄附金受取証	明治	戸長役場	罫紙	1通	99
三三二	鹿島英語学校資金寄附人名	明治	高津原村新町衆	長帳	1枚	100-(1)
					1冊	三三二～三三四合綴

罫紙、鎔造館入学願書及び添付の履歴書等合綴

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三三	(仮)私立中学校設立経費寄附人名帳	明治19年11月11日	田中馨他82名	書綴	1綴		100-(2)
二三四	私立学校年々寄附金帳	明治	世間名	書冊	1冊		100-(3)
二三五	私立学校年々寄附金帳	明治	犬王袋名	書冊	1冊		100-(4)
二三六	私立学校年々寄附金帳	明治	五町分名	書冊	1冊		100-(5)
二三七	私立学校年々寄附金帳	明治	重ノ木名	書冊	1冊		100-(6)
二三八	私立学校年々寄附金帳	明治	小船津名	書冊	1冊		100-(7)
二三九	私立学校年々寄附金帳	明治	旧知事公他	書綴	1綴		100-(8)
二四〇	寄附願	明治20年11月29日	横尾純喬より英語学校宛	野紙	1枚		100-(9)
二四一	中学校義捐金	明治	梅崎季誠他22名	書綴	1綴		100-(10)
二四二	私立学校年々寄附金帳	明治	若殿分名	書冊	1冊		100-(11)
二四三	私立学校年々寄附金帳	明治	執行分名	書冊	1冊		100-(12)
二四四	私立学校年々寄附金帳	明治	末光名	書冊	1冊		100-(13)
二四五	私立学校年々寄附金帳	明治	納富分名	書冊	1冊		100-(14)
二四六	鹿島英語学校規則	明治	鹿島英語学校	書冊	1冊		101
二四七	(仮)経費請入払出簿	明治	鹿島英語学校	書綴	2綴		102
二四八	各学科の要旨	明治	不詳	書綴	1綴	同綴が計10部	103
二四九	書籍代金書付	明治	不詳	野紙	1枚	鎔造館、半切「皇朝略史」等	104

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
	H 教育						
	3 雑						
三三五〇	漢蘭医学御蔵書	明治4年7月	弘文館	書冊	1冊		1
三三五一	学校費并遊学生徒学費渡米金調	明治5年2月	元鹿嶋懸出納掛大属田中孝教・同出納掛少属松尾博章	綴	1綴		2
三三五二	中学教科	明治6年9月	文部省	書冊	1冊	朱で修正	3
三三五三	御蔵書録	明治6年	義塾	書冊	1冊		4
三三五四	御蔵書冊調子帳	明治7年7月	不詳	書冊	1冊		5
三三五五	御蔵書冊調子帳 甲	明治7年7月	不詳	書冊	1冊		6
三三五六	明治7年御書物帳	明治9年	不詳	書冊	1冊		7
三三五七	田中氏学費入拂帳	明治10年2月	不詳	長帳	1冊		8
三三五八	中学師範学科規則	明治10年7月	不詳	書冊	1冊	(原)明治10年7月改正(写)不詳(原)東京師範学校(写)不詳	9
三三五九	幼学綱要領賜の勅諭	明治15年12月	宮内卿徳大寺実則	一紙	1通	絵入り印刷 幕藩需臣島田藩根謹書時年八十一(印)	10
三三六〇	明治15年分長崎縣学務課通報	明治15年	不詳	書冊	1冊	罫紙(長崎県)	11
三三六一	明治17年3月卒業證書授与人名	明治17年3月	不詳	書冊	1冊		12
三三六二	辞令(校長・教諭・助教授・辞令)	明治17年8月20日～10月29日	佐賀県より山口竹一郎他8名宛	罫紙綴	1綴		13

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三六三	検定試験願(下書)	明治18年1月	前田悦一郎(印)より文部卿大木喬任宛	罫紙綴	1綴	修身漢文・歴史・履歴を付す	14
三六四	書籍注文書(欽定四書解義文章軌範正篇)	明治18年6月	脩道館より山口升一郎・平尾家義宛	綴	2綴		15
三六五	給金他書上(教員給・書記給他)	明治18年ヵ	不詳	罫紙	1枚		16
三六六	一七年度前半期日斗帳科目調	明治18年ヵ	不詳	罫紙	1枚		17
三六七	教場破損書上	明治18年	不詳	綴	1綴		18
三六八	記(経費書上)	明治18年	不詳	綴	3綴		19
三六九	一七年度前後記仕拂対比表	明治18年	不詳	綴	7綴	教育給、書記給他	20
三七〇	明治一九年三月以降勅令・文部省令(写)	明治19年3月〜	鹿島藩	書冊	1冊		21
三七一	私立学校願、扣	明治20年	原忠順・熊谷弥三郎より鎌田景弼宛	書冊	1冊		22
三七二	学業履歴書(生徒履歴書)	明治23年、24年	野口寛造他	罫紙綴	1綴		23
三七三	明治二六年度自九月至六月授業料舎費入学金収入精算報告書	明治26年	不詳	書綴	1綴		24
三七四	学校改正著手ニ関スル文部大臣訓示『教育制度教育行政改正ノ方針』	明治37年1月25日	文部大臣久保田譲より	書綴	1綴	「直彬所有」とあり罫紙(文部省)	25
三七五	明治三九年末調査表	明治39年	小濱校高等科	罫紙	1枚	在学生徒・出席生徒・欠席生徒数	26
三七六	御書物御買揚記	(明治)子2月15日〜寅8月	不詳	長帳	1冊		27
三七七	長崎ゟ機械運送方諸書付	(明治)己11月12日	不詳	包紙	1枚	「比内器械目録壱冊相浦江相渡」三六〜三六の包紙	28−(1)

三六八	記(器械運送経費書上)	(明治)10月10日	宇野善蔵より熊谷弥三	一紙	1通	28-(2)
三六九	書上(器械代・運送諸費書上)	明治	不詳	一紙	1通	28-(3)
三七〇	記(洋銀弐弗拾仙・金三拾銭受取)	(明治)第4月13日	弦屋利七(長崎江戸町内外蒸気船問屋弦屋利七店)印より長崎県中学校	野紙	1枚	割印4「三輪」印あり 28-(4)
三七一	仕切記(金送付書)	(明治)12年7月21日	鶴屋利七(長崎江戸町内外蒸気船問屋鶴屋利七店)印より鹿嶋中学校	一紙	1通	鶴屋印、割印あり 28-(5)
三七二	物理器械長崎6買入費	明治	不詳	野紙	1枚	長崎県鹿島中学校、明治12年4月購入費明細 28-(6)
三七三	記(請取証)	(明治)第6月18日	丸屋(請取印あり)より中学校宛	一紙	1通	割印あり 28-(7)
三七四	記(請取証)	(明治)7月3日	通運会社(長崎区江戸町内国通運会社)印より	一紙	1通	28-(8)
三七五	記(修繕済送付之分・未外修繕中後送り之分器械リスト)	明治	不詳	野紙	1枚	28-(9)
三七六	物理器械修繕費送付依頼	明治12年9月15日	長崎中学校(印)より鍋島直彬殿代理弦屋利七宛	野紙	1枚	28-(10)
三七七	領収証(STEAMFACTORY and CITY SHOW ROOM社)	一八七九年4月7日	JAMES W.BENSONより Irurir Lyere	領収証	1枚	28-(11)
三七八	領収証送付依頼(器械修繕出来引渡)	明治12年10月6日	長崎中学校(印)より鍋島直彬代理弦屋利七宛	野紙	1枚	28-(12)
三七九	器械日記	明治	長崎中学校より	野紙	1枚	野紙(長崎中学校) 28-(13)
三七〇	記(理学器械代価受取)	明治12年4月6日	長崎中学校(印)より従五位鍋島直彬殿代理弦屋利七宛	野紙	1枚	野紙(長崎中学校) 28-(14)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三九一	封筒	明治12年9月15日	長崎中学校より鍋島直彬殿代理弦屋利七宛	封筒	1通	封筒のみ	28-(15)
三三九二	通知(理学器械御入用に付当校所蔵中余分を譲る旨)	明治12年	長崎中学校より従五位鍋島直彬殿家令山口登殿代理渡辺簡宛	罫紙	1枚	三三九三の封筒に入る	28-(16)
三三九三	封筒	明治	鍋島直彬家令代理渡辺簡より長崎中学校長沢井熊次郎宛	封筒	1通	三三九二が入る	22-(17)
三三九四	承諾(物理器械不用之分差閊なくば当校に)	明治12年2月26日	鹿島中学校長事務取扱田中譽治(印)より長崎中学校長沢井熊次郎宛	罫紙	1枚	三三九五に入る「沢井」印あり、罫紙(鹿島中学校)	28-(18)
三三九五	封筒	明治12年2月28日	長崎中学校より従五位鍋島直彬殿代理弦屋利七宛	封筒	1通	三三九四が入る	28-(19)
三三九六	物理器械送付受取送証類	明治12年	彼杵郡通運会社松副熊太郎・嬉野通運会社他より鍋島直彬殿代理弦屋利七等宛	綴	1綴		28-(20)
三三九七	借方日計表(葉書20枚代・郵便税)	20日～29日	不詳	用紙	1枚		29
三三九八	俸給校費修繕費豫算実費対比表	明治	不詳	罫紙綴	1綴		30
三三九九	生徒補助費請取書	明治	不詳	罫紙	1枚		31
三三〇〇	校則・学則	明治	不詳	綴	1綴		32
三三〇一	長崎県師範学校教則	明治	(原)長崎県師範学校	書冊	1冊	(写)不詳	33
三三〇二	唐津変則中学校規則	明治	(原)唐津中学校	書冊	1冊	(写)不詳	34
三三〇三	(仮)図書目録	明治	不詳	継紙	1枚		35
三三〇四	佐賀変則中学校規則	明治	谷口復四郎(写)	書冊	1冊		36

二三〇五	職員令	明治	不詳	書冊	1冊		37	
二三〇六	旧藩学校蔵書録	明治	不詳	書冊	1冊		38	
二三〇七	唐津変則中学校教則和漢両籍之部	明治	不詳	書冊	1冊		39－(1)	
二三〇八	唐津変則中学校英語学校則	明治	不詳	書冊	1冊		39－(2)	
二三〇九	(学校長姓名書上)	明治	不詳	罫紙	1枚	罫紙(藤津郡支部協会)	40	
二三一〇	(第二回学生大会出席者名簿)	明治	不詳	罫紙	1枚		41	
二三一一	(成績上位者氏名・成績・操行席次)	明治	不詳	罫紙	1枚	罫紙(鹿島高等女学校)	42	
	― 産業							
二三一二	両郷村々櫨木調子帳	明治14年未9月	経界掛	長帳	1冊		1	
二三一三	約定証(樟売買の約定証)	明治21年10月10日	岩永敬一(印)より	罫紙	1枚	二三一三～二三一四合綴	2－(1)	
二三一四	樟木売渡証(控)	明治21年10月9日	中川馬場瑳八より岩永敬一宛	罫紙	1枚		2－(2)	
二三一五	大豆現在決算報告書	明治24年1月	豊嶋鹿之助より渡辺・石丸宛	書綴	1綴		3	
二三一六	小麦現在決算報告書	明治24年1月	豊島鹿之助より渡辺・石丸宛	書綴	1綴		4	
二三一七	(達)(鮎漁場使用願却下に付)	明治26年6月4日	南鹿島村役場(印)より中川内庫方宛	罫紙	1枚	南鹿児島村役場用罫紙二三一七～二三一三合綴	5－(1)	
二三一八	川漁場区画拝借願	明治26年4月	願人山口登(印)外保証人2名より佐賀縣知事永崎弥吉宛	綴	1綴	晩成社版罫紙2枚図面1枚	5－(2)	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三二九	川漁場区画使用願	明治26年6月	願人大塚達五外保証人2名より佐賀縣知事永峰弥吉宛	一紙	1通		5－(3)
二三三〇	漁場使用許可願添付図面扣	明治26年	願主大塚達五外より	一紙	1通	図面1枚二三一九の図面と同じ	5－(4)
二三三一	意見書	明治26年4月1日	漁業組合頭取渡辺胤(印)より	罫紙	3枚	晩成社版罫紙3枚とも同文	5－(5)
二三三二	「継続」漁場区画使用願	明治26年4月1日	願主山口登(印)外保証人2名より佐賀縣知事永峰弥吉宛	綴	1綴	晩成社版罫紙2枚図面1枚	5－(6)
二三三三	蠶絲業組合一覧表	明治41年8月	不詳	謄写版印刷	3枚		6
	J 書簡						
	1 直彬宛						
二三三四	書簡(書物の寄付に対する御礼)	明治9年1月15日	幹事従五位山内豊誠他4名より鍋島直彬宛	巻紙	1通		1
二三三五	書簡(会館費用について)	明治9年6月20日	華族会館副長池田慶徳より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	2
二三三六	書簡(館長の件で3名取調べ)	明治9年8月1日	池田慶徳より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	3
二三三七	書簡(直談のため出館依頼)	明治9年11月30日	華族会館副長より鍋島直彬宛	葉書	1通		4
二三三八	書簡(謹賀新嬉)	明治10年1月2日消印	唐橋信吉より鍋島直彬宛	葉書	1通		5

二三二九	書簡（賀新正）	明治10年1月3日	（東京）彬孫次郎より鍋島侍従宛	葉書	1通	
二三三〇	書簡（沖縄行の件等）	（明治12年）4月9日	富士見町高辻修七より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	7
二三三一	書簡（療養見舞等）	明治12年8月初9日	山内正・吉川恭治より鍋島直彬宛	封書	1通	8
二三三二	書簡（内藤寛輔氏に絶交された事）	明治12年9月17日消印	寺久保貞孝より鍋島彬宛	封書（罫紙ペン書）	1通	9 旧番号二三九に書簡目録
二三三三	書簡（方産下賜に対する御礼）	明治12年10月22日	松田道之より鍋島直彬宛	封書	1通	10 包紙あり
二三三四	書簡（病気に付東京へ戻ることできず云々）	明治13年1月	巌城處厚より鍋島直彬宛	封書	1通	11
二三三五	書簡（旧琉球藩負債金の件）	明治13年5月5日	国債局長郷純造より鍋島直彬沖縄県令宛	封書（罫紙1枚）	1通	12
二三三六	書簡（〝賦拙作奉答〟として漢詩）	明治13年5月16日	成富清風より鍋島直彬宛	封書（用紙1通）	1通	13 消印東京
二三三七	書簡（東京地学協会保続資金管理法の件）	明治13年7月3日消印	東京地学協会より鍋島直彬宛	封筒（紙2枚）	1通	14
二三三八	書簡（三田公の御一票に付乗公内話有）	明治13年7月4日消印	松田道夫より鍋島直彬宛	封書	1通	15
二三三九	書簡（7月13日馬耳塞へ到着）	明治13年7月13日	柳原前光より鍋島直彬宛	継紙	1通	16 包紙あり
二三四〇	書簡（妻の病気見舞等への礼状）	明治13年8月13日消印	松田道夫より鍋島直彬宛	封書	1通	17
二三四一	書簡（近況、辻田に暇をとらす件等）	（明治13年）10月15日	易（鍋島易子）より御兄様（鍋島直彬）宛	封書（巻紙）	1通	18
二三四二	書簡（当国へ東洋より駐使を派するは初回）	明治13年11月4日	柳原前光より鍋島直彬宛	封書	2通	19
二三四三	書簡（13年3月24日堀親賡の滝脇信敏紹介状）	（明治）13年	滝脇信敏より鍋島直彬宛	封書	2通	20

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三四	書簡	明治14年1月23日	柳原前光より鍋島直彬宛	封書	1通		21
二三五	書簡(華族の有様、東京ヨリ北部迄の大鉄道論)	明治14年2月8日	萬里小路通房より沖縄縣令鍋島直彬宛	封書	1通		22
二三六	書簡(1月26日の火事の件)	(明治)14年2月26日	立花稚恭より鍋島直彬宛	封書(罫紙)	1通		23
二三七	通達(内国勧業博覧会事務総裁能久親王殿下開催宴会招待状)	明治14年5月5日	北白川宮御附三吉慎蔵より鍋島直彬宛	一紙	1通		24
二三八	賞賜(長崎県下学校資寄付につき銀杯下賜)	明治14年6月30日	太政官より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	25
二三九	副状	明治14年6月30日	内閣書記官より鍋島議官宛	罫紙	1通	大政官罫紙 包紙あり	26
二三〇	布達書(召集達)	明治14年7月13日	宮内卿徳大寺実則より議官鍋島直彬宛	罫紙	1枚	宮内省罫紙	27
二三一	書簡(元郎院に関する件)	明治15年12月25日	元老院庶務課書記官より議官鍋島直彬宛	封書(書綴2綴)	1通		28
二三二	書簡(同族青年親睦會設立の主旨)	明治17年6月23日	日埜資秀より鍋島直彬宛	封書	1通		29
二三三	書簡(御用のため出殿)	明治17年7月6日	宮内省より鍋島直彬宛	封書	1通		30
二三四	書簡(賢所参拝の件)	明治17年8月1日	宮内卿伊藤博文より鍋島直彬宛	封書	1通		31
二三五	書簡(濱離宮へ招待)	明治17年8月1日	宮内卿伊藤博文より鍋島直彬宛	封書	1通		32
二三六	達(皇后宮での婦人洋装の件)	明治19年6月23日	宮内大臣伊藤博文より鍋島直彬宛	一紙	1通	封筒(印刷)あり	33
二三七	書簡(学習院建設費納入)	明治20年12月17日	華族局より鍋島直彬宛	一紙	1通		34

三三六八	達(出頭されたし)	明治21年5月30日	宮内省より議官子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	35
三三六九	書簡(書簡の礼状)	明治22年8月7日消印	深川亮蔵より鍋島直彬宛	封書	1通	36
三三七〇	書簡(近況報告、内閣少し動揺の事)	(明治)23年6月7日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	37
三三七一	書簡(元老院の天皇との会食の事)	明治23年	元老院議長柳原前光より鍋島(直彬ガ)宛	封書	1通	38
三三七二	書簡(貴族院関係)	明治23年	華族会館より鍋島直彬宛	封書(紙6枚)	1通	39
三三七三	書簡(宮内省小変革について)	(明治24年ヵ)3月15日	柳原前光より鍋島直彬宛	継紙	1通	40
三三七四	書簡(各省人事枢密院改革等の件)	明治24年6月14日	柳原前光より鍋島直彬宛	継紙	1通	41
三三七五	書簡(家政改革について)	明治24年9月5日消印	深川亮蔵・田中永男より鍋島直彬宛	封書	1通	42
三三七六	書簡(原氏の件)	(明治27年)10月31日	西園寺公望より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	43
三三七七	書簡(軍資金献納の承認状)	明治27年11月6日	海軍省経理局より鍋島直彬宛	一紙	1通	44
三三七八	書簡(当年末議会の場所について)	(明治27年)11月8日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書(罫紙)	1通	45
三三七九	書簡(軍資金献納の承認状)	明治28年2月19日	陸軍恤兵監より鍋島直彬宛	一紙	1通	46
三三八〇	書簡(封筒のみ)	明治28年12月2日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1通	47
三三八一	書簡(拙宅訪問の礼状)	明治29年9月26日消印	諫早家崇より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	48
三三八二	書簡(此度の選挙尚反会とその他との大競争)	(明治30年)7月12日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通	49

1通	明治23年9月25日の勅諭の奉答
1通	包紙あり
1通	包紙あり
1通	同月1日付深川亮蔵宛鍋島直彬書簡写有
1通	
1通	電報同封・内閣罫紙

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三七三	書簡(喪中御尋として菓子の下賜)	明治30年11月12日消印	宮内大臣土方久元より鍋島直彬宛	封書	1通	二三七四と同封	50
二三七四	書簡(喪中御尋として菓子の下賜)	明治30年11月12日消印	内事課長斎藤桃太郎より鍋島直彬宛	封書	1通	二三七三と同封	51
二三七五	書簡(寄附ニ付謝状)	明治31年2月15日	豊國會會長黒田長成より鍋島直彬宛	封書(一紙)	1通		52
二三七六	書簡(小学校教育費国庫補助ニ関スル意見)	明治32年1月23日	帝国教育会長辻新次より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通		53
二三七七	報告書(東亜同文会規模・事業要領)	明治32年5月17日	東亜同文会より(鍋島直彬)宛	謄写版	1通	封筒なし	54
二三七八	書簡(墨ニテ御自筆御書入レ云々)	(明治32年)5月21日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		55
二三七九	書簡(醍醐事件の犯人格太郎の事)	(明治32年ヵ)6月6日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		56
二三八〇	書簡(夏期休暇中御地へ伺う予定変更)	明治32年7月4日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	57
二三八一	書簡(近況報告)	(明治32年)7月11日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		58
二三八二	書簡(十四議会)	(明治)32年7月21日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		59
二三八三	書簡(乗長氏漢字・書・洋学の師匠について)	(明治32年)7月22日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		60
二三八四	書簡(乗長氏会計ヲ自ラ致度様子ニ云々)	(明治32年)7月30日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		61
二三八五	書簡(帰朝挨拶)	明治32年8月3日	(東京)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		62
二三八六	書簡(封筒のみ)	明治32年8月7日消印	侍従職より鍋島直彬宛	封書	1通		63

二三八七	書簡(宮中新居設置之件)	明治32年8月10日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	64
二三八八	書簡(帝室制度調査の件)	(明治32年)8月27日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通	65
二三八九	書簡(直昭縁談及び直縄連帰の件)	(明治)32年9月2日	鍋島直昞より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	66
二三九〇	書簡(両談話会規約の件)	(明治)2年10月21日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通	67
二三九一	書簡(鉄道敷設完通の陳情書)	明治32年10月25日	島根県石見国那賀美濃鹿足三郡有志惣代宮崎弥三郎他21名より鍋島直彬宛	封書(紙2枚印刷)	1通	68
二三九二	書簡(引戻の件、本日調査主任決定)	明治32年11月28日	藤田牛より鍋島直彬宛	封書	1通	69
二三九三	書簡(学業年限短縮の件他4条)	明治32年11月	学制改革同志会より			70
二三九四	書簡(其節御願上申候件)	(明治32年)12月29日	湯本武次より鍋島子爵閣下宛	封書	1通	71
二三九五	書簡(紹介者面会の件)	(明治32年ヵ)12月29日	樺山資紀より鍋島閣下宛	封書	1通	72
二三九六	書簡(帝国教育会国庫補助之件)	明治32年12月29日消印	帝国教育会長辻新次より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	73
二三九七	書簡(相手からの手紙に対する礼状)	明治33年1月20日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	74
二三九八	書簡(清帝廃立ニ係ル状報)	(明治)33年2月2日	東亜同文会より鍋島子爵宛	封書(謄写版)	1通	75
二三九九	書簡	明治33年2月12日	宮内省より鍋島直彬宛	封書(一紙)	1通	76
二四〇〇	書簡(「振天府拝観記」の件)	明治33年2月26日	岡沢桂より鍋島直彬宛	封書	1通	77

「振天府拝観記」同封、陸軍中央幼年学校編、書冊1冊

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二四〇一	書簡(帝国古蹟取調会の件)	明治33年2月26日	帝国古蹟取調会長岡護美より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		78
二四〇二	書簡(中西・白岩龍平参越す件)	明治33年2月27日	田鍋安之助より鍋島直彬宛	封書	1通	東亜同文会宛白岩龍平葉書・上海字林滬報を同文会が買受ける件の報告同封	79
二四〇三	書簡(書面の件の証拠類について)	明治33年5月17日	藤田四郎より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		80
二四〇四	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙人名簿)	明治33年5月消印	宮内省爵位局より鍋島直彬宛	封書	1通	爵位局達第3号	81
二四〇五	書簡(東京自由党首相会見につき)	(明治33年)6月1日	(東久世)通禧より綱堂(鍋島直彬)宛	封書	1通		82
二四〇六	書簡(評議員推薦の事)	明治33年7月12日消印	東亜同文会長近衛篤麿(印)より鍋島直彬宛	封書	1通	同会用紙	83
二四〇七	書簡(北韓地方不穏の情報)	明治33年7月19日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通	「北韓地方不穏の情報」10月4日平壌日語学校助教木村申太郎	84
二四〇八	書簡(選挙敗北の事情報告)	(明治33年)7月29日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		85
二四〇九	書簡(支那事件もいまだニ判然埒明ず)	(明治)33年8月14日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通		86
二四一〇	書簡(北支一件で連合軍北京進入)	(明治33年)9月12日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		87
二四一一	書簡(直縄の近況)	明治33年9月17日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		88
二四一二	書簡(東洋での紛擾につき)	(明治33年)9月27日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		89
二四一三	書簡(漢口通信)	明治33年10月17日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通		90

二四一四	書簡（浦潮斯徳通信）	明治33年10月23日	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書（謄写版）	1通	91
二四一五	書簡（子爵議員選挙の事）	（明治33年）11月10日	立花積恭より鍋島直彬宛	封書	1通	92
二四一六	書簡（隣邦各国軍へ発砲のこと）	（明治33年ヵ）11月20日	（東久世）通禧より（鍋島）直彬宛	封書	1通	93
二四一七	書簡（「東亜同文会特報」上海同文書院変につき）	（明治33年）	（東亜同文会）より鍋島直彬宛	封書（謄写版）	1通	94
二四一八	書簡（東亜同文会特報14・15号漢口・南京）	（明治33年）	（東亜同文会）より鍋島直彬宛	封書（謄写版）	1通	95
二四一九	東亜同文会特報16号	（明治33年）	（東亜同文会）より（鍋島直彬宛	封筒なし（謄写版）	1点	96
二四二〇	書簡（勉学を励むべきこと）	（明治35年）3月25日	父（鍋島直縄）より鍋島直彬宛	封書	1通	97
二四二一	書簡（脚気20年ブリニテ発動致事）	（明治36年）7月17日	（大給）恒より竹陽鍋島直彬）宛	罫紙	4枚	98
二四二二	書簡（戦争の見とおしにつき）	（明治36年）7月24日	竹斎（東久世通禧）より綱堂（鍋島直彬）宛	封書	1通	99
二四二三	書簡（私信）	明治36年8月7日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封費（継紙）	1通	100
二四二四	書簡（華族会館定款案の件）	明治37年1月21日消印	華族会館より鍋島直彬宛	封書（紙6枚書綴1綴）	1通	101
二四二五	書簡（来る6月始旬禎子同伴にて再渡韓）	（明治38年）4月20日	宣映より（鍋島）直彬宛	一紙（巻紙ヵ）	1通	102
二四二六	書簡（避寒のため鎌倉山荘罷居に付病気の事）	（明治）38年4月24日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	103
二四二七	書簡（私信）	明治38年5月7日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	104
二四二八	書簡（済美塾の近況報告）	明治38年5月7日消印	（東京）神矢粛一より鍋島直彬宛	封費（継紙）	1通	105

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二四二九	書簡(統監と同道で神戸へ直行の件)	明治38年5月10日消印	(東京)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		106
二四三〇	書簡(御機嫌伺い、伊藤祐侃・徳久の消息)	明治38年5月10日消印	(東京)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		107
二四三一	書簡(両陛下容態快方に向かう)	明治38年5月11日消印	(東京)岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通	岩佐順らの診断書写2通同封	108
二四三二	書簡(インフルエンザで困却)	(明治38年)5月13日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		109
二四三三	書簡(学友会運動会及び国語演習会の件)	明治38年5月14日	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		110
二四三四	書簡(地方巡視の感謝他)	(明治)38年5月20日	伊藤直英より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		111
二四三五	書簡(御機嫌伺)	明治38年5月21日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	112
二四三六	書簡(出張中御世話になった礼状)	明治38年5月22日消印	佐賀県庁香川輝より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		113
二四三七	書簡(時候挨拶、鎌倉別荘行の予定他)	明治38年5月23日消印	三浦安よた鍋島正三位宛	封書	1通	1封筒に書状	114
二四三八	書簡(無沙汰の詫)	明治38年6月11日消印	(東京)副島道正より鍋島直彬宛	封書	1通		115
二四三九	書簡(日本海海戦大勝の事)	明治38年6月14日消印	(東京)岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		116
二四四〇	書簡(済美塾の近況報告)	明治38年6月18日消印	(東京)神矢粛一より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		117
二四四一	書簡(近況報告、今郎の病気・夏休みの予定)	明治38年6月21日消印	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		118
二四四二	書簡(御機嫌伺)	明治38年7月20日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		119

二四三	書簡（御機嫌伺、韓国農園近況）	明治38年7月24日消印	（東京）鍋島直映より鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通	
二四四	書簡（私信）	明治38年7月25日消印	鍋島宣寛より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	121
二四五	書簡（米国陸軍ロタフト氏一行歓迎に付）	（明治38年）7月25日	東京神田鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡南鹿島子爵鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通	122
二四六	書簡（肺炎に成った件）	明治38年7月28日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	123
二四七	書簡（講和全権委員も紐育安着の由他）	明治38年7月28日	岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通	124
二四八	書簡（酷暑御見舞）	明治38年7月29日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	125
二四九	書簡（暑中御機嫌伺）	明治38年7月31日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	126
二五〇	書簡（今郎の房総での遊泳について）	明治38年8月1日消印	（上総）勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通	127
二五一	書簡（講和の結果について）	明治38年8月2日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	128
二五二	書簡（日英同盟拡張に対する意見書）	明治38年8月8日	柳原義光より鍋島直彬宛	封書	1通	129
二五三	書簡（直縄明11日御上京に付御挨拶申上）	明治38年8月10日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	130
二五四	書簡（戦争関係）	明治38年8月17日	松平乗承より鍋島直彬宛	封筒（便箋2枚）	1通	131
二五五	書簡（戦争・講和について）	明治38年9月3日	（東京）徳川達孝より鍋島直彬宛	封書	1通	132
二五六	書簡（病気見舞の御礼）	明治38年9月8日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	罫紙	1通	133

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二四七七	書簡(郵便据置貯金規定紹介書)	明治38年9月10日	郵便据置貯金奨励紹介大蔵大臣従二位男爵曽祢荒助他10名より鍋島直彬宛	封書	1通		134
二四七八	書簡(ミジューム速射野砲薬莢説明書)	明治39年2月	陸軍大尉浪花喜代造(印)(鍋島直彬)宛	封書	2通		135
二四七九	書簡	明治39年3月28日消印	貴族院より貴族院議員子爵鍋島直彬宛	封筒のみ	1枚		136
二四八〇	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙の件)	明治39年4月5日	子爵選挙管理者芳川顯正より鍋島直彬宛	封書(紙1枚)	1通		137
二四八一	書簡(東京での土産の礼状)	明治39年4月12日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		138
二四八二	書簡(農事嘱託を命ぜられた件)	明治39年4月12日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		139
二四八三	書簡(凱旋祝賀会案内)	明治39年4月15日	陸軍大臣寺内正毅より貴族院議員鍋島直彬宛	封書	1通		140
二四八四	書簡(御父様の病気進展せず)	明治39年4月15日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		141
二四八五	書簡(陸軍凱旋観兵式案内)	明治39年4月19日	陸軍大臣寺内正毅より鍋島直彬宛	封書(紙3枚)	1通		142
二四八六	書簡(土曜会会場建築の件)	明治39年4月19日	東京市土曜会より鍋島直彬宛	封書(紙7枚)	1通		143
二四八七	書簡(統監府近況報告)	明治39年4月22日	韓国京城統監府鍋島桂次郎より鍋島直彬宛	封書	1通		144
二四八八	書簡(出征軍人招魂祭凱旋祝賀会につき)	明治39年4月23日	三浦安より鍋島正三位宛	封書	1通		145
二四八九	書簡(軍功賞典事務日ニ増シ輻輳のため無音)	(明治39年)4月24日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬宛)	封書	1通		146

二四七〇	書簡(内幸町出火ニ付)	(明治39年)5月1日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	147
二四七一	書簡(4月頃より持病起り最近快方に向うこと)	明治39年5月4日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封筒	1通	148
二四七二	書簡(貴族院議員当選人の報告)	明治39年5月5日	子爵選挙管理者芳川顯より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通	149
二四七三	書簡(子爵会事務委員改選の件)	明治39年5月9日消印	子爵会事務委員より鍋島直彬宛	封書	1通	150
二四七四	書簡(有益なる指導の礼)	明治39年5月11日	伊藤哲英より鍋島直彬宛	封書	1通	151
二四七五	書簡(佐賀支部会第8回総会挙行)	明治39年5月12日消印	佐賀香川輝より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	152
二四七六	書簡(先比於貴族院御話申上候件について)	明治39年5月15日	徳川家達より鍋島子爵宛	封書	1通	153
二四七七	書簡(愛国婦人会の事)	(明治39年)5月23日	鍋島易子より御兄様(鍋島直彬)宛	封書(巻紙2枚)	1通	154
二四七八	書簡(父死去の際の弔詞に対する御礼)	明治39年5月25日消印	壬生基義より鍋島直彬宛	封書	1通	155
二四七九	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙人確定名簿)	明治39年5月29日消印	子爵選挙管理者子爵芳川顯正より鍋島直彬宛	封書	1通	156
二四八〇	書簡	明治39年5月29日消印	子爵選挙管理者子爵芳川顯正より鍋島直彬宛	封筒のみ	1枚	157
二四八一	書簡(幹事改選結果報告)	明治39年6月4日消印	躬行会より鍋島直彬宛	封書	1通	158
二四八二	書簡(靖国神社関係)	(明治)39年6月6日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通	159 千秋亭便箋
二四八三	書簡(近況報告)	明治39年6月24日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	160

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二四八四	書簡(貴族議員当選人名報告)	明治39年6月28日消印	子爵選挙管理者芳川顯正より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通		161
二四八五	書簡(安着通知、近況報告)	明治39年6月30日	(京城)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		162
二四八六	書簡(修学旅行の下見、今郎の医師の診断)	明治39年7月7日消印	勝浦鞆雄(東京府立第一中学校)より鍋島直彬宛	封書	1通		163
二四八七	書簡(小冊1部を参考のため送付する件)	明治39年7月9日消印	一木喜徳より鍋島直彬宛	封書	1通		164
二四八八	書簡(鶴山観光の宣伝)	明治39年7月12日消印	但馬国出石町鶴山保勝編纂部より鍋島直彬宛	絵葉書	1枚	鶴山	165
二四八九	領證(旅順忠魂碑建設に捐資金5円)	明治39年7月20日	会計係海軍大主計中村綱吉より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		166
二四九〇	書簡(暑中伺い、近況報告)	明治39年7月21日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		167
二四九一	書簡(「御令息様ニハ…外国語ハ甚不成績ニテ」)	明治39年7月21日	毛利正義より鍋島直彬宛	封書	1通		168
二四九二	書簡(暑中見舞)	明治39年7月24日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	簡易郵便	169
二四九三	書簡(旧領地人民に対し君恩租沢の欣哉云々)	明治39年7月25日	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通		170
二四九四	書簡(旅順防禦ノ鉄條網の件)	(明治39年)7月25日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		171
二四九五	書簡(御機嫌伺)	明治39年7月26日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		172
二四九六	書簡(平沢水源他の農地について)	明治39年8月1日	(京城)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		173

二五七	書簡(子供の旅行について)	明治39年8月1日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	
二五八	書簡(品物拝領のお礼)	明治39年8月1日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	175
二五九	書簡(常子の件)	明治39年8月1日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	176
二六〇	書簡(拓平直亮伯全快の件)	明治39年8月2日	東京市芝区徳川達孝より鍋島直彬宛	封筒(紙1枚)	1通	177
二六一	書簡(暑中見舞の件)	明治39年8月3日	鍋島貞子より伯父(鍋島直彬)伯母宛	封書	1通	178
二六二	書簡(殖産興業、風俗改良)	(明治)39年8月4日	松平乗承より鍋島直彬	封書(便箋1枚)	1通	179
二六三	書簡(奉上時の御親切にお礼)	明治39年8月8日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	180
二六四	書簡(私信)	明治39年8月14日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	181
二六五	書簡(旅行の報告)	明治39年(カ)9月4日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通	182
二六六	書簡(貴族院議員辞職の挨拶)	明治39年9月9日消印	(岡山)野崎武吉郎より鍋島子爵宛	封書	1通	183
二六七	書簡(令息様一学期成績について)	(明治39年)9月10日	福井久蔵より絅堂鍋島侯閣下宛	封書	1通	184
二六八	書簡(戦後之財政問題について)	(明治39年)9月10日	(東久世)通禧より鍋島直彬宛	封書	1通	185
二六九	書簡(北清旅行の報告)	明治39年9月23日	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	186
二七〇	書簡(東久世伯爵監修『聖徳餘閑』刊行)	明治39年9月	三省堂亀井忠一より鍋島直彬宛	一紙(巻紙か)	1通	187
二七一	書簡(農業の近況報告)	明治39年10月9日消印	(京城南大門特等官宅)鍋島直英より鍋島直彬宛	封書	1通	188

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二五二	書簡(近況、旅行出立の件)	(明治39年)10月19日	(鍋島)昌子より御兄様(鍋島直彬)宛	封書	1通		189
二五三	書簡(東宮殿下の参謀演習見学について他)	明治39年11月3日	(東京)三浦安より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		190
二五四	書簡(新築移転の件)	明治39年11月6日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		191
二五五	書簡(お父様のかぜについて)	明治39年11月7日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		192
二五六	書簡(藹子様の件)	明治39年11月13日消印	鍋島昌子より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		193
二五七	書簡(評議員会の決議)	明治39年11月19日	華族会館より鍋島直彬宛	封書	1通		194
二五八	書簡(爵位局達第一号)	明治40年1月27日消印	宮内省爵位局岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		195
二五九	書簡(封筒のみ)	明治40年3月13日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書	1通		196
二六〇	書簡(滞京中のお礼)	明治40年4月13日消印	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		197
二六一	書簡	(明治)40年4月17日夜	松平乗承より鍋島直彬宛	葉書	1通		198
二六二	書簡(礼状)	明治40年7月17日	河合彌八より鍋島直彬宛	封書	1通	差出人目録(ルーズリーフ1枚、ペン書)あり	199
二六三	書簡(私信)	明治40年4月17日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		200
二六四	書簡(収入支出高)	明治40年4月19日消印	二條基弘他9名発起者より鍋島直彬宛	葉書	1通		201
二六五	書簡(帰途衝突事故の件)	(明治40年)4月19日	東京神田鈴木町谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		202

二五二六	書簡（京城到着、平沢竜山土地実視の報告）	明治40年4月20日消印	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		203
二五二七	書簡（直彬上京の件他）	（明治40年）4月21日	（東京）毛利正義より鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通		204
二五二八	書簡（近況報告）	明治40年4月21日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封賁（継紙）	1通		205
二五二九	書簡（手紙の礼、近況報告、上野公園の勧業博の件）	明治40年4月22日消印	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通		206
二五三〇	書簡（「日本経済新誌」の創刊）	明治40年4月22日消印	古澤滋より鍋島直彬宛	葉書	1通		207
二五三一	書簡（済美塾舎落成の件）	明治40年4月25日消印	東京神矢粛一より鍋島直彬宛	封書	1通		208
二五三二	書簡（封筒のみ）	明治40年4月26日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通		209
二五三三	書簡（泉山参詣のため京洛罷出の事）	（明治40年）4月26日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通		210
二五三四	書簡（お礼と近況報告）	明治40年5月3日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		211
二五三五	書簡（日本経済新誌第号を進呈す）	明治40年5月19日	古澤茂・河津暹・河上肇より鍋島直彬宛	葉書（印刷）	1通		212
二五三六	書簡（旧作事局への就職について）	明治40年5月25日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通		213
二五三七	書簡（封筒のみ）	明治40年5月28日消印	東亜同文書院長根津一より鍋島直彬宛	封書	1通		214
二五三八	書簡（貴族会に基く子爵懲戒委員決定の事）	明治40年6月30日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通		215
二五三九	書簡（御機嫌伺、近況報告）	明治40年6月16日消印	（東京）松平慈貞院より鍋島直彬宛	封書	1通		216
二五四〇	書簡（近況報告）	明治40年6月16日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	簡易郵便	217

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二五四一	書簡（病気の報告）	明治40年6月18日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		218
二五四二	書簡（令息の学業の事）	（明治40年）6月23日	毛利正義より鍋島直彬宛	封書	1通		219
二五四三	書簡（華族懲戒委員選挙の事）	（明治）40年6月消印	華族懲戒委員子爵選挙管理者子爵芳川顕正より鍋島直彬宛	封書	1通	投票用紙1枚、選挙管理者名簿1枚同封	220
二五四四	書簡（華族懲戒委員子爵選挙人名簿の誤り）	明治40年7月2日消印	宮内省爵位局長岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		221
二五四五	書簡（町村予算三ケ年文送付の願）	明治40年7月2日消印	土曜会より鍋島直彬宛	葉書（謄写版）	1通		222
二五四六	書簡（接待への礼状）	明治40年7月2日消印	河井彌八より鍋島直彬宛	封書	1通		223
二五四七	書簡（朝鮮事情）	明治40年7月3日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封賀（巻紙）	1通		224
二五四八	書簡（棚献上の件）	明治40年7月8日消印	徳川家達より鍋島直彬宛	封書	1通		225
二五四九	書簡（法税審査会の結果報告）	明治40年7月13日	土曜会より鍋島直彬宛	封書（紙1枚・書綴1綴）	1通		226
二五五〇	書簡（朝鮮の異変の件）	（明治40年）7月20日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通		227
二五五一	書簡（暑中休暇に付、代理として子供3人遣す件）	明治40年7月21日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		228
二五五二	書簡（返書、近況）	（明治）40年7月23日	鍋島直熙より鍋島直彬宛	封賀（巻紙）	1通		229
二五五三	書簡（時候挨拶）	明治40年7月24日消印	三浦安より鍋島三位宛	葉書	1通		230

二五六四	名刺(暑中見舞)	(明治40年)7月24日	(子爵、曽我祐準)より鍋島直彬宛	封書	1通	231
二五六五	書簡(暑中見舞)	明治40年7月25日消印	柳原義光より鍋島直彬宛	葉書	1通	232
二五六六	書簡(井伊病気の件)	(明治40年)7月25日	(松平)乗長より叔父(鍋島直彬)宛	封書	1通	233
二五六七	書簡(暑中御機嫌伺、直縄帰県の件)	明治40年7月8日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	234
二五六八	書簡(献上の棚・飾品の写真帖完成の報告)	明治40年7月29日消印	徳川家達より鍋島直彬宛	封書	1通	235
二五六九	書簡(暑中見舞の返礼)	明治40年7月29日	二條基弘より鍋島直彬宛	葉書	1通	236
二五七〇	書簡(学校の成績について)	明治40年7月30日	勝浦納雄より鍋島閣下宛	封書	1通	237
二五七一	書簡(礼状)	明治40年8月1日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	238
二五七二	書簡(お土産へのお礼)	明治40年8月1日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	239
二五七三	書簡(税制調査会の件)	(明治40年)8月2日	東京駿台鈴木町谷森真男より佐賀県嘉島子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	240
二五七四	書簡(お土産へのお礼)	明治40年8月4日	鍋島政之助より鍋島直彬・藹子宛	葉書	1通	241
二五七五	書簡(封筒のみ)	明治40年8月4日消印	(博多)(松平カ)浦栄子より鍋島直彬宛	封書	1通	242
二五七六	書簡(信州地方へ避暑旅行の件)	明治40年8月7日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	243
二五七七	書簡(直縄上京の件)	明治40年8月9日消印	鍋島茂子より鍋島直彬宛	葉書	1通	244

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二三六八	書簡(弘道会会長辞任の件)	明治40年8月13日消印	松平直亮より鍋島直彬宛	封書(印刷)	1通		245
二三六九	書簡(済美塾の近況報告)	明治40年9月7日消印	済美塾主神矢粛一より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		246
二三七〇	書簡(水恩見舞)	明治40年9月9日消印	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通		247
二三七一	書簡(病気療養の挨拶他)	明治40年9月9日消印	(福岡)伊藤哲英より鍋島直彬宛	封書	1通		248
二三七二	書簡(近況報告)	明治40年9月14日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		249
二三七三	書簡(勲等御昇叙の祝)	(明治)40年9月24日(消印)	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通		250
二三七四	書簡(出産後母子共無事の件)	明治40年10月3日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		251
二三七五	書簡(子爵議員補欠の件)	明治40年10月11日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙ペン書)	1通		252
二三七六	書簡(小生・家内以下病病の事)	(明治40年)10月14日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		253
二三七七	書簡(教育成語請取の件)	(明治40年)10月14日	毛利正義より鍋島直彬宛	封書	1通		254
二三七八	書簡(子爵選挙管理者の選挙施行に付通知)	明治40年10月18日	子爵榎本武揚より鍋島直彬宛	封書	1通	投票用紙同封	255
二三七九	書簡(佐賀県奉職中の世話の礼状)	明治40年10月20日消印	(東京)河井弥八より鍋島直彬宛	封書	1通		256
二三八〇	書簡(学校参観の礼状)	明治40年10月20日	佐賀県師範学校藤浦辰三郎より鍋島直彬宛	継紙	1枚	二三八一と同封	257
二三八一	書簡(全国中学校会長及び渡韓の件)	明治40年10月21日消印	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	二三八〇と同封	258

二五八三	書簡(文部省第一回美術展覧会開催案内)	明治40年10月22日消印	文部大臣牧野伸顕より鍋島直彬宛	封書	1通		259
二五八三	書簡	明治40年10月22日消印	(柳河)曽我祐準より鍋島直彬宛	封筒のみ	1通		260
二五八四	書簡(三等旭日消・二等瑞宝佩用の件)	(明治40年)10月22日	大給恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		261
二五八五	書簡(近況報告)	明治40年10月24日消	東京鍋島易子より鍋島直彬宛	葉書	1通		262
二五八六	書簡(心臓病等病状の報告)	明治40年10月29日	勝浦鞆雄より鍋島子爵宛	書簡	1通		263
二五八七	書簡(先方の病気、後任未決の為出発不能の事)	明治40年11月1日消印	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		264
二五八八	書簡(子爵補欠選挙について)	明治40年11月3日	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙インク)	1通		265
二五八九	書簡(投票の依頼)	明治40年11月19日消印	(東京)関博直より鍋島直彬宛	封書	1通		266
二五九〇	書簡(閑叟公家茂将軍へ講読した事蹟の報告)	明治41年2月16日消印	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		267
二五九一	書簡(高等学校入学準備中の事)	明治41年4月20日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		268
二五九二	書簡(近況報告)	明治41年4月25日	(京城)鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		269
二五九三	書簡	明治41年4月28日夜	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	270
二五九四	書簡(解任挨拶状)	明治41年4月28日消印	香川輝より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		271
二五九五	書簡(手術の事)	(明治41年)4月29日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通		272
二五九六	書簡(家来病死他)	明治41年4月30日	三浦安より鍋島正三位宛	封書(一紙)	1通		273

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二五九七	書簡(近況報告)	明治41年4月30日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(罫紙9枚)	1通		274
二五九八	書簡(近況報告)	明治41年5月1日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		275
二五九九	書簡(渡韓の件)	明治41年5月6日消印	(東京)勝浦鞆雄より鍋島子爵宛	絵葉書	1通	箱根宮の下奈良屋ホテル(白黒)	276
二六〇〇	書簡(太田書記官長への餞別の件)	明治41年5月11日消印	細川護成・徳川頼倫より鍋島直彬宛	封書(カーボン)	1通		277
二六〇一	書簡(御機嫌伺)	(明治41年)5月14日	(松浦)栄子より御伯父・御伯母様宛(封筒は鍋島直彬宛)	封書	1通		278
二六〇二	書簡(指の腫物に対する見舞状)	明治41年5月15日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		279
二六〇三	書簡(欧米各国出張の餞別に対する礼状)	明治41年5月15日消印	貴族院官舎太田峰三郎より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		280
二六〇四	書簡(先般の出張での世話の感謝)	明治41年5月19日	(佐賀)住友縫之助より鍋島直彬宛	封書	1通		281
二六〇五	書簡(「明治三九年度決算書」一部入)	明治41年6月1日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通		282
二六〇六	書簡(爵位寮送第六二五号)	明治41年6月4日	爵位頭岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		283
二六〇七	書簡(私信)	明治41年6月15日消印	(熊本)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		284
二六〇八	書簡(旅行及び御機嫌伺の件)	明治41年6月15日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋8枚)	1通		285
二六〇九	書簡(持病の件)	明治41年6月17日消印	福岡市末永ふみ子より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		286
二六一〇	書簡(父様病気の件)	明治41年6月21日消印	福岡市末永ふみ子より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		287

二六二	書簡（鍋島直縄・直躬の近況報告）	（明治41年）6月21日	毛利正義より鍋島直彬宛	封賣（巻紙）	1通	288
二六三	書簡（水難救済会のため有栖川宮御名代として下向）	（明治41年）6月30日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通	289
二六四	書簡（御機嫌伺、朝鮮近況、直縄消息）	明治41年7月4日	（東京）鍋島直映より鍋島直彬宛	封賣（巻紙）	1通	290
二六五	書簡（暑中見舞）	明治41年7月19日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	291
二六六	書簡（御機嫌伺）	明治41年7月19日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	292
二六七	書簡（御機嫌伺）	明治41年7月20日	鍋島易子より兄上（鍋島直彬）宛	封書（便箋1枚）	1通	293
二六八	書簡（暑中見舞の件）	明治41年7月21日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	294
二六九	書簡（財界不景気）	（明治）41年7月22日消印	松平乗承より鍋島直彬宛	封書（罫紙半折1枚）	1通	295
二七〇	書簡（内閣改造の事）	（明治41年）7月22日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通	296
二七一	書簡（書簡の礼状）	明治41年7月23日	徳川家達より鍋島直彬宛	封書	1通	297
二七二	書簡（私信）	明治41年7月22日	鍋島易子より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	298
二七三	書簡（残暑見舞）	明治41年7月23日消印	黒田長成より鍋島直彬宛	葉書	1通	299
二七四	書簡（暑中見舞）	明治41年7月23日	鍋島貞より鍋島直彬宛	封賣（巻紙）	1通	300
二七五	書簡（暑中見舞）	明治41年7月23日	鍋島多都より鍋島直彬宛	封賣（巻紙）	1通	301

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六二五	書簡(移住通知)	明治41年7月24日	竹内惟治より鍋島直彬宛	葉書	1通		302
二六二六	書簡(無沙汰の詫)	明治41年7月25日	(東京)篠原啓二より鍋島直彬宛	封書	1通		303
二六二七	書簡(私信)	明治41年7月26日消印	東京柳原義光より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		304
二六二八	書簡(暑中見舞)	明治41年7月27日	日光阿部正恒より鍋島直彬宛	簡易封書	1通		305
二六二九	書簡(私信)	明治41年7月28日消印	鍋島宣寛より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		306
二六三〇	書簡(暑中見舞)	明治41年7月29日	篠原啓二より鍋島直彬宛	封書	1通		307
二六三一	書簡(発病の事)	(明治41年)7月30日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島鍋島子爵宛	封書(巻紙)	1通		308
二六三二	書簡(暑中見舞の礼)	明治41年7月31日消印	(東京)岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		309
二六三三	書簡(令息渡韓・九州山河の件)	(明治41年)8月2日消印	毛利正義より鍋島直彬宛	封書	1通		310
二六三四	書簡(暑中見舞)	(明治41年)8月7日	(末永)ふみ子より御叔母様・御伯父様(鍋島直彬)宛	封書	1通		311
二六三五	書簡(拝復お礼)	明治41年8月8日消印	二條基弘より鍋島直彬宛	葉書	1通		312
二六三六	書簡(見舞)	(明治41年)8月12日	井上孝哉より鍋島子爵閣下宛	封書	1通		313
二六三七	書簡(総選挙及び東京の暴風雨の件)	明治41年8月17日	神奈川県松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通		314

二六三八	書簡（済美塾の近況報告）	明治41年8月20日	東京神矢粛一より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		315
二六三九	書簡（近況報告）	明治41年8月21日消印	勝浦鞆雄より鍋島子爵宛	絵葉書	1通	鎌倉天照山光明寺（白黒）	316
二六四〇	書簡（お父様腰足持病有り）	明治41年8月28日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		317
二六四一	書簡（お父様病気に付お尋ねの返事）	明治41年8月31日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		318
二六四二	書簡（九州徒歩漫遊・古蹟見学の件）	明治41年9月1日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		319
二六四三	書簡	明治41年9月2日消印	差出欠、鍋島直彬宛	封筒のみ	1枚		320
二六四四	書簡（病気の報告）	明治41年9月7日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		321
二六四五	書簡（礼状）	明治41年9月22日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書（2紙）	1通		322
二六四六	書簡（書簡の礼・近況挨拶等）	明治41年9月24日	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通		323
二六四七	書簡（本軍大不出来の事）	（明治41年）9月24日	（大給）恒より竹陽（鍋島直彬）宛	封書	1通		324
二六四八	書簡（参館の礼状）	明治41年10月1日消印	佐賀井上孝哉より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		325
二六四九	株式発行表	明治41年10月（消印15日消）	紅葉屋商店より（封筒）鍋島宛	封書（印刷）	1通		326
二六五〇	書簡（直彬上京の件）	明治41年10月23日消印	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		327
二六五一	書簡（旅順より報告）	（明治41年）10月24日	（旅順港ヨリ）（鍋島）直大より（鍋島）直彬宛	封書	1通		328
二六五二	書簡（上京準備について）	明治41年12月2日	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		329

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六五三	書簡(佐賀県学生大会開催の件)	明治41年12月4日消印	佐賀県学生大会幹事より鍋島直彬宛	封書	1通		330
二六五四	書簡(上京の加勢金にお礼)	明治41年12月4日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		331
二六五五	書簡(華族談話会の件)	明治41年12月4日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙1枚)	1通		332
二六五六	叙勲(叙従二位、位記)	明治41年12月21日	岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通	宮内省罫紙 位記達	333
二六五七	書簡(封筒のみ)	明治42年2月14日消印	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1枚		334
二六五八	書簡(競馬の善後策急施に関する件)	明治42年3月6日消印	土曜会より鍋島直彬宛	封書	1通		335
二六五九	書簡(彼の一件に尽力を乞う)	(明治42年)3月21日	鍋島直大(花押)より鍋島直彬宛	封書	1通		336
二六六〇	書簡(近況報告)	明治42年4月20日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通		337
二六六一	書簡(インフルエンザ見舞の謝状)	明治42年4月20日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙ペン書)	1通		338
二六六二	書簡(賀会の事)	(明治)42年4月23日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通		339
二六六三	書簡(招魂社例祭の案内状)	明治42年4月23日	西村陸奥夫より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		340
二六六四	書簡(負傷見舞の礼)	明治42年4月25日消印	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通		341
二六六五	書簡(近況報告)	(明治)42年4月26日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	342
二六六六	書簡(二方様へお託び)	明治42年4月26日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		343

二六六七	書簡（お土産拝領の件）	明治42年4月28日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通		344
二六六八	書簡（近況報告）	明治42年4月28日	東京市鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（便箋4枚）	1通		345
二六六九	書簡（事務委員改選結果報告）	明治42年5月3日消印	子爵会事務委員より鍋島直彬宛	封書	1通		346
二六七〇	書簡（祖父就床時厚情に対する御礼など）	明治42年5月12日	東京谷儀一より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		347
二六七一	書簡（子爵補欠の件・高等商業学校問題等）	（明治42年）5月13日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通		348
二六七二	書簡（菓子器郵送の事）	明治42年5月18日消印	宮内大臣官房総務課長近藤久敬より鍋島直彬宛	封書	1通		349
二六七三	書簡（義母父及び永田町の件）	明治42年5月20日消印	東京市鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（罫紙10枚）	1通		350
二六七四	書簡（子爵選挙管理者選挙手続の件）	明治42年5月21日消印	交野時萬より鍋島直彬宛	封書	1通		351
二六七五	書簡（爵位寮達第一号）	明治42年5月21日消印	宮内省爵位寮より鍋島直彬宛	封書	1通		352
二六七六	書簡（着任・開校の報告）	明治42年5月21日消印	（旅順）勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		353
二六七七	書簡（近況報告）	明治42年5月22日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書（紙）	1通		354
二六七八	書簡（補欠選挙及び臨時移転の件）	明治42年5月23日消印	華族談話会事務所幹事秋元春朝より鍋島直彬宛	封書（便箋2枚）	1通		355
二六七九	書簡（祐徳社参詣について）	明治42年5月23日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（便箋3枚）	1通		356
二六八〇	書簡（本会子爵議員選挙の事）	明治42年5月26日消印	華族談話会幹事より鍋島直彬宛	封書	1通		357

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六八一	書簡	(明治)42年5月28日夜	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		358
二六八二	書簡(近況報告)	明治42年5月28日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋3枚)	1通		359
二六八三	書簡(爵位寮達第二號・第三號)	明治42年6月1日消印	爵位頭公爵岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		360
二六八四	書簡(御機嫌伺)	明治42年6月1日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		361
二六八五	書簡(補欠選挙関係)	(明治)42年6月3日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通	千秋亭便箋	362
二六八六	書簡(第二期華族慈戒委員選挙の件)	明治42年6月3日消印	爵位寮華族慈戒委員選挙掛より鍋島直彬宛	封書	1通	投票用紙在中	363
二六八七	書簡(品物御礼の件)	明治42年6月3日	鍋島直虎より鍋島直彬宛	封賚(巻紙)	1通		364
二六八八	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙人確定名簿)	明治42年6月11日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書(書冊1冊)	1通		365
二六八九	書簡(封筒のみ)	明治42年6月11日	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1枚		366
二六九〇	書簡(御機嫌伺)	明治42年6月14日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封賚(巻紙)	1通		367
二六九一	書簡(衆議院補欠選挙の件)	(明治)42年6月15日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	368
二六九二	書簡(華族談話会委員候補の件)	明治42年6月17日	曽我祐準より鍋島直彬宛	封賚(罫紙)	1通		369
二六九三	書簡(選挙関係)	(明治)42年6月19日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	370

二六九四	書簡(次官兼任の問題の件)	(明治42年)6月19日	藤波言忠より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通			371
二六九五	書簡(今般御申越相成候新聞紙上掲載の件)	明治42年6月29日消印	(東京)岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通			372
二六九六	書簡(諒三郎帰朝の際の裁物のお礼)	明治42年7月1日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通			373
二六九七	書簡(井伊直弼銅像建設について)	明治42年7月4日消印	故井伊直弼公銅像建設委員より鍋島直彬宛	封書	1通			374
二六九八	書簡(在京中のお礼)	明治42年7月4日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通			375
二六九九	書簡(今般内閣賞勲展へ就職)	明治42年7月4日消	鍋島茂才十より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり		376
二七〇〇	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙の件)	明治42年7月10日消印	華族談話会より鍋島直彬宛	封書	1通			377
二七〇一	書簡(補欠選挙結果について)	明治42年7月12日消印	貴族談話会事務所より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	「時事新報」切抜同封		378
二七〇二	書簡	(明治)42年7月15日夜	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通	千秋亭便箋		379
二七〇三	書簡(故井伊直弼銅像様幕式挙行)	明治42年7月15日消印	故井伊直弼銅像建設委員より鍋島直彬宛	封書	1通			380
二七〇四	書簡(旅順での新生活・官舎修繕他)	明治42年7月19日消印	(旅順)勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通	関東都督府開中学校町地図付す		381
二七〇五	書簡(暑中見舞)	明治42年7月20日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通			382
二七〇六	書簡(暑中見舞)	(明治)42年7月21日	松平乗承より鍋島直彬宛	(小)封書	1通	名刺1枚入		383
二七〇七	書簡(時候挨拶、日糖事件の件)	明治42年7月21日消印	小野正尊より鍋島子爵宛	封書	1通			384

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七八	書簡(北海道見物の件)	明治42年7月21日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	函館公園	385
二七九	名刺(暑中見舞)	(明治)42年7月22日消印	井伊直忠より鍋島直彬宛	封書	1通		386
二七〇	書簡(暑中見舞)	(明治42年)7月23日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		387
二七一	書簡(暑中無事の挨拶)	明治42年7月23日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	388
二七二	書簡(病気見舞の件)	明治42年7月24日消印	鍋島茂彬・河野司馬造より鍋島直彬宛	封書	1通		389
二七三	書簡(出張時の予定変更の詫びと厚談願)	(明治42年)7月26日	佐賀地方裁判所澤野一兵より子爵鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		390
二七四	書簡(母の代理にて暑中見舞、近況報告)	(明治42年)7月29日	東京青山原宿二百六鍋島多都(多津)佐賀縣藤津郡鹿島中川鍋島直彬夫妻宛	封書(継紙)	1通		391
二七五	書簡(暑中見舞)	明治42年7月30日消印	博多松浦栄子より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		392
二七六	書簡(暑中見舞及び近況報告)	明治42年8月2日	二條基弘より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		393
二七七	書簡(無沙汰の挨拶)	(明治42年)8月3日	国光五郎より子爵鍋島直彬閣下宛	封書	1通		394
二七八	書簡(樺太島の近況報告)	明治42年8月7日消印	鍋島直縄より(鍋島)直彬宛	葉書	1通		395
二七九	書簡(樺太東海岸から報告)	明治42年8月17日消印	鍋島直縄より(鍋島)直彬宛	葉書	1通		396
二八〇	書簡(旅順・学校長官舎写真裏に説明書)	明治42年8月24日	(東京)勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(写真5葉)	1通		397

二七二二	書簡(残暑見舞と近況報告)	明治42年8月29日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	398
二七二三	書簡(病気の為鹿島参上叶わずの旨)	明治42年9月3日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	399
二七二三	書簡(私信)	明治42年9月6日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	400
二七二四	書簡(残暑見舞)	明治42年9月10日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	401
二七二五	書簡(返事の遅れの詫び、御夫妻鹿島帰着慶賀)	明治42年9月11日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	402
二七二六	書簡(於貞の眼病再発に付見舞のお礼)	明治42年9月17日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	403
二七二七	書簡(参上の際のお礼)	明治42年9月22日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	404
二七二八	書簡(茂彬へ面談、井伊家へ使いの件)	明治42年9月22日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋6枚)	1通	405
二七二九	書簡(旅順官舎からの報告)	明治42年9月28日	旅順勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(切紙3枚)	1通	406
二七三〇	書簡(大日本史料の編纂について)	明治42年10月5日消印	東京帝国大学総長浜尾新より鍋島直彬宛	封書(一紙)	1通	407
二七三一	書簡(全快報告)	明治42年10月11日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋)	1通	408
二七三二	書簡(出福の期日知らせ願い)	明治42年10月12日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	409
二七三三	書簡(「鑑古堂」額面の揮毫の件)	明治42年10月13日	勝浦鞆雄より鍋島閣下宛	封書	1通	410

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七三四	書簡(旅順護送、審問の事)	(明治42年)11月2日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		411
二七三五	書簡(母親の命日の法事について)	明治42年11月8日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		412
二七三六	書簡(補欠選挙の件につき)	(明治)42年12月27日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	413
二七三七	書簡	(明治)43年1月7日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		414
二七三八	書簡(上海・厦門他情勢報告)	(明治43年)2月27日	(清国)奥村五百より鍋島直彬宛	封書	1通		415
二七三九	書簡(熱海温泉で静養の件)	明治43年3月11日消印	東京辻新次より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		416
二七四〇	書簡(昨二日消大磯転地仕候事)	(明治43年)3月11日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		417
二七四一	書簡(選挙に関する建議案の件)	明治43年3月12日	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(野紙ペン書)	1通		418
二七四二	書簡(御機嫌伺)	明治43年3月14日(消印)	(東京)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		419
二七四三	書簡(乗長・直縄の件)	明治43年3月15日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通		420
二七四四	書簡(談話会関係について考案を廻している件他)	明治43年3月28日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(野紙ペン書)	1通		421
二七四五	書簡(取沙汰の件に付願の事)	明治43年4月7日消印	松田道夫より鍋島直彬宛	封書	1通		422
二七四六	書簡(無事の帰国と土産のお礼)	明治43年4月14日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		423
二七四七	書簡(乗長・常子の件)	明治43年4月15日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋4枚)	1通		424

二七四八	貴族院議員当選人名通知書	明治43年4月16日	子爵選挙管理者子爵消浦奎吾より子爵鍋島直彬宛	封書(印刷2紙)	1通	425
二七四九	書簡(病気見舞のお礼)	明治43年4月17日	鍋島哲雄より鍋島直彬宛	封書	1通	426
二七五〇	書簡(無沙汰の詫状)	(明治)43年4月22日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	427
二七五一	書簡(旅順からの近況報告)	明治43年4月24日消印	旅順勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書(切紙4枚)	1通	428
二七五二	書簡(佐賀市招魂社祭典順序案内)	明治43年4月26日消印	佐賀市招魂社より鍋島直彬宛	封書	1通	429
二七五三	書簡(口中腫物入院切断の事)	(明治)43年4月26日	東久世通禧より鍋島直彬宛	封書	1通	430
二七五四	書簡(近況報告)	(明治)43年4月27日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	431
二七五五	書簡(学制に関する案件について)	(明治43年)4月28日	東京駿河台鈴木谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	432
二七五六	書簡(華族談話会会則改訂の事)	明治43年4月30日消印	華族談話会幹事より鍋島直彬宛	封書	1通	433
二七五七	書簡(談話会の件)	(明治)43年5月1日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋3枚)	1通	434
二七五八	書簡(近況報告)	明治43年5月2日	久元より(鍋島)直彬宛	封書	1通	435
二七五九	書簡(華族談話会退会の件)	明治43年5月5日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(野紙ペン書)	1通	436

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七六〇	書簡（去月29日より興津滞在の事、井伊様御出来の事）	（明治43年）5月9日	（松平）乗長より伯父（鍋島直彬）宛	封書	1通		437
二七六一	書簡（談話会、曽我）	（明治）43年5月10日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書（便箋2枚）	1通	千秋亭便箋	438
二七六二	書簡（談話会退会報告）	明治43年5月12日	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通	退会主意（2枚）同封	439
二七六三	書簡（参内の件）	明治43年5月23日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通		440
二七六四	書簡（正二位様病気全快を報ず）	（明治43年）5月28日	古川源吉より鍋島直彬宛	封書	1通		441
二七六五	書簡（合衆国議会議事録について）	明治43年6月10日消印	貴族院書記官長太田峰三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		442
二七六六	書簡（私信）	明治43年6月14日消印	（東京）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		443
二七六七	書簡（乗公貴院の件につき投票依頼）	明治43年6月16日消印	松田道夫より鍋島直彬宛	封書	1通		444
二七六八	書簡（葉山に転地療養、直縄元気の近況報告）	明治43年6月16日	（東京）鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		445
二七六九	書簡（補欠選挙候補推選について）	（明治43年）6月16日	（松平）乗長より伯父（鍋島直彬）宛	封書	1通		446
二七七〇	書簡（松平乗承様にも御投票願いたす事）	明治43年6月18日消印	松田道夫より鍋島直彬宛	封書	1通		447

二七二	書簡(近況報告、乗長の事など)	(明治)43年6月18日	(鍋島)易子より御兄様(鍋島直彬)宛	封書(封筒2枚)	1通		448
二七三	書簡(近況報告)	(明治43年)6月20日	(大磯鍋島別邸)侯爵鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		449
二七三	書簡(母全快、帰京の事)	(明治43年)6月25日	(松平)乗長より伯父(鍋島直彬)宛	封書	1通		450
二七四	書簡(乗長の身上の件)	明治43年7月7日消印	鍋島易子より鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋8枚)	1通		451
二七五	書簡(選挙協力依頼)	明治43年7月10日	本荘宗義より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		452
二七六	書簡(暑中見舞)	明治43年7月18日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	葉書	1通		453
二七七	書簡(貴族院議員補欠選挙託証状)	明治43年7月19日消印	華族談話会より鍋島直彬宛	封書	1通		454
二七八	書簡(暑中見舞)	(明治)43年7月20日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通	千秋亭便箋	455
二七九	書簡(暑中見舞と近況報告)	明治43年7月20日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		456
二七〇	葉書(暑中見舞)	(明治43年)7月21日	東久世通禧より鍋島直彬宛	葉書	1通		457
二七一	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙の件)	明治43年7月22日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書(紙2枚、書冊1冊)	1通	投票用紙及び「補欠選挙人確定名簿」	458

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二七八二	書簡(暑中見舞)	明治43年7月24日消印	東京三浦安より鍋島直彬宛	葉書	1通		459
二七八三	書簡(暑中見舞)	明治43年7月24日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(便箋インク書き)	1通	生壁堂便箋	460
二七八四	書簡(暑中見舞)	明治43年7月25日消	井伊直忠より鍋島直彬宛	封書(切紙)	1通		461
二七八五	書簡(近況報告、高等女学校の件)	明治43年7月26日消印	(旅順)勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		462
二七八六	書簡(暑中御機嫌伺)	明治43年7月28日	鍋島政野助・慶・賢雄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	佐賀から大分へ転送、封筒あり	463
二七八七	書簡(合併問題に関し臨時召集の件)	明治43年7月30日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙インク書)	1通		464
二七八八	書簡(暑中見舞)	明治43年7月30日	鍋島直虎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		465
二七八九	書簡(暑中見舞)	明治43年7月31日消印(奥月は8月1日)	生田徳太郎より鍋島直彬宛	封書	1通		466
二七九〇	書簡(手紙の礼状)	明治43年7月	谷干城より鍋島直彬宛	葉書	1通		467
二七九一	書簡(暑中見舞)	明治43年8月2日消印	篠原啓二・佐代より鍋島直彬宛	封書	1通		468
二七九二	書簡(暑中見舞)	明治43年8月2日消印	(福岡市)末永ふみより鍋島直彬宛	封書	1通		469
二七九三	書簡(暑中見舞)	(明治43年)8月3日消印	河野久子より鍋島直彬宛	封書	1通		470
二七九四	書簡(暑中見舞)	(明治43年)2月3日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通		471
二七九五	書簡(病後保養のため伊賀保に出発する事)	明治43年8月4日消印	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		472

二七九六	書簡(御機嫌伺)	明治43年8月7日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	473
二七九七	書簡(近況、政海平穏)	(明治43年)8月7日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島子爵鍋島直彬宛	封賚(巻紙)	1通	474
二七九八	書簡(御機嫌伺)	明治43年8月8日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	475
二七九九	書簡(貴族院議員選挙の委託の事)	明治43年8月8日消印	(東京)土井利與より鍋島直彬宛	封書	1通	476
二八〇〇	書簡(井伊・田中家について)	明治43年8月11日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋6枚)	1通	477
二八〇一	書簡(貴族院議員・当選人名の報告)	明治43年8月20日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1通	478
二八〇二	書簡(別府滞在中入湯の件)	明治43年8月20日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	479
二八〇三	書簡(残暑見舞及び水害の消息確認)	(明治43年)8月20日	二條基弘より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	480
二八〇四	書簡(茂厚病気の際に結構な品を頂戴した礼)	明治43年8月23日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	481
二八〇五	書簡(訪問と品物のお礼)	明治43年8月27日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	482
二八〇六	書簡(諒三郎参上の際のお礼事)	明治43年8月28日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	483
二八〇七	書簡(慶応理財へ入学の考え、本日より上京す)	明治43年8月30日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	484
二八〇八	書簡(ある難題の為に犬塚らを遣した事に対する礼)	明治43年9月14日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	485
二八〇九	書簡(子爵議員補欠選挙について)	明治43年9月15日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封賚(罫紙ペン書)	1通	486

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六一〇	書簡(電報の返書)	(明治)43年9月25日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	487
二六一一	書簡(貴族院議員当選人名の通知)	明治43年10月1日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より(鍋島)直彬宛	封書(紙2枚)	1通		488
二六一二	書簡(江藤新平奉告祭の通知)	明治44年4月11日消印	江藤先生祭典假事務所	封書(印刷)	1通		489
二六一三	財政私見(明治39～42年度決算について)	明治44年4月13日消印	澤來太郎(衆議院議員)より鍋島直彬宛	封書(印刷)	1通		490
二六一四	書簡(御令嗣様結婚の祝詞)	明治44年4月15日消印	(東京)西村陸奥夫より鍋島直彬宛	封書	1通		491
二六一五	書簡(御令嗣様結婚の祝詞)	明治44年4月16日消印	(佐賀)豊増龍次郎より鍋島直彬宛	封書	1通		492
二六一六	書簡(当番幹事変更ニ付通告)	明治44年4月18日	宮内省より鍋島直彬宛	封書(1紙)	1通		493
二六一七	書簡	明治44年5月11日消印	子爵清浦奎吾より子爵鍋島直彬宛	封筒のみ	1枚		494
二六一八	書簡(貴族院彙報号外)	明治44年5月23日	貴族院より鍋島直彬宛	封書	1通		495
二六一九	書簡(貴族院議員改選の件)	明治44年5月26日消印	華族談話会より鍋島直彬宛	封書	1通		496
二六二〇	書簡(直縄当地へ立寄る件)	(明治44年)5月29日	(毛利)元秀より鍋島大人(直彬)宛	封書	1通		497
二六二一	書簡(直縄の将来の件)	明治44年5月30日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋3枚)	1通		498
二六二二	書簡(土曜会、研究会)	(明治)44年5月31日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	499
二六二三	書簡(衆議院委員会議録目次)	明治44年6月1日消印	貴族院より鍋島直彬宛	封書	1通		500
二六二四	書簡(尚友会における選挙の件)	(明治44年)6月1日	言忠(子爵藤波言忠)より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		501

二六二五	書簡（季節の手紙（梅雨））	（明治）44年6月3日	鍋島直虎より鍋島直彬宛	封賚（巻紙）	1通	502
二六二六	書簡（子爵補欠選挙について）	明治44年6月11日消印（使箋は10月24日付）	子爵選挙管理者子爵清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1通	504
二六二七	書簡（御機嫌伺）	明治44年6月12日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	504
二六二八	書簡（議員選挙投票について）	明治44年6月15日消印	（東京）曽我祐準より鍋島直彬宛	封賚（郵紙ペン書）	1通	505
二六二九	書簡（手紙の礼、研究への励ましの感謝）	明治44年6月17日	佐賀県師範学校長川島庄一郎より鍋島直彬宛	封書	1通	506
二六三〇	書簡（国有鉄道の件）	（明治44年）6月22日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封賚（継紙）	1通	507
二六三一	書簡（貴族院議員総選挙執行の件）	明治44年6月25日消印	華族談話会より鍋島直彬宛	封書（紙2枚）	1通	508
二六三二	書簡（野営地借用の礼状）	明治44年6月26日消	歩兵第五聯隊長倉田新七より鍋島直彬宛	封賚（継紙）	1通	509
二六三三	書簡（参内の場合の服装の事）	明治44年6月27日消印	宗秩寮総裁侯爵久我通久より鍋島直彬宛	封書	1通	510
二六三四	書簡（選挙関係）	（明治44年）7月5日	（毛利）元秀より鍋島大大人（直彬）宛	封書（紙2枚）	1通	511
二六三五	書簡（貴族院議員当選の祝辞）	（明治44年）7月10日消印	貴族院議員土居通博より鍋島直彬宛	封賚（1紙）	1通	512
二六三六	書簡（子爵選挙当選を報じ直彬の尽力に謝す）	（明治44年）7月10日	（松平）親信より鍋島直彬宛	封書	1通	513
二六三七	書簡（総選挙当選のお祝）	（明治）44年7月11日	松平乗承より子爵鍋島直彬宛	封書（便箋2枚）	1通	514
二六三八	書簡（当選祝）	（明治44年）7月11日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封賚（巻紙）	1通	515

二六二五		
二六二六		
二六二七		
二六二八		
二六二九		
二六三〇	二六三一と同封	
二六三一	二六三〇と同封	
二六三二		
二六三三		
二六三四	「子爵選挙投票紙へ記入の人名表」の別紙有	
二六三五		
二六三六		
二六三七	千秋亭便箋	
二六三八	「大分県別府市吉田旅館へ転送」の付箋	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六三九	書簡（貴族院議員当選の祝詞）	明治44年7月11日	東京二條元弘より鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通		516
二六四〇	書簡（貴族院再選祝）	明治44年7月11日	久保市三郎より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		517
二六四一	書簡（貴族院改選に付当選の祝詞）	明治44年7月11日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通		518
二六四二	書簡（子爵議員選挙の本会推薦の候補）	明治44年7月12日消印	尚友会より鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通		519
二六四三	書簡（再選挙に関して新聞記事のこと）	明治44年7月12日消印	（東京）曽我祐準より鍋島直彬宛	封書（罫紙ペン書）	1通		520
二六四四	書簡（貴族院議員当選の祝辞）	明治44年7月13日	岡山野崎武吉郎より鍋島直彬宛	封書（切紙）	1通		521
二六四五	書簡（貴族院選挙当選祝辞）	明治44年7月14日	下郷伝平より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		522
二六四六	書簡（子爵選挙当選を報じ直彬の尽力に謝す）	明治44年7月14日	勘解由小路資承・櫛笥隆督より子爵鍋島直彬宛	封書（印刷）	1通		523
二六四七	書簡（産業組合奨励金下賜の沙汰）	明治44年7月19日消印	産業組合中央会より鍋島直彬宛	封書	1通		524
二六四八	書簡（父の持病にかわって暑中見舞）	明治44年7月22日消印	（福岡）鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		525
二六四九	書簡（選挙関係）	明治44年7月23日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書（便箋1枚）	1通	千秋亭便箋	526
二六五〇	書簡（貴族院議員当選に対する祝詞）	明治44年7月23日	久保田譲より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	527
二六五一	書簡（入湯保養の件）	明治44年7月23日	鍋島昜子より鍋島直彬宛	封書（便箋1枚）	1通		528
二六五二	書簡（貴族院子爵議員に当選の祝）	明治44年7月24日	徳川家達より子爵鍋島直彬宛	封書（罫紙）	1通		529

二六三	書簡（口中大出来腫の事）	（明治44年）7月24日	竹亭（東久世通禧）より綱堂（鍋島直彬）宛	封書	1通	530
二六四	書簡（暑中見舞）	（明治44年）7月24日	（毛利）元秀より鍋島直彬宛	封書	1通	531
二六五	書簡（避暑のため別府にての保養、結構の事）	（明治44年）7月25日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	532
二六六	書簡（暑中見舞）	明治44年7月25日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通	533 包紙あり
二六七	書簡（暑中見舞）	（明治44年）7月29日	（松浦）栄子より御伯父様（鍋島直彬）御伯母様宛	封書	1通	534
二六八	書簡（香典寄付の事）	明治44年7月	子爵谷儀一より鍋島直彬宛	封書（一紙）	1通	535
二六九	書簡（貴族院議員当選の祝詞）	明治44年8月1日	東京二條基弘より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	536
二六〇	書簡（体の調子がすぐれず返事が遅れた詫状）	明治44年8月3日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	537
二六一	書簡（旅順高等女学校及び関東都督府中学校一覧）	明治44年8月4日消印	旅順高等女学校勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書（紙2枚）	1通	538
二六二	書簡（近況報告）	明治44年8月4日消印	（旅順）勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通	539
二六三	書簡（別府温泉保養、箱根避暑の件）	（明治44年）8月4日	武田秀雄より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	540
二六四	書簡（暑中見舞）	明治44年8月6日	鍋島慶より鍋島直彬宛	封書	2通	541
二六五	書簡（暑中見舞）	明治44年8月8日	鍋島政之助より鍋島直彬宛	封書	1通	542 別府から佐賀へ転送
二六六	書簡（無事到着の知らせ等）	明治44年8月9日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通	543
二六七	書簡（秋田市上水道竣工式の案内）	明治44年8月9日消印	秋田市長大久保鉄作より貴族院議員鍋島直彬宛	封書	1通	544

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六六八	書簡(子爵の議員当選之節の貴翰への返礼)	明治44年8月15日	久保田譲より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	545
二六六九	書簡(兄弟達奉上時の御品々にお礼)	明治44年8月22日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		546
二六七〇	書簡(私信、残暑見舞)	明治44年8月27日消印	(福岡)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		547
二六七一	書簡(直縄出発の事)	(明治44年)9月7日	松平恒雄より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		548
二六七二	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙人名簿)	明治44年9月10日消印	宮内省より鍋島直彬宛	封書	1通	書冊1冊入り	549
二六七三	書簡(土曜会の態度について二条幹事長演述原稿)	明治44年9月22日	土曜会幹事より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		549
二六七四	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙につき通知)	明治44年9月28日	子爵清浦奎吾より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		551
二六七五	書簡(精養軒での食事の誘い)	明治44年9月29日消印	徳川家達より鍋島直彬宛	封書	1通		552
二六七六	書簡(見舞の礼、子爵補欠について)	明治44年9月29日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙ペン書)	1通		553
二六七七	書簡(封筒のみ)	明治44年9月29日消印	子爵選挙管理者子爵清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1枚		554
二六七八	書簡(加藤子爵の件、土曜会員の件)	明治44年10月4日消印	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通		555
二六七九	書簡(直縄留学の件)	明治44年10月21日消印	Brussel 桂次郎より鍋島直彬宛	封書	1通		556
二六八〇	書簡(興教大師の編纂のために直條の碑建立の件)	明治44年10月27日消印	龍福寺住職佐伯法雲より鍋島直彬宛	封書	1通		557
二六八一	書簡(貴族院議員当選人名の通知)	明治44年10月28日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通		558

二六八三	書簡(子爵議員補欠選挙の当選を報告)	明治44年10月28日	子爵加藤泰秋より鍋島直彬宛	封書	1通	
二六八五	書簡(陛下奉送迎の達、宿奉送迎者心得)	明治44年11月6日	甲斐武一(藤津郡長印)より鍋島直彬宛	封書(罫紙)役所(印刷)	1通	藤津郡罫紙
二六八四	宴会案内(陸軍特別大演習施行後の宴会)	明治44年11月8日	佐賀縣内務部長豊島愿より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	
二六八五	書簡(封筒のみ)	明治44年11月14日	福岡事務所より鍋島直彬宛	封書	1枚	
二六八六	書簡(九州御幸の件)	明治44年11月18日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通	
二六八七	書簡(御伯父様当月上京の時面会願う)	明治44年12月6日消印	(東京)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通	
二六八八	書簡(実母伺いのため参邸の件)	(明治44年)12月6日	(毛利)元秀より鍋島大人(直彬)宛	封書(巻紙)	1通	
二六八九	書簡(来賀の礼、転地御避寒の件)	(明治44年)12月26日	谷森真男より鍋島子爵(直彬)宛	封書	1通	
二六九〇	書簡(ドイツミュンヘンからの便り)	明治45年3月8日消印	(鍋島)直縄より(鍋島)直彬宛	絵葉書	1通	山に鹿の図
二六九一	書簡(封筒のみ)	明治45年3月8日	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書	1枚	
二六九二	書簡(貴族院彙報、貴族院議案経過一覧表)	明治45年3月25日消印	貴族院より鍋島直彬宛	封書	1通	
二六九三	書簡	(明治)45年3月28日夜	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋
二六九四	書簡(依頼の品々を諸井書記殿へ)	(明治45年)3月28日	(松平)恒雄より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	
二六九五	書簡(幹事氏名の通知)	明治45年4月5日	宮内省錦鶏問祇候幹事より鍋島直彬宛	封書	1通	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二六九六	書簡(常子の事)	(明治45年)4月8日	(松平)乗長より伯父(鍋島直彬)宛	封書	1通		573
二六九七	書簡(貴族院彙報)	明治45年4月12日	貴族院より鍋島直彬宛	封書(印刷)	1通		574
二六九八	書簡(封筒のみ)	明治45年4月14日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1枚		575
二六九九	書簡(子爵会事務委員改選の投票用紙)	明治45年4月16日消印	華族会館子爵事務委員より鍋島直彬宛	封書(印刷)	1通		576
二九〇〇	書簡(過日無事御下県、御土産恵贈にあずかった件)	明治45年4月17日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		577
二九〇一	書簡(奈良ホテル案内)	明治45年4月22日消印	奈良ホテルより鍋島直彬宛	封書(印刷)	1通		578
二九〇二	書簡(見舞の礼)	明治45年4月25日	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙、紙ペン書)	1通		579
二九〇三	書簡(大塚派遣に対する御礼)	明治45年4月27日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	二九〇四と同封	580
二九〇四	書簡(御断書、政之助の受験上京の通知)	明治45年4月27日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	二九〇三と同封	581
二九〇五	書簡(大隈伯爵面会の件)	明治45年5月1日	鍋島資高より鍋島直彬宛	封書	1通		582
二九〇六	書簡(清国在勤被命の事)	(明治45年)5月8日	(松平)恒雄より鍋島直彬宛	封書	1通		583
二九〇七	書簡(兼て御願の編物送付の礼)	(明治45年)5月8日	(松平)乗長より伯父(鍋島直彬)宛	封書	1通		584
二九〇八	書簡(海岸運動の件)	明治45年5月8日消印	鍋島昌子より鍋島直彬宛	封書(便箋5枚)	1通		585
二九〇九	書簡(地方教育に御尽力の事)	(明治)45年5月18日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通		586

二九一〇	書簡（転任挨拶、視学→佐賀高女）	（明治45年）6月21日	住友縫之助より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	587
二九一一	書簡（佐賀ガス株式会社経営に当っての挨拶）	明治45年6月27日	鍋島資高より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	588
二九一二	書簡（政子男子出産、命名直紹）	明治45年6月28日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	589
二九一三	書簡（去月信濃川河口改川工事他列席、見学の事）	（明治45年）7月4日	（松平）乗長より伯父（鍋島直彬）宛	封書	1通	590
二九一四	書簡（出船に関する事件）	（明治）1月12日	飯倉如寮より鍋島直彬宛	封書	1通	591
二九一五	書簡（無沙汰の詫、御機嫌伺）	（明治）1月14日	鍋島直映より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	592
二九一六	書簡（会館でお世話になった礼状）	（明治）1月18日	池田茂政より鍋島直彬宛	封書（切紙）	1通	593
二九一七	書簡（直彬邸訪問の件）	（明治）1月28日	浅野長勲より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	594
二九一八	書簡（高嶋電報の件）	（明治）1月31日消印	長岡藩主より鍋島直彬宛	葉書	1通	595
二九一九	書簡（帝国教育会国庫補助の件）	（明治）2月9日	辻新次より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	596
二九二〇	書簡（警察事務整頓について）	（明治）2月9日	内海忠勝より鍋島先生宛	継紙	1通	597
二九二一	書簡（帝国教育会事件）	（明治）2月10日	湯本武典より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	598
二九二二	書簡（儀制調査掛他の件）	（明治）2月13日	柳原前光より鍋島侍補宛	継紙	1通	599 包紙あり
二九二三	書簡（御機嫌伺）	（明治）2月14日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通	600
二九二四	書簡（御紙面之趣拝承奉賀候事）	（明治）3月11日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通	601

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二九二五	電報	(明治)3月26日	サカイハタイキチより ナベシマナホヨシ宛	電報	2枚		602
二九二六	書簡(明朝御来喉云々の事)	(明治)3月26日	谷謹一郎より鍋島沖縄県令宛	継紙	1通		603
二九二七	書簡(南部栄作死去と跡目の件)	(明治)3月28日	亀井蔵監より鍋島直彬宛	封書	1通		604
二九二八	書簡(会館のため勉強の件)	(明治)4月4日	徳川昭武より鍋島直彬宛	封書(罫紙)	1通		605
二九二九	書簡(土方伯書状拝見の事、御尽力を願う事)	(明治)4月4日	(鍋島)直大より(鍋島)直彬宛	封書(罫紙)	1通		606
二九三〇	書簡(今だ手の病云々の事)	(明治)4月5日	母より(鍋島)直彬宛	封書	1通		607
二九三一	書簡(沖縄県庁志願者の推薦状)	(明治)4月13日	陸軍少佐相良長発より沖縄県令鍋島直彬宛	封書	1通		608
二九三二	書簡(上野精養軒へ大臣参議招請の節の件)	(明治)4月14日	柳原前光より判事鍋島直彬宛	継紙	1通	包紙あり	609
二九三三	書簡(別紙の文成り申に付即時郵送の事)	(明治)4月14日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	罫紙	3枚	別紙(罫紙3枚)有	610
二九三四	書簡(茂昭及び松浦の件)	(明治)4月15日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(切紙3枚)	1通		611
二九三五	書簡(来る21日の晩さんのため招待へのお礼)	(明治)4月17日	松田道之より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	612
二九三六	書簡(小田原、国府津の件)	(明治)4月18日	鍋島易子より兄上(鍋島直彬)宛	封書(継紙)	1通		613
二九三七	書簡(来る21日晩餐の事)	(明治)4月19日	立田彰信より鍋島公宛	継紙	1通		614
二九三八	書簡(参堂お断りの件)	(明治カ)4月20日	安藤就高より鍋島直彬様侍夫宛	封書	1通		615
二九三九	書簡(帰郷後の凱旋祝賀会)	(明治)4月22日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡鹿島子爵鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		616

二九四〇	書簡（東京勧業博覧会へ鍋島農園出品の件）	（明治）4月26日	鍋島直縄より鍋島直彬藹子宛	絵葉書	1通	博覧会植物温室	617
二九四一	書簡（子爵補欠選挙に毛利高範君推撰の事）	（明治）5月10日	松永乗長より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		618
二九四二	書簡（支那及び朝鮮視察の件）	（明治）5月14日消印	松平乗承より鍋島直彬宛	封書（便箋2枚）	1通	明治□十二年	619
二九四三	書簡（御紙面の趣委細承諾の事）	（明治）5月14日	佐野常氏より鍋島直彬宛	封書（切紙）	1通		620
二九四四	書簡（参堂お断りの事）	（明治）5月16日	東久世通禧より鍋島直彬宛	継紙	1通		621
二九四五	書簡（御来庁催促状）	（明治）5月20日	千根専一より鍋島沖縄令宛	封書	1通		622
二九四六	書簡（大隈及び縁談の件）	（明治）5月22日	鍋島易子より兄上（鍋島直彬）宛	封書（便箋2枚）	1通		623
二九四七	書簡（無沙汰の詫）	（明治）5月23日	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通		624
二九四八	書簡（自著進上）	（明治）5月26日	柳原前光より鍋島直彬宛	封書（巻紙）	1通		625
二九四九	書簡（私信）	（明治）5月29日	田中不二麿より鍋島沖縄県令宛	封書（巻紙）	1通		626
二九五〇	書簡（学習院問題について同族間に異議ある事）	（明治）5月31日消印	岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		627
二九五一	書簡（ミュンヘンからの便り）	（明治）6月1日	（鍋島）直縄より（鍋島）直彬・藹子宛	絵葉書	1通	Armee 博物館	628
二九五二	書簡（封筒のみ）	（明治）6月4日消印	交野時万より（鍋島）直彬宛	封書	1枚		629
二九五三	書簡（講和の件）	（明治）6月13日	東京神田鈴木町谷森真男より佐賀県藤津郡南鹿島子爵鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		630

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二九五四	書簡(御機嫌伺)	(明治)6月15日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋2枚)	1通		631
二九五五	書簡(呼出状、明日巳之刻直垂着用参朝の事)	(明治)6月25日	辯事より鍋島備中守宛	継紙	1通		632
二九五六	書簡(古蹟取調の件)	(明治)6月29日	長岡護美より鍋島直彬宛	継紙	1通		633
二九五七	書簡(学校の件)	(明治)7月4日	河川よりおちさま宛	折紙	1通	包紙あり	634
二九五八	書簡(首相の病気の件)	(明治)7月7日	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(野紙ペン書)	1通		635
二九五九	書簡(オーストリアからの便り)	(明治)7月14日	(鍋島)直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	Sächs,Böhmschweiz, Edmunds Hamm	636
二九六〇	書簡(直縄の一学期成績表、中学)	(明治後期)7月17日	勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	封書	1通		637
二九六一	書簡(済美塾の近況報告)	(明治)7月22日	東京神矢粛一より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		638
二九六二	書簡(暑中見舞)	(明治ヵ)7月25日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		639
二七六三	書簡(日韓併合に関し韓国皇帝の評価)	(明治)7月26日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		640
二九六四	書簡(本年の藤津郡の作柄報告)	(明治)7月26日	武内維積より鍋島直彬宛	封書	1通		641
二九六五	書簡(暑中見舞、近況報告)	(明治ヵ)7月26日	(鍋島)直虎より(鍋島)直彬宛	一紙(巻紙)	1通		642
二九六六	書簡(普通学校教育法、同公立学校報告表の件につき)	(明治)7月28日	柳原前光より鍋島侍従宛	継紙	1通		643
二九六七	書簡(病気見舞御礼)	(明治)7月30日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		644

二六六八	書簡	(明治)8月2日	池田慶徳より鍋島直彬宛	封書	1通	包紙あり	645
二六六九	書簡(宮中に新局設置の件)	(明治)8月7日	(東京)岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		646
二六七〇	書簡(プレゼントのお礼)	(明治)8月7日	(鍋島)直彬より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		647
二六七一	書簡(ベルギーオストエンドからの便り)	(明治)8月8日	(鍋島)直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	オストエンドの風景	648
二六七二	書簡(別府転地保養の事)	(明治)8月8日	(毛利)元秀より鍋島直彬宛	封書	1通		649
二六七三	書簡(宮中制度調云々御問合の件)	(明治)8月11日	(大給)恒より竹陽(鍋島直彬)宛	封書	1通		650
二六七四	書簡(スイスからの便り)	(明治)8月15日	(鍋島)直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	メンターラーゲンとユングフラウの風景	651
二六七五	書簡(大磯別邸からの便り)	(明治)8月17日	鍋島直大より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	大磯花水川	652
二六七六	書簡(病気見舞)	(明治)8月19日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		653
二六七七	書簡(直彬の都合伺)	(明治)8月31日	半之郷三より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		654
二六七八	書簡(御機嫌伺)	(明治)9月7日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通		655
二六七九	書簡(近況報告)	(明治)9月10日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(継紙2枚)	1通	包紙あり	656
二六八〇	書簡(御意見書受取)	(明治)9月12日	(東京)土方久元より鍋島直彬宛	封書	1通		657
二六八一	書簡(美喜御願いの件)	(明治)9月18日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		658
二六八二	書簡(今度拙者渡清并韓国の事)	(明治)9月21日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		659

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二九八三	書簡(大隈夫妻と会見の件)	(明治)9月23日	(鍋島)易子より御兄上(鍋島直彬)宛	封書(便箋13枚)	1通		660
二九八四	書簡(原武一条成否の件)	(明治)9月28日	重野安隆より鍋島公宛	封書(巻紙)	1通		661
二九八五	書簡(校長幹事投票の件)	(明治)10月10日	鍋島直紀より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		662
二九八六	書簡(瀧脇行敏内務省奉職以来の懇命の礼)	(明治)10月11日	大給恒より鍋島直彬宛	封書	1通		663
二九八七	書簡(伊太利公事学習院一覧の件)	(明治)10月12日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		664
二九八八	書簡(明日延引に付問合せの返事)	(明治)10月30日	(元田)永孚より鍋島(直彬)宛	封書	1通		665
二九八九	書簡(佐野伯夫婦に面会、他近況報告)	(明治)12月4日	(鍋島)直映より(鍋島)直彬宛	継紙	1通		666
二九九〇	書簡(依頼の条約類纂について)	(明治)12月7日	大原重実より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		667
二九九一	書簡(面会申込)	(明治)11月16日	(鍋島)直大より鍋島直彬宛	封書	1通		668
二九九二	覚(今日出館せぬ事承知の件)	(明治)12月10日	能熙より鍋島賢会宛	罫紙	1枚	華族会館罫紙	669
二九九三	書簡(私信)	(明治)12月18日	池原大所より鍋島直彬宛	封書(切紙)	1通		670
二九九四	書簡(会館の困難、政府改革について)	(明治)12月25日	(鍋島)直大より(鍋島)直彬宛	巻紙	1通		671
二九九五	書簡	(明治)12月27日	池田慶徳より鍋島侍従公宛	封書	1通	包紙あり	672
二九九六	書簡(直縄卒業後の身のふりかたについて)	(明治)12月31日	鍋島直大より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		673

二九七	書簡（ある事件の報告について）	明治	山内豊範より鍋島直彬宛	封書（紙2枚）	1通		674
二九八	書簡（近況報告）	明治	鍋島直大、栄子より（鍋島）直彬宛	封書（継紙2枚）	1通		675
二九九	書簡（東亜同文会特報第二四号、上海特派員電報）	明治	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書	1通		676
三〇〇	書簡（学校の近況報告）	明治	鍋島直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	東京勧業博覧会	677
三〇一	書簡（百円紙幣の紹介）	明治	鍋島直縄より鍋島直彬蔦子宛	絵葉書	1通	日本銀行券百円	678
三〇二	書簡（ノルウェークリスチャンアからの便り）	明治	鍋島直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	Krishania 大学	679
三〇三	書簡（コロンボからの便り）	明治	鍋島直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	Mount Lavinia Hotel	680
三〇四	書簡（レファーンからの便り）	明治	鍋島直縄より鍋島直彬宛	絵葉書	1通	Louvain	681
三〇五	書簡（内務卿拝受の事）	明治	寺原貴長輝より鍋島直彬宛	封書	1通		682
三〇六	書簡（小笠原殿の件）	明治	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（継紙2枚）	1通	包紙あり	683
三〇七	書簡（近況報告）	明治	鍋島易子より鍋島直彬宛	継紙	1通		684
三〇八	書簡（井伊家・直縄の件）	明治	鍋島易子より鍋島直彬宛	継紙	1通		685
三〇九	書簡（断簡）	明治	鍋島易子より鍋島直彬宛	紙	1通		686
三一〇	書簡（持病により返事遅くなった件）	大正元年6月29日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		687
三一一	書簡（療養見舞）	大正元年8月10日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通		688

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三〇一三	書簡(御見舞御礼)	大正元年10月13日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		689
三〇一三	書簡(御機嫌伺、堀田家別荘の件)	(大正元年)10月25日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	便箋	5枚		690
三〇一四	書簡(朝鮮事情)	大正元年11月4日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		691
三〇一五	書簡(欠勤についての病状報告)	(大正)元年12月7日消印	仙石政敬より鍋島子爵宛	封書	1通		692
三〇一六	書簡(近年の政界の大波乱について)	大正元年12月12日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(野紙ペン書)	1通		693
三〇一七	書簡(赤坂離宮御苑之製茶贈呈)	大正元年12月18日	宮内大臣渡辺千秋より鍋島直彬宛	一紙	1通		694
三〇一八	書簡(組閣云々)	(大正元年)12月18日	東京駿河台鈴木町谷森真男より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通	長野県南高来郡小浜温泉於川柳川屋ニ於テ	695
三〇一九	書簡(寒厳の挨拶)	大正元年12月25日	鍋島安美より鍋島直彬宛	封書	1通		696
三〇二〇	書簡(無沙汰の詫)	大正元年12月28日消印	(福岡)松浦栄子より御伯父上様(鍋島直彬)宛	封書	1通		697
三〇二一	書簡(至急参省有度)	大正元年12月29日	宮内省より鍋島直彬宛	封書	1通		698
三〇二三	書簡(明治天皇遺物の目録)	大正元年12月29日	宮内大臣伯爵渡邊千秋より鍋島直彬宛	封書(紙5枚)	1通		699
三〇二三	書簡(新年御機嫌伺)	大正元年12月30日消印	(東京)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		700
三〇二四	書簡(借金依頼)	大正2年1月4日	鍋島熊太郎より鍋島直彬侍史宛	封書	1通		701
三〇二五	書簡(茂彬死去への悔み)	(大正2年)1月28日	(山口県毛利)元秀より	封書(巻紙)	1通		702

三〇二六	書簡（病気見舞）	大正2年1月28日消印	鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通	703
三〇二七	書簡（運動会の件）	大正2年2月1日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	704
三〇二八	書簡（見舞電報の感謝）	大正2年2月3日消印	牧野忠篤より鍋島直彬宛	封書	1通	705
三〇二九	書簡（歩兵第壹連隊長着任挨拶）	大正2年2月4日消印	長堀均より鍋島直彬宛	封賁（折紙）	1通	706
三〇三〇	書簡（政界事情等）	大正2年2月14日	曽我祐準より鍋島老閣侍史宛	封賁（罫紙）	1通	707
三〇三一	書簡（近火見舞のお礼）	大正2年2月22日消印	（東京）曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通	708
三〇三二	書簡（烈風につき見舞）	（大正2年）2月22日	東京駿河台鈴木町谷森真男より佐賀県鹿島子爵鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通	709
三〇三三	書簡（鎌倉地方へ避寒久しく滞在の事）	（大正）2年3月18日消印	黒田清綱より鍋島直彬宛	封書	1通	710
三〇三四	書簡（顧問ひき続いて引受けられたし）	大正2年3月18日消印	産業組合中央会より鍋島直彬宛	継紙	1通	711
三〇三五	書簡	（大正2年）3月18日	東京市麻布子爵藤波言忠より芝区三田子爵鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通	712
三〇三六	書簡（当番幹事の通達）	大正2年4月4日消印	宮内省より鍋島直彬宛	封書	1通	713
三〇三七	書簡（近況報告）	大正2年4月7日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通	714
三〇三八	書簡（近況報告）	大正2年4月11日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封賁（巻紙）	1通	715
三〇三九	書簡	大正2年4月18日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	716

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三〇四〇	書簡(那覇漫遊旅行参加の報告ほか)	大正2年4月16日	(東京)曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙ペン書)	1通		717
三〇四一	書簡(御機嫌伺)	大正2年5月5日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(縦紙)	1通		718
三〇四二	書簡(女子出産、命名峰子)	大正2年5月12日消印	(東京)鍋島直知より鍋島直彬宛	封書	1通		719
三〇四三	書簡(近況報告、出福の礼)	(大正2年)5月19日	(松浦)栄子より御伯父(鍋島直彬)宛	封書	1通		720
三〇四四	宮内省通知(聖上御風気の容体書)	大正2年5月22日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	三〇四四～三〇七七、三〇四六、三〇四七、三〇五二、三〇五三、三〇五四、三〇七一 括三〇九五の袋入り	721
三〇四五	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月23日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		722
三〇四六	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月24日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より鍋島従二位宛	封書	1通		723
三〇四七	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月25日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より鍋島従二位宛	封書	1通		724
三〇四八	書簡(見舞が遅れた詫び)	大正2年5月25日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通		725
三〇四九	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月26日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		726
三〇五〇	書簡(投票委託症状同封の由)	大正2年5月27日	松平乗承より鍋島直彬宛	封書(便箋1枚)	1通	千秋亭便箋	727
三〇五一	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月27日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より鍋島従二位宛	封書	1通		728
三〇五二	記(投票委託)	大正2年5月27日午後5時	松平乗承(印)より鍋島直彬宛	一紙	1通		729

三〇五三	宮内省通知(聖上御容体)	大正2年5月28日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		730
三〇五四	宮内省通知(聖上御容体平常になる)	大正2年5月29日	宮内大臣伯爵渡辺千秋より鍋島直彬宛	封書	1通		731
三〇五五	書簡(退職の挨拶)	大正2年5月30日	仙石政敬より鍋島直彬宛	封書	1通		732
三〇五六	書簡(御機嫌伺)	大正2年5月31日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通	絵葉書同封	733
三〇五七	宮内省通知(聖上御容体順宜回復)	大正2年6月12日	宮内大臣渡辺千秋より鍋島子爵宛	封書	1通		734
三〇五八	書簡(於鶴様御伝言依頼の件)	大正2年6月13日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		735
三〇五九	書簡(東亜同文会秘報第一号)	大正2年6月21日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書	1通		736
三〇六〇	貴族院議院当選人名通知書	大正2年6月21日	子爵選挙管理者子爵清浦奎吾より子爵鍋島直彬宛	封書(紙1枚)	1通	毛利高範の当選報告	737
三〇六一	書簡(梅雨の御機嫌伺)	大正2年6月26日	鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		738
三〇六二	書簡(懇書の御礼、追々病気快気の事)	大正2年6月29日消印	蜂須賀茂韶より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		739
三〇六三	書簡(病気退官に付御下賜のお礼)	大正2年6月30日	仙石政敬より鍋島直彬宛	封書	1通		740
三〇六四	書簡(有栖川宮殿下帰京臨時列車時刻通告)	大正2年7月7日	宮内大臣官房総務課長近藤久敬より鍋島直彬宛	封書	1通		741
三〇六五	書簡(威仁親王薨去通牒)	大正2年7月10日消印	宮内大臣官房総務課長近藤久敬より鍋島直彬宛	封書	1通		742
三〇六六	書簡(御機嫌伺)	大正2年7月21日	鍋島諒三郎、政之助より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		743

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三〇六七	書簡(明治天皇一周年祭権殿ノ儀)	大正2年7月22日消印	式部長官伯爵戸田氏共より鍋島直彬宛	封書	1通		744
三〇六八	達(明治天皇霊代奉遷皇霊殿ニ渡御ノ儀)	大正2年7月24日	式部長官伯爵戸田氏共より従二位子爵鍋島直彬宛	罫紙	1通	宮内省罫紙	745
三〇六九	書簡(書簡の礼状)	大正2年7月28日	徳川家達より鍋島直彬宛	封書	1通		746
三〇七〇	書簡(暑中見舞の拝復)	大正2年7月30日消印	黒田長政より鍋島直彬宛	葉書	1通		747
三〇七一	書簡(学校改革の件)	大正2年7月30日消印	東京桑田熊蔵より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		748
三〇七二	書簡(貴族院彙報告號外)	大正2年7月31日消印	貴族院より鍋島直彬宛	封書	1通		749
三〇七三	書簡(上海機器局戦にて東亜同文書院焼失)	大正2年7月31日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通		750
三〇七四	書簡(御目録美事なる御品々にお礼)	大正2年8月1日消印	(佐賀)鍋島諒三郎・慶子より鍋島直彬宛	封書	1通		751
三〇七五	書簡(近況報告)	大正2年8月3日消印	(旅順)勝浦鞆雄より鍋島子爵宛	封書	1通		752
三〇七六	書簡(暑中見舞)	(大正2年)8月3日	武田真子より鍋島子爵宛	封書	1通		753
三〇七七	書簡(明治天皇儀式通知)	大正2年8月6日消印	子爵会事務委員より鍋島直彬宛	封書	1通		754
三〇七八	書簡(御機嫌伺、有栖川宮去、辛亥革命)	大正2年8月6日	(東京)武田秀雄より鍋島直彬宛	封書	1通		755
三〇七九	書簡(同人学資として補助を毎月下賜の件)	大正2年8月8日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書	1通		756
三〇八〇	書簡(近況報告)	(大正2年)8月10日	(松浦)栄子より御伯父(鍋島直彬)宛	封書	1通		757

三〇八一	書簡(東亜同文会特報第三〇号上海派遣員電)	大正2年8月13日消印	(東亜同文会)より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通		758
三〇八二	東亜同文会特報第二九号	大正2年8月14日消印	(東亜同文会)より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通	(上海特派員電報)	759
三〇八三	書簡(「東亜同文會特報第二七号」)	大正2年8月18日消印	(東亜同文会)より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通	漢口特派員通信	760
三〇八四	書簡(漢口派遣員特報)	大正2年8月18日消印	鍋島直彬宛	封書	1通		761
三〇八五	書簡(農作物被害の件)	大正2年8月18日消印	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書	1通		762
三〇八六	書簡(対支問題について貴族院で小集会の件)	大正2年9月10日	曽我祐準より鍋島直彬宛	封書(罫紙ペン書)	1通		763
三〇八七	書簡(別府湯入の件)	大正2年9月15日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		764
三〇八八	書簡(鹿島町外四ケ村在郷軍人分會連合総会)	大正2年10月11日消印	鹿島町外四ケ村分會連合會長相良頼見より鍋島子爵宛	葉書	1通		765
三〇八九	書簡(上海焼失した東亜同文書院の仮校舎の件)	大正2年10月13日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版)	1通		766
三〇九〇	書簡(食事招待の件)	大正2年11月8日	鍋島直大・栄子より鍋島直彬・夫人・若夫人御孫宛	封書	1通		767
三〇九一	書簡(第三回帝国議会貴族彙報)	大正2年12月18日消印	貴族院より鍋島直彬宛	封書	1通		768
三〇九二	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙人確定名簿)	大正2年12月26日消印	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書(書冊1冊)	1通		769
三〇九三	書簡(「中華民国大政方針宣言書案文」「支那民国ノ大勢」)	大正2年12月27日消印	東亜同文会より鍋島直彬宛	封書(謄写版冊子2部)	1通		770
三〇九四	書簡(封筒のみ)	大正2年12月30日消印	(東京)鍋島諒三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		771

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三〇九五	書簡(宮内省通知、一括袋)	大正2年ヵ	不詳	袋	1枚	「聖寿無疆、宮内大臣ヨリ通知」と上書	772
三〇九六	書簡(年賀)	大正3年1月5日消印	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		773
三〇九七	書簡(貴族院議員当選人報告)	大正3年1月24日消印	臨時子爵選挙管理者青山幸宜より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通		774
三〇九八	書簡(2月中旬頃上京の予定)	大正3年1月24日消印	(長崎)鍋島桂次郎より鍋島直彬宛	封書	1通		775
三〇九九	電報	(大正ヵ)3年3月15日	ヤスコよりナベシマチョクヒン宛	電報	1通		776
三一〇〇	書簡(近況報告)	大正3年4月1日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封貫(巻紙)	1通		777
三一〇一	書簡(貴族院彙報第2号)	大正3年5月4日消印	貴族院より貴族院議員鍋島直彬宛	封書(紙4枚)	1通		778
三一〇二	書簡(近況報告、無沙汰の詫)	大正3年7月22日消印	鍋島茂孝・夏子より伯父(鍋島直彬)叔母宛	封書	1通		779
三一〇三	書簡(青島要塞攻)	大正3年10月31日	陸軍歩兵大佐長堀均より鍋島直彬宛	封書	1通		780
三一〇四	書簡(直縄無事帰朝を賀す、禎子快方に向う)	大正3年12月27日	(東京)鍋島直映より鍋島直彬宛	封貫(巻紙)	1通		781
三一〇五	書簡(小田原山田荘からの近況報告)	大正4年1月3日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書(便箋3枚)	1通		782
三一〇六	書簡(静養見舞い、直縄・禎子の近況)	大正4年5月6日消印	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通		783
三一〇七	書簡(閑院宮佐賀市滞留)	大正4年5月16日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封貫(巻紙)	1通		784
三一〇八	書簡(病気見舞)	大正4年6月8日消印	鍋島直和より鍋島直彬宛	封貫(継紙)	1通		785

三〇九	書簡(病気見舞)	大正4年6月9日消印	東京市酒井家家扶より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	
三一〇	書簡(病気見舞)	大正4年6月9日	東京市本庄宗久より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	787
三一一	書簡(病気見舞)	大正4年6月9日消印	東京市松平乗長より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	788
三一二	書簡(病気見舞)	大正4年6月9日	東京市阿部正直より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	789
三一三	名刺(御見舞)	(大正)4年6月10日消印	男爵辻新次より鍋島子爵閣下宛	封書	1通	790
三一四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月10日	小林正盛より鍋島子爵閣下宛	封書(巻紙)	1通	791
三一五	書簡(病気見舞)	大正4年6月11日消印	佐賀学友会より鍋島直彬宛	封書	1通	792
三一六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月12日	東京柳坊過より鍋島子爵宛	封書(折紙)	1通	793
三一七	書簡(貴族院議員当選の報告)	大正4年6月12日	子爵選挙管理者清浦奎吾より鍋島直彬宛	封書	1通	794
三一八	書簡(病気見舞の件)	大正4年6月13日	鍋島直和家扶より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	795
三一九	書簡(位記並辞令の件)	大正4年6月14日	宗秩寮総裁侯爵久我通久より鍋島直彬宛	封書	1通	796
三二〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京森山茂より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	797
三二一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	宗重望家扶より鍋島直彬宛	封書	1通	798
三二二	書簡(直彬正二位叙勲の祝詞)	大正4年6月15日	東京宗重望より鍋島直彬宛	封書(罫紙)	1通	799
三二三	書簡(直彬死去に付弔詞及び香典造花目録)	(大正4年)6月15日	井伊家執事より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	800

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三二四	書簡（直彬死去に付弔詞）	大正4年6月16日消印	原田昱一より鍋島直彬閣下執事宛	葉書	1通		801
三二五	書簡（直彬死去哀悼ノ件）	大正4年6月18日消印	出雲補多敬太郎より鍋島直彬宛	葉書	1通		802
三二六	書簡（直彬死去に付香典送る）	大正4年6月19日	（朝鮮）松尾ます子より鍋島子爵宛	封書（継紙）	1通		803
三二七	名刺（畏吊詞ヲ呈ス）	（大正）4年6月20日消印	（石井省一郎）より鍋島子爵家宛	封書	1通		804
三二八	名刺（暑中見舞）	（大正）12年8月1日消印	（松平乗長）より鍋島直彬宛	封書	1通		805
三二九	書簡（暑中見舞）	（大正13年ヵ）7月26日	松平乗長より伯父（鍋島直彬）伯母宛	封書	1通		806
三三〇	書簡（小田原の山田別荘からの近況報告）	（大正）2月24日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（便箋4枚）	1通		807
三三一	書簡（藹子書簡の返事）	（大正）12月4日消印	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書（便箋5枚）	1通		808
三三三	書簡（新年挨拶）	1月1日	源三郎より御伯父様（鍋島直彬）伯母様政子様宛	一紙	1通	三〇六九と同封	809
三三三	書簡（新年挨拶）	1月1日	博多東中嶋河野久子より佐賀県藤津郡鍋島直彬宛	封書（継紙）	1通		810
三三四	書簡（新年挨拶）	1月1日	鍋島慶より鍋島直彬宛	封書	1通		811
三三五	書簡（挨拶）	1月4日	高橋守雄より鍋島子爵宛	継紙	1通		812
三三六	書簡（別紙之通辞令頂戴の報告）	1月5日	原少書記官より鍋島直彬宛	巻紙	1通		813
三三七	書簡	1月6日	（柳原）前光より鍋島侍補宛	一紙	1通		814

三二八	書簡(前書の件諒承)	1月6日	田野熾より鍋島公閣下宛	封書(切紙)	1通		815
三二九	書簡(年賀状)	1月8日	鍋島賢次郎より御伯父様(鍋島直彬)宛	罫紙半折	1通		816
三三〇	書簡(改年挨拶)	1月9日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		817
三三一	書簡	1月15日	竹村公より鍋島直彬宛	一紙	1通		818
三三二	書簡(御機嫌伺)	1月20日	山内基より鍋島直彬宛	封書	1通		819
三三三	書簡(出頭を促す)	1月22日	鍋島大兄閣下宛	一紙(羨紙ヵ)	1通	前欠	820
三三四	通達(江戸川筋御猟場にて狩獲の雁2羽下賜)	2月23日	上宣侍従より鍋島直彬宛	継紙	1通		821
三三五	書簡(出殿の断り)	2月26日	半田虎雄より鍋島三等侍補宛	封書	1通		822
三三六	書簡(捕獲思召下賜)	3月2日	宮内省侍従より鍋島直彬宛	封書	1通		823
三三七	書簡(青年親睦会開会の報告)	3月6日	日野資秀より鍋島直彬宛	封書(3枚)	1通		824
三三八	書簡(猟場捕獲について)	3月7日	宮内省侍従より鍋島直彬宛	封書	1通		825
三三九	書簡(宮内省印刷の皇室関係の書物の送付)	3月10日	田中光顕より鍋島子爵(直彬)宛	封書	1通		826
三三〇	書簡(晩餐会の案内)	3月14日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		827
三三一	書簡(16日・17日の予定)	3月15日	鷲翁より備前守宛	封書	1通		828
三三二	書簡(西園寺政友会総裁辞退勧告文作成の件)	3月18日	松浦厚より鍋島直彬宛	封書	1通	名刺2枚入	829
三三三	書簡(先日の御高論貴意の趣感動の至)	3月19日	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通	松浦厚の古川黄一の名刺有り	830

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号	
三五四	書簡(鉄道設置の発起人の勧誘他)	3月25日	藤波言忠より鍋島直彬宛	綴	1綴		831	
三五五	書簡(松方内務卿着阪・来吃うながす)	3月26日	内務省随行谷謹一郎より鍋島沖縄県令宛	一紙	1通		832	
三五六	書簡(近況報告)	4月5日	鍋島直縄より両親宛	封書	1通		833	
三五七	書簡(山口正定内「桜岡力」の採用依頼)	4月7日	(山口)正定より鍋島老契宛	封書	1通		834	
三五八	書簡(口述、〈ゴヲ渡し二付けて)	4月8日	侍従局より鍋島直彬宛	一紙	1通		835	
三五九	書簡(近況報告)	4月9日	鍋島直縄より両親宛	封書	1通		836	
三六〇	書簡(先日相談の件)	4月12日	種恭より鍋島賢兄宛	継紙	1通		837	
三六一	書簡(早稲田実業学校に入学の事)	4月17日	東京下青山原宿鍋島邦夫より佐賀県藤津郡鹿島鍋島直彬宛	封書	1通		838	
三六二	書簡(御意見に同感であること)	4月17日	東京麻布虎義(ママ)より大分別府鍋島直彬宛	封賣(巻紙)	1通		839	
三六三	書簡	4月24日	鍋島侯爵直大(花押)より鍋島直彬閣下宛	一紙	1通		840	
三六四	書簡(松田、圣長、御伯父様の件)	4月29日	易子より御兄上植(鍋島直彬)宛	継紙(紙6枚)	1通		841	
三六五	書簡(直縄叙位、従五位の件他)	5月12日	東京市麻布區鍋島直柔より鍋島直彬宛	封賣(継紙)	1通	親展	842	
三六六	書簡(直縁従五位に叙せられた件)	5月13日	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		843	
三六七	書簡(二位様・高木文種・二三番地様等)	5月21日	鍋島直馬より鍋島直彬宛	封賣(巻紙)	1通		844	
三六八	書簡(投票2枚代理す)	5月21日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封賣(継紙)	1通		845	

三六九	書簡(御機嫌伺)	5月28日	鍋島直縄より両親宛	封書	1通	846
三七〇	書簡(近況報告)	5月28日	三浦安より綱堂大稚研北(鍋島直彬)宛	封書	1通	847
三七一	書簡(石油会社の件)	5月30日	大倉喜八郎外2名より鍋島子爵宛	継紙	1通	848
三七二	書簡(子爵議員選挙について)	5月31日	立花種恭(印)より鍋島直彬宛	一紙	1通	849
三七三	書簡(今度の改選についての意見)	6月2日	曽我祐準より鍋島(直彬)宛	罫紙(ペン書)	1通	850
三七四	書簡(日本海大海戦の件)	6月4日	鍋島直映より鍋島直彬宛	封書	1通	851
三七五	書簡(予選人治定の事)	6月6日	(曽我)祐準より鍋島老台宛	罫紙	1通	852
三七六	書簡	6月6日	福岡徳久恒範より鍋島直彬宛	簡易封筒	1通	853
三七七	書簡(談話会への寄付金の礼)	6月7日	乗永より鍋島直賢台宛	罫紙	1通	854
三七八	書簡(封筒のみ)	6月12日消印	梨本宮附宮内事務官坪井祥より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	855
三七九	書簡(門司着と貴地へ伺う予定を報ず)	6月15日	(門司)勝浦鞆雄より鍋島直彬宛	葉書	1通	856
三八〇	書簡(梅雨見舞い)	2年6月15日	鍋島賢雄・末弘ふみこより鍋島直彬宛	封書	1通	857
三八一	書簡(頂戴物の礼)	6月20日	(立花)種恭より(鍋島)直彬盗公宛	封書	1通	858
三八二	書簡(来年3月帰国の事)	6月23日	(藤波)言忠より鍋島直彬宛	封書	1通	859
三八三	書簡(明朝東風平に赴任)	6月24日	瀧脇信より鍋島直彬殿侍史宛	封書	1通	860

千秋亭罫紙

中に2枚入

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八四	書簡(廖氏へ依嘱の千文のこと等)	6月28日	岩城處厚より絅堂大君侍史御中	封書	1通		861
三八五	書簡(三條氏よりの寄宅催促について)	6月第3木曜値日	柳原前光より鍋島直彬宛	継書	1通	包紙あり	862
三八六	書簡(一昨日御来塾の御礼)	7月3日	神矢粛一より鍋島子爵宛	継書	1通		863
三八七	書簡(成績報告)	7月9日	鍋島直縄より両親宛	封書	1通		864
三八八	書簡(投票代理にお菓子を頂いたお礼)	7月9日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封賣(継紙)	1通		865
三八九	書簡(調査計画表のこと他)	7月10日	住友縫之助より鍋島直彬宛	封賣(継紙)	1通		866
三九〇	書簡(親展、宿居の件)	7月12日	川上重行より鍋島直彬宛	封書	1通		867
三九一	書簡(暑中見舞)	7月19日	東京麻布區柳原前光より	葉書	1通		868
三九二	書簡(暑中見舞)	7月21日消印	井伊宣忠より子爵鍋島直彬宛	封書	1通	名刺入、□一年	869
三九三	書簡(近況報告と御ほうびの礼)	7月22日	鍋島直縄より両親宛	封書	1通		870
三九四	書簡(暑中見舞い、近況報告)	7月22日	曽我祐準より鍋島直彬宛	葉書(ペン書)	1通		871
三九五	書簡(病気全快)	7月23日	鍋島直馬より鍋島直彬宛	封賣(巻紙)	1通		872
三九六	書簡(暑中見舞)	7月24日	(井伊直忠)より鍋島直彬宛	封書	1通		873
三九七	書簡(勤王主義主唱)	7月25日	東京麻布(ママ)虎義より大分別府鍋島直彬宛	封賣(継紙)	1通		874
三九八	書簡(俊子の事)	7月27日	鍋島直馬より鍋島直彬宛	封書	1通		875

三九九	書簡(封筒のみ)	7月28日消印	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通	876
三〇〇	書簡(暑中見舞)	7月28日	福岡市中嶋河野久子より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	877
三〇一	書簡(暑中見舞)	7月29日	東京青山原宿篠原啓二より鍋島直彬様侍史宛	封書	1通	878
三〇二	書簡(暑中見舞)	7月30日、8月1日	三浦安より鍋島直彬宛	封書(紙2枚)	1通	879
三〇三	書簡(暑中見舞)	7月31日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	880
三〇四	書簡(暑中見舞、孫女出産祝への礼)	8月3日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通	881
三〇五	書簡(病人回復、山崎氏より品物頂戴の件)	8月4日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	882
三〇六	書簡(暑中見舞)	8月4日	栄子より御伯父(鍋島直彬)御伯母様宛	継紙	1通	883
三〇七	書簡(子供3人を時気伺に遣わす)	8月6日	鍋島茂彬より鍋島直彬藹子宛	封書	1通	884
三〇八	書簡(暑中見舞、樺太占領講和談判の件)	8月7日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書	1通	885
三〇九	書簡(暑中見舞、直縄入学試験への配慮に礼)	8月8日	鍋島直柔より鍋嶋直彬宛	封書(継紙)	1通	886
三一〇	書簡(近況)	8月12日	(鍋島)易子より御兄様(直彬)宛	封書(封筒2便箋5枚)	1通	887
三一一	書簡(親展・後見人開始における手続き)	8月13日	肥前諫早町諫早南三郎より鍋島直彬宛	封書(罫紙)	1通	888
三一二	書簡(御伺のため諒三郎・賢雄を差上る)	8月16日消印	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通	889

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三二三	書簡(近況報告)	8月16日	事務所より鍋島賢公宛	巻紙	1通		890
三二四	書簡(兼而御内話有之候御意見)	8月18日	岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通		891
三二五	書簡(明日参順のお断り)	8月20日	富小路家直より鍋島直彬宛	封書(継紙)	1通		892
三二六	書簡(式年祭参拝の服装等)	8月21日	久直侍従より鍋島侍従宛	継紙	1通		893
三二七	書簡(お礼、近況)	8月24日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		894
三二八	書簡(鼻茸治療中のお断り)	2月24日	鍋島諄三郎より鍋島直彬宛	封書	1通		895
三二九	書簡(「江藤南白伝」について)	8月27日	的野判介より鍋島子爵宛	(継紙)	1通		896
三三〇	書簡(礼状がおくれたのに対する詫)	8月28日	鍋島茂孝より鍋島直彬宛	封書(郵紙)	1通		897
三三一	書簡(書籍取寄せの件)	9月3日	北條侍従より鍋島侍従宛	封書	1通		898
三三二	書簡(御服拝借の礼状)	9月3日	万里小路通房より鍋島直彬宛	封書(切紙)	1通		899
三三三	書簡(近況報告)	9月14日	鍋島易子より鍋島直彬宛	封書	1通		900
三三四	書簡(返書、役職就任について)	9月14日	高崎正風より鍋島直彬宛	封書(継紙罫線入)	1通		901
三三五	書簡(病気のため諒三郎等を差向ける事)	9月15日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		902
三三六	書簡(お見舞い)	9月18日	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通	親展	903

三三七	書簡(本日予定)	9月20日	伊藤坊文より鍋島直彬宛	封書	1通	904
三三八	書簡(欧州貴族制度の翻訳書転借願)	9月28日	柳原前光より鍋島侍従宛	継紙	1通	905
三三九	書簡(直縄無事)	10月4日	深川亮蔵より鍋島直彬宛	封賁(継紙)	1通	906
三三〇	書簡(文子出生祝を謝す)	10月6日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書	1通	907
三三一	書簡(貞子分娩時書を下されたことへの礼)	10月7日	鍋島直柔より鍋島直彬宛	封書	1通	908
三三二	書簡(参向を約す)	10月9日	(佐野)常民より鍋義宮宛	封書	1通	909
三三三	書簡(鹿島高等女学校開校式御案内)	10月11日	萩原善太郎より子爵鍋島直彬宛	一紙	1枚	910
三三四	書簡(藤田東湖真蹟売買の件)	10月12日	(山口)正定より鍋嵩先生宛	封書	1通	911
三三五	書簡(火事の事)	10月13日	三浦安より鍋島直彬宛	封書	1通	912
三三六	書簡(御機嫌伺)	10月14日	元田永孚より鍋島賢台宛	巻紙	1通	913
三三七	書簡(授与)	10月15日	山口正定(三生)より鍋島侍従宛	封書	1通	914
三三八	書簡	10月16日	岩倉具令より鍋島直彬宛	一紙	1通	915
三三九	書簡(中山一位局様死去他)	10月18日	三浦安より鍋島直彬宛	封賁(一紙)	2通	916
三四〇	書簡	10月18日	山中厭より鍋島絅堂宛	継紙(罫線有)	1通	917
三四一	書簡	10月25日	鍋島公宛	一紙	1通	918
三四二	書簡	10月25日	吉村友実より鍋島直彬宛	封賁(継紙)	1通	919

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三四三	書簡(石野台将負債の事)	10月25日	青々主人より綱堂宛	封書	1通		920
三三四四	書簡(演習中止報告、詫び)	10月31日	松浦寅三郎より子爵鍋島直彬宛	封書	1通		921
三三四五	書簡(11月8日挙行)	11月4日	南鹿島村在郷軍人会より鍋島子爵閣下宛	封書	1通	案内・会則	922
三三四六	書簡(渡欧中の直縄について)	11月4日	桂次郎より Viscount N. Nabeshima子爵鍋島直彬宛	封書(巻紙)	1通		923
三三四七	書簡(朝春院様ゟ之御年賀之件)	11月5日	諫早千吉郎より鍋島直彬宛	封書(切紙と便箋)	1通		924
三三四八	書簡(政之助発熱入院の件)	11月6日	鍋島茂彬より鍋島直彬宛	封書	1通		925
三三四九	書簡(近況報告)	11月11日	(鍋島)藹子より従二位様宛	封書(継紙)	1通		926
三三五〇	書簡	11月11日	平五郎より直彬宛	前欠(巻紙カ)	1通		927
三三五一	書簡(御機嫌伺)	11月12日	(毛利)元秀より鍋島賢台(直彬)宛	封書	1通		928
三三五二	書簡(御献上品の事)	11月14日	藤波言忠より鍋島直彬宛	封書	1通		929
三三五三	書簡(嵯峨公よりの回条披見の上別々に廻す)	11月29日	大村純熙より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙有	930
三三五四	書簡(赤十字雑誌云々)	12月5日	松平乗承より鍋島直彬宛	葉書	1通	明治41年又は大正3年カ	931
三三五五	書簡(陛下皇大神宮御参拝の件)	12月18日	岩倉具定より鍋島直彬宛	封書	1通	書綴1同封	932
三三五六	書簡(支那につき8項目にわたり言上)	12月18日	精一郎より県令宛	一紙	1通		933

三三七	書簡(礼状)	12月19日	織田信親より鍋島直彬宛	封書(便箋)	1通		934
三三八	書簡(不例見舞、支那における近況、写真送付)	24日	勝浦鞆雄より鍋島閣下宛	継紙	1通		935
三三九	書簡(暑中見舞)	30日	鍋島邦夫より鍋島直彬宛	封書(折紙)	1通		936
三三〇	書簡(封筒のみ)	明治	鍋島直縄より鍋島直彬宛	封書	1通		937
三三一	貴族院子爵議員補欠選挙人名簿	明治	宮内省爵位局(局長公爵岩倉具足)より鍋島直彬宛	封書(書冊1冊、一紙1枚)	1通		938
三三二	東亜同文会時報第一九号(七月二四日付上海砲弾戦)	明治	(東亜同文会)より鍋島直彬宛	封書	1通	特報一九号(カーボン)1枚入	939
三三三	書簡(礼状)	明治	純熙より鍋島賢公宛	巻紙	1通	包紙あり	940
三三四	書簡(封筒のみ)	明治	鍋島直大より鍋島直彬宛	封書	1通		941
三三五	書簡(天長節之祝)	明治	鶴田義紹より鍋島子爵宛	葉書	1通	軍事郵便	942
三三六	書簡(封筒のみ)	明治	本多初子より子爵閣下宛	封書	1通		943
三三七	書簡(封筒のみ)	明治	上直侍従より錦鶏間侯鍋島直彬宛	封書	1通		944
三三八	書簡(封筒のみ)	明治	議官鍋島直彬宛	封書	1通		945
三三九	書簡(封筒のみ)	明治	徳大寺宮内卿より鍋島議官宛	封書	1通		946
三三〇	書簡(封筒のみ)	明治	北白川宮御付三吉慎蔵より沖縄県令鍋島直彬宛	封書	1通		947
三三一	書簡(暑中見舞)	明治	易子より兄宛	巻紙	1通		948
三三二	書簡(漢詩)	明治	臣勝宛より三位公閣下宛				949

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号	
	2　直縄宛							
三七三	書簡(戦時中につき帰省せず在京せよ)	明治27年6月24日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		1	
三七四	書簡(晩餐招待)	明治29年1月3日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		2	
三七五	書簡(報知新聞に浦賀の絵を出品)	明治30年8月7日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		3	
三七六	書簡(直縄の海軍将校の件)	明治30年9月3日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通	前欠	4	
三七七	書簡(近況報告、来月初め上京面談すべし)	(明治31年)10月21日	父(鍋島直彬)より(鍋島)直縄宛	封書	1通		5	
三七八	書簡(反物見舞の件)	明治32年6月18日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		6	
三七九	書簡(学習院で勉強に励むべき事)	明治32年9月7日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		7	
三八〇	書簡(中学校、高等小学校の閲覧の件)	明治33年6月4日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		8	
三八一	書簡(明治35年年賀)	明治34年12月30日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		9	
三八二	書簡(新年の挨拶)	明治35年1月3日消印	鍋島直大より鍋島直縄宛	封書(切紙2)	1通		10	
三八三	書簡(近況報告)	明治35年1月24日	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙1紙3)	1通		11	
三八四	書簡(学校へ保存すべき揮毫の件)	(明治35年)2月21日	父(鍋島直彬)より(鍋島)直縄宛	封書	1通		12	
三八五	書簡(書道事専の清書の件)	明治35年3月1日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		13	

三八六	書簡（東京の直彬が帰県の件）	明治35年3月28日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通	和歌1通在中	14
三八七	書簡（新年の挨拶）	明治36年1月元旦	鍋島直彬より（鍋島）直縄宛	封書（継紙）	1通		15
三八八	書簡（教育品展覧会にて壱等賞をとった祝）	明治36年4月9日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		16
三八九	書簡（手紙の件を勝屋に差出）	明治36年5月14日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		17
三九〇	書簡（修学旅行の件）	明治36年5月20日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		18
三九一	書簡（強健に行を慎み学を励むべき事）	明治36年6月23日	父（鍋島直彬）より鍋島直縄宛	封書	1通		19
三九二	書簡（福井先生の教諭により活きた学問）	明治36年8月2日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		20
三九三	書簡（直縄の紀行文に関する感想）	（明治36年）8月9日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		21
三九四	書簡（近況報告）	（明治36年）9月15日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		22
三九五	書簡（病気につき養生の件）	明治36年10月22日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		23
三九六	書簡（学年末試験の激励）	（明治37年）2月27日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		24
三九七	書簡（勉強をして高名を得よ）	明治37年5月8日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		25
三九八	書簡（学期試験成績表一覧の件）	明治37年7月27日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書（継紙）	1通		26
三九九	書簡（鹿島家の由来を記す）	（明治37年）9月5日	中川ノ父母（鍋島直彬）より鍋島直縄宛	封書	1通		27
三〇〇	書簡（学術操行とも心がけよ）	（明治38年）1月25日	父（鍋島直彬）より（鍋島）直縄宛	封書	1通		28

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三〇一	書簡(塾の件)	明治38年1月31日消印	鍋島直高より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		29
三三〇二	書簡(写真葉書の礼)	(明治38年)10月9日	両親(鍋島直彬)より鍋島直縄宛	封書	1通		30
三三〇三	書簡(直縄への注意事)	明治39年6月3日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		31
三三〇四	書簡(修学旅行出発にあたっての注意)	明治39年7月3日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		32
三三〇五	書簡(静岡転地の事)	(明治39年)7月29日	両親(鍋島直彬)より(鍋島)直縄宛	封書	1通		33
三三〇六	書簡(封筒のみ)	明治41年5月18日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		34
三三〇七	書簡(降雪の件勝屋より詳報あり)	明治41年6月11日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		35
三三〇八	書簡(試験及び旅行の件)	明治41年7月8日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		36
三三〇九	書簡(旅行登山の件)	明治41年8月10日消印	鍋島両親より(鍋島)直縄宛	葉書	1通		37
三三一〇	書簡(送別の件、小浜滞在の件)	明治41年9月14日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		38
三三一一	書簡(山岳登山の件)	明治41年11月28日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	葉書	1通		39
三三一二	書簡(佐賀郡の水害復旧工事の件)	明治42年10月28日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		40
三三一三	書簡(勉学及び紹龍公大祭の件)	明治43年4月21日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		41
三三一四	書簡(私信)	明治43年6月11日消印	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通		42

三三二五	書簡(徳山での状況報告に対する返報)	(明治44年)5月30日	父(鍋島直彬)より若御夫婦(鍋島直縄)宛	封書	1通	43
三三二六	書簡(筆墨贈呈の件)	(明治)2月9日	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通	44
三三二七	書簡(外国語学校に入学の件)	(明治)3月3日	鍋島直彬より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通	45
三三二八	書簡(暑中見舞)	(明治)4月29日	母より従五位(鍋島直縄)宛	封書	1通	46
三三二九	書簡(しぼりの反物に対するお礼)	(明治)7月5日	母より従五位(鍋島直縄)宛	封書	1通	47
三三三〇	書簡(出発延期の件)	(明治)7月7日	母より従五位(鍋島直縄)宛	封書	1通	48
三三三一	書簡(私信)	(明治)7月14日	鍋島藕子より(鍋島)直縄宛	封書(継紙)	1通	49
三三三二	書簡(休業中下県の件)	(明治)7月19日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通	50
三三三三	書簡(貞孝両様鹿島来臨について)	(明治)8月21日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通	51
三三三四	書簡(洪水のため貞孝両様の様子報告)	(明治)8月22日	藕子より(鍋島)直縄宛	封書	1通	52
三三三五	書簡(京坂地方の旅行見学の件)	(明治)8月27日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通	53
三三三六	書簡(阿蘇霧島神社の写真の件)	(明治)9月4日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(切紙)	1通	54
三三三七	書簡(東京での生活の件)	(明治)9月14日	母より従五位様宛	封書	1通	55
三三三八	書簡(松蔭社祭典天長節発火演習の件)	(明治)11月5日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書(紙)	1通	56
三三三九	書簡(学期末試験のため勉強せよ)	(明治)11月21日	父(鍋島直彬)より鍋島直縄宛	封書	1通	57

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三三〇	書簡(私信)	(明治)12月4日	父(鍋島直彬)より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		58
三三三一	書簡(井手半蔵参上いたし近況報告)	(明治)12月10日	母より従五位様宛	封書	1通		59
三三三二	書簡(寒中見舞)	(明治)12月28日	母より従五位様宛	封書	1通		60
三三三三	書簡(直縄へのお願いの件)	(明治)	栄子より鍋島直縄宛	封書(紙2)	1通		61
三三三四	書簡(直彬の病気見舞)	大正4年6月11日	東京市松平慈定院家従より鍋島直縄宛	封書	1通		62
三三三五	書簡(直彬の病気見舞)	大正4年6月11日	佐賀市長野□能毅より鍋島直縄宛	封書	1通		63
三三三六	書簡(直彬容態の伺い)	大正4年6月12日	東京中村　郎より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		64
三三三七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月14日	井上長太郎(大分県実科高等女学校長)より鍋島直縄宛	封書	1通		65
三三三八	書簡(直彬死去哀悼一件)	大正4年6月15日	西村万次郎より鍋島直縄宛	葉書	1通		66
三三三九	書簡(直彬死去の弔詞)	(大正4年)6月15日	佐世保新報社より鍋島直縄閣下宛	封書	1通		67
三三四〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	酒井忠道、績子より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		68
三三四一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京古川氏潔より鍋島直縄宛	封書(折紙)	1通		69
三三四二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	前田利為家扶より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		70
三三四三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	山門郡立花寛治より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		71

三三四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	大阪府秋田実より鍋島直縄宛	封書	1通	72
三三五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	佐賀市長谷川喜一より鍋島直縄宛	封賚(巻紙)	1通	73
三三六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京松田道夫より鍋島直縄宛	封賚(継紙)	1通	74
三三七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	陸軍少将青木助次郎より鍋島直縄宛	封賚(巻紙)	1通	75
三三八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	知新会特務幹事下村亮太郎より鍋島直縄宛	封賚(切紙)	1通	76
三三九	書簡(直彬死去の弔詞)	(大正4年)6月15日	毛利五郎より鍋島直縄宛	封書	1通	77
三三〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	不破彦麿より鍋島直縄宛	封賚(継紙)	1通	78
三三一	書簡(正二位様死去の弔詞)	大正4年6月16日消印	鍋島朝俊(兵庫県生野鉱山社宅)より鍋島直縄宛	封賚(継紙)	1通	79
三三二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	鍋島直膺より鍋島直縄宛	封書	1通	80
三三三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	石井擴より鍋島直縄宛	封賚(継紙)	1通	81
三三四	書簡(喪中見舞)	大正4年6月17日	勝屋馬三男より鍋島直縄宛	封書	1通	82
三三五	書簡(御尊父様死去の弔詞、香典送付)	大正4年6月17日	(東京)三島弥太郎より鍋島直縄宛	封賚	1通	83
三三六	書簡(正二位公死去の弔詞、香典送付)	大正4年6月17日消印	(東京)辻新次より鍋島直縄宛	封書	1通	84
三三七	書簡(御尊父様死去の弔詞、香典送付)	(大正4年)6月17日	山口弘達より鍋島直縄宛	封書	1通	85
三三八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	佐賀県師範学校長森山辰之助より鍋島直縄宛	封賚(切紙)	1通	86

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三三六九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	埼玉県岩田静夫より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		87
三三七〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	東京黒田和志より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		88
三三七一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	東京市鍋島直影より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		89
三三七二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	東京平山成信より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		90
三三七三	書簡(直彬死去の弔詞)	(大正4年)6月17日	毛利元昭より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		91
三三七四	書簡(名刺同封)	大正4年6月17日	貴族院議員馬屋原彰より鍋島直縄宛	封書	1通	封筒に「弔詞」とあり	92
三三七五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京河井弥八より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		93
三三七六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	土方久元より鍋島直縄宛	封書	1通		94
三三七七	書簡(喪中見舞として菓子料送付)	大正4年6月18日	東京坪井洋より鍋島直縄宛	封書	1通		95
三三七八	書簡(子爵様死去の弔詞)	大正4年6月18日消印	東京鎌田勝太郎より鍋島直縄宛	封書	1通		96
三三七九	書簡(子爵様死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京帝国大學内佐賀學友會より鍋島直縄宛	封書	1通		97
三三七〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	琴陵光熙より鍋島直縄宛	封書	1通		98
三三七一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京桑田熊蔵より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		99
三三七二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京南部利淳より鍋島直縄宛	封書	1通		100

三三七三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京高崎正光より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		101
三三七四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	柳原義光より鍋島直縄宛	封書	1通		102
三三七五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京谷森真男より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		103
三三七六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	福島市門馬尚経より鍋島直縄宛	封書	1通		104
三三七七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京松平胖より鍋島直縄宛	封書	1通		105
三三七八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京松平乗承より鍋島直縄宛	封書	1通		106
三三七九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	中牟田倉之助より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		107
三三八〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京松平乗承より鍋島直縄宛	封書	1通		108
三三八一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	山口県大野直輔、河野通好より鍋島直縄宛	封書(折紙)	1通		109
三三八二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	東京毛利安子より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		110
三三八三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	加藤拳通、敬子より鍋島直縄宛	封書	1通		111
三三八四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	報知新聞特派員八陣熊一より鍋島直縄宛	封書	1通		112
三三八五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	鍋島陸郎より鍋島直縄宛	封書	1通		113
三三八六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	内海勝二より鍋島直縄宛	封書	1通		114
三三八七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	田尻稲里より鍋島直縄宛	封書	1通		115

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八八	書簡(封筒のみ)	大正4年6月19日	日本弘道会長徳川達孝より鍋島直縄宛	封書	1通		116
三八九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日消印	花房義質より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		117
三九〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	東京松尾広吉より鍋島直縄宛	封書(巻紙)	1通		118
三九一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	東京平田東助より鍋島直縄宛	封書(継紙)	1通		119
三九二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	子爵秋元興朝より鍋島直縄宛	封書	1通		120
三九三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	牧野忠篤より鍋島直縄宛	封書	1通		121
三九四	書簡(直彬会葬欠礼の詫び)	大正4年6月19日	稲沢庄次郎より鍋島直縄宛	封書	1通		122
三九五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	西村亮吉より鍋島直縄宛	封書	1通		123
三九六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日消印	(東京)内藤信任より鍋島直縄宛	封書	1通		124
三九七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	(東京)松岡康毅より鍋島直縄宛	封書	1通		125
三九八	書簡(直彬死去に付香典送付の件)	大正4年6月20日	千葉県市川町立見豊丸より鍋島直縄宛	封書	1通		126
三九九	書簡(直彬死去に付御悔状)	大正4年6月20日	若槻禮次郎より鍋島直縄宛	封書(切紙)	1通		127
四〇〇	書簡(直彬死去に付御悔状)	大正4年6月21日	(東京)鍋島直虎より鍋島直縄宛	封書(切紙)	1通		128
四〇一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月21日消印	(東京)黒田長成より鍋島直縄宛	封書	1通		129

二四〇三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月21日消印	長岡市長河島良温より鍋島直縄宛	封書	1通	宮内省罫紙	130
二四〇三	受領証	大正4年6月21日	(宮内大臣官房)総務課長近藤久敬より従五位鍋島直縄宛	切紙	1通		131
二四〇四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月22日消印	(東京)伊達宗陳より鍋島直縄宛	封書	1通		132
二四〇五	書簡(直彬死去の香料送付の件)	大正4年6月22日	宮内省錦鶏間祇候幹事より鍋島直縄宛	封賣(継紙)	1通		133
二四〇六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月22日	京都梅渓通魯より鍋島直縄宛	封賣(継紙)	1通		134
二四〇七	書簡(閑院宮出張の際の菓子の礼状)	大正4年6月22日	閑院宮付別当内三吉より鍋島直縄宛	封書	1通		135
二四〇八	書簡(2児認知入籍長男次男改名)	大正4年6月23日	井伊直忠より鍋島直縄宛	封賣(印刷)	1通		136
二四〇九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月	大田原一郎より鍋島直縄宛	封賣(切紙)	1通		137
二四一〇	書簡(直彬死去により御供の送付の件)	大正4年6月	阿部正直より鍋島直縄宛	封賣(継紙)	1通		138
二四一一	書簡(薬送付の件)	大正4年12月17日消印	鍋島直□より鍋島直縄宛	封書	1通		139
二四一二	書簡(福井、弓削先生の教訓を守り勉学せよ)	大正6年7月1日消印	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		140
二四一三	書簡(新年の挨拶)	大正9年1月4日消印	毛利シゲコより鍋島直縄、政子宛	絵葉書	1通		141
二四一四	書簡(高等小学校卒業式に出席の件)	(大正)3月23日	父(鍋島直彬)より(鍋島)直縄宛	封書	1通		142
二四一五	書簡(傷全快の知らせ)	(大正)3月29日	貞次郎より鍋島直縄宛	封書	2通	哲雄書簡在中	143
二四一六	書簡(永田町御両所様京都より新橋に到着するのでよろしく頼む)	(大正)5月16日	(鍋島)直彬より(鍋島)直縄宛	封書	1通		144

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三四一七	書簡(暑中見舞と帰省の件)	(大正)7月27日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		145
三四一八	書簡(今度の旅行から無事帰京の件)	(大正)12月4日	鍋島直彬より鍋島直縄宛	封書	1通		146
三四一九	書簡(御父様到着、近況報告)	大正	(鍋島)藹子より(鍋島)直縄宛	継紙	1通		147
	3　鍋島家族宛						
三四二〇	書簡(酒饌料受取人の呼出の件)	明治12年11月8日	部局長第二課より鍋島直虎宛	封書	1通		1
三四二一	書簡(愛国婦人会第1回大会開催案内)	明治35年3月18日消印	愛国婦人会より鍋島夫人(藹子)宛	封書(紙3)	1通		2
三四二二	書簡(長崎旅行記)	明治43年10月27日	山崎恭次郎より鍋島直定宛	封書	1通		3
三四二三	書簡(長崎旅行記)	明治43年10月27日	山崎恭次郎より鍋島直定宛	封書	1通		4
三四二四	書簡(新年の挨拶)	明治44年1月3日消印	酒井紘子より鍋島藹子宛	葉書	1通		5
三四二五	書簡(子爵家の主婦として心がけをせよ)	明治44年6月6日	鍋島直彬より鍋島政子宛	封書	1通		6
三四二六	書簡(珍敷品々送付の御礼)	明治44年6月6日	父(鍋島直彬)より(鍋島)政子宛	封書	1通		7
三四二七	書簡(新年の挨拶)	(明治)1月4日	鍋島直彬より藹子宛	絵葉書	1通	鎌倉七里ヶ浜	8
三四二八	書簡(小包産子送付の礼状)	(明治)2月16日	鍋島易子より鍋島藹子宛	絵葉書	1通	小田原海岸	9
三四二九	書簡(暑中見舞)	(明治)7月20日	(鍋島)兄より易子宛	継紙	1通	封筒なし	10
三四三〇	書簡(としこより兄への手紙)	(明治)8月25日	鍋島いっ子より鍋島貞次郎宛	封書(紙)	1通		11

二四二	書簡（農林省技師高等官就任の祝）	（明治）9月12日	直映より鍋島直紹宛	継紙	1通	12
二四三	書簡（家庭の事情の通知）	明治	さえ子より政子宛	便箋	1通	封筒なし 13
二四三	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月17日	愛国婦人会長阿部篤子より鍋島藹子宛	封書（継紙）	1通	14
二四四	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月20日	（鍋島）熊太郎より（鍋島）藹子宛	封書	1通	15
二四五	書簡（新年の挨拶）	大正	いつ子よりナオツグ宛	絵葉書	1通	一九三年飛行機 16
二四六	書簡（葉書の返礼）	大正	ナオミツ・テイコよりナオツグ宛	絵葉書	1通	大磯海岸 17
二四七	書簡（北支派遣楓部隊からの便り）	昭和18年8月16日消印	鍋島直美より鍋島直紹宛	葉書	1通	軍事郵便 18
二四八	書簡（母兄へ引越荷物の手続の件）	昭和20年1月27日	鍋島直立より鍋島直紹宛	封書	1通	19
二四九	書簡（母への近況報告）速達	昭和20年8月12日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書（便箋2）	1通	写真4枚在中 20
二四〇	書簡（近況報告）	昭和20年9月2日	鍋島直立より母、直紹宛	封書（原稿用紙2）	1通	21
二四一	書簡（封筒のみ）書留	昭和20年9月5日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書	1通	22
二四二	書簡（疎開先の近況、中国人「クーリー」町の様子）	昭和20年10月2日	立見波子より鍋島政子宛	封書	1通	前後欠 23
二四三	書簡（私信）	昭和20年10月10日	後藤静香心より鍋島政子宛	簡易封書	1通	24
二四四	書簡（生活の困窮の件）	昭和20年10月31日	立見局子より鍋島政子宛	封書（原稿用紙2）	1通	25
二四五	書簡（敗戦後の世相、近況報告）	昭和20年11月2日	立石あつより鍋島様御邸大御前宛	封書	1通	26

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
二四七	書簡(近況報告、輔仁会の事)	昭和20年11月8日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書(罫紙)	1通		27
二四七	書簡(封筒のみ)	昭和20年11月9日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書	1通		28
二四八	書簡(母への近況報告)	昭和20年11月20日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書(用紙)	1通		29
二四九	書簡(近況報告)	昭和20年11月27日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書(原稿用紙)	1通		30
二五〇	書簡(母への近況報告)	昭和20年12月1日	鍋島直立より鍋島政子宛	封書(原稿用紙)	1通		31
二五一	書簡(近況報告)	昭和20年12月2日	(太田)松子より母(政子)宛	封書	1通	封筒1通在中	32
二五二	書簡(下宿の件)速達	昭和20年12月3日	鍋島直立より鍋島政子、直紹宛	封書(原稿用紙5)	1通		33
二五三	書簡(下宿の件)	昭和20年12月5日	鍋島直立より鍋島直紹宛	封書(用紙3)	1通		34
二五四	書簡(兄への返信)	昭和20年12月6日	鍋島直立より鍋島直紹宛	封書(用紙)	1通		35
二五五	書簡(上原邸売却、鎌倉邸、直立の新居の件)	昭和20年12月8日	太田資博より鍋島直紹宛	封書(切紙4)	1通		36
二五六	書簡(新年の挨拶)	昭和21年1月8日	小野安郎より鍋島奥様宛	便箋	4枚	封筒なし	37
二五七	書簡(元良上京の時の世話に対する礼状)	昭和21年11月30日	男爵毛利元良より子爵鍋島直紹宛	封書(便箋)	1通		38
二五八	書簡(新年の挨拶)	(昭和)1月6日	直泰より直定宛	絵葉書	1通	亥の図	39
二五九	書簡(近況報告、家族への挨拶)	(昭和)1月30日	直慶より母、直紹宛	原稿用紙	3枚	封筒なし	40
二六〇	書簡(戦局悪化の件)	(昭和)4月7日	横須賀海軍航空隊士官室吉富茂馬より鍋島政子宛	封書	1通	検閲済の印あり	41

三四六一	書簡（私信）	（昭和）7月25日	杉浦みよ子より鍋島奥様宛	絵葉書	1通	42
三四六二	書簡（近況報告）	（昭和）8月31日	（太田）資博より母宛	原稿用紙	6枚	43
三四六三	書簡（私信）	（昭和）9月10日	ばばより直紹宛	絵葉書	1通	44
三四六四	書簡（疎開先での近況報告）	（昭和）11月25日	太田資博より鍋島政子宛	封書（原稿用紙）	1通	45
三四六五	書簡（新年の挨拶）	昭和	廣慶より直紹、直定、直美、直玄宛	絵葉書	1通	46
三四六六	書簡（新年の挨拶）	昭和	直定より直紹、松宛	絵葉書	1通	47
三四六七	書簡（新年の挨拶）	昭和	元靖より直紹、直定、直美、直玄宛	絵葉書	1通	48
三四六八	書簡（新年の挨拶）	昭和	直紹、直定、直美、直美より伯父、伯母宛	絵葉書	1通	49
三四六九	書簡（直定小学生徒として立派になれ）	昭和	直明、渭子より直定宛	絵葉書	1通	50
三四七〇	書簡（写真機の送付依頼）	昭和	鍋島直美より鍋島直紹宛	封書	1通	51
三四七一	書簡（常任委員見込の件）	1月15日	郡廉より鍋島賢基宛	継紙	1通	52
三四七二	書簡（直紹病気）	2月4日消印	松本信子より鍋島政子宛	封書	1通	53
三四七三	書簡（採用の件）	3月18日	香坂昌邦より鍋島宛	封書	1通	54
三四七四	書簡（貴族院の収賄の件）	3月22日	曾我祐準より鍋島宛	罫紙	2枚	55
三四七五	書簡（手紙の返信、学習院の件）	7月4日	ばばより直美宛	便箋	1枚	56
三四七六	書簡（御機嫌伺いの予告）	7月15日	邦子より母宛	罫紙	1枚	57
三四七七	書簡（暑中御見舞）	7月20日	鍋島直彬より御二方様宛	一紙	1通	58
三四七八	書簡（封筒のみ）	8月8日	太田楳子より鍋島政子宛	封書	1通	59

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三四七九	書簡(行子子爵婦人10月17日に逝去)	10月23日	秋元春朝より鍋島政子宛	封紙葉書	1通		60
三四八〇	書簡(手紙のお礼)	12月1日	(太田)松子より母宛	用紙	2枚	封筒なし	61
三四八一	書簡(近況報告)	12月4日	村田満子より鍋島政子宛	封筒(継紙)	1通		62
三四八二	書簡(梨本宮殿下の件)	12月14日	前田朗子より鍋島政子宛	封書	1通		63
三四八三	書簡(家族の近況報告)	12月16日	(太田)松子より母宛	罫紙	2枚	封筒なし	64
三四八四	書簡(近況報告)	12月18日	栄子より伯父、伯母宛	一紙	1通		65
三四八五	書簡(近況報告)	12月26日	太田松子より鍋島政子宛	封書	1通	葉書在中	66
三四八六	書簡(茂葉就職の件)	10日	茂葉より伯父宛	一紙	1通		67
三四八七	書簡(暑中見舞)	26日	茂葉、貞子より伯父、伯母宛	一紙	1通		68
三四八八	書簡(御礼状)	昭和	仙石政敬より鍋島明公宛	簡易封書	1通		69
三四八九	書簡(出産祝、敗戦後の近況報告)	昭和	(毛利)廣子より(鍋島)政子宛	封書(便箋5)	1通		70
三四九〇	書簡(身のまわりの人の結婚のうわさ)	昭和	不詳より母宛	罫紙	1枚	包紙あり	71
三四九一	書簡(食糧等手配の件)	昭和	村田満子より鍋島政子宛	封書(便箋2)	1通		72
	4　鍋島家扶宛						
三四九二	書簡(貴族院子爵議員補欠選挙通知、同選挙に関する費用請求)	明治33年5月22日	子爵野村靖より鍋島宛	用紙	2枚	封筒なし	1

二四九五	書簡(暑中見舞、近況報告)	明治38年8月5日	福井久蔵より綱堂鍋島子爵閣下御執事宛	封書	1通	
二四九四	書簡(神矢氏済美塾の落成の援助の件)	明治40年4月17日	福井久蔵より鍋島子爵閣下御執事宛	封書	1通	寄附者一覧表あり
二四九五	書簡(御令息様帰省の件)	明治40年8月9日	福井久蔵より鍋島子爵閣下御執事宛	封書	1通	
二四九六	書簡(両親の結婚吾周年の祝に玉詠)	明治41年7月5日	福井久蔵より鍋島子爵閣下御執事宛	封書	1通	
二四九七	書簡(金婚式の綱堂夫婦に玉詠を給る)	明治41年8月3日	福井久蔵より子爵鍋島綱堂侯御執事宛	封書	1通	
二四九八	書簡(学習院の修養の参考となるべく件)	明治42年10月7日	福井久蔵より鍋島子爵閣下御執事宛	封書	1通	
二四九九	書簡(故大本伯伝記材料収集の件)	明治44年7月	内田鉄三郎より鍋島家家扶宛	封書(切紙)	1通	
二五〇〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月5日	太田保一郎より鍋島家家扶宛	封書	1通	
二五〇一	書簡(直彬様不例の趣見舞品送付)	大正4年6月9日	井伊家別邸執事より鍋島家御家扶宛	封書	1通	
二五〇二	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月9日	鍋島直庸家従より鍋島直彬御家扶宛	封書	1通	
二五〇三	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	歩兵第五連隊長長堀均より鍋島家執事宛	封書	1通	
二五〇四	書簡(叔父上様持病再発の件)	大正4年6月10日	諫早茂孝より犬塚育太郎宛	封書	1通	
二五〇五	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日消印	小林正盛より伊原喜代太郎宛	封書(継紙)	1通	
二五〇六	書簡(病気回復の為の祈祷の件)	大正4年6月10日	小林正盛より金田賢憧宛	封書(継紙2)	1通	
二五〇七	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	毛利家執事より鍋島家扶宛	封書(一紙)	1通	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三五〇八	書簡(病気見舞状届け依頼)	大正4年6月10日	宮崎智全より伊原喜代太郎宛	封書(便箋)	2通	直彬病気見舞状在中	17
三五〇九	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	森川市郎より鍋島家御家扶宛	封書	1通		18
三五一〇	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	渋江松太郎より鍋島子爵家扶宛	封書(切紙)	1通		19
三五一一	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	川良久米次より中川御邸執事宛	封書(切紙)	1通		20
三五一二	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月10日	鍋島直和家扶より鍋島直彬御家扶宛	封書	1通		21
三五一三	書簡(直彬容態の伺い)	大正4年6月11日	南部家事盛田力蔵より鍋島執事宛	封書(継紙)	1通		22
三五一四	書簡(直彬容態の伺い)	大正4年6月11日	黄檗宗大本山万福寺より鍋島家家扶宛	封書(一紙)	1通		23
三五一五	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日消印	不詳より鍋島子爵邸内庫所宛	封書	1通		24
三五一六	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日	橋村博より鍋島子爵家執事宛	封書(継紙)	1通		25
三五一七	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日	東京市智山派宗務所、豊山派宗務所より鍋島家侍者宛	封書(切紙)	1通		26
三五一八	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日	大隈家執事より鍋島家内永田佐次郎宛	封書(継紙)	1通		27
三五一九	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日消印	村田ちかけさより鍋島家家扶宛	封書	1通		28
三五二〇	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日	草場吉より永田佐次郎宛	封書	1通		29
三五二一	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月11日	牟田豊より川原俊蔵宛	封書	1通		30

三五三	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月11日	仁來邊春耕より鹿島町中川内庫所宛	封書	1通		31
三五四	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月12日	河井弥八より永田佐次郎宛	封書	1通		32
三五五	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月12日	門司市回漕業八坂旅館より鍋島家家令宛	封賣（継紙）	1通		33
三五六	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月12日	吉川源太郎より永田佐次郎宛	封書	1通		34
三五七	書簡（子爵死去に対する哀悼）	大正4年6月12日	木下忠信より鍋島家御家扶宛	封書	1通		35
三五八	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月12日	藤津郡教育会委員原田守造より鍋島家扶酒見今朝一宛	封書	1通		36
三五九	書簡（直彬容態の伺い）	大正4年6月13日	新旅順吉田第彦より内庫所役所永田佐二郎宛	封賣（切紙）	1通		37
三六〇	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月13日	富岡復起、同明雄より鍋島家家扶宛	封書	1通		38
三六一	書簡（大殿様容体悪化のため見舞）	大正4年6月13日	田中勝太郎より鍋島家執事宛	封書	1通		39
三六二	書簡（直彬へ病気見舞、学生大会期日の件）	大正4年6月13日	南正粉より井原喜代太郎宛	封賣（継紙）	1通		40
三六三	書簡（昇位につき祝言を述べる件）	大正4年6月13日	原田種徳より井原喜代太郎宛	封書	1通		41
三六四	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月13日	緒永虎彦より鍋島邸御家扶宛	封賣（巻紙）	1通		42
三六五	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月13日	山口延一より鍋島子爵閣下執事宛	封賣（継紙）	1通		43
三六六	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月13日	鍋島直映家扶より鍋島直彬御家扶宛	封書	1通		44

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三五三七	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月14日消印	佐賀中学校内山口助一より鍋島子爵家家扶宛	封書	1通		45
三五三七	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	諫早西三郎より鍋島家宛	封書（継紙）	1通		46
三五三八	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	栗屋武虎より鍋島家家扶宛	封書	1通		47
三五三九	書簡（根付の枡、鏡餅の準備の件）	大正4年6月14日	毛利家中村武一より中川邸酒見今朝一宛	封書（巻紙）	1通		48
三五四〇	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	毛利家中村武一より中川邸酒見今朝一宛	封書（紙）	1通		49
三五四一	書簡（直彬危篤）	大正4年6月14日	中村武一より酒見今朝一宛	封書	1通		50
三五四二	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月14日	満鉄山口隼太郎より犬塚郁太郎宛	封書（継紙）	1通		51
三五四三	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	武田秀雄より鍋島子爵家宛	封書	1通		52
三五四四	書簡（子爵死去に対する哀悼）	大正4年6月14日	田村嘉代志より鍋島子爵御家扶宛	封書	1通		53
三五四五	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	島内謁より鍋島家扶宛	封書（折紙）	1通		54
三五四六	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月14日	吉村茂三郎より中川御邸宛	封書	1通	名刺在中	55
三五四七	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	東京宝仙寺富田敬純より井原嘉代太郎、永田佐次郎宛	封書（巻紙）	1通		56
三五四八	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月14日	田中勇夫他8名より鍋島子爵家家扶宛	封書（切紙）	1通		57
三五四九	書簡（直彬病気の見舞の件）	大正4年6月14日	酒見忠勢より鍋島家執事宛	封書（巻紙）	1通		58

三五五〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月14日	伊藤政良より鍋島家扶宛	封書(一紙)	1通	59
三五五一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月14日	川崎玄龍より鍋島家井原宛	封書(巻紙)	1通	60
三五五二	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月14日	福井久蔵より鍋島子爵家勝屋弘義宛	封書(巻紙)	1通	61
三五五三	書簡(直彬正二位に叙さる)	大正4年6月14日	諫早家家扶より鍋島直彬御家扶宛	封書	1通	62
三五五四	書簡(直彬死去の弔詞、直彬の位階の件)	大正4年6月14日	堀田正恒家扶より鍋島直彬御家扶宛	封書(継紙)	1通	63
三五五五	書簡(直彬病気の見舞の件)	大正4年6月14日	紀伊万太郎より鍋島御家扶宛	封書(継紙)	1通	64
三五五六	書簡(直彬死去の弔詞、香典送付)	大正4年6月15日消印	辻能一郎より鍋島家御家扶宛	封書	1通	65
三五五七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	浜松伊藤保三郎より鍋島家扶宛	封書(巻紙)	1通	66
三五五八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	高木輝盛より鍋島家宛	封書(折紙)	1通	67
三五五九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	鍋島直和家扶より鍋島家扶宛	封書(継紙)	1通	68
三五六〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	大久保教尚家扶より鍋島家扶宛	封書(巻紙)	1通	69
三五六一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	鍋島克一より鍋島家付気永田佐次郎宛	封書(継紙)	1通	70
三五六二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	中島市次、池田政道、大園茂徳より鍋島家扶宛	封書(継紙)	1通	71
三五六三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	岩松祭亥より鍋島家執事宛	封書(継紙)	1通	72
三五六四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京弥勒寺中岩堀智道より鍋島邸家扶宛	封書(折紙)	1通	73

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三五六五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京大内青巒より鍋島家宛	封書(巻紙)	1通		74
三五六六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	小城郡弓削巌より鍋島家家扶宛	封書(巻紙)	1通		75
三五六七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	長岡市岡村喜代志より鍋島家家扶宛	封書(継紙)	1通		76
三五六八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	静岡市田沢義輔より鍋島家内犬塚郁太郎宛	封書(継紙)	1通		77
三五六九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京進藤幸吉より鍋島御役所宛	封書(継紙)	1通		78
三五七〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	佐賀中井手謙吉より鍋島家家扶宛	封書(一紙)	1通		79
三五七一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	佐賀中下村虎六郎より鍋島家扶宛	封書(一紙)	1通		80
三五七二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	唐津高等女学校丸山置治より鍋島家執事宛	封書(一紙)	1通		81
三五七三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	大分県岩松繁央より鍋島家執事宛	封書(継紙)	1通		82
三五七四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	鳥取松村義一より鍋島家家令宛	封書(継紙)	1通		83
三五七五	書簡(直彬の正二位叙勲の件)	大正4年6月15日	東京鍋島家家扶より鍋島家家扶宛	封書(巻紙)	1通		84
三五七六	書簡(封筒のみ)	大正4年6月15日消印	東京地学協会会長鍋島直大より鍋島家宛	封書	1通		85
三五七七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	唐津町小野萬吉より鍋島家御家族宛	封書(継紙)	1通		86
三五七八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京梅野一郎より鍋島宛	封書(継紙)	1通		87

三五七九	書簡（直彬死去に対する哀悼）	大正4年6月15日	安富弥太郎より鍋島子爵御邸内執事宛	封書	1通	88
三五八〇	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	大分県別府市中根清平より鍋島子爵家家扶宛	封書（継紙）	1通	89
三五八一	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	東京瑞聖寺貞松智道より中川内庫所宛	封書（巻紙）	1通	90
三五八二	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	佐賀吉田斎より鍋島家扶犬塚郁太郎宛	封書（継紙）	1通	91
三五八三	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	大阪秋田実より鍋島邸内犬塚郁太郎宛	封書（継紙）	1通	92
三五八四	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	小城中学校長高山虎太より鍋島子爵邸宛	封書（折紙）	1通	93
三五八五	書簡（直彬死去のため香典の件）	大正4年6月15日	伊豆子爵曽我祐準より鍋島家御家職宛	封書	1通	94
三五八六	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	西嬉野村川良久米次より鹿島町中川邸執事宛	封書（継紙）	1通	95
三五八七	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	佐賀市小幡信義より鍋島家邸内永田佐次郎宛	封書（巻紙）	1通	96
三五八八	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	佐賀市早田辰次より鍋島家扶永田佐次郎宛	封書（切紙）	1通	97
三五八九	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	前原税務署徳島萬吉より犬塚家扶宛	封書（一紙）	1通	98
三五九〇	書簡（御後室様へ御菓子送付）	大正4年6月15日	伯爵酒井右近家扶より鍋島直縄御家扶宛	封書（継紙）	1通	99
三五九一	書簡（直彬死去の弔詞および香典目録）	大正4年6月15日	井伊直忠家扶より鍋島直縄家扶宛	封書（継紙2 折紙1）	1通	100
三五九二	書簡（直彬死去の弔詞）	大正4年6月15日	松平康荘家扶より鍋島直縄御家扶宛	封書（継紙）	1通	101

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三五九三	書簡(御悔状)	大正4年6月15日	加藤直久より鍋島直縄執事宛	封書	1通		102
三五九四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日	東京市荒木良仙より鍋島家宛	封賁(継紙)	1通		103
三五九五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日消印	東京太田保一郎より鍋島家扶宛	封賁(継紙)	1通		104
三五九六	書簡(子爵閣下死去の哀悼)	大正4年6月15日消印	佐賀中学校長千住武次郎より鍋島子爵家令宛	封賁(折紙)	1通		105
三五九七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月15日消印	堀内文次郎より鍋島子爵御家令宛	封書	1通		106
三五九八	書簡(直彬正二位叙を報ず)	大正4年6月15日消印	東京鍋島直虎家扶より鍋島直彬御家扶宛	封賁(継紙)	1通		107
三五九九	書簡(直彬死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月15日消印	東京侯爵細川家家扶より鍋島御家扶宛	封書	1通		108
三六〇〇	書簡(大殿様葬儀に鹿島婦人会より献花)	大正4年6月16日	木下忠信より中川御家扶宛	封書	1通	同封	109 (1)
三六〇一	書簡(大殿様葬式事)	大正4年6月16日	木下忠信、田中勝次郎より中川御家扶宛	封書	1通	同封	109 (2)
三六〇二	書簡(直彬死去の哀悼)	大正4年6月16日	佐世保北島忠吾より内庫所宛	葉書	1通		110
三六〇三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	西松浦郡紀伊万太郎、エッより鍋島家家扶宛	封賁(折紙)	1通		111
三六〇四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	海軍中佐松村菊勇より鍋島家宛	封賁(切紙)	1通		112
三六〇五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	長崎県綱永虎蔵より鍋島家家扶宛	封賁(継紙)	1通		113
三六〇六	書簡(直彬葬儀参列の件)	大正4年6月16日	東京智山派宗務所、豊山派宗務所より鍋島家宛	封賁(継紙)	1通		114

三六〇七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	京都黄檗宗務本院より鍋島家家扶宛	封賚(折紙)	1紙		115
三六〇八	書簡(大殿様病気のため在京鹿島人の見舞)	大正4年6月16日	木下忠信より中川御家扶宛	封書	1通		116
三六〇九	書簡(葬儀案内掲載の件)	大正4年6月16日	佐世保市軍港新聞社より鍋島子爵邸葬儀係宛	封書(罫紙2)	1通	軍港新聞社用箋	117
三六一〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	田中榮蔵より鹿島子爵御家令宛	封賚(折紙)	1通		118
三六一一	書簡(病状を聞いて平癒の程神にかける)	大正4年6月16日	安武弥太郎より鹿島鍋島子爵御邸家扶宛	封書	1通		119
三六一二	書簡(直彬死去の哀悼)	大正4年6月16日	千々岩美一より鍋島御邸内御家令宛	封書	1通		120
三六一三	書簡(霊柩外廓の粧飾は伊藤公のものを採用する件)	大正4年6月16日	牟田萬次郎より鍋島家御役所宛	封書	1通		121
三六一四	書簡(喪主田帽子の図面見本送付の件)	大正4年6月16日	牟田萬次郎より鍋島家御役所宛	封書	1通		122
三六一五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日消印	姫島都渡義信より鍋島邸内永田佐次郎宛	封賚(継紙)	1通		123
三六一六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日消印	田島神社宮司都渡義信より鍋島家執事宛	封賚(罫紙)	1通		124
三六一七	書簡(特別議会開設、直彬病死慰問)	大正4年6月16日	朝日六太郎より井原喜代太郎宛	封賚(巻紙)	1通		125
三六一八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日消印	宍戸家々扶より子爵鍋島御家扶宛	封賚(継紙)	1通		126
三六一九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	伯爵松浦家家扶より鍋島子爵御家扶宛	封書	1通		127
三六二〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	鶴田しかより中川邸内執事宛	封賚(継紙)	1通		128
三六二一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	伊木力尋常小久布白より中川邸鍋島家執事宛	封賚(巻紙)	1通		129

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三六二三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	侯爵池田仲博家扶より鍋島直縄御家扶宛	封書(継紙)	1通		130
三六二三	書簡(直彬死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月16日消印	本荘宗久家扶より鍋島家扶宛	封書	1通		131
三六二四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	鍋島直映家扶より鍋島直縄御家扶宛	封書(継紙)	1通		132
三六二五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	子爵藤波言忠、伯爵広橋真光より鍋島御家扶宛	封書	1通		133
三六二六	書簡(御上様死去の御悔状)	大正4年6月16日消印	植松伊平より鹿島中川御邸内執事宛	封書	1通		134
三六二七	書簡(正二位様死去の弔詞)	大正4年6月17日消印	有馬純文家扶より鍋島御家扶宛	封書	1通		135
三六二八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	家永利三郎より井原喜代太郎宛	封書(紙2)	1通		136
三六二九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	深川喜次郎、忠吉より鍋島家家扶宛	封書(巻紙)	1通		137
三六三〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日消印	久保田譲より鍋島家宛	封書(名刺)	1通		138
三六三一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	島瀧五郎、ランより鍋島家扶宛	封書(巻紙)	1通		139
三六三二	書簡(直彬死去の香典送付の件)	大正4年6月17日	小野万吉より鍋島家扶宛	封書(継紙)	1通		140
三六三三	書簡(直彬死去の香典送付の件)	大正4年6月17日	森川藤次より犬塚郁太郎宛	封書	1通		141
三六三四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	毛利家内浅貝津他7名より鍋島家扶宛	封書(継紙)	1通		142
三六三五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	高木誠一より鍋島家々扶宛	封書	1通		143

三六三六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	渡邊信士より鍋島家々扶宛	封書(継紙)	1通	144
三六三七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	福井中学校勝屋馬三男より永田佐次郎宛	封書(巻紙)	1通	145
三六三八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	岩田敦夫より鍋島家永田佐次郎宛	封書(継紙)	1通	146
三六三九	書簡(子爵様死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月17日消印	伯爵細川家家扶より鍋島直縄御家扶宛	封書	1通	147
三六四〇	書簡(正二位様死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月17日消印	松平乗長家扶より鍋島家扶宛	封書	1通	148
三六四一	書簡(直彬薨御を敬吊す)	大正4年6月17日消印	森山儀市、中山勝一、松本能一郎より鍋島子爵家執事宛	封書(折紙)	1通	149
三六四二	書簡(旧藩主鍋島子爵死去の弔詞)	大正4年6月17日消印	沢西幾麿より井原喜代太郎宛	封書(野紙)	1通	150
三六四三	書簡(御尊父様逝去の弔詞)	大正4年6月17日消印	武者小路公共より鍋島子爵家御家扶宛	封書	1通	151
三六四四	書簡(直彬死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月18日消印	男爵小早川四郎執事より子爵鍋島御家扶宛	封書	1通	152
三六四五	書簡(子爵様死去の弔詞)	大正4年6月18日	成富子甲太郎より鍋島子爵御家扶宛	封書	1通	153
三六四六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	手塚長三郎より鍋島宛	封書(折紙)	1通	154
三六四七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	高野山鍋島坊本願院より鍋島家宛	封書(折紙)	1通	155
三六四八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	佐賀将校団より相良頼児宛	封書(継紙)	1通	156
三六四九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	河井弥八より鍋島家気付永田佐次郎宛	封書(継紙)	1通	157

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三六五〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	於保謙孜より鍋島家宛	封書(継紙)	1通		158
三六五一	書簡(直彬死去の香料送付の件)	大正4年6月18日	毛利家内幸垣平太郎より鍋島家扶宛	封書(継紙)	1通		159
三六五二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	橋村博より鍋島執事宛	封書(一紙)	1通		160
三六五三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	佐賀工業学校々長竹内次夫より鍋島執事宛	封書(折紙)	1通		161
三六五四	書簡(直彬死去の香典送付の件)	大正4年6月18日	木下忠信より中川御家扶宛	封書	1通		162
三六五五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	岩永隣一より内庫所宛	封書(切紙)	1通		163
三六五六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日消印	中村亮道より鍋島邸宛	封書(継紙)	1通		164
三六五七	書簡「御弔詞」	大正4年6月18日	松代いくより鍋島家扶宛	封書(折紙)	1通		165
三六五八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	馬渡俊猷より鍋島家家令宛	封書	1通	名刺在中	166
三六五九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	森野茂より鍋島子爵執事宛	封書	1通		167
三六六〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	小野正尊より鍋島子爵家扶宛	封書(継紙)	1通		168
三六六一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	下河邊操より鍋島家酒見今朝一宛	封書(継紙)	1通		169
三六六二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	吉田弟彦より永田佐二郎宛	封書(巻紙)	1通		170
三六六三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月18日	吉田佐五郎、穂積より鍋島家永田佐次郎宛	封書	1通		171
三六六四	書簡(直彬死去の弔詞、香典の件)	大正4年6月18日	松平直義家扶より鍋島家扶宛	封書	1通		172

三六六五	書簡(葡萄酒送付案内)	大正4年6月18日	徳島峰太郎より鍋島家御家扶宛	封書	1通	徳島薬鋪本店用箋	173
三六六六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日消印	沖縄青年会より鍋島執事宛	封賚(巻紙)	1通		174
三六六七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	石井康より鍋島家家扶宛	封賚(折紙)	1通		175
三六六八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	平和館津山チャより鍋島家執事宛	封賚(巻紙)	1通		176
三六六九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	東恩納寛涼より鍋島家内勝屋弘義宛	封賚(継紙)	1通		177
三六七〇	書簡(直彬死去のため香典送付)	大正4年6月19日	原信夫より鍋島家扶宛	封書	1通		178
三六七一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	松平家奥兵勤より鍋島家宛	封書	1通		179
三六七二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	米原豊より鍋島子爵家執事宛	封書	1通		180
三六七三	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	伊藤琢一より鍋島故子爵家御家令御家扶宛	封賚(継紙)	1通		181
三六七四	書簡(直彬死去の御悔状)	大正4年6月19日	梅崎弥惣より鍋島御邸御家扶宛	封書	1通		182
三六七五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	木藤駒次より鍋島家内庫所宛	封賚(折紙)	1通		183
三六七六	書簡(直彬死去のため香典送付)	大正4年6月19日	松尾孝一より鍋島直縄宛	封賚(継紙)	1通		184
三六七七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月19日	武井一郎より鍋島子爵家宛	封書	1通		185
三六七八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日消印	八谷亀二より子爵鍋島家扶宛	封書	1通		186
三六七九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	高田耕馬より鍋島家家扶宛	封書	1通		187

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三六八〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	相良頼武より鍋島家家扶宛	封書	1通		188
三六八一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	深川忠次より鍋島子爵邸執事宛	封書	1通		189
三六八二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	若松税関支署より鍋島家執事宛	封書(切紙)	1通		190
三六八三	書簡(直彬死去の哀悼)	大正4年6月21日消印	副島貞雄より家扶宛	葉書	1通		191
三六八四	書簡(直彬葬儀の件)	大正4年6月21日	井手又次郎より川原俊義宛	封書(継紙)	1通		192
三六八五	書簡(鶴子様喪中御機嫌伺い)	大正4年6月21日消印	松平家より鍋島家御家扶宛	封書	1通		193
三六八六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月21日	佐賀中学校矢代毅より鍋島家宛	封書(折紙)	1通		194
三六八七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月21日	草場吉より永田佐次郎宛	封書	1通		195
三六八八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月21日	並木幾弥より鍋島家家扶宛	封書	1通		196
三六八九	書簡(直彬死去のため香典送付)	大正4年6月21日	野並三種より鍋島家御家扶宛	封書(巻紙3)	1通		197
三六九〇	書簡(鹿島家からの菓子の礼状)	大正4年6月22日	田中勝七郎より中川御邸宛	封書	1通		198
三六九一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月22日消印	木村晋太郎より鍋島直縄宛	封書	1通		199
三六九二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月23日消印	鶴見虎太より鍋島家執事宛	封書	1通		200
三六九三	書簡(無断帰福の件)	大正4年6月24日	中溝博常より酒見今朝一宛	封書	1通		201

三九四	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月24日消印	谷口鉄太郎より永田佐次郎宛	封書(継紙)	1通	202
三九五	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月24日	納富八郎より永田佐次郎宛	封書(巻紙)	1通	203
三九六	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月24日	久保フジより鍋島子爵家宛	封書	1通	204
三九七	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月25日	栗本義乗より永田佐次郎宛	封書	1通	205
三九八	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月25日消印	宮本小一より鍋島直彬葬儀掛宛	封書	1通	206
三九九	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月28日	下郷伝平より鍋島直縄侍史宛	封書(折紙)	1通	207
三〇〇	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月20日	太田みねより鍋島家家扶宛	封書(一紙)	1通	208
三〇一	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月16日	南正枌より鍋島家内庫所宛	封書	1通	209
三〇二	書簡(直彬死去の弔詞)	大正4年6月17日	浦野筏より永田佐次郎宛	封書	1通	210
三〇三	書簡(東亜同文会特報第三号、三号)	昭和2年7月30日	木下忠信より永田佐次郎宛	封書	1通	211
三〇四	書簡(常子との約束の品送付の件)	(大正)4月30日	鍋島直虎家扶より鍋島直彬家扶宛	一紙	1通	212
三〇五	書簡(文部次官辞職の報告)	(大正)7月22日	小野正尊より鍋島子爵御家職宛	継紙	1通	213
三〇六	書簡(御馳走に対する礼)	(大正)8月30日	瀧吉弘より鍋島公下執事宛	継紙	1通	214
	5 大隈重信宛					
三〇七	願	大正4年10月	旧鹿島藩士臣総代永田佐次郎他4名より内閣総理大臣大隈重信宛	綴(罫紙)	1綴	1

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三七〇八	包紙「御先代様原忠順に関した る物」	明治	不詳	包紙	1通	杉箱入「直彬公御筆書翰入」とあり	2
三七〇九	(仮)旧鹿島藩大参事原忠順経歴	明治6年11月	鍋島直彬	書綴	1綴		2(1)
三七一〇	書簡(旧慣納税に関する件)	明治3年12月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	罫紙	1通		2(2)
三七一一	書簡(原忠順に地形状況を伺う)	(明治)10月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(3)
三七一二	書簡(原忠順の辞表提出の件)	(明治)5月2日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(4)
三七一三	書簡(吉原氏の後任に石丸氏)	(明治)8月18日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(5)
三七一四	書簡(新聞紙等に本県のことを掲載の件)	(明治)12月22日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(6)
三七一五	書簡(原忠順後任問題)	(明治)4月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(7)
三七一六	書簡(原忠順進退問題)	(明治)7月18日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(8)
三七一七	書簡(原忠順進退問題)	(明治)6月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	原の履歴書在中	2(9)
三七一八	書簡(原忠順の件)	(明治)6月11日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(10)
三七一九	書簡(原忠順任職1条)	明治	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(11)
三七二〇	書簡(原叙勲の件)	(明治)5月20日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(12)
三七二一	書簡(原忠順後任問題)	(明治)5月30日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(13)
三七二二	書簡(原の勧業寮への任職)	(明治)9月17日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(14)

三七三	書簡(原忠順諸業課勤務)	(明治)5月7日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(15)
三七四	書簡(原転任の問題)	(明治)7月19日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(16)
三七五	書簡(元老院議官に推挙の件)	(明治)9月12日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(17)
三七六	書簡(原忠順叙勲の件)	(明治)5月13日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(18)
三七七	書簡(原忠順叙勲の件)	(明治)10月18日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(19)
三七八	書簡(司法省御用掛へ請願)	(明治)3月24日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(20)
三七九	書簡(原忠順の件)	明治	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(21)
三八〇	書簡(直彬後任に原忠順)	(明治)5月5日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(22)
三八一	書簡(原忠順任職の件)	(明治)3月20日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(23)
三八二	書簡(原忠順任職の件)	(明治)5月15日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(24)
三八三	書簡(柳原元老院議長より原忠順推挙の件)	(明治)8月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(25)
三八四	書簡(池田に沖縄県少書記官任命)	(明治)7月28日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(26)
三八五	書簡(司法省御用掛任命)	(明治)3月29日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(27)
三八六	書簡(原の勧業寮への出仕の件)	(明治)5月26日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	2(28)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三七三七	(仮)原忠順履歴	明治	鍋島直彬	書綴	1綴	添書1通あり	2(29)
三七三八	書簡(原忠順の事の内願)	(明治)2月6日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(30)
三七三九	書簡(原忠順についての説明)	(明治)12月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(31)
三七四〇	書簡(原忠順の大蔵省への志願)	(明治)7月4日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(32)
三七四一	書簡(原忠順拝命1条)	(明治)3月28日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(33)
三七四二	書簡(直彬の後任に原忠順)	(明治)5月3日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(34)
三七四三	書簡(原忠順任職一件)	(明治)7月12日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(35)
三七四四	書簡(直彬の沖縄での職務の報告)	(明治)4月17日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(36)
三七四五	書簡(鹿島での近況報告)	(明治)11月19日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		2(37)
三七四六	包紙「御先代様人事関係御書翰」	明治	不詳	包紙	1通		3
三七四七	書簡(鹿島人永野静雄、士族授産の件)	(明治)3月15日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱」	3(1)
三七四八	書簡(病気挨拶状)	(明治)11月9日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「弐」	3(2)
三七四九	書簡(愛野一件)	(明治)4月26日	鍋島直彬より大隈賢兄宛	継紙	1通	ラベル「参」	3(3)
三七五〇	書簡(有田の平林より依頼の件)	(明治)9月9日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「四」	3(4)
三七五一	書簡(長仙石氏御面会の件)	(明治)2月21日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	一紙	1通	ラベル「五」	3(5)

三七三	書簡（発熱の件）	（明治）5月4日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「六」	3（6）
三七三	書簡（有田平林の件）	（明治）5月21日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「七」	3（7）
三七四	書簡（印刷局の雇日給金の件）	（明治）6月21日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「八」	3（8）
三七五	書簡（門馬氏の事に就て紹介）	（明治）1月18日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「九」	3（9）
三七六	書簡（改年祝、愛野拾五郎、アップランド産綿の件）	（明治）1月7日	鍋島直彬より大隈公宛	継紙	1通	ラベル「壱〇」	3（10）
三七七	書簡（愛野の件）	（明治）1月28日	鍋島直彬より大隈公宛	継紙	1通	ラベル「壱壱」	3（11）
三七八	書簡（海水浴で熱海に訪問の件）	（明治）8月7日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱弐」	3（12）
三七九	書簡（秀嶋、武富、江藤諸氏の件）	（明治）12月30日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱参」	3（13）
三七〇	書簡（鹿島壮年中田中馨治の推薦）	（明治）7月15日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱四」	3（14）
三七一	書簡（佐賀瓦斯会社創立、鍋島資高来訪の件）	（明治）3月18日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「壱五」	3（15）
三七二	書簡（鹿島人双方御召客を御仲裁の件）	（明治）1月5日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「壱六」	3（16）
三七三	書簡（明日出立の事、門馬の件）	（明治）6月13日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱七」	3（17）
三七四	書簡（参内の日時を知らせよ）	（明治）5月8日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「壱八」	3（18）
三七五	書簡（山崎喜太郎の推薦）	（明治）5月22日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「壱九」	3（19）
三七六	書簡（号外官報で大臣任命をみる）	（明治）2月初2	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「弐〇」	3（20）

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三七六七	書簡（秀島、門馬の件）	（明治）2月7日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「弐壱」	3（21）
三七六八	書簡（願事で会いたい事）	（明治）4月18日	鍋島直彬より大隈公宛	継紙	1通	ラベル「弐弐」	3（22）
三七六九	書簡（鍋島資高の推薦）	（明治）11月21日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「弐参」	3（23）
三七七〇	書簡（会いたき儀あり）	（明治）1月29日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「弐四」	3（24）
三七七一	書簡（鍋島熊太郎の推薦）	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「弐五」	3（25）
三七七二	書簡（門馬尚珪のこと）	（明治）2月4日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通	ラベル「弐六」	3（26）
三七七三	書簡（維新前の歴史談拝聴感慨）	（明治）12月13日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「弐七」	3（27）
三七七四	書簡（今般小倉に銀行設立出願）	（明治）3月28日	鍋島直彬より大隈賢兄宛	継紙	1通	ラベル「弐八」	3（28）
三七七五	書簡（半田生のことの依頼状）	（明治）8月1日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	ラベル「弐九」	3（29）
三七七六	書簡（国民読本、病気療養の件）	（明治）3月13日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	便箋	1通	ラベル「参〇」	3（30）
三七七七	書簡（大隈伯への願の件）	（明治）5月7日	尚謙より鍋島三位公宛	継紙 一紙	1通 1通		3（31）
三七七八	包紙「御先代様時局に関する御書翰」	明治	不詳	包紙	1通	杉箱入「直彬公御筆書翰入」とあり	4
三七七九	書簡（枢密院の件）	（明治）5月17日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4（1）
三七八〇	書簡（時局に関するもの）	（明治）12月29日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4（2）
三七八一	書簡（清国の形勢の件）	（明治）6月20日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4（3）

三七八二	書簡(朝鮮海に漁業のため出発)	(明治)5月3日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(4)
三七八三	書簡(礼状)	(明治)5月28日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(5)
三七八四	書簡(大隈の入閣について)	(明治)11月4日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(6)
三七八五	書簡(鉄道及び台湾移民計画の件)	(明治)7月21日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(7)
三七八六	書簡(日野資秀(柳原の弟)の特命)	(明治)11月23日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(8)
三七八七	書簡(九鉄会社線路の件)	(明治)7月24日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(9)
三七八八	書簡(病気のため養生)	(明治)12月3日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(10)
三七八九	書簡(佐賀県知事突然更任の件)	明治	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(11)
三七九〇	書簡(内外の形勢について)	(明治)11月14日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(12)
三七九一	書簡(国会開設の準備)	(明治)7月10日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(13)
三七九二	書簡(国家及び地方の情況について拝聴)	(明治)12月4日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(14)
三七九三	書簡(宣戦の原因は朝鮮にあり)	(明治)10月19日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(15)
三七九四	書簡(韓帝に韓国将来の大方針を与えよ)	(明治)1月31日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(16)
三七九五	書簡(伊藤侯の決断の件)	(明治)6月28日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(17)
三七九六	書簡(高千穂艦帰航の件)	(明治)2月26日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(18)
三七九七	書簡(内閣総辞職の件)	(明治)7月11日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(19)
三七九八	書簡(二八議会開会前に総辞職)	(明治)7月3日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(20)
三七九九	書簡(起案揃の件)	(明治)8月26日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(21)
三八〇〇	書簡(宮内省の精神作用の一新)	(明治)5月17日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(22)
三八〇一	書簡(大隈別邸の累焼の件)	(明治)1月16日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通	4(23)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八〇二	書簡(万国海事会議派出の件)	(明治)7月27日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(24)
三八〇三	書簡(明治四年度の政府予算について)	(明治)7月21日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(25)
三八〇四	書簡(日本海会戦の講話について)	(明治)7月20日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(26)
三八〇五	書簡(直映の前途及び永田町史談会の件)	(明治)7月21日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(27)
三八〇六	書簡(大隈大臣の政治姿勢)	(明治)2月14日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(28)
三八〇七	書簡(宮内大臣岩倉へ提出した建議書の件)	明治43年1月10日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(29)
三八〇八	書簡(東亜同文会へ入会の件)	(明治)1月15日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(30)
三八〇九	書簡(天機伺のため上京の件)	(明治)6月25日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(31)
三八一〇	書簡(天機伺として上京の件)	(明治)8月19日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(32)
三八一一	書簡(清国駐在公使の生死及び直縄の件)	(明治)7月16日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(33)
三八一二	書簡(宮内省の病根の件)	(明治)12月6日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(34)
三八一三	書簡(終局後の最悪務について)	(明治)4月21日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(35)
三八一四	書簡(政府自由派について)	(明治)12月29日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(36)
三八一五	書簡(松方内閣の組織の件)	明治	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(37)
三八一六	書簡(祖先の祭典の件)	(明治)4月16日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(38)
三八一七	書簡(陛下の功臣優遇に対する意見)	(明治)4月3日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(39)
三八一八	書簡(時局について)	(明治)4月2日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		4(40)
三八一九	書簡(宮内省の革改について)	(明治)3月12日	鍋島直彬より大隈宛	罫紙	1枚		4(41)

三八二〇	包紙「御先代様時局に関したる御書翰」	明治	不詳	継紙	1通	杉箱入「直彬公御筆書翰入」とあり	5
三八二一	書簡(三箇の大綱を別紙に録す)	(明治)12月8日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通	三八二一～三八四四同一包紙	5(1)
三八二二	書簡(支那に関する欧米列国の運動)	(明治)3月28日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(2)
三八二三	書簡(対支那要求の件)	(明治)5月13日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(3)
三八二四	書簡(朝鮮事件、総選挙の件)	(明治)7月21日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(4)
三八二五	書簡(内閣に入り尽力さるべき事)	(明治)1月10日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(5)
三八二六	書簡(九州鉄道武雄よりの支線布設の件)	(明治)10月8日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(6)
三八二七	書簡(祐徳馬車鉄道会社設立につき出資)	(明治)8月2日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(7)
三八二八	書簡(郷里の人物養成の件)	(明治)4月13日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(8)
三八二九	書簡(庶民生活が此上困難に陥る)	明治	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(9)
三八三〇	書簡(土方伯と面談し尊兄へ伝言)	(明治)1月17日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(10)
三八三一	書簡(伊藤伯より大日本帝国憲法に関する演説の件)	(明治)2月16日	鍋島直彬より大隈大兄宛	巻紙	1通		5(11)
三八三二	書簡(福岡県知事へ推す相談あるも断る)	(明治)2月12日	鍋島直彬より大隈大兄宛	巻紙	1通		5(12)
三八三三	換舌(皇室に対する宮内省のあり方について)	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	書綴	1綴		5(13)
三八三四	恭賦一律	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	罫紙	6枚		5(14)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八三五	法案草稿(立憲君主国たる宮廷の基礎を確立)	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	罫紙	3枚		5(15)
三八三六	夢物語一節(幕末より現在に至るまでの懐述)	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	罫紙	7枚		5(16)
三八三七	換舌内啓熱誠録	明治	鍋島直彬より大隈大兄宛	書綴	1綴		5(17)
三八三八	内申(参議院設置の内議)	(明治)4月7日	鍋島直彬より大隈大兄宛	罫紙	1枚		5(18)
三八三九	書簡(懸案一件について問合わせ)	(明治)3月初9	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(19)
三八四〇	書簡(朝野相敵視する情態を脱却すべし)	(明治)1月20日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(20)
三八四一	書簡(根本的改革について)	(明治)3月26日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(21)
三八四二	書簡(佐賀県知事更任の件)	(明治)4月8日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(22)
三八四三	書簡(議会開会、閉会時の情勢)	(明治)3月12日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(23)
三八四四	書簡(22日出発帰県の件)	(明治)4月20日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(24)
三八四五	書簡(下賜金寄付にて窮民救済の件)	(明治)2月1日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(25)
三八四六	書簡(華族について)	(明治)9月16日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(26)
三八四七	書簡(藤津郡人民願の件)	(明治)8月27日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(27)
三八四八	書簡(皇室、宮内省について)	(明治)11月23日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(28)

三八四九	書簡(長より薩との連合を固くせん)	(明治)2月24日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(29)
三八五〇	書簡(皇室について)	(明治)10月5日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(30)
三八五一	書簡(日朝新協約成立の事)	(明治)9月21日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(31)
三八五二	書簡(高等商業学校の紛擾の件)	(明治)5月31日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(32)
三八五三	書簡(目下御国家大事の時について)	(明治)3月30日	鍋島直彬より大隈大兄宛	継紙	1通		5(33)
三八五四	書簡(伊藤公上京の件)	(明治)3月11日	鍋島直彬より大隈仁兄宛	継紙	1通		5(34)
三八五五	包紙「御先代様御私事御書翰」	明治・大正	不詳	包紙	1通	杉箱入「直彬公御筆書翰入」とあり	6
三八五六	書簡(上京の件)	明治	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		6(1)
三八五七	書簡(御演説の報告)	(明治)4月14日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		6(2)
三八五八	書簡(帰京報告)	(明治)7月12日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		6(3)
三八五九	書簡(鍋島直縄養子の件)	(明治)12月24日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		6(4)
三八六〇	書簡(鍋島直縄前途の事)	(明治)2月7日	鍋島直彬より大隈宛	継紙	1通		6(5)
三八六一	書簡(老母病気の件)	(明治)3月7日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(6)
三八六二	書簡(鍋島直縄の件)	(明治)9月13日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(7)
三八六三	書簡(政府の改革着手の件)	(明治)5月11日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(8)
三八六四	書簡(直大公の面目一新)	(明治)1月13日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(9)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八六五	書簡(閑叟公臨時祭典の挙行)	(明治)4月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(10)
三八六六	書簡(鍋島家の臨時祭典の件)	(明治)4月6日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(11)
三八六七	書簡(貴族院出席の件)	(明治)4月11日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(12)
三八六八	書簡(直彬家事情内申)	(明治)12月3日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(13)
三八六九	書簡(原忠順の元老院議官候補について)	(明治)2月3日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(14)
三八七〇	書簡(毛利男爵方へ御使の件)	(明治)12月10日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(15)
三八七一	書簡(直縄洋行前結婚の件)	(明治)12月23日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(16)
三八七二	書簡(直縄夫妻在鹿中の件)	(明治)5月31日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(17)
三八七三	書簡(貴族院の公務勉強の件)	(明治)2月9日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(18)
三八七四	書簡(伊藤侯と面話の件)	(明治)1月5日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(19)
三八七五	書簡(学校会社その他御巡覧の件)	(明治)3月4日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(20)
三八七六	書簡(直大の件)	(明治)2月26日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(21)
三八七七	書簡(佐賀有力者の発起による朝鮮協会の件)	(明治)6月23日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(22)
三八七八	書簡(侯爵家の韓国経営の件)	(明治)3月17日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(23)

三八九	書簡（議会散会の件）	（明治）3月4日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（24）
三八〇	書簡（鹿島より上京の件）	（明治）12月31日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（25）
三八一	書簡（伊藤公爵の暗殺について）	（明治）10月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（26）
三八二	書簡（御下県中の模様について）	（明治）3月13日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（27）
三八三	書簡（鍋島忠三同件の件）	（明治）11月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（28）
三八四	書簡（伊藤侯家史談話会の件）	（明治）12月26日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（29）
三八五	書簡（韓国の事業経営について）	（明治）1月22日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（30）
三八六	書簡（直彬が人力車より転落）	（明治）11月19日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（31）
三八七	書簡（直縄のドイツ留学について）	（明治）10月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（32）
三八八	書簡（インフレについて）	（明治）3月5日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（33）
三八九	書簡（直縄結婚の御媒酌について）	（明治）12月1日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（34）
三九〇	書簡（直縄の件）	（明治）3月31日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（35）
三九一	書簡（直映前途の件）	（明治）7月24日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（36）
三九二	書簡（直縄の配偶について）	（明治）12月8日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通	毛利秀子の妹政子	6（37）
三九三	書簡（直縄府立第一中学入学の件）	（明治）4月8日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（38）

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三八九四	書簡(議会閉会後の件)	(明治)3月28日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(39)
三八九五	書簡(鍋島家の近況)	(明治)7月19日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(40)
三八九六	書簡(永田先生への依頼の件)	(明治)12月20日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(41)
三八九七	書簡(直縄がドイツ留学から帰国)	(明治)1月7日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(42)
三八九八	書簡(大隈氏病気の見舞の件)	(明治)7月30日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(43)
三八九九	書簡(邸地売却一件)	(明治)2月25日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(44)
三九〇〇	書簡(久米氏の文稿について)	(明治)2月2日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(45)
三九〇一	書簡(地方自治体重大の法案について)	(明治)11月27日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(46)
三九〇二	書簡(新邸増築模様替の件)	(明治)8月20日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(47)
三九〇三	書簡(地方の教育、殖産上の件)	(明治)4月11日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(48)
三九〇四	書簡(直彬の順天堂入院)	(明治)2月5日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(49)
三九〇五	書簡(直縄の妻政子の出産)	(明治)5月22日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(50)
三九〇六	書簡(直縄留学の近況報告)	(明治)11月30日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(51)
三九〇七	書簡(一家相続人改めの件)	(明治)7月13日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6(52)

三九〇八	書簡（披露会の礼状）	（明治）4月14日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（53）
三九〇九	書簡（直彬家の近況報告）	（明治）6月19日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（54）
三九一〇	書簡（地方農民の近況報告）	（明治）9月22日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（55）
三九一一	書簡（佐賀の青年会組織について）	（明治）4月12日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（56）
三九一二	書簡（直彬の近況報告）	（明治）3月8日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（57）
三九一三	書簡（家児の結婚について）	（明治）9月2日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（58）
三九一四	書簡（直縄外国留学より帰国の件）	（明治）12月24日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（59）
三九一五	書簡（学校の近況報告）	（明治）8月6日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（60）
三九一六	書簡（直映の伊藤統監との渡韓）	（明治）2月3日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（61）
三九一七	書簡（家児の結婚について）	（明治）3月3日	鍋島直彬より大隈先生宛	継紙	1通		6（62）
三九一八	書簡（易子、常子の近況）	（明治）8月29日	鍋島直彬より大隈先生宛	一紙	1通		7
	6　雑						
三九一九	書簡（明治4年石高減少の件）	明治4年	不詳	一紙	1通		1
三九二〇	書簡（村高帳并出納米高について）	明治5年正月	元鹿島県より伊万里県宛	一紙	1通		2
三九二一	東京懸合案詞	明治6年1月より	不詳	書冊	1冊		3

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三九二二	東京縣合案詞	明治8年8月より	不詳	書冊	1冊		4
三九二三	書簡(斉藤氏病気の件)	明治12年10月24日	大原政成より内田叔母宛	封書	1通	封筒は内田清九郎宛	5
三九二四	書簡(晩餐会招待)	明治13年4月17日	鍋島直彬より長与専斎他4名宛	一紙	1通		6
三九二五	書簡(沖縄県警察官吏募集につき採用希望)	明治13年8月4日	渡王覚太郎より沖縄県令原忠順宛	封書	1通		7
三九二六	書簡(経済の基礎を如何にすべきか解答せよ)	明治36年9月19日	直彬より宛名不詳	封書	1通		8
三九二七	書簡(封筒のみ)	明治36年11月24日消印	不詳	封書	1通	「鹿島銀行より借入金之消印証在中」とあり	9
三九二八	書簡(東京の近況報告)	大正11年	ヒサコよりサダチヤマ宛	絵葉書	1通	平和記念東京博覧会	10
三九二九	書簡(旅行の件)	明治40年4月5日	大紹□亀崖より竹陽先生宛	便箋	2枚		11
三九三〇	書簡(佐賀古賀銀行より送金の件)	(明治)4月8日	山崎より松尾他2名宛	封書(罫紙4)	1通		12
三九三一	書簡(毛利氏よりお願いの御筆)	(明治)6月29日	勝屋より垂田、犬塚宛	1紙	1通		13
三九三二	書簡(茂彬父子の分離の件)	(明治)1月13日	鍋島直彬より大場大兄宛	継紙	1通		14
三九三三	書簡(奉公男女の件)	(明治)4月23日	臣楚一より宛名不詳	券紙	1通		15
三九三四	書簡(病気見舞、近況報告)	(明治)5月4日	不詳	継紙	1通		16
三九三五	書簡(近況報告)	(明治)6月9日	不詳	継紙	1通		17
三九三六	書簡(鍋島老子爵大病平癒祈願)	(明治)6月10日消印	宮崎報介より渡部宥心宛	葉書	1通		18

三九三七	書簡（予算表提出、博愛社加入の件）	（明治）6月14日	北御門敬一より不詳	罫紙	2枚	包紙あり	19
三九三八	書簡（諒三郎、賢雄兄弟の訪問の礼）	（明治）8月22日	不詳	継紙	1通		20
三九三九	書簡（家事改正につき北島敬一の件）	（明治）9月23日	従五位より永野宛	封書	1通		21
三九四〇	書簡（柳岡様七十三の祝）	（明治）9月30日	山口登より不詳	継紙	1通		22
三九四一	送記（山口房吉の下県使にて送る品物の目録）	（明治）10月5日	東京より山口愛宛	一紙	1通		23
三九四三	書簡（華族会館への出頭を促す）	（明治）10月12日	不詳	罫紙	1枚	「華族会館」罫紙	24
三九四三	太政官通達（華族各々奮発勉励事）	明治4年10月	太政官より不詳	継紙	1通		25
三九四四	書簡（原大参事大事件のこと）	（明治）11月2日	直彬より永野、渡辺宛	封書	1通	包紙あり	26
三九四五	書簡（三円三〇銭は返済の件）	（明治）11月12日	永田町様家従より芝栄町家扶宛	継紙	1通		27
三九四六	書簡（大事件の経過をたずねる）	（明治）12月23日	従五位より恪一、砺輔宛	継紙（絵入）	1通	包紙あり	28
三九四七	御請（原忠順の依頼書）	（明治）12月31日	山口登より不詳	一紙	2通		29
三九四八	書簡（原大参事公明賞典事）	（明治）冬26日	（直）彬より（永野）恪一、（渡辺）宛	封書	1通		30
三九四九	書簡（旅路の報告）	（明治）臘月旬8	直彬より（原）砺輔、（永野）恪一宛	封書	1通	包紙あり	31
三九五〇	書簡（私信）	明治	不詳	一紙	1通		32
三九五一	（仮）書状案（金銭取立の催促）	明治	不詳	堅紙	1通		33
三九五二	書簡（式順の付立）	明治	不詳	罫紙	1枚	濱尋常高等小学校罫紙	34

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三九五三	書簡(宮内省主催の会合の覚)	明治	不詳	封書(野紙2)	1通		35
三九五四	(仮)書簡合綴	明治	山崎登、山口より山崎宛	綴	1綴		36
三九五五	案詞(桑苗一件の件)	明治	不詳	書綴	1綴		37
三九五六	案詞(御仕立の荷物の件)	明治	不詳	書綴	1綴		38
三九五七	書簡(柴棍以下各地の状況)	明治	不詳	封書	1通		39
三九五八	書簡(関清英氏の談話承る)	明治	不詳	継紙	1通		40
三九五九	覚(水戸好文亭登人橋本虎蔵の事)	明治	不詳	巻紙	2通		41
三九六〇	書簡(御礼并易子殿保養の事)	明治	不詳	巻紙	1通		42
三九六一	書簡(祇園寺の心越禅師の件)	明治	不詳	巻紙	1通		43
三九六二	書簡(亜細亜崇交の件)	明治	不詳	継紙	1通		44
三九六三	書簡(私言)	明治	不詳	巻紙	1通		45
三九六四	書簡(中屋店の質受金の件)	明治	不詳	継紙	1通		46
三九六五	書簡(写真の説明)	明治	不詳	一紙	1通		47
三九六六	(仮)伊藤宛の書簡と檄文	明治	不詳	綴	1綴	書状と檄文の合綴	48
三九六七	書簡(藩債支弁の件)	明治	不詳	継紙(2)	1通		49
三九六八	書簡(包紙のみ)	明治	知事より原大参事、永野権大参事宛	紙	1通		50
三九六九	K家						
	I 辞令・褒状・賞勲						
	辞令(一ケ月一四〇円下賜)	明治11年12月24日	宮内省より従五位鍋島直彬宛	一紙	1通		1(1)

三九七〇	辞令(御用掛被免)	明治12年4月5日	宮内省より鍋島直彬宛	一紙	1通	1(2)
三九七一	辞令(文学御用掛仰付)	明治11年12月24日	宮内省より鍋島直彬宛	一紙	1通	1(3)
三九七二	辞令(宮内省御用掛仰付)	明治11年12月24日	宮内省より鍋島直彬宛	一紙	1通	1(4)
三九七三	辞令(当省御用掛兼務)	明治12年3月13日	内務省より宮内省文学御用掛鍋島直彬宛	一紙	1通	1(5)
三九七四	辞令(兼任判事)	明治12年4月	太政官より沖縄県令鍋島直彬宛	一紙	1通	1(6)
三九七五	辞令(当省御用掛兼務)	明治12年3月29日	司法省より宮内省御用掛鍋島直彬宛	一紙	1通	1(7)
三九七六	辞令(大和国京都へ行幸供奉)	明治9年10月29日	宮内省より侍従鍋島直彬宛	一紙	1通	1(8)
三九七七	辞令(臨時取調局長)	明治12年3月15日	内務省より鍋島直彬宛	一紙	1通	2(1)
三九七八	辞令(法制局出仕)	明治9年10月18日	宮内省より侍従鍋島直彬宛	一紙	1通	2(2)
三九七九	辞令(大日本実行会特別会員)	明治33年3月3日	大日本実行会副会頭黒田清綱、会頭久我建道より鍋島直彬宛	一紙	1通	2(3)
三九八〇	勅書(写)	明治17年7月7日	不詳	一紙	1通	2(4)
三九八一	表彰(水害のための寄附)	明治23年10月4日	賞勲局総裁柳原前光より鍋島直彬宛	一紙	1通	2(5)
三九八二	賞賜	明治15年12月25日	太政官より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり 3
三九八三	賞辞(鹿児島逆徒征討の際寄附)	明治16年4月5日	太政官より元老院議官鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり 4
三九八四	奉勅(華族令)	明治17年7月7日	宮内省伊藤博文より華族一般宛	書綴	1綴	5
三九八五	辞令(高等法院予備裁判官)	明治18年1月27日	太政官より元老院議官子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり 6(1)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
三九八六	達(参官されたし)	明治18年1月26日	太政大臣三條実美より元老院議官子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	封筒あり	6(2)
三九八七	賞賜(小学校建設に寄附)	明治18年12月24日	賞勲局総裁柳原前光、副総裁大給恒より鍋島直彬宛	一紙	1通	同一包紙	7(1)
三九八八	賞辞(鹿児島逆待征討の際寄附)	明治16年2月24日	太政官より鍋島直彬宛	一紙	1通		7(2)
三九八九	辞令(任議官)	明治14年5月16日	太政官三条実美より沖縄県令兼判事鍋島直彬宛	一紙	1通		8
三九九〇	位記(叙位四位)	明治19年11月16日	内閣總理大臣伊藤博文より従四位子爵鍋島直彬宛	一紙	1通		9(1)
三九九一	達(礼服着用参閣あるべし)	明治19年11月17日	内閣書記官より元老院議官子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	封筒あり	9(2)
三九九二	箱「諸御辞令書」	明治	不詳	木箱	1箱		10(1)
三九九三	辞令(帝室制度取調委員)	明治21年5月31日	宮内省より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	10(2)
三九九四	辞令(三等官年俸三〇〇〇円)	明治18年3月2日	太政官より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	10(3)
三九九五	賞賜(東京府学校資金に寄附)	明治13年7月31日	太政官より沖縄県令兼判事正五位鍋島直彬宛	一紙	1通	同一包紙	10(4)(1)
三九九六	達(直彬代理として参官)	明治13年7月29日	内閣書記官より正五位鍋島直彬令扶宛	封書(一紙)	1通		10(4)(2)
三九九七	通達(華族席順乙第五号)	明治17年7月15日	宮内卿伊藤博文より従四位子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	封筒あり	10(5)
三九九八	辞令(年俸三〇〇〇円)	明治14年5月18日	太政官より議官鍋島直彬宛	一紙	1通	同一包紙	10(6)(1)
三九九九	達(礼服着用の上参官されたし)	明治14年5月17日	内閣書記官より沖縄縣令鍋島直彬宛	封書(一紙)	1通		10(6)(2)
四〇〇〇	書簡(封筒のみ)	明治	宮内省より鍋島直彬宛	封書	1通		10(6)(3)

四〇〇一	辞令(出張仰付)	明治14年5月21日	太政官より議官鍋嶋直彬宛	一紙	1通	封筒あり	10(7X1)
四〇〇二	副状	明治14年5月21日	内閣書記官より鍋島直彬宛	罫紙	1枚		10(7X2)
四〇〇三	位記(叙正五位)	明治13年5月18日	太政大臣三條實美より従五位鍋島直彬宛	一紙	1通	同一包紙	10(8X1)
四〇〇四	辞令(位一紙被進)	明治13年5月18日	太政官より鍋島直彬宛	一紙	1通		10(8X2)
四〇〇五	達(礼服着用の上呼出)	明治13年5月17日	内閣書記官より鍋島直彬宛	封賚(一紙)	1通		10(8X3)
四〇〇六	達(礼服着用の上参閣)	明治21年6月15日	内閣書記官より鍋島直彬宛	封賚(一紙)	1通		10(9)
四〇〇七	認許(病気のため鎌倉へ転地療養許可)	明治21年7月27日	内閣総理大臣より鍋島直彬宛	一紙	1通		10(10X1)
四〇〇八	副状	明治21年7月28日	元老院第1課より鍋島議官宛	一紙	1通		10(10X2)
四〇〇九	位記(叙従三位)	明治21年9月27日	宮内大臣土方久元より子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	10(11)
四〇一〇	賞賜(佐賀県庁建築費、東京芝区悪疫予防費寄附)	明治20年12月13日	賞勲局総裁柳原前光より鍋島直彬宛	一紙	2通	封筒あり	10(12)
四〇一一	達(礼服着用の上出張あるべし)	明治21年9月28日	爵位局より子爵鍋島直彬宛	封賚(一紙)	1通	封筒あり	10(13)
四〇一二	表彰(東京西久保の罹災者へ寄附)	明治20年6月18日	賞勲局總裁柳原前光より鍋島直彬宛	一紙	1通		10(14X1)
四〇一三	副状	明治20年6月18日	賞勲局より鍋島直彬宛	罫紙	1枚	内閣罫紙	10(14X2)
四〇一四	位記(叙正四位)	明治14年7月20日	太政大臣三條實美より鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	10(15)
四〇一五	辞令(叙勅任官一等)	明治21年6月15日	内閣総理大臣黒田清隆より議官正四位勲三等子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	包紙あり	11

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四〇一六	表彰(長崎県警察署建築費のため寄附)	明治23年7月3日	賞勲局総裁柳原前光より鍋島直彬宛	封書	1通		12
四〇一七	辞令(錦鶏間祗)	明治23年10月20日	宮内省より鍋島直彬宛	一紙	1通		13
四〇一八	表彰(在職中格別勉励のため)	明治23年10月21日	内閣より元老院議官鍋島直彬宛	一紙	1通		14
四〇一九	表彰(東京火災のため寄附)	明治23年12月15日	賞勲局総裁柳原前光より鍋島直彬宛	封書	1通		15
四〇二〇	表彰(佐賀治安裁判所高津原出張)	明治24年10月26日	西園寺公望より鍋島直彬宛	封書	1通		16
四〇二一	表彰(水害のため寄附)	明治24年10月27日	西園寺公望より鍋島直彬宛	封書	1通		17
四〇二二	表彰(水害のため寄附)	明治26年3月24日	西園寺公望より鍋島直彬宛	一紙	1通		18
四〇二三	箱「紹龍公へ贈賜の位記及び辞令家宝之直彬謹記」	明治	不詳	木箱	1箱		19
四〇二四	辞令(第5号、6号事件評議委員)	明治33年2月13日	宮内省より子爵鍋島直彬宛	一紙	1通	四〇二四～四〇二二同一箱	20
四〇二五	位記(任三等侍補)	明治10年8月29日	太政大臣三條實美より侍従第五位宛	一紙	1通		21
四〇二六	御掛守「祐徳稲荷神社開運御守護」	明治	祐徳稲荷神社	紙	1枚	包紙あり	22
四〇二七	開運御守「祐徳稲荷神社」	明治	祐徳稲荷神社	紙	3枚		23
四〇二八	(仮)対独逸国宣戦布告(写)	明治	不詳	継紙	1通		24
四〇二九	位記	明治44年11月15日	宮内大臣渡辺千秋より故従五位下鍋島直朝宛	一紙	1通	同一包紙 包紙に墨書あり	25(1)
四〇三〇	辞令	明治44年11月15日	宮内省より故従五位下鍋島直朝宛	一紙	1通		25(2)

四〇三一	副状(位記辞令交付)	明治44年11月20日	宗秩寮総裁侯爵久我通久より子爵鍋島直彬宛	野紙	1枚	(宮内省)	25(3)
四〇三二	餞言(華族ニ賜ハリタル勅語)	明治44年9月	鍋島直彬	継紙	1通	同一杉箱入	26(1)
四〇三三	留守中要件(直彬上京中の注意事項)	明治36年11月	鍋島直彬	継紙	1通	「直彬公御筆書翰入」	26(2)
四〇三四	留守中諸件(直彬上京中の注意事項)	明治	鍋島直彬ヵ	継紙	1通		26(3)
四〇三五	書簡(松陰神社大祭、山林原野整理の件)	明治39年11月12日	鍋島直彬より宛名不詳	継紙	1通		26(4)
四〇三六	家政整理に付ての諮問の件及諸般微密に協議を要する大綱	明治39年5月2日	鍋島直彬	継紙	1通		26(5)
四〇三七	国体ノ根本ヲ明ニシ国教ノ益ニ敦厚ナラムコトヲ翼フノ微識	明治	鍋島直彬ヵ	継紙	1通		26(6)
四〇三八	(仮)家職の諸件	明治40年4月17日	鍋島直彬	継紙	1通		26(7)
四〇三九	家職中ニ示ス	明治43年4月	鍋島直彬	継紙	1通		26(8)
四〇四〇	(仮)陸軍特別大演習盛典祝詞案文	明治44年	鍋島直彬ヵ	継紙	2通		26(9)
四〇四一	辞搨任書とその返事	(明治)6月17日	鍋島直彬より華族会館長伊達宗成宛	書綴	1綴		27
四〇四二	己巳庚午二ケ年褒賞録	明治	鍋島直彬ヵ	書冊	1冊		28
四〇四三	包紙「金千円」	明治	不詳	包紙	1通		29
四〇四四	包紙「宣旨」	明治	不詳	包紙	1通		30
四〇四五	蘇軾表忠観碑帖(拓本)	明治	網錦堂珍賞	折本	2冊	桐箱入	31
四〇四六	(仮)出殿心得	明治	式部寮	切紙	1通		32

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
	2 雑						
四〇四七	篤誠院様御七十御年賀御到来物控帳	明治元年9月15日	鍋島	長帳	1冊		1
四〇四八	(仮)什器類目録	明治7年	鍋島	書綴	1綴	表紙欠	2
四〇四九	淳光院様御残物御茶器入記	明治10年4月	鍋島	書冊	1冊		3
四〇五〇	柳岡様御道具帳	明治12年11月	鍋島	書冊	1冊		4
四〇五一	正流院様 祐徳院様御法事御仕組帳 泰国院様	明治37年2月25日	中川内庫所	長帳	1冊		5
四〇五二	祭典方心得	明治	鍋島	長帳	1冊		6
四〇五三	御茶器控	明治	鍋島	書冊	1冊		7
四〇五四	留守中(注意書)	明治	鍋島	一紙	1通	後欠	8
四〇五五	(仮)戒名一覧	明治	鍋島	巻子装	1巻		9
四〇五六	(仮)御本家法名	明治	鍋島	一紙	1通		10
	L 家職(中川屋)関係						
四〇五七	店方入拂目安	明治5年～6年	中川屋	書冊	15冊	表紙破損	1
四〇五八	中川屋商方仕組概算	明治6年10月	中川屋	書綴	1綴		2
四〇五九	第六月中金入掛目安	明治6年	中川屋	書冊	1冊		3

四〇六〇	中川屋金入拂目安	明治7年12月	中川屋	書冊	1冊	合綴	4(1)
四〇六一	金入拂目安他	明治7年	中川屋	書冊	1冊		4(2)
四〇六二	中川店月目安帳	明治8年1月より	中川店	書冊	1冊		5
四〇六三	店金仮出	明治9年	中川店	書冊	1冊		6
四〇六四	記(請取請文)	明治10年10月27日	江頭市右衛門より中川御掛宛	一紙	1通		7
四〇六五	明治九年子地形、御賄方、米、中川店目安地	明治10年	中川店	書冊	1冊		8
四〇六六	中川日記	明治11年8月	中川	書冊	1冊		9
四〇六七	日記	明治13年1月より	中川	書冊	1冊		10
四〇六八	中川日記	明治13年10月10日	中川	書冊	1冊		11
四〇六九	米出入	明治18年12月	中川	書冊	1冊		12
四〇七〇	明治一九年一月出納日計簿	明治19年1月	中川屋	書冊	1冊		13
四〇七一	証(地券証印税の領収)	明治19年7月4日	戸長	一紙	1通		14
四〇七二	薬種買入根据帳	明治20年1月	養寿軒	書冊	1冊		15
四〇七三	中川日記	明治20年1月より	中川	書冊	1冊		16
四〇七四	借用記	明治20年10月11日	中川屋より鹿島銀行宛	罫紙	1枚	四〇七四～四一〇三同一包紙包紙に「店ニ関スル書類」とあり	17(1)
四〇七五	借用記	明治18年11月7日	中川屋より成々社宛	罫紙	1枚		17(2)
四〇七六	借用記	明治19年5月13日	中川屋より成々社宛	罫紙	1枚		17(3)
四〇七七	借用記	明治19年10月5日	中川屋よた成々社宛	罫紙	1枚		17(4)
四〇七八	書簡(立合勘定の件)	明治21年	田代、川原より中川商店石丸万吉宛	封書	1通		17(5)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四〇七九	借用記	明治19年4月23日	中川屋より成々社宛	罫紙	1枚		17(6)
四〇八〇	借用記	明治20年11月17日	中川屋手代中島、小笠原より鹿島銀行宛	罫紙	1枚		17(7)
四〇八一	記(借金高)	明治	小笠原吉太郎	罫紙	1枚		17(8)
四〇八二	譲渡証	明治	熊谷弥三	罫紙	1枚		17(9)
四〇八三	記(創業費)	明治	小笠原吉太郎	切紙	1通		17(10)
四〇八四	地所売渡証	明治17年10月20日	貞松伊惣次より不詳	罫紙	1枚		17(11)
四〇八五	地所売渡証	明治17年10月18日	辻常蔵より貞松伊惣次宛	罫紙	1枚		17(12)
四〇八六	地所売渡証	明治13年	酒見スカより山口登宛	罫紙	1枚		17(13)
四〇八七	所得納税地届	明治21年6月	不詳	罫紙	1枚		17(14)
四〇八八	記(金銭書上)	明治	□良八より養寿軒宛	切紙	1通		17(15)
四〇八九	店品一式売渡約定証	明治	不詳	罫紙	1枚		17(16)
四〇九〇	所得(山口分)	明治	不詳	罫紙	1枚		17(17)
四〇九一	(仮)藩城之建議	明治3年	本多膳所藩知事より弁官宛	罫紙	4枚		17(18)
四〇九二	書簡(当所予算見込書)	明治	不詳	封書(罫紙4)	1通		17(19)
四〇九三	(仮)金銭書上	明治25年	不詳	継紙	1通		17(20)
四〇九四	(仮)借用金書上	明治	不詳	継紙	1通		17(21)
四〇九五	(仮)銀行借高	明治	不詳	継紙	1通		17(22)
四〇九六	(仮)商品代銀書上	明治	不詳	継紙	1通		17(23)
四〇九七	袋「店ニ関スル書類」	明治	中川屋カ	袋	1通		17(24)

四〇九八	地所家屋貸渡証	明治	中川屋カ	罫紙	1枚		17(25)
四〇九九	(仮)台所方節倹之方法	明治	中川屋カ	罫紙	1枚		17(26)
四一〇〇	(仮)金銭負高書上	明治	中川屋カ	折紙	1通		17(27)
四一〇一	(仮)金銭書上	明治	中川屋カ	継紙	2通		17(28)
四一〇二	(仮)金銭書上	明治	中川屋カ	継紙	3通		17(29)
四一〇三	明治廿年薬種相場目安	明治20年	中川屋カ	書綴(罫紙)	1綴		18(1)
四一〇四	内庫行	明治	中川屋	罫紙	1枚		18(2)
四一〇五	質物現在調帳	明治21年5月17日	中川質場	書綴(罫紙)	1綴		18(3)
四一〇六	有品有金扣ェ	明治	中川屋カ	書綴	1綴		18(4)
四一〇七	度量衡目安	明治21年4月	中川屋	書綴	1綴		18(5)
四一〇八	中川屋目安地	明治20年3月9日〜明治21年4月12日	中川屋	書綴(罫紙)	1綴		18(6)
四一〇九	質方入拂	明治	中川質場カ	書綴	1綴		18(7)
四一一〇	中川屋目安	明治20年3月9日〜明治21年4月12日	中川屋	書綴	1綴		18(8)
四一一一	薬種棚揚目安表	明治20年	中川屋	書冊	1冊	四一一〜四一三は合綴包紙に「店ニ関スル書類」とあり	19(1)
四一一二	薬種棚揚目安表	明治20年	中川屋	書冊	1冊		19(2)
四一一三	質金入払表	明治20年〜21年	中川屋	書冊	1冊		19(3)
四一一四	中川屋凡見積	明治20年3月	中川屋	書冊	1冊		19(4)
四一一五	中川屋目安	明治20年〜21年	中川屋	書冊	1冊		19(5)

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号	
四二六	中川屋目安(棚揚)	明治17年	中川屋	書冊	1冊		19(6)	
四二七	薬種目安表(棚揚)	明治20年	中川屋カ	書冊	1冊		19(7)	
四二八	記(借用)	明治20年	中川屋カ	書綴	1綴		19(8)	
四二九	薬種目安(棚揚)	明治18年	中川屋	書冊	1冊		19(9)	
四三〇	中川屋目安(棚揚)	明治18年	中川屋	書冊	1冊		19(10)	
四三一	養寿軒支店棚揚目安表	明治20年	熊谷弥三、小笠原吉太郎	紙	1通		19(11)	
四三二	養寿軒支店	明治20年	熊谷弥三	紙	1通		19(12)	
四三三	(仮)金銭書上	明治19年	中川屋カ	書綴	1綴		19(13)	
四三四	中川店金仮出納簿	明治21年10月29日より	中川店	書冊	1冊		20	
四三五	諸精算書(中川)	明治21年	中川屋カ	書冊	1冊		21	
四三六	支出仕訳簿	明治22年1月より	中川屋	書冊	1冊		22	
四三七	明治廿二年出納簿	明治22年1月より	中川屋	書冊	1冊		23	
四三八	明治廿二年多良金仮出入簿	明治22年7月より	中川屋	書冊	1冊		24	
四三九	仮出納簿	明治22年9月より	中川屋	書冊	1冊		25	
四三〇	御通帳	明治22年10月28日	中川商店	小横帳	1冊		26	
四三一	米入払帳	明治22年12月より	中川屋	書冊	1冊		27	
四三二	支出仕訳簿	明治23年1月より	中川屋	書冊(罫紙)	1冊		28	
四三三	金銭出納簿	明治23年1月より	中川屋	書冊	1冊		29	
四三四	米入払帳	明治23年12月より	中川屋	書冊	1冊		30	
四三五	金銭出納簿	明治24年1月より	中川屋	書冊	1冊		31	

四三六	旧中川店金出納帳	明治24年1月より	中川屋	書冊	1冊	四三六～四四は合綴「号外」とあり	32(1)
四三七	祐徳神社金銭出納簿	明治26年4月改め	中川屋	書冊	1冊	「五号」	32(2)
四三八	善明寺金銭簿	明治26年4月改め	中川屋	書冊	1冊	「七号」	32(3)
四三九	泰智寺金銭簿	明治26年4月改め	中川屋	書冊	1冊	「八号」	32(4)
四四〇	借り入金明細簿	明治26年4月改め	中川屋	書冊	1冊	「二十三号」	32(5)
四四一	中川積立根据帳	明治26年4月改め	中川屋	書冊	1冊	「二十号」	32(6)
四四二	貸附金明細簿	明治26年4月調査	中川屋	書冊	1冊	「二十六号」	32(7)
四四三	松蔭社金収支簿	明治28年1月～12月	中川屋	書冊	1冊	「六号」	32(8)
四四四	仮収支簿	明治28年6月改め	中川屋	書冊	1冊		32(9)
四四五	予算実費差引月計算	明治24年4月より	中川屋	書冊	1冊		33
四四六	日計残金差引簿(賄、消耗)	明治24年4月より	中川屋	書冊	1冊		34
四四七	米入払帳	明治24年12月より	中川屋	書冊	1冊		35
四四八	出納簿	明治25年4月～明治26年3月	中川屋	書冊	1冊		36
四四九	小作米収納簿	明治25年	中川屋	書冊	1冊		37
四五〇	米出納簿	明治25年度	中川屋	書冊	1冊		38
四五一	現金収支日計簿	明治26年4月より	中川屋	書冊	1冊		39
四五二	出納簿(2号)	明治26年4月より	中川屋	書冊	1冊		40
四五三	米出納簿	明治26年度	中川屋	書冊	1冊		41
四五四	仮収支簿(11号)	明治27年4月改め	中川屋	書冊	1冊		42
四五五	旧鹿島銀行株券明細	明治27年9月7日	中川屋	書冊	1冊		43
四五六	御手許帳	明治27年9月より	中川屋	書冊	1冊		44

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四一七	出納簿	明治27年～28年	中川	書冊	1冊	「中川」罫紙	45
四一八	仮受金出納簿	明治28年5月	中川出納係	書冊	1冊	20年3月分一紙あり	46
四一九	現金出納簿	明治28年6月	中川	書冊	1冊		47
四二〇	現金仮出簿	明治28年6月	中川	書冊	1冊		48
四二一	明治三十三年度諸計算書	明治33年9月	中川	書冊	1冊		49
四二二	記	(明治)8月29日	中川	一紙	1通		50
四二三	講帳	明治	中川	書冊	1冊		51
四二四	御仕与資本金	明治	中川屋	書綴	1綴		52
四二五	薬種賣溜金入拂日計簿	明治(15年～21年)	中川屋ヵ	書冊	1冊		53
四二六	中屋概計目安	明治	中川屋ヵ	書冊	1冊		54
四二七	店品一式売渡約定証(草案)	明治	中川屋ヵ	罫紙	1枚		55
四二八	記	明治	イマリ判屋より養寿軒御鋪宛	一紙	1通		56
四二九	目安記	明治	店新三より	書綴	1綴		57
	M 日記						
四二〇	日記	明治元年4月8日～7月	並木軍太夫	書冊	1冊	後欠	1
四二一	御側方日記	明治元年8月より	御用人原右礪輔、御側頭田中彦太、板部信助、勝屋九門	書冊	1冊		2
四二二	日記	明治元年	並木軍太夫	書冊	1冊		3

四一七五	御日記	明治2年正月～9月	立原源之允、井原五兵衛	書冊	1冊
四一七六	日記	明治2年正月～11月9日	並木軍太夫	書冊	1冊
四一七七	瓶井樋一条始末日記	明治2年5月	御境目方	長帳	1冊
四一七八	御側方日記	明治2年8月～明治12年2月	古川済、山口登	書冊	1冊
四一七九	日記	明治3年正月より	経界方	書冊	1冊
四一八〇	御側日記	明治3年4月～6月	立川済、山口登、其外丈子	書冊	1冊
四一八一	日記	明治3年6月より	疆域方	書冊	1冊
四一八二	御側日記	明治3年7月～9月	立川清、山口登、北御門敬一、犬塚勝一、山崎捷一、愛野趙一	書冊	1冊
四一八三	御側方日記	明治3年10月～閏10月	立川済他	書冊	1冊
四一八四	御側方日記	明治3年11月～12月	清水敬一、立川済、北御門敬一、犬塚瞭一、山崎捷一、愛野趙一	書冊	1冊
四一八五	疆域方日記	明治4年正月～5月23日	犬塚少属、福地史生	書冊	1冊
四一八六	御茶方日記	明治4年4月	庵厨	小横帳	1冊
四一八七	上茶掛改日記	明治4年4月23日	不詳	小横帳	1冊
四一八八	日記	明治4年8月より	内庫方	書冊	1冊
四一八九	明治四辛未内庫方日記	明治4年8月～12月	不詳	書冊	1冊
四一九〇	御側日記	明治5年2月4日より	犬塚瞭一、愛野趙一	書冊	1冊

4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15(1)	
15(2)	
16	
17	
18	

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四一八九	日記	明治17年	不詳	書冊	1冊		19
四一九〇	日記簿	明治23年1月改め	役所	書冊	1冊		20
四一九一	懐中日記	大正11年9月5日	積善館発行	手帳	1冊	一九三年度使用	21(1)
四一九二	手帳	大正	不詳	手帳	1冊	皇室典規及整理考案	21(2)
四一九三	御側方日記	(明治初年)1月～3月	立川済、山口登他4名	書冊	1冊		22
	N 写真・地図						
四一九四	八重山島石垣港図 第三号	明治6年4月	(製図)海軍水路寮出仕 高橋惟熙(刻鐫)打田霞山	色刷	1舗		1
四一九五	琉球国運天港之図 第八号	明治6年5月	(製図)海軍水路寮出仕 高橋惟熙(刻)井田道寿	色刷	1舗		2
四一九六	八重山全島図	明治6年5月	(製図)海軍水路寮出仕 高橋惟熙(刻鐫)西川増之助	色刷	1舗		3
四一九七	琉球群島西部慶良間海峡図	明治6年5月	(製図)海軍水路寮出仕 狩野応信(刻)井田道寿	色刷	1舗		4
四一九八	大琉球那覇港之図 第一九号	明治6年	(製図)海軍水路寮出仕 狩野応信(刻)松田竜山	色刷	1舗		5
四一九九	鹿島略図	明治33年3月30日提出	不詳	紙(墨、朱、ペン書)	2舗	1枚は透写図	6
四二〇〇	明治四十四年特別大演習地図	明治44年10月5日発行	陸地測量部(著作権所有印刷兼発行者)	印刷	1舗	5万分の1、筑後中心	7

四〇一	浄土山字長谷附近図	明治	不詳	鉛筆	2舗		8
四〇二	岩屋長谷附近図	明治	不詳	紙本著色	1舗		9
四〇三	植林之図	明治	不詳	紙本著色	1舗		10
四〇四	植林之図	明治	不詳	紙本著色	1舗		11
四〇五	写真(貴重なる写真)	明治	不詳	写真	9枚		12(1)
四〇六	写真(生後1年)	大正5年12月24日	不詳	写真帖	1帖		12(2)
四〇七	写真(女性と犬)	大正カ	不詳	着色写真	1枚		12(3)
	○ 雑						
四〇八	雑	近代	不詳	紙	1括		1
四〇九	明治四辛未歳諸願伺届並新聞諸説	明治4年	不詳	書冊	1冊	彦根藩より刑部省宛伺など	2
四一〇	新聞	明治4年	鍋島藩	書冊	1冊	表紙に「御藩行」とあり	3
四一一	履歴書	明治9年	鹿児島県士族田尻賢信	書綴	1綴		4
四一二	同族類別引分願	明治11年11月	第二部華族鍋島直大、督部長岩倉具視	綴	1綴	華族類別録編輯事	5
四一三	中央新聞(号外)	明治45年7月24日	中央新聞社	新聞紙	1部	「御経過益御佳良」	6
四一四	新聞	明治	中央新聞社	書冊	1冊	願書、檄など	7
四一五	新聞社説	明治	各新聞社	書冊	1冊	「西郷氏論」他	8
四一六	諸伺並藩制其外新聞	明治	不詳	書冊	1冊	和歌山藩より弁官宛願書など	9

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	備考	内番号
四三七	履歴(小川洋作、近藤衛、中村俊也)	明治	福川	罫紙	1枚	「沖縄県」罫紙	10
四三八	「作文」中川	明治以降	鍋島直紹	一紙(ペン書)	1通	尋常4年	11
四三九	名刺	明治・大正	星野忠平・橋本七良・小野武市郎・百々貞賀・原田守造・石井忠純・土井通博など16名	名刺	16枚		12
四三〇	書簡(直彬死去の弔詞)	(大正)4年6月17日消印	歩兵第壹連隊山崎直衛より鍋島宛	封書	1通		13
四三一	献立	大正9年4月22日	鍋島家	一紙	1通	晩餐献立	14
四三二	新聞社説	大正	各新聞社	書冊	1冊	西郷氏論など	15
四三三	証(学校収入内訳表)	明治15年	鹿島中学校校長山口竹一郎より長崎県令内海忠勝宛	書綴	1綴		17
四三四	(仮)学校案内	明治15年ヵ	鹿島中学校	書冊	1冊		18
四三五	地所売渡証	明治16年2月3日	御尉より山口、熊谷宛	書綴	1綴		19
四三六	(仮)家中申渡覚	明治	鍋島家ヵ	一紙	1通	後欠	20
四三七	書簡(近況報告)	(昭和)11月27日	太田松子より鍋島政子宛	封書	1通	政子は太田松子の母	21

二　鍋島氏関係資料

〈資料内訳〉

古文……三九件　八点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
	1　家譜						
一	山本神右衛門覚書　全	(原)万治元年 (写)明治時代	山本神右衛門 (写)不詳	写本 書冊	1冊	26×18	慶長19年から明暦2年の覚書
二	御壁書類　全	(原)元禄16年以降 (写)嘉永7年12月	不詳	写本 書冊	1冊	25×18	直茂公御壁書・勝茂公御壁書(寛永14年3月15日)光茂公出戌5月12日)網茂公出陣御仕組(元禄12年9月26日)
三	水上山萬寿禅寺神子和尚年譜 水上山略記入合巻	(原)享保19年 (写)江戸時代	(原)享菴宗一元編 (写)不詳	写本 書冊	1冊	26×18	
四	直茂公譜考補一～一〇　附録一	(原)天保年6月	不詳	書冊	13冊(揃)	25×18	「御記録并諸家、伝記ヲ以テ本書ノ異同ヲ考補ス」とあり
五	直茂公譜巻ノ一ヨリ同三迄	江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	天文7年から天正10年の譜
六	直茂公三徳譜　全(一～一〇)	江戸時代	不詳	写本 書冊	9冊(揃)	25×17	
七	直茂公譜(一、二、七、八、九、一〇)	江戸時代	不詳	写本 書冊	6冊(揃)	26×19	「直茂公三徳譜」と同じ内容
八	藤龍家譜　一、二、三、四	江戸時代	不詳	写本 書冊	4冊(揃)	26×18	龍造寺家譜
九	直茂公御壁書　勝茂公より忠直公江之御書付　勝茂公ヨリ光茂公江之御書付	江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	「直茂公御壁書三条詮一罪元禄五年寛永八年極月三日付忠直宛勝茂覚」

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
	2 系図						加州様御咄九ケ條信州様御聞書 「10月三日付書付」
一〇	龍造寺系図	江戸時代	不詳	写本 書綴	1冊	27×19	裏文書あり
一一	龍造寺系図・藤原姓鍋島系図	江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	27×20	前欠
一二	直茂公御系図	江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	
	3 聞書						
一三(1)	直茂公御物語・深堀茂宅聞書 全	(原)慶長13年12月 (写)江戸時代	(原)御年譜考補方 (写)不詳	写本 書冊	1冊	26×18	序奥付あり。延宝8年に写したものの写で「此一巻曽所家蔵也今新写以私附三巻之後云恩一均識」とあり
一三(2)	直茂公御物語・深堀茂宅聞書 全	(原)慶長13年12月(写)江戸時代	(原)御年譜考補方 (写)不詳	写本 書冊	1冊	26×18	上同。但し「御什物方」の判がない。
一四	茂宅聞書	(原)慶長13年 (写)嘉永3年	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	「嘉永三年松本三郎兵衛所蔵写之 二冊之内」とあり。
一五	御話聞書	(原)宝永3年カ (写)嘉永7年5月	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	枝吉経種所蔵写
一六	御代々聞書	(原)享保11年 (写)江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	
一七	私記	安政2年3月	不詳	小横帳	1冊	13×19	
一八	私記	寛政2年6月15日	不詳	小横帳	1冊	14×19	

一九	相良宗蔵之話	江戸時代	不詳	写本	1冊	25×18	天正から慶応年間の諸事物語
二〇	直茂公御物語全(芝田宗春聞書)	江戸時代	(原)芝田宗春(写)不詳	写本	1冊	28×19	巻頭目録(目次)あり
二一	御家聞書　天・地	江戸時代	不詳	写本	2冊	26×18	直茂公御物語ヲ聞書
二二	常朝聞書	江戸時代	不詳	写本 小横帳	1冊	13×19	
二三	直茂公御咄聞書	江戸時代	不詳	写本	1冊	26×18	
二四	草野永元聞書　全	江戸時代	不詳	写本	1冊	25×18	
二五	御当家聞書　全	江戸時代	(原)草野太郎兵衛永元(聞書)(写)不詳	写本 小横帳	1冊	13×19	鍋島御代々御明言聞書
	4　軍記						
二六	眼流嶋敵討	(原)文政10年ヵ(写)不詳	(原)森口清市郎(写)不詳	写本	1冊	27×19	
二七	昔聞集(肥前舊記)	(原)不詳(写)安政3年6月	不詳	写本	5冊(揃)	26×18	享禄3年から慶長3年の戦記。「此書御上什物方御蔵書ニ候を拝借写之」とあり
二八	天草軍記大全	江戸時代	不詳	写本	10冊	24×15	巻之一～巻之三　島原の乱
二九	龍譜肥前舊記　全	(原)江戸時代(写)明治時代	不詳	写本	1冊	26×18	
	5　倫理						
三〇	愚見集	(原)宝永5年(写)寛延4年	(原)旭山常朝(写)野田嘉吉	写本	1冊	26×18	山本吉三郎宛

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
三	葉隠 第一、二、三、四、五、六、七、八、九	(原)享保元年 (写)江戸時代	(原)山本常朝述 田代陳基記	写本 書冊	7冊	27×18	但し「第六、七」は重複
三	葉隠考補 第七、八、九、一〇、二	(原)享保元年 (写)江戸時代	(原)山本常朝述 田代陳基記	写本 書冊	2冊	27×19	表紙書「校合済」「本七、八」とあり
三	葉隠聞書校補 序	江戸時代	不詳	書冊	1冊	25×18	
	6 雑						
三	月下乃記(仮称)	(原)宝永7年9月 (写)江戸時代	(原)武富咸亮 (写)不詳	写本 書冊	1冊	27×19	人名録
三	御手寄手扣	(原)寛保3年 ヨリ(写)江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	13×19	
三	水江事略 巻第四、五、六、七、八、二	江戸時代	不詳	写本 書冊	3冊	25×18	
三	御連枝録完	江戸時代	(原)執行 (写)不詳	写本 書冊	1冊	27×18	
三	透運筆語抜書	江戸時代	不詳	写本 書冊	1冊	26×18	
三	佐賀修善会演(仮称)	(原)大正12年7月10日	不詳	書綴	1冊	24×16	

三　福岡藩関係資料

〈資料内訳〉

古文書……一〇件　三点

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
一	高野流明利陰・同大分明書・同大分明書	正保3年5月20日	高野安長・高野安房（宛）神吉八太輔		1冊	6×20	秘伝書
二	明暦三丁酉歳肥前国大村領切支丹露顕ニ付御出馬御手当之御達右同断御備図ニ相見候之御人数高右道断御備図与ニ記有之候人数高	明暦期	不詳	横帳	1冊	34×12	「明暦三年酉二月肥前国大村切支丹発起之節御家中割方人数付永代御定御陣法之事」「光之公御出馬御手当」
三	（仮）福岡大坂海路行程	享4年卯11月11日	不詳	小横綴	1冊	9×18	「従福岡至大坂筑前橋凡百六拾五里船ノ泊不註進旦載之」
四	正徳之比御扶持方割并御舟之覚書	正徳期	不詳	袖珍本	1冊	8×18	
五	（仮）黒田家系図・什宝・故実・他備志	寛政2年頃カ	不詳	袖珍本	1冊	19×8	楠田家系図・事蹟・宝物・国中方々道筋山々直高為立・嶋々ノ間数等
六	京都諸日誌初編	文久3年亥6月	藤正格	袖珍本	1冊	18×8	6月18日から12月28日までの日誌
七	砲術秘書	江戸	不詳	小横帳	1冊	12×17	文化期ぐらいまでの砲術秘伝・覚・指出・杉七兵衛宛起証文写等
八	道中心得控	江戸（後期カ）	不詳	小横帳	1冊	8×17	参勤交代の道中心得、挨拶・差出の見本等
九	黒田家御外戚伝	江戸	不詳	横綴	10枚	12×33	職隆〜宣政・長邦　外戚の由緒
一〇	（仮）黒田家系図	江戸	不詳	横綴	1綴13枚	12×23	黒田三家・宗氏〜斉隆・長舒・長寛の系図

四　都築家資料

〈資料内訳〉

古文書……七件　七点

番号	名称	時代	作者	質・形状	員数	法量	備考
一	黒田長政知行宛行状	慶長9年9月21日	(宛)都築十兵衛	切紙	1通	18×49	宗像郡田嶋村内三三〇石の宛行
二	黒田高政知行宛行状	寛永元年7月12日	(宛)都築十兵衛	切紙	1通	18×49	鞍手郡下堺村三三〇石の宛行
三	黒田高政知行宛行状	寛永5年3月18日	(宛)都築九十郎	切紙	1通	15×46	鞍手郡下堺村一〇〇石の宛行
四	黒田継高知行宛行状	宝暦6年9月13日	(宛)都築源大夫	切紙	1通	19×48	那珂郡五十川村、志摩郡泊村等都合三〇石の宛行
五	黒田斎隆知行宛行状	寛政5年11月晦日	(宛)都築源大夫	切紙	1通	21×49	那珂郡五十川村三〇石の宛行
六	書状(道具の請取につき)	正月12日	(宛)都築十兵衛	竪切紙	1通	9×35	黒田長政使用の黒田如水ローマ字朱印か
七	書状(女房罷りのぼる件)	11月10日	(差出)黒田如水(宛)都築十兵衛	切紙	1通	23×36	

Ⅱ　その他の購入資料

一　絵　画

八〇件　八〇点

一　絹本着色弘法大師像　一幅

品質・形状　絹本着色　掛幅装

法　量　竪　一一五・四

横　五〇・四

銘文等　（色紙形墨書）

「我者過薩埵親悉傳印明

發無比誓願陪遍地異域」

時　代　鎌倉時代

作　者　不詳

備　考　大師像の上下には高野山の堂宇、塔を配した景観を描く。

二　楓図　一幅

品質・形状　絹本着色　掛幅装

法　量　竪　九七・八

横　三〇・一

銘文等　（落款・印章）

「呉竹之廻礼類里尓籠□□煙ニ

満志類山之黄葉　相近　」

時　代　江戸時代

作　者　二川相近

絵本・錦絵類

番号	名称	員数	品質・形状	法量（縦×横）	時代	作者	収蔵No.	
一	鳥獣略画式	一冊	木版色摺	二六・三×一八・〇	寛政九年八月	鍬形蕙斎	Ⅱ 114	
二	長崎港入船図	一枚	木版色摺	二六・〇×一九・九	江戸時代	文錦堂板	Ⅰ 176	

番号	名称	員数	品質・形状	法量（縦×横）	時代	作者	収蔵No.
三	天草一揆新狂言忠婦磯浪心願成就鍋島直澄出陣之図	一枚（三紙）	木版色摺	三三・七×二四・五（一紙）	明治九年一〇月三〇日・届	豊原国周・筆	I 141
四	鹿児島記聞　川尻本営図	一枚（三紙）	木版色摺	三六・八×五四・二	明治一〇年四月一九日・届	山崎年信・画	I 144
五	花岡山の本陣	一枚	木版色摺	三六・六×五二・八	明治一〇年四月二五日・届	永嶋孟当・画	I 145
六	征討御会議之図	一枚	木版色摺	五四・九×五二・八	明治一〇年六月二〇日・届	楊周斎周延・画	I 149
七	鹿児島軍記　御舟激戦之図	一枚（三紙）	木版色摺	三六・四×五二・八	明治一〇年七月二五日・届	楊周斎周延・筆	I 143
八	西国鎮撫諸将賜天盃之図	一枚	木版色摺	三六・四×五二・八	明治一〇年七月二五日・届	楊周斎周延・画	I 146
九	鹿児島間道ヨリ連絡ヲ通ズ大戦	一枚	木版色摺	三六・四×五二・一	明治一〇年七月三〇日	応斎年信・画	I 148
一〇	有名十八史略「桐野利秋」	一枚	木版色摺	三七・六×二四・二	明治一〇年一〇月一二日・届	雪斎年基・絵	I 151
一一	有名十八史略「村田晋八」	一枚	木版色摺	三七・一×二三・四	明治一〇年一〇月一二日・届	雪斎年基・絵	I 152
一二	城山最期之決戦	一枚	木版色摺	三七・〇×五二・〇	明治一〇年一〇月・届	年信・画	I 147
一三	鹿児島平定寿語録	一幅	木版　掛幅装	六八・五×五二・五	明治一〇年一二月九日・届	月岡米治郎・画	I 153
一四	官軍城山を政破（仮）	一枚（三紙）	木版色摺	三六・八×五二・一	明治一〇年一二月二五日・届	松斎年雪・筆	I 142
一五	鹿児島明暗録	一枚	木版色摺	三六・〇×二三・〇	明治一一年八月二四日・届	大蘇芳年・画	I 154
一六	朝鮮人暴徒ノ図	一枚（三紙）	木版色摺	三六・九×五二・七	明治一五年八月・届	楊洲周延・筆	I 155

一七	太閤記九州合戦	三枚一組	木版色摺	(右)三七・二×二五・二 (中)三七・三×二五・二 (左)三七・二×二五・二	明治一七年届	永嶋孟斉・画 山村紘治郎・画工兼出版人	II 89
一八	太宰府神社相輪樘図	一枚	木版	二五・八×一七・一	明治二二年一月	相輪樘世話人	II 90
一九	日清戦争図	一帖(一四面)	木版色摺 折本	二四・〇×二四・一(表紙)	明治二七年八月一日・出版	経茂、楊洲周延	I 156
二〇	府画帖(一篇、二篇、三篇)	一帖(三紙)	木版色摺 折本	二三・四×一五・九	明治三〇年一一月一五日発行	山田直三郎	I 157
二一	西南夢物語(中村雀登)	一枚	木版色摺	二六・二×一九・二	明治時代	芳龍・画	I 158
二二	西南夢物語(実川延芳)	一枚	木版色摺	二五・八×一八・六	明治時代	芳龍・画	I 159
二三	西南夢物語(嵐瑞笑)	一枚	木版色摺	二六・六×一八・九	明治時代	芳龍・画	I 160
二四	西南夢物語(嵐瑞寛)	一枚	木版色摺	二五・五×一九・〇	明治時代	芳龍・画	I 161
二五	西南夢物語(尾上多賀之丞)	一枚	木版色摺	二五・八×一九・二	明治時代	芳龍・画	I 162
二六	薩肥戦争記(寛川延若)	一枚	木版色摺	二五・四×一八・五	明治時代	貞信・画	I 163
二七	西南夢物語(中村省右衛門)	一枚	木版色摺	二五・二×一八・六	明治時代	貞信・画 八尾板	I 164
二八	薩肥戦争記(嵐瑞寛)	一枚	木版色摺	二五・八×一八・七	明治時代	貞信・画	I 165
二九	薩肥戦争記(嵐瑞寛)	一枚	木版色摺	二五・八×一八・七	明治時代	貞信・画	I 166
三〇	西南夢物語(嵐瑞寛)	一枚	木版色摺	二六・〇×一九・〇	明治時代	芳龍・画	I 167
三一	薩肥戦争記(中村瀧省)	一枚	木版色摺	二五・三×一九・〇	明治時代	貞信・画	I 168
三二	薩肥戦争記(中村瀧省)	一枚	木版色摺	二五・四×一八・七	明治時代	貞信・画	I 169
三三	西南夢物語(嵐瑞笑)	一枚	木版色摺	二五・四×一八・六	明治時代	芳龍・画	I 170
三四	西南夢物語(中村瀧省)	一枚	木版色摺	二五・八×一八・六	明治時代	笹木芳龍	I 171
三五	西郷腹中之図	一枚	木版色摺	五一・〇×三七・七	明治時代	不詳	I 173

番号	名称	員数	品質・形状	法量（縦×横）	時代	作者	収蔵No.
三六	有名十八史略「西郷吉之助隆盛」	一枚	木版色摺	三七・一×三三・四	明治時代	雪斎年基・絵	I 150
三七	大日本物産図絵「筑前国博多織之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 73
三八	大日本物産図絵「対馬国海鼠製之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 74
三九	大日本物産図絵「対馬国海鼠取之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 75
四〇	大日本物産図絵「筑前国鮪漁之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 76
四一	大日本物産図絵「肥前伊万里陶器造図二」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 77
四二	大日本物産図絵「肥前伊万里陶器造図一」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 78
四三	大日本物産図絵「日向国樟脳製之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 79
四四	大日本物産図絵「壱岐国鯨漁之図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 80
四五	大日本物産図絵「壱岐国神楽桟にて引揚図」	一枚	木版色摺	一七・五×二四・一	明治時代	広重・筆　安藤徳兵衛・画工　大倉孫兵衛・出版人	II 81
四六	日本地誌略図「長門国赤間ケ関」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II 82

四八	日本地誌略図「対馬国浅茅の浦」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II	83
四九	日本地誌略図「筑後国筑後川屏風山景」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II	84
四九	日本地誌略図「壱岐国郷之浦」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II	85
五〇	日本地誌略図「筑前国箱崎之図」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II	86
五一	日本地誌略図「薩摩国鹿児島之図」	一枚	木版色摺	一八・六×二四・九	明治時代	広重・画	II	87
五二	日本地誌略図「肥前国長崎港」	一枚	木版色摺	一七・八×二三・一	明治時代	広重・画	II	88
五三	太平記三十六番相撲「第廿一番　井上五郎兵衛　第廿二番　母里多兵衛」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 91
五四	太平記三十六番相撲「行司十時　伝古衛門　毛谷村大助統治」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 92
五五	太平記三十六番相撲「第十三番　吉弘嘉兵衛　第十四番　桑名弥次兵衛」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 93
五六	太平記三十六番相撲「第三十五番　花園才治　第三十六番　木村又蔵」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 94
五七	太平記三十六番相撲「第三十一番　澤重作　第三十二番　塙直行」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 95
五八	太平記三十六番相撲「第十一番　山崎長門　第十二番　松田金十郎」	一枚	木版色摺	二五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾	一蕙斉	II 96

番号	名称	員数	品質・形状	法量（縦×横）	時代	作者	収蔵No.
五九	太平記三十六番相撲「第十七番　稲次右近　第十八番　堀監物」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 97
六〇	太平記三十六番相撲「第三十三番　木造左衛門佐　第三十四番　天野源右衛門」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 98
六一	太平記三十六番相撲「第廿七番　穐山五兵衛　第廿八番　可兒才蔵」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞数）芳幾　一蕙斉	II 99
六二	太平記三十六番相撲「第廿五番　荒木頼母　第廿六番　中川淵之助」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞数）芳幾　一蕙斉	II 100
六三	太平記三十六番相撲「第三番　渡辺勘兵衛　第四番小西隼人」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 101
六四	太平記三十六番相撲「湯浅五助　蒲生　備中」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 102
六五	太平記三十六番相撲「第廿九番　岡団八　第三十番　荒尾但馬」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 103
六六	太平記三十六番相撲「新侶武蔵守唯氏　蒲生　宰相氏郷」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 104
六七	太平記三十六番相撲「第十五番　桂市兵衛　第十六番　上田主水」	一枚	木版色摺	三五・〇×三七・〇	明治時代	山々亭人・記（朝霞楼）芳幾　一蕙斉	II 105
六八	競勢辟虎伝「天草四郎」	一枚	木版色摺	三六・〇×二四・三	明治時代	転々堂主人・記　芳年・画　土橋政田屋・板	II 106
六九	しん板馬づくし	一枚	木版色摺	三七・二×二三・六	明治時代	栗園堂板	II 107

七〇	十八番　風市	一枚	木版色摺	三四・六×三五・四	明治時代	信翁・筆　博多川口町岩田製版・版	Ⅱ 108
七一	博多小蝶	一枚	木版色摺	三六・〇×二四・五	明治時代	一勇斉国芳・画　立亭京楽・作者	Ⅱ 109
七二	一流曲独楽　博多蝶之助	一枚	木版色摺	三三・七×二四・六	明治時代	朝桜楼国芳・画　立亭京楽・作者	Ⅱ 110
七三	徳川家十六善神肖像図	一枚（三紙）	木版色摺	（右）三七・〇×二三・五 （中）三七・〇×二三・五 （左）三七・〇×二三・四	明治時代	永嶋孟斎・画　辻文板・版	Ⅱ 111
七四	府県名所図会「長崎県」	一枚	木版色摺	三三・八×一八・一	明治時代	広重・画　水の慶次郎・出版人	Ⅱ 112
七五	長崎丸山之光景	一枚（三紙）	木版色摺	（右）七五×二一・五 （中）七五×二一・五 （左）七五×二一・五	明治時代	春暁亭国盛・画	Ⅱ 113
七六	JAPANESE WOOD-BLOCK PRINTS	一枚（十二紙）	木版色摺	一七・八×三三・一	一九世紀	Osaka Land Trasportation Bureau	Ⅰ 172
七七	異人さん	一枚	木版色摺	三〇・七×二一・八	昭和時代	青柳喜兵衛	Ⅰ 174
七八	オッポ姉さん	一枚	木版色摺	三一・五×三三・五	昭和時代	青柳喜兵衛	Ⅰ 175

二　書跡

九件　一〇点

一　書「稹に斯干幽と南山〻……」　一幅

品質・形状　紙本墨書　掛幅装
法　量　竪　一二九・七
　　横　二七・三
時　代　文久四年（一八六四）
作　者　上野廓廐谷

二　五言詩屏風　六曲一双

品質・形状　紙本墨書　屏風装　同寸の紙を各扇に貼る
法　量　（一紙）
　　竪　一三五・九
　　横　五七・〇
銘文等　（落款・印章）
　　各隻の第六扇本紙
　　「空石山人」「龜井　「元
　　昱印」　鳳」
　　（白文方印）（朱文方印）
時　代　江戸時代
作　者　亀井昭陽

三　十三行書　一幅

品質・形状　紙本墨書　掛幅装
法　量　竪　一三九・二
　　横　四一・七
銘文等　（落款・印章）
　　「相近」
時　代　江戸時代
作　者　二川相近

四　書「夏歌百首」　一幅

品質・形状　紙本墨書　掛幅装
法　量　竪　一〇〇・五
　　横　五四・五
銘文等　（落款・印章）
　　「二川　「幸印
　　眛（ママ）近」　晉」
　　（白文方印）（朱文方印）
時　代　江戸時代
作　者　二川相近

五　書「藤原宮之役民作題」　一幅

品質・形状　紙本墨書　掛幅装
法　量　竪　四四・三
　　横　五八・六
銘文等　（落款・印章）
　　「源相近書」
時　代　江戸時代
作　者　二川相近

六　書「顕勇右隊」　一幅
品質・形状　紙本墨書　掛幅装
法　量　竪　九三・三
横　三九・〇
時　代　明治時代
作　者　黒田長知カ

七　書「仙竈」　一幅
品質・形状　紙本墨拓　掛幅装
法　量　竪　一五一・五
横　八二・七
時　代　近代
作　者　原本・仙厓　（版本Ⅰ―三九）

八　書「孝子正助伝」　一幅
品質・形状　紙本木版　掛幅装
法　量　竪　一二四・七
横　五〇・五
時　代　明治時代
作　者　原画・衣笠守是
撰・井土周磐　（版本Ⅰ―四〇）

九　前賢遺墨精華集　一巻
品質・形状　紙本印刷　巻子装
法　量　竪　二一・八
時　代　明治時代
作　者　金子堅太郎　（版本Ⅰ―四一）

三　工芸品

二五件　二五点

一　剣　一口
銘　「築州住人宗源作
應永十二年二月九日」
品質・形状　両鎬造　鍛えは柾目肌　刃文は直刃　茎は生ぶで
目釘穴は二
法　量　長　二三・三
反　〇・〇
銘文等　（陰刻銘文）
表「築州住人宗源作」
裏「應永十二年二月九日」
時　代　応永一二年（一四〇五）
作　者　宗源

二　十三仏版木　一枚
品質・形状　桜材　輪郭は陽刻　面貌や衣文線は陰刻
法　量　竪　四一・〇
横　二四・二
厚　二・七
銘文等　（版木側面陰刻銘文）
「明和七年寅六月二十七日筑前茶人梅香作」
時　代　明和七年（一七七〇）
作　者　筑前茶人梅香

三　六仙人図染付書鎮　　一口

品質・形状　白磁染付　木の葉形

法　量　竪　一二・五（最大）

　　横　六・五（最大）

銘文等　（裏面染付銘文）

「秋圃」（花押）

時　代　江戸時代

作　者　斎藤秋圃

更紗資料

〈資料内訳〉

インド更紗……九件　九点

タイ更紗……一件　一点

和更紗……三件　三点

計　三件　三点

番号	名称	時代	製作地	品質	法量（タテ×ヨコ）	備考	資料No.
一	白地草花模様手描きインド更紗カーテン	一八世紀	インド	木綿	四〇九・〇×一五三・〇		1
二	花格子模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	三二九・〇×八七・〇		3－6
三	藍地花模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	二九〇・〇×八五・〇		3－7
四	草花額模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	二六七・〇×八八・〇	オランダ東インド会社マーク（VOC）入	3－2

五	花丸模様インド金更紗	一八世紀	インド	木綿	二四六・〇×一〇六・〇			4
六	菱形つなぎ花模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	二四二・〇×一〇五・〇	オランダ東インド会社マーク(VOC)入	3－4	
七	パトラ模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	二三五・〇×八六・〇	オランダ東インド会社マーク(VOC)入	3－5	
八	小花唐草模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	二二二・〇×八〇・〇	オランダ東インド会社マーク(VOC)入	3－3	
九	白地草花小模様インド更紗	一八世紀	インド	木綿	五五・〇×　七〇・〇		3－1	
一〇	タイ更紗	一八世紀	伝インド	木綿	二二五・〇×一〇五・〇		2	
一一	人物丸模様長崎更紗	江戸時代	長崎	木綿	一七〇・〇×二〇・〇		5－2	
一二	唐子模様長崎更紗	江戸時代	長崎	木綿	一五二・〇×二四・〇		5－1	
一三	紅毛人模様長崎更紗	江戸時代	長崎	木綿	二九・五×　一六・五	小片	5－3	
一四	花模様京更紗	江戸時代	京都	木綿	一八六・〇×二五・〇		5－8	
一五	唐花草模様京更紗	江戸時代	京都	木綿	一六一・〇×二三・〇		5－5	
一六	小花唐草模様京更紗	江戸時代	京都	木綿	一四〇・〇×二五・〇		5－4	
一七	小花模様京更紗	江戸時代	京都	木綿	一一八・〇×二五・〇		5－7	
一八	小花模様京更紗	江戸時代	京都	木綿	一〇二・〇×二五・〇		5－6	
一九	唐花模様堺更紗	江戸時代	堺	木綿	一七〇・〇×二四・〇		5－11	
二〇	唐花模様堺更紗	江戸時代	堺	木綿	一二六・〇×一四八・〇		5－12	
二一	菊牡丹模様堺更紗	江戸時代	堺	木綿	九六・〇×二四・〇		5－10	
二二	花丸模様堺更紗	江戸時代	堺	木綿	一六六・〇×二五・〇		5－9	

四　古文書（近代以前）

〈資料内訳〉

古文書……八件　一三点

番号	年月日	名称	発給者・作者	宛所	法量	備考
一		（景順関係文書）				
(1)	弘治三年八月一〇日	備中守某安堵状案	備中守	不明	二六・四×四二・〇	巻紙
(2)	永禄七年閏一二月二〇日	景順譲状	景順	景領侍者	二七・四×四二・〇	楮紙、竪紙
(3)	（年未詳）一二月二〇日	景順言上状	景順	桂左衛門大夫他五名	二六・〇×三〇・〇	楮紙、継紙
(4)	（年未詳）一二月二〇日	景順言上状	景順	桂左衛門大夫他四名	二六・〇×四八・二	楮紙、継紙
二		（中牟田家関係文書）				
(1)	（年未詳）八月二七日	立花統虎感状	（立花）統虎	中牟田摂津守	一一・五×二四・二	斐紙、切紙
(2)	（年未詳）一二月一一日	大友義統感状	（大友）義統	中牟田壱岐守	一〇・二×三〇・二	斐紙、切紙
(3)	（年未詳）六月九日	大友義統感状	（大友）義統	中牟田右京進	九・二×三二・二	斐紙、切紙
三	（文禄年間）卯月九日	豊臣秀次朱印状	（豊臣秀次）	有馬万介	四六・〇×六七・〇	楮紙、折紙
四	（文禄二年）五月二五日	前田玄以書状	（前田）玄以	駒井中務少輔	一五・七×二九二	楮紙、継紙
五	（慶長三年ヵ）卯月二三日	毛利輝元書状	（毛利）輝元	安国寺恵瓊福式	三一・一×四八・四	楮紙、折紙
六	（年未詳）二月四日	毛利秀就書状	（毛利）秀就	不明	三四・〇×四六・八	楮紙、折紙
七	安永五年七月	御加増加先知行高目録	藪彦大夫他四名	鎌田八郎兵衛	二六・〇×八六・八	檀紙、継紙

五　文　書

〈資料内訳〉

書簡……七件　七点
辞令……六九件　六九点
選挙関係……二九件　二九点
計一〇五件　一〇五点

書簡

番号	名称	時代	作者	品質・形状	員数	法量	備考
一	書簡（上京の際の餞別の礼状）	（明治）五月七日	澤宣嘉より池田少将宛	継紙	一通	一七・五×一五・九	
二	大久保公・木戸公・廣沢公書簡集	明治時代		巻子装	一通	巻子縦二四	巻留に「大久保公、木戸公広沢公尺牘」とあり
(1)	書簡（国事犯罪人護送について）	九月一三日	大久保利通より川路宛	罫紙	一通	一六・七×五二・八	
(2)	書簡（出張の件）	二月二日	木戸孝允より廉平宛	継紙	一通	一六・一×四四・四	
(3)	書簡（賞）	月日不詳	広沢侍従より民部官宛	継紙	一通	一七・〇×五三・四	
三	書簡（四月に九州詩人大会開催の旨）	（明治）二月九日	吉嗣鼓山より富田耕陽宛	便箋二紙	一通	三二・一×一八・九	
四	書簡（博多大博劇場案内）	大正三年	守田勘弥より益野晋二宛	葉書	一通	一五・〇×九・五	

辞令

番号	名称	時代	作者	品質	員数	法量	収蔵No.
一	聽講證	明治四〇年七月	福岡縣教育會より瓜生茂七郎	印刷	一枚	一四・三×九・〇	I 42
二	聽講證	大正三年	福岡縣教育會より瓜生茂七郎	印刷	一枚	一四・一×九・一	I 43
三	文科大学身体検査表	大正七年五月	谷川清水	印刷	一枚	一七・八×一三・三	I 47
四	教員免許状	大正七年八月三日	文部省より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・一×三〇・九	I 46
五	「辞令」(修猷官教諭、五級俸)	大正七年九月一八日	福岡縣から谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・八×三一・〇	I 45
六	「辞令」(賞与七円)	大正七年二月二四日	福岡縣から谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・二×二〇・〇	I 44
七	「辞令」(四級俸給)	大正八年六月三〇日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・三×一九・四	I 48
八	「辞令」(賞与三拾円給)	大正八年二月三日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・二×一九・八	I 49
九	「辞令」(三級俸給)	大正九年五月一〇日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・〇×一九・五	I 52
一〇	「辞令」(縣立明善中学校教諭)	大正九年六月一〇日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・七×二〇・八	I 50
一一	「辞令」(賞与六十五円給)	大正九年二月三日	福岡縣立明善中学校より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・四×一九・八	I 51
一二	「辞令」(四級俸給)	大正一〇年一月三日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・九×一九・七	I 56
一三	「辞令」(賞与十円給)	大正一〇年四月三〇日	福岡縣立明善中学校より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・六×一九・九	I 54
一四	「辞令」(賞与九十七円給)	大正一〇年二月六日	福岡縣立明善中学校より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・八×二〇・〇	I 53
一五	「辞令」(特別手當五十六円給)	大正一〇年二月六日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・八×二〇・〇	I 55
一六	「辞令」(公立中学校教諭)	大正一二年九月二三日	内閣総理大臣加藤友三郎より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・九×二〇・九	I 58

一七	「辞令」(賞与百弐十円給)	大正二年二月二六日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・九×一九・八
一八	「叙勲」(従七位)	大正三年五月一五日	宮内大臣牧野伸顕より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・〇×三〇・九
一九	「辞令」(六給俸千九百円下賜)	大正三年二月六日	佐賀縣より谷川清水	墨書	一枚	二三・八×三二・〇
二〇	「辞令」(年功加俸百八円下賜)	大正三年二月一四日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・七×三二・〇
二一	「叙勲」(正七位)	大正三年二月一五日	宮内大臣牧野伸顕より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・三×三二・〇
二二	教員免許状(英語)	大正四年二月六日	文部省より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・七×三〇・九
二三	「辞令」(年功加俸百三拾二円下賜)	大正四年二月六日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・八×三二・一
二四	「辞令」(六給俸千九百円下賜)	大正五年三月三日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・八×三二・一
二五	「叙勲」(従六位)	昭和二年四月一日	宮内大臣一木喜徳郎より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・三×三〇・九
二六	講習證書	昭和二年七月六日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・八×二九・四
二七	教員講習終了證書(修身科)	昭和三年七月三〇日	文部省より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・三×三二・〇
二八	大禮記念之証	昭和三年二月二六日	賞勲局総裁天岡直嘉より谷川清水	印刷に墨書	一枚	三三・四×四三・〇
二九	「辞令」(三養基中学校校長事務取扱)	昭和四年七月九日	佐賀縣より谷川清水	墨書	一枚	二六・二×二九・七
三〇	「辞令」(三養基中学校校長事務取扱)	昭和四年八月一〇日	佐賀縣より谷川清水	墨書	一枚	二六・二×二〇・〇
三一	「辞令」(年功加俸百八拾円下賜)	昭和五年九月二六日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・一×三二・〇
三二	「辞令」(五級俸千六拾円下賜)	昭和六年三月三一日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・八×三〇・九
三三	「終了証書」(公民教育講習)	昭和六年八月一七日	文部省より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・七×三〇・八
三四	「辞令」(年功加俸百九拾二円下賜)	昭和八年九月一〇日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・〇×三二・二
三五	「叙勲」(正六位)	昭和八年三月一日	宮内大臣湯浅倉平より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・八×三二・〇
三六	「辞令」(高等女学校長)	昭和九年三月三一日	内閣総理大臣齊藤實より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二三・九×三二・〇

番号	名称	時代	作者	品質	員数	法量	収蔵No.
三七	「辞令」(高等女学校教諭兼任)	昭和九年三月三日	内閣総理大臣齊藤實より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・九×三一・〇	I 81
三八	「辞令」(七級俸下賜)	昭和九年三月三日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・一×三一・二	I 79
三九	「辞令」(年功加俸百九拾二円下賜)	昭和九年四月三日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・二×三一・〇	I 80
四〇	職業指導講習會終了證書	昭和九年七月五日	文部省より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・二×一七・九	I 78
四一	婦人会顧問推薦状	昭和二年一月七日	鳥栖町婦人会	印刷	一枚	二六・二×一七・九	I 87
四二	「辞令」(公立中学校長)	昭和二年三月三日	内閣総理大臣廣田弘毅より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・八×三一・一	I 86
四三	「辞令」(公立中学校教諭兼任)	昭和二年三月三日	内閣総理大臣廣田弘毅より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二七・八×一九・四	I 85
四四	「辞令」(七級俸下賜)	昭和二年三月三日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・七×三〇・七	I 83
四五	「辞令」(年功加俸百九拾二円下賜)	昭和二年四月一日	佐賀縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二五・五×一八・一	I 84
四六	「辞令」(陸高等官五等待遇)	昭和二年三月一日	内閣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・八×三一・〇	I 89
四七	「叙勲」(従五位)	昭和二年三月五日	宮内大臣松平恒男より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二二・八×三一・〇	I 88
四八	紀元二六〇〇年祝典記念賞之證	昭和二年一月一〇日	賞勲局総裁下條康麿より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二九・八×四一・九	I 91
四九	勲記領記入例(雛形)	昭和二年一月	谷川清水	印刷	一枚	二四・九×二四・五	I 90
五〇	「叙勲」(勲六等瑞寶章)	昭和二年一月一五日	賞勲局総裁下條康麿より谷川清水	印刷に墨書	一枚	四六・〇×六〇・一	I 92
五一	「辞令」(日本赤十字社正社員)	昭和一七年一〇月三日	日本赤十字社総裁戴仁親王より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二一・九×三〇・四	I 93
五二	「叙勲」(正五位)	昭和一九年二月一五日	宮内大臣松平恒男より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二〇・八×二九・七	I 94
五三	「叙勲」(勲五等瑞寶章)	昭和三年二月六日	賞勲局総裁瀬古保次より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・五×五一・三	I 95
五四	「判定書」(教員適格審査)	昭和三年三月五日	福岡縣教育適格審査委員長辻丸勇次より谷川清水	印刷	一枚	二五・六×一八・六	I 65
五五	教職適格確認書	昭和三年八月六日	福岡縣知事杉本勝次より山下ミツ	印刷	一枚	二五・三×一八・〇	I 96

五五	「辞令」(地方教官三級七号俸)	昭和三三年三月三一日	福岡縣より谷川清水	印刷に墨書	一枚	三三・一×三〇・二	I 97	
五六	「辞令」(願に依り本職を免ず)	昭和二四年三月三一日	福岡縣教育委員會より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二六・七×一七・八	I 99	
五七	「辞令」(九州女子高教諭)	昭和二四年三月三一日	財團法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二六・〇×一七・八	I 100	
五八	高校教育再教育講習会終了證	昭和二四年三月三一日	福岡縣教育委員會より谷川清水	印刷に墨書	一枚	一八・〇×二二・七	I 102	
五九	職員資格別出身学校調	昭和二四年五月	九州女子高校	印刷・書綴	一綴	二五・六×一八・三	I 98	
六〇	「辞令」(九州女子中教諭兼任)	昭和二四年六月三〇日	財團法人九州学園より谷川清水	印刷に墨書	一枚	二五・二×一七・二	I 101	
六一	英語教員免許状(高校教諭一級)	昭和二四年九月一日	福岡縣知事より谷川清水	印刷に墨書	一枚	一八・八×二六・四	I 103	
六二	英語教員免許状(中学教諭一級)	昭和二四年九月一日	福岡縣知事より谷川清水	印刷に墨書	一枚	一八・一×二六・四	I 104	
六三	「辞令」(爾今月六五〇〇円給)	昭和二五年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二三・〇×一五・四	I 105	
六四	「辞令」(爾今月七八〇〇円給)	昭和二六年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二五・三×一七・八	I 106	
六五	「辞令」(爾今月一〇八〇〇円給)	昭和二七年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二五・二×一七・八	I 107	
六六	「辞令」(爾今月一四六〇〇円給)	昭和二八年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二五・七×一七・七	I 108	
六七	「辞令」(爾今月一八四五〇円給)	昭和二九年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二五・八×一七・六	I 109	
六八	「辞令」(爾今月二一四五〇円給)	昭和三〇年三月三一日	学校法人九州学園より谷川清水	墨書	一枚	二五・五×一八・一	I 110	

番号	名称	時代	作者	量・形状	員数	法量(縦×横)	収蔵No.
一	(河波荒次郎君)推薦状	昭和五年二月一一日	宇美町武内譲介	印刷	一枚	一九・八×三六・四	I 112
二	(河波荒次郎氏)推薦状	昭和五年二月	仲原村池見辰次郎	印刷	一枚	二〇・〇×三六・四	I 111
三	(河波荒次郎氏)推薦状	昭和五年二月	立憲民政党仲原村有志	印刷	一枚	一九・六×三六・三	I 113
四	御挨拶(議員立候補)	昭和七年二月八日	原口初太郎	印刷	一枚	一九・四×五三・八	I 114
五	(宮川一貫)立候補の挨拶	昭和七年二月九日	宮川一貫	印刷	一枚	一九・二×五三・四	I 115
六	(河波荒次郎君)推薦状	昭和七年二月一〇日	立憲民政党粕屋郡部会	印刷	一枚	二〇・〇×五四・七	I 116
七	(河波荒次郎)立候補挨拶	昭和七年二月	河波荒次郎	印刷	一枚	一九・七×五四・七	I 117
八	(原口初太郎氏)推薦の言葉	昭和一一年二月	推薦者一五名	印刷	一枚	一八・五×五三・六	I 118
九一	(原口初太郎君)推薦状	昭和一一年二月	頭山満	印刷	一枚(四面)	六八・三×五三・九	I 119
九二	(原口初太郎)挨拶	昭和一一年二月	原口初太郎	印刷			I 120
九三	推薦状	昭和一一年二月	伊豆凡夫以下七名	印刷			I 121
九四	(原口初太郎君)推薦状	昭和一一年二月	立憲政友会	印刷			I 122
一〇	(簡牛凡夫)立候補挨拶・推薦状	昭和一二年四月八日	簡牛凡夫	印刷	一枚	五四・六×三九・六	I 129
一一	国民新聞(衆院速記・新聞記事抜粋)	昭和一二年四月一五日	前田幸作	印刷	一枚	五五・二×三九・七	I 128
一二	(簡牛凡夫)立候補挨拶・推薦状	昭和一二年四月一〇日	簡牛凡夫	印刷	一枚	五四・五×三七・二	I 126

一三	(原口初太郎君)推薦状	昭和一二年四月	有志推薦者一二名	印刷	一枚	一九・一×一四・〇	I	123
一四	「御挨拶」	昭和一二年四月	原口初太郎	印刷	一枚	一九・八×一四・八	I	124
一五	(宮川一貫)立候補挨拶	昭和一二年四月	宮川一貫選挙事務所	印刷	一枚	二九・二×一四・六	I	125
一六	松本治一郎立候補宣言	昭和一二年四月	松本治一郎	印刷	一枚	一四・七×二九・〇	I	127
一七	(安松鹿次郎)推薦状	昭和一二年五月	(推薦者)小西梅吉他五名より有権者各位宛	印刷	一枚	一九・〇×一三・〇	II	206
一八	仲原村村会議員候補者安松鹿次郎選挙挨拶状	昭和一二年五月	仲原村安松鹿次郎より有権者各位宛	印刷	一枚	一九・〇×一三・〇	II	207
一九	選挙公報(簡牛凡夫)	昭和一七年四月二二日	福岡県知事	印刷	一枚	二四・四×四〇・三	I	130
二〇	選挙公報(原口初太郎)	昭和一七年四月二二日	福岡県知事	印刷	一枚	二四・四×四〇・三	I	131
二一	選挙公報(松本治一郎)	昭和一七年四月二二日	福岡県知事	印刷	一枚	二四・四×四〇・三	I	132
二二	選挙公報(本田高義)	昭和一七年四月二二日	福岡県知事	印刷	一枚	二四・四×四〇・三	I	133
二三	選挙公報(森部隆輔)	昭和一七年四月二二日	福岡県知事	印刷	一枚	二四・四×四〇・三	I	134
二四	(原口初太郎)衆議院議員推薦状	昭和一七年四月	中心社主幹粕屋郡一三名	印刷	一枚	一八・八×三五・四	I	135 136
二五	立候補御挨拶(原口初太郎君)推薦の辞	昭和一七年四月	頭山満以下一五名	印刷	一枚	二八・四×一四・六	I	137 138
二六	松本治一郎立候補宣言	昭和一七年四月	松本治一郎	印刷	一枚	一四・二×二八・二	I	139
二七	立候補の御挨拶	昭和初期	高岩勘次郎	印刷	一枚	一九・四×一三・四	I	140
二八	共同声明	昭和時代	労働者農民党福岡支部日本共産党福岡委員会	印刷	一冊	一八・七×二六・六	II	214
二九	推薦状	昭和時代	衆議院議員候補者本田高義選挙事務所	印刷	一枚	一八・三×三〇・九	II	215

六　歴史資料

〈資料内訳〉

高札……二件　二点

番号	年月日	名称	員数	作者	法量	備考	収蔵No.
一	天保一二年四月	酒株高札	一面	出屋敷組	三一・〇×二〇〇・八		Ⅰ
二	慶応四年三月	切支丹高札	一面	太政官	三〇・四×六一・〇		Ⅰ

七　書籍

一一二件　二五二点

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一	桑韓筆語唱和集	一冊	木版　書冊	一九・八×二三・八	天和二年八月七日	木下順庵・滝川昌楽	Ⅱ1
二	朝鮮太平記	一五冊	木版　書冊	二三・六×一八・二	宝永二年仲秋下旬	馬場信意著	Ⅰ1
三	筑前国続風土記	三〇冊	写本　書冊	二三・三×一六・九	(原)宝永六年	(原)貝原益軒　貝原好古 竹田定直(写)山崎藤四郎カ	原本Ⅱ

四	近代正説砕玉　武将感状記	一〇冊	木版	書冊	二五・四×一八・〇	正徳六年仲夏上浣日	熊沢淡庵著	I 2
五	町人袋	七冊	木版	書冊	二三・六×一五・八	京保己亥年林鏡穀日	西川求林斎著	I 3
六	朝鮮人来朝物語	一冊	木版 帙入	書冊	二一・五×一五・三	宝暦一三年三月吉日	京寺町松原上ル町　菊屋七郎兵衛板	II 2
七	紙譜	一冊	木版	袖珍本	五・九×一五・七	安永六年二月	江戸山崎金兵衛他	I 4
八	牛山活套　上、中、下	三冊	木版	書冊	二三・五×一五・五	安永戊年仲冬日	香月牛山	I 5
九	牛山方考　上、下	二冊	木版	書冊	二二・四×一五・九	安永八巳亥年仲冬吉旦	松本慎撰	I 6
一〇	和漢年契	一冊	木版	書冊	二五・四×一八・六	寛政九年初版(刊)	高昶(浅野高蔵)著　大阪宣英堂葛城長兵衛刊	II 4
一一	気海観瀾　完	一冊	木版	書冊	二五・六×一七・六	文化一三年丙子(成)文政一〇年(版)不詳	青地孟林宗　和泉屋吉兵衛版	II 23
一二	日本：Nippon, Archiv zur Berchreibung von Japan	五冊	印刷	書冊	(大)(小)	一八三二年	シーボルト	原本II
一三	君子訓　全三冊	三冊	木版	書冊	二二・八×一五・八	天保一三年版孟秋新刻	貝原益軒	I 8
一四	続　武将感状記	一〇冊	木版	書冊	二五・七×一八・〇	天保一四年秋九月	栗原孫之丞信充	I 7
一五	周防松崎天神鎮座考　上、下	二冊	木版	書冊	二五・七×一七・九	嘉永二年	弘正方著	I 9
一六	泰西三才正蒙　全三冊	三冊	木版 帙入	書冊	二六・一×一八・三	嘉永三年仲夏	永井則著　如樓版	II 6
一七	九州辺備大略	一冊	墨書 帙入	書冊	二五・五×一七・六	嘉永三年六月	国分平蔵	II 5
一八	気海観瀾廣義三、四、五	三冊	木版	書冊	二五・八×一七・六	(成)嘉永四～安政五刊　(版)明治時代	川本裕幸民譯述(ボイス著)	II 24

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一九	萬国旗章図譜	一冊	木版色刷 書冊	二四・九×一七・〇	嘉永五年	重時(奉郷)編	I 10
二〇	筑前孫七異国物語 完	一冊	写本 書冊	二二・五×一五・五	嘉永七年写	不詳	I 11
二一	江戸大地震出火場所分	一冊	木版	二八・四×五二・八	安政二年	瓢〇堂	I 12
二二	彦山上記 全	一冊	写本 書冊	二三・六×一六・七	安政四年三月	大神正澄著	I 13
二三	亜墨利加国條約並税則全	一冊	木版 書冊	二五・六×一八・二	安政六年六月	岡田屋嘉七 他二名	II 7
二四	阿蘭陀国条約並税則全	一冊	木版 書冊	二五・六×一八・二	安政六年六月	岡田屋嘉七 他二名	II 8
二五	魯西亜国条約並税則全	一冊	木版 書冊	二五・六×一八・二	安政六年六月	岡田屋嘉七 他二名	II 9
二六	英吉利国条約並税則全	一冊	木版 書冊	二五・六×一八・二	安政六年六月	岡田屋嘉七 他二名	II 10
二七	仏蘭西国条約並税則全	一冊	木版 書冊	二五・六×一八・二	安政六年六月	岡田屋嘉七 他二名	II 11
二八	筑前国続風土記拾遺	三〇冊	写本 書冊	二三・七×一六・六	(写)文久三年～慶応元年	(原)青柳種信 児玉琢 青柳種春 阪田良賢 藤田正兼 (写)山内陽亭	原本II
二九	家職要道 初編上下、二編上下	四冊	木版 書冊	二五・四×一七・八	慶応二年刊	正司南鳥央著 松川半山画 河内屋佐助版	II 12
三〇	貨幣取調書	一冊	木版 書冊	二六・二×一七・〇	慶応四年四月	会計局貨幣調方	I 14
三一	筑前国讃風土記巻之二七・八	一冊	写本 書冊	二七・八×一八・六	江戸時代写	貝原益軒原著	I 15
三二	輿地誌略 巻之一～巻之六	六冊	木版 書冊	二五・六×一七・九	巻一～三 明治三年、巻四～六 明治四年	内田正雄著 巻一～三・大学南校、巻四・文部省版	II 13
三三	松渓都真景画譜	一冊	木版 色摺書冊(全一二図)	二〇・二×二六・七	発行 明治七年四月二一日	山田松渓画 青木恒三郎 青木嵩山堂発行・印刷	II 14
三四	旧金銀貨幣価格表	一冊	木版 書冊	二二・〇×一五・〇	明治七年九月五日	太政大臣三条実美	I 16

三三	寒玉音、寒玉音後集上、寒玉音後	三冊	木版	書冊	一八・〇×二二・〇	(版)明治九年四月五日(改題)明治一三年四月二七日
三四	国史略　字引全	一冊	木版	書冊	一六・二×二二・〇	(版)明治一〇年一一月
三五	旧福岡藩士族家録除米還渡請願	一冊	印刷		二二・六×一六・三	明治一四年一月二八日
三六	明治十年西南征討志	六冊	書冊		二二・四×一四・七	明治一八年九月刊
三七	当世筑前風土記　全	一冊	印刷	書冊	二二・二×一七・八	明治二一年七月一日
三八	第二編　史徴墨宝考証	三冊	印刷	書冊	二六・〇×一四・六	明治二二年一二月二五日
三九	農作改良全書　全	一冊	木版	書冊	二二・〇×一四・九	(版)明治二三年
三〇	耶馬渓真景画帖	画帖付言各一冊	印刷	画帖	二二・三×一六・九	明治二五年一二月一一日
三一	伏敵編・伏敵編付録	二冊	木版	書冊	二五・八×一九・二	明治二五年一月六日訂正再版印刷出版
三二	明治卅八年戦役　感状写第四巻	一冊	印刷	書冊	二七・〇×一八・七	明治三九年一二月二八日　発行
三三	福岡県案内	一冊	印刷	書冊	二二・八×一四・一	明治四三年
三四	四郡乗馬会会則	一冊	印刷	書冊	一九・七×一四・〇	明治時代
三五	国民新聞(七三二四号一七四四六号)	二部	印刷		三三・〇×三九・三	明治四五年七月二一日～大正元年一一月二〇日
三六	花鳥画譜　全	一冊	木版	色摺	二二・〇×二七・四	明治時代
三七	博物新編　一集・二集・三集	三冊	木版	書冊	二三・三×一七・六	(版)明治時代

吉嗣達太郎著　内藤伝衛門版	II	16
斉藤一兵衛著　藤谷伊兵衛版	II	15
松崎粒平　他四名より　福岡県令渡辺清宛	II	17
海軍省	I	17
袖屋みなと	I	18
帝国大学編年史編	I	19
小関忠平著　林磊落堂版	II	18
松田竹園彦六画　大分県中津町諏訪音吉湖月堂発行	II	19
山田安栄編纂	I	20
発行社・陸軍省　印刷者・印刷局	II	20
福岡県協賛会	I	22
不詳	I	34
東京国民新聞社	原本	
景文画　青木嵩山堂発行	II	21
英国医士　合信著　老皂館・屬屋兵四郎版	II	22

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
三〇	西部合同瓦斯株式会社報告書	一冊	印刷書冊	三三・〇×一五・〇	大正二年	西部合同瓦斯株式会社	I 23
三一	蒙古襲来絵詞　上中下	三冊	印刷書冊	三〇・二×二一・三	大正五年一月廿八日刊	吉川弘文館	I 24
三二	長崎港外九港外国貿易月表	五冊合本	印刷書冊	二六・六×三三・六	大正五年八月～一二月	長崎税関	II 25
三三	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	五冊合本	印刷書冊	二六・六×三三・六	大正五年八月～一二月	門司税関	II 43
三四	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・八×三三・四	大正六年一月～一二月	長崎税関	II 26
三五	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・七×三三・六	大正六年八月～一二月	門司税関	II 44
三六	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・〇×三三・六	大正七年一月～一二月	長崎税関	II 27
三七	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	一一冊合本	印刷書冊	二六・〇×三三・六	大正七年一月～五月七月～一二月	門司税関	II 45
三八	長崎港外九港外国貿易月表七月以降は「…外十港…」	一二冊合本	印刷書冊	二六・八×三三・四	大正八年一月～一二月	長崎税関	II 28
三九	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・〇×三三・八	大正八年一月～一二月	門司税関	II 46
四〇	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・八×三三・八	大正九年一月～一二月	門司税関	II 47
四一	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・〇×三三・八	大正九年	長崎税関	II 29
四二	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・〇×三三・八	大正一〇年一月～一二月	長崎税関	II 30
四三	門司・下関・若松・博多港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・二×三三・〇	大正一〇年一月～一二月	門司税関	II 48

六四	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・三×三三・六	大正一一年一月～一二月	長崎税関	II 31
六五	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・九×三三・二	大正一一年一月～一二月	門司税関	II 49
六六	長崎港外九港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・二×三三・八	大正一二年一月～一二月	長崎税関	II 32
六七	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・八×三三・六	大正一二年一月～一二月	門司税関	II 50
六八	SAINTE GENEVIEVE	一冊	印刷画は木版折本	二三・七×三三・五	一九二三年	富田渓仙画 TOKIO CHINCH IOCHA	I 26
六九	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・八×三三・二	大正一三年一月～一二月	長崎税関	II 33
七〇	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・八×三三・六	大正一三年一月～一二月	門司税関	II 51
七一	長崎税関外国貿易月表	一一冊合本	印刷書冊	二六・八×三三・九	大正一四年一月～一二月	長崎税関	II 34
七二	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二九・〇×三三・六	大正一四年一月～二月	門司税関	II 52
七三	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・二×三三・〇	大正一五年一月～(昭和元年)一二月	長崎税関	II 35
七四	朝鮮童話集	一冊	印刷書冊	二〇・九×一六・〇	大正一五年二月六日発行	中村亮平編	I 27
七五	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・四×三三・五	大正一五年一月～(昭和元年)一二月	門司税関	II 53
七六	門司・下関・若松・博多・徳山港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・八×三三・三	昭和二年一月～一二月	門司税関	II 54

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
七	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・二×三三・〇	昭和二年二月～一二月	長崎税関	II 36
六	門司・下関・若松・博多・徳山・萩港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・七×三三・二	昭和三年一月～一二月	門司税関	II 55
五	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・二×三三・〇	昭和三年二月～一二月	長崎税関	II 37
四	門司・下関・若松・博多・徳山・萩港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・二×三三・六	昭和四年一月～一二月	門司税関	II 56
三	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・〇×三三・六	昭和四年二月～一二月	長崎税関	II 38
二	門司・下関・若松・博多・徳山・萩港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・二×三三・六	昭和五年一月～一二月	門司税関	II 57
一	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・二×三三・五	昭和五年二月～一二月	長崎税関	II 39
〇	九州独楽めぐり	一冊	印刷書冊	二三・一×一五・二	昭和五年六月二〇日発行	佐々木滋寛	I 29
九	孝子正助之伝	一冊	印刷書冊	一八・八×一三・〇	昭和五年九月三〇日発行	井上周磐	I 30
八	育児上の縁喜に関する玩具図譜 一巻 二巻	二冊	紙本着色 帙入 一枚ずつ綴じ込み	二九・三×一九・八	一巻・昭和五年 二巻・昭和六年	笠原通夫序 尾崎清次編	II 61
七	門司・下関・若松・博多・徳山・萩港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・二×三三・六	昭和六年一月～一二月	門司税関	II 58
六	門司・下関・若松・博多・徳山・萩港外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二七・二×三三・六	昭和六年一月～一二月	門司税関	II 58
五	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷書冊	二六・四×三三・八	昭和六年二月～一二月	長崎税関	II 40

八八	蒙古寇紀　全	一冊	木版　書冊	二三・五×一六・四	昭和六年七月一日発行	長村　鑒	I 31
八九	門司税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷　書冊合冊	二六・〇×一八・八	昭和七年一月～一二月	門司税関	II 59
九〇	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷　書冊合冊	二六・三×一八・〇	昭和七年二月～一二月	長崎税関	II 41
九一	邦彩変華大宝鑑	一冊	印刷　書冊	三一・四×二三・四	(版)昭和八年一月一日	池長孟著　創元社版	II 62
九二	門司税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷　書冊合冊	二六・〇×一八・二	昭和八年一月～一二月	門司税関	II 60
九三	長崎税関外国貿易月表	一二冊合本	印刷　書冊合冊	二六・四×一八・三	昭和八年二月～一二月	長崎税関	II 42
九四	熱河戦況写真帖附満蒙風俗見本	一冊	白黒印刷　書冊(写真六三点)	二一・二×一五・〇	昭和八年四月八日	松村好文堂発行　東京日満写真通信社・片山美第策編	II 63
九五	喜多流稽古順及曲名便覧	一冊	印刷	二九・七×一五・〇	昭和八年四月三〇日発行	喜多六平太著作	I 28
九六	朝鮮の経済事情	一冊	印刷　書冊	一八・六×一二・九	昭和一二年三月三〇日	朝鮮総督府著　大海堂版	II 66
九七	満洲炭坑株式会社概要	一冊	印刷　書冊	二三・三×一五・二	康徳四年三月	満洲炭坑株式会社	II 65
一〇〇	福岡聯隊区将校団団員名簿	一冊	印刷　書冊	一五・二×一一・〇	昭和一二年四月二〇日	福岡聯隊区将校団　福岡筑紫印刷刷	II 64
一〇一	満洲と満鉄	一冊	白黒印刷　書冊	二三・〇×一五・一	昭和一二年四月二〇日発行	松本豊三著作兼発行人　南満洲鉄道株式会社発行	II 67
一〇二	満洲資源館要覧(改訂版)	一冊	印刷　書冊	一八・七×二二・七	昭和七年三月二八日初　昭和一二年七月一五日改・九版	立川増吉著　南満洲鉄道・満洲資源館版	II 68
一〇三	オール博多(二月特輯号)	一冊	印刷　書冊	三七・九×二六・三	昭和一二年	オール博多社	I 32

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一〇四	南京	一冊	印刷 綴	一七・七×二一・五	昭和一四年三月二五日	ジャパン・ツーリスト・ビューロー満鉄奉天印刷書	II 69
一〇五	喫茶養生記(鎌倉福寿寺本)	二冊	印刷 書冊	二七・二×一九・五	昭和五四年七月一日発行	鎌倉同人会編集	I 33
一〇六	朝鮮の史跡地理	一冊	印刷 書冊	二三・四×一五・二	昭和時代	中山久四郎著 改造社版	II 70
一〇七	GLIMPSES OF CHOSEN (朝鮮一瞥)	一冊	白黒印刷 書冊(表紙のみ色刷)	二五・五×一九・一	昭和時代	朝鮮鉄道	II 71
一〇八	金玉文藻帖	一冊	写本 孔版書冊	二四・六×一六・八	昭和時代	井上周郁・原	II 72
一〇九	生徒心得	一冊	印刷 書冊	二三・三×一五・〇	昭和時代	県立久留米高等女学校	I 35
一一〇	博多駅汽車時刻表	一冊	印刷	一三・〇×八・三	昭和時代	博多大浜町金石館	I 38
一一一	新貨通用通達(仮)	一冊	木版 書冊	二四・二×一七・二	近代	御用御書物庁	I 36
一一二	古貨幣調査書	一冊	写本 書冊	二七・一×一九・五	近代	不詳	I 37

八 地図・絵図

一八〇件 一八一点

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一	改正大増補 日本道中行程記	一舗	木版墨摺 折本	一六・〇×七・〇	延享五年五月	鳥飼市兵衛版	I 177
二	肥前長崎図(仮称)	二舗	木版墨摺	六五・四×八七・〇	安永七年	大島文次右衛門板	I 178
三	朝鮮八道之図	一舗	地図は木版色摺	三二・九×五九・一	天明五年秋	仙台・林子平 須原屋市兵衛・版	II 115

四	天保改正　豊後国絵図	一舗	木版墨摺	五五・三×七二・六	天保一三年八月出版	日田滴々軒浩水・蔵版 岡田春燈斎・図者 平居嘉兵衛・彫工	II 116
五	日本絵図	一舗	木版色摺	三七・九×二〇・一	天保一四年	丁子屋源次郎	I 179
六	江戸城下絵図	一舗	木版色摺	七二・一×八七・二	弘化二乙巳年正月	林田屋彦兵衛	I 180
七	新刻肥前長崎図	一舗	木版色摺	六五・三×八七・〇	弘化三年	長崎牛深屋板	原本 I
八	原城攻防絵図	一舗	着色	二二・四×二二・三	江戸時代	不詳	原本 I
九	肥前国絵図	一舗	着色	一九六・四×一六八・一	江戸時代	不詳	原本 I
一〇	豊前国図	一舗	着色	二一〇・二×二三六・〇	江戸時代	不詳	原本 I
一一	薩摩国全図	三枚一組	木版色摺	(右)三四・一×二四・五(中)三四・一×二四・八(左)三四・一×二二・四	明治一〇年三月一〇日届	梅堂国政・図　竹内栄口・画工　佐藤新・出版人	II 117
一二	新鐫　大日本海陸全図	一舗	銅版色摺	六九・〇×一四四・八	明治一九年三月二五日出版	森琴石	I 181
一三	官弊中社太宰府神社境内之図	一枚	石版	四五・三×五八・二	明治二八年一二月一〇日三版出版	太宰府神社発行	I 21
一四	今宿・糸島地図	一舗	白黒印刷	四一・七×八二・二	明治三五年六月三〇日発行	大日本帝国陸地測量部	II 118
一五	大阪旧城の図(複製)	一舗	印刷	三八・四×五三・八	明治三六年	黒田新盛堂板	I 182
一六	香椎宮境内及附近之図	一舗	石版	三九・四×五四・七	明治四一年八月一六日出版	木下重美	I 183
一七	陸地測量部御出版地図一覧表	一枚	印刷	三九・四×五四・五	明治四二年四月一日調	東京小林又七本店地図販売部	II 119
一八	最新詳密大日本旅行案内地図	一舗	銅版淡彩	二六・四×三〇三・四	明治四二年一〇月二〇日発行	榎本松之助	I 184

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一九	香椎宮境内之図	一舗	銅版	三五・二×四四・〇	明治時代	□石(写)	I 210
二〇	英彦山神社全景之図	一舗	銅版	三四・二×四四・五	明治時代	大阪大成館銅版部製	I 211
二一	宇美八幡宮境内之図	一舗	銅版	二一・三×二七・四	明治時代	大阪大成館銅版部製	I 212
二二	妙立寺境内之図	一舗	銅版	二一・四×二六・一	明治時代	大阪大成館銅版部製	I 213
二三	台湾基隆市区改正計画	一舗	印刷	三四・二×六六・九	大正六年九月二三日	不詳	II 120
二四	世界新地図	一舗	色刷印刷	六六・七×一〇七・〇	大正八年一二月一〇日	福岡日日新聞合資会社	I 186
二五	武雄地図	一舗	色刷印刷	八一・五×五七・五	大正九年一〇月三〇日発行	大日本帝国陸地測量部	I 187
二六	Ordnance Survey Map of the COUNTRY ROUND LONDON	一舗	色刷印刷	六六・一×一〇二・一	一九二一年	Ordnance Survey	I 188
二七	地図「日本県管内地図大版福岡県」	一舗	色刷印刷	五九・六×三四・五	大正一二年一一月一五日印刷 一一月二〇日再版	大淵善吉・編集発行者 駸々堂旅行案内部・発行所	II 121
二八	日本交通分県地図「其二十八」福岡県	一舗	色刷印刷	三四・二×七二・二	大正一五年九月五日発行	大阪毎日新聞・著 東京共同印刷・印	II 122
二九	大正一五年特別大演習地方図	一舗	色刷印刷	三四・〇×六六・八	大正一五年九月一五日発行	陸地測量部印刷兼発行	I 189
三〇	全国鉄道地図	一舗	色刷印刷	二七・〇×一二二・八	大正一五年一〇月一日発行	荒木利一郎発行兼編集	I 190
三一	東京大地震区域地図	一舗	色刷印刷	五二・六×六八・五	大正時代	不詳	I 206
三二	官弊大社香椎宮参拝案内略図	一舗	印刷	一九・九×五二・六	大正時代	香椎宮社務所	I 209
三三	東亜博覧会鳥瞰図	一舗	色刷印刷	三八・四×五二・六	昭和二年一月一日	福岡日日新聞発行	I 191

二四	最近福岡市街及郊外地図	一舗	色刷印刷	五三・八×七七・六	昭和二年五月五日発行	大渕善吉・著作兼印刷発行 大阪駸々堂・発行所	Ⅱ 123
二五	北東部	一舗	白黒印刷	四六・〇×五八・一	(測図)大正一四年 (版)昭和二年五月二五日	大日本帝国陸地測量部	Ⅱ 124
二六	支那時局地図	一舗	色刷印刷	五三・四×三九・〇	昭和三年六月五日発行	大阪毎日新聞発行	Ⅰ 192
二七	お国自慢全日本民謡絵双六	一舗	色刷印刷	五四・三×七八・八	昭和四年二月一日発行	博文館発行	Ⅰ 193
二八	伊万里地図	一舗	色刷印刷	八二・五×五七・八	昭和四年三月三〇発行	大日本帝国陸地測量部	Ⅰ 185
二九	実測福岡市近郊地図	一舗	色刷印刷	五四・四×七八・〇	昭和五年二月一一日発行	北野友士・発行者 改進堂・印刷	Ⅱ 125
三〇	満洲接壌地域地形図	一舗	色刷印刷	一四三・二×一一七・三	昭和六年三月二〇日発行	南満洲鉄道株式会社地質調査・著発行者 東京小林印刷所・印刷所	Ⅱ 126
三一	満蒙鉄道概見図	一舗	色刷印刷	一〇九・八×七八・〇	昭和六年一二月一六日発行	小原正忠 編集発行	Ⅰ 194
三二	最新満洲国大地図	一舗	色刷印刷	一〇九・八×八〇・五	昭和七年三月二四日発行	福岡日日新聞合資会社	Ⅰ 195
三三	帝国国防大地図	一舗	色刷印刷	七八・三×五三・五	昭和八年一月一日発行	大阪毎日新聞編	Ⅱ 127
三四	最新大日本鉄道地図	一舗	色刷印刷	七八・六×一〇七・九	昭和一一年一月一日発行	大阪毎日新聞発行	Ⅰ 196
三五	欧亜時局大地図	一舗	色刷印刷	七八・八×一〇八・九	昭和一一年一月一日発行	望月見吉発行編集	Ⅰ 197
三六	「福岡市と近郊案内」博多築港記念大博覧会協賛会	一舗	色刷印刷	一七・八×三八・九	昭和一一年	福岡・秀巧社印刷	Ⅱ 128

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
四八	北支事変明細図解	一舗	色刷印刷	三三・八×七七・六	昭和一二年八月二二日発行	東京日日新聞社・発行所	II 129
四九	中支戦況要図上海事変明細図解	一舗	色刷印刷	三六・八×四四・一	昭和一二年九月五日発行	東京日日新聞社・発行所 東京共同印刷・印刷所	II 130
四九	上海杭州近傍図	一舗	色刷印刷	六九・〇×四四・〇	昭和一二年一二月一日発行	文芸春秋	I 198
五〇	支那事変第一年戦闘経過図	一舗	色刷印刷	七三・二×五一・三	昭和一三年六月下旬状況	内閣印刷局印刷発行	II 131
五一	支那事変二周年記念興亜現勢図	一舗	色刷印刷	七三・九×五一・六	(印刷発行)昭和一四年六月二八日	内閣情報部・著作 内閣印刷局・発行所	II 132
五二	欧州戦局図	一舗	色刷印刷	四四・六×六九・〇	昭和一五年一月一日	池原文太郎 編集発行	I 200
五三	新支那現勢図	一舗	色刷印刷	七三・七×五一・七	昭和一五年四月一〇日印刷発行	内閣印刷局	I 199
五四	九州名勝地図	一舗	色刷印刷	三三・八×三七・八	昭和一五年	福岡梅ヶ谷酒造株式会社	II 133
五五	大東亜共栄圏及び太平洋要図	一舗	色刷印刷	五六・七×八三・五	昭和一六年四月三〇日印刷発行	内閣印刷局印刷発行	I 202
五六	改訂 大東亜共栄圏詳図	一舗	色刷印刷	六六・二×一〇六・八	昭和一六年五月五日発行	大阪毎日新聞社発行	I 201
五七	西南太平洋戦局要図	一舗	印刷	二七・七×四六・〇	昭和一六年一二月一五日	興南新聞社編集	II 134
五八	改訂 最新欧州大地図	一舗	色刷印刷	六六・五×一〇五・五	昭和一七年七月三〇日再版	大阪毎日新聞発行	I 203
五九	東国東西国西郡地図	一舗	色刷印刷	六六・〇×三三・六	昭和二五年四月一三日発行	庄司秀雄・著作発行兼印刷人 九州通信社・発行所	II 135
六〇	小倉市市街図	一舗	色刷印刷	一〇九・五×七九・二	昭和時代	不詳	I 205
六一	東亜現勢鳥瞰	一舗	色刷印刷	四四・二×七七・四	昭和時代	東京日日新聞社・編集 東京共同印刷・印刷発行	II 136

六二	福岡市及附近名所案内図	一舗	色刷印刷	一七・一×四二・九	昭和時代	福岡市松屋百貨店発行	II 137	
六三	大阪冬陣東西両軍配布之図	一舗	印刷	一〇一・六×一〇七・二	近代	歩兵第二〇連隊将校	I 204	
六四	鳥栖町要図	一舗	色刷印刷	三四・九×三九・五	近代	今村秀進堂印刷	I 207	
六五	三養基郡地図	一舗	色刷印刷	三三・五×二七・六	近代	不詳	I 208	

シーボルト・ペリー関係

番号	名称	員数	素材・形状	法量(縦×横)	時代	作者	
一	Factrerie des Hollandais a Firato 1609 - 1641(平戸オランダ商館図)「Voyage au Japon」PLANCHE 3 13／385 785／CX	一枚	銅版 手彩色	(画面)二六・五×三七・五	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
二	Vue en Panorama du Port et de Baie de Nagasaki (長崎港の風景) 「Voyage au Japon」PLANCHE 3 BIS 13／388 785／Acx	一枚	銅版	(画面)三九・四×五六・九	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三	Ein Packpferd und Packochse,Traeger und Reisende(荷牛・荷馬・ムレーガー・旅行者)「Voyage au Japon」PLANCHE 4 13／388 785／Ax	一枚	銅版	(画面)二九・一×三七・〇	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四	Voyage de l'embassade Hollandaise (オランダ使節の行列)「Voyage au Japon」PLANCHE 5 13／383 785／Ux	一枚	銅版	(画面)二七・四×三五・三	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

番号	名称	員数	版・形	法量(縦×横)	時代	作者	
五	Simonoseki-Vue des environs de Takesaki- (下関)「Voyage au Japon」PLANCHE 7 13／389 784／UI	1枚	銅版	(画面)三八・九×三六・一	十九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
六	Das Denkmaal zu ISINOHODEN (石の宝殿の碑)「Voyage au Japon」PLANCHE 10 13／384 785／MA	1枚	銅版	(画面)三四・〇×三四・六	十九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
七	Vue du port et de la ville de Jedo,prise du pont de Jetai (永代橋から江戸の港と町を望む)「Voyage au Japon」PLANCHE 14 13／381	1枚	銅版	(画面)三七・四×三四・五	十九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
八	Pont de Jahaki(矢橋橋)「Voyage au Japon」PLANCHE 18 13／413 785／IV ／V ／NA SET OF 5	1枚	銅版	(画面)三七・〇×三六・九	十九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
九	Mijogi-San(松蔵山)「Voyage au Japon」PLANCHE 19 13／387 785／AC	1枚	銅版	(画面)三八・五×三六・七	十九世紀	(原画)Buntsiu Japon (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
10	Wonoga-Take (小野岳)「Voyage au Japon」PLANCHE 21 13／391 785／NA	1枚	銅版	(画面)三八・八×三七・〇	十九世紀	(原画)Buntsiu Japon (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
11	Simori(しもり)「Voyage au Japon」PLANCHE 25 13／411 785／AX	1枚	銅版	(画面)三八・二×三二・四	十九世紀	(原画)不詳 (画工)C.H.Villeneuve (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
12	ITOSE SONOGI(いとせ　そのぎ)「Voyage au Japon」PLANCHE 26 13／406 785／AX	1枚	銅版	(画面)三八・五×三八・五	十九世紀	(原画)不詳 (画工)Toioske (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

一一	KUMASO(くまそ)「Voyage au Japon」 PLANCHE 27 13／408 785／MC	一枚	銅版	(画面)二九・八×一三・三	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)C.X.H.Villeneuve (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一二	OTMI(おとみ)「Voyage au Japon」 PLANCHE 28 13／410 785／AX	一枚	銅版	(画面)三一・六×一四・四	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)C.H. Villeneuve (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一三	ISIBASI SUKESAJEMON (石橋助左衛門) 「Voyage au Japon」PLANCHE 29 13／405 785／AX	一枚	銅版	(画面)三一・〇×一六・四	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)C.H.Villeneuve (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一四	OTAKSA(おたくさ)「Voyage au Japon」 PLANCHE 30 13／409 785／AX	一枚	銅版	(画面)三〇・四×一三・八	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)C.H.Villeneuve (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一五	Ko Tsching Dschang(郭成章) 「Voyage au Japon」PLANCHE 31 13／407 785／AX	一枚	銅版	(画面)二九・四×一三・九	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一六	Costume de ville(町人の服〈男〉) 「Voyage au Japon」PLANCHE 32 13／403	一枚	銅版 手彩色	(画面)四一・七×三〇・六	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一七	Costume de ville(町人の服〈女〉) 「Voyage au Japon」PLANCHE 33 13／404	一枚	銅版 手彩色	(画面)四一・〇×三〇・一	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
一八	Japonais de distinction avec son domestique(高貴な日本人とその下男) 「Voyage au Japon」PLANCHE 35 13／394 785／CX	一枚	銅版 手彩色	(画面)三一・四×三〇・一	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

番号	名称	員数	版・彩	法量(縦×横)	時代	作者	
四一	STAATKLEIDUNG([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 35 13／393	一枚	銅版 手彩色	(画面)四一・〇×三四・五	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四二	Dame Noble([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 36 13／397	一枚	銅版 手彩色	(画面)四一・六×三四・四	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四三	SJOGUN([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 39 13／401	一枚	銅版 手彩色	(画面)三一・四×三四・七	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四四	Femme de Sjogun([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 40 13／402	一枚	銅版 手彩色	(画面)四九・四×三四・五	一九世紀	(原画)T.Erxleben (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四五	Temple Boudohique([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 65 13／413 785／V ／V ／NX L 80 SET OF S	一枚	銅版	(画面)三四・四×二六・〇	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四六	Maison de Campagne d'un Seigneur([illegible])「Voyage au Japon」 PLANCHE 67 13／413／785／IV／ V＼NA L 80 SET OF S	一枚	銅版	(画面)三六・〇×三三・六	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四七	Maisons Bourgeoises([illegible])「Voyage au Japon」PLANCHE 68 13 413 785／IV ／V ／NA	一枚	銅版	(画面)三四・九×二七・一	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四八	Seeschiffe([illegible])「Voyage au Japon」 PLANCHE 71 13／418 785／MU	一枚	銅版	(画面)三七・一×二九・二	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

三六	Armures (武具)「Voyage au Japon」 PLANCHE 74 13／414 785／II ／IV／ AU SET OF 4	一枚	銅版	(画面)三四・四×三七・八	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三七	General (ゼネラル)「Voyage au Japon」 PLANCHE 75 13／396 7852／CX	一枚	銅版 手彩色	(画面)三四・七×三三・六	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三八	ARMES (刀剣)「Voyage au Japon」 PLANCHE 76 13／414 785／II ／IV ／ AU SET OF 4	一枚	銅版	(画面)三六・一×三六・四	一九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三九	ARMES (ヤリ)「Voyage au Japon」 PLANCHE 78 13／414 785／II ／IV ／ AU SET OF 4	一枚	銅版	(画面)三四・六×三三・七	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四〇	ARMES (飛道具)「Voyage au Japon」 PLANCHE 80 13／414 785／II ／IV／ AU SET OF 4	一枚	銅版	(画面)三六・一×三六・九	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四一	CHIRURGISCHE INSTRUMENTE (手術道具)「Voyage au Japon」 PLANCHE 84 13／419 785／NU	一枚	銅版	(画面)三三・七×三六・二	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四二	LANDBAU UND LANDWIRTHSCHAFT (農業)「Voyage au Japon」 PLANCHE 87 13／412 785／NX	一枚	銅版	(画面)三六・四×三三・八	一九世紀	(原画)不詳 (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四三	Monnaies d'Or et d'Orgent(金貨銀貨) 「Voyage au Japon」PLANCHE 92 13／417 785／II ／II ／MU SET ON TWO	一枚	銅版	(画面)三七・四×二四・四	一九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

番号	名称	員数	品・形状	法量(縦×横)	時代	作者	
三十	Monnaises Japonaises Chrondogriques de Cuiver et de Fer (銅貨) 「Voyage au Japon」 PLANCHE 93 13／417 785／I ／II ／MU SET OF TWO	一枚	銅版	(画面)四・七×一六・二	十九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三六	VASES A FLEURS(花瓶) 「Voyage au Japon」 PLANCHE 94 13／415 785／I ／VI ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・二×二〇・五	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三七	VASES A FLEURS(花瓶) 「Voyage au Japon」 PLANCHE 95 13／415 785／I ／VI ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・八×一七・八	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三八	VASES ET CORBEILLES A FLEURS (花瓶) 「Voyage au Japon」 PLANCHE 96 13／415 785／III ／III ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・四×一七・二	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三九	VASES A FLEURS,CANDELABRES, VASES A ODEUR(花瓶・燭台・香炉) 「Voyageau Japon」 PLANCHE 97 13 ／415 785／IV ／VI ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・五×一七・四	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四〇	VASES A FLEURS,ET A ODEUR(花瓶・香炉)「Voyage au Japon」 PLANCHE 98 13／415 785／V ／VI ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)四〇・一×二六・二	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四一	VASES DE MENAGE(香炉)「Voyage au Japon」 PLANCHE 99 13／VI ／VI ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・〇×二〇・二	十九世紀	(原画)Siebold (画工)L.Nader (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四二	Danse et Musique a la Cour de Mikado (雅楽) 「Voyage au Japon 」 PLANCHE 100 13／416 785／I／V ／UX SET OF 6	一枚	銅版	(画面)三六・八×二〇・六	十九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (彫版)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

四五	Instruments de Musique (和楽器) 「Voyage au Japon 」PLANCHE 102 13／416 785／II ／V ／UX SET OF S	一枚	銅版	(画面)三十・〇×二六・八	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四六	Instruments de Musique (和楽器) 「Voyage au Japon」PLANCHE 103 13／416 785／III ／V ／UX SET OF S	一枚	銅版	(画面)二六・三×二十・四	一九世紀	(原画)Siebold (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四七	Instruments de Musique (和楽器) 「Voyage au Japon」PLANCHE 104 13／416 785／IV ／V ／UX SET OF S	一枚	銅版	(画面)三十・七×二六・八	一九世紀	(原画)Siebold (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四八	Instruments de Musique (和楽器) 「Voyage au Japon」PLANCHE 105 13／416 785／V ／V ／UX SET OF S	一枚	銅版	(画面)二六・四×二六・八	一九世紀	(原画)Siebold (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
四九	BUDDHADIENST(祭壇・神壇・山伏) 「Voyage au Japon」PLANCHE 112 13／400	一枚	銅版	(画面)四六・五×三四・五	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
五〇	BUDDHADIENST(坊主)「Voyage au Japon」PLANCHE 114 13／399 785／NA	一枚	銅版 手彩色	(画面)三十・五×三四・九	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
五一	Cimetieres(墓)「Voyage au Japon」PLANCHE 115 13／413 785／I ／V／NA SET OF S	一枚	銅版	(画面)二六・六×二十・四	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
五二	KOORAI(高麗)「Voyage au Japon」PLANCHE 116 13／395 1085／RA	一枚	銅版 手彩色	(画面)三十・六×四〇・八	一九世紀	(原画)Toioske Jap, (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	

番号	名称	員数	彫・刷	法量(縦×横)	時代	作者	
三	JEZO(CAP SOJA)Ainos et leur Cabanes (アイヌ)「Voyage au Japon」PLANCHE 118 13／392 1085／NA	一枚	銅版手彩色	(画面)三一・九×四三・四	一九世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)Arthus Bertrand (出版社)Imp. de Lemercier,Benar et C.	
三	NAGASAKI(長崎) 29 13／420 785／AUX	一枚	印刷色刷	(画面)三一・〇×四六・四	一九世紀～二〇世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)不詳 (出版社)Lith. Inst. v. w. Korn&Co(in Berlin)	
三	NAGASAKI(長崎) 30 13／421	一枚	印刷色刷	(画面)三三・〇×四六・三	一九世紀～二〇世紀	(原画)不詳 (画工)不詳 (編集)不詳 (出版社)Lith. Inst. v. w. Korn&Co(in Berlin)	
三六	National Physiognomien aus Japan 13／391 285／UX (「Woodward's Gardens」の印あり)(Tab・L)(日本人の人相)	一枚	銅版	(画面)二六・八×四三・三	一九世紀～二〇世紀	(原画)Tilesius (画工)Maslowsky (編集)不詳 (出版社)不詳	
三七	Ansicht der Stadt Nagasaki 285／IXX (「Woodward's Gardens」の印あり) (Tab. LII)(長崎の光景)	一枚	銅版	(画面)三一・三×三三・〇	一九世紀～二〇世紀	(原画)Tilesius (画工)Tschesky (編集)不詳 (出版社)不詳	
三八	Das Fahrzeug auf welchem der russishe Gesandte zuerst in Nagasaky aus Land fuhr 285／AUX L 600 (「Woodward's Gardens 」の印あり)(Tab・LIV) (ロシア使節の長崎上陸)	一枚	銅版	(画面)三〇・〇×三〇・四	一九世紀～二〇世紀前	(原画)Tilesius (画工)Tschesky (編集)不詳 (出版社)不詳	
三九	Ansicht von Negasaky 285／MCX L 600 (「Woodward's Gardens」の印あり) (Tab. LVIII)(長崎の光景)	一枚	銅版	(画面)二六・三×四九・〇	一九世紀～二〇世紀	(原画)Tilesius (画工)Galagtionoff (編集)不詳 (出版社)不詳	
四〇	Ansicht des Papenbergs 285／MCX L 600 (「Woodward's Gardens」の印あり) (Tab. XLVII)(ペーペンベルグの光景)	一枚	銅版	(画面)二六・一×四六・〇	一九世紀～二〇世紀	(原画)Tilesius (画工)J.Tschesky (編集)不詳 (出版社)不詳	

六一	Japanischer Gruss 13／382 285／IX（「Woodward's Gardens」の印あり）(Tab・XLVIII)	一枚	銅版	(画面)三三・四×三〇・四	一九世紀	(原画)Tilesius (画工)J. Tschesky (編集)不詳 (出版社)不詳	
六二	Charte von dem Nordwestlichen Grassen Oceans 1806 No LXVII（日本列島図）(着色印あり)(表) 24½ × 34 (裏) 285／ MAX	一枚	銅版	(画面)六〇・七×八四・六 (全体)三三・三×九二・八	一九世紀	不詳	
六三	Plan des Hafens Nangasky(1805)XL（長崎港詳細図）(着色印あり)	一枚	銅版	(画面)三八・八×四七・一 (全体)四九・六×六六・一	一九世紀	不詳	
六四	Charte der Iapanischen Inseln(1811) XLII（日本列島図）(着色印あり)	一枚	銅版	(画面)四一・八×四三・六 (全体)六六・一×四九・二	一九世紀	不詳	
六五	Iapaniche Housagemthe und Bedufnisse Tab・LVI(日本の家具と必需物) (着色印あり) 386／MAX	一枚	銅版	(画面)二九・二×四三・七 (全体)三〇・四×六七・八	一九世紀	(画工)Pelroff (Print)Tilesius	
六六	Iapanische Fiaggen,Wimpel und Ehrenzeichen auf ihren Boten und Wachthausern(日本の旗)(着色印あり) 386／MAX(裏面)V. A. VON KRUSEN-STERN REISE OM DIE WELT ST-PETERSBEFG, 1811 COPPER ENGRAVINGと手書きあり	一枚	銅版	(画面)三九・二×四四・〇 (全体)三〇・〇×六七・一	一九世紀	(画工)Pelroff (Print)Tilesius	
六七	Japanese Rice Mill At Simoda Nippon（下田の日本式米すり機）	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一七・二×一四・二 (全体)二二・〇×一九・二	一九世紀	(Lith)Ackerman(379 Broodway N. Y) (原画)M.Kellogg	
六八	Village near Napha,Lew Chew（那覇近郊の村）	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・六×二二・六 (全体)二二・一×一九・一	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (figures)Brown (Lith)Sarony&Co. (New York)	
六九	Afternoon Gossip, Lew Chew（琉球の午後の雑談）	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・二×二二・九 (全体)二二・一×一九・二	一九世紀	(Doquerredypes)Brown Jr. (Lith)P. S. Duval&Co(Phila)	

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	
七〇	Kanaka Village,Bonin Island (小笠原諸島のカナカ村)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・二×二三・九 (全体)二三・三×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Del)J. Queen (Lith)P. S. Duval&Co(Phila)	
七一	Reception at the Castle of Shui (首里城でのレセプション)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・〇×二三・五 (全体)二三・四×二九・二	一九世紀	(原画)W. Heine(Lith) T. Sinclair(Phila)	
七二	Com. Perry Paying his Farewell Visit to the Impenal Commissioners at Simoda. (ペリーが下田で日本の役人たちに最後の別れをするときの図)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・三×二三・八 (全体)二三・〇×二九・〇	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Lith)Sorony&Co(N. Y)	
七三	Commo. Perry meeting the Impenal commissioners at Yokohama. (ペリーの横浜での会談)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・一×二三・六 (全体)二三・一×二九・一	一九世紀	(原画)(Nature)W. T. Peters (Lith)Sorony&Co(N. Y)	
七四	Lew Chew Costume,Middle Class (琉球の中流階級の衣装)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・四×二三・二 (全体)二九・一×二三・一	一九世紀	(原画)(Dog and Drown)E. Brown Jr. (Land)Heine (Lith)Ackerman(379 Broadway N. Y)	
七五	Priest in Full Dress Simoda (下田の僧の正装)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)二三・四×一五・九 (全体)二九・二×二三・二	一九世紀	(原画)(Dog)E. Brown Jr. (Lith)T. Sinclair(Phila)	
七六	Tatsnoski,Second Interpreter (通詞補竜之助)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)二三・四×一五・九 (全体)二九・一×二三・〇	一九世紀	(原画)(Dog)E. Brown Jr. (Lith)T. Sinclair(Phila)	
七七	Valley of the Tomb,near Longwood(ロングウッド近郊のトンボの谷間)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一五・九×二三・四 (全体)二三・〇×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (Lith)T. Sinclair(Philada)	
七八	Street in Napha, Lew Chew (琉球の那覇通り)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一五・九×二三・五 (全体)二三・〇×二九・二	一九世紀	(画面)(Nature)Heine (Lith)T. Sinclair(Philada)	
七九	Dinner at the Regentes Lew Chew (琉球王のディナー)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一五・九×二三・五 (全体)二三・〇×二九・二	一九世紀	(原画)不詳 (Lith)T. Sinclair(Philada)	

〇	Ancient Castle of Na-Ga-Gus-Ko,Lew Chew(琉球の中城)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)一三・九×一三・三 (全体)二二・四×一九・〇	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (Lith)T. Sinclair(Phila)	
一	Delivery of the President's Letter (親書の交換)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)一六・〇×一三・四 (全体)二二・二×一九・一	一九世紀	(原画)W. Heine (Lith)T. Sinclair(Phila)	
二	Chief interpreter Moryama Yenoski and Tako-Jyro interpreter (通詞森山円之助とリージンタロ)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)二三・四×一三・九 (全体)二九・二×二二・〇	一九世紀	(Dog＝銅版写真)E. Brown Jr. (Lith)T. Sinclair(Phila)	
三	Bunco or Prefect,Hakodadi(函館の領主)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)二三・四×一三・九 (全体)二九・二×二二・〇	一九世紀	(銅版写真)E. Brown Jr. (Lith)T. Sinclair(Phila)	
四	Com.Perry's visit to Shui,Lew Chew (ペリーの琉球首里城への訪問)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)一三・七×二四・〇 (全体)二一・九×一九・二	一九世紀	(原画)(Nature)W. Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
五	Napha from Bamboo village(ベンボー村からの那覇)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)一三・九×二三・九 (全体)二二・一×一九・二	一九世紀	(原画)(Nature)W. Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
六	Entrance to a temple at Hakotadi (函館の寺院への入口)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)二四・一×一六・九 (全体)一九・一×二二・〇	一九世紀	(原画)(Nature)E・Brown Jr. (Lith)Sorony&Co. (Phila)	
七	Court interpreter Shin,Lew Chew (琉球の裁判官　シン)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)二二・八×一六・四 (全体)一九・二×二二・六	一九世紀	(画工)P. Kramer (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)	
八	First Landing at Gorahama(ゴラハマへの上陸)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)一六・一×二二・八 (全体)二二・〇×一九・二	一九世紀	(原画)W. Heine (画工)Js. Queen (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)	
九	Budhist Priest at Simoda(下田の僧)	一枚	彩色リトグラフ淡	(画面)二二・六×一六・二 (全体)一九・二×二二・二	一九世紀	(銅版写真)E. Brown (画工)P. Kramer (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)	

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者
九〇	To-Ri-Ga-Sa-Ki, Yedo Bay(江戸湾のとりが崎)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・〇×二三・六 (全体)二一・五×二八・七	一九世紀	(原画)W. Heine (画工)Js. Queen (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)
九一	Island of Great Lew Chew(琉球の地図)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一九・六×一六・二 (全体)二九・二×二二・三	一九世紀	(Lith)Ackerman(379 Broadway N. Y)
九二	View of Uraga, Yedo Bay(浦賀の光景)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・一×二三・九 (全体)二二・〇×二九・二	一九世紀	(原画)W. Heine (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)
九三	Deouty of the prince of Matsmay(松前藩の代理)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)二三・二×一六・〇 (全体)二九・一×二二・一	一九世紀	(銀板写真)E. Brown (Lith)Ackerman(379 Broodway N. Y)
九四	Mother and Child(Simoda)(下田の母と子)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)二三・二×一六・一 (全体)二九・一×二二・〇	一九世紀	(銀板写真)E. Brown (Lith)Ackerman(379 Broodway N. Y)
九五	Tshan-Di-Coo-Sah Lew-Chew(琉球のチャンデコシャ)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一五・六×二三・八 (全体)二二・〇×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Fig)Brown (Lith)Sorony&Co. (N. Y)
九六	Lew Chew(琉球)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一五・七×二三・四 (全体)二二・二×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Fig)Brown (Lith)T. Sinclair(Philada)
九七	Whampoa Pagoda & Anchorage (ワンポアの塔と停泊所)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)二三・四×一六・八 (全体)二九・一×二二・六	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (Lith)不詳
九八	View of Hokodadi from Snow Park(雪山から函館をのぞむ)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・六×二四・〇 (全体)二二・一×二九・一	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)
九九	Delvenng of the American Presents at Yokohama (横浜でのアメリカのプレゼントの手渡し)	一枚	リトグラフ淡彩	(画面)一六・六×二四・〇 (全体)二二・〇×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)W. T. Perer (Lith)Sorony&Co. (N. Y)

100	Devotions in the great temple Simoda (下田の大寺院における信仰)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一六・四×一三・七 (全体)三一・一×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
101	Temple of Hat-Chi-Man-Ya-Chu Simoda (下田の寺院)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一四・〇×一六・七 (全体)二九・一×三三・〇	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
101	Japanese Funeral at Simoda(下田の日本式葬儀)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一六・六×一三・八 (全体)三一・一×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
101	Bell House at Simoda(下田のベルハウス)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一四・二×一六・八 (全体)二九・二×三三・一	一九世紀	(銅板写真)E・Brown Jr. (Lith)Sorony&Co. (New York)	
101	Kura-Kawa-Kahai(下田の領主)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一三・八×一六・六 (全体)二九・二×三一・九	一九世紀	(銅板写真)E・Brown Jr. (Lith)Sorony&Co. (New York)	
101	Great Lew Chew(琉球の地図)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一七・〇×一九・二 (全体)三一・二×二九・二	一九世紀	不詳	
10K	Bridge & Causeway at Ma-Chi-Na-Too, Lew Chew(琉球のマチナトの橋と堤道)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一六・七×一三・七 (全体)三一・一×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)W. Heine (Figures)Brown (画工)Js. Queen (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)	
10M	Regent of Lew Chew(琉球王)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一三・八×一六・六 (全体)二・一×一三・二	一九世紀	(銅板写真)Brown (Lith)Ackerman(379 Broadway N. Y)	
10N	Encampment of the explorting party in Lew Chew (琉球での探検隊の野営)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一五・二×一三・八 (全体)三一・〇×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (画工)J. Queen (Lith)P. S. Duval&Co. (Phila)	
10P	Longwood from the Gate St-Heiena(セントヘレナの入口からロングウッド)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一五・八×一三・二 (全体)三一・六×二九・二	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (Lith)Ackerman(379 Broadway N. Y)	
110	Ancient Castle of Na-Ga-Cus-Ko Lew Chew (琉球の古城)	一枚	彩色リトグラフ	(画面)一六・三×一三・四 (全体)三一・四×二九・一	一九世紀	(原画)(Nature)Heine (Figures)Brown (Lith)Ackerman(379 Broadway N. Y)	

番号	名称	員数	質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	
一一一	Return of Commodore Perry,Officers & men of The Squadron(指令官ペリーと将校と艦隊の人々の帰還)	一枚	刷ラリフト色グ	(画面)三一・〇×六一・九 (全体)四〇・二×六六・九	一九世紀	(Del)W. Heine (Direx)E. Brown Jr. (Lith)Boell&Lewis(N. Y)	
一一二	First Landing of Americans in Japan (アメリカ人の日本への初上陸)	一枚	刷ラリフト色グ	(画面)三一・〇×六一・二 (全体)四〇・二×六九・一	一九世紀	(Del)W. Heine (Direx)E. Brown Jr. (Lith)Sorony&Co. (N. Y)	
一一三	Exercise of Troops in Temple Grounds Simoda Japan (日本下田の寺院の庭での軍事演習)	一枚	刷ラリフト色グ	(画面)三二・〇×六二・四 (全体)四〇・二×六九・六	一九世紀	(Del)W. Heine (Lith&Direx)E. Brown (Printed)Boell&Michelim	
一一四	Landing of Commodore Perry,Officers & men The Squadron (同令官ペリーと将校、艦隊の人々の上陸)	一枚	刷ラリフト色グ	(画面)三二・四×六三・三 (全体)四〇・二×六九・五	一九世紀	(Del)W. Heine (Direx)E. Brown (Lith)Sarony&Co. (N. Y)	
一一五	Passing the Rubicon (上陸直前の図)	一枚	刷ラリフト色グ	(画面)三二・四×六三・三 (全体)四〇・二×六九・五	一九世紀	(Del)W. Heine (Direx)E. Brown (Lith)Sarony&Co. (N. Y)	

九　絵葉書・ポスター・その他

〈資料内訳〉

絵葉書	二五件	九七点
ポスター	二四件	二四点
その他	一三件	二七点
計	一六二件	九八点

絵葉書

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.	
一	絵葉書(コロンボ港よりの便り)	一枚		九・〇×一三・九	明治三六年	中山平次郎より中山政子宛	II 138	
二	絵葉書(筑後名所)	四枚	白黒印刷	一四・一×九・〇	明治四〇年	不詳	I 214	
三	最新旅行用日本全図(全八図)	一枚	銅版色刷	一九・七×一〇・八	明治四三年	東京博愛館	I 215	
四	絵葉書(陸軍大演習、海軍……)	二八枚	白黒印刷	一四・二×九・〇	大正五年～昭和時代	大阪商船株式会社外	I 216	
五	絵葉書(官幣中大社香椎宮)	一〇枚	単色・袋入り	一四・二×九・一	大正一二年カ	香椎宮社務所	II 139	
六	絵葉書(財団法人日華学会再築落成記念)	一一枚	単色・袋入り	一四・一×九・一	大正一三年九月一〇日	日華学会	II 140	

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
七	絵葉書(同仁会青島医院)	一枚	単色	一四・〇×九・一	大正一三年度調	同仁会	II 141
八	絵葉書(同仁会済南医院)	一枚	単色	一三・八×九・〇	大正一四年カ	同仁会	II 142
九	絵葉書(佐世保・九十九島・軍艦ほか)	九枚	白黒印刷 色刷印刷	九・一×一四・一	大正時代	鶴ヱハガキ発行部	I 217
一〇	絵葉書(肥前島原)	一〇枚	色刷印刷	八・九×一四・〇	大正時代	中島写真館発行	I 218
一一	絵葉書(東公園・西公園・箱崎)	一七枚	白黒印刷	一四・二×九・〇	大正時代	不詳	I 219
一二	絵葉書(肥後本妙寺)	一三枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	大正時代	不詳	I 220
一三	絵葉書(唐津)	一一枚	白黒印刷	一四・一×九・〇	大正時代	唐津町山口写真館発行	I 221
一四	絵葉書(長崎諏訪神社富貴楼)	八枚	白黒印刷	一四・一×九・一	大正時代	長崎佐藤弘聞堂　他	I 222
一五	絵葉書(肥後本妙寺)	一三枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	大正時代	不詳	I 223
一六	絵葉書(佐世保軍港軍艦)	一三枚	白黒印刷	一四・一×九・一	大正時代	欣笑堂	I 224
一七	絵葉書(阿蘇山)	七枚	白黒印刷	一四・一×九・一	大正時代	熊本西通町濱田印刷	I 225
一八	絵葉書(佐賀)	一〇枚	色刷印刷	一四・一×九・一	大正時代		I 226
一九	絵葉書(日田・耶馬渓・阿蘇)	一〇枚	色刷印刷	一四・三×九・二	大正時代		I 227
二〇	絵葉書(島原)	八枚	白黒印刷	一四・四×九・一	大正時代	仲島写真館発行	I 228
二一	絵葉書(肥後宇土、人吉)	二〇枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	大正時代	熊本西通町浜田印刷	I 229
二二	絵葉書(長崎名所、長崎諏訪神社)	一二枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	大正時代	長崎諏訪神社社務所	I 230

二三	絵葉書（西公園）	四枚	白黒印刷	一四・一×九・一	大正時代	不詳	Ⅰ 231
二四	絵葉書（福博名所）	一一枚	白黒印刷	一三・九×八・八	大正時代	不詳	Ⅰ 232
二五	絵葉書（福岡と博多名所）	三枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	大正時代	不詳	Ⅰ 233
二六	絵葉書（長崎・茂木・島原）	二四枚	白黒印刷	一四・〇×九・〇	大正時代	長崎Y. SATO & C	Ⅰ 234
二七	絵葉書（太宰府天満宮）	一五枚	白黒印刷	一四・一×九・〇	大正時代	Kaigakenkyukai発行	Ⅰ 235
二八	絵葉書（大菊人形）	一三枚	単色・袋入り	一四・四×九・二	大正時代	博多新柳町菊楽園	Ⅱ 143
二九	絵葉書（最近版十六景福岡博多名勝）	一六枚	単色・袋入り	一四・一×九・一	大正時代	大黒屋　発行　西公園柚木松風　発売	Ⅱ 144
三〇	絵葉書（朝鮮の行進）	六枚	単色・袋入り	一四・〇×八・九	大正時代	朝鮮総督府	Ⅱ 145
三一	外国絵葉書	一八枚	袋入り	一四・一×九・一	大正時代	不詳	Ⅱ 146
三二	絵葉書（唐津西の浜）	一枚	白黒印刷	九・一×一四・二	大正時代	唐津山口写真館発行	Ⅱ 147
三三	絵葉書（延岡・高千穂・錦温泉）	一九枚	白黒印刷	一四・〇×九・〇	大正～昭和初期	文華堂	Ⅰ 268
二四	絵葉書（中国絵はがき）	三枚	色刷印刷	一四・一×九・二	大正～昭和初期	不詳	Ⅱ 148
二五	絵葉書（東亜博記念）	四枚	色刷印刷	一四・二×九・〇	昭和二年	東亜博覧会協賛会発行	Ⅰ 236
二六	絵葉書（第五五回軍旗拝受記念）	八枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和三年	歩兵第三連隊酒保発行	Ⅰ 237
二七	絵葉書（観艦式記念　兵庫県）	四枚	色刷・包紙あり	一四・〇×九・一	昭和五年一〇月	神戸光村印刷株式会社	Ⅱ 150
二八	絵葉書（大東京祝賀夜の花電車）	八枚	色刷印刷	九・〇×一四・二	昭和七年	中村興文堂	Ⅰ 238

番号	名称	員数	品質・形状	法量（縦×横）	時代	作者	収蔵No.
三九	絵葉書（長崎市国際産業観光博覧会）	六枚	白黒印刷	一四・二×九・一	昭和九年検閲済	不詳	Ⅱ 151
四〇	絵葉書（観艦式記念）	四枚	色刷印刷	一四・三×九・二	昭和一一年	神戸市役所　田中印刷出版株式会社・印刷	Ⅱ 152
四一	絵葉書（北京城外運輸駱駝）	一枚	色刷印刷	一四・三×八・九	昭和一三年五月二〇日のスタンプあり	郵政明信片	Ⅱ 154
四二	絵葉書（天津・威海衛他風景画）	五枚	色刷・袋入り	一四・一×九・一	昭和一四年（画）	臨時陸軍東京経理部・発行　光村原色版印刷所・印刷	Ⅱ 155
四三	絵葉書（山来省産業科学小観）	三枚	白黒・袋入り	一四・六×八・九	昭和一五年七月	青島山東産業館　青島新民報印務局	Ⅱ 156
四四	絵葉書（安慶の朝）	一枚	色刷印刷	一四・三×九・一	昭和一五年（画）	陸軍恤兵部・発行　桜庭彦治・筆	Ⅱ 157
四五	書簡（蔚山温泉の景観・台湾）	九枚一組	色刷・袋入り	一四・一×八・八	昭和一八年	吉田益之助より吉田一宛	Ⅱ 158
四六	絵葉書（菅公の歴史と太宰府天満宮）	一六枚	色刷・包紙あり	一四・一×八・九	昭和一〇年代	太宰府神社奉賛会・発行　前田虹映・画	Ⅱ 159
四七	絵葉書（台湾屏東名所）	八枚	白黒印刷	八・九×一四・一	昭和初期	遠藤商店	Ⅰ 239
四八	絵葉書（鉄道沿線各線絵葉書）	六枚一組	色刷但し、写真は白黒	一四・二×九・一	昭和初期	朝鮮鉄道株式会社発行	Ⅱ 149
四九	絵葉書（長崎崇福寺）	一〇枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	崇福寺発行	Ⅰ 240
五〇	絵葉書（門司税関合同庁舎）	一枚	白黒印刷	九・〇×一四・二	昭和時代	不詳	Ⅰ 241
五一	絵葉書（佐賀県武雄町）	一六枚	色刷・白黒印刷	九・〇×一四・一	昭和時代	武雄温泉K・発行	Ⅰ 242
五二	絵葉書（小浜）	八枚	色刷印刷	八・九×一四・二	昭和時代	組合発行	Ⅰ 243

三	絵葉書（肥後日奈久・人吉名所）	一八枚	色刷白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	熊本西通町浜田製ほか
四	絵葉書（日本八景雲仙岳名勝）	八枚	色刷印刷	一四・〇×八・八	昭和時代	不詳
五	絵葉書（熊本百景）	九枚	色刷印刷	一四・一×九・一	昭和時代	熊本西通町濱田製
六	絵葉書（熊本百景・阿蘇山本妙寺ほか）	一三枚	色刷・白黒印刷	一四・四×九・一	昭和時代	熊本西通濱田　他
七	絵葉書（うすりい丸）	一枚	白黒印刷	一四・〇×九・二	昭和時代	不詳
八	絵葉書（平安丸）	一枚	色刷印刷	一三・九×八・八	昭和時代	不詳
九	絵葉書（平戸千里が浜鄭成功の碑文）	一枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	鏡江舎発行
一〇	絵葉書（自転車広告）	一枚	印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	東京日本橋スイフト商会
一一	絵葉書（肥後球磨球磨川）	七枚	白黒印刷	一四・二×九・一	昭和時代	不詳
一二	絵葉書（福岡名勝）	九枚	色刷印刷	一四・三×九・一	昭和時代	
一三	絵葉書（帝国軍艦）	八枚	白黒印刷	一四・二×九・一	昭和時代	
一四	絵葉書（雲仙の風光）	八枚	色刷印刷	一三・九×八・九	昭和時代	
一五	絵葉書（鹿児島名所）	八枚	色刷印刷	一四・三×九・二	昭和時代	
一六	絵葉書（大陸乗物いろいろ）	八枚	色刷印刷	一四・一×九・一	昭和時代	古島（M）画
一七	絵葉書（昆虫）	一六枚	色刷印刷	一三・九×八・九	昭和時代	加藤生世編
一八	絵葉書（熊本百景・水前寺成趣・熊本城）	一二枚	白黒印刷	一三・九×九・〇	昭和時代	不詳
一九	絵葉書（長崎）	一五枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	Nagasaki y.sato & c
二〇	絵葉書（福博名所）	一〇枚	白黒印刷	一三・七×八・七	昭和時代	大崎周水堂印行

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
二二	絵葉書（お綱門、濡衣塚）	三枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	不詳	I 262
二三	絵葉書（宮地嶽神社）	八枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	不詳	I 263
二四	絵葉書（太宰府天満宮）	一〇枚	白黒印刷	一四・一×九・〇	昭和時代	たかたこうせいかん	I 264
二五	絵葉書（博多名所）	三枚	色刷印刷	一四・一×九・〇	昭和時代	博多大崎周水堂	I 265
二六	絵葉書（福岡名所）	九枚	色刷印刷	一四・一×九・〇	昭和時代	博多大崎周水堂	I 266
二七	絵葉書（唐津名所）	一七枚	色刷印刷	一四・〇×九・〇	昭和時代	博多大崎周水堂	I 267
二八	絵葉書（錦帯橋・秋芳洞）	二〇枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	不詳	I 269
二九	絵葉書（臼杵名所石仏）	一〇枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	臼杵町役場発行	I 270
二九	絵葉書（別府名所）	一五枚	白黒印刷	一四・一×九・二	昭和時代	不詳	I 271
三〇	絵葉書（雲仙公園の名勝）	八枚	白黒印刷	一四・一×九・〇	昭和時代	不詳	I 272
三一	絵葉書（始政四〇周年記念台湾博覧会）	八枚	色刷印刷	一四・一×九・一	昭和時代	台北新高堂書店	I 273
三二	絵葉書（忠臣義士四十七士）	一六枚	白黒印刷	九・二×一四・〇	昭和時代	不詳	I 274
三三	絵葉書（熊本）	六枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	seikyokudo	I 275
三四	絵葉書（姫路名勝）	八枚	白黒印刷	一四・一×八・〇	昭和時代	神戸明石発行	I 276
三五	絵葉書（日光）	八枚	白黒印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	星野屋印刷部発行	I 277
三六	絵葉書（朝鮮京城経学院文廟）	六枚	白黒印刷	一三・九×九・〇	昭和時代	京城物部写真館	I 278
三七	絵葉書（日向名勝―宮崎の巻―）	七枚	白黒印刷	一三・九×九・〇	昭和時代	宮崎文華堂発行	I 279
三八	絵葉書（奈良名勝集）	一五枚	白黒印刷	一三・九×九・〇	昭和時代	京都Seikyokudo	I 280
三九	絵葉書（蒙古風俗B）	八枚一組	色刷・袋入り	一四・〇×八・九	昭和時代	東京神田Matsumura.co	II 153

九〇	絵葉書（三越呉服店世界風俗博）	二二枚	色刷印刷	一四・〇×九・二	昭和時代	PRINTED BY TAISEIDO. SEKO,NIHONBASHI. JAPAN	II 160
九一	絵葉書（唐津）	二枚	白黒印刷	九・一×一四・一	昭和時代	不詳	II 161
九二	絵葉書（唐津鉄工所）	一枚	白黒印刷	九・一×一四・二	昭和時代	唐津鉄工所	II 162
九三	絵葉書（製鉄所二瀬出張所高雄礦第一坑）	一枚	白黒印刷	九・一〇×一四・〇	昭和時代	製鉄所二瀬出張所	II 163
九四	絵葉書（唐津町の景）	一枚	色刷印刷	九・一×一四・二	昭和時代	唐津多久島支店発行	II 164
九五	絵葉書（鶴城高等女学校）	二枚	白黒印刷	九・一×一四・一	昭和時代	鶴城高等女学校	II 165
九六	絵葉書（熱河風景）	四枚	色刷印刷	一四・三×九・一	昭和時代	満洲国郵政明信	II 166
九七	絵葉書（濟南名勝）	二〇枚	白黒・袋入り	一四・二×九・一	昭和時代	濟南文海堂書店	II 167
九八	絵葉書（蘇州風景画）	一枚	色刷印刷	一四・一×九・三	昭和時代	臨時陸軍東京経理部・発行 奥瀬栄三・画	II 168
九九	絵葉書（四季の満洲冬）	一枚	色刷印刷	一三・九×九・〇	昭和時代	陸軍恤兵部・発行 凸版印刷株式会社・印刷	II 169
一〇〇	絵葉書（歩哨夜外）	一枚	色刷印刷	八・七×一三・七	昭和時代	陸軍恤兵部・発行 精印刷株式会社・印刷	II 170
一〇一	絵葉書（水上の民家・広東大沙頭）	一枚	色刷印刷	一四・二×九・一	昭和時代	陸軍需品本廠・発行 池田実人・画	II 171
一〇二	絵葉書（熱河風景）	一枚	色刷印刷	一四・三×九・二	昭和時代	陸軍大臣官房（大阪）精版印刷株式会社	II 172
一〇三	絵葉書（朱乙か祢多温泉旅館・砂風呂）	二枚	色刷印刷	一四・〇×九・一	昭和時代	不詳	II 173
一〇四	絵葉書（最も新しき福岡と博多名勝）	五枚	色刷印刷	一四・一×九・一	昭和時代	大崎周水堂	II 174

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一〇五	絵葉書（佐賀名所絵はがき）	八枚一組	白黒・袋入り	一四・二×九・〇	昭和時代	不詳	II 175
一〇六	絵葉書（佐賀名所）	八枚	白黒印刷	一四・一×八・九	昭和時代	不詳	II 176
一〇七	絵葉書（佐賀嬉野風景）	二枚	白黒印刷	一四・一×九・一	昭和時代	高柳新聞店	II 177
一〇八	絵葉書（近江琵琶湖・風景）	四枚	白黒印刷	一四・〇×八・九	昭和時代	不詳	II 178
一〇九	絵葉書（天城山隧道・伊豆湯ヶ島）	三枚	色刷・白黒印刷	一四・二×九・〇	昭和時代	NISSHINSYA他	II 179
一一〇	絵葉書（飛行隊之編隊飛行）	一枚	白黒印刷	一四・二×九・一	昭和時代	関東軍司令部	II 180
一一一	絵葉書（蒙古風俗）	八枚	色刷印刷	一四・〇×八・九	昭和時代	Kanda. Tokyo. Matsumura. Co	II 181
一一二	絵葉書（古北口絵葉書）	九枚	色刷・袋入り	一三・九×九・一	昭和時代	東京・芝・岩丸社	II 182
一一三	絵葉書（佐賀市民運動場絵葉書）	二枚綴二組	白黒・袋入り	一四・二×九・二	昭和時代	不詳	II 183
一一四	絵葉書（神秘境・熱河の首都・承徳名勝）	一六枚一組	白黒・袋入り	一三・九×九・〇	昭和時代	不詳	II 184
一一五	絵葉書（御慰問）	五枚	色刷・袋入り	一四・一×九・一	昭和時代	大阪市南区株式会社南地芸妓新検番	II 185

ポスター

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一	ポスター（筥崎宮）	一枚	リトグラフ	五〇・八×三五・五	明治時代	箱崎八幡宮	II 186
二	蘭方薬「ホルトス」効能引札	一枚	木版	三三・八×三六・四	明治時代	長崎観生堂大橋喜兵衛	II 187

三	引礼（伊藤喜九州支店）	一枚	印刷	二六・二×五四・四	大正三年	大阪田辺印刷所	I 281
四	ポスター（三月一〇日国民の記念日）	一枚	二色刷	一六・九×二四・一	大正時代	不詳	I 282
五	VIA ANTEN（外国電報ハ無線経由デ!!）	一部	パンフレット色刷	二五・五×三五・七	大正時代	日本無線電話株式会社	II 188
六	今津時計定価表	一枚	印刷・綴	三九・五×二七・七	昭和八年	名古屋今津時計店	I 283
七	玉屋広告	一枚	印刷	二六・五×三七・八	昭和一一年	不詳	I 284
八	ポスター（酒販売統制）	一枚	印刷	三九・五×二七・〇	昭和一三年三月一日	上嘉穂酒類販売統制会	II 189
九	ポスター（酒値段之定）	一枚	二色刷	三九・八×五四・四	昭和一三年	嘉穂飯塚酒造組合 嘉穂飯塚酒類商組合	II 190
一〇	広告（福岡県第三次防空訓練）	一枚	印刷	二六・九×六・〇	昭和一五年	福岡県	I 285
一一	ポスター（渡辺鉄工所見習工募集）	一枚	二色刷	三三・一×三九・〇	昭和一六年	武生水職業紹介所	II 191
一二	ポスター（川棚海軍工員養成所生徒募集）	一枚	色刷印刷	五四・〇×六・二	昭和一八年	河野大盛館発行	I 286
一三	ポスター（川棚海軍工廠工員養成所生徒募集）	一枚	色刷印刷	五四・四×六・四	昭和一八年	河野大盛館発行	II 192
一四	ポスター（たのむぞ石炭）	一枚	色刷印刷	七一・八×五一・二	昭和一九年カ	軍需省　石炭統制会	II 193
一五	久留米絣広告	一枚	印刷	一四・三×九・二	昭和時代	久留米絣同業組合	I 287
一六	入浴券	一枚	印刷	七・五×四・〇	昭和時代	湯屋同業組合	I 288
一七	ポスター（満洲電信電話株式会社講習生募集）	一枚	色刷印刷	五三・八×六・三	昭和時代	東京印刷株式会社	I 289
一八	ポスター（梅ケ谷ー長門屋：）	一枚	色刷印刷	六・〇×五三・〇	昭和時代	博多嶋井オフセット印刷	I 290

番号	名称	員数	品質・形状	法量(縦×横)	時代	作者	収蔵No.
一九	ポスター（美人図）	一枚	色刷印刷	七七・五×三三・七	昭和時代	不詳	I 291
二〇	ポスター（花嫁図）	一枚	色刷印刷	六六・三×三三・二	昭和時代	不詳	I 292
二一	ポスター（花嫁図）	一枚	色刷印刷	六六・六×三三・八	昭和時代	不詳	I 293
二二	ポスター（選挙標語）「推薦制で国の為め」	一枚	印刷	三六・〇×二二・九	昭和時代	不詳	I 294
二三	ポスター（選挙標語）「常会でいましめ合ふてよい選挙」	一枚	印刷	三七・七×二二・八	昭和時代	不詳	I 295
二四	電車案内	一枚	印刷	一三・一×三七・〇	昭和時代	三井電気軌道株式会社	I 296
二五	ポスター（満洲電信電話株式会社講習生募集）	一枚	色刷印刷	四四・〇×二八・三	昭和時代	職業紹介所	II 194
二六	入会案内	一枚	印刷	二二・九×三六・七	昭和時代	大日本一新会本部	II 195
二七	チラシ	一枚	印刷	一三・二×一八・四	昭和時代	日本労働組合総評議会	II 196
二八	ポスター（爽丹メンタム）	一枚	色刷印刷	二八・九×一七・四	昭和時代	爽丹本店	II 197
二九	青島神社参拝案内	一枚	色刷印刷	一四・二×九・二	昭和時代	不詳	II 198
三〇	引札（石炭商太田商店）	一枚	木版色摺	三三・八×三六・九	近代	素伯・画	I 297
三一	引札（改正小包料）	一枚	木版色摺	二六・〇×二八・〇	近代	不詳	I 298
三二	引札（福神漬、さらしあん、椎茸）	一枚	木版色摺	二六・〇×三七・九	近代	不詳	I 299
三三	引札（醤油）	一枚	木版色摺	二三・九×二八・〇	近代	不詳	I 300
三四	引札（確実大勉強）	一枚	木版色摺	二六・〇×二八・〇	近代	不詳	I 301

一	少年少女小学教科雙六	一枚	色刷	七六・四×五五・〇	明治四〇年一月一日発行	巌谷季雄・編集兼発行人 博文館・発行所	Ⅱ 199
二	世界婦人風俗双六	一枚	色刷	三四・〇×七七・三	大正六年一月一日発行	増田義一・発行編集人 石精一・画 実業之日本社	Ⅱ 200
三	創立四十年卒業生三千人記念祝賀会	一一枚	写真・台紙付	一八・五×二六・〇	大正一四年五月二〇日	不詳	Ⅱ 201
四	世界一周飛行双六 科学知識新年号附録第六巻第一号附録	一枚	色刷	六三・七×九四・六	大正一五年一月一日発行	岩本周平案・坪井玄治書（発行所）科学知識普及会	Ⅱ 202
五	写真（雪景）	一枚	白黒写真	一六・四×一二・〇	大正時代	不詳	Ⅱ 203
六	関門及北九州防空演習記念（写真帖）	一冊	写真帖・白黒印刷	一六・〇×二三・〇	昭和六年一〇月	八幡製鉄所	Ⅱ 204
七	九州水力電気第五拾参回報告書	一枚	印刷	三六・九×五三・五	昭和一二年五月三一日	九州水力電気株式会社	Ⅱ 205
八	詔書（天佑ヲ保持シ萬世一系：）	一枚	印刷	三〇・八×六三・一	昭和一六年一二月八日	（書）高瀬武次郎	Ⅱ 208
九	国婦燕京の華（一二月号）	一部	（新聞）	二六・六×一八・六	昭和一六年一二月一〇日	（版）大日本国防婦人会	Ⅱ 209
一〇	領収書	一枚		一八・一×一五・五	昭和二一年三月二六日	福岡・紙統制株式会社福岡支店	Ⅱ 210
一一	第二回 短期宝くじ	一枚	印刷	八・五×四・九	昭和二五年	日本政府	Ⅱ 211
一二	福岡市内電車廃止記念乗車券	五枚一組	色刷	八・〇×一八・九	昭和五四年	西日本鉄道株式会社	Ⅱ 212
一三	写真帖	一冊	写真帖・一〇〇葉写真（絵はがき・ブロマイド）	一八・八×一三・五	昭和時代・戦前	不詳	Ⅱ 213

一〇　古　銭

八件　一三九七点

番号	名称	形状	法量	内訳	時代	数量	備考
一	古銭	さし銭	径二・〇～二・五	寛永通宝	江戸	四二	
				不明	不明	六	
						計 四八	
二	古銭	さし銭	径二・二～二・五	乾隆通宝	清	一五六	
三	古銭	さし銭	径一・八～二・五	道光通宝	清	一四七	
				嘉慶通宝	清	一	
						計 一四八	
四	古銭	さし銭	径一・八～二・五	寛永通宝	江戸	三〇	
				元豊通宝	宋	六	
				熙寧元宝	宋	八	
				政和通宝	宋	一	
				元符通宝	宋	二	
				皇宋通宝	宋	二	
				祥符通宝	宋	二	
				咸平通宝	宋	一	
				永楽通宝	明	一	
				洪武通宝	明	一	
				乾隆通宝	清	二八	
				光緒通宝	清	七	
				嘉慶通宝	清	八三	
				道光通宝	清	一二	
				康熙通宝	清	四	
				同治通宝	清	一	
				不明・その他		四三	
						計 二三二	
五	古銭	さし銭	径一・八～二・五	寛永通宝	江戸	一	
				開元通宝	唐	二	
				元豊通宝	宋	一	
				熙寧通宝	宋	一	
				光緒通宝	清	一四	
				乾隆通宝	清	七〇	

				咸豐通宝	清	二〇	
				嘉慶通宝	清	二五	
				不明		二	計一三六
六	古錢	さし錢	径二・二～二・五	寛永通宝	江戸	六五八	
				乾隆通宝	清	一	計六五九
七	古錢		径二・八～二・四	乾隆通宝	清	一七	
八	古錢		径二・二	洪武通宝	明	一	

昭和六十一年度収集収蔵品目録

平成元年三月三十一日　発行

編集
発行　福岡市博物館

印刷　(有)プリント九州

昭和61年度収集

収蔵品目録 4

1989

福 岡 市 博 物 館

福岡市早良区百道浜3丁目901-10 〒814
電話 (092) 845－5011